R5－9国営海の中道海浜公園
運営維持管理業務
別紙資料

令和5年3月

国土交通省　九州地方整備局

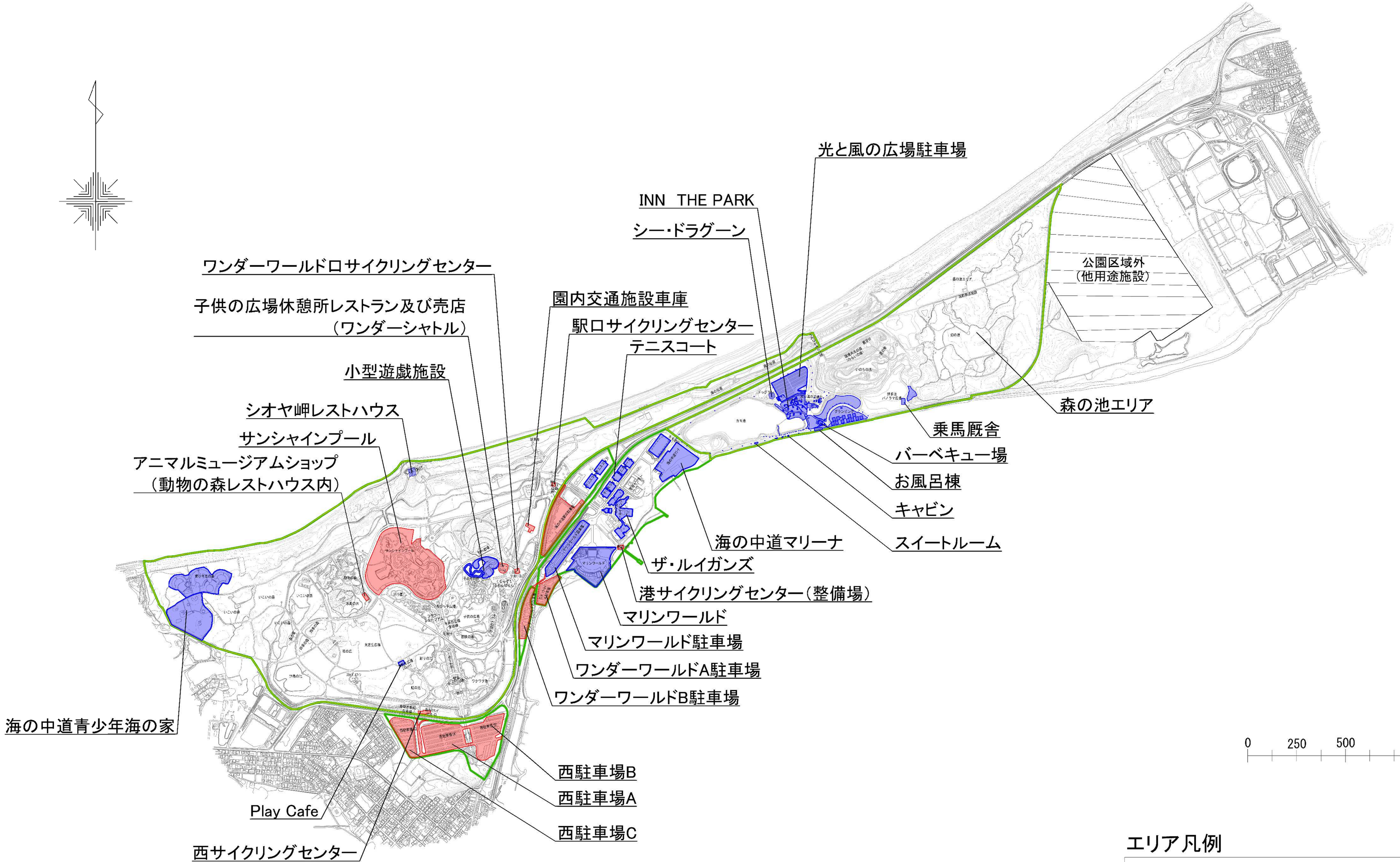
実施要項に関連する別紙（情報開示）・様式

【国営海の中道海浜公園】

分類	資料No	資料名	頁番号
業務の内容を示す資料	別紙 1	運営維持管理業務範囲図	1
	別紙 2	主要公園施設一覧	2
	別紙 3	主要建築物一覧	3
	別紙 4	収益施設一覧	7
	別紙 5	国営海の中道海浜公園　運営維持管理基本方針	8
	別紙 6	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務　共通仕様書	16
	別紙 7	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 本業務全体の計画立案及びマネジメント　個別仕様書	48
	別紙 8	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 企画運営管理　個別仕様書	55
	別紙 9	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 施設・設備維持管理　個別仕様書	72
	別紙 10	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 植物管理　個別仕様書	96
	別紙 11	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 動物管理　個別仕様書	116
	別紙 12	国営海の中道海浜公園　運営維持管理業務 収益施設等管理運営規定書	128
従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙 13	従来の実施状況に関する情報の開示	219
	別紙 14	精算報告書	223
	別紙 15	公園利用者数	225
	別紙 16	利用実態調査アンケート及び花修景に関する満足度調査票	230
	別紙 17	イベント実績	233
	別紙 18	開園時間延伸状況	245
	別紙 19	混雑時の状況	246
	別紙 20	リース物品（リスト）	248
	別紙 21	支給品一覧（備品以外の残存物品リスト）	250
	別紙 22	貸与車両の使用状況・維持管理状況	275
	別紙 23	危機管理対応実績（事故対応）	302
	別紙 24	危機管理対応実績（自然災害、火災）	313
	別紙 25	危機管理対応実績（野生動物）	314
	別紙 26	職員・臨時職員・常勤パート等の配置	315
	別紙 27	総括責任者による外部会議への出席	318
	別紙 28	問い合わせメール及びご意見箱 処理件数	320
	別紙 29	行催時開催時の広報（紙媒体）実績	322

従来の実施状況に関する情報の開示資料	別紙 30	プレスリリース実績	323
	別紙 31	公園利用者に無償で貸与している物品一覧	327
	別紙 32	建物・工作物に係る修繕等履歴	329
	別紙 33	廃棄物の取扱	341
	別紙 34	農薬・肥料・土壌改良リスト	342
	別紙 35	農薬散布	345
	別紙 36	樹幹注入	348
	別紙 37	植物性廃棄物の取扱い	349
	別紙 38	収益施設利用者数、売上等	351
	別紙 39	国営海の中道海浜公園供用区域図	366
	別紙 40	空調設備点検機器	367
	別紙 41	汚水ポンプ点検内容	368
	別紙 42	放送設備点検内容	369
	別紙 43	動物管理実績	370
その他の資料	別紙 44	業務評定様式	388
様式	様式 1-1	競争参加資格確認申請書	389
	様式 1-2	企業の業務実績	390
	様式 1-3	総括（業務）責任者の業務実績	391
	様式 1-4	守秘性に関する要件	392
	様式 1-5	業務実施体制	393
	様式 1-6	実施方針	398
	様式 1-7	再委託又は下請負の予定（協力企業の名称等）	400
	様式 1-8	業務経験証明書	402
	様式 1-9	収益施設運営実績書	403
	様式 1-10	入札参加事業者等確認書	407
	様式 2-1	企画書（表紙）	413
	様式 2-2-1～13	企画提案	414
	様式 2-2-14	賃上げ関係	428
	様式 3	収益施設運営計画書	442

海の中道海浜公園　運営維持管理業務範囲図　A1 S=1/10000 (A3 S=1/20000)



エリア凡例

パークエリア	
運営維持管理業務対象区域	
運営維持管理業務対象外	
収益施設	

別紙1

別紙２

主要公園施設一覧

令和５年３月現在

ゾーン名	面積 (ha)	名称	主要施設
樹林とスポーツ の広場	2.7	Ａ地区	［パークウェイ（27,000 ㎡）］ ﾊﾟｰｸｳｪｲ１号橋、ﾊﾟｰｸｳｪｲ２号橋、ﾊﾟｰｸｳｪｲ跨線橋、園路他
樹林とピクニック の広場	97.9	Ｂ地区	［光と風の広場(247,000 ㎡)］ ｶﾓ池、ｶﾓ池デッキ（2 基、143.77 ㎡）、光と風の広場口管理棟(2,225 ㎡)、ｶﾓ池口管理棟（49.2 ㎡）、ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ(5,000 ㎡)、ポンプ棟（1.74 ㎡）他 ［環境共生の森(153,000 ㎡)］ 展望デッキ（1 箇所 224.935 ㎡）、観察デッキ（2 箇所、65.988 ㎡） 活動拠点施設”里の家”（288.2 ㎡）、大池等、田畑（3,640 ㎡） ［博多湾パノラマ広場（42,000 ㎡）］ ［森の池エリア(51.800 ㎡)］ 倉庫（170 ㎡）、東屋（24 ㎡） ［その他］ 便所、園路、ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ、芝生他
樹林と文化･ いこいの広場	190.8	Ｃ地区	［西口広場・水辺の広場(198,000 ㎡)］ ｽｶｲｼｪﾙﾀｰ（290.73 ㎡）、虹の池、彩りの池、ﾜｸﾜｸ池、ｶﾅｰﾙ、ﾚﾘｰﾌ壁泉、水辺のﾚｽﾄﾊｳｽ（381.5 ㎡）、虹の花壇（2,428 ㎡）、彩りの花壇（1,072 ㎡）、おもちゃ箱花壇（3,538 ㎡）他 ［ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ（13,000 ㎡）］ 花壇（4,900 ㎡）、光の城他 ［バラ園（4,000 ㎡）］ 花壇(1,795 ㎡) ［大芝生広場(240,000 ㎡)］ 芝生広場（芝生面積 149,500 ㎡）、ﾊﾟﾀｰｺﾞﾙﾌ場(18 ﾎｰﾙ)、ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌ場（27 ﾎｰﾙ）、ｽｶｲﾄﾞﾙﾌｨﾝ(ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ遊具)、花畑(20,000 ㎡) ［動物の森(85,000 ㎡)］ 動物（約 50 種 500 頭）の展示エリア、展望の丘（135 ㎡）、水鳥の池、サル島（3 島）、動物獣舎、管理棟(71.19 ㎡)、病理棟（14.58 ㎡）、ふれあい動物舎(89.85 ㎡)、ふれあい広場、動物の森ﾚｽﾄﾊｳｽ（501.42 ㎡） ［いこいの森 410,000 ㎡］ 森の家（722 ㎡）、散策路、野鳥の池、野鳥の池観察舎（2 棟、57.2 ㎡）、四季の森、園路他 ［子供の広場(165,000 ㎡)・ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ］ くじらぐも“ふわんポリン”、移動式遊具“スナッグ”、子供の砦、水辺のトリム、ﾄﾘﾑｺｰｽ(12 基)、じゃぶじゃぶ池、ザイルクライム、他遊具、 花桟敷(1,650 ㎡)、ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ（460 ㎡） ［野外劇場・彫刻の森］ 観覧席（芝生）、野外彫刻（4 体） ［その他］ 港ﾚｽﾄﾊｳｽ、海の中道駅口管理棟、ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ口管理棟(388.9 ㎡)、西口管理棟(224.32 ㎡)、西サイクリング口管理棟(879.95 ㎡)、管理ｾﾝﾀｰ(1,976 ㎡)、松毬庵(15.68 ㎡)、便所、四阿、パーゴラ、噴水、温室、ﾕﾃｨﾘﾃｨ施設、ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ、プロムナード橋、園路他
海浜といこいの広場	58.2	Ｄ地区	ｼｰｻｲﾄﾞﾋﾙｼｵﾔ（1003.87 ㎡の内 353.47 ㎡）、潮見台展望台（427.215 ㎡）、みらい橋 ［その他］ 便所、ﾕｰﾃｨﾘﾃｨｰ施設(763 ㎡)、ｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽ、園路他
計	349.7		

別紙３

主　要　建　築　物　一　覧

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
休養施設	水辺のレストハウス	1 棟	ＲＣ	548 ㎡	水辺の広場
休養施設	動物の森レストハウス	1 棟	ＲＣ	78.75 ㎡	動物の森
休養施設	渡船場レストハウス	1 棟	ＲＣ	382.93 ㎡	リゾートエリア
休養施設	近隣広場休憩所	1 棟	ＲＣ	28 ㎡	西口広場
休養施設	テニスコート休憩所	1 棟	W	60 ㎡	西口広場
休養施設	海中駅休憩所※	1 棟	W	154.37 ㎡	海中駅
休養施設	大芝生休憩所	1 棟	ＲＣ	328.17 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（水辺の広場）	1 棟	ＲＣ	4 ㎡	水辺の広場
休養施設	四阿（大芝生広場Ａ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（大芝生広場Ｂ）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（動物の森）	1 棟	W	4 ㎡	動物の森
休養施設	四阿（大芝生広場）	1 棟	ＲＣ	54.43 ㎡	大芝生広場
休養施設	四阿（近隣広場）	1 棟	W	4 ㎡	西口広場
休養施設	四阿（冒険広場）	1 棟	ＲＣ	33.28 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（トリムコース入口）	1 棟	ＲＣ	20.25 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（水辺のトリム）	1 棟	W	4 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（オリエンテーション広場）	1 棟	ＲＣ	20.25 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（オリエンテーション広場）	1 棟	ＲＣ	20.25 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（子供の砦）	1 棟	ＲＣ	32.46 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（遊戯広場）	1 棟	ＲＣ	16 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（子供の広場）	1 棟	ＲＣ	60 ㎡	子供の森広場
休養施設	四阿（いこいの森１）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森２）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森３）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森４）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森５）	1 棟	ＲＣ	32.4 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（いこいの森池）	1 棟	W	17.64 ㎡	いこいの森
休養施設	四阿（かも池）	1 棟	W	20.25 ㎡	光と風の広場
休養施設	四阿（環境共生の森）	1 棟	W	70 ㎡	環境共生の森
休養施設	ビジター拠点施設	1 棟		24 ㎡	森の池エリア
教養施設	いこいの森ビジターセンター	1 棟	W	722.52 ㎡	いこいの森
教養施設	ロバ舎	1 棟	W	19.44 ㎡	動物の森
教養施設	リスザル舎	1 棟	W	29.94 ㎡	動物の森
教養施設	ラマ舎	1 棟	W	25.92 ㎡	動物の森
教養施設	ポニー舎	1 棟	W	25.92 ㎡	動物の森
教養施設	繁殖棟	1 棟	ＲＣ	14.58 ㎡	動物の森
教養施設	病理棟	1 棟	ＲＣ	14.58 ㎡	動物の森
教養施設	フラミンゴ舎	1 棟	W	13 ㎡	動物の森
教養施設	フサオマキザル舎	1 棟	W	5.76 ㎡	動物の森
教養施設	クモザル舎	1 棟	W	3.24 ㎡	動物の森
教養施設	ウサギ舎	1 棟	W	37.17 ㎡	動物の森
教養施設	カピバラ舎	1 棟	W	19.87 ㎡	動物の森

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
教養施設	マーラ舎	1 棟	W	14.91 ㎡	動物の森
教養施設	アカカンガルー舎	1 棟	W	22.36 ㎡	動物の森
教養施設	ワラビー舎	1 棟	W	22.36 ㎡	動物の森
教養施設	ヤギ舎	1 棟	W	7.48 ㎡	動物の森
教養施設	ヒツジ舎	1 棟	W	16.72 ㎡	動物の森
教養施設	飼料倉庫	1 棟	W	27.56 ㎡	動物の森
教養施設	インコ・オウム舎	1 棟	W	9.94 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎	1 棟	W	3.24 ㎡	動物の森
教養施設	ホロホロチョウ舎	1 棟	W	6.62 ㎡	動物の森
教養施設	治療棟	1 棟	W	195.05 ㎡	動物の森
教養施設	ポニー舎	1 棟	W	37.4 ㎡	動物の森
教養施設	ツル舎	1 棟	W	97.21 ㎡	動物の森
教養施設	馬舎	1 棟	W	20.67 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎（１）	1 棟	W	3.24 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎（２）	1 棟	W	11.56 ㎡	動物の森
教養施設	クジャク舎（３）	1 棟	W	11.56 ㎡	動物の森
教養施設	動物の森隔離舎	1 棟	W	498.8 ㎡	動物の森
教養施設	茶室	1 棟	W	15.68 ㎡	リゾートエリア
便益施設	西サイクリングセンター口管理棟	1 棟	ＲＣ	889.66 ㎡	西口広場
便益施設	西口便所（ゲート内、外）	1 棟	ＲＣ	215.57 ㎡	西口広場
便益施設	便所（西駐車場）	1 棟	ＲＣ	80 ㎡	西口広場
便益施設	便所（大芝生）	1 棟	ＲＣ	81 ㎡	大芝生広場
便益施設	便所（近隣広場）	1 棟	ＲＣ	49 ㎡	西口広場
便益施設	便所（子供の広場）	1 棟	ＲＣ	42.99 ㎡	子供の森広場
便益施設	便所（冒険の広場）	1 棟	ＲＣ	43 ㎡	子供の森広場
便益施設	便所（野外劇場周辺）	1 棟	ＲＣ	75 ㎡	野外劇場周辺
便益施設	便所（オリエンテーション入口）	1 棟	ＲＣ	93.63 ㎡	子供の森広場
便益施設	便所（テニスコート）	1 棟	S	15.36 ㎡	リゾートエリア
便益施設	便所（運動広場）	1 棟	ＲＣ	10.24 ㎡	その他
便益施設	文化施設エリア丸形便所	1 棟	ＲＣ	74.96 ㎡	リゾートエリア
便益施設	中央駐車場便所（１）	1 棟	ＲＣ	37.6 ㎡	リゾートエリア
便益施設	中央駐車場便所（２）	1 棟	ＲＣ	40.35 ㎡	リゾートエリア
便益施設	ワンダーワールド駐車場便所	1 棟	ＲＣ+W	88.8 ㎡	リゾートエリア
便益施設	いこいの森便所（１）	1 棟	ＲＣ	36.75 ㎡	いこいの森
便益施設	いこいの森便所（２）	1 棟	ＲＣ	36.75 ㎡	いこいの森
便益施設	いこいの森便所（３）	1 棟	ＲＣ	6 ㎡	いこいの森
便益施設	ワンダーワールド便所	1 棟	ＲＣ	76.57 ㎡	子供の森広場
便益施設	管理用便所	1 棟	S	6.9 ㎡	その他
便益施設	彫刻の森便所	1 棟	ＲＣ	56 ㎡	彫刻の森
便益施設	動物の森便所	1 棟	ＲＣ	22.35 ㎡	動物の森
便益施設	スカイドルフィン身障者便所	1 棟	ＲＣ	4.91 ㎡	大芝生広場
便益施設	Ｂ地区駐車場便所	1 棟	ＲＣ	76.24 ㎡	光と風の広場
便益施設	デイキャンプ場便所	1 棟	ＲＣ	69.87 ㎡	光と風の広場
便益施設	博多湾パノラマ広場便所	1 棟	W	36 ㎡	光と風の広場
便益施設	フラワーミュージアム便所	1 棟	ＲＣ	109.02 ㎡	フラワーミュージアム

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
便益施設	潮見台便所	1 棟	ＲＣ	76.92 ㎡	潮見台エリア
便益施設	カナール付近	1 棟	ＲＣ	76.92 ㎡	水辺の広場
便益施設	西サイクリング身障者便所	1 棟	ＲＣ	4.91 ㎡	西口広場
便益施設	環境共生の森屋外便所	1 棟	W	36 ㎡	環境共生の森
便益施設	Ｄ地区海浜部屋外便所	1 棟	ＲＣ	62.9 ㎡	その他
管理施設	焼却場	1 棟	ＲＣ	144.67 ㎡	その他
管理施設	焼却場	1 棟	ＲＣ	246.19 ㎡	その他
管理施設	焼却炉	1 棟	ＲＣ	630 ㎡	その他
管理施設	西入口ブース	1 棟	S	3 ㎡	西口広場
管理施設	中央駐車場ブース	2 棟	S	6.94 ㎡	リゾートエリア
管理施設	温室（1）	1 棟	S	189 ㎡	その他
管理施設	温室（2）	1 棟	S	240.87 ㎡	その他
管理施設	ガラス室	1 棟	S	236.25 ㎡	その他
管理施設	インフォメーション	1 棟	ＲＣ	53.55 ㎡	子供の森広場
管理施設	管理センター	1 棟	ＲＣ	1611.84 ㎡	リゾートエリア
管理施設	西口管理詰所	1 棟	ＲＣ	224.34 ㎡	西口広場
管理施設	プール北管理棟	1 棟	ＲＣ	478.51 ㎡	サンシャインプール
管理施設	海中口管理棟	1 棟	W	159.4 ㎡	その他
管理施設	ワンダーワールド口管理棟	1 棟	ＲＣ	447.67 ㎡	子供の森広場
管理施設	光と風の広場管理棟（一部）	1 棟	ＲＣ	1606.08 ㎡	光と風の広場
管理施設	カモ池口管理棟	1 棟	W	49.2 ㎡	光と風の広場
管理施設	環境共生の森活動拠点施設	1 棟	W	230.75 ㎡	環境共生の森
管理施設	利活用拠点施設※	1 棟		170 ㎡	森の池エリア
管理施設	管理センター車庫1	1 棟	ＲＣ	320.75 ㎡	リゾートエリア
管理施設	管理センター車庫2	1 棟	ＲＣ	50 ㎡	リゾートエリア
管理施設	倉庫（焼却場）	1 棟	ＲＣ	317.78 ㎡	リゾートエリア
管理施設	いこいの森倉庫	1 棟	ＲＣ	42 ㎡	いこいの森
管理施設	大芝生広場倉庫	1 棟	ＲＣ	50.79 ㎡	大芝生広場
管理施設	汚水ポンプP1-1	1 棟	ＲＣ	27.41 ㎡	リゾートエリア
管理施設	汚水ポンプP1-2	1 棟	ＲＣ	30.63 ㎡	子供の森広場
管理施設	汚水ポンプP1-3	1 棟	ＲＣ	30.63 ㎡	水辺の広場
管理施設	汚水ポンプP1-4	1 棟	ＲＣ	23.16 ㎡	西口広場
管理施設	汚水ポンプP1-5	1 棟	ＲＣ	34.92 ㎡	リゾートエリア
管理施設	汚水ポンプP1-6	1 棟	ＲＣ	37.07 ㎡	水辺の広場
管理施設	汚水ポンプP2-1	1 棟	ＲＣ	23.16 ㎡	動物の森
管理施設	汚水ポンプP2-2	1 棟	ＲＣ	27.41 ㎡	いこいの森
管理施設	光と風の広場排水機場	1 棟	ＲＣ	65.9 ㎡	光と風の広場
管理施設	東池濾過器室	1 棟	ＲＣ	52.25 ㎡	水辺の広場
管理施設	壁泉濾過器室	1 棟	ＲＣ	6 ㎡	水辺の広場
管理施設	小動物放飼園ポンプ室	1 棟	ＲＣ	17.71 ㎡	動物の森
管理施設	大芝生広場ポンプ室	1 棟	ＲＣ	16 ㎡	大芝生広場
管理施設	冒険の池ポンプ室	1 棟	ＲＣ	12.93 ㎡	子供の森広場
管理施設	冒険の池ポンプ室（管理棟）	1 棟	ＲＣ	5.7 ㎡	子供の森広場
管理施設	中央受電所	1 棟	ＲＣ	99.54 ㎡	子供の森広場
管理施設	シオヤ電気室棟	1 棟	ＲＣ	72 ㎡	潮見台エリア

分類	名　　称	数　量	構造	（面積）　単位	設置箇所
管理施設	ワンダーワールド電気室	1 棟	ＲＣ	95.32 ㎡	子供の森広場
管理施設	光と風の広場中央受電所	1 棟	ＲＣ	140.7 ㎡	光と風の広場
管理施設	プールA電気室	1 棟	ＲＣ	192 ㎡	サンシャインプール
管理施設	プールB電気室	1 棟	ＲＣ	144 ㎡	サンシャインプール
管理施設	シオヤ展望管理事務所	1 棟	ＲＣ	749.29 ㎡	潮見台エリア
管理施設	西口スカイシェルター	1 棟	ＲＣ	290.73 ㎡	西口広場

※海の中道駅口再整備に伴う工事により建物面積が変更する。

別紙４

表　収益施設一覧

公園施設の名称				許可予定面積（㎡）	必須/裁量	備考
1	駐車場	①	西駐車場Ａ	34,825	必須	
		②	西駐車場Ｂ	24,870	必須	
		③	西駐車場Ｃ	16,289	必須	
		④	海の中道駅口駐車場	18,464	必須	
		⑤	ワンダーワールド口駐車場	22,233	必須	
2	レンタサイクル施設	①	西サイクリングセンター	785	必須	
		②	ワンダーワールド口サイクリングセンター	184	必須	
		③	駅口サイクリングセンター	142	必須	
		④	光と風の広場口サイクリングセンター	296	必須	
		⑤	港サイクリングセンター	295	裁量	（保管・自転車整備場として活用）
		①	マリンワールド駐車場横売店	38	裁量	ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ倉庫含む
		②	アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）	11	裁量	
		③	プール内売店Ａ	159	裁量	サンシャインプールの内数
		④	プール内売店Ｂ	80	裁量	
		⑤	プール内売店Ｃ	82	裁量	
4	サンシャインプール	①	プール、管理棟、ロッカー棟等	92,243	必須	営業期間及びその前後の開設準備・撤去期間に限り収益施設として運営
5	自動販売機	①	清涼飲料水等　建物内　　14台	15	必須	
		②	清涼飲料水等　屋外　　56台	87	必須	
6	園内交通施設	①	園内交通車両、車庫、停留所	177	裁量	

別紙５

国営海の中道海浜公園
運営維持管理基本方針

令和５年４月

国土交通省　九州地方整備局

目　　次

１．運営維持管理基本方針の目的・位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．１ 公園建設の目的及び計画理念 ・・ 1
１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
１．４ 運営維持管理基本方針の対象 ・・ 2

２．運営維持管理の基本方針 ・・・ 3
２．１ 国営海の中道海浜公園の公園づくりの基本理念 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．２ 今後の運営維持管理の基本方針 ・・ 3

３．運営維持管理の重点事項 ・・ 5

1. 運営維持管理基本方針の目的･位置づけ

１．１ 公園建設の目的及び計画理念

海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）は、昭和47 年に返還された米軍博多基地（キャンプ博多）の跡地利用について様々な検討が行われたことに端を発している。広大で良好な自然環境を有する、玄界灘と博多湾を隔てて志賀島へ伸びる半島「海の中道」において、北部九州における広域的なレクリエーション利用、「白砂青松」の良好な自然環境の保全を目的に、大規模都市公園として昭和50 年に都市計画決定を行い、国内第５番目の国営公園である。

その後、昭和51 年に以下の基本理念及び基本方針が策定され、現在でも引き継がれているところである。

【海の中道海浜公園建設の基本理念】

「海の中道」の歴史的形成過程とその進化の方向性及び自然生態的段階を十分認識した上で、より積極的に高度な環境を創出することと、レクリエーション需要の増大と多様な公共レジャーの需要に対応した循環的かつ長期的に対応しうる内容と質を確保する。また、この目標は福岡県内にとどまらず広域圏を対象としてとらえるべきである。

【海の中道海浜公園建設の基本方針】

１．本公園の特色ある地形、すなわち、海の中道と称される細長い半島と、その歴史的、文化的背景に留意し、現状の自然環境を尊重するとともに、修景技術を導入して、自然の中に、自然と人との楽しい関わりあいを求めることを基調とする。

２．野外のレクリエーションを気軽に楽しみ、また自然環境の中にあって、自然学習と研修の場とする。

３．既存の自然を生かしながら、緑、芝生、花、池、丘などによって、新たなランドスケープを造成する。

１．２ 運営維持管理基本方針の策定の背景・目的

本公園は、通称「海の中道」の中央部、幅0.5～1 ㎞、長さ約6 ㎞の区間にわたって位置し、地形は平坦で海浜地特有のクロマツ林を主体とした海岸線を有したいわゆる白砂青松の景観を持ち、計画面積約539haの広さを有し、令和3年度には約156万人が来園している。

本公園は、昭和56 年10 月に第１期開園し、平成22 年3 月には「環境共生の森（みらいの森）」、平成23 年3 月には「海の松原（玄界灘海浜部中央部及び西部）」、令和2年4月には「森の池」を順次開園し、現在では約349.7ha が開園している。本公園では、「基本計画」、令和３年に公表した「整備・管理運営プログラム」及びうみなかビジョン2030に基づき、老朽化に対応した改修と維持管理を進めているところである。

国営海の中道海浜公園の運営維持管理については、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号。以下「法」という。）に基づき、公共サービス改革基本方針

（平成 22 年 7 月 6 日閣議決定）において、法に基づく民間競争入札（総合評価方式一般競争入札）を実施することとされ、平成 24 年度の業務以降、3 期にわたり市場化テストを実施してきたところである。

今般、これまでの市場化テストの実施状況を踏まえ、官民競争入札等監理委員会において「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会）に基づき、終了プロセスへの移行を了承することとされ、公共サービス改革基本方針（令和 3 年 7 月 9 日閣議決定）により、法の対象から外し、今後実施府省等の責任において入札・契約を行うこととなった。なお、指針においては、「市場化テスト終了後の事業実施については、法の対象から外れることとなるものの、これまで監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続及び情報開示に関する事項等を踏まえた上で、実施府省等が自ら公共サービスの質の維持向上及びコストの削減を図っていくことを求めることとする」とされている。

上記を踏まえ、国土交通省九州地方整備局（以下「九州地方整備局」という。）は、R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務（以下「本業務」という。）について、事業者に対し、維持管理業務にあたっての基本的な考え方を示す必要が生じている。

以上のような背景を踏まえ、「運営維持管理基本方針」を策定した。

１．３ 運営維持管理基本方針の位置づけ

この運営維持管理基本方針は、九州地方で第１号の国営公園である国営海の中道海浜公園が、その使命や役割を担うための運営維持管理のあり方を示したものであり、以下の内容で構成している。

①運営維持管理の基本方針

②運営維持管理の重点事項

１．４ 運営維持管理基本方針の対象

基本方針は、既に供用している全園を対象としたものである。今後の維持管理においては、レストランや駐車場等の収益施設についても、互いに連携・調整を図りながら、効果的・効率的な維持管理に努めるものとする。

2. 運営維持管理の基本方針

２．１ 海の中道海浜公園の公園づくりの基本理念

本公園では、これまで、上述した設置目的・計画理念に基づく公園づくりを進めてきた。今後は、社会情勢の変化などを背景として整備及び運営維持管理を進めていくこととなるが、設置目的・計画理念については共通した考え方として今後４年間も継承していく。

２．２ 今後の運営維持管理の基本方針

本公園は、その存在価値や利用価値を、継承・連携・発信していくことにより、良好な自然的条件を有効利用し、多様なレクリエーションの需要に対応する都市公園としての役割を担う公園である。

公園の存在価値とは、社会資本である公園が公共の福祉の増進等に貢献する機能や施設を有していることであり、公園の存在自体に価値があることである。この存在価値は、市場原理になじみにくく、持続的に維持しなければならない根元的なものである。

一方、利用価値とは、存在価値を維持した上で、公園施設や機能を活用した様々な活動が豊かに展開される公園の利用環境を意味している。この利用価値は、多様な主体の知恵や工夫を活用して、安全、安心、快適な公園環境を創出していかなければならないものである。

この存在価値や利用価値を継承・連携・発信していくためには、国営海の中道海浜公園を運営維持管理・利用する多様な主体（国、運営維持管理事業者、ＮＰＯ、ボランティア、利用者、民間事業者等）が、今後の国営海の中道海浜公園のあるべき目標・将来像を共有し、国営海の中道海浜公園のさらなる魅力向上に向けた取組を推進していく必要がある。

そのため、今後の国営海の中道海浜公園における運営維持管理の基本的な方針として、以下に示す基本方針を設定した。

基本方針１）広域レクレーション需要への対応

玄界灘と博多湾に挟まれた広大で豊かな自然環境を活かしつつ、サンシャインプールや海洋生態科学館等の本公園に存する多様な施設との連携を図りながら、本公園が持つ資源を最大限活用するとともに、多様な主体と連携し、季節に応じた多種・多様な行催事を実施することにより、北部九州並びにより広域に居住する人々にとって魅力ある公園とする。

基本方針２）環境共生の取り組み

本公園の豊かな自然環境や多様な施設を活かし、環境教育の場としての機能の強化、植物性廃材の活用等によるゼロ・エミッションの推進、地域住民との協働による新たな森づくり等、地域の環境を向上させる取組を発展させていくことにより、環境共生の取組の拠点となる公園とする。

基本方針３）ユニバーサルデザインの積極的な取り組み

公園利用者へのホスピタリティーの向上に努めるとともに、子供の広場等のユニバーサルデ

ザインに配慮した多様な公園施設にあわせ、公園利用者の活動に応じたハード面及びソフト面での取組を充実することによって、年齢、国籍、障がいの有無を問わず、すべての人々が様々な活動を楽しむことが出来る公園とする。

基本方針４）来園者の安全・安心の確保

様々な活動が行われる本公園において、利用者の安全を確保する際には、単に活動を規制するのではなく、巡視活動や安全指導等により、本公園の施設特性を活かした安全対策となるよう努める。また、地震・津波等の大規模災害の発生や口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の動物感染症発生等の非常時に適切かつ迅速な対応が可能となるよう、日頃から防災意識の向上に努めるとともに、関係機関との連携の構築に努める。

3. 運営維持管理の重点事項

２．で定めた基本方針と併せ本公園の運営維持管理にあたり重点的に取り組む事項を整理した。

（1） 大規模花修景を活かしたイベントの開催

春期・秋期の利用実態調査において、「花がきれいだから」が来園動機の１位となっている状況を踏まえ、年間を通して魅力の高い花修景、花壇・花畑等（除草、枯れた花弁の摘花、灌水、花壇周辺の樹木の剪定等）の管理を行う。

特に、都市緑化月間の推進・啓発を目的とした、春期の「フラワーピクニック」秋期の「うみなか☆はなまつり」では、花の丘、虹の花壇、彩りの花壇を中心に来園者満足度の高い花修景を実施する。

（2） 「動物の森」の資源を活かした展示・イベントの実施

年間を通じて公園利用者のうち３割強の方に利用頂いている「動物の森」において、人と動物がふれあい、観察することによって、その生態や命の尊さ学ぶことができる展示やイベントを実施する。また、ふれあいを基本とした展示を行うことから、動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うことはもとより、「動物の森」のすべての施設を清潔かつその機能を正常に保持する。

（3） 市民との協働の推進

地域の自然特性と生態系に沿った多様性のある森を創造し、その過程の中で人と自然の関わりについて実感できる場という「環境共生の森（みらいの森）」のコンセプトに沿って、市民参加による一（いち）からの森づくりや田畑（里山）づくりを進める。また、その実施にあたっては、ボランティアとの協働を基本とする。

また、多種多様な自然体験や参加型イベント等を通じ、環境学習や地域づくりを支える人材育成の場等として活用することで公園のもつ多機能性が発揮されるよう、NPO、地域住民及び行政が一体となり、活動できる仕組みづくりを進めるものとする。

（4） 海浜部のクロマツ林の保全・育成

本公園のクロマツ林と白い砂浜の織りなす風景は、「白砂青松」 100 選に選ばれる等美しい景観を形成しているとともに、防風・防砂といった防災・気象緩和機能も有していることを念頭に適切な保全・育成を行う。

（5） 環境学習プログラムの提供

本公園の広大で良好な自然環境と多様な施設を活かしつつ、子ども達が自然とのふれあいを通して環境の大切さや生物の命の尊さについて学ぶことができる環境学習プログラムを提供する。

（６） 子育て世代の来園者への支援の充実

本公園には、福岡市が推奨する赤ちゃんの駅に登録された授乳室が６箇所あり、利用者の声等をもとにハード・ソフト両面での充実を図っていく。また、子育て支援の主催イベントの企画や持込イベントの誘致なども積極的に実施する。

（７） シルバー層（65 歳以上）への配慮

日除け（緑陰など）やベンチ・椅子の適正配置や園内移動手段の充実などで園内の移動円滑化に十分配慮を行う。また、「花がきれいだから」「家族と一日遊べるから」等シルバー層の来園動機となっている事項について、より一層の充実を図る。

（８） 障がい者等への配慮

施設やイベント毎に利用可能情報等をＨＰや紙媒体の広報物等に掲載し、障がい者自ら（介助者含む。）が公園利用の可否を判断できるよう配慮する。また、参加型プログラムの充実、公園スタッフのサポート技術の向上、簡易なバリアの解消等、障がい者が公園で楽しめるようユニバーサルデザインを意識した取組みを推進する。

また、外国人観光客が十分楽しめるようインバウンド対応にも取り組むものとする。

（９） 海の中道全体の活性化

マリンワールド海の中道やザ・ルイガンズ．等を運営するPFI事業者、青少年海の家を運営する指定管理者、INN THE PARK等を運営するP-PFI事業者など園内の関係機関がそれぞれの強みを活かしつつ、連携して公園の魅力向上をより高める取組を実施する。

(10) 高病原性鳥インフルエンザ対策

高病原性鳥インフルエンザの対応については、「動物の森」が発生源とならないよう常日頃から万全な自主防疫に努めること。また、家畜伝染予防法及び各所管官庁（家きん類が農水省（家畜衛生保健所）、非家きん類の飼育鳥が環境省（動物管理センター）、非家きん類の野鳥が環境省（保険福祉環境事務所））の対応マニュアルに基づき作成した自主防疫指針及び園内及び10km 圏内発生時の対応マニュアルに基づき適切に対応する。

(11) 口蹄疫等対策

口蹄疫等動物に関わる感染症について、「動物の森」が発生源とならないよう常日頃から万全な自主防疫に努めること。また、家畜伝染予防法に基づき対応するとともに、周辺地域の発生・拡大等を受けて関係機関より通知等があった場合には、調査職員等と協議し適切かつ迅速に対応する。

別紙６

R5-9

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
共通仕様書

令和５年４月

国土交通省九州地方整備局

第１章 総則

第１条 目的

国営海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）は、良好な自然環境を活用し、九州地方の広域的なレクリエーション需要に対応するために国が設置したイ号国営公園※である。（別添１「公園平面図」参照）

本公園では、以下の計画理念、テーマの下に総合的に整備、管理、運営を進めている。（別紙５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針」参照。）

１.計画理念

１）広域生活圏居住者の日常及び週末あるいは滞在型のレクリエーション需要に対応するため、多様性、選択性に富んだ諸施設を配置する。

２）レクリエーション施設としては、自然に親しみ、休養を目的とするパッシブなレクリエーション面と、運動を目的とするアクティブな施設を選択、配置し、設計に当たっては総合的な土地利用を配慮して、既存集落、産業との調整を図りつつ地域の開発に寄与するものとする。

３）地区の風土を生かし、文化財の保護にも留意して特色ある設計を行う。

４）自然保全については園内における利用施設との調和はもちろん、良好なレクリエーション環境の育成のためにレクリエーション拠点の周辺には保全区域を配置する。

５）良好なレクリエーション環境を整備するため、街路、下水道等の基盤整備を配慮する。

２.テーマ

下記の３つのテーマを基調に、全体的な調和を図りながら、新たなランドスケープを創造し、一貫した統一体として有機的に機能させることを目指している。

１）緑の樹林

２）碧い海

３）輝く太陽

昭和 56 年の開園時から令和３年３月末までの公園利用者数累計は、約 6,946 万人であり、令和３年度には年間約 156 万人の方々に利用されている。

本業務は、本公園において、国の組織である国事務所との調整の下で、九州における広域レクリエーション需要に対応するために設置された国営公園であることを踏まえ、より多くの利用者が安全で快適に利用できるよう、公園利用者サービスや利用指導を図ると共に、公園の質的レベルを維持、向上させ、本公園全般にわたり、動物・植物等の公園資産を保全、増進させることを目的とする。

※イ号国営公園とは、一の都府県の区域を超えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地。

第２条 適用及び用語の定義

本仕様書は、R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」、「植物管理業務」及び「動物管理業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

なお、本仕様書に用いる用語の定義は、次の各号に掲げるとおりである。

１.「九州地方整備局」とは、国営公園の管理主体者である九州地方整備局長及び本公園事務所長のこと。

２.「調査職員」とは、契約図書に定められた範囲内において、事業者又は事業者の指定する職員に対する指示、承諾又は協議等の職務を行う九州地方整備局の指定する職員で、総括調査員、主任

調査職員及び調査職員を総称していう。なお、事業者には主として主任調査職員及び調査職員が対応することとなる。

3．「検査担当者」とは、本業務に関する検査を行う九州地方整備局の指定する職員をいう。

4．「事業者」とは、本公園の運営維持管理者として、本業務を受注した者のこと。

5．「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、本公園を利用する者のこと。

6．「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、収益施設等運営者が九州地方整備局及び調査職員と事前に協議し、都市公園（昭和 31 年法律第 79 号）法第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を受けた上で、収益施設等運営者の提案により土地使用料等を納めて独立採算により繁忙期における臨時飲食・物販及び臨時駐車場の運営・管理、通年での飲食物販施設等の設置運営、指定する既存施設の改修運営や行催事・広報等を行う事業のこと。

7．「収益施設」とは、利用料金の徴収や売上金を得て施設等運営者の収入とするために施設等運営者が実施する事業の対象となる施設であり、その使用に当たっては、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条に基づく許可を受けた上で、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設使用料又は建物使用料及び土地使用料を納めることが必要となる場合がある。

8．「入園料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条第２項及び都市公園法施行規則（昭和 31 年建設省令第 30 号）第 11 条第２項に基づき、有料区域を利用する者から徴収する料金のこと。

9．「利用料金」とは、収益施設等の使用やそれに伴うサービスの対価として、収益施設等を利用する者から徴収する料金のこと。

10.「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設等運営者が九州地方整備局に納める公園の土地又は建物の使用にかかる料金のこと。

11.「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地又は建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和 33 年蔵管第１号）に基づき九州地方整備局から金額を通知し、施設等運営者が九州地方整備局に納める料金のこと。但し、公共性の高い行催事を国営海の中道海浜公園事務所との共催により行う場合は、建物使用料及び土地使用料は不要となる場合がある。

12.「業務責任者」とは、本仕様書の第 13 条に示す業務内容である本業務全体の計画立案及びマネジメント、企画立案、施設・設備維持管理、植物管理、及び動物管理の個々の業務遂行を監理するもののこと。

13.「総括責任者」とは、本業務全体を監理するものであり、業務責任者のうち、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の業務責任者をもってそれにあてること。

14.「スタッフ」とは、事業者が業務を履行するための職員、アルバイト、その他関係従事者をいう。

15.「管理物件」とは、別添１「公園平面図」に示す敷地及び附属設備を指す。なお、同敷地内であっても、第三者が持ち込み、又は、管理許可を受け、若しくは占用している設備・機器、工作物等については、その対象から除外する。

16.「国事務所」とは、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所のこと。

17.「管理事務所」とは、別添３「提供施設一覧及び図面」のうち建物番号 21 に関連する図面を指す。

18.「管理センター」とは、管理事務所を拠点として本業務を遂行する組織のこと。

19.「修繕」とは、施設の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。

20.「改修」とは、施設の性能又は機能を従前より向上させる措置を行うこと。

21.「保守」とは、機器等の必要とする性能又は機能を維持する目的で行う消耗品又は材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。

22.「点検」とは、施設の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べることをいい、機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。

23.「指示」とは、九州地方整備局若しくは調査職員が事業者に対し、業務の遂行上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。

24.「通知」とは、九州地方整備局若しくは調査職員が事業者に対し、又は事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務に関する事項について、書面をもって知らせることをいう。

25.「報告」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせることをいう。

26.「承諾」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、九州地方整備局若しくは調査職員が書面により業務上の行為に同意するこ

とをいう。
27.「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、九州地方整備局若しくは調査職員と事業者が対等の立場で合議することをいう。
28.「提出」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。
29.「提示」とは、調査職員が事業者に対し、または事業者が調査職員に対し、書面またはその他の資料を示し、説明すること。
30.「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、署名又は捺印したものを有効とする。但し、緊急を要する場合は、ファクシミリ又は電子メールにより伝達できるが、後日有効な書面と差し替える。電子納品を行う場合は、別途調査職員と協議する。
31.「検査」とは、既済検査あるいは完了検査のことをいう。
32.「勧告」とは、九州地方整備局が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって改善等の行動をとるように説きすすめることをいう。
33.「命令」とは、九州地方整備局が事業者に対し、業務等に関する事項について、書面をもって、改善等の一定の義務を課する具体的な処分をいう。
34.「モニタリング業務」とは、事業者が実施する利用実態調査及び本業務に対する自己評価並びにその結果について九州地方整備局に報告を行う一連の業務を指す。
35.「関係機関」とは、本業務遂行上関係する、警察、消防、行政等の機関を指す。
36.「運営維持管理業務以外の施設とは、本公園内において九州地方整備局が PFI 事業者、P-PFI 事業者及び福岡市等に都市公園法５条に基づき設置及び管理を許可している公園施設のこと。該当する施設は、海の中道海浜公園海洋生態科学館（マリンワールド）、海の中道海浜公園研修宿泊施設等（ホテル：ザ・ルイガンズ、研修棟、マリーナ、テニスコート、駐車場、シオヤ岬レストハウス）、海の中道海浜公園官民連携推進事業管理施設（海の中道 P-PFI 管理施設）及び海の中道青少年海の家である。
37.「運営維持管理業務以外の施設管理者」とは、運営維持管理業務以外の施設等の管理者及び運営者（PFI 事業者、P-PFI 事業者、福岡市）のこと。
38.「施設利用者」とは、収益施設等を利用する者のこと。
39.「収益施設等」とは、自主事業と収益施設の設置運営管理業務を総称したもの。
40.「施設等運営者」とは、収益施設等の設置管理運営に関する許可を受けた事業者のこと。
41.「収益施設等設置管理運営業務責任者」とは、収益施設等の業務全体を監理する者のこと。

第３条 総則

１．本仕様書は、本業務を遂行するために必要な事項を定め、もって本公園の適正な運営維持管理を期するものである。
２．委託業務の実施は、国営海の中道海浜公園運営維持管理業務委託契約書（以下「契約書」という。）によるほか、本仕様書によるものとする。

第４条 準拠規定

委託業務の遂行に当たっては、次の各号に掲げる基準等に準拠する。

1.都市計画法
2.都市公園法
3.自然公園法
4.森林法
5.森林病害虫等防除法、その他松くい虫防除に関する関係法令等
6.景観法、屋外広告物条例
7.国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
8.遺失物法
9.個人情報の保護に関する法律
10.行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律
11.行政機関の保有する情報の公開に関する法律
12.労働基準法、労働安全衛生法、パートタイム労働法
13.雇用保険法

14. 労働者災害補償保健法
15. 健康保険法
16. 施設維持、設備保守点検等に関する法律
　１）建築基準法
　２）電気事業法及びこれに基づく政令等
　３）水道法、下水道法
　４）消防法
　５）建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び建築物環境衛生管理基準(厚生労働省)
　６）容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
　　以上のほか、施設維持管理及び設備保守点検等に関する関連法規
17. 都市公園における遊具の安全確保に関する指針及び遊具の安全確保に関する規準（JPFA-S:2014）
18. 工事に関する法規及び規定
　１）建設業法
　２）建設産業における生産システム合理化指針(平成３年)
　３）建設工事に係る資材の再資源化に関する法律
　　以上のほか、工事に関する関連法規等
19. 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律
20. 動物管理及び自然環境保護に関する法規･基準
　１）動物の愛護及び管理に関する法律
　２）博物館法
　３）絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
　４）文化財保護法
　５）獣医師法
　６）獣医療法
　７）鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律
　８）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
　９）家畜伝染病予防法
　10）牛海綿状脳症対策特別措置法
　11）口蹄疫対策特別措置法
　12）口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針、口蹄疫防疫措置実施マニュアル
　13）動物展示施設における人と動物の共通感染症対策ガイドライン
　14）動物由来感染症ハンドブック及び関係するガイドライン
　15）薬事法
　16）農薬取締法
　17）麻薬及び向精神薬取締法
　18）毒物及び劇物取締法
　19）特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
　20）「環境省レッドデータブック」ほか希少動植物に関する基準
　21）水質汚濁防止法
　22）廃棄物の処理及び清掃に関する法律
　23）大気汚染防止法
　24）騒音規制法

25）振動規制法
26）福岡県レッドデータブック
27）新飼育ハンドブック
以上のほか、動物及び自然環境保護に関する関連法規等

21. 公園のバリアフリー化に関する法規・基準
１）高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
２）高齢者、身体障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
３）移動等円滑化促進に関する基本方針
４）都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン
５）移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令
６）福岡市「福祉のまちづくり条例」
７）公園のユニバーサルデザインマニュアル（財団法人、都市緑化技術開発機構、公園緑地バリアフリー共同研究会編）
以上のほか、施設のユニバーサルデザインに関する法規等

22. 公共の施設として遵守すべき法規・基準
１）健康増進法
以上のほか公共の施設として遵守すべき関連法規等

23. 公園運営の指針とすべき基準類
１）海の中道海浜公園整備・管理運営プログラム
２）うみなかビジョン２０３０～国営海の中道海浜公園の将来像～
３）平成 21 年度　環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外業務報告書及び資料編
４）平成 22 年度　松林保全再生調査その他業務報告書
５）平成 26 年度　海の中道海浜公園松林育成管理計画策定外業務報告書
６）平成 29 年度に策定した「森の池エリア」整備管理運営基本計画
７）国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領
８）国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目
９）園内におけるロケーション等の許可に関する要領
10）国営海の中道海浜公園　野外劇場利用及びコンサート等の許可に関する要領
11）国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則
12）「遊泳用プールの衛生基準について」（平成 19 年５月 28 日健発第 0528003 号厚生労働省健康局長通知）
13）平成 19 年度に策定した植栽更新・管理計画

以上のほか公園運営に関する指針及び基準類等

24. 印紙税法、消費税法等税制に関する法律

25. 公園運営の指針とすべき関係仕様書類
施設の維持補修にあたり、利用者の安全な利用及び国有財産の適切な管理を行ううえで配慮が必要な施設については、以下の仕様等に基づき施工すること。
１）土木工事共通仕様書（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設技術情報等に掲載）
２）公共建築工事標準仕様書　建築工事編（最新版）
３）公共建築工事標準仕様書　電気設備工事編（最新版）

４）公共建築工事標準仕様書　機械設備工事編（最新版）
５）電気通信設備工事共通仕様書（最新版）
６）機械設備工事標準仕様書（最新版）
７）設計業務等共通仕様書（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
８）土木請負工事必携（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設技術情報等に掲載）
９）土木工事施工管理の手引き（最新版：九州地方整備局ホームページ・建設技術情報等に掲載）
10）電気設備に関する技術基準を定める省令
11）建築保全業務共通仕様書及び同業務報告書作成の手引き（最新版）
12）国土交通本省委託契約取扱要領（別添２）
13）国営海の中道海浜公園マニュアル（調査職員より貸与）
14）都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）
15）その他国営海の中道海浜公園関連資料
16）食品衛生法、福岡市食品衛生条例、福岡県食品衛生法施行条例、福岡県食品取扱条例及び同施行規則、特殊形態営業に関する取扱要領の改正について（福岡県通知）
17）個人情報の保護に関する法律(平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号)
18）国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
19）原状回復をめぐるトラブルとガイドライン（改訂版）（国土交通省住宅局住宅総合整備課）
20）その他、関係諸法令等

第５条 事業者の責務

１．運営維持管理者となる事業者は、委託業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。
２．本公園設置の意義を踏まえて、その効用を最大限発揮させるよう、努力しなければならない。
３．本業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、第２章に示す多岐にわたる業務を総合的な調整の下、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施しなければならない。
４．事業者は、本公園の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、公園利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指さなければならない。
５．事業者は、委託業務の実施に当たって、九州地方整備局又は調査職員と密接な連絡をとり、委託業務の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録しておくものとする。

第６条 九州地方整備局と事業者の責任分担

本公園の運営維持管理業務を実施するにあたり、事業者と九州地方整備局の責任分担を下表「責任分担表」のとおりとする。但し、「責任分担表」に定める事項に疑義が生じた場合、又は、「責任分担表」に定めのない事項については、九州地方整備局と事業者の間で十分に協議の上決定するものとする。

九州地方整備局と事業者の責任分担

項目		九州地方整備局	事業者	
			運営維持管理	収益施設
	内　　容			
料金徴収業務	入園料等（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務（徴収料金は、九州地方整備局に納付）		○	
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第 5 条に基づき設置・管理されている施設は除く。）		○	
収益施設の管理	収益施設の管理			◎
物品の管理	九州地方整備局より提供のあった物品の管理		○	◎
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○	
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○	◎
	但し、30/1000 以上の物価変動が見込まれる場合	○		
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○	◎
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○	
	収益施設の運営日時の変更に伴う経費の増減			◎
許認可	都市公園法に基づく許認可	○		
	公園利用者の受付及び書類交付手続きの補助		○	
施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		◎	◎
	修繕にかかる費用が 1 件あたり 100 万円を超えない場合かつ年間修繕費用（※1）2,500 万円（税抜き）【令和６～８年度】、400 万円（税抜き）【令和５年度分】、2,100 万円（税抜き）【令和９年度分】を超えない場合（上記①を除く。）。		○	
	収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用（上記①を除く。）。（※2）			◎
	上記 3 項目以外の場合 なお、予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○		
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策本部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等 ※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○		
	動物の感染症等により家畜衛生保健所等の指導等により、緊急的に特段の措置等の必要が生じた場合。		○	
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎	◎
	共通仕様書第 27 条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○	◎
	上記 2 項目以外の場合	○		
第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎	◎
	上記以外の場合	○		

責任を有する側を項目ごとに○または◎としており、事業者の責任分担に係る項目のうち◎の項目については委託費を充当することができない。

※1：年間修繕費用は、軽微な維持管理修繕に要した費用の過去の実績平均と現在の状況を踏まえた額であり、本業務

において事業者によるこれと同程度の修繕を見込んでいる。実績は、別紙－32「建物・工作物に係る修繕履歴」を参照のこと。

※2：震災等大規模な自然災害の影響やウイルス等による感染症のまん延等の影響等、事業者の責めに拠らない理由で収益施設の収支バランスが大きく変わった場合、収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる計画内容や責任分担の変更について、九州地方整備局に協議することができる。

第７条　契約の解除

九州地方整備局は、事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

a) 偽りその他不正の行為により落札者となったとき。
b) 3.1 に示す入札参加に要求される資格の要件を満たさなくなったとき。
c) 契約に従って本業務を実施できなかったとき、又は実施できないことが明らかになったとき。
d) 契約において定められた事項について重大な違反があったとき。
e) 繰り返し法令違反を行ったとき。
f) 暴力団員を業務を統括する者又は従業員として雇用していることが明らかになったとき。
g) 暴力団又は暴力団関係者との社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき。

第２章 業務内容

第９条 運営維持管理方針

事業者は、国有財産としての適正な管理を保持しつつ、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、以下の運営維持管理の重点事項に則り、本業務の遂行に努めなければならない。

１.維持管理方針

事業者は、下記に配慮すると共に、「植物管理区分図」（個別仕様書（植物）参照）等をもとに適切な維持管理を行うものとする。

１）植物管理

昭和 51 年度に策定した植栽計画の方針、平成 19 年度に策定した植栽更新･管理計画、平成 21 年度「環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務」報告書、同資料編、平成 22 年度「松林保全再生調査その他業務」、平成 26 年度「海の中道海浜公園松林育成管理計画策定外業務」報告書、及び平成 29 年度に策定した「『森の池エリア』整備管理運営基本計画」に基づき各植物の特性をはじめ、海岸林の地域資源としての環境に配慮したうえで、適正に持続･育成するよう必要な管理を行うものとする。

２）動物管理

人と動物がふれあい、観察することによって、その生態や命の尊さを学ぶことができるよう飼育展示すると共に、給餌、飼養環境の保全、繁殖の調整等適正な管理を行うものとする。

３）施設や設備

各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、すべての施設を清潔かつその機能を正常に保持し、公園利用の快適かつ安全な利用が図れるよう適正な維持管理を行い、必要に応じて保守点検を行うものとする。

２.管理運営方針

事業者は、第１条の公園の特徴に示す本公園の５つの計画理念を達成するため、以下の方針の下に適切に行うものとする。

１）園内の関係管理者等との密接な連携

公園の管理運営を円滑に行い、魅力ある公園とするために、九州地方整備局及び調査職員をはじめ運営維持管理業務以外の施設管理者及び施設等運営者と密接に連携･調整すると共に、情報の共有に努めるものとする。

２）管理運営における公平性･中立性の確保

公園利用者や地元等からの要望等に対し、国営公園の管理運営の公益性に鑑み、公平･中立を是としてその運営にあたるものとする。

３）利用者の安全安心の確保

誰もが安全かつ快適に利用できる公園となるよう、施設管理、巡視･保安、救急対策を行うと共に、サービスの質や安全性の向上のための職員の指導･育成に取り組むものとする。また、外国人利用者向け広報の充実を図ると共に、外国人観光客が十分楽しめるようインバウンド対応に取組み、本公園で進めているユニバーサルデザインの取組を積極的に進めるものとする。

４）公園全体の利用促進の取り組み

パークエリアの利用促進のみならず、公園全体の利用促進が図られるよう運営維持管理業務以外の施設管理者等と綿密な連携を図る等利用促進に努めなければならない。

また、画一的な管理運営に陥らないよう留意すると共に、多種多様な自然体験や参加型イベン

ト等を通じ、環境学習や地域づくりを支える人材育成の場等として活用することで公園のもつ多機能性が発揮されるよう、NPO、地域住民及び行政が一体となり、各エリアに応じた取組を行うものとする。

5）災害時の対応

地震、雷、風水害等の災害時において、利用者の安全を確保するため、適切な誘導や施設の点検を行う。災害時の対応について全てのスタッフの研修や訓練を十分に行うと共に、来園者の誘導や園内放送等の体制整備を進め、避難地としても機能を発揮できるよう関係する地元自治体と連携を図るものとする。また、公園利用における事故等が発生しないよう全てのスタッフの危機管理に対する意識を養成すると共に、適切な管理運営を行うものとする。

6）利用実態の把握と利用満足度の向上

利用者ニーズを十分に把握し、適切な管理による良好な空間の創出と魅力的なプログラムの運営を行い、広域からの多様なレクリエーション需要に応えられる公園を創造すると共に、公園利用者へのサービス向上に努め、満足度を高めるものとする。

7）広報宣伝

より多くの方々に公園を利用してもらうために、効果的かつ効率的な広報宣伝を行うものとする。

8）行催事の実施

魅力ある公園とするために、季節に応じ、地域とも連携しながら、公園の特色を活かし、多くの利用者が学び、楽しみ、満足できる多彩な行催事を工夫して実施するものとする。また、国営公園に相応しい行催事の誘致・実施等を積極的に進めると共に、公園の管理体験や環境教育、環境学習を通じて、公開緑地等の緑化の推進と普及啓発、及び次世代の育成に努めるものとする。

9）苦情への対応

公園利用者等からの苦情に対して真摯に対応するものとする。

10）地域の活性化への取り組み

行催事等を通じ、公園の管理運営への地域住民の参加を促す等地域の活性化に寄与する施策を推進するものとする。

11）市民との協働

公園の管理運営への参加機会の付与と持続的な運営への参加によるパートナーシップを醸成し、NPO、地域住民及び行政が一体となり、活動できる仕組みづくりを進め、本公園における参画型の公園管理を推進するものとする。また、現在活動しているボランティアと良好な関係を築き、指導育成に当たると共に、新たな活動の支援に努めるものとする。

12）自然生態系保全への取り組み等

本公園と周辺地域の持つ風土、歴史、文化を学び、継承していくための活動を行うと共に、自然生態系の保全に努めるものとする。

玄界灘側における白砂青松の雄大な景観、大芝生広場や博多湾側の開放感溢れる景観、花のエリア等における花修景による親しみある景観等本公園の持つ多様な景観を維持・創出すると共に、新たな価値観とライフスタイルを提案できるよう適切な管理運営に努めるものとする。また、地球温暖化防止及び自然環境や生態系の保全・創出技術の普及啓発のために積極的に取組むものとする。

13）コスト縮減の取組

常に安全安心で快適な利用を図りながら、維持管理にかかるコストの縮減に努めるものとする。

第10条 業務実施の基本的事項

１．事業者は、本業務の実施に当たっては、各業務間の総合調整を十分に図り、次に掲げる項目に留意するものとし、第１条の５つの計画理念に沿った管理運営を行うものとする。

１）業務の実施にあたり常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理者の注意を持って運営維持管理を行うものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従うものとする。

２）安全で快適な利用がされるように利用指導及び利用者サービスを適切に行うと共に、利用の活性化を図るために公園利用者ニーズに的確に対応した利用促進策を展開する。

３）公園利用者に対する案内及び緊急の対応等の利用者サービスに努める。

４）名札を作成し業務中は全てのスタッフは常に着用する。

５）市民参加を推進するため、園内のボランティア活動への支援・指導に努める。

６）乳幼児連れの公園利用者、障がい者、高齢者、外国人等への適切な対応等を図る。

７）地域との良好な関係を維持するため、地元公共団体、企業、市民等との連携を図る。

８）様々な管理技術の駆使や、効率的な管理運営等を通じて、常に経費の削減に配慮しながら高品質な維持管理を実施する。

９）災害や事故等における危機管理を徹底すると共に、発災時には避難地又は、災害復旧活動拠点としても機能するよう、適切な対応を行う。

10）有機性廃棄物の堆肥化や塵芥のリサイクル等、園内での資源の有効活用に配慮する。

11）良好な景観の形成に努めた維持管理を実施する。

12）スタッフの服装、作業用機械、器具、車両等について、公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛ける。

13）公園内での車両の運転については、「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

14）利用状況に応じ、適正に本業務を行い、利用に支障をきたさないように配慮する。

第11条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称　海の中道海浜公園

所在地　　福岡県福岡市東区大字奈多～大字西戸崎

管理面積　349.7ha

※別紙１「運営維持管理業務範囲図」を参照すること。

２．履行期限

令和６年２月１日から令和 10 年１月 31 日までとする。

事業者は、本業務が適正かつ円滑に実施できるよう過年度事業者から契約日以降業務開始日までに必要な引き継ぎを受け、開園に備えなければならない。

第12条 開園日時等

本業務の履行期間における本公園の開園日、開園時間、入園料については原則として官報告示に従う。

開園日

（１）供用区域（（２）に掲げる区域を除く。）１月２日から12月30日まで（２月第１月曜日及びその翌日を除く。）

（２）パークツーリズムエリア　１月１日から12月31日まで（２月第１月曜日及びその翌日を除く。）

公開時間

（１）供用区域（（２）に掲げる区域を除く。）（イ）３月１日から10月31日までの公開日午前９時30分から午後５時30分まで（プール開園期間中の公開日にあっては午前９時から午後６時30分まで

（ロ）11月１日から２月末日までの公開日午前９時30分から午後５時まで

（２）パークツーリズムエリア　午前９時30分から午後11時まで（プール開園期間中の公開日にあっては午前９時から午後11時まで。）

※繁忙期、イベント開催時等においては、事業者が九州地方整備局と協議し、同意を得た上で、開園時間の変更を行うことができる。

※開園日においても、閑散期、定期点検等の実施により休園が必要な場合は、事業者が九州地方整備局と協議し、承諾を得た上で休園とする。

※公園内で災害の発生及び発生の恐れがある場合等、公園の管理運営に支障があると九州地方整備局が判断した場合は、臨時閉園とする。

※事業者は公園の利用促進及び利用サービス等、公益上やむを得ない事由により開園時間を変更する場合は、原則１ヶ月前までに調査職員に協議すること。

なお、以下の通り無料入園日を設けることとし、各年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

○春の都市緑化推進運動／４月１日～６月30日【期間中１日】

○秋の都市緑化月間／10月１日～10月31日【期間中２日】

○みどりの日／５月４日【１日】

○敬老の日／９月第３月曜日【１日】　※満65歳以上の者のみ無料

第13条 業務内容及び業務対象

事業者は、本公園の供用区域内に位置する都市公園法第２条第２項で規定された各公園施設を対象として、個別仕様書に記載された管理水準及び業務内容を踏まえ、以下の各業務を行うものとする。（別紙２「主要公園施設一覧」、別紙３「主要建築物一覧」）

＜業務内容＞

１）公園運営維持管理業務（委託費により行う業務）

① 本業務全体の計画立案及びマネジメント

・本業務全体の計画立案及びマネジメント

・入園料等徴収、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務　等

② 企画運営管理業務

・企画広報（行催事企画運営、広報、公園ボランティア活動の支援・調整）

・公園利用者への利用指導、公園利用者へのサービス、園内巡視　等

③ 施設・設備維持管理業務

・維持修繕・保守点検等（建物、建物設備、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設、給水施設、水景施設、その他設備）

・清掃（園内清掃、園内建物清掃）　等

④ 植物管理業務

・高木管理、中低木管理、林地管理、草地管理、草花管理等（草刈り、施肥、灌水、剪定等）

⑤ 動物管理業務

・繁殖、飼育、展示等

1.本業務全体の計画立案及びマネジメント

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整の下、相互連携を保ち、適切な進捗管理を行うと共に、入園料等の徴収事務、九州地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。（詳細は、別紙７「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（本業務全体の計画立案及びマネジメント）」（以下、個別仕様書（計画立案）という。）を参照のこと。）

2.企画運営管理業務

利用促進のための行催事（材料代等実費を公園利用者から徴収するもの等を含む）や広報宣伝の企画・立案・実施・参加者受付及び公園ボランティアに対する支援・調整を行う。また、公園利用者の安心・安全を確保し、円滑に利用してもらうために、利用指導及び利用案内等の公園利用者に対するサービスの提供、公園利用者の施設予約等の受付、園内巡視、本業務に関わる自動車維持等を行う。（詳細は、別紙８「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（企画運営管理）」（以下、「個別仕様書（企画）」という。）を参照のこと。）

3.施設・設備維持管理業務

1）維持修繕・保守点検

建物、園路広場、遊具、電気設備、汚水・排水施設等について、所要の目的が果たされるよう、日常、適宜巡回点検・保守点検し、常に安全で良好な状態にあるよう、利用の状況に応じて破損個所の軽微な補修又は補充を適切に行う。また、給水施設や電気設備の使用量を計測し記録を確実に行うと共に、水景施設に関しては、衛生面の安全を確保するよう、水質管理を確実に行う。（詳細は、別紙９「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（施設・設備維持管理）」（以下「個別仕様書（施設・設備）」という。）を参照のこと。）

2）清掃

公園利用の動向、塵芥及び汚水等の発生量に即応して適切な措置をとり、園内や建物の清掃を行い、常時公園内を清潔にする。また、園内に塵芥が散乱した場合は、速やかに園内の清掃を行い、利用に支障が生じないよう適切な措置をとる。なお、塵芥は種類ごとに定められた処理方法に従って、適切に処理する。（詳細は、別紙９「個別仕様書（施設・設備）」を参照のこと。）

4．植物管理業務

現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握した上で、平成 19 年度策定の「植栽更新・管理計画」、「平成 21 年度環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務報告書」及び同資料編、「平成 22 年度松林保全再生調査その他業務報告書」、平成 29 年度策定の「『森の池エリア』整備管理運営基本計画」に基づき管理を行う。また、利用状況、景観等に応じた除草、外来種の除去、芝刈り、施肥、潅水、樹木の剪定等を行うことにより、園内の植物が常に良好な状態にあるように植物管理を行うと共に、公園利用者に怪我等がないよう適切な管理を行う。（詳細は、別紙 10「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（植物管理）」（以下「個別仕様書（植物）」という。）を参照のこと。）

5.動物管理

動物の健康状態を十分に把握し、常に良好な状態で飼育展示・育成・繁殖等を行うと共に、入園者が飼育動物とふれあえる場を提供する（詳細は、別紙 11「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務個別仕様書（動物管理）」（以下「個別仕様書（動物）」という。）を参照のこと。）。

第14条 業務実施体制

1．国営公園の設置目的を達成し、公園利用者の安全・快適な利用サービスを提供するため、下記の資格要件を備えている職員を配置する等本業務を実現する業務実施体制を構築しなければならない。なお、資格証明書の写しを調査職員に提出するものとし（資格保有配置者を変更する場合も同様とする。）、職員の育成及び運営に必要な研修を実施すること。

＜事業者が保有する必要がある資格＞

- 獣医師　１名以上
- 動物取扱責任者研修修了証保有者　１名以上
- 看護師　１名以上
- 防火管理者（甲種又は乙種）　１名以上
- 小型車両系建設機械運転技能者　１名以上
- 危険物取扱者（甲種又は乙種第四種）　１名以上

2．日常管理業務に加え、入園者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、常に適切な管理体制を構築しなければならない。

3．本業務全体の計画立案及びマネジメント、企画運営管理、施設・設備維持管理、植物管理、動物管理について業務別に業務責任者を配置することとする。なお、本業務全体の計画立案及びマネジメントの業務責任者を総括責任者とし、業務責任者による他業務責任者及び担当者の兼務を妨げない。但し、収益施設等設置管理運営業務への委託費の支出は認めない。収益施設等設置管理運営業務責任者と兼務する場合、収益施設等設置管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない

4．事業者は、総括責任者及び業務責任者（企画書で記述した者）を定め、書面により九州地方整備局に通知しなければならない。

5．総括責任者及び業務責任者の変更は、原則認めない。但し、病気、死亡・出産・育児・介護等のやむを得ない理由及び家族の看病等道義的な理由により変更を行う場合には、同等以上の資格要件を満たす者であることを証明する書面を提出の上、九州地方整備局の承諾を得なければならない。

6．開園期間中は、第 13 条１）～４）の業務責任者のうち、少なくとも１名以上が勤務する体制とすること。さらに、業務責任者が勤務しない日については、その業務に精通した者を勤務させるものとし、緊急対応を含め第 13 条１）～５）が円滑かつ迅速に行われる勤務体制をとること。なお、主な業務従事（勤務）場所は、管理事務所（別添３のうち建物番号 21）とすることを想定している。なお、上記①～⑤の業務が迅速かつ円滑に行われる体制が確保できるのであれば、テレワークについても勤務と認める。

7．業務を遂行するに当たっては、法令上必要な資格要件を備えたものを配置すること。

８．事業者は、業務実施のための組織を管理事務所内に置き、その使用に係る光熱水費等は九州地方整備局が負担するものとする。また、事業者は、九州地方整備局が取得している電話番号・ＦＡＸ番号を継続して使用するものとし、その料金に係る費用は九州地方整備局が負担するものとする。但し、事業者が業務上の必要性から独自で電話番号・ＦＡＸ番号を取得し使用する場合、その料金に係る費用は、事業者が負担するものとする。

９．この他、国庫に納入する入園料及び施設利用料等の徴収業務を担当する経理担当者、及び救急対応を担当する者を配置するものとするが、経理担当者は、刑法（明治 40 年法律第 45 号）、その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

第15条 業務計画書

１．事業者は、契約締結の 14 日前までに、企画書で提案した内容の積算根拠となる詳細な工種、数量、月次の工程計画、具体的取り組み内容及び実施体制を記載した下記内容等の「業務計画書」を九州地方整備局に提出し、承諾を受けなければならない。

２．「業務計画書」の策定に当たっては、運営維持管理の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた業務計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みを構築し、「業務計画書」に記載する。

３．維持管理運営の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応について、年度内での変更が求められる場合は、「業務計画書」を随時修正する。変更業務計画書の提出の必要の有無は内容に応じて調査職員と協議する。

４．四半期別必要経費内訳書には、「業務計画書」の変更がある場合は、その結果を反映した上で、数量、単価を記載し、積算根拠を明確にする。

＜業務計画書に記載が必要な項目＞

１）年間運営管理計画（月別）
２）年間広報・行催事計画書（月別）
３）企画提案された実施方針(月別)
４）業務実施体制
５）業務実施のための管理機構及び職務分担
６）実施計画書（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第１(第４)）
７）四半期別必要経費内訳書（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第２(第４)）
８）再委託承諾申請書（企画書に提案した内容に変更等がある場合）（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第３(第４)）
９）履行体制に関する書面（別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第４(第４)）
10）施設管理作業計画書（建物管理、工作物管理、清掃）
11）植物管理作業
12）動物管理作業
13）収益施設運営計画（施設等運営者により作成提出するもの）
14）公園内巡視作業
15）入園料徴収及び公園利用者への利用指導
16）安全管理、安全確保、救急救護、防災計画、消防計画、災害時・異常時対策等を定めた危機管理マニュアル
17）公園利用促進への取り組み（広報、行催事等の開催）
18）市民参加による公園運営（ボランティア）
19）環境への配慮
20）その他調査職員指示するもの

第16条 業務報告書

１．事業者は、運営維持管理の実施状況と包括的な質や管理水準等の達成状況のモニタリングが確実に行えるよう、報告書を調査職員に月次、四半期ごとに定期的に提出する。但し、提出期限が土曜日、日曜日及び祝日に該当する場合は、翌開庁日とし、契約完了年度の業務最終月の提出期限は契約完了日までとする。
２．事業者は、各年度の業務を完了した時は、遅滞なく、業務完了日までに、別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第５(第６)～第８(第６)及び下表に示す年度内に実施した運営維持管理実績の全てを報告書に成果物を添えて提出する。
３．経理状況に関する帳簿類は常に整理し、九州地方整備局及び調査職員からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに九州地方整備局及び調査職員の指示に従い、誠実に対応すること。
４．本委託業務は電子納品対象業務とする。上記業務報告書の最終成果を電子データで納品する。提出及び提示方法については業務計画書に記載し、承諾を受けること。

＜定期報告で提出が必要な項目＞

１)「管理月報」(提出期限は翌月の 10 日　別添様式１)

２)「管理四半期報」(提出期限は四半期翌月の 15 日　別添様式２)

３)「提供施設等使用実績報告書」(提出期限は、毎月初め　別紙 22)

４)「巡視日報」(提出期限は、１週間分を翌週金曜日まで　別添２３参照)

５)「救護日誌」(提示期限は、１週間分を翌週金曜日まで)

６)「動物異動報告書」(提示期限は、翌月 10 日まで、様式は別添 35 参照)

７)「公園内全施設の水道メーター検針表」(提示期限は毎月初め、様式は調査職員より指示)

８)「維持管理業務従事者の収益施設等の管理に関する勤務実績簿」(提示期限は毎月初め、様式は調査職員より指示)

９)「上記以外の九州地方整備局が指示したもの」(調査職員の指示に従う)

＜完了報告で提出が必要な項目＞

１)「完了報告書」(別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照)

２)「精算報告書」(別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照)

３)「委託経費内訳書」(別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照)

４)「残存物件報告書」(別添２「国土交通本省委託契約取扱要領」参照)

５)「事業評価報告書」(任意様式)

６)「実施状況等の記録書)」

７)「利用実態調査報告書」

８)「上記以外の発注者で指定した報告事項」

＜実施状況等の記録書に添付が必要な書類＞

１）保守点検の記録

２）作業実施数量の記録

３）作業記録写真

４）安全衛生点検の記録

５）修繕等の記録

６）上記以外の発注者で指定した報告事項

＜電子納品＞

1）電子データとは、「電子納品等運用ガイドライン」、「現場における電子納品に関する事前協議ガイドライン（案)」(以下「ガイドライン」) 及び九州地方整備局の「電子納品に関する手引き（案)」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途調査職員と協議するものとする。

2）最終年度の業務を完了した時には、別に定める様式（電子媒体納品書）に署名・捺印の上、「ガイドラ

イン」に基づいて作成した電子データを CD-R(JolietISO9660 フォーマット)または DVD-R で２部提出する。データが大容量となる場合には、協議により BD-R の使用も可とする。(以下「CD-R 等」)
３）受発注者相互に CD-R の内容を確認した上で CD-R の受領を行うものとする。
４)「ガイドライン」で特に記載がない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、調査職員と協議の上、電子化の是非を決定する。
５）上記によりがたい場合は、調査職員と協議するものとする。

第17条 記録の保存

第 16 条の業務報告書、経理状況に関する帳簿類及び国土交通省九州地方整備局が指示する記録は、調査職員等の求めに応じて常に提示できるよう、個別に年度毎にファイルに取りまとめ、業務期間中は事業者において保存し、業務期間終了後は九州地方整備局へ引き渡すこと。なお、経理状況の帳簿類を引き渡した後に企業会計法上に基づく監査等で当該資料が必要となった場合に、書面（任意様式）により九州地方整備局に申し出た場合は、資料を貸与する。

なお、本業務の記録類については以下を最低限とする。

- 作業実施数量等の記録
- 保守点検の記録
- 作業日誌
- 安全衛生点検の記録
- 修繕等の記録
- 作業記録写真
- 事業者における検査担当者が作業の完了を確認した記録
- その他、九州地方整備局が指示する記録

第18条 モニタリング業務

１．事業者は、次の方法により、利用者等の意見や要望を把握し、運営に反映させるよう努めるとともに、結果について調査職員に報告するものとする。

１）利用実態調査

本公園において提供するサービスに対する公園利用者の評価について、アンケート等を実施する等事業者の工夫により、確実に把握すること。また、事業者は、利用実態調査を行う場合、その方法について、九州地方整備局と事前に協議した上で、調査を実施し、その結果は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析を実施する。

２）本業務に対する自己評価

事業者は、各年度の公園の管理運営に関して、適宜自己評価を行い、その結果を事業評価報告書にまとめ、各年度の検査までに調査職員に提出するものとする。なお、自己評価の項目・評価手法等については、業務開始日までに調査職員に提出し、承諾を受けるものとする。また、調査職員より年度途中段階でその時点までの事業評価報告書の提出を求められた場合はその指示に従うものとする。

第19条 九州地方整備局が行うモニタリング調査

１．九州地方整備局及び調査職員は、事業者が実施するモニタリング業務（本共通仕様書第 18 条）とは別に、本業務の実績を評価する。
２．事業者は、本業務等の実施内容の評価が確実に実施されるよう、モニタリング調査に積極的に協力するものとする。
３．モニタリング調査は、個別仕様等に示す管理水準や事業者から企画提案された実施方針の履行状

況を確認する予定である。

4．モニタリング調査の結果、業務計画書通り業務が履行されていないと判断した場合又は事業者による管理水準が九州地方整備局の要求する管理水準を満たしていないと判断した場合、九州地方整備局及び調査職員により是正勧告を行うものとする。それでも改善が見られない場合、九州地方整備局は事業者を、次年度の契約相手方として特定しない、又は業務の契約の解除をすることがある。

第20条 施工管理

事業者は、本業務の施工管理にあたり、土木工事施工管理の手引きを準用するものとする。

第21条 施工体制台帳の整備

事業者は、管理運営業務の一部で建設業法にあたる作業を再委託した場合には、施工体制台帳に係る書類を再委託者が作業に着手するまでに整備しなければならない。また、調査職員により提示を求められた場合は速やかに提示し、施工体制に変更が生じた場合も、変更に係る部分の作業に着手するまでに、変更の書類を整備しなければならない。

第22条施工体制の確認

事業者は調査職員より施工体制について確認及び点検を求められたときは、これに協力しなければならない。

第３章 委託費の支払い

第23条 委託費代金の支払い

１．公園運営維持管理業務

１）事業者は、提出した業務計画書に基づいて、公園運営維持管理業務を実施することにより、包括的な質（本実施要項１．３．１参照）の確保に努めると共に、個別業務の質（本実施要項１．３．２参照）の最低水準を確保しなければならない。

２）九州地方整備局は、上記の履行内容を確認し、検査したうえで、会計年度（４月１日から翌年３月 31 日まで）を基準とし、委託費を支払うものとし、その支払いは適正な請求書を受理した日から起算して 30 日以内とする。但し、検査の結果、包括的な質及び個別業務の質の最低水準が確保されていない場合は、適切に業務を行うよう改善の指示（業務の履行中を含む。）を行うこととし、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、委託費の請求は出来ないものとする。

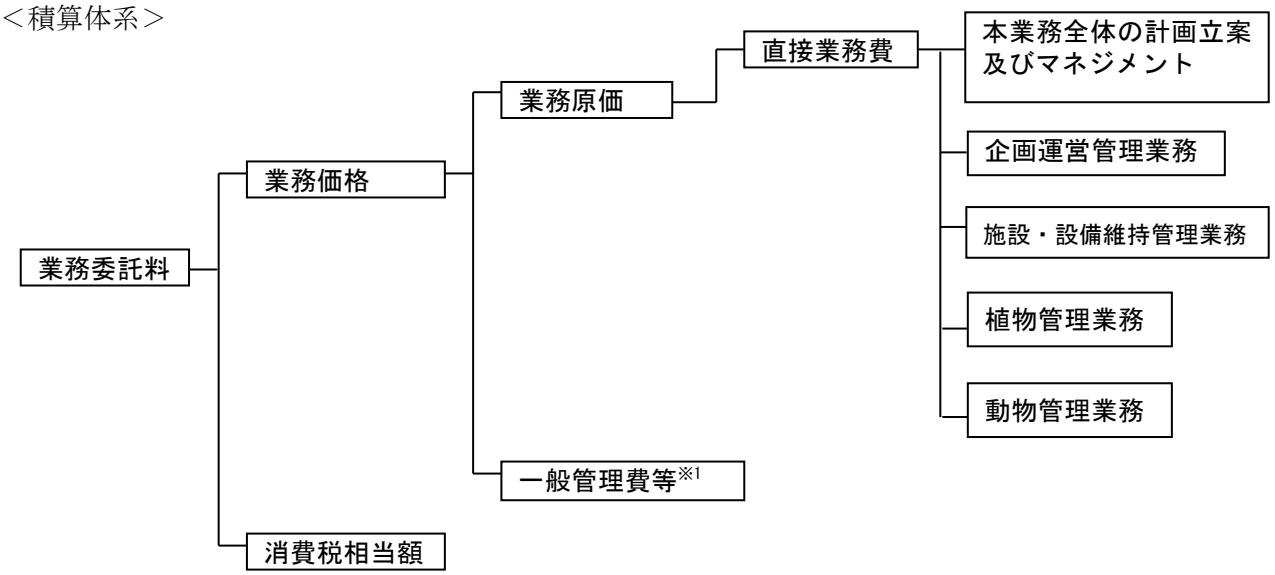
３）各年度の委託費の確定額は、業務に要した経費の実支出額と各年度の委託費の支払の限度額のいずれか低い額とする。

４）委託費の支払いについては、会計法第 22 条、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号。以下「予決令」という。）第 58 条に基づく協議が整った場合において、事業者は委託費の概算払を四半期毎に請求できるが、業務の改善の指示があった場合には、事業者は要因分析を行い、業務改善計画書を提出し、承諾を得ない限り、次の四半期の概算払いに係る委託費の請求は出来ないものとする。なお、委託費の請求は、業務計画書及び各年度別四半期別必要経費内訳書に基づく、各年度の四半期における所要額とする。

５）事業者の運営維持管理の責任に拠らない事由により、業務実施前に事業者が作成した業務計画書をもとに設定した包括的な質及び個別業務の質の最低水準が未達成の場合には、委託費の減額は行わない。

６）各業務の積算体系は、以下の通りである。

＜積算体系＞



※１本社人件費（職員基本給、職員諸手当、退職金等）、本社旅費（職員旅費）、本社庁費（職員厚生経費、備品費、消耗品費、通信運搬費、光熱水費、燃料費、印刷製本費、賃料及び損料、保険料、雑役務費等）、付加利益（法人税、地方税、株主配当金、役員賞与金、内部留保金、支払利

息及び割引料、支払保険料その他営業外費用等）

第４章 公園内の安全管理

第24条 安全管理

１．本公園における公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、本業務の履行にあたり、常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、本公園の利用に関し必要な事項について、適切な措置・対応を行う等、事業者の責任において常に善良なる管理を行うものとする。なお、九州地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

２．新型インフルエンザや鳥インフルエンザのように、重症化する恐れのある感染症等については、調査職員と協議の上、消毒液を設置する等、適切な措置・対応を行うこと。

３．事業者は、本業務の履行に当たっては消防法に準拠すること。

４．事業者は、九州地方整備局と協力し、火災・その他災害による物的・人的被害を軽減することを目的に、別途消防計画・危険物予防規定を具備した危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに九州地方整備局に業務計画書として提出し承諾を受けた上でその内容を遵守するものとする。なお、消防計画には、防火管理者等の担当者を明記することとする。

５．事業者は各点検項目を業務計画書に記載し、点検を実施すること。

６．異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従う。安全管理には十分注意し本業務を履行する。

第25条 安全確保

１．本業務の実施に当たっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故の防止に努める。

２．本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止する。

３．設備に異常を認めた時は、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講ずる。

４．万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、速やかに調査職員に報告し、必要に応じ精密検査を行う等その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとる。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

５．その他公園管理又は公園施設に起因するか若しくはその恐れのある事故等が起こった場合、速やかに必要な措置を取った上、速やかに調査職員に報告するものとする。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

１）事故発生日時

２）事故発生場所

３）事故発生の原因

４）事故の程度

５）人身事故の場合は、必要に応じて医師の診断結果又は、本人及びその家族等から得られた情報

６）被害者の氏名、性別、年齢、連絡先

７）事故処理の概略

８）再発防止改善策等

第26条 救急対応

１．事業者は、救急時の対応方法及びその報告方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守するものとする。

２．事業者は、公園利用者の動向等を勘案し適切に救急施設を配置し、公開期間中は看護師を常駐させ救急活動に当たらなければならない。また、臨機な救急活動に対応できる体制を整えるため、年１回以上は普通救命講習を開催し、スタッフが普通救命講習終了者（Ⅰ又はⅡ）の資格を有す

るように努めること。なお、目標とする普通救命講習終了者（Ⅰ又はⅡ）の職員数を業務計画書に示すこと。
3．事業者は、救急活動を要する事態を認めたときは、公園利用者の急病や負傷には応急処置をとり、怪我等の状態によっては救急車両による搬送手配を行う等、最も適切と思われる措置をとらなければならない。
4．事業者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録すると共に、その経過及び結果を速やかに調査職員に報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。
5．傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

第27条 災害時、異常時等の対応
1．事業者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、公園利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行う等臨機の措置をとらなければならない。この場合において、閉園等の必要があると認めるときは、事業者はあらかじめ九州地方整備局の承諾を得なければならない。但し、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。
2．前項の場合においては、事業者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに報告する。
3．設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上で、速やかに調査職員に報告するものとする。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。また、必要に応じ精密検査を行い、その原因を究明し機能復旧に努める共に、再発防止のための必要な措置をとるものとする。
4．台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。
5．台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うものとする。
6．事業者は、夜間及び休園日において、異常を発見した場合は、必要に応じて警察、消防等の関係機関等に通報し、適切な措置を講ずると共に、調査職員に速やかに報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事案の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。
7．調査職員は、災害防止や本業務の履行上特に必要と認めるときは、事業者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。
8．調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、事業者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。（なお、九州地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。）
9．事業者は、事故や災害発生時等への対応のため、事務所が定める「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」及び「事業継続計画（ＢＣＰ）マニュアル」に基づき、事業者の役割・行動・体制等をとりまとめた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに業務計画書として取りまとめ九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。
10. 事業者は、事故や災害発生時等には、前項において作成したマニュアルに基づき、公園の公開日、公開時間に関わらず、適切な措置・対応を行うものとする。
11. 事業者は、「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づき九州地方整備局が防災体制の発令を行った場合は、調査職員の指示に従い、園内の臨時巡視を行うこと。巡視の結果については、公園の開閉園の判断要素となるため、速やかに詳細について調査職員又は「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づく国事務所出勤者に報告すること。

第５章 協議・調整等

第28条 九州地方整備局の要請への協力

１．調査職員から本公園に関する調査・報告又は作業の指示等があった場合には、迅速、誠実かつ積極的な対応を行う。
２．その他、九州地方整備局が実施又は要請する事業（例：臨時園内点検及び管理作業、緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、早朝公開及び夜間公開、入園者数報告、監査・検査、視察、式典、インターンシップ受け入れ時の協力等）への参加・協力・実施を、積極的に行う。
３．事業者（総括責任者、各業務責任者）は、国事務所が定めた別添５「海の中道海浜公園管理運営委員会規約」に基づく諸会議等に参加するものとする。また、諸会議に必要となる資料を作成し提出すること。
４．事業者は、管理業務を円滑に実施するため、調査職員及び施設等運営者との情報交換や業務の調整を図る連絡会議を、定期又は不定期に開催するものとする。なお、連絡会議には、第三者を参加させることができるものとする。
５．関係機関の立会検査又は調査がある場合は、事業者は九州地方整備局の指示により立会等に協力する。
６．本業務の実務を通じた経験や知見、公園利用者からの意見・苦情・要望は、即地的にも確認できるよう記録、集計・分析した結果と本業務に反映させるよう努めた事項について、九州地方整備局に報告するよう、努めるものとする。

第29条 別途工事等との調整

１．国事務所の発注する別途工事又は業務（法定点検業務等）がある場合には、事業者は必要に応じて工事又は業務内容及び計画（変更を含む）に対して、本業務に関連する助言並びに公園利用及び動植物の保護育成に関する調整を行う。
２．国事務所が別途発注する施設保全業務等の実施に当たり、事業者は、点検等の実施時期の調整に協力する。電気設備の点検に伴う計画停電のときには全園停電を行うため、その対応については、調査職員と調整すること。

第30条 九州地方整備局若しくは調査職員との協議等

１．事業者は、本共通仕様書に明記されていない事項又は本共通仕様書の内容について疑義を生じた場合は、調査職員と協議すると共に、協議の内容を記録して調査職員に提出し、確認を得る。
２．業務責任者又は業務担当者は、本業務の実施方法等について必要がある場合は、調査職員の指示を求めるほか、打合せを行い、その内容を記録して調査職員に提出し確認を得る。
３．施設の運営維持管理に係る各種規程・要項を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に業務内容が変更する場合、さらには、その他新業務への対応が必要な場合は、九州地方整備局と事業者の間で調整又は協議を行う。
４．不測の事態又は疑問等が生じた場合は、速やかに調査職員と協議する。
５．事業者は九州地方整備局及び調査職員より、運営維持管理業務以外の施設管理者等への協力要請があった場合には、その要請に応えなければならないものとする。

第31条 その他の協議・報告等

事業者は、本公園の管理・運営等で必要な協議を適切に行い、結果等については、遅滞なく報告しなければならない。

第32条 官公署への連絡、届出

事業者は、官公署への連絡、届出手続きは九州地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理する。また、事業者による工事等によって官公署への連絡、届出が必要となるときは事業者において行う。

第６章 雑則

第33条 本委託業務の再委託

事業者は、本委託業務の実施に当たり、その全部を一括して、又は本委託業務における主たる部分を再委託することは出来ない。

１．本業務における主たる部分とは、総合的計画立案、業務遂行管理、入園料金及び施設利用料金の収受及び納入、救急・災害時の統括管理、各業務手法の決定及び本業務履行者としての最終的な意志決定を行うための技術的判断等。

２．事業者は、第１項に規定する業務以外の再委託に当たっては、あらかじめ企画書において、再委託に関する事項（再委託先の住所・名称、再委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）のうち再委託先の住所・名称以外についてすべて記載（再委託先の住所・名称の記載を妨げるものではない。）しなければならない。なお、企画書に記載した再委託も含めて、再委託する以前に「再委託（変更等）承諾申請書」（「国土交通本省委託契約取扱要領」参照）により再委託業務の内容、理由、概算金額について調査職員に提出し、承諾を得なければならない。なお、再委託する場合、業務の透明性･公平性確保を考慮した契約方法をとるよう努めるものとする。また、契約締結後は、その契約書の写しを添付した上で「国土交通本省委託契約取扱要領」別記様式第３（第４）「再委託（変更等）承諾申請書」を提出の上、再委託の内容、理由、契約金額について九州地方整備局の承諾を受けるものとし、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

３．事業者が九州地方整備局に対して負う義務を適切に履行するため、事業者は再委託先の事業者に対し実施要項８．４及び８．６に規定する事項及びその他の事項について必要な措置を講じさせると共に、再委託先から必要な報告を徴収する。

４．事業者が再委託先に業務を実施させる場合は、すべて事業者の責任において行うものとし、再委託先の責めに帰すべき事由については、事業者の責めに帰すべき事由とみなして、事業者が責任を負うものとする。

５．再委託等の承諾を行った際は、必要に応じて当該部分（再委託）に該当する経費についての領収書、明細書の写しの提出を求める場合がある。

６．事業者は、業務を再委託に付する場合、書面により協力者との契約関係を明確にしておくと共に、協力者に対し業務の実施について適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。
なお、再委託の相手方は入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、国土交通省九州地方整備局長から指名停止を受けていないこと。

７．契約書（案）第８条第４項ただし書きに規定する「軽微な業務」は、コピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、翻訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等及び小規模な業務をいうものとする。なお、小規模な業務とは原則として１件当たりの再委託額が 100 万円未満のものをいう。

８．暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者を協力者としてはならない。

第34条 保険の付保及び事故の補償

１．事業者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

２．事業者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

３．事業者は、自動車任意保険、施設賠償責任保険、動産総合保険の他、必要に応じて各種保険に加入するものとする。

第35条 建築物及び機械器具等の無償貸与等

１．事業者の義務
事業者は、国より貸与された本委託業務の遂行に必要な建築物及び機械器具を善良なる管理者の注意をもって、取り扱う義務を負う。

２．建築物及び機械器具の無償貸与

本業務の遂行に必要な、九州地方整備局が保有する建築物及び機械器具等に限り、事業者に無償で貸与する。なお、その取扱いについて、九州地方整備局において定める規定等によるものとする。

3．残存する備品の取扱い

事業者は、本業務完了の際、残存する備品で九州地方整備局がその費用を負担したもの及び本業務において取得したものについて、残存物件報告書を作成し、当該備品を調査職員が確認した上で、当該備品を九州地方整備局に引き渡す。なお、翌年度において当該業務に継続して使用される場合はこの限りではない。但し、本業務において取得した備品については、「国営海の中道海浜公園運営維持管理業務で取得した備品の取り扱いについて（別添８）」に基づき備品継続使用申請書により九州地方整備局の承諾を受けること。

残存する備品とは、本業務において管理上必要となった機械器具、その他の物品の内、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう

4．事業者は上記３項により備品を取得するにあたり､その備品単価が５万円以上となる場合は、事前に調査職員に協議した上でその指示に従うものとする。但し、動物の購入については、取引価格にかかわらず事前に協議した上でその指示に従うものとする。

5．事業者は本業務において取得した５万円以下の備品及びいわゆる消耗品（コピー用紙、文具､トイレットペーパー､手洗い石鹸等)について管理簿を作成し､調査職員より提示を求められた場合は速やかに提示しなければない。なお、業務完了時には管理簿と消耗品の残品について調査職員と確認を行った上で残品を調査職員に引き渡すものとする。

6．事業者は、管理センターの事務・事業に支障を来たさない範囲において、本業務の実施に必要な機器・設備等を管理事務所に持ち込むことができる。

7．事業者が持ち込んだ機器・設備等については、管理センターの事務・事業に支障を起こすことのないよう適切な管理を行うこと。

8．機器・設備等を持込、電気工事等の措置が必要な場合は、調査職員の承諾を得た上で実施することができる。なお、必要な措置をした場合、施設の使用を終了又は中止をした後、直ちに原状回復をおこない、調査職員に引き渡さなければならない。

9．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等)、原状回復に必要な経費は、事業者の負担とする。

10. 事業者に貸与された機械器具等の修理等は調査職員に報告の上､事業者が行うこととする｡なお、その費用負担については、原則第６条（責任分担一覧表）の「施設・物品等の修繕」に従う。

11. 九州地方整備局より提供した自動車の維持に必要な車検費、車検に伴う維持修理費、法定点検費及び自賠責保険費は九州地方整備局が負担するが、それ以外の維持修理費、任意保険及び燃料費は事業者の負担とする。

12. 施設及び設備の維持管理に要する費用の額は、過年度の委託料全体に占める金額と同程度以上となるよう、適切かつ的確な予防的修繕及び補修に努めること。また、九州地方整備局が実施する各種法定点検において補修・修繕の必要が生じた場合、原則第６条（責任分担一覧表）の「施設・物品等の修繕」に従い九州地方整備局、事業者が分担して補修・修繕を行うものとする。

第36条 本業務の引継

1．事業者は、契約が完了する、又は解除になる場合には、調査職員の立会の下、調査職員が指示する者に対し、誠意をもって、円滑に事務の引き継ぎを行わなければならない。引き継ぎに当たっては、下記に示す必要な資料の作成及び提出を行い、必要な説明等を行う。但し、契約が引き続き締結され、当該業務を継続する場合はこの限りではない。

1）運営・利用者サービスに関する事項

利用予約の受付、繁忙期対応、救護日誌、利用者の安全確保のための措置事項　等

2）施設・設備維持管理に関する事項

施設・設備の点検情報、設備・機器等の各種マニュアル、施設・設備の使用において留意が必要な事項、清掃記録　等

3）イベントに関する事項

主催、共催イベント、体験プログラム等の実施状況、持込イベントの状況、継続的な地域連携イベント等における主催者や関係団体との連携、協力すべき事項

4）収益施設運営に関する事項

運営に必要な物品等の引き継ぎ、その他運営上の課題事項等

5）広報宣伝に関する事項

マスコミ等の連絡方法及び連絡先等、取材記録、ホームページの更新方法、ホームページに係る全てのデータ及びドメイン　等

6）協働活動者、関係機関との連携に関する事項

ボランティアの登録情報、連絡方法及び連絡先、活動記録、ボランティア団体と連携して管理を行う箇所や指導を受けている有識者の情報　等

7）動植物管理に関する事項

芝生、草地等の管理区分図、希少種の生育場所、病虫害防除、老木、記念樹等の記録　等

8）国への提出資料に関する事項

都市公園法第５条、６条、12 条基づく申請及び許可の記録　等

9）その他

救急活動に関するマニュアル、近隣住民への配慮必要事項、苦情処理記録　等

2．不可抗力その他、九州地方整備局や事業者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合は、九州地方整備局と事業者は管理の継続の可否について協議すること。

3．事業者は、業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、公園維持管理が円滑に実施されるよう業務実施体制（第 14 条記載）を維持すること。

4．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が履行期間内の瑕疵等が明らかな場合はその費用は事業者が負担する。

5．必要に応じ事業者に対して、令和５年 11 月から１月末まで（業務実施期間前の３ヶ月）準備室を貸与する。準備室では、本業務に関する準備を行うものとし、準備室における光熱水費は九州地方整備局が負担する。

第37条 情報公開

事業者は、文書の開示等の情報公開については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 21 年７月１日法律第 66 号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、調査職員と協議すること。

第38条 調査等への対応

事業者は、九州地方整備局が実施する事業者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第39条 会計検査への対応

事業者は、会計検査院法第22条に該当するとき、又は同法第23条第１項第７号に規定する「事務若しくは業務の事業者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第25条及び第26条により、会計検査院の実施検査を受けたり、同院から直接又は九州地方整備局を通じて、資料・報告書等の提出を求められたり質問を受けたりすることがあるので、誠意を持って対応すること。

第40条 事業者が使用する組織の名称

本業務における事業者の名称については「国営海の中道海浜公園管理センター（略称：海の中道管理

センター)」とする。

第７章 コンプライアンス

第41条 守秘

１．事業者は、業務上知りえた秘密については、第三者へ漏らしてはならない。

２．九州地方整備局が定める情報のセキュリティに関する規定等がある場合は、それに沿って、情報管理を適切に行うこと。

３．事業者、若しくはその職員及びその他本業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。

第42条　行政情報流出防止対策の強化

１．事業者は、業務計画書に情報セキュリティに関する対策について記載すること。

２．事業者は、本業務の履行に関する全ての行政情報について適切な流出防止対策をとらなければならない。

３．事業者は、以下に記載する行政情報流出防止対策の基本的事項を遵守しなければならない。

（関係法令等の遵守）

行政情報の取り扱いについては、関係法令を遵守するほか、本規定及び発注者の指示する事項を遵守するものとする。

（行政情報の目的外使用の禁止）

事業者は、発注者の許可無く本業務の履行に関して取り扱う行政情報を本業務の目的以外に使用してはならない。

（社員等に対する指導）

１）事業者は、事業者の社員、短時間特別社員、特別臨時作業員、臨時雇い、嘱託及び派遣労働者並びに取締役、相談役及び顧問、その他全ての従業員（以下「社員等」という。）に対し行政情報の流出防止対策について、周知徹底を図るものとする。

２）事業者は、社員等の退職後においても行政情報の流出防止対策を徹底させるものとする。

３）事業者は、発注者が再委託を認めた業務について再委託をする場合には、再委託先業者に対し本規定に準じた行政情報の流出防止対策に関する確認を行うこと。

（契約終了時等における行政情報の返却）

事業者は、本業務の履行に関し発注者から提供を受けた行政情報（発注者の許可を得て複製した行政情報を含む。以下同じ。）については、本業務（※工事等）の実施完了後又は本業務の実施途中において発注者から返還を求められた場合、速やかに直接発注者に返却するものとする。

また、本業務の実施において付加、変更、作成した行政情報についても同様とする。

（電子情報の管理体制の確保及び取り扱い）

１）事業者は、本業務の実施に際し、情報流出の原因につながる恐れがある行為をしてはならない。

２）事業者は、電子情報を適正に管理し、かつ、責務を負う者（以下「情報管理責任者」という。）を選任及び配置するものとする。

３）本業務を履行するうえで使用する電子計算機及び外部記録媒体は情報管理責任者が認めることとする。

４）本業務で使用する電子計算機のハード及びソフト、並びに外部記録媒体に関するセキュリティ管理体制を確保しなければならない。

５）事業者は、適切なセキュリティ対策を施したうえで電子情報を保存しなければならない。

６）事業者は、適切なセキュリティ対策を施したうえで電子情報を移送しなければならない。

（事故の発生時の措置）

１）事業者は、本業務の履行に関して取り扱う行政情報について何らかの事由により情報流出事故

にあった場合には、速やかに発注者に届け出るものとする。

2）この場合において、速やかに、事故の原因を明確にし、セキュリティ上の補完措置をとり、事故の再発防止の措置を講ずるものとする。

4．事業者が、第 42 条第３項に記載された行政情報流出防止対策の基本的事項について、疑義が生じた場合は発注者と事業者とが協議すること。

5．事業者は、業務計画書及び情報流出防止対策に記載された内容を確実に実施すると共に、実施したことを確認できる資料を作成し、調査職員に報告しなければならない。

第８章 個人情報の取扱いについて

第43条 基本的事項

事業者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年５月30日法律第58号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

第44条 秘密の保持

事業者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第45条 取得の制限

事業者は、本業務における事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第46条 利用及び提供の制限

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第47条 複写等の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第48条 再委託の禁止

事業者は、調査職員の指示又は承諾があるときを除き、本業務における事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取扱いを伴う事務を再委託してはならない。

第49条 事案発生時における報告

事業者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに調査職員に報告し、調査職員の指示に従うものとする。本業務にかかる契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第50条 資料等の返却等

事業者は、本業務における事務を処理するために九州地方整備局又は調査職員から貸与され、又は事業者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、本業務にかかる契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。但し、九州地方整備局又は調査職員が、廃棄又は消去等別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。

第51条 管理の確認等

九州地方整備局は、事業者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、必要と認めるときは、事業者に対し個人情報の取扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第52条 管理体制の整備

事業者は、本業務における事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定する等管理体制を定めなければならない。

第53条 従事者への周知

事業者は、従事者に対し、在職中及び退職後においても本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないこと等、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第54条 罰則

事業者は、正当な理由無く、又は、不正な利益を図る目的で個人情報を提供したり、盗用した場合は、法律に基づき罰則が科せられる。

別紙７

R5-R9
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【本業務全体の計画立案及びマネジメント】

令和５年４月

国土交通省九州地方整備局

第１章　総則

第１条　適用

本仕様書は、R5-R9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務に適用する。

第２条　基本事項

１．運営維持管理業務を総括する業務責任者の指揮命令の下実施することとする。

２．事業者は、本仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めると共に、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に運営維持管理を行うものとする。
なお、本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

３．事業者は、公園内を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち適切に進捗管理を行い、実施することとする。

４．公園利用者に対する簡易な案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

５．スタッフの服装、作業用機械、器具、車両等については、公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

６．業務責任者を含めたスタッフについて、名札を作成し着用すること。

７．取材、行催事、ボランティア活動、工事、納品等通常の公園利用と異なる目的で入園する者が、「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領」等に基づき、公園利用者の安全と快適な利用を確保すると共に、事故を未然に防止し公園施設の保全を図るように努めること。また、公園立入許可申請書の受付、許可書の発行業務及び申請者一覧の作成を行うこと。

８．持込可能な車種及び車両の運行については、別添 13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添 13「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得について」を遵守して走行するものとする。

９．作業にかかる車両の持込は最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

第２章　業務の計画立案及びマネジメント業務

第３条　管理水準

本公園の運営維持管理全般について、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針の下で、企画運営管理業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、動物管理業務等、多岐にわたる業務について総合的な調整の下相互連携を保ちつつ、適切な進捗管理を行うと共に、入園料等の徴収事務、九州地方整備局の実施する整備・修繕工事における実施方針の検討等の助言・調整、臨機の措置、その他本業務が円滑に行われるための諸業務を行う。

また、公園の入園料等は、国の収入となることに留意し、事業者はこれらの徴収事務を別に定める手続き等に沿って安全、適切に行うこと。

第４条　計画立案

国営海の中道海浜公園の業務全般について、公園利用者に対するサービス向上を目指し、多岐にわたる各業務を円滑かつ効率的に実施するため、総合的な視点から運営維持管理全般の目標をさだめると共に計画立案を行うものとする。

第５条　マネジメント業務

１．別紙５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針（案）」を踏まえ、統一的な方針の下、公園利用者に対するサービス水準を維持向上するため、多岐にわたる各業務について業務全般を俯瞰的に監理するものとする。

業務全般の監理に当たっては、適宜、各業務における総合的な連携調整をはじめ、実施方法の決定及び各業務の適切な進捗管理等、総合的な視点から国営海の中道海浜公園の運営維持管理全般のマネジメントを行うものとする。

２．九州地方整備局が実施又は要請する事業（例：臨時園内点検及び管理作業、緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、行催事、要人案内、公園に関する会議、早朝及び夜間公開、入園者数報告、監査・検査、インターンシップ受け入れ時の対応、視察、式典等）への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行う。

３．収益施設等の運営が、他の維持管理業務と連携しながら創意工夫やノウハウを発揮し、質の高いサービスの提供が行えるよう調整を行うこと。

４．毎日、公園利用者数を計測し調査職員に報告すること。

第６条　入園料等の徴収

１．事業者は西口、西サイクリングロ、ワンダーワールドロ、海の中道駅口、光と風の広場口、カモ池口の各ゲート及びその他調査職員の指定する場所において、券売機を管理及び必要な消耗品の供給をし、自動販売に係る入園券の作成及び販売をすると共に、入場ゲートにて入園券の手売り、改札を行うことで所定の入園料金を徴収するものとする。その際、つり銭、両替金を準備し補充すること。

２．事業者は、調査職員の指定する場所において、年間パスポートの作成及び手売りを行い、所定の料金を徴収するものとする。また、発行に時間を要する場合は、引換券を渡す等、適切な措置を講じるものとする。なお、入園券を購入した公園利用者に対して、年間パスポートの販売を行う

場合は、調査職員の指定する場所にて差額販売を行うこと。

3．年間パスポート購入者の登録情報は、関係法令及び共通仕様書第８章に定める「個人情報の取扱いについて」に基づき、適切に管理すること。

4．年間パスポート購入者が、年間パスポートを不携帯の場合は、別途入園料の徴収は行わず、氏名等を登録情報と照合し、本人であることを確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

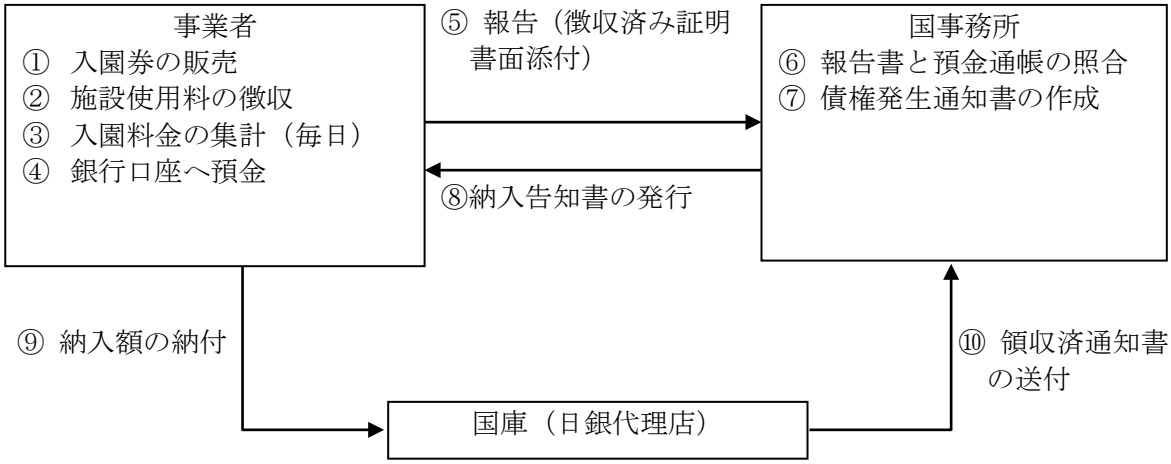
5．シルバー券の利用者に対しては年齢を確認した上で入園させる等、適切な措置を講じること。

6．事業者は、手売り入園券を作成する場合は、調査職員の承諾を受けた上で作成し、これを販売するまでの間保管する。なお、手売入園券の作成は、調査職員と協議の上、内容及び複製防止の対策を十分に施し印刷すること。

7．事業者は、毎月 15 日及び月末日までの徴収済みの入園料等を集計し、徴収済みを証する書類を添えて九州地方整備局に報告し、九州地方整備局の歳入徴収官の発行する納入告知書により国庫に納入しなければならない。

8．国庫に納入する入園料等は、事業者の他の口座とは別の口座（入園料等の専用口座）で管理を行うこととし、公園利用者数、日々の売り上げた券及び入園料は、原則として毎日、集金及び集計し、他の経理区分と分けて帳簿等に記入し、管理すること。なお、入園料を徴収した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。

9．入園料と駐車料金等その他の料金を同時に徴収する場合、入園料については前項に掲げる事項に基づき適切に管理すること。



※事業者の銀行口座で発生する利息については、年２回事業者から国に報告し、⑥～⑩の手続きを行う。

10. ドッグランの施設使用料は、光と風の広場口又はカモ池口にて必要な確認等を行った上で所定の施設使用料を徴収すること。又、松毬庵の施設使用料は、管理センターにて受付を行い所定の施設使用料を徴収すること。

11. 事業者は入園料等の収受等に際し、集金・集計の方法、手売入園券及び現金等の保管方法等について業務計画書に記載し契約締結の 14 日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受けるものとする。

第７条　その他国庫に納入する収入

事業者は、前条の入園料等の徴収に付随して発生する収入が発生したときに、その内容を証する書類を添えて調査職員に書面により報告し、国の発行する納入告知書により国庫に納入しなければならない。なお、その他の収入が発生した後、国庫に納入するまでの間の管理責任は事業者にあるものとする。

第８条　保険の加入

万一の事故に備えて、動産総合保険（園内における保管・輸送を対象）に加入すること。

第９条　安全管理

１．公園における公園利用者の安全確保並びに快適な利用を図るため、本業務の履行に当たり、常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、公園の利用に関し必要な事項について、適切な措置・対応を行う等、事業者の責任において常に善良なる管理を行うものとする。
なお、九州地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

２．新型インフルエンザや鳥インフルエンザのように重症化する恐れのある感染症等については、調査職員と協議の上、消毒液を設置する等、適切な措置・対応を行うこと。

３．事業者は、本業務の履行に当たっては消防法に準拠すると共に、九州地方整備局が定める消防計画･危険物予防規定を遵守すること。

４．事業者は、九州地方整備局と協力し、火災・その他災害による物的・人的被害を軽減することを目的に、別途消防計画・危険物予防規定を含めた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受けた上でその内容を遵守するものとする。なお、消防計画には、防火管理者等の担当者を明記することとする。

５．事業者は各点検項目を業務計画書に記載し、点検を実施すること。

６．異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従う。安全管理には十分注意し本業務を履行する。

第10条　安全確保

１．本業務の実施に当たっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故の防止に努める。

２．本業務を行う場所若しくはその周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止する。

３．設備に異常を認めた時は、危険防止に必要な措置を調査職員に報告の上、当該措置を講ずる。

４．万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、速やかに調査職員に報告し、必要に応じ精密検査をおこなう等その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとる。
なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

５．その他公園管理又は公園施設に起因するか若しくはその恐れのある事故等が起こった場合、必要な措置を取った上、速やかに調査職員に報告するものとする。なお、事故の第１報については、

電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせを行うこと。併せて、後日遅滞なく、書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

1）事故発生日時
2）事故発生場所
3）事故発生の原因
4）事故の程度
5）人身事故の場合は、必要に応じて医師の診断結果又は、本人及びその家族等から得られた情報
6）被害者の氏名、性別、年齢、連絡先
7）事故処理の概略
8）再発防止等改善策等

第11条　救急対応

1．事業者は、救急時の対応方法及びその報告方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守するものとする。
2．事業者は、公園利用者の動向等を勘案し適切に救急施設を配置し、公開期間中は看護師を常駐し救急活動に当たらなければならない。また、臨機な救急活動に対応できる体制を整えるため、年１回以上は普通救命講習を開催し、スタッフが普通救命講習修了者（Ⅰ又はⅡ）の資格を有するように努めること。なお、目標とする普通救命講習修了者（Ⅰ又はⅡ）の職員数を業務計画書に示し、調査職員と承諾を受けること。
3．事業者は、救急活動を要する事態を認めたときは、公園利用者の急病や負傷には応急処置をとり、怪我等の状態によっては救急車両による搬送手配を行う等、最も適切と思われる措置を行わなければならない。
4．事業者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録すると共に、その経過及び結果を速やかに調査職員に報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。
5．傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

第12条　災害時、異常時等の対応

1．事業者は災害防止等のために必要があると認められるときは、公園利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行う等臨機の措置をとらなければならない。この場合において、閉園等の必要があると認めるときは、事業者はあらかじめ調査職員の承諾を得なければならない。但し、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。
2．前項の場合においては、事業者は、そのとった措置の内容を調査職員に速やかに報告する。
3．設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上、速やかに調査職員に報告し、必要に応じ精密検査をおこなう等その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとる。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、後日遅滞なく、事故の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する）により報告するものとする。

4．台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。

5．台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うものとする。

6．事業者は、夜間及び休園日において、異常を発見した場合は、必要に応じて警察、消防等の関係機関等に通報し、適切な措置を講ずると共に、調査職員に速やかに報告する。なお、事故の第１報については、電話・メール・口頭のいずれかで行い、その後の対応については調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、事案の詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

7．調査職員は、災害防止や本業務の履行上特に必要と認めるときは、事業者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

8．調査職員の指示により、災害時、異常時等の緊急を要する場合は、事業者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。また、九州地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

9．事業者は、事故や災害発生時等への対応のため、事務所が定める「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」及び「事業継続計画（ＢＣＰ）マニュアル」に基づき、事業者の役割・行動・体制等をとりまとめた危機管理マニュアルを作成し、契約締結の 14 日前までに業務計画書として取りまとめ九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

10. 事業者は、事故や災害発生時等には、前項において作成したマニュアルに基づき、公園の開園日、開園時間に関わらず、適切な措置・対応を行うものとする。

11. 事業者は、「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づき九州地方整備局が防災体制の発令を行った場合は、調査職員の指示に従い、園内の臨時巡視行うこと。又、巡視の結果については、公園の開閉園の判断要素となるため、速やかに調査職員又は「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づく国事務所出勤者に電話・メール・口頭のいずれかで連絡し、その後の対応については調査職員又は「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に基づく国事務所出勤者と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく、詳細について書面（様式は別途調査職員より指示する)により報告するものとする。

第13条　繁忙日対応

行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況の把握等から、事前に繁忙日や利用者数を予想し、調査職員や関係者との協議・調整、適切な人員配置等の事前準備を行う。

第14条　その他

この仕様書によるもののほか、本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の実施に当たり必要な事項は、調査職員と協議の上定めることとする。

別紙８

R5-R9
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【企画運営管理】

令和５年４月

国土交通省九州地方整備局

第１編　総則

第１条　適用

本仕様書は、R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、企画運営管理業務に適用する。

第２条　基本事項

１．企画運営管理業務を総括する業務責任者の指揮命令の下、実施することとする。

２．事業者は、本仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めると共に、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に運営維持管理を行うものとする。
なお、本仕様書に記載のない事項又は本仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

３．事業者は、公園内を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち適切に進捗管理を行い、実施することとする。

４．公園利用者に対する簡易な案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

５．スタッフの服装、作業用機械、器具、車両等については、公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

６．業務責任者を含めたスタッフについて、名札を作成し着用すること。

７．取材、行催事、ボランティア活動、工事、納品等通常の公園利用と異なる目的で入園する者が、「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領」等に基づき、公園利用者の安全と快適な利用を確保すると共に、事故を未然に防止し公園施設の保全を図るように努めること。また、公園立入許可申請書の受付、許可書の発行業務及び申請者一覧の作成を行うこと。

８．持込可能な車種及び車両の運行については、別添 13「国営海の中道海浜公園　園内業務車両入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添 13「国営海の中道海浜公園園内業務車両入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得について」を遵守して走行するものとする。

９．作業にかかる車両の持込は最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

第２編　行催事

第１章　行催事企画運営

第３条　目　的

１．事業者は、公園利用の増進に加え、公共施設としての公園の目的・機能を発揮するために行われる利用プログラム、イベント、競技会、展示会等から構成される行催事（以下「イベント」という。）について、企画立案、開催・運営等の一連の作業をノウハウや創意工夫を発揮して行うものとする。

２．本仕様書が対象とする行催事は九州地方整備局が主催又は共催により行うものである。

３．行催事とは、公園の施設を活用し、公園利用者に対するサービス水準の向上の一貫として通年的に提供されるサービスと公園の周知や利用促進のため、公園利用者の利用のきっかけを提供する定期及び不定期のサービスがある。

また、上記行催事のほか、九州地方整備局の許可を受けて独立採算により開催する行催事については自主事業として取り扱う（別紙 12「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務収益施設等設置管理運営規定書」参照)。

第４条　管理水準

事業者は、当公園の立地する地域性・空間特性、社会的要請に配慮し、別紙 17 を参考に行催事を適切に実施し、公園の設置主旨の達成及び利用の促進に寄与することとする。

第５条　年間行事計画の作成

事業者は、現地及び企画内容を十分に検討し、年間行催事計画を作成する（共通仕様書第 15 条参照)。年間計画の作成の際は、調査職員と協議するものとする。

第６条　行催事の企画立案

１．事業者は、行催事（以下「イベント」という。）を円滑に実施するために、開催目的、内容、工程、実施体制、予算書等について企画立案し、その内容について調査職員と密接に連絡調整するものとする。

２．事業者は、イベントの展開に当たっては、当公園の立地する地域性・空間特性、社会的要請に配慮した主催・共催イベントの企画立案・開催、持込イベントの誘致及び対応、地域連携イベントの創出・開催、市民協働イベントの企画立案・開催を行うものとする。

３．事業者は、別紙 17 に示すイベント等及び自主事業を参考にしつつ、広大な敷地面積、動物の森や海浜部等の特徴を活かして、都市緑化系イベント、スポーツ系イベント、環境学習系イベント、文化系イベント、季節系イベント等を単独若しくは複合的に組み合わせながらイベント等を展開するものとする。また、イベント毎に効果を検証し効果的かつ効率的なイベントの企画立案を図るものとする。

４．事業者は、効果的・効率的に利用促進を図ることを目的に開催される「野外コンサート」、「マラソン大会」、「ウォークラリー大会」、「サッカー大会」及び「各種レクレーションイベント」等の持込イベントを年間通じて誘致すると共に、イベント開催時において公園利用者全体が安全かつ快適に公園を利用できるように主催者との調整をはかるものとする。

第７条　イベントの開催・運営

イベントの目的に沿って、その効果が十分に発揮されるよう、入念な事前準備を行った上で、公園利用者のサービスや満足度の向上に寄与する行催事の開催・運営を行うものとする。

また、イベントの開催に当たっては、次の各号に掲げる事項に留意すること。

１．官公署への連絡、届出

イベントの主催時には、必要に応じ、関係機関との協議のほか、許認可の必要な事項について手続きが欠落しないよう注意する。

２．事故防止対策

参加者の誘導整理、救護、緊急連絡等、事故防止対策には特に注意する。

また、大型のイベントの主催時には、必要に応じて、物的措置及び専門の警備員の配置も含めた人的措置を講じ、安全確保に努めるものとする。

なお、けが人、病人等が発生した場合は、適切に対処し、調査職員に報告すること。

３．災害発生時の対応

台風、豪雨、雷等の災害発生時は、迅速に必要な人員を確保し、イベントの開催の可否の判断を行うと共に、イベントの参加者を安全な場所に誘導する等、適切な措置・対応を行うこと。

４．保険の付保及び事故の補償

参加者の不慮の事故に備え、必要な場合には損害保険に加入する。

第８条　提出書類

１．事業者は、季節に応じた大型イベントについて、企画書や実施工程表等の書類、その他指示する図書をイベント実施の 14 日前までに九州地方整備局に提出し、承諾を受けるものとする。

２．事業者は、翌月に開催する予定イベント（主催・共催等）について、前月末までに調査職員に協議の上、その指示に従うものとする。また、持込イベントも含めて開催結果（参加者数等）についてイベント開催月の翌月 10 日までに、管理月報にて調査職員に報告するものとする。

第９条　行為の許可申請の調整等

１．主催以外で、都市公園法第 12 条に基づき第３者が本公園内で実施を希望する持込イベントの開催に際しては、共通仕様書第 31 条に示す協議・報告を行う等、調査職員の指示に従い、必要な調整を行うものとする。

１）事業者は、利用者からの持込イベントの相談窓口として、日時、規模、内容、建物使用料及び土地使用料が発生するかどうか等を確認・調整するものとする。

２）他の利用形態等との調整を経て、持込イベントについて事業者と国事務所間で確認・調整するものとする。なお、必要に応じて、国事務所も入りイベント主催者と調整を行う。

３）事業者は、イベント主催者から公園管理者宛に提出される必要書類を窓口として受けるものとする。

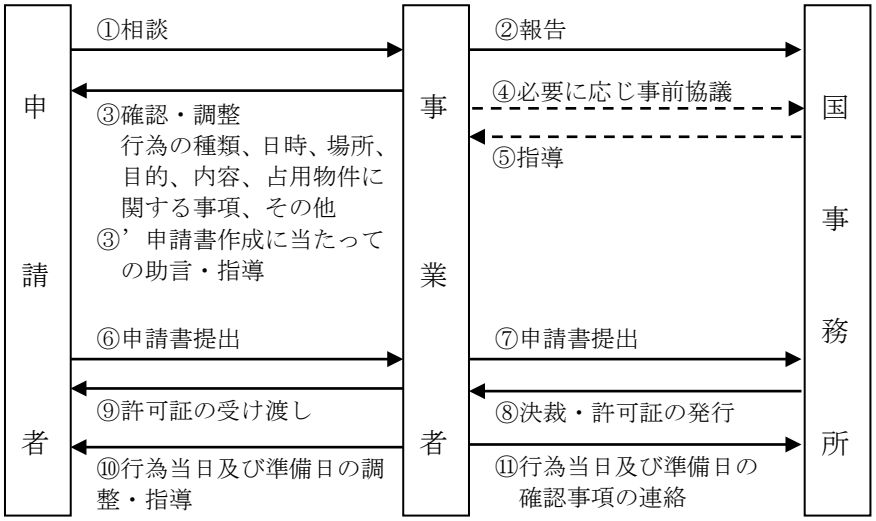
４）国事務所において都市公園法等に基づく許認可（許可書の受け渡しは事業者で実施）と、建物使用料及び土地使用料の徴収等を行う。

５）事業者は、申請者に対し「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領」等の規則や許可申請に必要となる資料及び提出期限(原則としてイベントを行おうとする日の 14

日前迄）等について丁寧に説明すること。

2．第３者がイベントにより本公園を利用する場合等の行為については、都市公園法第 12 条に基づく九州地方整備局長の許可が必要であるため、事業者は下記に示す手続きフローに従い適切に対応すること。

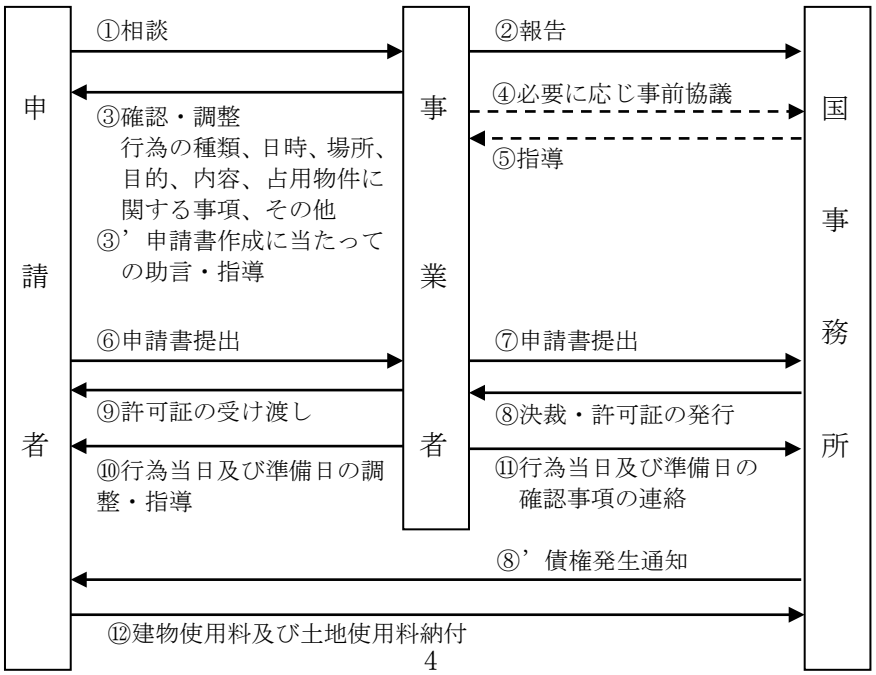
＜都市公園法第12条に基づく占用の許可に関する手続きフロー＞



※占用物件が発生する場合は、別途、都市公園法６条に基づく許可申請と建物使用料及び土地使用料徴収が発生する。（建物使用料及び土地使用料の徴収事務は国事務所で行う。）

3．第３者がイベントにより本公園の全部又は一部を独占して利用する場合及び仮設物等の占用物件が発生する場合は、都市公園法第６条に基づく九州地方整備局長の許可が必要であるため、事業者は、下記に示す手続きフローに従い、適切に対応すること。

＜都市公園法第６条に基づく占用の許可に関する手続きフロー＞



※原則として、都市公園法第12条に基づく行為に関する許可を前提とする。
（例外有り）

第10条　その他

1．イベント開催の前に、園内の施設工作物及び樹木等を損傷しないように注意し、公園内施設等に対する損傷や支障を与えないように養生を行うこと。また、イベント終了後は、養生材や工具の撤去、床、壁、機器、開催場所周辺を清掃すること。

2．イベントの実施に際しては、園内の施設工作物及び樹木等を損傷しないように注意すること。また、イベントの実施中は、服装、言動等に注意し、入園者に不快感を与えないよう留意すること。

3．常に入園者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理者の注意をもって運営等にあたらなければならないものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従うものとする。

4．イベントの実施に必要な仮設物の準備、撤去等に当たっては、安全管理に十分注意し施工する。

5．入園者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

6．イベントを開催する関係者については、スタッフとして認識出来る服装あるいは名札等を着用すること。

7．本仕様書に定めるイベントの実施にあたり、必要な原材料費等の実費相当の料金を参加者より徴収することは妨げない。但し、実施に当たっては、公園管理者に事前に了解を得た上で、実施するものとし、その徴収額と経費については、本業務委託の会計とは別に帳簿等を取りまとめ、年度終了毎に調査職員に報告するものとする。

8．主催・共催以外で、持込のイベントの開催に際しては、本仕様書第２編第１章第９条に示す行為の許可申請の調整等を行う等、公園管理者の指示に従い、必要な調整を行うものとする。

第２章　公園ボランティア活動の支援・調整

第11条　管理水準

市民のボランティア活動（以下「活動」という。）を促進すること。なお、既存のボランティア活動の実態については、第 12 条に示す通りであるが、活動の継続等についてはボランティア団体又は個人の意思を尊重すること。なお、継続するボランティア及び新規登録ボランティアとの連携を図り、ボランティアが円滑に活動できるよう側面的に支援すると共に、活動の調整を行うものとする。

第12条　ボランティア活動の内容

１．既存のボランティアの活動の内容は以下の表の通りである。

ボランティア名	活動内容	登録者数 (R4.8現在)
海の中道ﾌﾗﾜｰﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○ｼﾝﾌｫﾆｰｶﾞｰﾃﾞﾝ、ﾌﾗﾜｰﾐｭｰｼﾞｱﾑ等の花壇管理作業 ○ﾌﾗﾜｰﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ講習会に関する活動 ○園内花壇のｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰに関する活動　等	39名
ﾊﾞﾗﾌﾚﾝｽﾞ	○バラまつりのイベントサポート ○花落としや摘蕾、剪定、土づくり等の活動 ○公園イベントへの協力　等	21名
海の中道ｻﾎﾟｰﾄｸﾗﾌﾞ	○遊具（昔あそび道具）の製作に関する活動 ○昔遊びの指導・実技に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	32名
動物の森ZOOﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○飼育動物の管理作業全般に関する活動 ○動物愛護に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	14名
共生の森ｻﾎﾟｰﾄﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○環境共生の森等での環境学習活動のｻﾎﾟｰﾄ ○森林育成・田畑活動のｻﾎﾟｰﾄ ○共生の森ｻﾎﾟｰﾄﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ研修に関する活動	53名
野鳥ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○月１回の野鳥観察及び調査報告書の作成 ○本公園に生息する野鳥の保護に関する活動 ○公園イベントへの協力　等	14名
ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	○主催行催事「ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌﾁｬﾚﾝｼﾞ」における参加者への指導及びその他運営に関する活動 ○ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌｺｰｽの管理に関する活動 ○ﾃﾞｨｽｸｺﾞﾙﾌｺｰｽの利用促進・普及に関する活動	13名
公園見守り隊	○園内全域における月１回の巡回 ○来園者へのガイド・サポート ○ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の運営に関すること　等	５名
森の池ボランティア	○「森の池」の調査活動 ○「森の池」の野草保全育成活動 ○「森の池」での企画運営活動 ○その他、ボランティア活動の運営全般	29名

２．上記、登録ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体以外に、海岸清掃イベントとしてのﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動や企業の短日ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等幅広くﾎﾞﾗﾝﾃｨｱを受け入れている。

第13条　ボランティア団体及び個人の誘致について

１．事業者は、ボランティア団体及び個人の誘致に努めなければならい。

２．事業者は、本公園でボランティア活動の実施希望を実現しやすいよう受け入れ等の環境を整備すること。なお、環境づくりについては、調査職員と協議しその指示に従うものとする。

第14条　ボランティア活動の実施に関わる規約案等の作成

１．ボランティア活動を行う場合には、事業者は、本公園において、活動を希望する個人又は団体を対象とした公園ボランティア規約案（別添 18「国営海の中道海浜公園〇〇ボランティア規約ひな形」参照）を作成し、調査職員と協議し承諾を受けること。

第15条　調査職員との協議等

１．事業者は、ボランティアの募集、調整及び窓口等の業務を行うものとする。

２．事業者は、第 14 条において承諾を受けた、各々のボランティア規約に基づき、調査職員と協議の上、ボランティアの登録、個人情報の管理、年間活動計画の策定、当該年度のボランティア活動の報告を行う。

第16条　ボランティア登録の抹消

事業者は、次の各号に該当する事実が発生した場合は、ボランティア登録の抹消に関する窓口業務や連絡、調整等を行うほか、貸与した被服及びボランティア証の回収を行うものとする。

１．登録者より登録取消しの申出があったとき

２．登録者の所在が不明となり、連絡不能となったとき

３．登録者がボランティア活動日以外にボランティア証を利用して入園した場合

４．その他、登録者がボランティアとして不適格であると認められるとき

第17条　ボランティアへの支援内容

事業者は、状況に応じ、ボランティアへ次の各号に掲げる支援を行うことができるものとする。

１．被服の貸与

２．駐車料、入園料等の免除

３．その他、ボランティア活動の実施に必要であると考えられる支援

第３章　広報

第18条　管理水準

１．公園の利用促進や適正な利用の確保のため、公園利用者の動向を把握しながらホームページの維持・更新や園内マップの作成・配布等、効果的・積極的かつ計画的に各種広報を適切に行う。

２．費用対効果を常に検証しながらよりよい広報に努めるものとする。

３．個別の広報の企画に当たっては、調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

４．広報に用いる媒体については、ユニバーサルデザイン検討委員会（外部有識者会議）にて承認されている「情報提供ガイドライン」「ネットワークルートガイドライン」「Ｗｅｂ情報提供改善手引き」を参考にするものとする。

第19条　年間広報計画の作成

事業者は、ポスター、チラシ等の広報の展開に関する年間広報計画を契約締結の 14 日前迄に九州地方整備局に業務計画書として提出し、承諾を受けなければならない。

第20条　ポスター、チラシ等作成

事業者は、年間広報計画に基づき、ポスター、チラシ、パンフレット等を作成し、園内外で配布や掲示等を行うものとする。なお、作成する前に必ずその内容等について、調査職員と協議し、承諾を得るものとする。

第21条　広報展開

１．パブリシティー活動

広く効果的に当公園の魅力やイベントについて知らせることを目的にＴＶ・ラジオ・新聞等のマスメディアへ積極的かつ計画的に情報を提供するものとする。

２．大型イベント開催時の広報展開

１）必要に応じイベントのチラシを作成し幼稚園児、小学校児童等、に配布を行うほか、道の駅、交通機関、福岡県・市の関係機関へ配布する等適切な対応を行うものとする。

２）必要に応じ、雑誌・情報誌・DM等を利用した広報活動を展開するものとする。

３）イベントや利用促進のための広報活動の一環としてキャンペーン等を必要に応じ展開するものとする。

３．公園ガイド等の活用

公園の魅力を伝える広報媒体として、来園後の公園情報提供に資する公園ガイド等、既存媒体の内容充実、広報展開の拡大等を図る。

４．運営維持管理業務以外の施設管理者及び収益施設等運営者と連携した広報展開

チラシやポスター等の広報媒体を展開する際は公園内の各機関の情報等も出来るだけ盛り込むことにより、公園全体の魅力を知らせる事につながり大きな利用促進の効果を発揮するので、運営維持管理業務以外の施設管理者及び収益施設等運営者との連携・調整を密に図るものとする。

５．広域から来園者を迎えるための広報展開

ポスター・チラシ・公園ガイド等について、公共交通機関ターミナルや観光案内所等掲示を行う等広域の居住者に公園の情報を知らせる広報展開を図るものとする。

6．他の国営公園との連携による広報展開

全国にある国営公園と連携し、各公園の特色ある広報等を当公園の広報に取り入れる等、効果的かつ効率的な広報の充実に努めるものとする。

第22条　情報提供

1．事業者は、本公園の自然や施設等の資源や行催事等について、SNS 等による広報活動や、テレビ、ラジオ、雑誌、新聞等の各種媒体や記者クラブへの情報提供を行う。なお、情報提供の内容と提供先は事前に調査職員と協議し、承諾を得るものとする。

2．マスコミへの情報の提供先は、次の各号に掲げる事項によるものとする。

1）福岡県政記者クラブ

2）福岡市政記者クラブ

3）その他、テレビ局等情報の提供が有意義であると認められる場合。

第23条　広報に係る素材等

1．事業者は、本公園のロゴ（名称）及びホームページアドレス等を入れた広報媒体を、調査職員と協議の上、作成することができる。本公園のロゴ（名称）等は「サインマニュアル」（別添 19）及び「グラフィックマニュアル」（別添 20）に従って使用するものとする。

なお、著作権（事業者に権利が帰属しないものを除く。）はすべて事業者に属する。但し、事業者は、九州地方整備局に対して、本業務の目的を達成するために必要な限度で、当該成果物を無償で使用させる。

2．事業者は、九州地方整備局から提供したパンフレット等の電子媒体を調査職員と協議の上、使用することができる。なお、提供した電子媒体について修正等を行った場合は、契約の終了後又は解除後、速やかに修正した電子媒体を調査職員に提出することとする。

第24条　取材・視察等への対応

1．本公園の広報につながる取材の申し出があった場合は、事業者は取材者から取材内容等について確認し、別添 21「取材申込書」にて調査職員に報告すること。

2．本条第 1 項以外のロケーション依頼については、事業者は事前に取材者から別添 16「園内におけるロケーション等の許可に関する取扱要領」に基づき、都市公園法第 12 条に基づく許可申請について必要な調整・申請書の受付・許可書の受け渡し等の業務を行うこと。

3．取材及びロケーションを許可する場合は、国営海の中道海浜公園における禁止行為を伝え、節度ある取材行為を依頼すること。なお、別添 11「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱い要領」等に規定された禁止行為又は許可条件に違反する行為が見られた場合は、直ちに取材を及びロケーションを中止させ、速やかに調査職員へ報告すること。

4．行政機関等の視察については、調査職員と協議するものとする。

第25条　ホームページの公開場所

1．ホームページによる情報発信は、公園の公的名称を使用し、レンタルサーバーに格納して公開することとし、レンタルサーバー管理会社を選定する際は調査職員と協議して契約するものとする。

2．現在、レンタルサーバー管理会社は「KAGOYAJAPAN」を使用している。

第26条　ホームページ等による情報発信

1．事業者は国営海の中道海浜公園に関する最新の情報を常に発信するために「国営公園　海の中道海浜公園　オフィシャルホームページ」（以下「本公園ホームページ」という。）を運用する。

2．本公園ホームページの内容は、利用者のアクセス数の向上が図られるよう創意工夫に努めると共に、常に最新の情報となるよう努めること。その内容については、ユニバーサルデザインを考慮した内容の充実や見やすさの向上を図るものとする。また、公園の魅力をリアルタイムに伝える手法として各種 SNS を活用する。その他の手法については事前に調査職員と協議するものとする（現行は、ブログ、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、ツイッターにより配信））。なお、手法の策定に当たっては、掲載内容、更新回数についても考慮するものとする。

3．事業者は、本公園ホームページ及び SNS 上で発信する情報について共通仕様書第８章に定める「個人情報の取扱いについて」及び九州地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認することとする。

4．ネットワークのシステム管理者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽等）における著作権等の知的所有権に配慮することとする。

5．他人の著作物を本公園ホームページ及び SNS に掲載する場合には、事前に著作権者の許諾を得ることとする。

6．本公園ホームページ及び SNS は原則として各々一つとし、収益施設や自主事業における行催事等で作成したホームページ等は本公園ホームページや SNS よりアクセスできるようリンクを貼るものとする。但し、これによりがたい場合は、別途協議によるものとする。

第27条　掲載情報の更新・修正・訂正

1．事業者は、本公園ホームページ等について、施設情報や行催事・草花等、随時更新される公園情報についてデータを作成し、サーバーデータの更新を行うものとする。なお、データ作成により生じる全ての権利は事業者に属する。但し、事業者は、九州地方整備局に対して、本業務の目的を達成するために必要な限度で、当該成果物を無償で使用させることができる。

2．事業者は、個人に関する掲載情報について、本人又は保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとることとする。

3．事業者は、本公園ホームページ等であるとの誤解を与える内容の他のホームページ等を発見した場合には、訂正等必要な措置を求めることとする。

第28条　その他

1．事業者やその関係者が私的に作成・開設するホームページ等（ブログ、プロフ、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、その他 SNS を含む）は、本公園ホームページであるとの誤解を与えないよう配慮すると共に、職務上知り得た情報を掲載しないこととする。

2．本公園ホームページ等の運用に当たっては、この仕様書によるもののほか、必要な事項は事業者が調査職員と協議の上定めることとする。

第３編　利用サービス等

第１章　公園利用者への利用指導

第29条　管理水準

事業者は、健全な公園利用の増進を図ること共に、安全快適な利用のため、利用上の注意等の公園利用者への利用指導、また電話対応、園内放送、障害者・高齢者等の公園利用者の補助、各種掲示物の管理、見学者等の対応等、公園利用者への利用サービスに関する業務全般を行う。

第30条　一般事項

１．公園利用者に受付であることが容易に理解されるよう必要な表示や案内を行うこと。
２．事業者は、公園利用者への利用指導及び利用サービスのために必要な人員数を各所に適宜配置すること。
３．遊具が正しく利用されているか、巡視及び利用指導等を行うこと。
４．自転車利用者がサイクリングコース外を走行していないか、また歩行者がサイクリング専用コース内に立ち入っていないか、巡視及び利用指導を行うこと。
５．公園規則から逸脱している者、他の公園利用者に著しく迷惑をかける者等については、必要に応じて調査職員の承諾を得て、総括責任者が退園を命じることができるものとし、事業者の業務責任者を通じて調査職員に報告するものとする。
６．ペット随伴者のマナー遵守や他の公園利用者とのトラブルが発生しないよう、ペット随伴者の注意事項の配布や適切な掲示、利用指導を行うこと。

第31条　特段の配慮が必要な施設

空気膜構造遊具（くじらぐも“ふわんポリン”）については、スタッフの配置等特段の配慮が必要であるので、管理運営要領（案）を作成し、調査職員と協議の上、承諾を受けるものとする。

第２章　公園利用者等へのサービス業務

第32条　管理水準

１．公園利用者等に直接接する業務であり、公園利用者等が快適に楽しめるよう心掛け、不快と感じさせるような行動、言動、身なりをしてはならない。

２．業務遂行に当たっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

第33条　公園利用者等への利用サービス

１．園内の概要、見頃の花や開催するイベント等の基本情報を収集し、管理センター及びゲート等にて公園利用者の問い合わせに対応すること。また、電話及びメール等での問い合わせに対しても同様に対応すること。なお、必要に応じて各部署に確認又は引き継ぐこととする。

２．公園利用者等の苦情については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録すること。

３．園内での迷子、呼び出し、イベント告知、防災情報等の園内放送を行うこと。

４．運営管理業務において作成する「公園ガイド」及び「おすすめルートマップ」を希望する公園利用者等に配布すること。

５．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

６．障がい者及び高齢者等の補助を行うこと。

７．公園利用者の利便性向上のために車椅子、電動カート、ベビーカー等の無料貸出を行うこと。また、障がい者への利用サービスの一環として筆談器等をゲートに常備すること。

第34条　団体利用調整

１．社会福祉団体等の公園利用に際しては、視察の受け入れ対応、利用当日の誘導等の必要な調整業務を行う。

２．団体での広場使用について、調整を行うものとする。

第35条　拾得物、残置物の処理

事業者は、公園内で遺失物を発見した場合は、利用サービスの観点から一定期間保管しそれでも持ち主が現れない場合は、遺失物法に従い適正に処理すること。又、遺失物の発見及び届出があった場合の行動マニュアルを作成し、調査職員に提出し承諾を受けた上で、それを遵守しなければならない。なお、行動マニュアルには下記の事項等は必ず記載すること。

１．拾得物の保管期間

２．保管場所

３．保管方法

４．遺失物保管責任者の選任

５．拾得物台帳の作成に関すること

６．遺失物法に規定する報労金について一切の権利を放棄すること。

第３章　園内巡視

第36条　管理水準

事業者は開園区域について、利用者の安全利用の確保及び公園施設の維持管理を効果的かつ能率的に行う事を目的として、定期的に園内巡視（以下「巡視」という。）を実施するものとする。併せて、利用者指導及び利用者サービスを行うと共に災害・事故等不測の事態に備え、緊急の処置を取ること。

第37条　巡視の内容

巡視は、日常巡視、時間外巡視、異常時巡視の３種類とする。

１．日常巡視とは、開園時間中に公園内の安全を確認するために実施する。

２．時間外巡視とは、閉園後の不法侵入者の取り締まり、事故及び災害の予防並びに器物、施設（管理棟等）の破損の有無等を点検すると共に盗難防止等についても十分に注意を払って行うものとする。

３．異常時巡視とは、園内で災害が発生した場合又はそのおそれがある場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、公園内の状況を把握するための巡視を行う。

第38条　巡視業務の実施

１．適正な巡視業務を実施するため、事業者は「利用指導及び巡視計画書」を作成し、契約締結の 14 日前までに業務計画書として、九州地方整備局に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

２．事業者は、適正な巡視業務を実施するため、以下の要領にて巡視業務を行うものとする。また、巡視に先立ち関係書類等により、巡回に必要な事項を把握しておくものとする。

１）巡視ルートを予め設定し、これに従って巡視するものとする。

２）巡視員は、公園利用者に対して不快感等を与えないよう常に親切丁寧に接するものとする。

３）巡視員は、小規模な修理用具並びに救急箱を携帯し、必要に応じて処置するものとする。

４）巡視員は、都市公園法第 11 条、第 12 条、都市公園法施行令第 18 条、第 19 条及び別添 12「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領」等に定める違反行為を発見した場合には適切な利用指導をするものとする。また、利用指導に応じない場合は必要に応じ調査職員の承諾を得て、総括責任者が退園を命じることができるものとし、事業者の業務責任者を通じて調査職員に報告するものとする。

５）巡視員は遊戯施設における危険行為等を発見した場合には、適切な指導を行うものとする。

第39条　日常巡視

事業者は、日常巡視として、次の事項について、原則としてＢ地区は１日２回以上、Ｃ・Ｄ地区は１日４回以上点検確認を行い、必要に応じ利用指導及び作業を行うものとする。なお、利用状況に応じて巡視回数を変更する場合は、事前に調査職員と協議を行うものとする。

１．公園の開園、閉園時における休憩所及びトイレ等施設の解錠又は施錠

２．園内における公園利用者への案内・誘導・整理及び利用指導

３．公園利用者の危険箇所への立入り及び危険な行為に対する制止及び安全指導

４．緊急車両の通報及び申し出を受けた場合には、速やかに口頭・電話・メール等により調査職員に

報告するものとする。併せて、後日遅滞なく書面により報告するものとする。

5．事件、事故又は災害等が発生した場合の適切な処置と報告

6．園内不審物の有無の確認

7．拾得物を発見した場合の速やかな報告及び拾得物預かり書の作成

8．植物、施設及び清掃状況等の点検

1）樹木、芝生、草花等の生育状況及び流水等の修景施設の異常の有無

2）園路、広場の路面、路側、法面、護岸、排水桝、橋梁、階段、建物その他構造物等の異常の有無

3）門扉、サイン・標識・看板、ベンチ等休憩施設、便所、くずかご、灰皿、水のみ場、遊具施設等の異常の有無

4）電気、放送、給排水設備等の異常の有無

5）清掃の状況

6）落石、災害、倒木、落枝、事故等不測の事態発生の有無

7）園内で工事等を実施している際は安全対策等が適切に行われているか

8）喫煙場所以外で喫煙している利用者等を発見した場合の利用者指導

9）園内で禁止事項又は持込禁止物品を確認した場合及び通報を受けた場合の利用者指導

9．緊急車両の誘導（救急車、消防車、パトカー等）

10. 迷子や近隣の行方不明者等に関する警察からの協力要請があった場合、その要請に対応した巡視と報告、関係者への連絡。

第40条　時間外巡視

事業者は、時間外巡視として、次の事項について、原則すべての地区について開園前と閉園後の１日２回実施するものとする。なお、必要に応じて別途臨時巡視（夜間等）を実施するものとする。

1.公園の閉園時におけるゲート及び休憩所施設の施錠確認

2.事故及び災害の予防のため、公園開園前に開園上問題になる支障の有無

3.不法侵入者の有無及び侵入者の排除

4.器物及び売店等の施設等破損の有無

5.その他盗難防止措置

第41条　異常時巡視

異常時巡視は、園内で台風や大雨等による災害が発生した場合又はその恐れがある場合の園内の異常及び利用障害等に対して適切な措置を講じるため、次の各号に掲げる事項について、巡視を行うものとする。

なお、異常時巡視の結果については、公園の閉・開園の判断要素となるため、巡視終了後速やかに詳細について業務責任者等を通じて調査職員又は「国営海の中道海浜公園防災計画書及び支部運営要領」に示された体制に基づく出勤者へ報告するものとする。

1.園内の被害状況

2.利用障害等の状況

第42条　管理事務所内警備

管理事務所（１階・２階等）を適正に管理するための夜間警備については、国事務所で別途発注する。

第43条　報告等

１．事業者は、巡視員に対して、巡視の結果を毎日巡視日誌に記録し、業務責任者に報告させるものとする。また、巡視日誌の様式及び添付資料については、調査職員の指示に従うものとする。

２．事業者は、１週間分の巡視日誌を翌週金曜日までに調査職員へ提示するものとする。但し、提出期限が祝日に該当する場合は、翌開庁日とし、契約完了年度の業務最終月の提出期限は契約完了日までとする。

３．巡視員が重大な事件・事故・災害等を発見した場合及び異常事象を発見した場合には、業務責任者を通じ、速やかに第１報を口頭・電話・メール等により調査職員に報告しその後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。

第４章　繁忙日対応

第44条　管理水準

繁忙日において、クレーム等の発生がなく、利用者が安全、快適に利用できるよう、事前準備を十分に行い、適切な運営体制や臨時施設等の準備・管理を行う。

第45条　事前準備

行催事の実施計画や過年度の利用者数の状況を把握し、事前に繁忙日や利用者数を予想し、繁忙日対応のための、調査職員や関係者との協議・調整も含めた事前準備を行う。

第46条　繁忙日に対応した運営体制の補強

繁忙日が予想される場合は、巡視・警備や案内・誘導、入園料徴収等が円滑に行われるよう、利用者数を想定し、適切に人員配置を行う。

１．入園ゲート周辺及び公園利用者への案内・誘導・整理、利用指導を行う巡視・警備員、入園料徴収等の人材を配置する。

２．利用者の安全確保に向けて、利用者間のトラブル、迷子等の対応、園内案内放送等に適切かつ迅速に対処するための情報伝達、対応方針決定手続き等の流れを作成し、その体制を整える。

第47条　臨時施設等の設置・管理

不足が予想される場合、トイレ、ごみ箱等の設置と開園中の適正運用と清掃等を行う。

１．トイレやごみ箱等の臨時設置を行うと共に常に美観を保ち、利用者が快適に使えるよう、利用状況に応じて清掃や塵芥収集を行うと共に、仮設トイレ等においては、利用状況を確認の上、水やトイレットペーパー等備品の補給を行う。

別紙９

R5-R9

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【施設・設備維持管理】

令和５年４月

第１編　総則

第１条　適用

本個別仕様書は、R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、施設・設備維持管理業務に適用する。

第２条　事業者の責務

事業者は、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に把握の上、管理効果が上がるよう配慮し、管理水準を達成すべく、施工にあたるものとする。

第３条　事前協議等

事業者は、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件等環境条件を十分に照査し、明示無きもの又は疑義の生じた場合は、調査職員と事前に協議するものとする。

第４条　施工体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号）第 13 条２により九州地方整備局から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第５条　基本事項

１．施設・設備維持管理を総括する業務責任者の指揮命令の下、実施することとする。
２．事業者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めると共に、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。
なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。
３．事業者は、公園内を常に良好な状態とし他の業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施することとする。
４．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、弾力的に配置するものとする。
５．提供物品は事業者に貸与するが本業務で取得した物品類も含め修理等は、事業者が行うこととする。（別紙６「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務共通仕様書」第 35 条参照）
６．設備、提供物品及び本業務で取得した物品は事業者において、善良なる管理者の注意を持って維持保存すること。
７．業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員の許可を受けること。
８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。
９．作業従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。
10．事業者は、管理する施設、設備及び備品等について、日々状況を把握し、異常が発生したとき又は異常を発見したときは直ちに調査職員に報告すること。
11．事業者は、施設・設備維持管理を適切に行うため、国事務所から貸与した公園施設台帳 GIS を用いて、新規・更新施設情報のデータを投入及び施設の補修点検結果等のデータ入力を行い、公園施設台帳整備更新を行うものとする。なお、GIS サーバーについては保守点検を行うとともに、

機能維持を保持するため管理を行うものとする。保守点検の結果、修繕が必要となった場合は調査職員と協議するものとする。

第６条　安全管理等

１．車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。併せて、公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めると共に、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添 13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則及び公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行するものとする。

２．作業にかかる車両の持込は最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

３．持込可能な車種及び走行可能ルートについては、原則、別添 13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づくものとする。

４．施工中は入園者の安全を十分確保するために、施工に当たり、作業区域を仮設物で囲む等安全管理を徹底すること。

５．施工中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

６．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

第７条　保守点検

１．事業者は建物及び工作物、設備等が正常に機能するように、日常あるいは定期的に点検を実施すると共に、機能を維持するための消耗部品等の取替等保守作業を行うものとする。

２．点検時に異常や劣化が発見された場合には、調査職員に報告の上その指示に従うものとする。なお、保守点検の詳細については、第２編～第４編によるものとする。

第８条　補修及び修繕

事業者は保守・点検の結果、補修及び修繕が必要になった場合には、調査職員と協議するものとする。

第９条　作業時間

作業時間は、公園利用者の迷惑とならないように配慮し、決定すること。なお、開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用調整を行うこと。

第10条　事業者の過失による管理を許可した施設等の事故、破損等

管理を許可した施設等に関して、事業者の過失による事故、破損等が生じた場合には、事業者の責任において処理するものとする。なお、事故・器物の破損等が発生した場合には必要な措置をとった上で、速やかに電話・口頭・メールのいずれかで調査職員へ報告し、その後の対応について調査職員の指示に従うものとする。併せて、後日遅滞なく書面により調査職員へ報告すること。

第２編　建物維持修繕等

第11条　管理水準

１．事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めることとする。

２．常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

第12条　作成書類

事業者は、調査職員が指示する主要な建築物の修繕等については、調査職員から作成依頼があった場合は、提出すること。

作成書類		
項目名	提出先	作成期限
竣工図書	調査職員	指示に従う
作業記録写真	調査職員	指示に従う
修繕履歴	調査職員	指示に従う
その他調査職員が指示する書類	調査職員	指示に従う

第13条　管理棟等修繕

管理事務所、西口管理務棟、動物の森管理棟、子供の広場管理棟、森の家、海の中道駅口管理棟、ワンダーワールド口管理棟、光と風の広場口管理棟（P-PFI 事業者が管理する公園施設を除く）、カモ池口管理棟、環境共生の森活動拠点施設、利活用拠点施設等について、日常、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うと共に、次の各号に掲げる修繕及び点検を行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

１．外観については、美観の維持に努め、塗装面等の防腐、防錆等の点検を行う。

２．管理棟及びレストハウスの自動ドアについては、保守点検（フルメンテナンス）を実施するものとする。また、多目的トイレの自動ドアについては、原則年１回保守点検（普通メンテナンス）を実施するものとする。

３．冬期は、必要に応じ凍結防止措置（水抜き）を実施するものとする。

第14条　休憩所等修繕

水辺のレストハウス、動物の森レストハウス、港レストハウス、海の中駅口休憩所、大芝生広場レストハウス、四阿、松毬庵、活動拠点施設（森の池エリアに設置予定）等について、公園利用者が直接かかわる施設であることに留意し、日常、適宜目視、触診、打診等による巡回点検を実施し、破損箇所については小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第15条　車庫・倉庫等修繕

車庫、温室、作業棟、倉庫等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

また、動物獣舎、並びに繁殖棟、病理棟及び治療棟等の動物の森内施設についても、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第16条　便所修繕

園内の便所について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、冬季は、必要に応じ凍結防止措置を実施し、配管・衛生器具の機能維持に努めること。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第17条　その他修繕

建物の維持修繕において、第 13 条から第 16 条までに該当しない項目については、必要に応じて、適宜巡回点検し、破損個所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。

第３編　建物設備維持修繕

第18条　管理水準

空調設備及び消防設備の機能を常に安全かつ良好に維持するため軽微な修繕及び点検を行うものとする。

第19条　空調設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている空調設備について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。また、公園利用者の使用に供する休憩施設等については夏前及び冬前の年２回、専門技術者による点検を行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第20条　消防設備維持修繕等

園内の建物内に設置されている消防設備について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第４編　園路広場維持修繕工

第21条　管理水準

事業者は、公園内を常に良好な状態とし、公園利用者への快適・安全なサービスに努めることとする。常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、事業者の責任において常に公園内の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

第22条　園路・広場維持修繕等

園路・舗装、階段、サイン、イス・ベンチ・テーブル、手摺・柵等について、適宜巡回点検し、腐敗・破損箇所の小規模な修繕を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第５編　遊具維持修繕工

第23条　管理水準

１．遊具について、劣化や国土交通省制定「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び社団法人日本公園施設業協会（以下、「施設業協会」という。）が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA-S：2014」の不適合によるハザードを早期に発見し、遊具による事故を予防するとともに、適切な運営維持管理業務につなげるよう点検を行うこと。

２．点検業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、業務の円滑な遂行を図る。なお、遊具の点検は幼児や児童が遊具の利用者であることから、次の各号に掲げる事項に配慮して行う。

１）安全性の確保

２）機能の保持

３）美観に配慮した形姿の維持

第24条　用語の定義

１．「点検責任者」は、施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」あるいは、調査職員が同等と認めたもとする。なお、「点検責任者」は、「点検担当者」以上の経験、知識及び技能を有するものであること。

２．「点検担当者」は、施設業協会が認定した「公園施設製品整備技士」あるいは、調査職員が同等と認めたものとする。

３．前項の「同等と認めた者」とは、施設業協会が認定した「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」と比較して同等の学歴、経歴、実務経験、講習会の受講実績等から同等の知識と技術、管理能力等があると調査職員が認めた者をいう。

４．「劣化」とは、物理的、化学的、生物的要因によりその物の性能が、低下することをいう。一般的に鋼材では、発錆・腐食、木材ではカビ・腐朽・蟻害・割れ等をいう。（但し、地震、火災等の災害によるものを除く。）

５．「日常点検」とは、目視診断、触手診断、聴音診断等により遊具の異常、劣化（部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等）等の有無を調べるために日常的に行う点検をいう。

６．「定期点検」とは、公園施設製品安全管理士及び公園施設製品整備技士等が一定期間ごとに摩耗状況や変形並びに経年変化等について点検する「劣化診断」と、「遊具の安全に関する規準 JPFA-S：2014」に基づき遊具の形状や安全領域等の規準に対する妥当性を評価する「規準診断」をいう。

７．「SP 点検済シール」とは、「SP マーク」を付された「点検済シール」で、点検、修繕した遊具が、「遊具の安全に関する規準 JPFA-S：2014」に合致したと認められた時に、安全性の確保が維持されていることを示すために、SP 表示認定企業が貼付することができるシールをいう。なお、「SP 表示認定企業」とは、施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準 JPFA－Ｓ：2014」等に基づき製品の設計、製造、販売、施工、点検、修繕を行い、かつ、施設業協会が定めた規格「S：2014QMS－SP 表示認定規格」を満たすマネジメントシステムを構築していると(社)日本公園施設業協会に認定された企業をいう。

第25条　点検の範囲

点検とは、遊具の形状を調査し、劣化診断や JPFA-S：2014 に基づく規準診断（遊具の形状や安全領域等当該基準に対する妥当性を評価するもの）等を行い、報告書を作成するまでの一連の行為をいう。

第26条　事業者の負担

点検業務に必要な工具、測定機器等は事業者の負担とする。

第27条　点検の種類

点検には、「日常点検－１」「日常点検－２」「定期点検」「臨時点検」「精密点検」がある。

事業者は各点検の内容とその必要性を正しく理解した上で業務計画書を作成し、点検を実施しなければならない。

第28条　診断の方法

遊具の点検は、点検表を作成し、診断することで安全性を確認すること。

診断方法は、次の各号に掲げる通りとする。

１.目視診断

遊具の外観・形状を観てその劣化状態を診断する方法

２.触手診断

遊具を素手で触ってその劣化状態を診断する方法

３.聴音診断

遊具の可動部を動かし、発生する音、ガタツキの状態の有無を判断し、劣化状態を診断する方法

４.打音診断

遊具を点検ハンマー等で軽打し、異音の有無を判断し、その劣化状態、亀裂、ボルトの緩み等を診断する方法

５.揺動診断

遊具本体を揺り動かし、仕様に対応できるかを診断する方法（複合系遊具の場合は単体ごとに

６.JPFA 検査器具による判定

JPFA が開発した器具で遊具の規準（JPFA-S：2014）に適合しているかを調べる。

７.ノギスによる測定（JIS 認定商品を使用する）

８.メジャーによる測定（JIS 認定商品を使用する）

９.傾斜計による測定

第29条 作成書類

事業者は、次の各号に掲げる書類を作成し、調査職員から提出依頼があった場合、提出すること。

作成書類			
項目名	内容	提出先	作成・提出期限
作業計画書	作業前に業務計画書に基づき、定期点検に関し、作業実施日、作業内容、作業手順、作業範囲、点検責任者名、点検担当者名、安全管理者等を具体的に定める ・　点検の作業中に利用を中止した方が良いと判断された遊具の取扱と処置方法、連絡手順について記載。	調査職員	点検実施前迄に作成
定期・精密点検記録簿	・　点検実施後、施設業協会が定めた「遊具の安全に関する規準JPFA－S:2014」に記載する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づき作成	調査職員	実施後速やかに作成
写真帳	・　客観的な判断材料として、必要に応じて遊具施設の劣化や破損状況を写真に記録	調査職員	点検実施後速やかに作成

	・ 写真は、着手前、作業状況(規準点検状況・劣化点検状況)からなり、点検表と照合できるよう、点検実施後、速やかに整理		
その他調査職員が指示する書類		調査職員	指示に従う

第30条 遊具点検対象範囲

遊具点検（日常・日常－２、定期）の対象範囲は下表の通りとする。

設置場所	エリア名称	遊具名称	備考
子供の広場	ちびっこ広場	ほら穴くぐり	
		馬とび	
		うんてい	
		アクティブストリームコンビネーション	
		ファイティングフィールド	
		平均台	
		複合遊具Ｂ	
		ドリームシップ	
		わんぱくクジラと大波パラダイス	
		アニマル滑り台	
		コロコロシーソー	
		ブランコ	
		ザイルクライム	
		マウンテンパーク	
		ままごとハウス	
子供の広場	トリム広場 （森のトリム）	ネット渡り	
		円盤渡り	
		クモの巣渡り	
		バランスロープウェイ	
		平均台①	
		平均台②	
		サークルバー	
		タイヤロープ	
		ロッククライミング	日常点検のみ対象
子供の広場	水辺のトリム	ラダー	※
		ネット	※
		イカダ橋	※
		イカダ渡り	※
		タイヤ渡り	※
		スカイライナー	※
		きね渡り	※
		吊り橋	※
		ターザンロープ	※
		チェーン渡り	※
		バラエティクライム	※
		チャレンジラダー	※
		V字渡り	※
		ユラユラロープ渡り	※
		タイヤトンネル	※
		Vブリッジ	※
		あみだ渡り	※
		わん力ロープウェイ	※
		複合遊具　キッズ冒険コンビ	
子供の広場	子供のとりで	子供の砦	
		棚サンゴネット	
		ネット＆リングトンネル	
		チューブ滑り台＆リングトンネル	
		ローラー滑り台	
		オオタコ本体・滑り台	
		オオタコ足①	
		オオタコ足②	
		オオタコ足③	
		ウツボ	
		棚サンゴ砂場	

		フジツボ	
		砂場	
ワンダーワールド	くじらぐも“ふわんポリン”	空気膜遊具　5山	
		空気膜遊具　2山	
	健康器具系遊具	10種	
	移動式遊具（スナッグ）	3種	日常点検のみ対象
大芝生広場	スカイドルフィン	デッキ（板張り）	
		デッキ（パンチング）	
		ネットフロア	
		ロングスライダー	
		ワイドスライダー	
		ウエーブスライダー	
		アクアトンネル	
		ミラートンネル	
		ドルフィンタワー	
		Vブリッジ	
		くねくね棒	
		スイング遊具ボート	
		綱渡り	
		パネル遊具	
新規　大芝生遊具	モンキーアドベンチャー	支柱	
		デッキ	
		スロープ	
		ネットクライム	
		ジャイロパネル	
		ドラムパネル	
		ベルパネル	
		ロッククライム	
		クライム	
		ワイドローラースライダー	
		ATA階段	
		スパイラルクライム	
		ジャンボクライム	
		ラダー	
		アクセス階段	
		ネットブリッジ	
		ホーンパネル	
		空中フロア	
		キャタピララダー	
		ウォールクライム	
		階段	
		ミラーロード	
		小窓パネル	
		ローラースライダー	
		リングタワー	
		パノラマウィンドウ	
		てんとう虫パネル	
		歯車パネル	
		着地マット	

備考欄にて「※」を付記した遊具については、定期点検「基準診断」の適用外遊具ではあるが、参考としてこれを実施するものとし、可能な限り合否等を診断すること。令和5年○月○日現在。

第31条　遊具日常点検等

１.「日常点検」とは、公園巡視時に行う目視診断・触手診断・聴音診断により遊具の異常・劣化（部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等）等の有無を確認する日常点検－１と、月１回以上日常

点検担当者が行う目視診断・触手診断・聴音診断・打音診断・揺動診断により遊具の異常・劣化（部材の腐食、亀裂、変形、ボルトの脱落等）等の有無を確認する日常点検－２を行うものである。また、設置面や植栽等を含めた遊具周辺の確認も行う。

2.「日常点検－２の点検担当者」は、(一社)日本公園施設業協会が主催した「遊具の日常点検講習会」を受講したものとする。なお、巡視時に日常点検－１を実施する者についても出来るだけ(一社)日本公園施設業協会が主催した「遊具の日常点検講習会」を受講するものとする。

3．公園内巡視時に日常点検を行う者は、点検箇所や点検方法をよく理解したうえで、日常点検を実施すること。

4．事業者は、対象となる遊具の経年変化に伴う劣化状況を把握するため、日常点検記録簿を精査したうえ、保管しておく。

5．点検履歴については、遊具履歴書を作成、追記、修正をすること。なお、遊具履歴書とは、遊具の名称、設置場所、設置年月、製造者、施工者、標準使用年数等を遊具毎に記載し、日常点検記録簿を活用して遊具の安全点検の実施状況や点検結果、遊具の修理・部材の交換、塗装の実施状況等遊具の維持管理上必要な情報について定期的に記録し、履歴として保管するものである。また、遊具履歴書には、必要に応じて施設の劣化や破損状況を写真記録し、点検実施後速やかに調査職員に報告し、その後の対応について協議するものとする。

6．遊具履歴書については、調査職員より貸与するが、調査職員より提示を求められた場合はその指示に従い、業務完了後は速やかに提出するものとする。

7．台風や豪雨等の異常気象時や震度４強以上の地震発生により、遊具に異常箇所が生じるおそれのある場合に、遊具及び遊具の周辺状況について、臨時的に日常点検－１を行うものとする。また、遊具の利用者が怪我をした場合や、他公園において類似遊具等で事故があった場合も点検を行うものとする。

第32条　遊具定期点検

1．定期点検を完了させるために、管理体制を確立し、品質、工程、安全、法令遵守等の業務管理を行う。

2．事業者は、点検責任者を定め調査職員に届け出る。また、点検責任者を変更した場合も同様とする。

3．点検を行う月日及び時間等は、作業計画書により実行する。

4．点検対象遊具は、第 30 条「遊具点検対象範囲」に準ずる。

5．遊具の点検内容は、(一社)日本公園施設業協会が規定する「定期点検総括表」「定期点検表」「特別定期点検表」に基づいて実施し、その結果について定期点検記録簿としてとりまとめ報告する。

6．点検作業の中で測定を行う必要がある場合は、定められた測定機器又は(一社)日本公園施設業協会認定の、JPFA 検査器具、JPFA 肉厚測定器、JPFA 落下衝撃測定器等を使用して行う。

7．点検作業と点検表に基づく判定は別の者がそれぞれ担当し、職務を兼ねることは出来ない。

8．点検責任者は、「劣化診断」による劣化判定と「基準診断」によるハザードレベルを組み合わせて総合的な機能判定を行うこと。その判定基準については、必要に応じ事前に調査職員と協議をしておくこと。

9．定期点検は、年 1 回以上実施すること。

10．点検終了後、「合格」と判断された遊具について、「SP 点検済みシール」を貼付出来る遊具には調

査職員の承諾を受けて、点検実施時期を明記して添付する。

第33条　遊具維持修繕等

点検により確認された破損箇所については、小規模な修繕等を適切に行うこと。なお、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第34条　その他

1．点検作業においては、安全管理を徹底し、作業中であることを掲示して、公園利用者の遊具利用への影響が無いように十分な安全対策を講ずること。
2．定期点検結果は、速やかに調査職員へ報告すること。
3．点検で異常が発見された場合、若しくは、異常の可能性がある場合は、使用禁止が妥当と判断される遊具について、業務計画書等に従い、ロープやネット等で使用出来ないように処置すると共に、使用禁止表示を行い、公園利用者に事故が起きないように安全対策を実施する。併せて、調査職員に速やかに連絡する。
4．定期点検作業は、作業に適した服装にて作業を実施し、「公園施設製品安全管理士」「公園施設製品整備技士」等の携帯用認定証等を携帯して作業に従事する。
5．本仕様書に記載されていない事項については、 施設業協会の「遊具の安全に関する基(JPFA-S：2014)」を参考にすること。

第６編　電気設備維持修繕

第35条　管理水準

変電所、非常用発電所、等の電気設備について、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検を行うものとする。

第36条　電気設備維持修繕等

１．分電盤・配電盤等の施設について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を行う。

２．点検の結果に応じ清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を適切に行うこと。

なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

３．落雷があった場合には、速やかに電気設備の巡回点検を行うこととする。

４．高圧受変電設備及び電気設備において異常が発生した場合は、調査職員に報告すると共に法定点検の受託者等と連携して、適切な措置を講じること。

第７編　汚水・排水施設維持修繕

第37条　管理水準

１．事業者は、汚水・排水施設の機能を常に安全かつ良好に維持するため点検・補修を行うものとする。また、当公園内の汚水（下水）を福岡市の下水本管に流すための汚水ポンプは、各点検箇所に、ポンプ２台と操作盤１面が存する。

１）汚水ポンプ室内　　：10箇所
２）マンホールポンプ所　　：12箇所

第38条　汚水・排水施設維持修繕

１．適宜巡回点検し、分電盤のブザー音の確認等を行い、異常があれば小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

２．台風や大雨が予想される場合は、巡回点検を行うと共に、適切な対策を講じるものとする。

３．事業者は、繁忙期においては、汚水・排水施設の稼動状況を確認すると共に、法定点検の受託者等と連携し、汚水・排水施設の処理能力に沿った調整を行うこと。

４．汚水ポンプについては、年２回（夏季、冬季）別紙 41「汚水ポンプ点検内容」の保守点検を実施するものとする。

第８編　給水施設維持修繕

第39条　管理水準

本公園の全施設の使用水量を計測すると共に、給水施設について、関係法令を遵守し、常に安全かつ良好に維持するため点検を行うものとする。

第40条　給水施設維持修繕等

１．受水槽、水道メーター、水道管、井水配管・ポンプ、仕切弁等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

２．事業者は、月１回公園内施設の水道メーターの計測を行い、水道メーター検針結果の集計表を速やかに作成し、調査職員に報告すること。

３．滅菌装置について、逆流止め玉弁及びサイホンブレーカーの動作や薬剤残量等の確認を行うこと。

４．点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、軽微な修繕等を行う。

５．冬季の園内給水施設凍結による断水及び器具の破損を防止するため、必要に応じ水抜き等の凍結防止作業や一部の水飲み・手洗いの閉栓作業を行うものとする。

６．夏季及び冬季においては、使用水量を調整する等の適切な措置を講じ機能の維持に努めること。

７．事業者は、調査職員と協議し、必要に応じて給水管等の漏水調査を行うこと。

第９編　水景施設水質管理

第41条　管理水準

水景施設である水遊び場を常に安全かつ良好に維持するために、関係法令を遵守すると共に、「遊泳用プールの衛生基準について」（平成19年５月28日健発第 0528003号厚生労働省健康局長通知）に基づき、供用期間中は以下の水質を保つよう管理を行うこと。また、利用者が多数である場合等汚染負荷量が大きい場合には、水質検査の回数を適宜増やすこと。

項目	基準値	測定回数
水素イオン濃度	ｐH値5.8以上8.6以下	毎月1回以上
濁度	２度以下	
過マンガン酸カリウム消費量	12ｍｇ/L以下	
大腸菌群	検出されないこと	
一般細菌	200CFU/ml以下	
遊離残留塩素濃度	0.4ｍｇ/L以上（1.0ｍｇ/L以下が望ましい）	毎日午前中１回以上 及び午後２回以上
総トリハロメタン	0.2ｍｇ/L以下が望ましい	毎年１回以上
二酸化塩素濃度※	0.1mg/L 以上0.4 mg/L 以下 また、亜塩素酸濃度は1.2 mg/L 以下	

※塩素消毒に代えて二酸化塩素により消毒を行う場合

第42条　作成書類

事業者は、調査職員が指示する主要な水景施設については、下記の書類を作成し、調査職員から提出依頼があった場合は、提出すること。

作成書類		
項目名	提出先	提出期限
作業記録写真	調査職員	指示に従う
点検報告書	調査職員	指示に従う
適合確認検査簿	調査職員	指示に従う
その他調査職員が指示する書類	調査職員	指示に従う

第43条　水景施設の定義

本公園における水景施設は、「ワンダーワールド遊べる噴水」と「じゃぶじゃぶ池」とし、「水辺のトリム」や「冒険の池」等の他の水を満たした施設は水景施設に準ずる施設とする。

第44条　水景施設保守点検等

１．運転前及び運転中に、電気系統、バルブの開閉、水位、異音の確認等の点検を行う。

２．巡視・点検結果は、点検報告書として取りまとめ、調査職員に報告する。

３．水質検査の結果、残留塩素濃度が基準値を下回る場合は、固形塩素剤を投入する等、必要な措置を速やかに行うこと。

４．福岡県東保健所等の水質検査等が実施されるときは、協力すること。

５．その他、水景施設に準ずる施設のポンプ設備については、年１回、専門技術者による点検を行い、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第 10 編　その他設備維持修繕

第45条　管理水準

本公園の水循環設備、放送設備、電話設備、防火設備等について、関係法令を遵守し、機能を常に安全かつ良好に維持するため点検及び修繕を行うものとする。

第46条　水循環設備維持修繕等

日常、園内の循環水ポンプ場、循環水配管等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第47条　放送設備保守点検等

日常、園内の放送設備、スピーカー、配線等について、計器による設備の運転状況の把握や目視、触手、聴音による点検を年１回行うこと。

第48条　防火設備保守点検等

防火設備等について、適宜巡回点検し、破損箇所の小規模な修繕又は補充を適切に行うこと。なお、法定点検、大規模な修繕は九州地方整備局において行うので詳細は調査職員との協議によるものとする。

第 11 編　園内清掃、公園内建物清掃

第１章　基本事項

第49条　管理水準

１．公園施設については、常に清潔を保ち、快適な環境を保持する必要があり、本公園の利用状況に適切に対応するため、事業者は、作業内容、作業場所等について十分に検討すると共に、周辺地域に配慮した実施時期の調整を行うものとする。

２．事業者は、施設の利用環境の快適性を維持向上させるために、日常的・定期的に清掃を実施するものとする。また、施設の清潔さを保つことのほかに、材料の劣化原因を取り除く、腐食の進行を遅らせる、性能を維持する等の重要な役割を持っていることに留意して清掃を行うものとする。

第50条　基本的事項

１．事業者は清掃の実施に当たっては、季節や曜日、天候条件等によって大きく変動する来園者の動向に対応したきめ細かな人員配置、清掃箇所等の計画を立て調査職員と協議の上その指示に従うものとする。また、台風接近に伴う災害発生時や緊急時にも即応できる体制を確保するものとする。

２．利用繁忙期や大型イベント実施日には、イベントの主催者や巡視実施者、現場配置スタッフ等との情報連絡を密にして、必要な場所への清掃員の配置を臨機に行うものとする。

３．公園内のゴミの発生量や来園者動向に配慮し状況に合わせてゴミ箱の設置方法や箇所数については定期的に見直しを行うものとする。

第51条　消耗品

本清掃作業に必要な消耗品については、前公園管理運営業務受託者より業務完了時に引渡を受けた消耗品について支給するものとする。なお、本業務完了時に残った消耗品については、管理簿と現物を調査職員が確認した上で九州地方整備局に引き渡すものとする。

第52条　事業者の過失による管理を許可した施設等の事故、破損等

管理を許可した施設等に関して、事業者の過失による事故、破損等が生じた場合には、事業者の責任において処理するものとする。なお、事故・器物の破損等が発生した場合には、速やかに調査職員に報告すること。

第２章　清掃

第53条　休憩所等清掃

１．休憩所定期清掃

１）床面シートの清掃（ポリッシャー又はスチーム洗浄後のスクイージーによる汚水除去、水モップによる拭き上げ、ワックス塗布、拭き上げ等）のほか、タイルや絨毯、窓、網戸等を対象とした室内清掃を行うこと。

２）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

３）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

４）外壁、軒下、扉、窓等の汚れを除去すること。

５）清掃箇所及び実施頻度は下表を標準とするが、これにより難い場合は調査職員と協議するものとする。

清掃箇所	実施頻度
シオヤ展示場	１回以上（ガラス窓清掃１回／月）
森の家	２回（１回／半年）以上
動物の森レストハウス	１回以上
水辺のレストハウス	１回以上
子供の広場・管理棟	１回以上

※各ゲート管理棟等上記休憩所等以外の建物清掃については、植栽地（園内）清掃の雨天日等を活用して、床清掃及び窓拭上等を実施するものとし、年間の清掃計画について調査職員と事前に提出するものとする。

２．管理事務所清掃

管理事務所の日常及び定期清掃は九州地方整備局で実施することとする。

第54条　便所清掃

１．日常清掃

１）事業者は便所の日常清掃の作業時間等について以下を標準とし配置計画を行うものとする。なお、来園動向等の状況により、これにより難い場合は調査職員と協議の上その指示に従うものとする。

［便所清掃］

種　別	時　期	時間	配置予定員数
清掃Ａ	４～11月、３月の日曜・祝日	8:00～17:00	３～４人/日
清掃Ｂ	４～11月、３月の平日	8:00～17:00	２～３人/日
清掃Ｃ	12月～２月の全日	8:00～16:30	１～２人/日

２）清掃箇所は、以下の表の通りとし、清掃中は、利用者の利便性に十分配慮するものとする

３）衛生器具(便器、洗面所等)、床を水洗い又は拭き清掃を行い衛生的に保つものとする。また、必要に応じて、壁、鏡、窓ガラス、照明器具、水洗タンク等を適切な方法で清掃し、清潔に保つと共に、詰まりやクモの巣除去等は速やかに対応するものとする。

４）トイレットペーパー及び石鹸水が常時あるように補充すること。

５）汚物入れの清掃等を行うこと。

６）大規模な行催事の開催等により、汚れが見込まれる際には必要に応じて配置員数を増やす等の臨機な対応をとることにより衛生的な環境を保つこと。

名称	男子		女子		多目的トイレ		大便器	小便器	手洗い	備考
	大	小	大	小	大	小	計	計	計	
西口便所（内）	1	7	3	1	1		5	8	6	オストメイト（1）
西口便所（外）	1	5	3	1			4	6	5	
水辺のレストハウス	1	3	3		1		5	3	11	
西口駐車場	2	6	6		1		9	6	9	
大芝生広場（C）	1	3	3				4	3	10	
西戸崎レストハウス	2	8	5		1		8	8	9	
動物の森レストハウス	2	5	6		1		9	5	7	オストメイト
西サイクセンター	1	2	6	1	1		8	3	7	
近隣広場	1	3	3				4	3	6	
北管理棟	2	6	4		1		7	6	7	
子供の広場	1	3	3				4	3	10	
子供の広場管理棟	2	7	6	1	1		9	8	6	オストメイト
冒険の広場	1	3	3				4	3	10	
オリエンテーション入口	3	6	8				11	6	4	
テニスコート	1	2	2				3	2	2	
シオヤレストハウス	2	4	4		1		7	4	9	
運動広場	1	2	2				3	2	2	
休憩所（海中駅口）	3	5	3				6	5	8	
文化施設エリア便所（丸型）	2	4	4	1	1		7	5	9	
中央駐車場（１）	1	3	2		1		4	3	5	
渡船場レストハウス	2	4	2				4	4	5	
大芝生休憩所	2	4	4		1		7	4	14	内シャワー（7）
ワンダーシャトル	7	13	15	1	1		23	14	15	
中央駐車場（2）	1	3	4				5	3	5	
ワンダーワールド便所	2	5	6	1	1		9	6	8	
彫刻の森便所	1	3	3		1		5	3	5	
動物の森便所	2	2	2		1		5	2	3	
多目的ドルフィン遊具便所	2	3	3	1	1	0	6	4	7	オストメイト（１）
多目的西サイク入口便所					1		1	0	1	
ビジターセンター（森の家）	1	3	2		1		4	3	5	
フラワーミュージアム便所	4	4	5		2		11	4	10	オストメイト（２）
カナール横便所	2	3	4		2		8	3	12	オストメイト（２）
潮見台トイレ	3	3	4		2		9	3	12	オストメイト（２）
多目的管理車両ロトイレ					1		1	0	2	オストメイト（１）
光と風管理棟（内）	4	8	10	1	2	2	16	11	10	
光と風管理棟（外）	2	3	3	1	1	1	6	5	5	
光と風管理棟（屋外）	1		1				2	0	2	
デイキャンプ場	2	3	5		1		8	3	7	
排水機場	1	1	1	1			2	2	2	
駐車場	2	5	5	1	1	1	8	7	5	
カモ池口管理棟					1	2	1	2	1	
環境共生の森拠点施設	2	3	3		1		6	3		
環境共生の森屋外便所	1	1	1		1		3	1		
D地区海浜部中央エリア便所	1	3	3		2	1	6	4	8	
ワンダーワールド駐車場便所	1	3	5	1	1	1	7	5	6	オストメイト（１）
博多湾パノラマ広場トイレ	1	1	1		1		3	1	3	オストメイト（１）
森の池エリアトイレ	1	1	1		1		3	1		オストメイト（１）
合計	79	169	172	13	39	8	290	190	295	

ｴリアトイレはH32年度より供用開始

２．定期清掃

１）屋根及び雨樋に堆積した落ち葉、枯れ枝、藻等による汚れ、夾雑物を除去すること。

２）建物の周りに堆積した落ち葉、枯れ枝を除去すること。

３）衛生器具(便器、手洗い器等)、壁、軒下、天井、床、ブース、扉、窓、鏡、照明器具等の汚れを除去すること。

４）実施頻度等は原則年１回とする。

第55条　植栽地等清掃（園路広場、工作物一般、工作物特殊）

１．日常清掃

１）対象区域は別紙１とする。

２）拾い清掃による紙くず、空き缶等の除去や掃き掃除による土ぼこり、落ち葉等の除去により、園路(園地含む)や側溝、遊具等の工作物をきれいな状態に保つこと。

３）U型溝、排水桝等の排水設備の性能を維持するため、適宜点検を行うと共に、溜まった落ち葉、土砂等を除去すること。

４）低木内のゴミ等は、低木類を損傷しないように十分に注意して取り除くものとする。

５）公園利用者が直接触れるベンチやテーブル等は、汚れやコケ、鳥の糞が無いよう水拭き等の清掃を行い、同時にささくれ、がたつき等による危険箇所の確認を行うこと。

６）サイン、標識、看板等は表示内容がきちんと識別されるようにすると共に、汚れが目立たないように随時清掃を行うものとする

７）くず籠や喫煙場所の吸殻等の清掃を随時行うこと。園内各所に存在するごみ箱から別途指定する所定の集積箇所に運搬するものとする。ごみは、福岡市の分別区分に従って分別を行うこと。なお、繁忙日等、大量のごみの発生が予想される場合は、臨時ごみ箱を設置し、公園利用者に分別指導を行う等、適切な措置を講じること。

本公園内で発生した植物性廃棄物についてはリサイクルすること。

空き缶類については、福岡市の分別区分に従って適切に処理すること。

８）池、流れ、噴水等の水面に浮かんだゴミ、落ち葉等の美観を損ねるもの及び底に沈んだ空き缶、空き瓶ガラス等の危険物は発見次第直ちに取り除くものとする。

９）清掃により発生した落ち葉は、林地内等に還元するように努めるものとする。

10）園路や縁石等から生えている雑草について除去するものとする。

11）外灯、時計や監視カメラ等の設備について、汚れがひどい場合には清掃を行うこと。

12）大規模な行催事の開催等により、塵芥の発生量の増加が見込まれる際には必要に応じて配置員数を増やす等の臨機な対応をとることにより衛生的な環境を保つこと。

13）上記以外に調査職員が指示する作業を速やかに行うものとする。

14）植栽地等（園内）清掃は毎日実施することとし、作業時間等については、以下を標準とし配置計画を行うものとする。なお、来園動向等の状況により、これにより難い場合は調査職員と協議するものとする。

種　別	時　期		配置予定員数
巡回清掃Ａ	２，６，９，１２，１月の平日	８：00～17：00（12～2月は8：00～16：30）	２～３人/日
巡回清掃Ｂ	３，４，５，７，８，１０，１１月の平日、２，６，１月の土日祝日		３～５人/日
巡回清掃Ｃ	３，４，７，８，９，１０，１１，１２月の土日祝日		６～８人/日
巡回清掃Ｄ	５月の土日祝日		７～12人/日

２．定期清掃（工作物一般清掃）

１）ポンプを停止し池部の排水を行った後、ごみ類や夾雑物、汚泥を除去し、池の底部、側面部、

景石等の高圧洗浄機を使用した洗浄作業及びブラッシングを行うこと。

2）底部、側面部、景石等の汚れを所定箇所へ処理した後、池部への給水及びポンプを始動すること。

3）清掃箇所、実施内容及び実施頻度等は、業務計画書に記載すること。

3．工作物特殊清掃

週１回、汚水ポンプ室内の清掃及び自動スクリーンの汚泥受けから汚物を回収し、可燃物として処分すると共に、ポンプ等に異常があれば、速やかに調査職員に報告し、その指示に従うものとする。

第56条　災害時等臨時清掃

事業者は台風や豪雨等の異常気象発生後施設の汚れ等が通常よりも酷いことが、予想されるため、速やかに臨時清掃を実施・完了できる体制を構築するものとする。

第57条　海岸清掃

海岸沿いは、潮流によりゴミ、流木等が漂着するので事業者は開園区域内の海岸清掃にあたっては、調査職員より清掃の指示があった場合は速やかに対応するものとする。

第58条　ゴミ処分工

事業者は、一般ゴミについては、福岡市の処分方法に従って適正に処分すること。また産業廃棄物については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日法律第 137 号）及び関係法令に従って、適正に処理すること。

第59条　雑作業等

事業者は、使用機材等の改良・メンテナンス、使用車両の給油・メンテナンス、仮設トイレの設置、洗浄液補給、カラス・トビ・スズメバチ・イノシシ対策等、必要に応じ作業を行うこと。但し鳥類及びイノシシ等については「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」等に基づき対応すること。

また、利用者がカラスやトビ等に危害を加えられないようにするため、利用者に対し留意すべき事項を適切に周知するものとする。

別紙 10

R5-R9
国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【植物管理】

令和５年４月

国土交通省九州地方整備局

第１章　総則

第１条　適用

本個別仕様書は、R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、植物管理業務に適用する。植物管理として、芝生管理、低木管理、高木管理、林地管理、花壇管理、草花管理、バラ園管理、特殊管理、田畑管理等について適用する。

第２条　事業者の責務

事業者は、施工に当たって、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握の上、管理効果が上がるよう配慮し、目標とする管理水準を達成すべく、施工にあたること。

第３条　事前協議等

事業者は、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書、平成 19 年度策定の「植栽更新・管理計画」、平成 21 年度「環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外検討業務」報告書及び同資料編、平成 22 年度「松林保全再生調査その他業務」及び平成 26 年度「海の中道海浜公園松林育成管理計画策定外業務」報告書、平成 29 年度策定の「『森の池エリア』管理運営基本計画」及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に照査し、植物管理作業について業務計画書として九州地方整備局に提出し承諾を受けること。なお、本仕様書に記載無きもの又は疑義の生じた場合は、九州地方整備局及び調査職員と事前に協議するものとする。

また、業務期間中にあっても、管理実態に合わせて、効率化に向けた管理施工上の工夫が可能な場合は、調査職員に提案し、協議の上、変更理由を明記の上、業務計画書の変更を行うこと。

第４条　業務実施体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年 11 月 27 日法律第 127 号）第 13 条２により九州地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第５条　基本事項

１．植物管理業務を総括する業務責任者の指揮命令の下実施することとする。

２．事業者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めると共に、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。
なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議することとする。

３．事業者は、公園内の植物を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施すること。

４．管理体制人員は円滑な運営維持管理を行うため、植生状況に基づき弾力的に配置すること。

５．提供物品は事業者に貸与するが、本業務で取得した物品類も含めて修理等は調査職員に報告の上、事業者が行うこととする。（別紙６「R5-R9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務共通仕様書」第 35 条参照）

６．設備及び提供物品は事業者において善良なる管理者の注意をもって維持管理を行うこと。

７．植生状況等に基づく業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職

員の許可を受けた上で、導入すること。

8．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。

第６条　安全管理等

1．常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うこと。

2．車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。また、公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めると共に、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行すること。

3．作業にかかる車両の持込は最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

4．持込可能な車種及び走行可能ルートについては、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づくものとする。

5．危険防止のため、枯損木や枯枝の早期発見と枯枝の除去を行うこと。また、全ての作業実施に当たっては、作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること、又機械作業においては状況に応じ監視員の配置等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保すること。

6．施工中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意すること。

7．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意すること。

第７条　利用サービス

1．公園利用者に対する案内及び緊急対応等のサービスに努めること。

2．業務責任者を含めた作業従事者は名札を作成し着用すること。

3．作業従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けること。

4．公園利用者に対して、管理作業内容の情報を提供する必要が生じた場合には、作業場所において適切な説明看板類を掲示すること。

第２章　芝生管理

第８条　管理水準

１．芝生による良好な景観及び来園者が安心して利用できる空間の維持のため、芝生内にある石、ゴミ、実生木、つる性植物、外来種等の支障物を除去するとともに、以下に示す管理水準を満たす芝刈り等を行うこと。

ランク		A	B	C	D
管理目標		運動を行うための広場等主要な広場や施設周り等で修景性が高く、芝生の美しさが重要な景観構成要素となり、特に良好に管理すべき芝生	広場や施設周りなどのうち修景性が中程度で、芝生の緑が一景観要素となり、良好に管理すべき芝生	Bにランクされる芝生であるが、予算制約上、管理水準を下げ単一種を維持する最低限度の管理すべき芝生	主として法面など土壌保全あるいは、草地化を目的とした芝生地で緑を保持するために最小限の管理を行う芝生地
管理水準	刈高	2～3cm程度	2～3cm程度	3～4cm程度	4～5cm程度
	雑草混入	可能な限り混入なし	混入容認	混入容認	混入容認
標準実施回数	芝刈	7～10回程度	4～6回程度	3回程度	0～2回程度
対象地		パターゴルフ場、カナール等	大芝生広場中央、バラ園、動物の森、野外劇場、子供の広場、ホテル芝生等	大芝生広場外周、プール周辺、野外劇場外周等	シオヤ岬周辺、博多湾パノラマ広場、野鳥の森等

＊芝刈工については、上記を標準に、状況により業務責任者が判断し、適宜行うものとする。
＊芝刈工以外の項目については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

２．施工場所は、別添 27「芝生管理図」を参照すること。

第９条　芝刈工

１．事業者は芝刈工に当たっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

２．刈り取った芝は、原則、堆肥化等リサイクルすること。

３．芝刈作業をする際は、公園利用者の迷惑とならないよう配慮して行うこと。なお開園時間内に作業を行う場合には、必要に応じて公園利用の調整を行うこと。

第10条　芝生地除草工(人力除草)

事業者は芝生地除草工に当たっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第11条　芝生施肥工

事業者は芝生施肥に当たっては、現地の状況を照査し適切な材料を適切な量・方法により施用すること。

第12条　芝生目土掛工

事業者は芝生目土掛工に当たっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第13条　芝生エアレーション工

事業者は芝生エアレーション工に当たっては、現地の状況等を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第14条　芝生雑工

１．芝生雑工（普通作業員）については、部分的な養生、芝生保護材設置等を実施するものとする。
２．芝生雑工（軽作業員）については、灌水補助、施肥散布補助、芝生保護材設置等を実施すること。
３．芝の補植を行う際は、張替え箇所を大きめに形を整えて切り取り、深さ 15cm 程度まで床土を交換又は耕転したうえ、沈下防止のためよく転圧し、表面排水できるよう不陸整正を行うこと。

第15条　芝生病虫害防除工（薬剤散布）

事業者は病害虫被害が発生した場合は、まずは被害を受けた部分の刈込や捕殺等による駆除をおこなう等最大限努力し、農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１．薬剤の使用に当たっては、農薬取締法（昭和 23 年７月１日法律第 82 号、平成 19 年３月 30 日改定（以下「農薬取締法」という。））等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意するものとする。
２．散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとし使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。
３．散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第16条　灌水

事業者は芝生灌水に当たっては、以下に示す要領に留意すること。

１．所定の量が芝生全面にいき渡るよう均一に散水すること。
２．灌水時刻は、乾燥状態や現場状況に応じ適切に実施すること。
３．灌水は現地の状況を照査し、ポンプ等を用いて適切に行うこと。

第17条　芝切り工（縁切、芝生カット）

事業者は芝刈り工（縁切、芝生カット）の作業に当たっては、以下の内容の通り行うものとする。

１.植込地廻り（寄植地廻り）

低木地等寄植地に芝生のほふく茎が侵入しないよう、低木地等寄植地の垂直投影線から５㎝程度外側で垂直に切り込み、せん除すること。

２.園路沿

園路に芝生のほふく茎が侵入しないよう園路から５～10cm 幅程度をせん除すること。

３.樹木廻り

樹木の根元廻りの芝生をせん除すること。

第18条　メリケントキンソウの除去

事業者は芝生に混在するメリケントキンソウを適時適切に除去すること。

第３章　低木管理

第19条　管理水準

１．　以下に示す管理水準を満たす低木管理を行うこと。

ランク		A	B
管理目標		花やその樹形が公園利用者に見せる役割を持ち、景観構成要素となっている比較的修景性が高い低木地	芝生地と高木等他の植栽を補完する目的で植えられた緩衝的役割や、園路や広場等の境界植栽としての役割を持つ低木地
		鑑賞、遮蔽、境界	遮蔽、境界
標準実施回数	刈込	1～2回程度	適宜
対象地		大芝生、西口広場、動物の森、子供の広場、自転車園路、リゾート等	保全植林帯、補助幹線園路、野外劇場、共生の森等

＊刈込以外の項目については、必要に応じて業務責任者が判断し、適宜行うものとする。

２．主な花木類は、アジサイ、ツバキ、サザンカ、フジ、ムクゲ、サツキ、ユキヤナギ、ハギ及びそれらに準ずるもの等があり、事業者はそれぞれの植栽箇所にあった維持管理に努め年間を通じた花修景を展開すること。

３．施工場所は、別添 28「中低木管理区域図」を参照すること。

第20条　低木剪定工

１．一般事項

１）花木類を刈込む場合は、花芽の分化時期と養生位置に注意する。

２）刈り取った枝葉は速やかに処理する。特に枝葉が樹冠内に残らないようにきれいに取り去り、刈込んだ樹木、寄植等の周辺はきれいに清掃し、原則チップ化又は堆肥化しリサイクルすること。

３）剪定に当たっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて、望ましい樹形の確保に努めること。

４）公園の景観維持及び樹木の生態等に支障があり、剪定だけでなく間伐の必要が生じた場合には、調査職員に報告すること。

２．寄植剪定

事業者は低木刈込（寄植剪定　機械）作業に当たっては、樹種毎の特性及び生育状態に応じ、刈地原形に十分配慮しつつ、主に刈込機械を用いた刈り込み作業を行うこととし、枝すかし等については人力による刈り込み作業を行うこと。なお、刈り込み時期や目標樹形については花芽形成時期や育成状況に応じ設定すること。

３．生垣剪定(機械・人力)

枯枝・徒長枝等を人力により剪定し、枝の整理を行った上で、刈込機械を用いて両面を一定の幅で刈込み、天端を刈り揃えること。

第21条　低木地除草工

１．抜根除草

１）既存樹木及び地被植物をいためないよう除草器具等を用いて根ごとより取り除くか、鎌等を用いて地際から刈取る方法で行うこと。

2）抜き取った雑草は、根に付着した土を除いた後、原則堆肥化しリサイクルすること。

2．人力除草

1）既存植物をいためないよう鎌等を用いて根際より刈り取る。

2）その他は抜根除草に準ずる。

第22条　低木施肥工（単木・小規模な寄植）

事業者は低木施肥（単木・小規模寄植）に当たっては、現地の状況を照査し、適切な材料を適切な量・方法により施用すること。

第23条　病害虫等駆除

事業者は病害虫被害が発生した場合は、まずは被害を受けた部分の剪定や捕殺等による駆除をおこなう等最大限努力し、農薬は極力使用しないよう努める。なお、やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

1．薬剤の使用に当たっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意するものとする。

2．散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。なお、使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

3．散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第24条　低木灌水工

1．事業者は低木灌水に当たっては、所定の量が全面にゆき渡るよう均一に散水するものとする。灌水時刻は、夏季は日中を避け、朝又は夕方に、冬季は日中に行うこと。

2．灌水時刻は、乾燥状態や現場状況に応じ適切に実施すること。

3．灌水は現地の状況を照査し、ポンプ等を用いて適切に行うこと。

第25条　ハギ取り

1．事業者はハギ取り作業に当たっては、樹木、株物、棚等を損傷しないよう注意し刈残しがないように行うこと。

2．作業の時期は、花が終わり株が休眠に入ってから行うこと。

第26条　低木雑工・低木巡回工（巡回作業・雑作業）

1．低木雑工については業務責任者の判断する作業を実施すること。

2．低木巡回工（造園工）にて、植木手入れやその他管理作業を行う。

3．低木巡回工（普通作業員・軽作業員）にて、害虫の捕殺駆除作業、低木地落葉除去、植木手入れ補助、支障木手入れ、枯損木及び支障枝撤去、その他管理作業を行う。

4．低木の補植・移植を行う際は、現地の状況を照査し適切な作業（堀込・植付・土壌改良等）を行うこと。

5．マルチングを行う際は、以下の項目に留意すること。

1）マルチング材は、現地の状況を照査し適切な量をむらなく均一に敷き均すこと。

2）マルチングに使用する材料は、公園内で発生した植生廃材をチップ化したものを原則として使用すること。

8

第４章　高木管理

第27条　管理水準

１．以下に示す管理水準を満たす高木管理を行うこと。

ランク		A	B
管理目標		花やその樹形を利用者に見せる役割を持ち、修景的要素が非常に高い高木	園路や広場、敷地の境界、遮蔽、防火帯となる植栽としての役割を持つ高木
		鑑賞	緑陰、遮蔽、境界
主な対象樹種		クロマツ、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヤシ、デイゴ	クスノキ、イチョウ、マテバシイ等
標準実施回数	剪定	適宜	適宜
対象地		リゾート、西口広場、海の中道口、補助幹線園路等	園内全域

＊高木管理については、必要に応じて業務責任者が判断し、状況により適宜行うものとする。

２．施工場所は別添 29「高木管理区域図」を参照すること。

第28条　高木剪定工

１．樹形の骨格づくり、樹形の整形、混み過ぎによる病害虫及び枯損枝の発生防止等を目的として枝おろし（大枝おろし)、枝すかし、ふところすかし、切詰め、枝抜き、切返し、枝はさみ、枝うち、枝かき等の剪定方法を、樹種、形状等に応じてもっとも適切な方法により行う。

２．樹姿及び樹形の仕立て方は、特に修景上、規格形にする必要がある場合を除き、自然形に仕立てる。

３．花木等は花芽の分化時期と養生位置に注意して剪定する。

４．剪定に当たっては、樹木単体だけでなく、公園として望ましい植栽景観づくりを視野に入れて望ましい樹形の確保に努める。

５．サイクリングロードや園路沿い等の公園利用者の動線上の高木については、支障枝・枯枝等を適切に除去し、落ち枝等によるけが等ないよう努めること。

６．高木剪定に当たっては、樹種や現地の状況を照査し、弱剪定・強剪定・松剪定（みどり摘み剪定・もみあげ剪定）等適切な方法により実施すること。

第29条　ヤゴ取り工

ヤゴ取りは、やご（ひこばえ)、幹ぶき（胴ぶき）を適切に実施すること。

第30条　高木施肥工

事業者は高木施肥に当たっては、現地の状況を照査し、適切な材料を適切な量・方法により施用すること。

第31条　高木病虫害防除工

事業者は病害虫被害が発生した場合は、まずは被害を受けた部分の剪定や捕殺等による駆除をおこなう等の最大限の努力し、農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１.薬剤の使用に当たっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安

全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意すること。

2.散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

3.散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第32条　灌水

事業者は高木灌水に当たっては、以下に示す要領に留意すること。

1．事業者は高木灌水に当たっては、所定の量が全体にゆき渡るように散水すること。

2．灌水時刻は、乾燥状態や現場状況に応じ適切に実施すること。

3．灌水は現地の状況を照査し、ポンプ等を用いて適切に行うこと。

第33条　高木支柱結束直し工等

事業者は高木支柱工（結束直し)、高木支柱工（撤去）及び高木支柱工（設置）に当たっては、巡視等により的確に状況を把握し適切な方法により対応すること。

第34条　高木枯損木処分工

事業者は公園内の景観維持や、倒木等による不測の事態から公園利用者に対する安全を確保するため、常に公園内を観察し、枯損木や倒木する恐れがある高木を発見した場合には速やかに処置対応するものとする。但し、大規模の対応等が発生した場合は、速やかに調査職員と協議するものとする。また、伐採した樹木の幹及び枝葉については、原則チップ化若しくは堆肥化しリサイクルするものとする。

第35条　補植

事業者は高木補植に当たっては、現地の状況を的確に把握し適切な樹種を選定し、適切に作業（堀り込・植付・土壌改良等）を行うこと。

第36条　松こも巻き

事業者は松こも巻きに当たっては、現地の状況を照査し適切な時期に適切な方法により実施すること。

第37条　高木雑工・高木巡回工（巡回作業・雑作業）

1．高木雑工については、倒木復旧作業、樹勢回復作業、伐採除根等を実施すること。

2．高木巡回工（造園工）にて、樹木の手入れやその他管理作業を行う。

3．高木巡回工（普通作業員）にて、樹木の手入れ・生垣整理やその他管理作業を行う。

第５章　林地管理

第38条　管理水準

１．事業者は、林地の持つ機能の維持・向上を目的として、「白砂青松１００選」にも選定されている松林を中長期的視点に立って、永続的に維持・向上させていくための管理を適時・適切に行うと共に、松枯れ被害を抑制するために継続的な予防と駆除を実施すること。

２．事業者は平成 22 年度「松林保全再生調査その他業務」及び平成 26 年度「海の中道海浜公園松林育成管理計画策定外業務」報告書を基準に、適切な林地の管理を実施すること。

３．その他の樹林については、利用者等の安全を確保するため、支障枝剪定や枯損木伐採等、適切な管理を行う。また、野鳥の森等では、生物の生息環境として適切な環境の維持に努めること。

第39条　林地除草工

１．樹木、株物、柵等を損傷しないよう注意し、刈むら、刈残しのないよう刈り取るものとする。

２．樹木、株物、柵等の周辺も刈残しのないよう仕上げること。また、それにからんでいるつる性の雑草もきれいに除去すること。

３．サイン、標識、看板、消火栓、非常電話等の施設が公園利用者によく見えるよう特に注意して刈り取ること。

４．刈草は、原則堆肥化しリサイクルすること。

第40条　枯損木処分工

１．事業者は林地枯損木処分工に当たっては、枯損木調査により的確に状況を把握し、松食い虫による枯損木を発見した場合は速やかに特別伐倒駆除（伐倒・持ち出し・チップ化）を実施すること。

第41条　林地病虫害防除工

１．マツ林を松食い虫（マツノザイセンチュウ）の被害から守るための地上薬剤散布については、九州地方整備局で実施するが、マツ林以外のマツ（単木・景観木等）については、事業者において樹幹に直接薬剤を注入（以下「樹幹注入」という。）することとし、その実施に当たっては以下のとおりとする。

２．樹幹注入は、マツ類のマツノザイセンチュウ等の予防のために行うものであり、対象樹木は主として景観的に重要なマツ類とし、過去の実績等を的確に把握し適切な作業を実施すること。

３．樹幹注入を実施する樹木については、後日確認が出来るようマーキングを行う等工夫し、薬剤を注入すること。

４．注入完了後は速やかに容器を回収し、関係法令に基づき、適正に処理すること。また、注入穴はコルク、癒合剤等で埋めること。

第42条　林地雑工・林地巡回工（巡回作業・雑作業）

１．林地雑工については、園外支障木処理、枯枝除去等を実施すること。

２．林地巡回工（普通作業員）にて、支障枝除去・若竹除去やその他管理作業を行う。

３．林地の補植を行う際は、現地の状況を照査し適切な作業（堀込・植付・土壌改良等）を行うこと。

４．松食い虫による松枯れについては、発生を確認した際に状況を調査職員に報告すること。

第 43 条　森の池エリアにおける林地管理

森の池エリアにおける林地管理は、平成 29 年度策定の「『森の池エリア』整備管理運営基本計画」（別添 33「『森の池エリア』整備管理運営計画及び森の池エリアゾーン図」）を参考に、適切に維持管理を行う。

その他、森の池エリアでは安全面や景観面で支障となる外来種のハリエンジュやトウネズミモチ等の除去を行う。

第６章　草花管理

第44条　管理水準

事業者は目的達成に向けて美観を確保するため花壇及び花畑の維持・向上と共に、以下に示す管理水準を満たす草花管理を行うこと（別添 31「草花管理区域図」参照)。なお、草花管理においては、特に公園の重要な季節ごとの行催事の開催時期等に花の見頃となるよう十分留意すること。

１．季節ごとに広場の修景

２．フラワーピクニック等公園の催しに対応した花の演出

管理目標	対象地
季節ごとに花修景を実施し､利用者を迎えるシンボル空間として彩りを演出	虹、彩りの花壇
年間を通じて花を鑑賞するエリアとして美しい空間を維持	フラワーミュージアム
花の名所として、大規模な花修景で季節感あふれる風景を演出	花の丘

第45条　草花材料一般

１．花苗は発育良好で病害虫に侵されていないものとし､あらかじめ植え出しに耐えるよう栽培され、細根の多く発生している徒長していない均一な型姿のものを使用する。

２．球根はよく充実し、傷がなく、病害虫に侵されていないものとする。

第46条　花壇植栽工（花苗植栽）

事業者は花壇植栽（花苗植栽）に当たっては、現地の状況等を照査し植え付ける花苗及び植え付け株数を決定し、適切な作業（前植栽の抜根・地ごしらえ・植え付け・土壌改良等）を行うこと。

第47条　花壇植栽工(球根植栽)

事業者は花壇植栽（球根植栽）に当たっては、現地の状況等を照査し植え付ける花種及び植え付け本数を決定し、適切な作業（地ごしらえ・植え付け・土壌改良等）を行うこと。

第48条　花壇除草工

１．事業者は花壇除草に当たっては、人力により除草器具等を使用し雑草だけを抜根除草すること。

２．花壇除草工については、草花の生育等に支障をきたさないよう、草の繁茂状況にあった適切な除草方法で行うこと。

第49条　花壇施肥工

１．事業者は花壇施肥に当たっては、元肥は、現地の状況を照査し適切な量を適切な方法により施用すること。

２．追肥は、元肥の種類及び植物の生育状態に応じ、効果的な方法で行うこと。

第50条　花壇病害虫駆除

事業者は病害虫被害が発生した場合は、まずは捕殺等による駆除をおこなう等の最大限の努力し、農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１．薬剤の使用に当たっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意するものとする。

２．散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公

園開園時間外とする。
3．散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第51条　花壇灌水
1．事業者は花壇灌水に当たっては、全面にいき渡るよう均一に散水すること。
2．灌水時刻は、乾燥状態や現場状況に応じ適切に実施すること。
3．灌水は現地の状況を照査し、タンク、ポンプ等を用いて適切に行うこと。

第52条　花壇巡回工・管理工
1．花壇巡回工（普通作業員）にて、耕耘、病中害防除やその他管理作業を行うこと。
2．花壇巡回工（軽作業員）にて、花がら摘み、ピンチ、摘心、誘引等）を実施すること。

第53条　花畑耕転工
事業者は花畑耕転工に当たっては、現地の状況を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第54条　花畑播種工
事業者は花畑播種工に当たっては、現地の状況を照査し、適切な時期に適切な方法により実施すること。

第55条　花畑除草工
事業者は花畑除草工に当たっては、人力による抜根除草とし、根に付着した土を除いた後、原則堆肥化しリサイクルすること。

第56条　花畑病虫害防除工
事業者は病害虫被害が発生した場合は、まず捕殺等による駆除をおこなう等、最大限努力し農薬は極力使用しないよう努める。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。
1．薬剤の使用に当たっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意すること。
2．散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。
3．散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第57条　花畑巡回工・花畑雑工
事業者は花畑巡回工に当たっては、花殻摘み、播種前の位置だし、間引き等を実施すること。花畑管理の際に必要とされる作業を実施すること。

第58条　花畑施肥工
1．事業者は花畑施肥に当たっては、元肥は、現地の状況を照査し適切な量を適切な方法により施用すること。
2．追肥は、元肥の種類及び植物の生育状態に応じ、効果的な方法で行うこと。

第７章　バラ管理

第59条　管理水準

当公園のバラは、春と秋に見事な花を咲かせる品種を揃えており、観賞を目的とする催しも実施されている。事業者はこれらバラの観賞期に合わせた花観賞のためにバラ園の機能を維持・向上することを目的としてバラ管理を行うこと（別添 32「特殊管理区域図及びバラ管理図」参照）。

第60条　剪定工

事業者はバラ剪定工に当たっては、現地の状況等を照査し適切な時期に適切な方法（強剪定・弱剪定）により作業を実施すること。

第61条　除草工

１．事業者はバラ除草工に当たっては、植え込み部分の雑草を人力による抜根除草とし、根に付着した土を除いた後、原則堆肥化しリサイクルすること。

２．除草に際しては、バラの根を損傷しないよう十分に配慮すること。

第62条　施肥

１．事業者はバラ施肥に当たっては、原則配合肥料を使用するものする。
なお、現地の状況を照査し、適切な量を適切な方法により配合すること。

２．現地の状況を照査した結果、配合肥料以外に粒状固形化成肥料を使用する必要が生じた場合は適切な量を適切な方法により施用すること。

第63条　病虫害駆除

事業者は病虫害、病原菌の対処又は予防的措置を講ずる必要があるが、病害虫被害が発生した場合は、まずは被害を受けた部分の剪定や捕殺等による駆除をおこなう等最大限努力し、農薬は極力使用しないよう努めること。やむを得ず農薬を使用する際は以下に示す事項に留意すること。

１．薬剤の使用に当たっては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等が定めている使用安全基準、使用方法を遵守し人畜の安全及び樹木、地被植物への薬害に十分注意すること。

２．散布日は、風、日照、降雨等の天候条件を考慮し定めるものとする。使用時刻は原則として、公園開園時間外とする。

３．散布に際しては、対象物以外のものにかからないよう十分注意すること。

第64条　花殻摘み

事業者はバラの花殻摘みに当たっては、現地の状況等を照査し適切時期に適切な方法により作業を行うこと。

第65条　補植

事業者はバラ補植に当たっては、現地の状況等を照査し、適切な箇所に適切な本数を適切な方法により作業（堀り取・植え付け・土壌改良等）を行うこと。

第66条　巡回工・雑工

１．事業者はバラ巡回工に当たっては、散水栓からの灌水、芽かき、ブラインド枝の除去、病害虫の早期発見及び捕殺、病虫害枝等の整枝・撤去のほか、台風対策時の支柱設置等を行うこと。

２．事業者はバラの摘蕾に当たっては、現地の状況等を照査し適切時期に適切な方法により作業を行うこと。
３．事業者は雑草防止対策としてマルチングを行うこと。
４．マルチングの施工に当たっては、現地の状況等を照査し適切な材料を適切な方法により作業を行うこと。

第８章　特殊管理

第67条　対象

リサイクル工及び温室管理等について適用する。

第68条　管理水準

以下に示す管理水準を満たす特殊管理を行うこと。

１．温室内において、公園内の希少植物や有用植物の増殖と、フラワーミュージアム等の花を供給するための育成を適切に行うこと。

２．リサイクル工のうち堆肥づくりについては、植物管理で発生する枝葉や刈り草等を植栽地の土壌改良等を目的として堆肥化を行い、植栽地の土壌改良に使用できる品質を確保すること。

第69条　温室管理

事業者は温室内において、公園内の希少植物や有用植物を増殖すると共にフラワーミュージアム等の花を供給するための管理を行うものとし、海浜植物及びフラワーミュージアム補植用の宿根草の増殖と冬季の養生、種子からの花壇植栽の育成を行うこと。

第70条　温室の規模

温室の規模は以下に示す通りである。

・１号室　21m　×９m＝189.00㎡
・２号室　26.25m×９m＝236.25㎡
・３号室　26.25m×９m＝236.25㎡
・４号室　26.25m×７m＝183.75㎡

合計＝845.25㎡

第71条　チップづくり

１．事業者はチップづくりに当たっては、植栽地のマルチング材、園路、遊び場のクッション材、堆肥化の原材料等として使用するために行うこと。

２．実施に先立ち、マルチング材やクッション材等、公園利用者が直接触れるチップについては、粒度や形状の安全性について留意すること。

第72条　堆肥づくり

１．事業者は堆肥づくりに当たっては、落葉や芝刈屑、チップ等を原材料として植栽地の土壌改良等を目的として行うこと。

第９章　田畑管理等

第73条　田畑管理等

事業者は「環境共生の森」の森づくり（植樹作業・管理作業）・田畑管理等（以下「森づくり」という。）に当たっては、平成２１年度「環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外業務」報告書及び同資料編に基づき適正に持続・育成するよう必要な管理を行うこと。

第 10 章　特定外来生物の除去

第74条　特定外来生物の除去

特定外来生物（オオキンケイギク等）及びケシ等の法律で栽培等が制限されている植物については、適時・適切に除去すること。

別紙 11

R5-R9

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務
個別仕様書
【動物管理】

令和５年４月

国土交通省九州地方整備局

第１章　総則

第１条　適用

本個別仕様書は、R5-R9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務のうち、動物管理業務に適用する。

第２条　事業者の責務

事業者は、施工に当たって、公園管理業務の特性を踏まえ、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書及び現地の気象条件、土壌条件等環境条件を十分に把握の上、管理効果が上がるよう配慮し目標とする管理水準を達成すべく、施工にあたるものとする。

第３条　事前協議等

事業者は、共通仕様書、国営海の中道海浜公園の設計図書、及び現地の気象条件等環境条件を十分に照査し、各条に掲げる事項のほか明示無きもの又は疑義の生じた場合は、調査職員と事前に協議するものとする。

また、業務期間中にあっても、管理実態に合わせて、効率化に向けた管理施工上の工夫が可能な場合並びに動物について異動を要する事態が生じたときは、調査職員に報告し、協議の上、変更理由を明記し、業務計画書の変更を行うことも可能である。

１．動物の異動（飼育頭数等の変更）が生じたとき
２．動物取扱責任者の変更が生じたとき
３．獣医師に変更が生じたとき
４．その他、業務計画書の内容に変更が生じた場合

第４条　業務目的

１．国営海の中道海浜公園内の動物の森で飼育される動物について、公園利用者の観覧に供するため事業者は動物の習性、生理、生態等を理解し、かつ愛情を持って飼育し健康な動物本来の姿を当公園に相応しい形で展示することを目的とする。
２．社団法人日本動物園水族館協会（以下、「日動水協」という。）が発行する「新飼育ハンドブック」に準拠した飼育管理を行うものとする。
３．生態学、動物学、栄養学、繁殖学、動物行動学、獣医学等に基づいた科学的な飼育方法を確立し、動物福祉も重視し、動物が心身共に健康で累代繁殖が可能な飼育技術の確立を目指すとともに、動物種毎の標準飼育管理マニュアルを作成し調査職員に提出するものとする。

第５条　作成書類

事業者は、次の各号に掲げる書類を作成し、調査職員から提出依頼があった場合、速やかに提出すること。なお、死亡動物がある場合は、獣医師の死亡診断書を添付のこと。

書類名	提出先	提出期限
動物異動報告書（別添35）	国事務所総務課経理係	月末締めで翌月の10日
その他調査職員が指示するもの	調査職員	指示に従う

第６条　業務実施体制の点検

事業者は「公共業務の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律第 127号）第13条２により九州地方整備局から業務実施体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。なお、点検員は当該業務の調査職員とする。

第７条　基本事項

１．動物管理業務を総括する業務責任者の指揮命令の下、実施することとする。

２．事業者は、本個別仕様書によるほか、関係法令を遵守し、公園利用者への快適なサービスに努めると共に、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。

なお、本個別仕様書に記載のない事項又は本個別仕様書に疑義が生じたときは、その都度、調査職員と協議するものとする。

３．事業者は、公園内の動物を常に良好な状態とし、他の業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施することとする。

４．管理体制人員は、円滑な運営維持管理を行うため、動物の健康状態等に基づき弾力的に配置するものとする。

５．提供物品は事業者に貸与するが、本業務で取得した物品類も含め、修理等は事業者が行うこととする。

６．設備、提供物品及び本業務で取得した物品は事業者により善良なる管理者の注意をもって維持保存を行うこと。

７．動物の健康状態等に基づく業務効率化に向けた設備及び物品を事業者が導入する場合は、事前に調査職員の承諾を受けること。

８．作業従事者の身分保障、健康管理、服務規律は事業者の責任において行うこと。

１）動物の健康状態を維持・継続できる資格・要件を兼ね備えた人員を配置すること。

２）清掃、施設点検を適宜実施し、異常が認められた場合は、速やかに対処すること。

第９条　安全管理等

１．常に公園利用者の迷惑とならないよう十分注意すると共に、事業者の責任において常に公園の観察を行い、善良なる管理を行うものとする。

２．車両の運転については、別添13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。また、公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めると共に、別添13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、別添13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則及び公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行するものとする。

３．作業にかかる車両の持込は最小にとどめ、公園利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

４．持込可能な車種及び走行可能ルートについては、原則、別添13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づくものとする。

５．危険防止のため、全ての作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者の安全を十分確保するものとする。

６．施工中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

７．作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

８．動物管理に関わる作業員の全体安全教育を行い、安全管理を徹底すること。

第10条　利用サービス

１．公園利用者に対する案内及び緊急対応等のサービスに努めること。

２．業務責任者を含めた作業従事者は名札を作成し着用すること。

３．作業従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。
４．公園利用者に対して、管理作業内容の情報を提供する必要が生じた場合には、作業場所において適切な説明看板類を掲示するものとする。

第２章　飼育管理・繁殖管理等

第11条　管理水準

事業者は、飼育動物が常に良好な健康状態を保持できるように飼育管理を行うと共に、施設の規模に対して適正な個体数となるよう繁殖管理を行うこと。

第12条　飼育管理（個体管理・群管理、調教等）

事業者は当公園に現在保有している各動物の飼育管理に当たっては、以下に示す内容に留意するものする。

１．ポニー、ロバ、ラマ等

個体の健康状態を確認し、毛及び蹄等の手入れを行い、安全に展示できるようにするものとし、名前による個体識別を行なうものとする。

特に乗馬等の利用者サービスを行う個体については、健康状態を確認しブラッシング、蹄の手入れ等を行い、ホルダー、頭絡、鞍等を用い必要に応じてエリアを巡回運動させ、適当な調教を行うものとする。また、日々の状態を記録し、保管するものとする。

２．クモザル、フサオマキザル、リスザル

個体の健康状態を確認し、安定した群として展示できるよう心掛け、脱出や闘争を防ぐように努めるものとし、必要に応じて獣舎に収容できるよう調教を行うものとする。また、日々の状態を記録し、保管するものとし、マイクロチップによる個体識別を行なうものとする。

３．カンガルー、カピバラ、マーラ等

群飼している動物については個体の健康状態を確認し、安定した群として展示できるようにするものとし、マイクロチップによる個体識別を行うものとする。また、血統に問題が出ないよう繁殖と記録を行い、血統管理を行うものとする。

４．希少動物（マナヅル、ミドリコンゴウインコ等）

日本動物園水族館協会で希少動物に指定されている動物（マナヅル、ミドリコンゴウインコ等）については血統登録を行ない、希少動物飼育に準じた適正な飼育を行い、その飼育データを記録、保管するものとし、雌雄の判別しにくい種については科学的な方法（遺伝子検査や画像検査等による）で雌雄を判別し、積極的に繁殖育成に努めるものとする。

５．その他の飼育動物

安全で楽しい展示を心掛け、生態、血統や性質を熟知して手入れや調教を行い、適正な管理を行ない、利用者に充分なサービスができるようにするものとする。

第13条　繁殖管理

事業者は動物の健康管理及び展示効果の為に、適当な飼育頭数を維持しなければならない。そのため血統を考慮した適正な繁殖管理を実施するものとする。

１．鳥類

繁殖時（営巣中、抱卵中）に攻撃性のあるものについては、安全性を配慮した適切な飼育管理を行うものとし、繁殖した幼鳥については適切な保護管理を行うものとする。

２．哺乳類

発情期、交尾期、妊娠期等繁殖生理を熟知し、獣医師の指導のもとに、計画的に繁殖させるものとする。出産前後の母獣及び新生児については、充分な観察と保護を行うものとし、人工哺育を必要とする場合は獣医師の指示に従い、適切な哺育管理を行うものとする。

第14条　保護管理

事業者は傷害や疾病等を負った飼育動物は隔離し適正な治療を行うものとする。園内で保護された野生傷病動物については、一時的保護等適切な処置を行うのものとする。但し、外部からの野生動物の保護は原則としては実施しないものとする。

なお、隔離においては、隔離舎および治療室を適切かつ有効に使用すること。

第15条　給餌管理

事業者は飼料計算に準じた動物種別の飼料を適正に調理し給餌するものとする。

なお、動物の摂食状態、排泄状態、繁殖、生態等を常に観察し、適正な分量の飼料を与えるものとする。また、状態に応じて、飼料添加剤を混飼するものとする。

第16条　環境管理

事業者は日々、動物の獣舎及び飼育エリアの清掃を行うものとする。その際、前日の残餌量、糞尿の状態をよく観察するものとし、獣舎は糞をとった後、水洗い、ブラシ清掃を行い、運動場等については糞の除去後、掃き掃除を行うものとする。なお、集積した糞尿は園内所定の場所へ運搬し、堆肥化させる。

第17条　医療管理、死体管理、実験

事業者は医療管理、死体管理等に当たっては、死亡個体について、獣医師が死亡確認を行い、解剖所見をもとに死亡診断書を作成し、調査職員へ報告するものとする。死体は感染性の廃棄物として、死体処理業者に依頼し速やかに焼却処分する。

また、薬剤管理については、獣医師法、獣医療法、薬事法に基づいた保管管理を行ない、記録等は保管するものとする。

第３章　展示・情報発信等

第18条　管理水準

事業者は飼育動物を常に良好な状態で展示できるように努めなければならない。また、公園利用者が安全かつ快適に観覧及びふれあいができるよう体制の整備、施設の管理及び適正な解説等を行なわなければならない。

第19条　動物の展示

事業者は各展示エリアにはその動物についての情報を掲示する等、公園利用者に楽しんでもらえるような情報提供を心掛けるものとする。

第20条　ふれあい指導

事業者はウサギ、モルモット、ヒツジ、ヤギ、ポニー等と利用者とのふれあいを目的とし、公園利用者への安全性を十分配慮し、安全にふれあえる展示を心掛けるものとする。

また、ふれあいイベントも随時実施するものとする。

第21条　レストハウスの活用

事業者は動物の森レストハウスの活用に当たっては、休憩施設としての機能だけにとどまらず、インフォメーション施設として動物の森の拠点となるよう心掛ける。

第４章　衛生管理及び感染症対策等

第22条　管理水準

事業者は、常に安全で快適な動物の森とするために、適切な施設管理、動物の衛生管理、感染症対策、清掃等を行うこと。

第23条　飼養者等の教育・伝達

事業者は、飼育係員及び必要に応じて関係者に感染症に関する正確な情報とその防疫上必要な知識及び技術について教育・伝達訓練を行うものとする。

第24条　感染症等の情報収集等

事業者は感染症の発生状況等の継続的な情報収集を努めると共に、必要に応じ、福岡市生活衛生課動物愛護管理係、福岡県筑紫保健福祉環境事務所及び家畜保健衛生所等と綿密な調整等を行うこと。また、適宜、公園スタッフ、調査職員、特定公園施設管理者及び運営者に必要な情報を提供するものとする。

第25条　定期的健康診断・予防接種

事業者は動物の管理・飼育に関わる従事者の健康診断及び予防接種等を定期的に実施するものとし、健康診断の項目の種類については実情に合わせ選択するものとする。

第26条　防疫マニュアルの作成と遵守の徹底

事業者は、防疫対策マニュアル（標準作業及び感染症発生時）を作成し調査職員へ報告する。また、本仕様書で定められた事項等が日常の作業で遵守されているか、また、感染症発生時必要な資材その他が整備されているか適宜チェックを行うものとする。

第27条　動物の衛生管理

事業者は動物の衛生管理に当たって、以下の要領に留意するものとする。

１．定期的健康診断の実施

特定の感染病に罹患していないか定期的な観察を実施するものとする。

２．適切な飼育管理

種々のストレスは免疫低下を招き感染症の発症率を上げるため、生理的・精神的に動物種に適した飼育管理につとめるものとし、日常、動物の食欲・栄養状態・行動等に留意し、異常があれば直ちに獣医師に連絡する。異常を感知するにはスタッフの知識と経験が重要であり、そのための教育・伝達の機会を積極的に与えるものとする。また、この種の情報の伝達が確実かつ迅速に行われるよう体制を整えておくものとする。

３．へい死動物の処置

へい死した動物が出た場合、第一義的に感染症を想定し処置を行うものとする。その動物種で起こりうる感染症を想定し、へい死現場で死体を十分観察したうえで、その後の処置を行うものとする。なお、上記の危害度評価に基づき、場合によっては必要な検査等が終了するまで現場への立入を制限し、運搬・解剖を見合わせるものとし、この場合、検体の採取は必要最低限にとどめるものとする。また、病毒を封じ込めるため必要な処置を死体等に施すものとする。

第28条　飼育施設等の適切な清掃等

事業者は各動物舎・飼育ケージ・その他動物の飼育管理に供する器具・作業時の着衣等に適切な清掃・洗浄・消毒、滅菌を適宜実施するものとし、踏込消毒槽、手指用消毒液等については有効な濃度や鮮度

が保持されているか管理を十分行うものとする。

第29条　救急用医薬品等の常備

事業者は動物による咬傷やその他動物の排泄物・体液等による汚染あるいは汚染された器物及び負傷時には受傷部を洗浄する水道等の施設や消毒液・無菌ガーゼ・包帯等の救急用医薬品を動物舎ごとに常備するものとする。上記危害度評価を勘案し、必要に応じ感染症発生時における処置も実施するものとする。

第30条　有害鳥獣・害虫等の駆除・防除

事業者は施設内外から病毒を持ちこむ、又は持ち出すおそれがあるため、有害鳥獣（ネズミ等）および害虫（ゴキブリ等）の駆除・防除を行うものとする。

第31条　作業動線の確立

事業者は飼育作業従事時の作業動線を確立し、動物舎内外の出入の際は踏込槽等を用いて消毒するものとする。

第32条　立入制限措置

事業者は基本的に施設管理・飼育エリア内へは部外者の立入は禁止するものとし、実習等の場合には、適当な衣類・長靴等を着用させ、動線も制限し踏込槽等、適宜消毒を受けさせるものとする。

第33条　感染症発生時における推定/確認検査の実施

事業者は、疑似罹患動物が出た場合、自施設での検査可能範囲、外部検査機関の連絡先等を確認しておくものとする。危害度評価上重大な感染症である疑いのある場合、感染症に対する専門知識・技術を持たない者は専門家に委託しなければならないものとする。

第34条　感染症発生時における医療体制の確立

事業者は動物の治療に関して想定される感染症に対し、検査・治療方針（安楽死を含む）及び、死体の処理方法・処理委託機関等について確立しておくものとする。

また、治療等に必要な抗生物質その他の薬剤等のうち特殊なもの・入手に時間を要するものについては備蓄しておくものとする。なお、人獣共通感染症については受診しうる医療機関を確認し、動物感染症等に関する情報を提供する等担当の専門医と連絡を密にしておくものとする。

第35条　感染症発生時の緊急連絡網の構築

事業者は感染症法に規定されている感染症については家畜保健衛生所、筑紫保健福祉環境事務所、福岡市生活衛生課動物愛護管理係、日動水協、関係官公署、関係園館等連絡網を構築しておくものとする。

第36条　感染症への対応

事業者は感染症等について家畜保健衛生所等より対応を求められた場合には、その指導・指示に基づき適切に対応しなければならない。又、関係法令等及び国事務所が作成している行動規範等に基づき感染症毎に対応するマニュアルを調査職員に提出するものとする。

第５章　危機管理

第37条　管理水準

公園利用者の安全利用の確保、また、災害事故等不慮の事態に備えて、適切な危機管理体制及び行動規範等を取りまとめた危機管理マニュアルを契約締結の14日前までに調査職員に提出し承諾を受け、その内容を遵守しなければならない。

第38条　動物の脱出時の対応

事業者は、動物の脱出時においては、以下に内容より適切に対応するものとする。

１．動物の森の飼育動物の中で、法定による特定動物はクロクモザルのみであり、それ以外の動物は通常観客に危険を及ぼすことはないが、万が一の危険防止のための調教、馴致は日常的に行なうものとする。また、展示エリアから抜けて動物の森内にいる場合は飼育係員が捕獲を行なうものとする。

２．万が一飼育動物が動物の森から脱出した場合は、必要に応じ関係機関等に協力を要請するものとする。

３．動物の捕獲は網等によるものとするが、場合によっては獣医師の処方した睡眠薬及び獣医師による麻酔用吹き矢を用いるものとし、原則、麻酔銃は使用しないものとする。

第39条　動物の盗難について

事業者は動物の盗難防止に努めることとし、万が一、動物の盗難に気づいた際は、調査職員について口頭、電話、メールのいずれかにより報告するものとするが、盗難防止に努めるものとする。

第40条　火災及び地震発生時の動物の異常の確認

事業者は万が一火災や地震が発生した場合には、初期消火や利用者の避難誘導等必要な安全確保を行った後、速やかに動物の異常の有無を確認して調査職員に報告をするものとする。

第41条　薬剤管理

事業者は医薬品、動物用医薬品、放射線関係の管理に当たっては、「獣医師法（昭和24年６月１日法律第 186号）」、「獣医療法（平成４年５月20日法律第46号）」、「薬事法（昭和35年８月10日法律第145号）」、「麻薬及び向精神薬取締法（昭和28年３月17日法律第14号）」に従った管理を行なうものとする。なお、保管時に異常が認められた場合には調査職員に報告するほか関係機関に届け出るものとする。

第42条　麻薬及び向精神薬、劇薬、劇毒物の保管

事業者は麻薬、向精神薬、劇薬、劇毒物の保管に当たっては、獣医師により以下に従い適正に保管するものとする。

１．夜間、閉園日及び保管者が不在の時は施錠するものとする。

２．麻薬、向精神薬、劇薬、劇毒物は他の物と区別して施錠し保管するものとする。

３．薬品庫は用途別に分類して保管するものとする。

４．薬剤を廃棄する場合は産業廃棄物の医療廃棄物処理業者による廃棄を行なうものとし、その場合はマニフェスト票を５年間保管するものとする。

５．薬剤の使用は診療簿等に記録するものとする。

第43条　放射線関係の管理

事業者は放射線関係の管理に当たっては、以下に従い実施するものとする。

１．X線診療室である表示を行ない、X線装置については定期的に検査を行ないその結果は５年間保管するものとする。

２．X線を使用する時は充分な防護を行ない、被曝を防ぐものとする。

３．X線を使用する時は線量計を携帯し、使用線量の記録を行なうものとし、その記録は５年間保管する。

４．X線関係の物（現像液、フィルム等も含む）を廃棄する場合は産業廃棄物の医療廃棄物処理業者による廃棄を行なうものとする。その場合マニフェスト票は５年間保管するものとする。

第６章　雑則

第44条　法律等に基づく申請

事業者は動物愛護及び管理に関する法律及び施行規則に基づく申請が必要となる場合は、速やかに調査職員に必要な書類と記載すべき内容について報告するものとする。

第45条　福岡市動物管理センターの立入検査等の対応

事業者は福岡市動物愛護管理センターへ特定飼養動物の保管についての申請を行った場合若しくは動物愛護及び管理に関する法律に基づき動物管理センターより立入検査の求めがあった場合には、事業者は真摯に対応するものとする

第46条　日動水協への加盟

事業者は動物の森を円滑に管理運営する為に日動水協へ加盟するものとする。

第47条　余剰動物の交換について

事業者は動物の森の動物を良好な状態に保つ為、繁殖しすぎた動物や喧嘩等を起こす動物について日動水協に加盟している団体又はそれに準じた団体と動物の交換の必要が生じた場合は、調査職員と書面で協議し同意を得た上で、交換を行うものとする。なお、交換する際の相手方から搬入される動物については、当動物の森の展示や繁殖に必要な動物とするものとする。但し、交換に当たっては、当動物の森より搬出する動物の評価額と等価交換を原則とする。

第48条　動物の繁殖貸与（ﾌﾞﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾛｰﾝ）契約について

事業者は動物の種の保存の観点から、日動水協に加盟している団体又はそれに準じた団体より繁殖貸与契約の依頼があった場合又は「動物の森」で日動水協に加盟している団体又はそれに準じた団体の所有する動物が繁殖で必要となる場合は、繁殖貸与契約に必要となる事項を取りまとめた繁殖貸与契約書（案）を作成の上、契約書（案）を付した協議書を調査職員を通じ総括責任者より国事務所長に対して提出し同意を得た上で相手方との契約を締結するものとする。

第49条　台帳登録動物以外の動物の導入について

事業者は国の台帳に登録され飼育を義務づけられている動物以外を動物の森に持ち込む際は、調査職員と協議するものとする。

別紙 12

R5-R9

国営海の中道海浜公園運営維持管理業務

収益施設等設置管理運営規定書

令和５年４月

国土交通省九州地方整備局

目次

はじめに

第１編 国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営共通規定書

第１章 総則 3
第２章 マネジメント（運営管理） 22
第３章 ホスピタリティ（施設利用者対応） 27
第４章 安全衛生管理 29
第５章 施設管理 37
第６章 財産管理 39

第２編 国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営個別規定書　収益事業編

第１章 駐車場 42
第２章 レンタサイクル施設 47
第３章 飲食・物販施設 53
第４章 サンシャインプール 57
第５章 自動販売機 72
第６章 園内交通施設

第３編 国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営個別規定書　自主事業編

第１章 自主事業
第２章 自主事業における行催事・広報
第３章 臨時駐車場
第４章 臨時飲食・物販施設の運営

はじめに

国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営規定書（以下「本規定書」という。）は、国営海の中道海浜公園（以下「本公園」という。）の一元的な運営維持管理を進めるに当たり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である駐車場、レンタサイクル施設、飲食・物販施設、サンシャインプール、自動販売機、園内交通施設の管理運営業務及び自主事業（自主事業における行催事・広報、臨時駐車場、臨時飲食・物販施設等）の設置管理運営において、遵守すべき法令類や規範等の基本事項を取りまとめたものである。

本公園の運営維持管理業務を実施する事業者が独立採算で行う収益施設等設置管理運営業務の指針として、また許可申請時における管理運営要領、安全衛生管理計画及び自主事業計画書の作成に際して、本規定書を参考されたい。

第１編 国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営共通規定書

第１章 総則

第１条 履行場所及び履行期限

１．履行場所

施設名称 国営海の中道海浜公園

所在地 〒８１１－０３２１　福岡県福岡市東区大字奈多～大字西戸崎

敷地面積　539.4ha 注）

注）対象地域は本公園の供用区域（臨時駐車場については、一部公園予定区域も含む。）であり、その面積は、令和5年3月末現在349.7haである（うち収益施設許可面積21.2ha（予定））。

■対象となる収益施設

公園施設の名称				許可予定面積（㎡）	備考
1	駐車場	①	西駐車場Ａ	34,825	
		②	西駐車場Ｂ	24,870	
		③	西駐車場Ｃ	16,289	
		④	海の中道駅口駐車場	18,464	
		⑤	ワンダーワールド口駐車場	22,233	
2	レンタサイクル施設	①	西サイクリングセンター	785	
		②	ワンダーワールド口サイクリングセンター	184	
		③	駅口サイクリングセンター	686	
		④	港サイクリングセンター	295	
3	飲食・物販施設	①	マリンワールド駐車場横売店	38	ﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞ倉庫含む
		②	アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）	11	
		③	海の中道駅口売店		※整備予定
		④	プール内売店Ａ	159	サンシャインプールの内数
		⑤	プール内売店Ｂ	80	
		⑥	プール内売店Ｃ	82	
4	サンシャインプール	①	プール、管理棟、ロッカー棟等	92,243	営業期間及びその前後の開設準備・撤去期間に限り収益施設として運営
5	自動販売機	①	清涼飲料水等　建物内　　14台	16	
		②	清涼飲料水等　屋外　　56台	87	
6	園内交通施設	①	園内交通車両、車庫、停留所	177	

※小数点以下は、四捨五入。

※期間限定の運営をする施設については、運営しない期間においても本規定書第 15 条に定める当該施設に係る施設使用料を納める必要がある。また、当該施設の管理についても施設等運営者において通年で実施すること。

※サンシャインプールの営業期間は、原則として７月第２土曜日・日曜日、７月第３土曜日から８月末まで、９月の土曜日・日曜日・祝日（９月最終土曜日・日曜日は除く）の公園開園日とする。

※許可予定面積は、あくまで現行の面積を示したものであり、実際に許可を受ける面積については、施設等運営者は九州地方整備局と綿密な打合せを行い決定すること。

※当該施設の運営を行わない場合も、本管理運営規定書第 15 条に定める当該施設に係る施設使用料を納める必要がある。

２．履行期限

管理運営期間は、令和６年２月１日から令和 10 年１月 31 日までとするが、収益施設の現任施設等運営者あるいは収益施設の次期施設等運営者への引継ぎに際し、期間を変更することがある。但し、期間の変更により発生する売上額の減少等損失について、九州地方整備局は補償しない。また、利用者の利便性の確保及び公園全体のマネジメントの観点から、期間変更時に収益施設の現任施設等運営者の指示を受けることがある。

施設等運営者は、収益施設等設置管理運営業務（以下「本業務」という。）が適正かつ円滑に実施できるよう収益施設の現任施設等運営者から業務開始日までに必要な引継ぎを受け、開業に備えなければならない。

第２条 基本事項

本公園の一元的な運営維持管理を進めるに当たり必要な公園利用者サービス向上のための収益施設である駐車場、レンタサイクル施設、飲食・物販施設、サンシャインプール、自動販売機、園内交通施設の管理運営業務及び自主事業からなる本業務は、都市公園法第５条、第６条及び第 12 条の手続きを行った上で実施しなければならない。

第３条 本業務の目的

１．本業務は、本公園内に設定された許可区域内の収益施設の管理運営を行うこと、また、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、独立採算により行う行催事や繁忙期における臨時物販施設、通年での飲食・物販施設等の自主事業を行うことを目的とする。なお、本業務の実施に際して施設等運営者は、以下に掲げる本公園の設置目的や基本理念、計画理念、公園全体のゾーン構成、テーマを十分に理解した上で、本公園内で実施される他の維持管理業務と連携しながら、創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、公園利用者及び施設利用者が求める多様なニーズに対して質の高いサービスの提供で応えることで、本業務の遂行に努めなければならない。また、収益施設運営業務及び自主事業においては、外国人を含めた公園利用者の利便性を図るため、電子マネー等のキャッシュレス化の導入に努めることが望ましい。

本公園の基本理念、計画理念、公園全体のゾーン構成、テーマ

１）基本理念

本公園では、以下の５つの計画理念の下に総合的に整備、管理、運営を進めている。（別紙５「国営海の中道海浜公園運営維持管理基本方針」）

２）計画理念

計画理念①広域生活圏居住者の日常及び週末あるいは滞在型のレクリエーション需要に対応するため、多様性、選択性に富んだ諸施設を配置する。

計画理念②レクリエーション施設としては、自然に親しみ、休養を目的とするパッシブ

なレクリエーション面と、運動を目的とするアクティブな施設を選択、配置し、設計に当たっては総合的な土地利用を配慮して、既存集落、産業との調整を図りつつ地域の開発に寄与するものとする。

計画理念③地区の風土を生かし、文化財の保護にも留意して特色ある設計を行う。

計画理念④自然保全については園内における利用施設との調和はもちろん､良好なレクリエーション環境の育成のためにレクリエーション拠点の周辺には保全区域を配置する。

計画理念⑤良好なレクリエーション環境を整備するため、街路、下水道等の基盤整備を配慮する。

3）構成ゾーン

「樹林とスポーツの広場」､「樹林とピクニックの広場」､「樹林と文化･いこいの広場」､「海辺といこいの広場」

4）テーマ

下記の３つのテーマを基調に、全体的な調和を図りながら、新たなランドスケープを創造し、一貫した統一体として有機的に機能させることを目指している。

①緑の樹林

②碧い海

③輝く太陽

第４条 用語の定義

本規定書にて使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

1．「九州地方整備局」とは、国営公園の管理主体者であり、R5-9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務の発注者である地方整備局長及び国営海の中道海浜公園事務所長のこと。

2．「収益施設」とは、利用料金の徴収や売上金を得て事業者の収入とするために事業者が実施する事業の対象となる施設であり、その使用に当たっては、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条に基づく許可を受けた上で都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 209 号）第 20 条に基づき、施設使用料を納めることが必要となる場合がある。

3．「自主事業」とは、公園の利便性や魅力をより一層高めるため、九州地方整備局及び調査職員と事前に協議し、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可を受けた上で､事業者の提案により土地使用料及び建物使用料を納めて独立採算により臨時の飲食･物販施設及び臨時駐車場､通年での飲食･物販施設等の設置運営、行催事（広報を含む）を実施する事業のこと。

4．「収益施設等」とは、上記２）及び３）を総称したもの。

5．「施設等運営者」とは、収益施設等の管理運営及び自主事業に関する許可を受けた事業者のこと。

6．「調査職員」とは、本規定書に定められた範囲内において、施設等運営者及び施設等運営者が指定する職員（施設担当責任者、収益施設等設置管理運営業務責任者及び同補助者）及び九州地方整備局と協議・調整等の職務を行う、九州地方整備局の指定する職員で、総括調査職員、主任調査職員及び調査職員を総称していう。なお、施設等運営者には主とし

て主任調査職員及び調査職員が対応することとなる。

7.「維持管理業務受託者」とは、R5-9 国営海の中道海浜公園の運営維持管理業務を受託した事業者のこと。

8.「収益施設等設置管理運営業務責任者」とは、施設等運営者として本規定書第２編及び第３編に記載されている本業務全体を監理する者のこと。

9.「施設担当責任者」とは、施設等運営者として各収益施設を個別に監理する者であり、主に各収益施設等の利用指導や事故報告等を担当する業務従事者のこと。

10.「公園利用者」とは、有料区域・無料区域を問わず、公園を利用する者のこと。

11.「施設利用者」とは、収益施設等を利用する者のこと。

12.「許可区域」とは、本業務の管理運営を許可された範囲内のこと。

13.「管理施設」とは、許可区域内にある建築躯体及び建築設備等施設のこと。

14.「管理備品」とは、本業務の実施に必要な機器備品類で、あらかじめ許可区域内もしくは建築施設内に設置されているもののこと。

15.「特定施設・備品」とは、本業務の実施に必要な施設若しくは厨房器具、什器及び運営に必要な設備等機器備品類で、施設等運営者が持ち込んだもののこと。

16.「スタッフ」とは、施設等運営者が業務を履行するための職員、アルバイト、その他関係従事者をいう。

17.「管理物件」とは、別添１「公園平面図」に示す敷地及び附属設備を指す。なお、同敷地内であっても、第三者が持込、又は、管理許可を受け、若しくは占用している設備・機器、工作物等については、その対象から除外する。

18.「国事務所」とは、国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所のこと。

19.「管理事務所」とは、別添３「提供建物一覧及び図面」のうち建築番号 21 に示す建築物を指す。

20.「管理センター」とは、管理事務所を拠点として国営海の中道海浜公園運営維持管理業務を遂行する組織のこと。

21.「指示」とは、本規定書の定めに基づき、九州地方整備局及び調査職員が施設等運営者に対し、本業務の実施上必要な事項について書面をもって示し、実施させること。

22.「承諾」とは、施設等運営者が書面によって申し出た業務遂行上必要な事項について、九州地方整備局若しくは調査職員が書面により同意すること。

23.「協議」とは、本規定書の協議事項及び九州地方整備局が指示する事項について、九州地方整備局若しくは調査職員と施設等運営者が対等の立場で合議し結論を得ること。

24.「確認」とは、本規定書に示された事項について、臨場若しくは関係資料によりその内容について本規定書との適合を判断すること。

25.「提出」とは、事業者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、業務に係わる事項について書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。

26.「提示」とは、調査職員が事業者に対し、または事業者が調査職員に対し、書面またはその他の資料を示し、説明すること。

27.「報告」とは、施設等運営者が九州地方整備局若しくは調査職員に対し、事業の状況又は結果について知らせること。

28. 「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記載し、署名又は押印したものを有効とする。但し、緊急を要する場合は、ファクシミリ又は電子メールにより伝達出来るが、後日有効な書面と差し替える。電子納品や押印省略を行う場合は、別途調査職員と協議する。
29. 「利用料金」とは、収益施設等の使用やそれに伴うサービスの対価として、施設利用者から徴収する料金のこと。
30. 「施設使用料」とは、都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号）第 20 条に基づき、施設等運営者が九州地方整備局歳入徴収官に納める公園の土地又は建物の使用にかかる料金のこと。
31. 「建物使用料及び土地使用料」とは、本公園の土地又は建物を使用して臨時的な飲食・物販施設等を設置する場合に、「行政財産を使用又は収益させる場合の取り扱いの基準について」（昭和 33 年蔵管第１号）に基づき九州地方整備局歳入徴収官から金額を通知し、施設等運営者が九州地方整備局歳入徴収官に納める料金のこと。但し、公共性の高い行催事を国事務所との共催により行う場合は、建物使用料及び土地使用料は不要となる場合がある。
32. 「修繕」とは、施設若しくは設備又は備品等の劣化した部分又は部材について、性能又は機能を原状あるいは事実上支障のない状態まで回復させること。
33. 「軽微な修繕」とは、電球等の交換や壁紙の一部補修等、市販の交換品や補修材を使用して専門の業者に委託することなく対応可能な修繕行為のこと。
34. 「改修」とは、施設の性能若しくは機能を従前より向上させる措置を行うこと。
35. 「保守」とは、施設若しくは設備又は備品等の必要とする性能又は機能を維持する目的で行う消耗品又は材料の取り替え、注油、汚れ等の除去及び部品の調整等の軽微な作業を行うこと。
36. 「点検」とは、施設若しくは設備又は備品等の機能及び劣化の状態を一つ一つ調べることをいい、機能に異常又は劣化がある場合、必要に応じて対応処置を判断する事を含む。
37. 「有償」とは、現施設等運営者と施設運営者の間で決定するものであるが、個々の特定施設・備品の購入価格から減価償却分を差し引いた価格を超えてはならないものとする。
38. 「管理運営要領」とは、施設等運営者が九州地方整備局に対して業務内容、詳細の営業期間・営業時間、業務の実施方針（料金等徴収の仕組み、臨時休業の判断等）、業務の実施工程（業務順序・手順等）、業務の実施体制、連絡体制（緊急時含む）等業務上必要と思われる内容を取りまとめたもの。
39. 「安全衛生管理計画書」とは、施設管理に関わる事項（保守・点検、修繕方法等）、設備管理に関わる事項（保守・点検、修繕方法等）、従業員の衛生管理に関わる事項（接遇、身だしなみ等）、食品の安全衛生に関わる事項（賞味期限や保存方法等）、危機管理マニュアル（事故対応等）等安全衛生上必要と思われる内容を取りまとめたもの。
40. 「必須」とは、原則として公園の開園日時に常時営業する施設である。
41. 「裁量」とは、九州地方整備局と協議し公園の開園日時内で事業者が管理・運営を設定し営業する施設である。
41. 「関係機関」とは、本業務に関係する、警察、消防、行政等の機関を指す。

42.「運営維持管理業務以外の施設等」とは、当公園内において九州地方整備局が PFI 事業者、P-PFI 事業者及び福岡市等に都市公園法５条に基づき設置及び管理を許可している公園施設のこと。該当する施設は、海の中道海浜公園海洋生態科学館（マリンワールド）、海の中道海浜公園研修宿泊施設等（(ホテル：ザ・ルイガンズ.)、研修棟、マリーナ、テニスコート、駐車場、シオヤ岬レストハウス）、海の中道海浜公園官民連携推進事業施設（海の中道 P-PFI 施設）及び海の中道青少年海の家である。

43.「運営維持管理業務以外の施設管理者等」とは、運営維持管理業務以外の施設等の管理者及び運営者のこと。

第５条 許認可申請等

１．施設等運営者は、九州地方整備局に都市公園法第５条、第６条又は第 12 条に基づく許可申請を行うものとする。基本的には、「R5-9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務民間競争入札実施要項 ４．入札に参加する者の募集に関する事項」に基づき提案される「収益施設運営計画書」及び本運営規程書に記載されている条件によるものとする。但し、申請された事業内容が本公園の利用に相応しくない場合等、その実施を許可しない場合がある。

なお、臨時売店、臨時駐車場及び自主事業における行催事・広報等については、本規定書第３編に基づいて九州地方整備局より許可された内容（設置場所・設置期間・販売品目・価格等）に限り、営業できるものとする。

２．間取りの変更や増築等面積の変更、建物躯体に影響を及ぼす造作等大規模な改修等、許可の変更を要する場合は、九州地方整備局と協議の上、管理許可の変更申請を行う。さらに、業務を完了する場合は廃止に係る手続きを行うものとする。なお、年度途中において管理許可の面積が増えた場合においては、増えた面積分の使用料（日割り計算した額）を支払うこととなるが、年度途中に管理面積の減及び業務完了を行うこととなった場合は、使用料の返還は行わないものとする。

３．施設等運営者は、収益施設等事業を円滑に運営するために管理施設とは別にセンター機能を管理事務所内に設置できるものとする。なお、設置に当たっては、九州地方整備局の許可を受けるものとし、必要な管理面積分の使用料等を支払わなければならない。また、設置する場所等により光熱水費等も支払うこととなる場合があるので、事前に調査職員と綿密に調整すること。

４．施設等運営者は、施設の模様替え等を行う場合は、事前に調査職員と協議した上で、九州地方整備局に書面により届け出て許可を得ること。

５．施設等運営者は、実施する事業に係る許認可等各種法令で必要な許可の取得や届出については、所定の期日までに施設等運営者の責任で行うものとする。また、業務を完了する場合は、廃止に係る手続きを行うものとする。

第６条 法令等の遵守

施設等運営者は、業務の履行に当たり本規定書及び九州地方整備局の指示に従うほか、法令の規定を遵守しなければならない。

第７条 準拠規定

本業務の遂行に当たっては、次の各号に掲げる基準等に準拠する。

１.都市計画法

２.都市公園法

３.自然公園法

４.森林法

５.森林病害虫等防除法、その他松くい虫防除に関する関係法令等

６.景観法、屋外広告物条例

７.国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律

８.遺失物法

９.個人情報の保護に関する法律

10.行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律

11.行政機関の保有する情報の公開に関する法律

12.労働基準法、労働安全衛生法、パートタイム労働法

13.雇用保険法

14.労働者災害補償保健法

15.健康保険法

16.施設維持、設備保守点検等に関する法律

１)建築基準法

２)電気事業法

３)水道法、下水道法

４)消防法

５)建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び建築物環境衛生管理基準(厚生労働省)

６)容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律

以上のほか、施設維持管理及び設備保守点検等に関する関連法規

17.都市公園における遊具の安全確保に関する指針及び遊具の安全確保に関する規準（ＪＰＦA-S：２０１４）

18.工事に関する法規及び規定

１)建設業法

２)建設産業における生産システム合理化指針(平成３年)

３)建設工事に係る資材の再資源化に関する法律

以上のほか、工事に関する関連法規。

19.競争の導入による公共サービスの改革に関する法律

20. 動物管理及び自然環境保護に関する法規･基準

１)動物の愛護及び管理に関する法律

２)博物館法

３)絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律

４）文化財保護法
５）獣医師法
６）獣医療法
７）鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律
８）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
９）家畜伝染病予防法
10）牛海綿状脳症対策特別措置法
11）口蹄疫対策特別措置法
12）口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針、口蹄疫防疫措置実施マニュアル
13）動物展示施設における人と動物の共通感染症対策ガイドライン
14）動物由来感染症ハンドブック及び関係するガイドライン
15）薬事法
16）農薬取締法
17）麻薬及び向精神薬取締法
18）毒物及び劇物取締法
19）特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
20）「環境省レッドデータブック」ほか希少動植物に関する基準
21）水質汚濁防止法
22）廃棄物の処理及び清掃に関する法律
23）大気汚染防止法
24）騒音規制法
25）振動規制法
26）福岡県レッドデータブック
27） 新飼育ハンドブック
以上のほか、動物及び自然環境保護に関する関連法規

21. 公園のバリアフリー化に関する法規・基準
１）高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
２）高齢者、身体障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
３）移動等円滑化促進に関する基本方針
４）都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン
５）移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める省令
６）福岡市「福祉のまちづくり条例」
７）公園のユニバーサルデザインマニュアル（財団法人　都市緑化技術開発機構　公園緑地バリアフリー共同研究会編）
以上のほか、施設のユニバーサルデザインに関する法規・基準

22. 公共の施設として遵守すべき法規・基準
１）健康増進法
以上のほか公共の施設として遵守すべき関連法規

23. 公園運営の指針とすべき基準類

1）国営海の中道海浜公園整備・管理運営プログラム
2）平成 21 年度　環境共生の森等の維持管理・運営計画策定外業務報告書及び資料編
3）平成 22 年度　松林保全再生調査その他業務報告書
4）平成 26 年度　海の中道海浜公園松林育成管理計画他業務報告書
5）昭和 51 年度に策定した植栽計画の方針、平成 19 年度に策定した植栽更新･管理計画
6）国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領
7）国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目
8）園内におけるロケーション等の許可に関する要領
9）国営海の中道海浜公園　野外劇場利用及びコンサート等の許可に関する要領
10）国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則
11）「遊泳用プールの衛生基準について」（平成 19 年５月 28 日健発第 0528003 号厚生労働省健康局長通知）
以上のほか公園運営に関する指針及び基準類
24. 印紙税法、消費税法等税制に関する法律
25. プールの安全標準指針（文部科学省、国土交通省）
26. 旅館業法
27. 風俗営業法
28. 公園運営の指針とすべき関係仕様書類

施設の維持補修に当たり、利用者の安全な利用及び国有財産の適切な管理を行ううえで配慮が必要な施設については、以下の仕様等に基づき施工すること。
1）土木工事共通仕様書（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
2）公共建築工事標準仕様書　建築工事編
3）公共建築工事標準仕様書　電気設備工事編
4）公共建築工事標準仕様書　機械設備工事編
5）電気通信設備工事共通仕様書
6）機械設備工事標準仕様書
7）設計業務等共通仕様書（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
8）土木請負工事必携（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
9）土木工事施工管理の手引き（九州地方整備局ホームページ・建設情報に掲載）
10）電気設備に関する技術基準を定める省令
11）建築保全業務共通仕様書及び同業務報告書作成の手引き
12）国土交通本省委託契約取扱要領（別添２）
13）国営海の中道海浜公園マニュアル（調査職員より貸与）
14）都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）
15）その他国営海の中道海浜公園関連資料
16）食品衛生法、福岡市食品衛生条例、福岡県食品衛生法施行条例、福岡県食品取扱条例及び同施行規則、特殊形態営業に関する取扱要領の改正について（福岡県通知）
17）個人情報の保護に関する法律（平成 15 年５月 30 日法律第 57 号）

18)国有財産法、会計法、会計検査院法、国の債権管理等に関する法律
19)原状回復をめぐるトラブルとガイドライン(改訂版)(国土交通省住宅局住宅総合整備課)
20)その他、関係諸法令

第８条 施設等運営者の義務

１．施設等運営者は、常に公園利用者及び施設利用者の安全に配慮すると共に、施設等運営者の責任において常に施設を含む周囲の観察を行い、本業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。なお、異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従うものとする。

２.施設等運営者は、施設が国営公園内にあることを鑑み、その公共性に十分配慮すると共に、本公園設置の意義を踏まえて行動すること。

３．収益施設の適正な管理を保持しつつ、施設の管理運営に際して創意工夫やノウハウを積極的に発揮し、本業務の遂行に努めること。

４．繁忙日及び行催事開催日等には、臨時駐車場の確保や駐車場の早期開場及び閉場時間の延長、プール送迎用等の臨時シャトルバスの運行等も含めて収益施設等の運営を行うこと。

５．施設等運営者は、九州地方整備局が行う安全管理行為（例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練等）への参加・協力・実施等、九州地方整備局の求めに応じて、積極的に協力しなければならない。

６．施設等運営者は、九州地方整備局が行う各種会議等（例：別添５「海の中道海浜公園管理運営委員会規約」に基づく会議、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等）への参加・協力・実施、行催事開催時に営業時間の変更等を行うこと、要人案内等、九州地方整備局や維持管理業務受託者の求めに応じて、積極的に協力すること。

７．施設等運営者は、調査職員から公園に関する調査、又は作業の指示等があった場合には、迅速、誠実かつ積極的な対応を行うこと。

８．管理運営要領の策定及び管理運営に際して、本公園内の運営維持管理業務以外の施設管理者や維持管理業務受託者と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行いつつ実施しなければならない。

９．別添 11「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領」、別添 12「国営海の中道海浜公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目」及び別添 13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守し、収益施設等の運営にあたること。

10．施設等運営者は、本業務の実施に当たって、常に九州地方整備局と密接な連絡をとり、本業務の目的の達成を図るものとする。

11．本公園の整備・管理の工事等が収益施設等の運営に影響を及ぼす場合又は、影響を及ぼす恐れがある場合は調査職員と該当する収益施設等の運営について綿密に協議すること。

第９条 安全管理

１.本業務の実施に当たっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故を防止しなければならない。

2.施設若しくは許可区域内において、公園利用者及び施設利用者に危険が及ぶ恐れのある障害が発生した場合は、危険防止に必要な措置を調査職員に書面により報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止しなければならない。

3.公園内での車両の運転については別添13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」に基づいた許可書を前面に掲示し、別添13「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則及び公園内車両通行及び作業心得について」を遵守して走行するものとする。また、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない様、必要に応じ誘導員を配置するか、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

4.公園利用者や施設利用者に対する安全確保上必要があると判断される作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等、施工中は安全管理を徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保するものとする。

5.作業中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

第10条 景観への配慮

施設等運営者は、収益施設の運営、特に飲食施設や物販施設の運営においては、施設周辺の景観を阻害することのないよう、景観への配慮に努めなければならない。

第11条 九州地方整備局と施設等運営者の責任分担

本業務を実施するに当たり、九州地方整備局と施設等運営者の責任分担を下表「責任分担一覧」の通りとする。但し、「責任分担一覧」に定める事項に疑義が生じた場合、又は、「責任分担一覧」に定めのない事項については、九州地方整備局と施設等運営者の間で十分に協議の上決定するものとする。

九州地方整備局と施設等運営者の責任分担一覧

項目		九州地方整備局	事業者	
			運営維持管理	収益施設
	内　　容			
料金徴収業務	入園料等（収益施設運営に係るものを除く）の徴収業務 （徴収料金は、九州地方整備局に納付）		○	
公園施設の管理	公園施設の管理（都市公園法第5条に基づき設置・管理されている施設は除く。）		○	
収益施設の管理	収益施設の管理			◎
物品の管理	九州地方整備局より提供のあった物品の管理		○	◎
	本業務において取得した物品及び消耗品の管理		○	
苦情・要望対応	施設管理、運営業務内容に対する住民及び公園利用者からの苦情、訴訟、要望への対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
事故・災害時対応	本仕様書等に記載された業務内容による対応		○	◎
	上記以外の場合	○		
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○	◎
	但し、30/1000以上の物価変動が見込まれる場合	○		
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○	◎
運営日時の変更	開園日時の変更（事業者による提案）に伴う経費の増減		○	
	収益施設の運営日時の変更に伴う経費の増減			◎
施設・物品等の修繕	事業者の責めに帰すべき事由による場合（事業者による管理が不適切なために修繕が必要になった場合も含む。）（以下この表において「①」という。）		◎	◎
	収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる費用（上記①を除く。）。（※1）			◎
	上記2項目以外の場合 なお、予算の状況により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、年間業務計画の変更を協議するものとする。	○		
不可抗力	大規模な自然災害等（災害対策本部運営計画に基づく警戒体制以上の体制をとるような事態）の不可抗力（以下この表において「②」という。）により公園施設に著しい損害を受けた場合に、公園を一時閉園するなどして行わなければならない施設、設備等の復旧等 ※上記②により施設の使用中止又は臨時閉園とする場合には、対応を協議するものとする。	○		
公園利用者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、公園利用者に損害を与えた場合（事業者の不適切な運営又は、施設管理による公園利用者の怪我等）		◎	◎
	共通仕様書第27条の保険の付保及び事故の補償に係る場合		○	◎
	上記2項目以外の場合	○		
第三者への損害	事業者の責めに帰すべき事由により、第三者に損害を与えた場合		◎	◎
	上記以外の場合	○		

責任を有する側を項目ごとに○または◎としており、事業者の責任分担に係る項目のうち◎の項目については委託費を充当することができない。

※1：震災等大規模な自然災害の影響やウイルス等による感染症のまん延等の影響等、事業者の責めに拠らない理由で収益施設の収支バランスが大きく変わった場合、収益施設の建物の構造に関わる部分を除く修繕にかかる計画内容や責任分担の変更について、九州地方整備局に協議することができる。

第 12 条 公租公課

1．施設等運営者は、厨房器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置等により賦課される不動産取得税、固定資産税、都市計画税、償却資産税その他の公租公課について全て施設等運営者の負担とする。

2．施設等運営者は、地方税法第 73 条第７項（不動産取得税の納税義務者等）に定める手続き等、施設等運営者の賦課資産に係る公租公課の分離手続について九州地方整備局に協力するものとする。

第 13 条 運営日時等

1．収益施設等の運営日時に関しては、本公園の開園日、開園時間に合わせ、個別施設の各章で定める運営日時を基に別に定めることを原則とするが、運営方法の内容によっては九州地方整備局との協議の上、当該運営日時を変更して運営することができる。

	開園期間	開園時間
供用区域（パークツーリズムエリアを除く）	３月１日　～　10月31日	9:30～17:30 プール開園期間中(9月は除く)は9:00～18:30
	11月１日　～　２月末日 ※休園日は12月31日～１月１日、２月の第１月曜日及びその翌日	9:30～17:00
パークツーリズムエリア	１月１日　～　12月31日 ※休園日は２月の第１月曜日及びその翌日	9:30～23:00 プール開園期間中(9月は除く)は9:00～23:00

※繁忙期、イベント開催時等においては、事業者が九州地方整備局に協議し、同意を得た上で、開園時間の変更を行うことができる。

なお、以下の通り無料入園日を設けることとし、当該年度の日付は１ヶ月前までに通知する。

○　春の都市緑化推進運動／４月１日～６月３０日【期間中１日】
○　秋の都市緑化月間／１０月１日～１０月３１日【期間中２日】
○　みどりの日／５月４日【１日】
○　敬老の日／９月第３月曜日【１日】　※満６５歳以上の者のみ無料

2．九州地方整備局が、天変地異、社会的又は経済的環境の著しい変化及びその他やむを得ない事由により、施設等運営者に対し一時休業若しくは営業廃止又は営業時間の変更を指示したときは、施設等運営者は異議を申し立てることは出来ないものとする。

3．九州地方整備局は、前項の規定により施設等運営者が一時休業若しくは営業廃止又は営業時間の変更を行ったことによる損害について、その補填の責任は負わないものとする。

第 14 条 提供品目及び利用料金

1．飲食・物販施設において提供・販売しようとする品目を定めるに当たっては公園利用者の要望等に配慮して定めるものとする。

２．各施設の利用料金については、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支バランスを鑑みながら、市場価格を踏まえて定める。なお、利用状況等を踏まえて、曜日や季節等によって異なる料金を設定することも可能とする。

なお、施設等運営者は管理運営要領、安全衛生管理計画書及び自主事業計画書にて定めたサービス内容及びその価格等に関して変更を希望する場合は、事前に九州地方整備局と協議を行い、その結果に基づき変更した管理運営要領、安全衛生管理計画書及び自主事業計画書を九州地方整備局及び調査職員に提出し、承諾を得なければならない。

３．施設等運営者が、本規定書に基づき収益施設等の管理運営を行うに当たっては、利用料金を施設利用者の見やすいところに表示しなければならない。但し、利用料金が既に販売商品等に表示されていて、その価格が一般的に知られているものについては、この表示を省略することができる。

第 15 条 国有財産の施設使用料

１．施設使用料の定めがある施設について

毎月の施設使用料については、歳入徴収官九州地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、当月分を指定期日までに納入しなければならない。

指定期日までに施設使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年５％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

九州地方整備局は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要のあると認める場合には、施設使用料を改定することができる。

なお、風水害その他の事業者の責に帰することが出来ない事由により、長期間閉園が生じた場合の施設使用料の取扱については、九州地方整備局と施設等運営者の間で協議するものとする。

■施設使用料（現時点の目安）

公園施設の名称	税込み施設使用料（千円／年）
国営海の中道海浜公園収益施設　１式	約〇

※面積等条件の変更により金額は増減する可能性がある。

【施設使用料の定めがある施設】※施設使用料は千円単位（千円未満切り捨て）

公園施設の名称				施設使用料
1	駐車場	①	西駐車場Ａ	〇
		②	西駐車場Ｂ	
		③	西駐車場Ｃ	〇
		④	海の中道駅口駐車場	〇
		⑤	ワンダーワールド口駐車場	〇
2	レンタサイクル施設	①	西サイクリングセンター	〇
		②	ワンダーワールド口サイクリングセンター	〇
		③	駅口サイクリングセンター	〇
		④	港サイクリングセンター	〇
3	飲食・物販施設	①	マリンワールド駐車場横売店	〇
		②	アニマルミュージアムショップ（動物の森レストハウス内）	〇
4	サンシャインプール	①	プール、管理棟、ロッカー棟等	〇
5	自動販売機	①	清涼飲料水等　建物内（13 台）	〇
		②	清涼飲料水等　屋外　（57 台）	

6	園内交通施設	①	車庫、停留所	○

※施設利用料は「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.1.7蔵管第1号）に基づいて算定する。
※施設等運営者の企画提案等により、収益施設の運営日時を変更した場合であっても、施設使用料の減額は行わない。

２．許可申請毎に納入すべき施設

施設等運営者は、施設使用料の定めのない土地又は建物を使用する場合は、許可申請毎に占用面積及び期間に応じ告知する建物使用料又は土地使用料を歳入徴収官九州地方整備局総務部長が発行する納入告知書により、納入告知の日から 20 日以内に納入しなければならない。期日までに建物使用料又は土地使用料を支払わないときは、その翌日から納入の日までの日数に応じ、年３％の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

九州地方整備局は、経済情勢の変動その他の事情の変更に基づいて特に必要のあると認める場合には、建物使用料及び土地使用料を改定することができる。

【参考：令和４度実績の施設使用料について】

税抜き土地使用料（円／日・㎡）	税抜き建物使用料（円／日・㎡）
１．５１	３３．４

※１［建物の占用］及び［土地の占用で占用期間が１ヶ月を超えない場合］は、別途消費税が課される。
※２建物使用料及び土地使用料は、「行政財産を使用又は収益させる場合の取扱いの基準について」（S33.1.7蔵管第1号）に基づいて算定する。

第 16 条 経費等の負担

１．施設等運営者の負担範囲

１）通常の飲食･物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備（プール付帯工作物含む）、軽微な修繕、管理備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。なお、委託費で購入した設備、備品及び消耗品等を本業務に使用することは出来ない。

２）施設等運営者が管理する収益施設に係る法定点検については原則施設等運営者が点検を行うものとし、九州地方整備局が実施する法定点検との役割分担について協議の上、実施時期を調査職員に報告すること。点検結果については遅滞なく調査職員に書面により報告すること。

３）上記以外に定めのない費用については、九州地方整備局と協議を行い、協議録を保管すると共に書面をもって負担等を定めるものとする。

２．光熱水費納付

１）基本料金

基本料金については、公園全体の従量料金に対する収益施設の従量料金等から九州地方整備局が負担金額計算を行い、施設等運営者が負担するものとする。

２）従量料金

水道及び電気料金については、個別にメーターを設置する等、各施設の使用料が切り分けられるようにし、その計量により負担するものとする。ガス、その他メーターが設置出来

ない場合は九州地方整備局と協議するものとする。なお、計算方法については変更する場合がある。

3．ごみ処分費用

ごみ処分費用については、施設等運営者と維持管理業務受託者との間で、発生量に応じて、応分の負担を行うこと。発生量等が不明確な場合は、九州地方整備局と協議するものとする。

4．費用分担における確認

光熱水費やごみ処分、さらにはこれら以外に九州地方整備局又は維持管理業務受託者と施設等運営者との間で費用分担を行う場合にあっては、九州地方整備局と費用分担ルール及び費用分担結果の九州地方整備局との確認方法、並びに支払方法について協議すること。また、協議結果を書面にして残すこと。

第 17 条 コンプライアンス

1．守秘義務

1）施設等運営者、若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、罰則の適用がある。

2）九州地方整備局が定める情報のセキュリティに関する規定等がある場合は、それに沿って、情報管理を適切に行うこと。

2．個人情報保護

1）施設等運営者は、個人情報の保護の重要性を認識し、本業務における事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年５月 30 日法律第 58 号）第６条第２項の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2）施設等運営者は、本業務における事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第 18 条 業務の再委託の禁止

1．施設等運営者は、業務を他の者に再委託してはならない。但し、業務の一部を他の者に再委託する場合、あらかじめ書面により九州地方整備局の承諾を得たときは、この限りではない。但し、事柄の性格上、自主事業については再委託の概念からは除外するものとする。

2．再委託を行う場合、書面により施設等運営者との契約関係を明確にしておくと共に、施設等運営者に対し、業務の実施について適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。

3．再委託を受けた業務受託者は、入札書の受領期限の日から開札の時までの期間に、九州地方整備局から指名停止を受けていないこととする。

4．暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している者を、再委託を行う業務受託者としてはならない。

5．施設等運営者は、前項の規定により九州地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより九州地方整備局に損害を及ぼしたときは、九州地方整備局に対して、その損害を賠償するものとする。

6．施設等運営者は、前項の規定により九州地方整備局が承諾した業務受託者が、その責めにより第三者に損害を及ぼしたときは、速やかに調査職員に報告すると共に、第三者に対して、その損害を賠償するものとする。また、その結果については、書面により調査職員に報告するものとする。

第 19 条 許可した目的以外の利用及び施設の転貸等の禁止

1．収益施設を運営するに当たっては、許可した目的以外の使用は禁止する。但し、九州地方整備局が承諾したものについては、その限りではない。

2．施設利用者及び公園利用者に対する安全確保に反する行為をしてはならない。

3．施設等運営者は、施設の全部若しくは一部を第三者に貸与し、又は担保に供してはならない。但し、九州地方整備局に書面により承諾を得たときは、この限りではない。

4．施設等運営者は、本業務によって生じる一切の権利義務を他の者に譲渡し、又は継承させてはならない。

第 20 条 業務の履行

1．管理許可条件に定める運営時間内での運用を休止させてはならない。但し、九州地方整備局の承諾を得た場合はこの限りではない。

2．施設等運営者は、業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、施設利用者に利便性を図るために本規定書、管理運営要領、安全衛生計画書及び自主事業計画書を維持することとする。

第 21 条 業務の解除

施設等運営者の責めに帰すべき事由により適正な収益施設の管理運営が困難となった場合又はその恐れが生じた場合においては、九州地方整備局は施設等運営者に対して改善勧告を行い、期間を定めて、改善策の提出及び実施を求めることができる。

この場合において、施設等運営者が当該期間内に改善することができなかったときには、九州地方整備局は都市公園法第５条第２項の許可を取り消すことがある。また、運営維持管理業務の事業者の契約が解除された場合においても同様とする。

第 22 条 業務の完了・引継、原状回復等

1．施設等運営者は、施設等運営者の責めに帰すべき事由により、施設を汚損・破損若しくは滅失したとき、又は九州地方整備局に無断で施設の原状を変更したときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。

2．施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合は、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって下記事項について事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、

施設等運営者が設置した特定施設・備品を撤去し速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。但し、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局の書面による承諾を受けて原状回復せずに引き渡すことができる。

1）建物や関連設備の鍵の場所等、建物の管理に関する事項。

2）設備等設置における建物躯体や構造物への影響等に関して留意が必要な事項。

3）建物や設備等の老朽化等により、それら使用において、維持修繕上、留意が必要な事項。

4）継続的な地域連携イベント等において、運営日時の調整や臨時売店の設置、販売品目の変更、提供等を行う等、主催者と連携、協力すべき事項。

3．前項但し書きの適用がない場合において、施設等運営者が前項本文の原状回復を履行しないときは、九州地方整備局は施設等運営者が自ら整備した内装・設備等を放棄したものとみなし、現状を維持するか又は施設等運営者の費用をもって原状回復を行うことができる。

4．不可抗力その他、九州地方整備局や施設等運営者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合は、九州地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議し、九州地方整備局が指示することとする。

第 23 条 立退料等の不請求

施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、又は不可抗力の場合は、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取又は立退料等の請求若しくは施設等運営者が支出した有益費等を請求することが出来ない。

第 24 条 保険の付保及び事故の補償

1．施設等運営者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法及び健康保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。

2．施設等運営者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

3．施設等運営者は、火災保険、自動車任意保険、施設賠償責任保険（貸し自転車の運営に関するものも含む)、動産総合保険、生産物賠償責任保険の他、必要に応じて各種保険に加入するものとする。

4．１～３項に規定する保険料、補償費は、施設等運営者の負担とする。

第 25 条 情報公開

1．施設等運営者は、文書の開示等の情報公開については、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 15 年５月 30 日法律第 58 号）の規定に準じて取り扱うものとする。この場合、九州地方整備局の指示に従うこと。

2．施設等運営者は、九州地方整備局が会計法令に基づき実施する事業者に対する立ち入り検査、指示等監督・検査に対して、誠意を持って対応すること。

第 26 条 その他留意事項

本規定書に定めていない事項又は疑義を生じた事項に関しては、必要に応じて、九州地方整備局の指示により、決定することとする。

第２章 マネジメント（運営管理）

第 27 条 基本事項

１．提出書類

１）収益施設等設置管理運営業務責任者は許可を受けた後に、九州地方整備局が指定した様式による関係書類を九州地方整備局に遅滞なく提出しなければならない。

２）施設等運営者が九州地方整備局に提出する書類で様式が定められていないものは、様式を作成後九州地方整備局に了解を得て提出するものとする。

３）業務報告書、経理状況に関する帳簿類及び九州地方整備局が指示する記録は、調査職員等の求めに応じて常に提出できるよう、個別に年度毎にファイルに取りまとめ、業務成果として業務完了後５年は保存すること。

２．連絡、協議

１）収益施設等設置管理運営業務責任者は、必要に応じて調査職員と連絡、協議等を行うこと。またその結果について、書面に記録し相互に確認しなければならない。

２）調査職員と収益施設等設置管理運営業務責任者は業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容については相互に確認しなければならない。

３）施設の運営維持管理に係る各種規定・要項を作成する場合や、追加開園等により契約期間中に管理運営内容が変更する場合、さらにはその他新業務への対応が必要な場合は、九州地方整備局と施設等運営者の間で書面により調整又は協議を行う。

４）不測の事態又は疑問等が生じた場合は、速やかに調査職員と協議する。

３．報告事項

１）施設等運営者は、次の各号に掲げる事項について、九州地方整備局に書面により報告するものとする。

項目名	提出先	提出期限
収益施設運営計画書	九州地方整備局	契約締結の 14 日前まで
収益施設運営実績書	九州地方整備局	業務完了時
管理運営要領及び安全衛生管理計画書	九州地方整備局	契約締結の 14 日前まで
管理運営報告書（月毎の売上高、施設利用者数等）	九州地方整備局	翌月の 10 日迄
自主事業計画書	九州地方整備局	業務履行開始日の14日前迄
収益施設等打合せ書	九州地方整備局	適宜・適切
施設保守定期点検等の実施結果報告	九州地方整備局	点検後速やかに
修繕履歴	九州地方整備局	指示に従う
その他九州地方整備局が指示するもの	九州地方整備局	指示に従う

第 28 条 業務実施体制

１．施設利用者に対して、安全・快適な利用サービスを提供するために、必要な資格等専門技術・知識を有する職員を配置する等、本業務を適切に実施する業務実施体制を構築しなければならない。

２．本業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害等非常時における緊急対応が適切に行われるよう、管理体制を構築しなければならない。

３.本業務の企画立案及びマネジメントを担当する収益施設等設置管理運営業務責任者を配置しなければならない。

４．収益施設等設置管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者が配置する総括責任者と兼務する場合、収益施設等設置管理運営業務とそれ以外の業務との従事割合等を明確に区分しなければならない。

５．営業期間中は、収益施設等設置管理運営業務責任者若しくはその補助者（業務に精通した者を補助者として定め）１名以上が勤務する体制とするものとし、緊急対応等を含め本業務が円滑かつ迅速に行われる体制をとること。

６．収益施設等設置管理運営業務責任者が、実施要項 3.3 表 8 で定められた収益施設等設置管理運営業務責任者の要件についてｱ)又はｲ)のいずれか一方のみを満たしている場合、収益施設等設置管理運営業務責任者とは別に、その満たしていない方の要件を満たす者を「業務責任者を補佐する者」として配置することとし、予め九州地方整備局の承諾を受けなければならない。

７．収益施設等設置管理運営業務責任者は、維持管理業務受託者と常に調整し、業務を遂行する。

１）調査職員について

① 九州地方整備局は、業務における調査職員を定め施設等運営者に通知するものとする。

② 調査職員は、本規定書に定められた範囲内において、九州地方整備局又は、施設等運営者及び施設等運営者が指定するスタッフ（施設担当責任者、収益施設等設置管理運営責任者及び同補助者）、収益施設等設置管理運営業務責任者に対し協議、調整等の職務を行う九州地方整備局が指定する職員で、総括調査員、主任調査員及び調査員を総称していう。なお、収益施設等設置管理運営者には主として主任調査員及び調査員が対応する。

２）収益施設等設置管理運営業務責任者及び補助者について

① 施設等運営者は、業務における収益施設等設置管理運営業務責任者及び補助者を定め、九州地方整備局に通知するものとする。

② 収益施設等設置管理運営業務責任者及び補助者は、本業務について業務従事者が適切に管理運営を行うよう、指揮監督しなければならない。

３）適切な業務従事者の配置について

① 収益施設等設置管理運営業務責任者は、施設担当責任者及び業務従事者の手持ち業務量が適切となるよう配慮すること。

② 調査職員は、必要に応じて収益施設等設置管理運営業務責任者及び補助者、施設担当責任者及び業務従事者の経歴･職歴に関する事項について書面により報告を求めることができる。

第 29 条 許可、承諾等を要する事項

１．管理運営要領

1）施設等運営者は、別に定めがある場合を除き、契約締結の 14 日前までに収益施設運営計画書に基づく下記の項目を記載した管理運営要領及び安全衛生管理計画書を調査職員に提出し、承諾を得るものとする。その際、管理運営要領及び安全衛生管理計画書は許可を受ける施設ごとに作成すること。なお、自主事業については、履行開始日の 14 日前までに管理運営要領及び安全衛生管理計画書と同様の内容を取りまとめた自主事業計画書を九州地方整備局に提出し承諾を得るものとする。

［管理運営要領の記載事項］

①業務内容（商品、価格及びサービス内容、行催事・広報等）
②詳細の営業期間・営業時間の設定
③業務の実施方針（料金等徴収の仕組み、臨時休業の判断等含む）
④業務の実施工程（業務の順序及び手順）
⑤業務の実施体制
⑥連絡体制(緊急時含む)
⑦その他（業務実施上必要と思われる事項）

［安全衛生管理計画書の記載事項］

①施設管理要領
②設備管理要領
③従業員衛生管理指導マニュアル（接遇、身だしなみ等を含む）
④食品の安全衛生規定
⑤危機管理マニュアル（災害・事故等発生時の行動マニュアル含む）
⑥その他（安全衛生上必要と思われる事項）

2）管理運営要領及び安全衛生管理計画書の策定に当たっては、維持管理運営の実務に通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望を踏まえた運営計画の変更の経緯、記録が確実に残る仕組みについて記載すること。

3）施設等運営者は、収益施設等の維持管理運営業務を通じた経験や知見、施設利用者からの意見・苦情・要望に基づく対応による修正が必要と判断した場合は、調査職員と協議の上、調査職員に変更した管理運営要領及び安全衛生管理計画書を提出し、許可を得ること。

2．管理運営報告書

1）施設等運営者は、毎年度決算終了後、速やかに、調査職員に決算に関する報告書を提出すること。その際、報告書は施設毎に作成し、運営維持管理業務と明確に区分して整理すること。

2）施設等運営者は、毎月の売上その他の営業に関する状況を翌月 10 日までに書面により調査職員に報告すること。

3）経理状況に関する帳簿類は常に整理し、九州地方整備局からこれらに関する報告や実施調査を求められた場合には、速やかに調査職員の指示に従い、誠実に対応すること。

4）九州地方整備局は、実施調査の結果、必要と認める場合には、施設等運営者に対し改善を求めることができる。

3．施設の修繕等

1）施設等運営者が、収益施設等の模様替え等の工事を実施する場合は、その内容、時期等の情報について事前に九州地方整備局に書面により届出て許可を受けるものとする。ただし、施設利用者の安全確保等の観点から緊急を要する修繕については、この限りではない。

2）施設等運営者が、必要に応じて管理施設の間取りの変更や建築構造躯体に対して穿孔、開口、留め付け等を伴う設備工事等を実施する場合は、事前に九州地方整備局と書面により協議し、承諾を得なければならない。変更の際も同様である。

3）施設等運営者が、施設の管理運営上必要に応じてガス器具及び運営に必要な設備等を管理施設に新たに設置する場合には、九州地方整備局と事前に書面により協議し、承諾を得なければならない。

4）施設等運営者は、新たな設備工事若しくは機器設置に伴い九州地方整備局又は第三者に及ぼした損害を賠償しなければならない。

5）施設等運営者は、九州地方整備局の承諾を得て施設に付加した機械等の設備、間仕切り、建具その他の造作等について、買取請求を行わないものとする。

6）施設等運営者は、上記1）及び2）で修繕等を実施した場合には、施設毎に修繕履歴（修繕日、修繕内容、修繕費用等）を作成し、業務終了時又は調査職員から提出を求められた場合には速やかに提出しなければならない。

4．業務内容の決定・変更

施設等運営者は、管理運営要領にて定めた業務内容に関して変更を希望する場合は、事前に九州地方整備局と協議を行い、その結果に基づき変更した管理運営要領を九州地方整備局に提出し、承諾を得なければならない。

5．施設等運営者の変更

新たな施設等運営者の追加等による管理運営要領の変更を行う場合、書面により同施設等運営者との契約関係を明確にしておくと共に、同施設等運営者に対し業務の実施について適切な指導、管理の下に業務を実施しなければならない。

6．広告物の掲出

施設等運営者は、広告物を掲出しようとするときは、広告物の内容及び掲出場所等についてあらかじめ九州地方整備局に書面により協議し承諾を得るものとする。

1) 収益施設等の運営に関して、通常業務の運営や店舗位置への案内誘導、企画商品等の販売促進を目的とする張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等を設置する場合は、公園の美観を損なわず、また他の本公園に関する看板類等に比して目立ちすぎないよう、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。併せて、本公園の施設であることを明示すること。

なお、企画商品等の企画名称等に本公園の名称・ロゴ等を使用する際は、事前に九州地方整備局の許可を得るものとする。

2) 収益施設等の運営に関して、協賛企業から協賛金を募って企画商品の販売や協賛での行催事等を実施する際、その販売促進を目的とする協賛企業の名称等を張り紙、張り札、広告旗、立看板、広告幕等に表示することはできるが、前項同様、公園の美観を損なわず、その形状・大きさ、色彩において十分留意すること。

3) 施設等運営者は、事前に調査職員の承諾を得た上で、協賛企業に自己の協賛内容を広報宣伝させることができる。

4) 施設等運営者は、事前に調査職員の承諾を得た上で、自らが作成する企画商品や協賛での行催事等に関するポスター、パンフレット、スタッフジャンパー等に、協賛企業や商品の名称等を表示することができる。

7．施設等運営者のその他提出義務

施設等運営者は、下記の項目の一に該当するときは、直ちにその旨を九州地方整備局に書面により提出しなければならない。

1) 施設等運営者が、主たる事務所の所在地又は名称を変更したとき。

2) 施設が損傷、破損又は滅失したとき。

3) 施設内で事故等が発生したとき又はその恐れがあるとき。

4) 施設等運営者が、強制執行・仮差押え・仮処分若しくは競売の申立てを受けたとき。

5) 施設等運営者に対して破産の申立て、又は更生手続き開始の申立て若しくは民事再生手続き開始の申立てがあったとき。

第 30 条 その他の協議・報告等

施設等運営者は、公園の管理運営等で必要な協議を適切に行い、結果等については、遅滞なく書面により報告しなければなければならない。

1．関係機関等との協議。

2．その他施設の運営者との協議。

第 31 条 官公署への連絡、届出

施設等運営者は、官公署への連絡、届出手続きは九州地方整備局に協力し、遅滞なくこれを処理する。また、施設等運営者による工事等によって官公署への連絡、届出が必要となるときは施設等運営者において行う。

第 32 条 別途工事等との調整

国が別途発注する工事又は別途業務（法定点検業務等）の実施に当たり、施設等運営者は、調整等に協力する。また計画停電を伴う工事や点検を実施する際には、その対応については、調査職員と調整すること。

第 33 条 記録の保存

業務報告書、経理状況に関する帳簿類及び九州地方整備局が指示する記録は、調査員等の求めに応じて常に提出できるよう、個別に年度毎にファイルに取りまとめ、業務成果として業務完了後５年保存すること。

第 34 条 再調査等の依頼

九州地方整備局は、施設等運営者からの報告等に疑義を生じた場合、再調査を依頼し、より詳細な報告等を求めることができる。

第３章 ホスピタリティ（施設利用者対応）

第 35 条 基本事項

１．本業務は、施設利用者に直接、接する業務であり施設利用者が快適に楽しめるよう心掛け不快と感じさせるような身だしなみ、行動、言動とならないよう心掛けるものとする。

２．業務遂行に当たっては、常に公平なサービスの提供に努め、特定の個人や団体に有利あるいは不利な扱いとならないようにすること。

３．業務従事者の服装、作業用機械、器具、車両等については、本公園に相応しいものとし、イメージアップに心掛けるものとする。

４．業務責任者を含む業務従事者について、名札を作成し着用すること。

５．作業にかかる車両や商品納入車両の乗り入れについては、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。併せて公園利用者の安全と快適な利用を妨げない運転・駐停車・作業態度等に努めると共に、「国営海の中道海浜公園園内業務における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行するものとする。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置すると共に、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

第 36 条 施設利用者対応

１．園内の概要や開催するイベント等の基本情報を収集し、公園利用者及び施設利用者の問い合わせに対応すること。問い合わせの内容に関して必要に応じて維持管理業務受託者等に確認又は引き継ぐこと。

２．公園利用者及び施設利用者の苦情については、誠意を持って適切かつ迅速に対応し記録すると共に必要に応じて報告すること。

３．園内掲示板、掲示物を適切に管理すること。

４．障がい者及び高齢者等から施設利用上の援助を求められた場合には、適切に対処すること。

５．団体での施設利用者の誘導、バス等車両の停車場所への誘導を行うものとする。

第 37 条 拾得物、残置物の処理

施設等運営者が、施設内で遺失物を発見した場合は、速やかに維持管理業務受託者へ届け出ること。

第 38 条 広報・広聴

１．施設等運営者は、収益施設において提供する商品やサービスに対する施設利用者の評価や注文書等意見等の聴取や記録に取り組まなければならない。

２．施設等運営者は、聴取や記録した施設利用者の評価や注文等の意見を季節毎（四半期毎）に集約し、調査職員に報告しなければならない。

３．施設等運営者は、施設の利用促進を目的としたホームページ及び本公園オフィシャルホームページへの掲載、ポスター、チラシ等の広報の展開に関する計画を、調査職員と協議し

た上で策定し、それに基づき広報活動を行う。

4．施設等運営者がホームページによる情報発信を行う際、維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページに設置管理許可書で許可を受けた運営業務の運営日時、基本提供サービス等基本的な運営業務内容については維持管理業務受託者が管理する本公園のホームページに掲載することは可能である。なお、本公園のホームページの運営管理及び更新等に係る費用については、維持管理業務受託者との間で費用按分を行う。

5．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、本公園ホームページ上で発信する情報について、別に定める「個人情報の取扱いについて」及び九州地方整備局が定めるプライバシーポリシーに基づいた適正な内容であることを事前に確認することとする。

6．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、情報（掲載する文書、図画、写真及び音楽等）における著作権等の知的所有権に配慮することとする。

第 39 条 掲載情報の更新・修正・訂正

1．施設のホームページやポスター、チラシ等の広報の掲載情報については、常に新しい情報を掲載し更新に努めることとする。

2．施設等運営者に所属する情報ネットワークのシステム管理者は、個人に関する掲載情報について、本人又は保護者から内容の訂正又は削除の要請を受け、必要と認めた場合には、訂正等の措置をとることとする。

3．施設等運営者は、施設のホームページであるとの誤解を与える内容の他のホームページを発見した場合には、調査職員に報告をした上で、当該ホームページ管理者に対し訂正等必要な措置を求めることとする。

第４章 安全衛生管理

第 40 条 基本事項

１．安全管理

１）施設等運営者は、収益施設における施設利用者の安全確保並びに快適な利用を図る。

２）本業務の履行に当たり、適切な措置・対応を行う等、施設等運営者の責任において常に善良なる管理を行うものとする。なお、九州地方整備局が定める公園利用規則等がある場合は、それに則った対応を図ること。

３）施設等運営者は、消防法等関係法令に準拠するほか、九州地方整備局が別途定める計画・規定等を遵守する。

４）施設等運営者は、各点検項目を業務計画書に記載し、点検を実施すること。

５）異常を確認した場合、速やかに調査職員に報告しその指示に従う。安全管理には十分注意し本業務を履行する。

６）施設等運営者は、修繕の実施に際して、事前に調査職員と協議を行い、必要に応じて施工体制に係る書類を作成し、業務着手までに調査職員に提出するものとする。また、施工体制に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

７）作業中は服装及び言動に注意し、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

２．安全確保

１）本業務の実施に当たっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ、事故を防止しなければならない。

２）施設若しくは許可区域内において、公園利用者及び施設利用者に危険が及ぶ恐れのある傷害が発生した場合は、危険防止に必要な措置を調査職員に書面により報告の上、当該措置を講じ、事故の発生を防止しなければならない。

３）工事車両の運転については、入園者の迷惑とならないよう必要に応じ誘導員を配置すると共に、「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行するものとする。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置すると共に、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

４）施設利用や公園利用者に対する安全確保上必要があると判断される作業実施時に作業エリアをバリケード等で囲い、作業中であることを明示すること等、作業実施中は安全管理を徹底し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分確保するものとする。

５）作業実施中は園内の施設工作物及び樹木等を破損しないように注意するものとする。

３．救急救護

１）施設等運営者は、安全衛生管理計画書及び自主事業計画書の「危機管理マニュアル」において救急時の対応方法を定める。

２）施設等運営者は、開園時間中は救急活動に当たらなければならない。

3）施設等運営者は、救急活動を要する事態を認めたときは、施設利用者の急病や負傷には応急処置を通り、事故や怪我等の状態により、消防車や救急車を要請する等、最も適切と思われる措置をとらなければならない。

4）施設等運営者は、前項の措置をとった場合は、その原因となる事項や処置内容等を正確に記録すると共に、その経過及び結果を速やかに調査職員に口頭、電話、メールのいずれかを用いて報告すること。

5）傷病者の発生に備え、日頃から研修・訓練等を行うこと。

4．災害時、異常時等の対応

1）施設等運営者は、災害防止等のために必要があると認められるときは、施設利用者の安全を確保し、迅速かつ的確に避難誘導を行う等臨機の措置をとらなければならない。この場合において、施設休止等の必要があると認めるときは、施設等運営者はあらかじめ九州地方整備局の承諾を得なければならない。但し、緊急上やむを得ない事情があるときは、この限りではない。

2)前項の場合においては､施設等運営者は､そのとった措置の内容を調査職員に速やかに、口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、必要に応じて九州地方整備局に報告すること。

3）台風、豪雨等の災害発生が予想される場合には、事前に土のう設置、雨水桝の詰まり防止のための落ち葉除去等を実施し、被害の軽減に努めなければならない。

4）台風、豪雨等の災害発生時に調査職員の指示した箇所の巡回、土のう等の設置等を行うものとする。

5）九州地方整備局は、災害防止上特に必要と認めるときは、施設等運営者に対して、臨機の措置をとることを指示することができる。

6）災害時、異常時等の緊急を要する場合は、調査職員の指示により、施設等運営者は、迅速に必要な人員を確保し、適切な措置・対応を行うこと。なお、九州地方整備局が策定した災害発生等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

7）災害時、異常時等の発生後は、園内の臨時巡視・点検を速やかに行い、安全を確認し、調査職員に書面により報告する。異常を確認した場合は、前項に基づき適切な措置・対応を行うこと。

8）施設等運営者は、天変地異等により、運営を一時中止・変更、又は休止したときは、運営再開の前に施設の点検を行い、異常のないことを確認しなければならない。異常を確認した場合は、本規定書第１編総則第６条に基づき適切な措置・対応を行うこと。

9）関係機関の立会検査又は調査がある場合は、施設等運営者は調査職員の指示により立会等に協力する。

第 41 条 点検等

1．安全衛生管理計画

1）施設等運営者は、食品衛生法、消防法、建築基準法等の関係諸法令及び規則に基づき設定した法定点検及び自主点検計画を記載した安全衛生管理計画書を九州地方整備局に提出の上、承諾を受けること。

2）安全衛生管理計画書に記載した、法定点検及び自主点検については、特段の事情がない限り予め設定したスケジュールに沿って実施すること。

3）上記法定点検等の結果については、遅滞なく調査職員に報告すること。

2．定期点検

1）施設等運営者は、施設利用者が快適に利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとする。

2）下記の表に掲げる施設の定期点検項目について、原則として施設等運営者が行うが、別途九州地方整備局が行う点検との役割分担について協議の上実施し、両者が不可分のものについては費用を按分する。

3）法定点検項目以外の定期点検は、施設等運営者が自ら設定するものとする。

■施設の定期点検項目①

中項目	小項目	法定点検	留意事項
外部	屋根	○	・周期は別に定める。
	外壁	○	・周期は別に定める。
	ひさし（車寄せ）・とい	○	・周期は別に定める。
	軒天井・ひさし下端	○	・周期は別に定める。
	外部床	○	・周期は別に定める。
	屋外階段	○	・周期は別に定める。
	バルコニー	○	・周期は別に定める。
	外部建具	○	・周期は別に定める。
	外部用自動ドア	○	・周期は別に定める。
	エキスパンションジョイント金物	○	・周期は別に定める。
内部	内壁・柱・はり	○	・周期は別に定める。
	内部天井	○	・周期は別に定める。
	内部床	○	・周期は別に定める。
	内部階段	○	・周期は別に定める。
	内部建具	○	・周期は別に定める。
	内部用自動ドア	○	・周期は別に定める。
電灯・動力設備	照明器具（蛍光灯）	○	
	分電盤・開閉器箱	○	
	制御盤	○	
	幹線	○	
受変電設備	配電盤等（内部機器を除く。）	○	
	変圧器	○	
	交流遮断機	○	
	断路器	○	
	計器用変成器	○	
	避雷器	○	
	高圧負荷開閉器	○	
	高圧カットアウト	○	
	高圧電磁接触器	○	
	力率改善装置	○	
	指示計器・保護継電器	○	
	低圧開閉器類	○	
	特別高圧ガス絶縁スイッチギヤ（GIS、C－GIS）	○	
	その他の特別高圧関連機器	○	

■施設の定期点検項目②

中項目	小項目	法定点検	留意事項
直流電源設備	共通事項	○	
	整流装置	○	
	蓄電池	○	
通信・情報設備	構内情報通信網設備	○	
	構内交換設備	○	
	拡声設備	○	
	誘導支援設備	○	
	映像・音響設備	○	
	情報表示設備	○	
	テレビ共同受信設備	○	
	テレビ電波障害防除設備	○	
	監視カメラ設備	○	
雷保護設備	雷保護設備	○	
構内配電線路・構内通信線路	構内配電線路・構内通信線路	○	
冷熱源機器	空気熱源ヒートポンプユニット	○	
	遠心冷凍機	○	
	吸収冷凍機	○	
	直だき吸収冷温水器	○	
	小型吸収冷温水機ユニット	○	
	パッケージ形空気調和機	○	
	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	○	

■施設の定期点検項目③

中項目	小項目	法定点検	留意事項
給排水衛生機器	受水タンク・高置タンク（高架タンク）	○	・【大地震時想定】長期点検の実施如何別に定める。
	受水タンク・高置タンク（高架タンク）の清掃	○	・周期は別に定める。
	汚水槽・雑排水槽	○	
	汚水槽・雑排水槽の清掃	○	
	ポンプ	○	・【周期 1M】点検の実施如何は別に定める。 ・周期は別に定める。
	ガス湯沸器	○	・周期は別に定める。
	電気温水器	○	・周期は別に定める。
	循環ろ過装置	○	・周期は別に定める。（水質検査を除く）
	衛生器具	○	・周期は別に定める。
ダクト及び配管	ダクト	○	・周期は別に定める。
	配管	○	・【大地震時想定】長期点検の実施如何は別に定める。
	飲料水（給水設備）	○	
井戸	井戸	○	
消防用設備等		○	・機器点検：6M
建築基準法関係防災設備	非常用照明装置	○	
	防火戸・防火シャッター	○	
	防火ダンパー	○	

中項目	小項目	法定点検	留意事項
	排煙設備	○	

■施設の定期点検項目④

中項目	小項目	法定点検	留意事項
エレベーター	点検共通事項	○	・稼動頻度に応じて、「高稼働」の周期を選択して別に定める。(油圧式、非常用を除く) ・【遠隔監視装置、遠隔点検装置】適用は別に定める。
	ロープ式エレベーター	○	
	油圧式エレベーター	○	
	機械室なしエレベーター	○	
	非常用エレベーター	○	
エスカレーター	エスカレーター	○	
小荷物専用昇降機	小荷物専用昇降機	○	
工作物	設備架台・囲障（ルーバー等）	○	
外構	敷地	○	・周期は別に定める。
	へい		・周期は別に定める。
	門		・周期は別に定める。
	排水枡・マンホール・側溝・街きょ	○	・周期は別に定める。
植栽・緑地	植栽・緑地		
執務環境測定	空気環境測定	○	
ねずみ・昆虫等の防除		○	

■関係法令

法令名	参照条項	条件の有無	条件に関わる参照条項
建築基準法	第十二条	○	第六条、別表第一 【令】 第十四条の二、第十六条
官公庁施設の建設等に関する法律	第十一条、第十二条	○	官公庁施設の建設等に関する法律第12条第1項の規定によりその敷地及び構造に係る劣化の状況の点検を要する建築物を定める政令
消防法	第十四条の三の二	○	【危険物の規制に関する政令】 第七条の三、第八条の五
	第十七条、第十七条の三の二、第十七条の三の三	× （公共建築）	【令】 第六条、第七条、第三十五条、第三十六条、別表第一
人事院規則 10-4	第十五条、第三十二条、第三十四条	×	別表第七、別表第八
事務所衛生基準規則	第九条、第十条	×	

建築物における衛生的環境の確保に関する法律	第四条	○	第二条 【令】 第一条
高圧ガス保安法	第三十五条、第三十五条の二	○	【一般高圧ガス保安規則】 第七十九条、第八十三条 【冷凍保安規則】 第四十条、第四十四条
水道法	第三十四条の二	○	第三条 【令】 第二条
電気事業法	第三十九条、第四十二条	○	第三十八条 【令】 第五十条
ガス事業法	第四十条の二	×	第二条 【則】 第百七条
浄化槽法	第七条、第八条、第九条、第十条、第十一条	×	第二条
ボイラー及び圧力容器安全規則	第三十二条、第六十七条	○	第一条 【労働安全衛生法施行令】 第一条

※［条件の有無］○：義務付けする施設、設備等について、規模等の条件が付されているもの

3．自主点検

1）自主点検は、下記の表に掲げる項目のうち該当するものについて、施設等運営者が建築保全業務共通仕様書に準じて行う。

■施設の自主点検項目

大項目	中項目	小項目
建築	建築	建築
電気設備	電灯・動力設備	電灯・動力設備
	受変電設備	受変電設備
	直流電源設備	直流電源設備
機械設備	冷熱源機器	運転・監視記録
		冷熱源機器
	給排水衛生機器	給排水衛生機器
		循環ろ過装置
搬送設備	昇降機	昇降機

4．日常点検

1）施設等運営者は始業点検、終業点検、巡回パトロール等を実施し、適切な管理を行うこと。

2）建築物等について、目視等の簡易な方法により建築物の劣化及び不具合の状況を把握し、保守の措置を適切に講ずることにより所定の機能を維持するための軽微な修繕を行い、事故・故障等の未然の防止に資するよう管理すること。

3）施設等運営者は、施設、設備等が損傷、破損又は滅失したとき及びそれを発見したときは、直ちに九州地方整備局に報告するものとする。

5．スタッフ管理・研修

1）日常管理業務に加え、施設利用者の案内や苦情・要望、事故・災害時非常時における緊急対応が適切に行われるよう、一元的な管理体制を構築しなければならない。

2）運営体制人員は、円滑な管理運営を行うため、施設利用者数の動向に基づき弾力的に配置するものとする。

3）施設等運営者は、九州地方整備局が実施又は要請するスタッフ管理・研修、公園全体での調整連携等への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行うこと。

第 42 条 危機管理

1．事故・災害

1）緊急時連絡体制構築

施設等運営者は、緊急連絡体制表を作成し、九州地方整備局に提出すること。また、施設内に掲示をすること。

2）予防対策

① 施設等運営者は、各点検項目を業務計画書に記載し、点検を実施すること。

② 本業務を行う場所若しくは、その周辺に第三者が存する場合又は立ち入る恐れがある場合には、危険防止に必要な措置を九州地方整備局に報告の上、当該措置を講じ事故の発生を防止する。

3）初期対応

① 施設等運営者は、九州地方整備局の指示に従い、公園利用者及び施設利用者に対する案内及び緊急の対応等のサービスに努めること。

② 万一、設備、機器等に事故その他、異常が発生したときは、必要に応じてその部分の運転を一時停止又は運転制限をする等の措置をした上で、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告する。なお、必要に応じ臨時に精密検査を行い、その原因を究明し、機能復旧に努めると共に、再発防止のための必要な措置をとること。

③ その他事故等が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取り、施設等運営者が作成した緊急連絡体制に基づき関係機関へ連絡し、次の各号に掲げる事項について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告する。なお、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

一事故発生日時。

二事故発生場所。

三事故発生の原因。

四事故の程度。

五人身事故の場合は、必要に応じて医師の診断結果又は被害者本人又はその家族等から得られた情報。

六被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

七事故処理の概略。

八再発防止等改善策等。

２．異常事態対策

１）施設等運営者は、九州地方整備局が実施又は要請する異常事態対策への参加・協力・実施を、積極的かつ主体的に行う。

２）施設等運営者は、異常な事案が発生した場合、その内容・初期対応状況等を、速やかに九州地方整備局へ報告すると共に、関係機関に連絡する。

第５章 施設管理

第 43 条 基本事項

１．施設等運営者は、消耗品交換・修繕の実施に際して、許可を受けた施設内及びその周辺の環境を良好に維持することを心掛けなければならない。

２．施設等運営者は、収益施設内及び許可範囲内を常に良好な状態で維持し、公園内で実施されている他業務と相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い、実施することとする。

３．設備及び管理備品は施設等運営者の注意義務で管理すること。

第 44 条 清掃等

１．施設等運営者は、許可を受けた範囲内並びにその周辺の環境について、常に清潔かつ快適な環境を保持するために、計画的な清掃管理を実施するものとする。

２．施設等運営者が、清掃を実施する際には、施設利用者並びに公園利用者の安全確保に十分注意するものとする。

３．施設等運営者は、自らが実施する清掃と維持管理業務受託者が実施する清掃について、その清掃範囲及び夾雑物が混合しないように注意するものとする。

第 45 条 工事等

１．施設等運営者は、施設等運営者が自ら実施する修繕工事の実施に際して、事前に調査職員と協議を行ない、施工計画に係る書類を作成し、業務着手までに調査職員に提出するものとする。また施工計画に変更が生じた場合の対応についても同様とする。

２.施設等運営者が、消耗品の交換や施設等運営者が自ら実施する修繕工事を実施する際には、施設利用者並びに公園利用者の安全確保に十分注意すると共に、施設等運営者の責任において常に公園の観察を行ない、善良なる管理を行うものとする。

３．施設等運営者は、自らが実施する修繕工事について、その施工範囲及び構造物が、許可を受けた範囲及び許可を受けた構造物であることに注意するものとする。

第46条 安全管理

１．施設運営者は、収益施設に係る清掃や修繕工事を実施するに当たり、施設利用者の安全確保に十分注意をすると共に、施設運営者の責任において常に施設周辺の観察を行ない、善良なる管理を行なうものとする。

２．施設運営者は、収益施設に係る清掃や修繕工事に関連する工事車両の運転については、入園者の迷惑とならないよう必要に応じ誘導員を配置すると共に、「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」に基づき発行する車両通行許可証を前面に提示し、「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行するものとする。車両の運転については、公園利用者及び施設利用者の安全確保を第一として必要に応じ誘導員を配置すると共に、公園利用者及び施設利用者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

３．車両は「国営海の中道海浜公園園内業務入園における車両通行規則」及び「公園内車両通行及び作業心得」を遵守して走行するものとする。また、作業にかかる車両の持込みは最

小にとどめ、入園者の迷惑とならない場所へ速やかに移動するものとする。

4．施設運営者は、公園利用者や施設利用者に対する安全確保上必要があると判断される作業実施時に、作業エリアをバリケード等で囲い作業中であることを明示すること等の安全管理を徹底するものとする。

5．作業中は、園内の施設工作物並びに樹木等を破損しないように十分注意するものとする。

6．作業従事者は、服装並びに言動に注意し、公園利用者並びに施設利用者に不快感を与えないよう留意するものとする。

第６章 財産管理

第 47 条 台帳管理

１．施設等運営者が施行した固定資産（償却資産）については、「固定資産税における家屋と償却資産の分離申出書」を所轄の税務事務所に提出するものとする。

２．運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（消耗品の購入、貸与した備品類の修理等）は、施設等運営者の負担とする。

第 48 条 備品の取り扱い

１．管理備品の取扱い

許可を受けた収益施設の運営に必要な備品は、施設等運営者が全て準備するものとする。

但し、業務開始時に九州地方整備局が費用を負担した備品の引き継ぎを受けた場合は、施設等運営者は、本業務完了の際、残存する備品として当該備品を九州地方整備局に引き渡す。但し、翌年度以降において当該契約が引き続き締結され、当該業務に継続して使用されるものはこの限りではない。

残存する備品とは、本業務において管理上必要となった機械器具、その他の物品の内、原状のまま比較的長期の使用に耐え、取得価格（消費税込み）が５万円以上のものをいう。なお、その取扱いについては、九州地方整備局が定める規定等による。

２．特定施設・備品の取扱い

施設等運営者は、施設の管理・運営に必要な機器・設備等を持ち込むことができる。但し、「本章 第 22 条 業務の完了・引継、原状回復等」に記載がある通り、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって下記事項について事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定施設・備品を撤去し速やかに管理物件を速やかに原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。但し、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局の書面による承諾を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、「本章 第 23 条 立退料等の不請求」にある通り、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買取等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任の下で機器・設備等を持ち込むこととする。

＜特定施設・備品に関する方針＞

１）自転車に関する方針

①　自転車引継に関する方針

現施設等運営者より、現在使用している自転車を全台有償で引継ぐものとする。また、次期施設等運営者に対しても同様に、自転車全台を有償で引継ぐものとする。

②　自転車購入に関する方針

施設等管理運営者は、耐用年数や使用状況を考慮して計画的に自転車の更新を行うものとする。但し、更新する自転車は自転車の品質を保証する公的機関の認定を受けたもの（JIS マーク、SG マーク、BAA マーク等が表示されたもの）でなければならない。

また、自転車安全整備店における点検・整備後に貼られる TS マークの認定から外れた自転車又は故障や事故で安全性の確保が保てない自転車については随時更新をするものとする。

なお、特殊自転車（二人乗り自転車等）については、公的機関認定の対象外及び TS マーク認定の整備対象外であることから、九州地方整備局の承諾を得た上で購入をするものとする。

JIS マーク：＜JIS＞＝＜日本工業規格＞。一定の品質についてJISで規定し、製品等が当該JISの各要件に適合していることを証明するために、製品等に表示するマーク。

SG マーク：財団法人製品安全協会主催の制度。対象の製品毎に安全性品質に関する認定基準を定め、基準に適合した製品にのみに表示されるマーク。

BAA マーク：社団法人自転車協会の制定する制度。自転車安全基準に適合した自転車に貼付されるマーク。ブレーキテスト、制動性能テスト等を行い、製造時業者又は輸入事業者の名前、ブランド名、車体番号等も表示される。

TS マーク：公益財団法人日本交通管理技術協会が発行するマーク。年１回自転車安全整備士が点検・整備をすることで自転車の安全性が認定されるもの。１年間の付帯保険付。

③　自転車の安全管理に関する方針

貸出自転車は、毎年自転車安全整備士による点検・整備を行い、TS マーク認定を受けなければならない。

④　自転車管理台帳に関する方針

施設等運営者は、一台ごとの購入日、修繕履歴等を記載した自転車管理台帳を作成し管理を行うこととする。なお、自転車管理台帳は次期施設等運営者に引継ぐものとする。

２）その他の特定備品に関する方針

①　特定備品の引継ぎに関する方針

現施設等運営者が現在使用している特定備品の残置については、施設等運営者、九州地方整備局及び現施設等運営者による協議により決定することができる。なお、残置する特定備品についての有償・無償等協議については、現施設等運営者及び施設等運営者の協議において決定すること。また、次期施設等運営者に対しても同様の取り扱いとする。

②　特定備品台帳に関する方針

施設運営者は、施設毎に特定備品台帳を作成すること。作成に当たっては、備品毎に購入代金・購入日・修繕履歴等を記載すること。なお、引き継ぐ特定備品台帳は次期施設等運営者に引き継ぐものとする。

３．機器・設備等を持ち込む費用、電気工事等の措置等に必要な経費及び持ち込んだ設備・機器等から生じる経費（電気代、コピー代、電話代等）、原状回復に必要な経費は、施設等運営者の負担とする。

第 49 条 本業務の引継

１．施設等運営者は、業務の履行が満了するとき（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合は、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に事務引き継ぎを

行い、施設の管理運営に支障が生じないようにする。この際、速やかに施設を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。但し、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局へ書面により承諾を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

2．不可抗力その他、九州地方整備局や施設等運営者の責めに帰することが出来ない事由により管理の継続が困難となった場合は、九州地方整備局と施設等運営者は管理の継続の可否について協議すること。

3．施設等運営者は、本業務の履行期限（継続して、契約した場合は除く）又は、契約が解除されるまでは、施設の管理運営が円滑に実施されるよう業務実施体制（第 28 条記載）を維持すること。

4．履行期限後において補償すべき事態が発覚し、その原因が履行期間内の瑕疵等が明らかな場合は、その費用は施設等運営者が負担する。

第２編 国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営個別規定書　収益事業編

第１章 駐車場

第１条 総則

施設等運営者は、駐車場の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第２条 施設の利用目的

駐車場は、公園利用者の国営海の中道海浜公園への来園手段である車両等を、公園利用時間内に限り保管する場所を提供することを施設の目的とする。

第３条 運営対象施設

運営対象施設は次の通りとする。なお、許可範囲に関しては別途提示する。

■運営対象施設一覧（常設駐車場）

施設名称	大　型	普　通	原付・自動二輪	必須／裁量
西駐車場Ａ	－	689 台	30 台	必須
西駐車場Ｂ	－	422 台	－	必須
西駐車場Ｃ	－	490 台 (12 台)	－	必須
西駐車場大型	31台			必須
海の中道駅口駐車場	－	496 台 (6 台)	－	必須
ワンダーワールド口駐車場	5 台	576 台 (6 台)	－	必須

※( )内は身障者用駐車台数

第４条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえで駐車場の管理運営にあたらせるものとする。

第５条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として本公園の開園日を営業日とする。

２．施設等運営者は、原則として開園時間に合わせた営業時間とし、発券時間は周辺道路の渋滞や施設の利用状況により臨機に対応し、施設利用者へのサービスの提供を安定的に行うこと。

３．繁忙日等の対応及びイベント等開催のため、公園の公開日時を変更した場合には、調査職員又は維持管理業務受託者より変更内容を通知するので施設利用者へのサービス等適切に対応すること。

４．マリンワールド海の中道における夜間イベント（夜の水族館等）実施時に、必要に応じて

ワンダーワールド口又は海の中道駅口駐車場の営業時間をマリンワールド駐車場の営業時間に合わせて延長し、施設利用者への利便提供を図ること。

第６条 利用料金

利用料金は、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支バランスを鑑みながら、市場価格を踏まえて定める。なお、利用状況等を踏まえて、曜日や季節等によって異なる料金を設定することも可能とする。

■参考：利用料金の一覧（現行利用料金）

車種	利用料金		備考
	一般	パスポート提示	
大型（１日）	1,580 円	―	車体総重量 ８ｔ以上、最大積載量 ５ｔ以上、又は乗車定員が 30 名以上の車両。
普通（１日）	530 円	430 円	上記以外の自動車。
二輪（1 日）	270 円	220 円	自動二輪車及び原付自転車。
身障者等	無料	無料	運転手又は同乗者が身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示した場合、駐車料金が免除。同乗者が 11 名以上の場合、2 名の方の手帳の提示が必要。

第７条 業務の内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）駐車場の運営（料金収受及び領収含む。）に関すること。

２）駐車場の維持管理に関すること。

３）駐車場の安全管理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第８条 施設の運営

1．駐車場の運営

１）施設等運営者は、西駐車場ＡＢＣ、海の中道駅口駐車場及びワンダーワールド口駐車場において、入庫時に発券機により駐車券を発券し、出庫時に精算機において駐車場利用料金を徴収する。また、事前精算機を西サイクリングセンター口・西口・ワンダーワールド口に配置し、駐車料金の事前精算を行い、精算済み駐車券を発行する。

２）原則として、施設利用者が全て退出することを確認し閉場することとするが、著しく退出が遅延し、施設利用者を確認することが出来ない場合は、残車両を確認し、記録すること。なお、残車両所有の施設利用者から、退出の申し出があった場合は、適切に対処すること。

３）駐車場の混雑具合に応じて誘導員を配置する等、適切な運営を行うこと。

４）運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて協議することとする。

２．繁忙期の対応

１）駐車場が満車になることが予測される場合は、あらかじめその対策をたて、必要に応じ

自主事業として本公園内に臨時駐車場を確保すると共に、警備、案内・誘導員を増員する等、事前に必要な措置を講じるものとする。

2）施設等運営者は、繁忙期の混雑状況に応じて、誘導員数、配置を工夫する等円滑な誘導に努める。

3）繁忙期においては、周辺道路の渋滞等が予想されるので、各駐車場への誘導・引き込み方法等について、あらかじめその対策をたて、調査職員に報告すること。また、施設利用者に対してホームページ等により各駐車場のリアルタイムな入庫状況等の情報を提供する等施設利用者に安定的なサービスを行うこと。

2．利用制限等

1）次の各号に該当する場合は、駐車場の利用を拒否することができるものとする。

①駐車場利用者が遵守事項を守らない場合又は業務従事者の指示に従わない場合。

②危険物を積載している車両､その他駐車場の管理上支障のある車両が駐車しようとしている場合。

第９条 施設・設備等の維持管理

1．施設等運営者は、西駐車場ＡＢＣ、海の中道駅口駐車場、ワンダーワールド口駐車場においては、以下の施設・設備等の維持管理等を行う。

1）施設等運営者は、西駐車場ＡＢＣ、海の中道駅口駐車場及びワンダーワールド口駐車場においては、施設が有する機能を最大限に活用すると共に、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

2）施設等運営者は、駐車場施設・設備の機能を保持し、日常の円滑な運用に支障が生じないよう、消防法等の関係法令を遵守し、日常的な保守・点検や必要な備品等の管理、調達を行うことで適切な維持管理を行うこと。

2．施設等運営者は､駐車場管理機器等においては､以下の施設･設備等の維持管理等を行う。

1）駐車場管理機器については、施設等運営者は、日常的な保守・点検を行うことで適切な維持管理を行うこと。

2）営業開始前に、駐車場管理機器の電源を入れ、機器に故障・損傷等がないか、正常に作動するかを確認すると共に、営業中は、駐車場管理機器の運転の作動状況を確認・監視し、業務終了時には、駐車場機器の電源を確実に切る。

3）機器の故障について連絡や表示がある場合は、機器に付属するマニュアル等に従い、適切に処理し、完全な状態に回復する。

4）駐車場機器について万一故障が発生し、直ちに回復する見込のないときは、回復までの間、車両の入出場は手動で行う。入出場車両に支障をきたさないようにする。

5）その他の駐車場の施設・設備についても、施設等運営者は、施設が有する機能を最大限に活用すると共に、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面及び景観に留意して適切な管理を行うこと。

6）施設等運営者は，その他の駐車場施設・設備の機能を保持し、日常の円滑な運用に支障が生じないよう、消防法等の関係法令を遵守し、日常的な保守・点検や必要な備品等の

管理、調達を行うことで適切な維持管理を行うこと。

3．駐車場内にある植栽地の植物管理を行うこと。なお、実施に当たっては、別紙 10「個別仕様書（植物)」に準じて実施すること。

第 10 条 安全管理

1．駐車場運営における安全管理は、本規定書第１編第９条によるほか以下の事項に留意すること。

1）施設等運営者は、施設利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

2）補修、その他管理上やむを得ない理由があるときは、駐車場の全部又は一部を休止することができるものとする。

3）管理上必要があると認められるときは、駐車場の出入口の全部又は一部を閉鎖することができるものとする。

4）駐車場内において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取ることとする。

5）やむを得ず、駐車場の全部又は一部を休止・閉鎖・変更する際は公園利用者及び施設利用者に的確に告知すると共に調査職員に報告するものとする。

6）緊急車両等の入出場については適宜協力をすること。

7）施設等運営者は、施設利用者の安全確保、施設状況の把握、及び施設利用案内等を行うため、定期的に巡視を実施するものとする。また、事件、事故又は災害等緊急時対応、不審物の有無確認や拾得物への対処、清掃状況の点検等も併せて行うものとする。

第 11 条 緊急時の対応

災害や事件、事故等が発生した際には、本規定書第１編第４章「安全衛生管理」を参照し対応することとする。

第 12 条 費用負担

1．駐車場運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等)、運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2.駐車場の満車表示等施設利用者の利便に資する移動式看板(既設の看板の更新も含む)他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。
但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこととなること、さらには、原状回復する際に残存価値が残される場合であっても、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買い取り等を請求することを禁じていることを踏まえ、施設等運営者の一切の責任の下で機器・設備等を持ち込むこととする。

3．駐車場精算機等の引継については、現施設等運営者より、現在使用している駐車場精算機等を有償で引継ぐものとする。また、次期施設等運営者に対しても同様に、有償で引継

ぐものとする。

4．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、管理備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。
5．九州地方整備局の職員や業務等で入園する業務入園者からは、駐車料を徴収することはできない。

第 13 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。
1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することの出来ない事由によって生じた車両及び施設利用者の損害。
2）車両に残された貴重品、その他物品及び取付物に関する損害。
2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者は車両の滅失又は損傷について、当該車両の時価、損害の程度を考慮してその損害を賠償すること。
3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。但し、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 14 条 施設利用上の注意

1．施設利用者に対し、以下の各号について看板等において注意を促すと共に、利用者に適切な利用指導を行うものとする。
1）場内での車両通行速度は、時速 20km/h を超えないこと。
2）場内での追い越しをしないこと。
3）喫煙又は火気の取り扱いをしないこと。
4）標識又は係員の指示に従うこと。
5）車両を離れるときは、エンジンを停止し、ドア及びトランクには施錠し、盗難に備えること。
6）公害防止の為、エンジンを空ぶかししないこと。
7）施設、他の車両及びその取付物等への損害、又はその他の事故を目撃した時は施設等運営者へ速やかに連絡すること。
8）施設利用者及びその関係者（同乗者含む。）が故意又は過失により駐車場の施設並びに他の車両に損害を与えたときは、当事者がその損害賠償を行うこと。
9）「車いす使用者用駐車スペース」は該当車両がいつでも利用できるよう、一般施設利用者は利用を控えること。
10） その他、施設等運営者の業務又は他の施設利用者の妨げになるような行為はしないこと。
11）九州地方整備局より指示された禁止行為等。

第２章 レンタサイクル施設

第 15 条 総則

施設等運営者は、レンタサイクル施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第 16 条 施設の目的

レンタサイクル施設は、国営海の中道海浜公園において施設利用者への自転車の貸出を行うことを施設の目的とする。また、自動二輪車等を持ち込む等施設利用者及び公園利用者に対する安全確保に反する行為をしてはならない。

第 17 条 運営対象施設

運営対象施設は次の通りとする。

■運営対象施設一覧

施設名称	現行運営台数(参考)	備考	必須／裁量
西サイクリングセンター	999 台	車種別内訳は別添 39 参照	必須
ワンダーワールドロサイクリングセンター	280 台	車種別内訳は別添 39 参照	
駅口サイクリングセンター	217台	車種別内訳は別添 39 参照	
港サイクリングセンター	※保管及び自転車整備場として活用		裁量
計	1,499台		

第 18 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえでレンタサイクル施設の管理運営にあたらせるものとする。

第 19 条 運営日時

1．施設等運営者は、原則として本公園の開園日を営業日とする。

2．施設等運営者は、原則として開園時間に合わせた営業時間とし、発券時間は原則、本公園の開園時間から閉園時間の１時間前までとする。なお、発券終了時間については、施設利用の状況等から臨機に対応し、施設利用者へのサービスの提供を安定的に行うこと。

3．繁忙日等対応及びイベント等開催のため、公園の開園日時を変更した場合には、調査職員等より変更内容を通知するので施設利用者へのサービス等適切に対応すること。

第 20 条 利用料金

1．施設利用者へ提供する自転車貸出の利用料金は、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支バランスを鑑みながら、市場価格を踏まえて定める。なお、利用状況等を踏まえて、曜日や季節等によって異なる料金を設定することも可能とす

る。

■現行利用料金一覧

種類	車種	利用料金（超過料金）
貸自転車	大人（15 歳以上）	3 時間…500 円（30 分ごとに 100 円） 1 日券…700 円
	小人（小・中学生）	3 時間…300 円（30 分ごとに 50 円） 1 日券…400 円
	電動自転車	1 日…2,000 円（うち保証金 1,000 円） ※保証金は、返却後に返金する。

※身体障がい者手帳及び療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳を提示された方は、本人及び介護の方 1 名について半額。
※超過料金については、季節により増減している。

第 21 条 業務内容

1．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。
1）自転車の貸出（料金収受及び領収発行含む。）に関すること。
2）レンタサイクル施設の維持管理に関すること。
3）自転車の利用に伴う苦情処理に関すること。
4）前各号に掲げる業務に付随するもの。
2．日常の管理上で必要があると認められたときは、自転車の貸出の全部又は一部を中止することができるものとする。
3．自転車の貸出を中止することが、施設利用者へ影響が与えると考えられる場合は、九州地方整備局と協議を行う。

第 22 条 施設の運営

1．サイクリングセンターの運営
1）施設等運営者は、各サイクリングセンターに必要人員を配置し、自転車貸出に伴う利用料金の徴収及び領収書の発行、自転車の貸出、自転車の整備等を行う。
2）施設等運営者は、自転車の貸出開始前にサイクリングコースに異常がないか確認を行うこととする。
3）施設等運営者は、自転車について第 24 条に基づく点検を行い、異常のないことを確認した上で貸し出すものとする。
4）施設等運営者は、閉園後全ての自転車が返却されているか台数確認を行い、不足している場合はサイクリングコース等の探索を行い、未返却車両がないか確認をするものとする。
5）施設等運営者は、待ち時間が長時間になることが予測される場合は、あらかじめその対

策をたて、待機場所を設置する等、事前に必要な措置を講じるものとする。

6）施設等運営者は、自転車及びサイクリングコース利用に当たっての注意事項やサイクリングコース図を施設利用者に配布する等安全かつ良好な施設利用がなされるよう努めなければならない。

7）運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて調査職員と協議すること。

第 23 条 施設・設備等の維持管理

1．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持するため、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

1）施設及び施設周辺の清掃及び塵芥処理。

2）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

3）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 24 条 安全管理

1．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に自転車を利用されるよう心掛け、常に自転車を正常な状態で維持するため、日常点検、定期点検、一斉点検を行う。

2．日常点検、定期点検、一斉点検については、下記頻度等により実施する。

1）日常点検：自転車貸出時、及び返却時に毎回、車両の点検を行い、良好な環境維持に努めること。

2）定期点検：概ね四半期ごとに１回、繁忙期前後で全保有車両を順次点検し、安全な環境整備に努めること。

3）一斉点検：年１回、自転車安全整備士の資格者によりＴＳマークの点検を、全保有車両を対象に行い、有効期限が切れないよう注意すること。なお、特殊自転車（二人乗り自転車等）については、公的機関認定の対象外、及びＴＳマーク認定の整備対象外であることから、自転車安全整備士がＴＳマーク認定自転車と同等の点検を行い、利用者の安全を確保すること。

3．施設等運営者は、日常点検として、自転車を貸出時及び自転車返却時に次の各号をはじめ安全に関する項目について、点検を行うこととする。

1）貸出時

①目視による車両の汚れの点検。

②目視・触検によるタイヤの空気圧、ブレーキの動作確認、ハンドルの歪み等の点検。

③自転車の注意事項や操作方法等の説明を行う。特に、超過料金、ヘルメット着用及びスピード出しすぎ注意の安全走行についての案内は確実に伝えること。

④サドルの高さ調整を行うこと。

⑤施設利用者に不都合がないかを確認後、貸出を行うこと。

2）返却時

①施設利用者から走行中に不都合がなかったかを確認すること。

②施設利用者から指摘があった場合は、その部分及び関連部分を点検すること。

③「自転車業務日報」を定め、点検結果を転記すること。

４．施設等運営者は、定期点検として、全保有車両を順次、次の各号に示す点検項目に従い点検を行うこととする。なお、点検の実施は、平日及び閑散期とする。

１）フレーム・前ホーク　：目視・打検による点検。
２）ハンドル　：目視・触検・作動による点検。
３）タイヤ・スポーク　：目視・触検による点検。
４）ギヤクランク　：目視・触検による点検。
５）ペダル　：目視・触検・作動による点検。
６）ブレーキ　：目視・触検・作動による点検。
７）チェーン　：目視・触検・作動による点検。
８）サドル　：目視・触検・作動による点検。
９）スタンド　：目視・触検・作動による点検。
10）鍵　：目視・触検・作動による点検。
11）子供乗せ用かご　：目視・触検・作動による点検。
12）ボルト　：目視・触検による点検。
13）変速機　：作動による点検。
14）その他　：その他、異常箇所があった場合に、異常箇所を追加点検。

５．点検後は以下の各号に示す処理を行う。

１）点検時に異常があった場合、自転車修理カードを添付し貸出禁止とする。また、異常のある車両は他の車両と分けて１箇所にまとめておく。
２）異常箇所等の修繕については、軽微なものは担当者が行い、専門技術を要するものは自転車安全整備士の資格者が行うこと。
３）修理終了後、確認を行った後、貸出禁止を解除すること。

６．点検の結果は、「自転車業務日報」を定めた上で、転記する。

７．その他、繁忙期においても、前項までに示す点検等項目を確実に行うものとし、日常点検を担当する者の技術力向上のため、自転車安全整備士による点検講習を受講する。

８．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 25 条 緊急時の対応

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる事項が発生した場合は、貸出の一時中止・変更又は休止等について、調査職員と協議を行うものとする。協議の結果、貸出を一時中止・変更又は休止するときは、駐車場ゲート、公園ゲート及びサイクリングセンター前に営業休止の掲示を行う等公園利用者及び施設利用者に適切に告知するものとする。

１）地震、台風、大雨、大雪等悪天候又は自然災害のため、走行に危険が予想されるとき。
２）事故等の不測の事態が生じたとき。
３）緊急事態が発生し、又はその発生が予想されるとき。
４)公園の管理運営上、サイクリングコースの一部又は全部の利用中止の必要が生じたとき。
５）九州地方整備局より指示があったとき。

２．施設等運営者は、前項の規定により自転車貸出を中止したときは、再開の前にサイクリン

グコースに異常のないことを確認しなければならない。

3．サイクリングコース等において事故が発生し又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日書面により調査職員に報告するものとする。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

8）再発防止等改善策等。

第 26 条 費用負担

1．貸出に供する自転車の購入費用。

貸出に供する自転車の購入についてはすべて施設等運営者の費用によるものとする。

なお、新規・更新購入に当たっては、普通自転車、子ども同乗機能付き自転車、子供用自転車、補助付き自転車、タンデム（２人乗り）自転車各々の利用状況等から適切な車種及び台数を確保すること（現在の車種毎保有台数は、別添39参照）。

また、貸出に供する自転車は、自転車の品質を保証する公的機関の認定を受けたものでなければならない。また、購入後にＴＳマーク（財団法人日本交通管理技術協会）の取得をした自転車は、ＴＳマーク取得基準に適合しなくなった時点で新車に更新を行うものとする。

2．レンタサイクル施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、券売機を始めとする運営に関する備品等（建物除く）の費用、許可区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

3．その他、ヘルメット、修理に必要な備品類（タイヤチューブ等）、空気入れ等本業務を実施するのに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で必要な数を準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復すること。

4．前項までに記載の設備・備品に関する修理や劣化等による交換費用についても、施設等運営者の負担とする。

5．施設利用者の不適切な使用により、レンタル自転車を破損（パンクを含む）又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

6．施設等運営者は、業務終了時には本規定書第１編第６章「財産管理第 48 条」に記載の通り、保有する自転車を次期施設等運営者に引き継ぐものとする。

第 27 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することの出来ない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失あるいは貸出自転車の整備不良等に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。但し、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 28 条 施設利用上の注意

施設運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導等を行うこと。

1．自転車を使用しようとするときは、あらかじめ試乗し、ハンドル・ブレーキ・その他の装置が確実に操作でき整備が良好であることを確認すること。

2．乗車中又は使用中に自転車の装置について不良箇所が発生したときは、直ちに乗車を停止すること。

3．安全運転をすること。

4．備え付けのヘルメットを着用するよう促すこと。

5．乗車又は使用中に故意又は過失の有無にかかわらずその発生した傷害物件損害その他の事故による補償の請求を九州地方整備局に対して行わないこと。

6．無謀運転（競い合う行為）、酒気帯び運転、その他施設利用者及び公園利用者等に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

7．危険箇所、不適当な場所、サイクリングコース以外の場所での使用をしないこと。

8．公園利用者等の通行障害となるような行為をしないこと。

9．自転車の構造・装置等の改造及び変更をしないこと。

10．サイクルポケット（駐輪場）以外に駐輪しないこと。

第3章 飲食・物販施設

第29条 総則

施設等運営者は、飲食・物販施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めるものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局及び調査職員と協議するものとする。

第30条 施設の利用目的

飲食・物販施設は、国営海の中道海浜公園において飲食及び物販サービスを提供することを、施設の利用目的とする。

第31条 運営対象施設

運営対象施設は次の通りとする。なお、施設等運営者は利用の状況や施設利用者及び公園利用者の声等から当該施設以外で常設の飲食・物販施設を追加実施できるものとし、その際は事前に九州地方整備局に書面をもって許可を受けるものとする。なお、許可された場合には追加施設分の使用料（日割り計算）を支払うことと。

■運営対象施設一覧

＜飲食・物販施設＞

施設名称	営業場所	必須／裁量
マリンワールド駐車場横売店	文化施設群エリア	裁量
アニマルミュージアムショップ （動物の森レストハウス内）	動物の森	裁量
海の中道駅口売店※	海の中道駅	裁量

※新規海の中道駅口管理棟が完成後、追加実施できるものとする。

第32条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者、防火管理者、食品衛生責任者等、管理運営上法的に必要な資格を保持する者を選任した上で、飲食施設及び物販施設の管理運営にあたらせるものとする。

第33条 運営日時

施設等運営者は､公園の開園日時内で事業者が運営日時を九州地方整備局と協議して設定し営業を行う。

第34条 利用料金

施設利用者へ提供する商品の内容及び販売価格等は九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。

なお、販売品目等は施設利用者のニーズを把握し、その見直しを図る等、満足度の向上に努めること。

第 35 条 繁忙期の対応

施設等運営者は繁忙期の管理運営に当たって、各飲食・物販施設のスタッフを適切に配置し安定的なサービスの提供に努めると共に、飲食施設の供給機能を補完し施設利用者へのサービス提供を強化するため、本規定書第３編第４章（18 条２項及び４項の９を除く）に基づき自主事業として臨時飲食施設を設置することができる。

第 36 条 業務の内容

１．施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）飲食・物販施設の運営（販売・料金徴収等含む）に関すること。

２）飲食・物販施設の維持管理に関すること。

３）飲食・物販施設利用に伴う苦情処理に関すること。

４）前各号に掲げる業務に付随するもの。

第 37 条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

1.施設に係る清掃及び塵芥処理。

2.施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

3.その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 38 条 安全衛生管理

１．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

２．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書（本規定書第１編第 28 条）を作成し、調査職員の承諾を受けるものとする。また、安全衛生管理計画書作成に当たっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うと共に事故防止に努めるものとする。

１）運営にあたる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施すること。調理した料理品等を販売・提供する事業を行うスタッフは、健康診断検査の結果、安全衛生上問題となる異常がある場合は､完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めないこと。また、下痢を起こしている等体調不良者は出勤させてはならない。

２）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、不備なものは随時取り替えること。

３）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

３．上記法定点検等の結果については、遅滞なく調査職員に報告すること。

４．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施する。

１）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うと共に、清

掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。

2）毎日の始業時に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。

3）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。

4）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。

5）毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭等を確認すること。

6）毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。

7）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、九州地方整備局、維持管理業務事業者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。

8）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。

9）運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認されない限り、就業を認めないこととする等、二次感染の防止に努めること。

5．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日書面により調査職員に報告するものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、必要に応じて医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

8）再発防止等改善策等。

6．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行う。

7．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 39 条 費用負担

1．飲食・物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、

消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 40 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することの出来ない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。但し、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 41 条 施設利用上の注意

施設運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導等を行うこと。

1．危険物を持込み、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者。

2．公園で定める制限事項に違反する者。

3．ペット等の動物。但し、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬については除く。

4．その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

第４章 サンシャインプール

第 42 条 総則

施設等運営者は、サンシャインプールの管理運営に際して、関係法令等を遵守し、施設利用者への快適なサービスの提供及び安全確保に努めると共に、公共性に配慮し、都市公園の効用に資するよう適切に管理運営を行うものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局と協議するものとする。

第 43 条 施設の目的

サンシャインプールは、国営海の中道海浜公園において施設利用者への遊泳を目的としたプール施設の提供を行うことを施設の目的とする。

第 44 条 運営対象施設

運営対象施設は次の通りとする。

■運営対象施設一覧

〈プール〉

施設名称	営業場所	必須／裁量
サンシャインプール （管理棟、ロッカー棟、便所、機械棟、植栽地等の付帯施設含む）	パークエリア	必須

＜プール内売店＞

施設名称	営業場所	必須／裁量
プール内売店Ａ	サンシャインプール内	裁量
プール内売店Ｂ	サンシャインプール内	裁量
プール内売店Ｃ	サンシャインプール内	裁量

第 45 条 責任者の選任

施設等運営者は、施設担当責任者を選任したうえでサンシャインプールの管理運営にあたらせるものとする。

第 46 条 運営日時

１．施設等運営者は、原則として７月第２土曜日・日曜日、７月第３土曜日から８月末まで、９月の土曜日・日曜日・祝日（９月最終土曜日・日曜日は除く）の公園開園日を運営期間とする。なお、運営期間を短縮又は延長する場合は、施設等運営者は、事前に九州地方整備局と協議する。

２．施設等運営者は、原則として以下の時間を営業時間とする。

■営業時間

1）７月第２土曜日・日曜日、７月第３土曜日から８月末まで：９：００～１８：００

2）９月の土曜日・日曜日・祝日（９月最終土曜日・日曜日は除く）：９：００～１７：００

第 47 条 利用料金

施設利用者へ提供するプールの利用料金は、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例及び収益施設全体のバランスを考慮し定めるものとする。

■＜参考＞現行利用料金一覧

区分	一般料金	WEB 料金	コンビニ料金	障害者割引料金※
大人（15 歳以上）	2,000 円	1,800 円	1,900 円	500 円
小人（小・中学生）	1,000 円	900 円	950 円	300 円
幼児（3～5 歳）	400 円	300 円	350 円	無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者及び付添者 1 名は割引料金を適用
※シルバー料金（65 歳以上）700 円

第 48 条 業務の内容

施設等運営者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

1.プールの運営に関すること。
2.プールの各施設、設備等維持管理に関すること。
3.プールの安全衛生管理に関すること。
4.プールの利用に伴う苦情処理に関すること。
5.前各号に掲げる業務に付随するもの。

第 49 条 プール入場券の販売等

1．プール入場券の発券方法等は、原則として次の各号によるものとする。

プール入場券は、WEB 及びコンビニエンスストア等による店頭または公園入口において公園入園料を含む通し券として発行するものとする。なお、プールゲートにおいては、プール入場券のみの発行も行う。

2．プール入場券の前売りを行う場合は、次の各号によるものとする。

1）前売券は、プールの開設前に施設等運営者が販売し、その代金を収納する。

2）前売券は、公園入園整理券代を含むものとする。

なお、前売券には、入園整理券（３才以上６才未満の者を除く。）を組みにしておき、利用者がこの券で入園できるようにする。

3．プールモニター券によるプール利用を行う場合は、次によるものとする。

プールモニター券による利用者は、プールゲートにて公園入園料を含むプール入場券を購入し利用できるものとする。

4．招待券によるプール利用を行う場合は、次によるものとする。

招待券には、入園整理券を組みにしておき、利用者がこの券で入園できるようにする。

5．企業等補助券によるプール利用を行う場合は、次の各号によるものとする。

1）利用券は、官庁、企業が福利厚生施設として利用する場合に限り、適宜、発行する。

2）企業等補助券は、公園入園料を含む通し券として発行するものとする。

6．プール付属のロッカー利用料金は、第 61 条第２項によるものとし、使用中の鍵の保管は

使用者の責任とする。

7．上記の利用料金は、いずれも消費税を含むものとする。

8．発行済みの入園（場）及び利用券は、原則として払戻しはしないものとする。

但し、天災その他の不可抗力により公園の利用が出来ない場合、又は止むを得ない理由があると認められるときは、払戻しすることができるものとする。

9．施設利用者で、プール場外へ退場し、当日のうちに再入場を希望する者は、プールゲートで再入場券を指定の箇所で受けるものとする。施設利用者が再入場する場合は、再入場券をプール係員が確認し、再入場を認める。

10. プール入場券に含まれている公園の入園料は、日々の利用者数を報告し、維持管理業務受託者が半月毎に利用者数に応じた入園料金相当額を施設等運営者に請求し、料金徴収のうえ、入園料相当額を国庫に納入する。

第 50 条 営業開始前後の対策

1．サンシャインプールの安全な管理運営を行うため、施設等運営者は安全衛生管理計画書を作成し、６月末日までに調査職員に提出するものとする。なお、作成に当たっては、「プールの安全標準指針（平成 19 年３月文部科学省及び国土交通省）」、「遊泳用プールの衛生基準について（平成 19 年５月 28 日厚生労働省）」、並びにその他関係法令を参考にすること。

2．施設等運営者は、下記に示す項目を盛り込んだ安全衛生管理計画書を基にプール安全衛生管理マニュアルを作成し、点検等を行うものとする。本点検において、異常が発見された場合は、直ちに調査職員に報告し、修理、交換を行う等対応を協議する。

1）消防法に基づき定期点検等を実施し、消防設備の現状把握及び良好な状態の維持に努めると共に、不具合箇所が発生した場合には速やかに調査職員に報告し、対策を協議すること。

①自動火災報知機設備、消火器設備、誘導灯設備、非常警報設備の外観確認、動作等の確認等、外観・機能点検を年２回実施。（１回目：毎年３月、２回目：毎年プール営業前の６月に実施。）

②自動火災報知機設備、消火器設備、誘導灯設備、非常警報設備の配線の絶縁抵抗等の確認のための総合点検を年１回実施。（毎年３月に実施。）

③消防訓練をプール営業従事者対象に年１回実施。（毎年６月に実施。）

2）点検に関するチェックシートを作成し、プール施設・設備の使用期間前及び使用期間後の点検を行う。特に、次の事項については重点的に点検を行う。

①排水口の蓋がネジやボルト等で正常な位置に堅固に固定されているか。（蓋の重量による固定、針金による固定は不可。）

②蓋等やこれを固定しているネジ、ボルト等に腐食、変形、欠落、緩み、亀裂、破損等の異常がないか。

③配管の取り付け口に吸い込み防止金具等が取り付けられているか。

④プールが安全で快適に利用できるよう開園前清掃が確実に行われているか。

3）「遊泳用プールの衛生基準について（平成 19 年５月 28 日健発第 0528003 号厚生労働省

健康局長通知)」、に従い水質検査を実施する。(詳細は、「本章 第 68 条 プールの水管理」を参照のこと。)

4）プール営業期間中にネジ、ボルト等が破損、欠落した場合に備え、ネジやボルト等の予備、必要な工具をプール管理棟に備えておく。

3．施設等運営者は、プール安全衛生管理マニュアルに従い、プール管理体制の構築、監視員の教育、プール施設の点検を行うものとする。(監視員等の教育訓練についての詳細は、「本章 第 52 条 監視員等の教育」を参照のこと。)

4．施設の点検に当たっては、調査職員が立ち会うものとする。なお、給水口、排水口、吐出口については、専門業者と共に点検すること。また、点検の際には過去の点検結果との照合を行い、僅かでも異常がないか確認すること。

5．点検の結果、施設の整備や改修を行う場合は、九州地方整備局と協議を行い、必要な措置を講じるものとする。

6．施設等運営者は、営業開始前に、施設全体の一斉清掃を行うと共に、プールエリアを区切る外柵の設置等、必要な施設・設備の設営を行うものとする。なお、営業開始前の一斉清掃の内容は以下の通りである。

1）業務区域：プール水槽、プールサイド、プール管理棟、便所、腰洗い槽、足洗い槽、北管理棟、ロッカー棟及びその周辺、水遊び広場、売店等サンシャインプールエリア内全て

2）清掃内容は以下の項目を実施すること。

①プール槽、プールサイド等(所定場所に応じてデッキブラシ、高圧洗浄、バキューム車、ワックス洗浄を行う)

②ロッカー棟の床清掃

③日よけ等仮設工作物の配置

④プールエリア内の草刈り及びごみ拾い

⑤プール開園準備及び諸行事の設営補助

⑥テーブル、イス、ごみ箱、灰皿、監視台、案内板、コースロープ等の配置

⑦その他九州地方整備局又は管理責任者が指示する作業

7．施設等運営者は、給水口、排水口、吐出口の蓋、ネジ、ボルト等について異常がないか確認するものとする。

8．施設等運営者は、営業期間中の管理日誌、点検チェックシート等の記録について、営業終了の翌日から５年間保管するものとする。

第 51 条 プール監視体制の構築

1．プールの監視を円滑に遂行するため、下記の体制を構築する。

1）施設担当責任者：プールの管理及び運営の総括にあたる。なお、施設担当責任者を補佐する施設担当責任者代理も選任する。

2）管理責任者：現場に常駐し、プールについての管理上の権限を行使し、安全で衛生的なプールの現場統括にあたる。管理責任者には、プール施設管理士講習、プール衛生管理者、ウォータスライド講習、普通救命講習を受講した者をあてる。

3）衛生管理者：水質に関する基礎的知識、プール水の浄化消毒知識を有し、プール管理のための施設の維持、水質浄化装置の運転管理、その他施設の日常の衛生管理にあたる。衛生管理者には、プール衛生管理者講習及び普通救命講習を受講した者をあてる。

4）管理棟スタッフ：管理責任者の指示に従い、プールの利用案内、監視状況の確認、トイレの清掃状況の確認等を行う。管理棟に通常１名／日を配置し、土曜日、日曜日、祝日、お盆期間（８月 13 日～15 日）については、１～２名／日を配置する。

5）監視員：施設利用者が安全に利用できるよう、施設利用者の監視及び指導等を行うと共に、事故等の発生時に救助活動を行う。監視員は次の４種類に分類し、配置する。

①監視隊長：監視について経験豊富で、かつ高度な判断力並びに業務の総合的な指導等の能力を有する者をあてる。他の監視員を総括、指導すると共に、管理責任者や衛生管理者と連絡を密にして安全衛生管理につとめる。監視隊長には、６年以上の監視経験があり、日本赤十字社水上安全法救助員の資格を有する者をあてる。プール営業期間中は監視隊長若しくは監視副長のいずれか１名以上を配置するものとする。

②監視副長：監視について経験豊富で、かつ的確な判断力を有する者をあてる。監視隊長の補佐、各プールの監視員を指導、監督する。監視副長には、３年以上の監視経験があり、日本赤十字社水上安全法救助員の資格を有する者をあてる。

③監視員：監視隊長、監視副長の指示に従って担当エリアの監視を行い、安全衛生管理に努める。監視員は、「日本赤十字社水上安全法救助員短期講習」又はこれと同等の講習を受講した者で普通救命資格を有し、50m以上の泳力のある者をあてる。

④巡回監視員：監視隊長の指示に従い、１時間に１回プール内を巡回し、プール内の巡回警備、各工作物（仮設日よけ、外柵、看板等）の点検及び清掃等を行う。

6）救護員：プール内にて傷病者が発生した場合に応急救護にあたる。期間中、看護師を１名以上常駐させる。また、施設利用者が多くなる日曜、祝日、お盆期間（８月 13 日～15 日）については、看護師２名以上を常駐させ応急救護にあたる。

7）施設維持管理員：プール内施設が常に安全快適に利用できるよう、機械室に常駐させ、主に電気・機械施設の維持管理を行う。

8）クリーンスタッフ：プール内が常に清潔に保たれるよう清掃・ごみ処理を行う。

9）バス運行管理員：海の中道駅口、西口、ワンダーワールド口から入園する施設利用者のためにバスによる園内送迎を行い、施設利用者の利便を図る。運行速度は時速 20km 以下の走行を徹底し、利用状況に応じてバス停留所に誘導員を適宜配置する等、安全管理の徹底を図る。

２．施設等運営者は、施設利用者の安全を確保するため、プール営業期間中の監視員の配置については、一般的な監視の重点ポイントに加え、サンシャインプールの施設的な特徴や過去における利用状況を踏まえ、適正な箇所に適正な人数の監視員を配置する。また、利用状況に応じて、適宜監視員数を増員すること。監視員や管理棟スタッフは、盗難や痴漢等の犯罪防止をしている者への注意喚起をする。

第 52 条 監視員等の教育

施設等運営者は、プール営業開始前に、監視員等に対して「日本赤十字社水上安全救助員

短期講習」又はそれと同等の講習会を受講させると共に、監視員スタッフマニュアルを別に定めた上で、これに基づいて、以下の監視員等の教育・訓練を実施する。

1.すべての監視員に対して、次に示す事項を中心とした安全管理にかかる教育・訓練を実施する。また、プール営業期間中に新たに雇用した監視員へは、就業前に同様の教育・訓練を実施する。

1）プールの施設概要

2）プール施設内での事故防止対策

3）事故発生等緊急時の措置と救護

2.プール営業期間中においては､定期的に緊急事態の発生を想定した実地訓練を行う｡また、毎日の始業及び終業において、ヒヤリハットの事例等について監視員に発表させ、翌日以降の安全管理に備える。

1）飛び込み事故や溺水事故を想定した、緊急連絡方法の周知、訓練を行う。

2）異常等の察知からポンプの非常停止までの手順及び所要時間の計測を行う訓練を、毎週１回プール営業終了後に実施する。

3）毎日の始業及び終業時に「ヒヤリとしたこと」､「ハットしたこと」､「気がかりなこと」､「施設利用者からの苦情」等について、監視員より発表させ、即時、状況に応じた対策を講じる。

3.教育・訓練の実施記録は、その記録を業務完了後５年間保管する。

第 53 条 営業期間中のプール点検

1．施設等運営者は、プール営業期間中において､「遊泳用プールの衛生基準について」（平成 19 年５月 28 日健発第 0528003 号厚生労働省健康局長通知）に従い水質検査を実施するほか（詳細は、第２編 第 68 条「プールの水管理」を参照のこと｡)、プール安全衛生管理マニュアルに従い、監視業務、施設利用者への指導、緊急時の対応、施設利用者への情報提供、衛生管理、電気機械設備管理等、下記に示す点検等を行うものとする。本点検において異常が発見された場合は、管理責任者は直ちにその対策を講じることとする。なお、各種点検表については、事前に定め、それに点検結果等を記録すると共に、業務完了後５年間保管する。

■点検項目

項目	主な内容	実施時期	報告のフロー
プール日誌（施設担当責任者用）	・日々の入場者数、最高気温、水温、スタッフ配置人数、迷子件数等の基本情報の記録。 ・事故、雷対応記録。	毎営業日	管理責任者
救護日誌	・救護者の基本情報及び発生場所、症状、処置方法、発生原因の記録。	毎営業日	
安全巡視報告書	・監視が適正に行われているかの確認及び指導。 ・清掃状況及び不審物の有無の確認及び指導。 ・巡回中の施設利用者への案内・利用制限等の臨機な対応。	毎営業日	管理棟スタッフ ↓ 管理責任者
始業・終業報告書	・各種情報共有。 ・ヒヤリハットの事例及びその対策。事例については、監視員控室に常時掲示する。	毎営業日	監視隊長 ↓ 管理責任者

	・クレームとその内容。		
業務開始前点検表 業務終了後点検表	・排水口等の点検。 ・水位、塩素濃度、救命具、表示物の確認 ・プールやスライダー本体及び足洗い槽等の付属施設の確認	毎営業日	監視員 ↓ 監視副長 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
訓練報告書	・溺水等の事故を想定した訓練。	毎日 ※吸い込み事故訓練実施日除く	監視隊長 ↓ 管理責任者
	・排水口等における吸い込み事故等を想定した訓練。	毎週１回	監視隊長 ↓ 管理責任者
プール日誌（監視員用）	・水質、気温、水温の測定。 ・清掃状況、異常個所の有無の確認。	毎営業日	監視員 ↓ 監視副長 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
環（排）水口等点検表	・環水口、排水口、排水升の状況やボルト等の点検。 ・足洗い槽の管理や点検。	毎営業日	監視員 ↓ 監視副長 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
巡回監視員日報	・置き引き、喫煙、迷子、違反・迷惑行為、清掃状況等の点検。 ・工作物（足洗い槽、仮設日よけ、外柵、看板等）の点検。	毎営業日	巡回監視員 ↓ 監視隊長 ↓ 管理責任者
日々の点検結果の掲示	・プール入口に看板を設置し、プールの安全性の確認状況を掲示。 ・日々点検結果、気温、水温、湿度を記録（９時、12 時、14 時）。	毎営業日	管理棟スタッフ（看板記入者）

２.九州地方整備局は､必要に応じ施設等運営者による業務の履行状況を検査するものとする。なお、検査方法及び期間については、別途協議の上決定するものとする。

第 54 条 施設・設備の維持管理

１．施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に施設を良好な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

１）施設に係る清掃及び塵芥処理。

２）施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理。

３）その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

２．施設等運営者は、営業開始前及び営業終了後、及び九州地方整備局が指示したときは、次の各号に示す巡視・点検を行う。

１）運転前には、電気系統、バルブの開閉、水位の確認等の点検を行う。

２）美観や設備の機能回復等のため、定期的（３～４回/年）に設備の総点検を行う。なお、

長期休止後の再運転前も同様に設備の総点検を行うものとする。

3）損傷防止のため、点検の結果に基づき、調整、給油、部品交換、修理、清掃を行う。

4）巡視・点検結果は、点検報告書として取りまとめ、調査職員に報告する。

5）その他、ポンプ施設等の点検内容は次の通りである。

■点検項目

名称	点検内容
水中ポンプ	a)電流計の指針のよる負荷状態 b)絶縁抵抗 c)モーターの封水 d)防錆状態 e)ケーブルの損傷
陸上ポンプ	a)ポンプの負荷状態 b)軸受部の異音・振動 c)カップリングの点検 d)ドレインパイプの排水状態 e)ボトル・ナットの緩み f)漏水発生の点検 g)軸受部オイル点検 h)モーターの絶縁抵抗
ろ過設備	a) 動作確認 b) ろ材の状態 c) 配管、バルブの発錆、漏水状態 d) 池内の水の状態
滅菌・殺藻設備	a)動作確認 b)消毒・殺藻素材の状態 c)配管、バルブの発錆、漏水状態 d)消毒・殺藻濃度又は強度
水景制御盤	a)箱体(塗装・損傷・扉の開閉・施錠・扉のパッキン) b)盤面(電圧・電流計・表示灯・銘板・スイッチ動作) c)盤内(端子のゆるみ・配線の変色・換気装置) d)タイマー(時刻修正・動作確認) e)漏電ブレーカー(動作確認) f)サーマルリレー(動作確認・設定値の確認) g)警報回路(動作確認) h)絶縁測定

3．施設等運営者は、営業期間外において、サンシャインプール内の施設を良好な状態に維持することに努めること。

第 55 条 プールの水管理

1．プールへの給水は、近隣地域等への影響のないよう、水道管理者である福岡市と事前に協議を行い、その協議結果に基づき行うこと。

2．「遊泳用プールの衛生基準について」（平成 19 年 5 月 28 日健発第 0528003 号厚生労働省健康局長通知）に基づき、営業開始前及び月 1 回定期での水質管理を行うと共に、営業期間中は毎日、1 時間ごとに残留塩素濃度の検査を行い、記録すること。なお、その結果、遊離残留塩素が基準値を下回る等水質が悪化した場合には、速やかに塩素濃度調整や給水等による水質向上のための措置を行う。

1）プール等取締条例施行規則に基づき、毎時１回監視員が遊離残留塩素を計測。プール開園期間中、２回、専門機関により、水素イオン濃度、濁度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌群、一般細菌の検査を実施。

2）厚生労働省通知に基づき、年１回以上専門機関により、総トリハロメタン濃度の検査を実施。

3．福岡市東区東保健所の水質検査等が実施されるときは、施設等運営者は協力すること。

■水質等基準

項目	基準値	測定回数
水素イオン濃度	pH値5.8から8.6まで	１時間毎
濁度	２度を超えない	１時間毎
過マンガン酸カリウム消費量	12mg/lを超えない	１回/月以上
大腸菌群	50ml中に検出されない	１回/月以上
一般細菌	１mlにつき200CFUを超えない	１回/月以上
遊離残留塩素	0.4mg/l以上1.0mg/l以下	１時間毎
総トリハロメタン濃度	おおむね0.2mg/l以下	１回/月以上

4．営業期間中の清掃作業で以下の作業を実施する。

1）巡回清掃：営業期間中は利用状況等に応じてクリーンスタッフにより、プールサイドや床面他の掃き掃除、水洗い、ごみ拾い、ごみ箱のごみ回収等を行う。また、便所、ロッカー棟の建物清掃や水面の落ち葉等のごみ拾い等を適宜行う。

2）プールクリーナー清掃：営業時間外においてプールクリーナーを使用し、監視員等により適宜プール内の砂等を除去する。

3）管理棟スタッフによる巡回：営業時間内において毎時１回、管理棟スタッフにより、各建物、プール、プールサイド等の清掃状態のチェックを行い、不具合があった場合には、速やかに不具合を解消する。

第 56 条 営業の休止

1．施設利用者の健康管理及び安全管理の徹底を図るため、悪天候等により以下の基準のいずれかを満たす場合には、状況に応じてプールの営業を休止できるものとする。なお、プール営業休止の判断をする時刻を管理等運営者が変更したい場合には、九州地方整備局と協議するものとする。

1）午前９時の時点で、「プールの水温が 22℃以上」に満たない場合。なお、午後１時の時点で、再度判断を行うこととする。

2）午前９時の時点で、「プールの水温と気温の合計が 44℃未満」であり、「午後から水温と気温の大幅な上昇が見込まれない」場合。なお、午後１時の時点で、再度判断を行うこととする。

3）午前９時の時点で、「気温が水温よりも低く」、かつ、「午後から水温を上回る気温の上昇が見込まれない」場合。なお、午後１時の時点で、再度判断を行うこととする。

4）「雷における避難命令が発令されており、今後のプール運営が行えない」と判断される場合。

5）「午前７時における気象情報において台風の予想進路が九州地方を示している」場合。

２．営業休止の基準が満たされた場合において、休止の最終判断は原則として管理責任者が行う。但し、管理責任者が不在の場合は、その他管理者が行う。営業を休止する場合には、直ちに九州地方整備局へ連絡を行い、調整を図るものとする。

第 57 条 緊急時の対応

１．施設等運営者は、雷の発生に伴う適切な措置を組織的に行い、かつ、施設利用者を雷の被害から防護することを目的に、以下の手順に従って、対応する。

１）プール営業中に雷の発生が予想される場合は、雷対策班を編成し、雷避難誘導体制により、施設利用者の避難誘導を的確に行う。

２）雷の発生が予想される場合は、管理責任者は、自ら又は職員を配置し、襲雷警報機及び落雷システムによる観測、雷雲による雷鳴、稲光を観測し、その状況を施設担当責任者に報告する。管理責任者は、プール営業期間中の雷情報を的確に収集するため、気象情報会社等と雷情報に関する気象情報提供を受けるものとする。

３）雷に関する発令は、予報及び避難の２種類として、管理責任者が発令し又は解除するものとする。発令は、雷避難誘導体制により実施する。発令の伝達は、プールエリア放送設備により行うと共に、メガホン等を使用して施設利用者に周知させる。

４）雷予報を発令した場合は、次の事項の措置を行うものとする。

①スライダープールの滑走を中止し、滑走台から施設利用者を退場させること。

②各プールの遊泳者及び休憩中の施設利用者に、雷発生時の避難場所を周知させること。

③休憩中の監視員は、速やかに避難場所へ配置につき避難命令に備えること。

④発券及び改札については施設利用者に雷が発生し接近している旨を告げて発券及び改札を行うこと。

⑤入場者が著しく多く、雑踏による不測の事故が発生する恐れがある場合、つとめて雷の接近前に退場を促すように配慮する。

５）避難を発令した場合は、次の事項の方法により施設利用者の安全確保を図る。

①発券及び出改札を中止すること。

②建物へ施設利用者を速やかに誘導すること。

③雷情報を随時放送し施設利用者に状況を周知すること。

④入場券を所持し入場しようとする施設利用者には、出改札係は事情を説明し、入場を一時中止すること。

６）落雷の恐れがなくなったと判断された場合には、施設担当責任者の決定を受けて管理責任者が発令を解除する。発令解除は、避難した施設利用者に対し放送により行うものとする。また、不測の事態を防止するため、各監視員は監視場所に付いて施設利用者の誘導を行う。

７）管理責任者は、落雷によって施設利用者又はプール施設に被害が発生した場合は以下の事項の措置をとるものとする。

①救急救護等、人命救助を最優先に行うこと。

②二次被害を防止するため、プール利用の一時中止を行うこと。

③混乱を防止するため、放送等を通じて施設利用者に適宜情報提供を行うと共に、安全な場所へ施設利用者を避難誘導する。

④被害の状況、対応措置等について、速やかに所轄警察署、消防署に連絡すると共に、速やかに必要な措置を取った上で、速やかに、調査職員に口頭、電話、メール等により報告し、後日遅滞なく書面により調査職員に報告すること。

2．施設等運営者は、前項の雷他災害や事故等、施設利用者の安全を確保するため、安全衛生管理計画書に加え、緊急時連絡体制を定めて、十分な安全衛生管理を行うと共に事故防止に努めるものとする。万一、人命に影響を及ぼす事故等が発生したとき、又はその恐れがあるときは､人命の救助を最優先として施設等運営者は速やかに必要な措置をとるものとする。

1）管理責任者は、事故発生の報告を受けた時は、緊急時連絡体制に基づき、調査職員をはじめ関係機関に連絡する。また、溺者発見時や環水口の異常発生時においては、それぞれに緊急伝達体制を事前に定め、これらに基づいて、適切な対応を行う。

2）プールエリアの救護について、下記の体制を整えるものとする。

①管理棟スタッフ、監視員、クリーンスタッフ等は事故発生の連絡を受けたときは速やかに管理責任者に連絡すると共に負傷者の救護にあたる。

②負傷者や急病人の発生に備え、プール管理棟に救護室を設置すると共に、救急器具や負傷者搬送用具を常備する。

③看護師は平日１名以上常駐させる。また、土曜日、日曜日、祝日、お盆期間（８月 13 日～15 日）は、看護師２名以上を常駐させ救急業務にあたること。

3）事故発生時には、以下の事項の措置を行うものとする。

①事故が発生し、さらに二次被害の恐れがある場合、施設担当責任者（施設担当責任者が不在の場合は、管理責任者）はプール施設の全部又は一部に使用を中止する等、必要な措置を講ずること。

②救急車搬送の場合、管理責任者は医師への状況説明が必要な場合等、必要に応じてスタッフを同行させると共に、直ちに交代要員の手配を行うこと。

第 58 条 費用負担

1．サンシャインプール運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等)、運営に関する備品等（建物除く）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、速やかに原状に回復すること。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 59 条 施設利用上の注意

1．施設等運営者は、施設利用者に対して、次の各号に掲げる禁止事項を始めとして、施設利用者の安全確保上必要な事項を遵守するよう看板等で注意を促すものとする。

1）潜水及び飛び込み。

2）プール内でのたんはき、鼻かみ、放尿。

3）ボール投げ等。（混雑の度合いによりチーフ監視員の指示により、制限しない場合もある。）

4）プールサイド（水面隣接地。）での飲食。

5）定められた履物以外の使用。

6）サンオイルを使用しての遊泳。（シャワー励行。）

7）喫煙所以外での喫煙。

8）水着を着用しない者の遊泳。（ラッシュガード、遊泳用パンツは除く。）

9）プールを汚染するような不潔な行為。（乳児用のオムツ着用等。）

10）スライダープールにおける同一滑り台での２人同時滑走、又は逆走。

11）他人に危害を及ぼしたり、迷惑となるような行為。（悪ふざけ等）

12）飲酒しての遊泳。

2．以下に示す物品については、持込をさせないよう、施設利用者に遵守するよう指導するものとする。

1）プールエリア内への持込禁止物品は次の通りとする。

①潜水用具一式。

②オール又は動力機を備え付けて航行するもの又は搬送するもの。

③波乗り用板又はこれに類するもの。

④アルコール類及びプールを汚染する恐れのあるもの。

⑤ビン類等危険物。

⑥動物。（但し介助犬は可）

⑦その他、その物の使用及び破損により遊泳者に危害を及ぼすと認められるもの。

2）プール内への持込禁止物品は次の通りである。

①飲食物、タオル、シャツ、オムツ（水遊び用オムツ含む。）等衛生上好ましくないもの。

②その他、その物の使用及び破損により遊泳者に危害を及ぼすと認められるもの。

3．施設等運営者は、施設利用者の安全を確保するため、次の各号に該当する者は、原則としてプール利用を禁止するものとする。

1）心身に異常があると思われる者。

2）伝染病の疾患があると思われる者。

3）過度な酒気を帯びていると思われる者。

4）保護者又は付き添い人のない幼児（６歳未満の者）。

5）介添えが必要な者で、介添え者がいない者。

6）暴力団関係者。

7）他の施設利用者に危害を及ぼす恐れのある物品、迷惑となるような物品を携帯している

者。

8）管理責任者又は監視員の指導に従わない者。

9）その他特に遊泳上不適と思われる者。

10）発熱や咳等の症状があり、インフルエンザ等の伝染性疾病感染の疑いのある者。

第 60 条 売店の管理運営

1．プールに附帯する売店の管理運営に当たっては、本規定書第２編第３章「飲食・物販施設」に準じ、適切な管理運営を行うものとする。

2．サンシャインプール内の売店はプール営業日に営業することとする。なお、定休日以外に休業する場合や運営期間を短縮又は延長する場合は、施設等運営者は、事前に九州地方整備局と協議し、書面により提出するものとする。

■営業時間

プール営業時間と同様とする。

第 61 条 コインロッカーの管理運営

1．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面、景観及び防犯面に留意して適切な管理を行うこと。

2．利用料金は、調査職員と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。

■＜参考＞現行利用料金一覧

施設名称	利用料金
コインロッカー（サービス扉付）	300 円（3,000 口）
コインロッカー	100 円（　460 口）

3．コインロッカー運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等)、コインロッカーの購入、設置、交換、撤去並び保守・故障対応等に要する費用、コインロッカーの安全対策に要する費用、その他運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

4．コインロッカーの売上金回収等に要する経費は、施設等運営者の負担とする。

5．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は、契約が解除された場合、九州地方整備局及び新たな施設等運営者と十分に協議の上、書面をもって事務引き継ぎを行い、公園の管理に支障が生じないようにする。この際、施設等運営者が設置した特定施設・備品を撤去し速やかに原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

但し、原状回復することが不可能若しくは不適当な場合、九州地方整備局の書面による承諾を得て原状回復せずに引き渡すことができる。

なお、原状回復する際に新たな施設運営者が必要としなかった特定施設・備品に残存価値が残される場合であっても、九州地方整備局に対し施設等運営者の施設の買い取り等を請求することは出来ない。

6．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

7．商品管理、売上金回収・つり銭補充等の金銭管理等、自動販売機の維持管理については、施設等運営者が行うこと。

8．コインロッカーの清掃を実施すると共に、衛生管理については、関係法令を遵守すると共に徹底を図ること。

9．コインロッカーを設置するに当たっては、据付面を十分に確認したうえで設置すること。

10．コインロッカーの安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

11．コインロッカーに関する事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員等に報告し、後日遅滞なく書面により調査職員に報告するものとする。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、必要に応じて医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

8）再発防止等改善策等。

12．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

13．コインロッカーの設置に関する必要な手続きは、施設等運営者が行うこと。

14．コインロッカーの設置に当たっては、事前に九州地方整備局と協議し、必要な手続きを実施したうえで設置すること。

15．コインロッカーを第三者に譲渡又は貸与してはならないこと。

16．忘れ物等残存物の発見をしたときは、所定の手続きを行いできる限りの便宜をはかること。

第 62 条 施設利用者送迎用園内バスの運行

施設利用者の利便を図るため、サンシャインプールの開業期間にあっては、施設利用者の送迎用園内バスとして海の中道駅口とサンシャインプールの間で、送迎用園内バスを運行するものとする。なお、運行に当たっては、施設等運営者は「プールシャトルバス運行計画」を作成し、九州地方整備局に提出した上で、計画に従って適切な管理運営を行うものとする。なお、運行は以下の各号により行う。

1．運行コース：海の中道駅口とサンシャインプール間。（原則プールを基点に西口～プール入口ルート及びワンダーワールド前～海の中道駅口～プール入口ルートの２ルートとす

る。）

２.運行期間・間隔：プール開園期間、時間内で、約１５分間隔。

３.確保車両数：バス７～１２台程度を確保し運行。

第５章 自動販売機

第 63 条 設置箇所、販売内容・料金等

１．自動販売機での販売は、清涼飲料水、乳酸飲料及び乳製品、動物の餌、菓子、冷凍食品等を考えている。

２．自動販売機で酒類及びたばこの販売は行わないこと。

３．自動販売機の大きさについては、市場にある一般的なものとする。

４．施設等運営者は、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面、衛生面、機能面、景観及び防犯面に留意して適切な管理を行うこと。

５．設置箇所及び設置台数は、別添 38「収益施設運営対象区域図（自動販売機［清涼飲料水］）」の通りとし、当該自動販売機について管理・運営は必須とする。なお、利用の状況や利用者の声等から追加設置出来るものとし、その際は事前に九州地方整備局に書面をもって許可を受けるものとする。なお、許可された場合には追加面積分の使用料（日割り計算）を支払うこと。

６．自動販売機（プールエリアは除く）の外観については白色で統一し販売機前面には本公園のロゴを挿入すること。

７．自動販売機は、出来るかぎりユニバーサルデザイン型自動販売機を導入すること。

第 64 条 費用負担

１．自動販売機運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）、自動販売機の購入、設置、機械の交換、撤去並びに保守・故障対応等に要する費用、自動販売機に装着する漏電・漏水等安全対策に要する費用、防犯対策に必要な費用（例：監視カメラ（画像が保存できるもの）、屋外自販機用防犯シャッター、夜間巡回等）、その他運営に関する備品等（建物除く）の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．自動販売機の商品の補充、売上金回収等に要する経費、自動販売機周辺に設置する回収ボックスの設置及び空き容器回収に要する費用は、施設等運営者の負担とする。

その他園内のごみ箱についても、空き容器等の発生量に応じて、維持管理業務受託者との間で、応分の費用負担を行う。その際、事前に九州地方整備局と協議の上、費用分担ルール及び費用分担結果の九州地方整備局との確認方法について決定すること。

３．自動販売機の設置に伴う電気・排水工事の追加工事を必要とする場合はそれに要する経費は、施設等運営者の負担とする。

４．その他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

５．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 65 条 自動販売機の維持管理

1．商品管理、売上金回収・つり銭補充等の金銭管理等、自動販売機の維持管理については、施設等運営者が行うこと。また、常に商品の賞味期限に注意すると共に、売り切れ商品がないよう努めること。

2．自動販売機に併設して、必要に応じて選別回収タイプの回収ボックスを設置することとし、施設等運営者の責任で適切に管理すると共に空き容器を回収・処分すること。

3．自動販売機の清掃を実施すると共に、衛生管理及び感染症対策については、関係法令を遵守すると共に徹底を図ること。

4．自動販売機を設置するに当たっては、据付面を十分に確認したうえで設置すること。

第 66 条 安全管理

1．自動販売機の安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

2．自販機に関する事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。なお、食中毒・賞味期限切れ商品の販売等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

1）事故発生日時。

2）事故発生場所。

3）事故発生の原因。

4）事故の程度。

5）人身事故の場合は、必要に応じて医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。

6） 被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。

7）事故処理の概略。

8）再発防止等改善策等。

3．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 67 条 その他留意事項

1．自動販売機の設置に関する必要な手続きは、施設等運営者が行うこと。

2．自動販売機の設置に当たっては、事前に九州地方整備局と協議し、必要な手続きを実施したうえで設置すること。

3．販売商品等については事前に九州地方整備局と協議し、決定すること。

4．自動販売機を第三者に譲渡又は貸与してはならないこと。

5．販売品の搬入・廃棄物の搬出時間及び経路については、九州地方整備局の指示に従うこと。

第 6 章 園内交通施設

第 68 条 総則

施設等運営者は、園内交通施設の管理運営に際して、関係法令等を遵守し、公園利用者及び施設利用者の安全を十分に確保した上で、園内交通施設の運営・運行管理について、その責任体制を明確にし、適正な運営と運行の安全を図るものとする。なお、本規定書に記載のない事項又は本規定書に疑義が生じたときは、その都度、施設等運営者は九州地方整備局と協議するものとする。

第 69 条 施設の目的

園内交通施設は、高齢者や身体の不自由な方をはじめ、公園利用者の公園内の移動を補助することを目的とする。

第 70 条 運営対象施設

運営対象施設は次の通りである。

なお、車両の仕様及び台数は、施設等運営者の提案によるものとし、九州地方整備局と協議した上で、車両の導入を行うこととする。

■運営対象施設一覧

施設名称	営業場所	必須／裁量
園内交通車両、車庫、停留所 4 箇所	パークエリア	裁量

第 71 条 責任者の選任

施設等運営者は、園内交通施設の運行に当たり、施設担当責任者及び運行管理者を選任した上で、園内交通施設の運行にあたらせるものとする。

第 72 条 運営日時

運営日時は､公園の開園日時内で事業者が運営日時を九州地方整備局と協議して設定し営業を行う。

第 73 条 利用料金

利用料金は、九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支バランスを鑑みながら、市場価格を踏まえて定める。なお、利用状況等を踏まえて、曜日や季節等によって異なる料金を設定することも可能とする。

■＜参考＞現行利用料金一覧

区分	料金
1日フリーパス券（3歳以上一律）	300円
1乗車毎（3歳以上一律）	200円

第 74 条 業務の内容

施設等運営者は、次の業務を行うものとする。

1.園内交通施設の運行及び利用料金の徴収、領収書の発行に関すること。
2.園内交通施設の維持管理に関すること。
3.園内交通施設利の安全管理に関すること。
4.園内交通施設の利用に伴う苦情処理に関すること。
5.前各号に掲げる業務に付随すること。

第 75 条 施設の運営

1．運行ルートは、施設等運営者の提案によるものとし、九州地方整備局と協議した上で、収益施設運営計画書により記載しなければならない。

■＜参考＞現行運行通常ルート・停留所

ルート	停留所	
西口発コース	①西口⇔②動物の森・大芝生広場⇔③海の中道駅口⇔④ワンダーワールド口のピストン運行	
ワンダーワールド口発コース	④ワンダーワールド口⇔③海の中道駅口②動物の森/大芝生広場⇔①西口のピストン運行	
光と風の広場口-海の中道駅口コース	②海の中道駅口⇔⑤光と風の広場口	

2．運行ルートの設定により、新たに停留所を設置又は現在の停留所を移設する必要がある場合には、事前に九州地方整備局と協議しなければならない。
3．運行ルートにおいて、運行速度は 20km/h 以内で走行する。公園の利用状況によっては、公園利用者の安全に万全を期するよう、さらに減速して走行する。

第 76 条 施設・設備等の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に施設を良好な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。
1.施設に係る清掃
2.施設の点検整備及び軽微な補修又は故障の修理
3.その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等

第 77 条 安全管理

1．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。
2．営業開始前の準備
1）園内交通施設の安全な管理運営を行うために、施設等運営者は安全衛生管理計画書を定めて九州地方整備局に提出するものとする。なお、作成に当たっては関係法令を遵守すること。
2）施設等運営者は、園内交通施設安全衛生管理計画書に従い、管理体制の構築、業務従事者の教育、車両の点検を行うこと。
3．営業期間中の管理運営

1）施設等運営者は、園内交通施設安全衛生管理計画書に従い、利用者への指導、車両の点検、緊急時の対応、利用者への情報提供、衛生管理を行うこと。

4．営業終了後の対応

1）施設等運営者は、営業期間中の管理日誌、点検チェックシート等の記録について、営業終了の翌日から５年間保存すること。

5．運行管理者は、以下に示す点検検査等を行い、園内交通施設が正常であるか確認し、機械的な事故の防止並びに安全かつ快適な運行を図るよう努めるものとする。

1）始業終業点検

2）身だしなみチェック

3）清掃チェック

4）１ケ月点検

5）納品業者への指導管理

6）定期点検（１年次）

7）消防避難訓練

8）アルコールチェック（始業・就業時）

6.点検検査に当たっては、次の各号に掲げる注意事項を守り安全作業に心掛けることとする。但し、毎日点検については安全作業に十分心掛け、下記にはよらない。

1）作業服及び安全帽を必ず着用すること。

2）靴は必要に応じ安全靴、又はこれと同等以上のものを着用のこと。

7．施設等運営者は点検表（又は運行日誌）の様式を作成し、運行予定日には、運転者及び車掌は毎日園内交通施設の運行開始前に試運転を行うと共に、点検表（又は運行日誌）により始業終業点検を行い、異常のないことを確認する。また、実施の記録を点検表（又は運行日誌)に記載する。点検の上、異常が発見された場合は速やかに運行管理者に報告の上、異常の処置を行う。なお、点検項目は以下の通りである。

1）乗降口扉に破損はないか。座席、床、ボディー等に破損はないか。

2）エンジン音に異常はないか。

3）ブレーキの効きは十分か。

4）ハンドルのあそびに異常はないか。

5）タイヤの摩耗は正常範囲か。

6）バンパー等車体に損傷はないか。

7）ミラーその他機器に異常はないか。

8）放送設備は正常に働くか。

8．身だしなみチェックリストを作成した上で、これに基づいて、当日従事する者全員を対象として、身だしなみのチェックを行い、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう努めること。

9．運転者及び車掌は、始業前に乗車する車両の清掃を行い、公園利用者及び施設利用者に不快感を与えないよう努めるものとする。また、実施の記録を点検表（又は運行日誌）に記載する。

10. 運行管理者は標準検査項目及び１ヶ月点検表を作成し、それに基づいて１ヶ月点検を行い

安全運行に努める。また、１ヶ月点検表に実施の記録を記載する。なお、点検の上、異常が発見された場合は速やかに九州地方整備局に報告し、異常の処置を行う。

11. 納品業者（修理業者含む）へ公園諸規則遵守の指導を行い、許可証の有無、許可証番号、氏名、納品経路の確認を適時行う。

12. 年１回、下記検査項目に基づき検査項目１ヶ年検査表を作成の上、これにより定期検査（１年次）を行う。また、１ヶ年検査表に実施の記録を記載する。なお、点検の上、異常が発見された場合は速やかに九州地方整備局に報告し、異常の処置を行う。

■１ヶ年検査の内容一覧

検査項目	検査内容	備考
構造物	１．シャーシー等のリベット、ボルトの弛み等の良否 ２．各取付部の摩耗、欠損等の有無 ３．消火器、報知機等作動の良否	
放送設備 信号・通信	１．電線の腐食、支持物等の損傷の有無及び取付状態の良否	
車体・搬器	１．軸取付部の各組立ボルトの弛み及び外部の状態、異常の有無 ２．タイヤの摩耗、欠損の有無、作動の良否 ３．各車軸、取付部等の給油状態の良否	
駆動装置 制御装置	１．エンジン・プラグの異常の有無 ２．各軸受組立部の摩耗及び異常の有無 ３．制御片の摩耗及び制動片と制動輪の間隔等の良否 ４．接続部の摩耗作用の良否	必要により油の取替
制御回路	１．バッテリーの接続状態、バッテリー液の状態、各端子の取付等異常の有無 ２．各計器類の作用の良否	

13. 公園利用者及び施設利用者の安全な誘導と共に迅速に消火活動が行えるよう本業務に従事するスタッフ全員を対象に年１回、消防避難訓練を行う。

14. 次の各事項に該当する場合は、設備の一部、又は全般にわたりその状態及び作用について、臨時検査を行う。

１）製作又は購入したとき。

２）一時休止後使用を再開したとき。

３）災害その他運転事故が生じたとき。

４）重要な改造又は、修理をしたとき。

５）その他必要があるとき。

15. 次の各事項に該当する場合は、試運転を行う。

１）始業前。

２）諸点検をしたとき。

３）その他必要があるとき。

16. 第６項に規定する点検検査等の実施の記録は、１ヶ月毎に取りまとめ九州地方整備局に提出し、確認を得るものとする。

17. 施設等運営者は、前項に規定する点検検査等の記録を業務完了後３年以上保存するものとする。

18. 施設等運営者は、車輌ごとに運行日誌を備え、運転回数、利用状況、天候状態その他運行管理上必要な事項を運行日誌に記載し、これを業務完了後１年以上保存するものとする。

第 78 条 研修

施設等運営者は、運行に従事する者に対して、当該業務遂行上必要な知識及び技能を習得させるため研修を年１回以上行うものとする。研修は次の項目について行うこと。

1. 園内交通施設に関する一般知識。
2. 園内交通施設の運行及び点検の方法。
3. 悪天候時、地震発生時に講ずべき措置。
4. 故障時に講ずべき措置。
5. 人身事故発生時に必要な応急措置、救急方法等に関する知識及びその訓練。
6. 緊急時における関係部署への連絡方法及びその訓練。
7. 海の中道海浜公園についての一般知識。
8. 園内交通施設及びその利用者等の安全を確保するために必要な事項。
9. 関係法令その他必要な事項。

第 79 条 緊急時の対応

施設等運営者は次の各号に該当するときは運行を一時中止・変更、又は休止するものとし、九州地方整備局に報告するものとする。また、施設等運営者は、園内交通施設の運行を一時中止したときは、運転再開の前に各部の点検を行い、異常のないことを確認しなければならない。なお、運行の一時中止・変更又は休止する際には公園利用者及び施設利用者に的確に告知することとする。

1. 地震、台風、大雨、大雪等大規模な自然災害や悪天候のため、運行に危険が予想されるとき。
2. 公園利用者が多く、運行コースにおいて運行が困難と認められるとき。
3. 事故又は故障等により運転不能のとき。
4. 緊急事態が発生し、又はその発生が予想されるとき。
5. その他九州地方整備局の指示があったとき。

第 80 条 費用負担

1. 園内交通施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、園内交通施設への車両の導入、交換、撤去並びに保守・故障対応等に要する費用を始めとする運営に関する設備・備品等（建物除く）の費用、園内交通施設の安全対策に要する費用、停留所の設置又は移設に要する費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕、貸与した備品類の修理等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。
2. その他、本業務を実施するのに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。但し、施設等運営者は、業務が完了する場合（継続して契約した場合は除く）又は契約が解除された場合、速やかに管理物件を原状に回復して、九州地方整備局に引き渡すこと。

３．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 81 条 施設利用上の注意

施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起を促すものとする。

1.運転手等の安全指示に従うこと。

2.運転に支障を及ぼす恐れのある行為を行わないこと。

3.他の公園利用者及び施設利用者に迷惑を及ぼすおそれのある行為を行わないこと。

4.強度の酒気を帯びていると判断できる状態で乗車しないこと。

5.手回り品・危険物（別途提示する。）を所持して乗車しないこと。

第３編 国営海の中道海浜公園収益施設等設置管理運営個別規定書　自主事業編

第１章 自主事業

第１条 総則

１．施設等運営者は、収益施設運営のほか、本公園の利用促進並びに公園利用者の利便の向上のために、本業務の実施期間において独立採算により行催事・広報の実施、臨時駐車場の運営及び臨時飲食施設の運営、通年での飲食・物販施設等の設置運営等、自主事業を実施することができる。なお、本規定書第３編には想定される、行催事・広報、臨時駐車場、臨時飲食施設、通年での飲食・物販施設等の設置運営についてのみ記載しているので、施設等運営者がその他の事業を行う場合は､その内容に沿った規定書を追加するものとする。

２．施設等運営者は、自主事業を行う場合は原則 14 日前までに九州地方整備局に都市公園法第５条、第６条又は第 12 条の許可を受けなければならない。なお、都市公園法第５条又は第６条に基づく許可があった場合には、都市公園法施行令第 20 条の規定に基づき、使用料等を支払わなければならない。なお、利用者サービスの向上のため本公園の基本計画等との整合が図られ、かつ優良な投資を伴う提案に限っては、飲食物販施設を新設、又は指定する施設を改修し、管理運営することができる。

３．施設等運営者は、自主事業を行う場合は事前に調査職員と協議した上で本規定書第１編第 29 条に基づき下記の内容を記した自主事業計画書を提出し九州地方整備局の承諾を得るものとし、その自主事業計画書に基づき善良な管理者の下運営・管理をおこなうこと。

［自主事業計画書（基本編）の記載事項］

1）業務内容（事業の内容、価格及びサービス内容、行催事・広報の内容等）
2）詳細の自主事業の期間・時間の設定
3）業務の実施方針（料金等徴収の仕組み等含む）
4）業務の実施工程（業務の順序及び手順）
5）業務の実施体制
6）連絡体制(緊急時含む)
7）その他（自主事業実施上必要と思われる事項）

［自主事業計画書（安全衛生管理計画編）の記載事項］

1）従業員衛生管理指導マニュアル（接遇、身だしなみ等を含む）
2）食品の安全衛生規定
3）危機管理マニュアル（災害・事故等発生時の行動マニュアル含む）
4）その他（安全衛生上必要と思われる事項）

４．施設等運営者は、自主事業が許可期間を終了した場合は、自主事業を実施した管理物件を速やかに原状に回復し、九州地方整備局に引き渡すものとする。原状回復に当たり、九州地方整備局より不備を指摘された場合には、適切に対応すること。なお、指定する既存施設を改修して自主事業を行う場合、改修工事にあたっては、閑散期における改修工事や、代替の仮設施設によるサービス提要など､公園利用者へのサービス水準の維持に努めることとする。

第２章 自主事業における行催事・広報

第２条 総則

１．施設等運営者は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づき、自主事業として行催事・広報を実施することができる。

２．行催事を開催する場合は、本公園の利用者増につながる各種行催事の主催、共催等も可能とする。又、施設等運営者が直接実施するだけでなく、九州地方整備局及び維持管理業務受託者が行う行催事・広報に資金等の協力を行うこともできる。

３．自主事業の内容については、本公園利用に相応しくない場合、その実施を認めない場合がある。このため施設等運営者は、事前に調査職員と協議を行うこと。

４．施設等運営者は、自主事業実施による公園施設の利用が他の公園利用者による利用や安全に支障を生じないよう、十分に調整を図って対応すること。

５．施設等運営者は、自主事業により行催事・広報を実施する場合は、事前に調査職員と協議した上で､本規定書第３編第１章第１条第３項に基づき自主事業計画書を九州地方整備局に提出し、承諾を受けなければならない。

６．施設等運営者は、自主事業の実施に当たり、都市公園法第５条又は第６条の許可を受けた範囲の維持管理にかかる費用（水道、電気料金を含む）を負担するものとする。

７．施設等運営者は、自主事業の実施に当たり、協賛企業から協賛金を募り、実施費用にあてることができる。なお、この場合、以下の点に留意すること。

１）施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、自主事業の実施場所及び各ゲートに協賛企業の名称等の表示等を行うことができる。(はり紙、はり札等、広告旗、立て看板等、広告幕及びアドバルーン等への協賛企業名の表示。)。この場合、関係法令等を遵守すること。なお、協賛企業の名称、ロゴマーク又はブランド名称、商品の名称等を表示させることができる。

２）施設等運営者は、事前に九州地方整備局の承諾を得た上で、自らが作成する自主事業に関するポスター・パンフレット・スタッフジャンパー等に、協賛企業の名称等を表示させることができる。

８．施設等運営者は、九州地方整備局及び調査職員が自主事業に関する収支状況等の報告を求めた場合には、それに応じなければならない。

第３条 緊急時の対応

災害や事件・事故等が発生した際には、本規定書第１編第４章「安全衛生管理」を参照し対応すること。

第４条 費用負担

１．自主事業により行催事・広報等に関わる一切の費用（実施に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入等)、運営に関する備品等の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物､設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．本規定書第３編第１章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

３．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、管理備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第５条 安全管理

１.施設等運営者は、自主事業による行催事参加者及び公園利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

２．自主事業による行催事において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、速やかに、調査職員に口頭、電話、メール等により報告し、後日遅滞なく書面により調査職員に報告すること。

３．緊急車両等の入出場については適宜協力をすること。

４．施設等運営者は、施設利用者及び公園利用者の安全確保、施設状況の把握、及び施設利用案内等を行うため、定期的に巡視を実施するものとする。また、事件、事故又は災害等緊急時対応、不審物の有無確認や拾得物への対処、清掃状況の点検等も併せて行うものとする。

５．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第３章 臨時駐車場

第６条 総則

１．施設等運営者は、繁忙日及び行催事開催日等駐車場が不足する事が予想される場合は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づき自主事業として臨時駐車場の運営を実施することができる。

２．施設等運営者は、自主事業として臨時駐車場の運営を実施する場合は、事前に調査職員と協議した上で、本規定書第３編第１章第１条第３項に基づき自主事業計画書を九州地方整備局に提出し、承諾を受けなければならない。

３．臨時駐車場への案内は、臨時駐車場の使用時に限定して、看板を設置し、施設利用者の指導を行う。特に公園利用及び施設利用者の安全確保には細心の注意を行う。

4. 臨時駐車場の安全管理として、臨時駐車場の出入口部及び駐車スペース（駐車行為）等に安全誘導員を状況に応じて配備する。

5. 臨時駐車場の使用時は、一般園地との範囲区分が明確となるよう、移動看板及び簡易柵等を設置する。

6. 施設利用者が全て退出したことを確認し閉場することとする。なお、著しく退出が遅延し、施設利用者を確認することが出来ない場合は、残車両を確認し、記録すること。なお、残車両の所有者及び使用者から、退出の申し出があった場合は、適切に対処すること。

7. 臨時駐車場の利用料金は、施設等運営者の提案によるものとする。

8. 公園内に臨時駐車場を設置する場合の使用料は、本規定書第１編第 15 条の定めに従うものとする。

9. 運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて九州地方整備局及び調査職員と協議することとする。

第７条 利用制限等

１.次の各号に該当する場合は、駐車場の利用を拒否することができるものとする。

1) 駐車場利用者が遵守事項を守らない場合又は業務従事者の指示に従わない場合。

2) 危険物を積載している車両、その他駐車場の管理上支障のある車両が駐車しようとしている場合。

第８条 臨時駐車場の運営上の注意点

臨時駐車場の運営に際して、駐車場利用料金の徴収及び領収証の発行、安全管理、緊急時の対応、費用負担、責任の範囲、利用者指導及び施設等運営者が行うべき事項については、本規定書第２編第１章駐車場の定めに準ずるものとする。

第９条 施設・設備等の維持管理

１．施設等運営者は、臨時駐車場においては、以下の施設・設備等の維持管理等を行う。

１）施設等運営者は、臨時駐車場において、施設が有する機能を最大限に活用すると共に、施設利用者が安全かつ快適に施設を使用できるよう、安全面等に留意して適切な管理を行うこと。

2）施設等運営者は、駐車場施設の機能を保持し、日常の円滑な運用に支障が生じないよう、消防法等の関係法令を遵守し、保守・点検や必要な備品等の管理、調達を行うことで適切な維持管理を行うこと。

3）施設等運営者は、臨時駐車場に使用する場所が臨時駐車場使用後、一般利用に支障等が生じる事のないよう万全を期すこと。なお、万一問題が生じた場合には施設利用者の責任において、原状回復を行うこと。

第 10 条 安全管理

1．施設等運営者は、施設利用者及び公園利用者の安全に万全の注意を払い、安全管理を行うものとする。

2．駐車場内において、災害や事故が発生し、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で、速やかに、調査職員に口頭、電話、メール等により報告し、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告すること。

3．緊急車両等の入出場については適宜協力をすること。

4．施設等運営者は、施設利用者及び公園利用者の安全確保、施設状況の把握、及び施設利用案内等を行うため、定期的に巡視を実施するものとする。また、事件、事故又は災害等緊急時対応、不審物の有無確認や拾得物への対処、清掃状況の点検等も併せて行うものとする。

5．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 11 条 緊急時の対応

災害や事件、事故等が発生した際には、本規定書第１編第４章「安全衛生管理」を参照し対応すること。

第 12 条 費用負担

1．臨時駐車場運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費、清掃費、消耗品の購入等)、運営に関する備品等の費用及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．臨時駐車場の満車表示等施設利用者の利便に資する移動式看板(既設の看板の更新も含む)他、本業務を実施するに必要な備品等についても、施設等運営者の負担で準備すること。

3．本規定書第３編第３章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

4．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、管理備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 13 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することの出来ない事由によって生じた車両及び施設利用者の損害。

2）車両に残された貴重品、その他物品及び取付物に関する損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者は車両の滅失又は損傷について、当該車両の時価、損害の程度を考慮してその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。但し、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 14 条 施設利用上の注意

1．施設利用者に対し、以下の各号について看板等において注意を促すと共に、利用者に適切な利用指導を行うものとする。

1）場内での車両通行速度は、時速 20km/h を超えないこと。

2）場内での追い越しをしないこと。

3）喫煙又は火気の取り扱いをしないこと。

4）標識又は係員の指示に従うこと。

5）車両を離れるときは、エンジンを停止し、ドア及びトランクには施錠し、盗難に備えること。

6）公害防止の為、エンジンを空ぶかししないこと。

7）施設、他の車両及びその取付物等への損害、又はその他の事故を目撃した時は施設等運営者へ速やかに連絡すること。

8）施設利用者及びその関係者（同乗者含む。）が故意又は過失により駐車場の施設並びに他の車両に損害を与えたときは、当事者がその損害賠償を行うこと。

9）「車いす使用者用駐車スペース」は該当車両がいつでも利用できるよう、一般施設利用者は利用を控えること。

10） その他、施設等運営者の業務又は他の施設利用者の妨げになるような行為はしないこと。11）九州地方整備局より指示された禁止行為等。

第４章 臨時飲食・物販施設の運営

第 15 条 総則

１．施設等運営者は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づき自主事業として臨時飲食・物販施設を実施することができる。

２．施設等運営者は、自主事業として臨時飲食・物販施設を実施する場合は、本規定書第３編第１章第１条第３項に基づき自主事業計画書を調査職員に提出し、承諾を受けなければならない。

３．臨時飲食・物販施設の名称や販売品目・販売価格を表示した看板等を設置する場合は公園利用者の安全確保には細心の注意を行う。

４．提供する商品の内容及び販売価格等は九州地方整備局と協議の上、周辺類似事例に基づき、収益施設全体の収支のバランスを鑑みながら、市場価格に準じて定める。なお、販売品目等は施設利用者のニーズを把握し、その見直しを図る等、満足度の向上に努めること。

５．公園内に臨時飲食・物販施設を設置する場合の使用料は、本規定書第１編第１章第 14 条に定めに従うものとする。

６．運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて九州地方整備局及び調査職員と協議すること。

第 16 条　臨時飲食施設の運営上の注意点

臨時飲食施設の運営に際して、責任者の選任、利用料金、業務の内容、施設・設備の維持管理、安全衛生管理、費用負担、責任の範囲、施設利用上の注意については、本規定書第２編第３章飲食・物販施設の定めに準ずるものとする。

第 17 条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

１.施設及び施設周辺に係る清掃及び塵芥処理。

２.施設の点検整備又は故障の修理。

３.その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 18 条 安全衛生管理

１．衛生管理及び安全管理は、施設等運営者において全責任を負うものとする。

２．食品衛生法、消防法等の関係諸法令及び規則に基づき、安全衛生管理計画書（本規定書第１編第２章第 28 条）を作成し、九州地方整備局の承諾を受けるものとする。安全衛生管理計画書作成に当たっては、以下に示す項目のほか、十分な衛生管理及び安全管理等を行うと共に事故防止に努めるものとする。

１）運営にあたる全職員を対象として、年１回の健康診断を実施すること。調理した料理品等を販売・提供する事業を行うスタッフは、健康診断検査の結果、安全衛生上問題となる異常がある場合者は、完全に回復したとの医師の診断が得られるまで職場復帰は認めないこと。また、下痢を起こしている等体調不良者は出勤させてはならない。

２）消防法に基づき、消火器点検を年２回実施し、不備なものは随時取り替えること。
３）消防法に基づき、避難訓練、消火器訓練等を年２回実施すること。

３．上記法定点検等の結果については、遅滞なく九州地方整備局に報告すること。

４．飲食施設は、施設利用者に満足していただけるよう、商品管理の徹底、消防設備の点検、身だしなみ等、常に清潔、快適かつ安全な状態に維持するものとする。そのため、以下の管理を実施する。

１）始業及び終業時には、ガス、電気等を使う火災につながる器具の点検を行うと共に、清掃状態や施設の不具合についても点検を行うこと。
２）毎日の始業事に、服装、髪型、アクセサリー、爪、健康状態、頭髪について点検を行い、安全衛生や施設利用者の利用満足度の向上に努めること。
３）毎日、害虫の発生状況を点検し、必要に応じ適切な害虫駆除を行うこと。
４）清掃点検項目を定めた上で、これに基づき清掃を行い、テーブルや厨房内、カウンター、排水溝、厨房機器、ごみ箱の点検を行うこと。
５）毎日、売店商品の保管状況点検を行い、賞味期限切れ製品等を供することのないよう、賞味期限、腐敗、変色、異味、異臭等を確認すること。
６）毎日、冷蔵庫、冷凍庫等の温度点検を行うこと。
７）緊急時には、緊急連絡事項の取り扱いに関する規約と緊急連絡体制に基づいて、九州地方整備局、維持管理業務事業者をはじめ、関係機関に対し迅速に連絡・対応すること。８）納品を行う業者に対して、書面及び日常的な安全運転の指導を行うこと。
８）運営に当たる全職員を対象として、腸内細菌検査のための検便検査を年２回実施し、検査の結果、異常がある者は、二次検査で異常の有無を確認し正常であることが確認されない限り、就業を認めないこととする等、二次感染の防止に努めること。

５．食中毒等の事故が発生したとき、又はその恐れがあるときは、速やかに必要な措置を取った上で次の各号について、速やかに口頭、電話、メールのいずれかにより調査職員に報告し、その後の対応について調査職員と綿密に打ち合わせること。併せて、後日遅滞なく書面により九州地方整備局に報告するものとする。なお、食中毒等社会的な影響や人的影響等を伴うときは、九州地方整備局がマスコミ対応等を行うが、その際、九州地方整備局の求めに応じ施設等運営者は迅速かつ適切に協力しなければならない。また、九州地方整備局が策定した事故等への対応計画、規定等がある場合は、それに則った対応を図ること。

１）事故発生日時。
２）事故発生場所。
３）事故発生の原因。
４）事故の程度。
５）人身事故の場合は、医師の診断結果又は被害者本人及びその家族等から得られた情報。
６）被災者の氏名、性別、年齢、連絡先。
７）事故処理の概略。
８）再発防止等改善策等。

６．食中毒等により、施設利用者に対して、人的損害を及ぼした場合は、施設等運営者の責任において、その賠償を行う。

７．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 19 条 費用負担

１．臨時飲食・物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く。）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

２．本規定書第３編第１章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

３．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

第 20 条 責任の範囲

１．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

１）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することの出来ない事由によって生じた施設利用者の損害。

２）施設等運営者の過失に依らない損害。

２．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

３．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。但し、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

第 21 条 施設利用上の注意

施設運営者は、施設利用者に対し、以下の各号について注意喚起及び利用者指導等を行うこと。

１.危険物を持込、その他、秩序を乱し、風紀を害する恐れがある者。

２.公園で定める制限事項に違反する者。

３.ペット等の動物。但し、身体障害者補助犬となる盲導犬、介助犬、聴導犬については除く。

４.その他施設利用者及び公園利用者の安全、快適を妨げる者。

第５章 飲食・物販施設等の新設、指定する既存施設の改修

第 22 条 総則

１．施設等運営者は、本規定書第３編第１章第１条第１項及び第２項に基づき自主事業として飲食・物販施設等の新設、指定する既存施設の改修を実施することができる。

２．施設等運営者は、自主事業として飲食・物販施設等の新設、指定する既存施設の改修を実施する場合は、本規定書第３編第１章第１条第３項に基づき自主事業計画書を調査職員に提出し、承諾を受けなければならない。

３．飲食・物販施設等の新設、指定する既存施設の改修を行い、管理運営する場合の使用料は、本規定書第１編第１章第 15 条に定めに従うものとする。

４．運営条件に定めていない事項に関しては、必要に応じて九州地方整備局及び調査職員と協議すること。

第 23 条 対象範囲又は対象施設

１．施設等運営者が、新たに飲食・物販施設等の設置を行う場合、別添 40「自主事業における飲食・物販施設等の設置運営可能範囲」において指定した箇所で実施するものとする。

２．指定する既存施設とは、別添 41「指定する既存施設」に示した施設とする。

第 24 条 運営上の注意点

１．施設等運営者は、独立採算により、許可された自主事業を実施する。

２．自主事業の内容については、本公園利用に相応しくない場合、その実施を認めない場合がある。このため、施設等運営者は事前に公園管理者と協議を行うこと。

第 25 条 施設・設備の維持管理

施設等運営者は、施設利用者が快適に施設を利用できるよう、常に清潔かつ快適な状態に維持することに努めるものとし、日常管理として、以下の各号に掲げる業務を行うものとする。

１.施設及び施設周辺に係る清掃及び塵芥処理。

２.施設の点検整備又は故障の修理。

３.その他利用によって消耗する施設の修繕、消耗品の購入等。

第 26 条 安全衛生管理

１．施設等運営者は、自主事業による公園施設の利用が他の公園利用者による利用や安全に支障が生じないよう、十分に調整を図って対応すること。

２．公園内の業務用車両の運転については、「国営海の中道海浜公園　園内業務入園における車両通行規則」を遵守すること。

第 27 条 費用負担

１．臨時飲食・物販施設運営に関わる一切の費用（営業に際し必要な許認可に関わる経費、光熱水費等）、運営に関する備品等（建物除く。）の費用、管理区域に関る建物管理費（清掃費、消耗品の購入、施設の点検整備、軽微な修繕等）及び各種保険料、さらには施設等運営者自

らが設置した工作物、設備等に係る補修又は改造等に係る経費は、施設等運営者の負担とする。

2．本規定書第３編第１章第１条第４項に係る経費はすべて施設等運営者の負担とする。

3．施設利用者の不適切な使用により、関連施設・設備、備品等を破損又は紛失した場合は、原則施設利用者責任として、修理費又は施設等運営者が定める損害料を徴収する。

4．自主事業である飲食・物販施設等の設置運営と指定する既存施設の改修運営においては、収益の一部を国営公園の利用促進及び利便性向上等に寄与する内容に支出するものとする。

第 28 条 責任の範囲

1．次の各号に該当する場合は、九州地方整備局及び施設等運営者は、賠償責任を負わないものとし、その旨を施設利用者が分かるように看板等の掲示を行うものとする。

1）天変地異、その他不可抗力による事故、及び管理上の責に帰することの出来ない事由によって生じた施設利用者の損害。

2）施設等運営者の過失に依らない損害。

2．前号及び善良な管理者としての注意を怠らなかったことを証明する場合を除き、施設等運営者はその損害を賠償すること。

3．施設等運営者の過失等が原因で、施設を損傷し又は滅失した場合、施設等運営者がその損害を賠償すること。但し、施設利用者の責めに帰すべき理由がある場合には、施設利用者に損害の賠償を求める。

別紙１３

従来の実施状況に関する情報の開示

			平成 31 年度	令和２年度	令和３年度
	人件費	常勤職員			
		非常勤職員			
	物件費				
	委託費等	委託費定額部分	105,319	763,450	773,413
		成果報酬等			
		旅費その他			
計（ａ）			105,319	763,450	773,413
参考値（ｂ）	減価償却費				
	退職給付費用				
	間接部門費				
（ａ）＋（ｂ）			105,319	763,450	773,413

（注意事項）

・ 委託費定額部分の内訳は以下のとおりである。
・ 令和２年 4 月 19 日に 51.8ha 供用している。
・ 業務毎の委託費は精算報告書（別紙 14）を参照。平成 31 年度は令和２年 1 月 31 日より履行。

運営維持管理業務（収益施設等管理業務に係る費用を除く）

（単位：千円）

	平成 31 年度	令和２年度	令和３年度
植物管理	31,683	235,802	232,675
動物管理	8,044	58,867	57,535
施設・設備維持管理費	12,409	76,739	76,942
公園管理費	34,904	259,542	272,033
一般管理費	8,705	63,095	63,918
消費税	9,574	69,404	70,310
合計	105,319	763,450	773,413

・ 平成 19 年度から平成 21 年度は公募、平成 22 年度から平成 24 年度は企画競争、平成 25 年度からは一般競争（総合評価落札方式）により特定された事業者との契約により業務を実施。

２　従来の実施に要した人員　（単位：人）

	令和２年度	令和３年度
常勤職員	39	38
非常勤職員	11	11

（業務従事者に求められる知識・経験等）

1．知識、経験に関する要件

・同種又は類似業務の経験

2．技術力に関する要件

表7　企業の業務実績等に関する要件

	①本業務全体の計画立案及びマネジメント業務	②企画運営管理業務	③施設・設備維持管理業務	④植物管理業務	⑤動物管理業務	⑥収益施設等設置管理運営業務	
	・本業務全体の計画立案及びマネジメント業務に必要な要件	・企画運営管理業務に必要な要件	・施設・設備維持管理業務に必要な要件	・植物管理業務に必要な要件	・動物管理業務に必要な要件	・収益施設等設置管理運営業務に必要な要件【ｱ）及びｲ）の両方を満たす必要がある。】	
						ｱ）収益施設等（ｲ）を除く）の運営	ｲ）プールの運営
業務実績※1	下記に示す業務（平成16年度以降に完了した履行期間が概ね12ヶ月以上の業務に限る）において１件以上の実績を有していること（申請書類提出時において実施中の業務にあっては、令和６年1月31日までに完了するもの）						
	下記の1)～2)のいずれかを対象とした業務全体の計画立案及びマネジメント業務（本実施要項1.2.1参照）の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした企画運営管理業務(本実施要項1.2.2参照）の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした施設・設備維持管理業務(本実施要項1.2.3参照)の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした植物管理業務(本実施要項1.2.4参照)の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした動物管理業務(本実施要項1.2.5参照)の実績を１件以上有すること	下記の1)～2)のいずれかを対象とした収益施設等設置管理運営業務（本実施要項1.2.6参照）の実績（レジャープールを除く※5 を除く収益施設のうち、いずれか１種類以上の運営を行った実績）を１件以上有すること。	下記の3)～4)のいずれかを対象とした収益施設等設置管理運営業務（本実施要項1.2.6参照）の実績（レジャープール※5 の運営を行った実績）を１件以上有すること
	1)地区公園、特殊公園、都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等の利用に供している都市公園（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園など） 2)レクリエーション施設※2 又は観光・商業施設※3 で、園地管理※4 を行っている施設						3)都市公園の種別として、地区公園、特殊公園、総合公園以上（総合公園、運動公園、広域公園及び国営公園）で、レジャープール※5 を含む都市公園 4)レクリエーション施設※2 又は観光・商業施設※3 で、レジャープール※5 を含む園地管理を行っている施設
注意事項	共同体等の代表者等の中心的役割を担った業務のみを実績とする	共同体等の一員（代表者以外）としての実績も認める					
保有資格者			１級造園施工管理技士を１名以上有する法人であるこ				

（業務の繁閑の状況とその対応）

なし

（注記事項）

- 運営維持管理業務の人員のみ(収益施設等管理運営業務に係る人員は除く。)。
- 令和2年度では委託企業の職員 18 名、臨時職員 10 名、常勤パート 11 名
- 令和3年度では委託企業の職員 18 名、臨時職員 8 名、常勤パート 12 名
- 従事者にもとめられる知識や技術は、平成 31 年時の資格要件である

３　従来の実施に要した施設及び設備（委託事業者に対して供与した施設・設備）

・ 別紙 2 主要公園施設一覧、別紙 3 主要建築物一覧、別紙 22 提供施設一覧表及び提供機械器具一覧表、別紙 34 建物及び工作物に関する修繕履歴の記録を参照

（注記事項）

・ 運営維持管理業務の施設･設備のみ(収益施設等管理運営業務に係る施設･設備は除く。)。

４　従来の実施における目的の達成の程度

■年間指標

	令和２年度		令和３年度	
	目標計画	実績	目標計画	実績
公園全体の年間利用者数※1	－	1,315,506 人	－	1,555,421 人
パークエリアの年間利用者数※2	1,110,000 人	599,416 人	1,089,000 人	626,036 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率※3	90.0	98.0	90.0	98.2
大規模花修景に関する「非常に満足」「まあまあ満足」の平均回答比率※4	90.0	－	90.0	98.3

■四半期毎の指標

	令和２年度							
	4～6 月		7～9 月		10～12 月		1～3 月	
	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
公園全体の年間利用者数※1	－	150,768 人	－	426,818 人	－	453,420 人	－	284,500 人
パークエリアの年間利用者数※2	360 千人	84,220 人	405 千人	127,464 人	208 千人	228,183 人	137 千人	159,549 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率※3	90.5	－	90.5	99.0	90.5	98.1	90.5	97.0

■四半期毎の指標

	令和３年度							
	4～6 月		7～9 月		10～12 月		1～3 月	
	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績	目標計画	実績
公園全体の年間利用者数※1	－	360,691 人	－	339,661 人	－	511,239 人	－	343,830 人
パークエリアの年間利用者数※2	369 千人	206,546 人	406 千人	31,622 人	216 千人	224,324 人	139 千人	163,544 人
利用実態調査アンケートの「非常に満足」「まあまあ満足」の合計回答比率※3	91.0	98.6	91.0	97.6	91.0	98.3	91.0	98.8

（注記事項）

1．（指標の意義、選定根拠）

運営管理の基本方針に基づいた公園の管理運営による効果を客観的に評価するための指標。
運営管理の重点事項を選定している。

2．（目標値・計画値の設定根拠）

現在は設定しない。

3．（実績の計算・把握の方法）

実施要項1.3.4.モニタリング方法による。
管理者からの管理月報及び公園の利用に関するアンケート調査より。

4．表中の注記は以下のとおり。

※1：公園利用者数の集計方法は別紙 15 による。
※2：パークエリアとは、本公園の利用に際し、入園料を徴収する区域のこと（別紙1参照。）
※3：「海の中道海浜公園利用実態調査」（別紙 16）のQ9「本日公園には満足されましたか」における「非常に満足」「まあまあ満足」の回答比率。
※4：フラワーピクニック（3月下旬から5月上旬）期間中に7日間実施する「花修景満足度調査」（別紙 16）において「非常に満足」の平均回答比率。

5　従来の実施方法等

従来の実施方法
・業務区分表参照

（事業の目的を達成する観点から重視している事項）
・地域特性を生かした植物管理、当公園の施設特性を生かした動物管理、多様な利用プログラムの提供、情報の受発信の充実を一元的に検討し、利用者数及び満足度を目標としている。

（注記事項）
・別紙 15－入園者数、別紙－16 公園利用に関するアンケート調査、別紙―17 イベント一覧表を参照。

【業務区分表】

	業務内容	業務細目	民間競争入札（H31-R5 年度）				備考（作業時期・頻度・条件等）
			国　土交通省	国土交通省	Ｂ（受託者）	Ｂ以外の業者	
国営海の中道海浜公園 運営維持管理業務	①本業務全体のマネジメント及び企画立案業務	マネジメント			○		
	②企画運営管理業務の業務責任者	企画運営管理			○		
	③施設・設備維持管理業務	維持修繕・保守点検			○	○	
		清掃			○	○	
	④植物管理業務	植物管理			○	○	
	⑤動物管理業務	動物管理			○		
	⑥収益施設等管理運営業務	収益施設運営			○		
		自主事業			○		

別紙１４

精算報告書

【令和２年度】

【国営海の中道海浜公園運営維持管理業務】　（単位：円）

項　　目	予定経費(A)	支出額(B)	過不足額(A-B)
業務全体のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び企画立案業務	206,604,000	195,342,634	11,261,366
業務運営費	140,259,000	129,506,786	10,752,214
人件費	128,719,000	121,274,131	7,444,869
連絡旅費	885,000	69,464	815,536
研修旅費	40,000	0	40,000
会議費	20,000	3,741	16,259
厚生経費	493,000	498,753	▲ 5,753
管理雑費	10,102,000	7,660,697	2,441,303
出改札等補助	66,345,000	65,835,848	509,152
企画運営管理業務	61,078,000	64,200,226	▲ 3,122,226
市民参加活動費	1,900,000	1,677,397	222,603
園内バス	1,100,000	248,000	852,000
巡視等	12,000,000	13,578,801	▲ 1,578,801
諸材料購入費	3,325,000	3,806,280	▲ 481,280
自動車維持費	4,520,000	4,120,244	399,756
広報宣伝費	27,300,000	31,956,794	▲ 4,656,794
行催事費	10,933,000	8,812,710	2,120,290
施設・設備維持管理業務	76,972,000	76,739,036	232,964
建物維持修繕	3,459,000	4,950,117	▲ 1,491,117
建物設備維持修繕	1,237,000	1,530,560	▲ 293,560
工作物管理工	16,068,000	11,770,214	4,297,786
設備維持修繕	8,814,000	10,764,615	▲ 1,950,615
清掃工	47,394,000	47,723,530	▲ 329,530
植物管理業務	227,088,000	235,802,096	▲ 8,714,096
芝生管理工	55,328,000	50,445,183	4,882,817
低木管理工	25,406,000	24,188,400	1,217,600
ﾊﾞﾗ園管理工	12,376,000	11,001,897	1,374,103
高木管理工	15,269,000	14,014,857	1,254,143
林地管理工	2,015,000	374,000	1,641,000
花壇管理工	54,189,000	60,150,834	▲ 5,961,834
花畑管理工	30,784,000	33,430,513	▲ 2,646,513
田畑管理工	545,000	1,163,000	▲ 618,000
特殊(温室)管理工	13,066,000	13,720,612	▲ 654,612
特殊管理工	18,110,000	27,312,800	▲ 9,202,800
動物管理業務	59,209,243	58,867,251	341,992
直接業務費	630,951,243	630,951,243	0
一般管理費	63,095,000	63,095,000	0
消費税相当額	69,404,624	69,404,624	0
業務委託費	763,450,867	763,450,867	0

【令和３年度】

【国営海の中道海浜公園運営維持管理業務】　（単位：円）

項　　目	予定経費(A)	支出額(B)	過不足額(A-B)
業務全体のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び企画立案業務	210,703,000	199,963,931	10,739,069
業務運営費	144,358,000	136,576,024	7,781,976
人件費	132,818,000	126,057,610	6,760,390
連絡旅費	885,000	91,912	793,088
研修旅費	40,000	0	40,000
会議費	20,000	16,930	3,070
厚生経費	493,000	478,875	14,125
管理雑費	10,102,000	9,930,697	171,303
出改札等補助	66,345,000	63,387,907	2,957,093
企画運営管理業務	64,378,000	72,068,089	▲ 7,690,089
市民参加活動費	1,700,000	1,692,206	7,794
園内バス	1,100,000	642,000	458,000
巡視等	12,000,000	13,109,083	▲ 1,109,083
諸材料購入費	3,325,000	5,360,746	▲ 2,035,746
自動車維持費	4,520,000	4,554,620	▲ 34,620
広報宣伝費	27,800,000	32,622,259	▲ 4,822,259
行催事費	13,933,000	14,087,175	▲ 154,175
施設・設備維持管理業務	76,938,000	76,941,563	▲ 3,563
建物維持修繕	3,459,000	5,386,069	▲ 1,927,069
建物設備維持修繕	1,237,000	1,668,860	▲ 431,860
工作物管理工	16,068,000	13,966,695	2,101,305
設備維持修繕	8,814,000	13,825,996	▲ 5,011,996
清掃工	47,360,000	42,093,943	5,266,057
植物管理業務	227,088,000	232,675,694	▲ 5,587,694
芝生管理工	55,328,000	48,745,500	6,582,500
低木管理工	25,406,000	25,223,500	182,500
ﾊﾞﾗ園管理工	12,376,000	11,558,055	817,945
高木管理工	15,269,000	10,810,266	4,458,734
林地管理工	2,015,000	30,000	1,985,000
花壇管理工	54,189,000	58,818,001	▲ 4,629,001
花畑管理工	30,784,000	33,546,611	▲ 2,762,611
田畑管理工	545,000	1,236,000	▲ 691,000
特殊(温室)管理工	13,066,000	11,162,761	1,903,239
特殊管理工	18,110,000	31,545,000	▲ 13,435,000
動物管理業務	60,077,268	57,534,991	2,542,277
直接業務費	639,184,268	639,184,268	0
一般管理費	63,918,000	63,918,000	0
消費税相当額	70,310,227	70,310,227	0
業務委託費	773,412,495	773,412,495	0

別紙１５

公園利用者数

（団体、パスポート、無料区を含めた入園者数及びその計測方法）

■入園者数（団体、パスポート利用者数、平均入園者数）

【令和２年度】　（単位:人）

	有料区			無料区	合計		
	団体	パスポート	有料区合計			平日平均	休日平均
4月	267	455	12,231	10,558	22,789	1,380	2,425
5月	1,070	1,449	36,968	14,603	51,571	3,115	8,651
6月	1,736	2,559	35,021	41,387	76,408	1,692	8,103
7月	2,015	3,394	19,875	95,933	115,808	3,088	6,435
8月	2,548	4,358	31,881	120,332	152,213	4,558	6,376
9月	4,579	5,707	75,708	83,089	158,797	3,060	14,228
10月	7,317	7,343	114,336	76,324	190,660	4,304	18,616
11月	10,605	9,253	72,637	70,686	143,323	2,900	10,947
12月	23,552	10,692	41,210	78,227	119,437	3,270	7,788
1月	24,429	12,049	19,909	27,803	47,712	963	3,196
2月	26,107	14,322	64,565	32,363	96,928	2,001	8,819
3月	1,962	1,942	75,075	64,785	139,860	4,139	6,448
年計	106,187	73,523	599,416	716,090	1,315,506	34,469	102,032

【令和３年度】　（単位：人）

	有料区			無料区	合計		
	団体	パスポート	有料区合計			平日平均	休日平均
4月	7,565	2,094	129,700	65,409	195,109	5,666	11,947
5月	7,982	3,192	65,897	40,147	106,044	5,132	15,051
6月	8,147	3,841	10,949	48,589	59,538	1,753	3,487
7月	10,654	4,962	28,508	114,844	143,352	3,720	8,390
8月	9	135	3,114	112,430	115,544	3,535	4,528
9月	0	0	0	80,765	80,765	2,426	4,024
10月	5,173	1,999	114,082	91,948	206,030	4,670	16,923
11月	2,052	1,610	63,689	96,452	160,141	4,198	9,899
12月	14,990	988	46,553	98,515	145,068	4,230	7,714
1月	822	1,368	29,722	59,661	89,383	2,372	4,635
2月	3,274	1,395	35,969	41,512	77,481	2,149	5,035
3月	835	2,330	97,853	79,113	176,966	4,450	12,251
年計	61,503	23,914	626,036	929,385	1,555,421	44,302	103,884

【令和４年度】　　（単位：人）

	有料区			無料区	合計		
	団体	パスポート	有料区合計			平日平均	休日平均
4月			178,118	78,831	256,949		
5月			183,491	116,675	300,166		
6月			39,480	86,039	125,519		
7月			75,105	117,955	193,060		
8月			135,429	193,043	328,472		
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							
年計	0	0	611,623	592,543	1,204,166	0	0

■入口別入園者数

【令和２年度】

（人）

入園者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
有料	西入口	2,535	6,230	5,371	2,848	3,620	13,158	19,193	12,012	7,125	2,255	10,221	13,174	97,742
	西ｻｲｸ入口	2,036	5,984	5,894	2,872	4,317	9,276	9,813	8,840	2,781	2,574	8,849	8,933	72,169
	海の中道駅入口	1,172	2,147	2,476	1,394	2,754	4,932	7,540	6,375	5,994	1,989	3,895	8,946	49,614
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	1,167	4,642	4,659	2,735	4,262	8,964	9,211	9,284	8,272	2,971	9,394	10,252	75,813
	光と風の広場入口	571	1,743	2,015	1,438	3,007	4,685	4,320	4,795	1,521	1,640	3,586	3,253	32,574
	カモ池入口	21	72	94	47	90	103	128	127	69	72	107	139	1,069
	海の家	0	0	19	36	92	117	143	114	18	8	7	104	
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有料　計		7,502	20,818	20,528	11,370	18,142	41,235	50,348	41,547	25,780	11,509	36,059	44,801	329,639
無料	西入口	954	3,289	2,866	1,606	2,200	10,451	20,328	7,636	3,322	1,444	6,559	6,353	67,008
	西ｻｲｸ入口	1,856	6,037	4,997	2,486	3,948	9,354	14,808	8,427	2,711	2,473	8,304	7,942	73,343
	海の中道駅入口	431	820	832	669	1,195	2,595	7,365	2,165	1,758	598	1,972	3,790	24,190
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	1,216	5,051	4,453	2,630	4,709	9,281	15,692	9,510	6,722	3,075	10,084	9,900	82,323
	光と風の広場入口	261	936	1,287	999	1,477	2,463	4,759	2,555	757	777	1,543	1,769	19,583
	カモ池入口	11	17	35	35	42	76	101	44	21	18	40	47	487
	海の家	0	0	23	80	168	253	935	753	139	15	4	473	
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料　計		4,729	16,150	14,493	8,505	13,739	34,473	63,988	31,090	15,430	8,400	28,506	30,274	269,777
合計		12,231	36,968	35,021	19,875	31,881	75,708	114,336	72,637	41,210	19,909	64,565	75,075	599,416

入園者数		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
有料	西入口	14,136	19,626	38,330	25,650	97,742
	西ｻｲｸ入口	13,914	16,465	21,434	20,356	72,169
	海の中道駅入口	5,795	9,080	19,909	14,830	49,614
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	10,468	15,961	26,767	22,617	75,813
	光と風の広場入口	4,329	9,130	10,636	8,479	32,574
	カモ池入口	187	240	324	318	1,069
	海の家	19	245	275	119	658
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0
有料　計		48,848	70,747	117,675	92,369	329,639
無料	西入口	7,109	14,257	31,286	14,356	67,008
	西ｻｲｸ入口	12,890	15,788	25,946	18,719	73,343
	海の中道駅入口	2,083	4,459	11,288	6,360	24,190
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	10,720	16,620	31,924	23,059	82,323
	光と風の広場入口	2,484	4,939	8,071	4,089	19,583
	カモ池入口	63	153	166	105	487
	海の家	23	501	1,827	492	2,843
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0
無料　計		35,372	56,717	110,508	67,180	269,777
合計		84,220	127,464	228,183	159,549	599,416

有料内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大人	西入口	2,228	5,521	4,924	2,664	3,516	12,558	16,048	11,126	6,803	2,062	9,656	11,751	88,857
	西ｻｲｸ入口	1,747	5,555	5,509	2,643	4,062	8,854	8,467	8,178	2,502	2,358	8,306	7,942	66,123
	海の中道駅入口	1,105	1,958	2,311	1,324	2,668	4,737	6,513	6,014	5,879	1,925	3,713	8,374	46,521
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	1,072	4,382	4,483	2,645	4,163	8,727	8,626	8,844	8,101	2,885	9,128	9,665	72,721
	光と風の広場入口	544	1,673	1,934	1,394	2,934	4,549	4,100	4,614	1,436	1,553	3,393	3,065	31,189
	カモ池入口	11	54	45	29	69	76	83	80	33	34	71	88	673
	海の家	0	0	17	36	88	115	142	110	18	8	7	104	645
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー	西入口	307	709	447	184	104	600	3,145	886	322	193	565	1,423	8,885
	西ｻｲｸ入口	289	429	385	229	255	422	1,346	662	279	216	543	991	6,046
	海の中道駅入口	67	189	165	70	86	195	1,027	361	115	64	182	572	3,093
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	95	260	176	90	99	237	585	440	171	86	266	587	3,092
	光と風の広場入口	27	70	81	44	73	136	220	181	85	87	193	188	1,385
	カモ池入口	10	18	49	18	21	27	45	47	36	38	36	51	396
	海の家	0	0	2	0	4	2	1	4	0	0	0	0	13
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【Ｒ３】　　（人）

入園者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
有料	西入口	33,294	15,929	1,649	4,173	377	0	21,130	10,929	8,000	4,353	6,614	13,581	120,029
	西ｻｲｸ入口	13,012	7,454	1,501	2,886	312	0	12,962	8,427	2,759	3,953	4,267	10,716	68,249
	海の中道駅入口	10,743	7,431	965	3,522	313	0	11,929	5,557	7,907	2,441	4,161	10,175	65,144
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	13,762	8,567	1,701	4,448	477	0	11,536	8,459	7,840	4,941	4,902	11,664	78,297
	光と風の広場入口	4,408	3,438	622	880	112	0	1,014	0	0	0	0	4,751	15,225
	カモ池入口	121	75	39	49	9	0	88	0	0	0	0	252	633
	海の家	195	0	76	255	0	0	299	290	161	0	0	54	
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有料　計		75,535	42,894	6,553	16,213	1,600	0	58,958	33,662	26,667	15,688	19,944	51,193	348,907
無料	西入口	16,619	7,171	794	2,192	283	0	15,570	7,407	6,706	3,157	4,167	9,158	73,224
	西ｻｲｸ入口	13,227	5,910	1,329	2,668	297	0	13,972	8,206	2,346	3,923	4,475	12,552	68,905
	海の中道駅入口	5,356	2,222	344	1,424	193	0	5,782	2,891	3,111	1,439	1,626	6,382	30,770
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	14,299	6,322	1,576	4,336	587	0	15,594	9,128	6,809	5,515	5,757	14,575	84,498
	光と風の広場入口	3,758	1,360	238	710	150	0	1,291	0	0	0	0	3,751	11,258
	カモ池入口	190	18	6	18	4	0	26	0	0	0	0	111	373
	海の家	716	0	109	947	0	0	2,889	2,395	914	0	0	131	
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
無料　計		54,165	23,003	4,396	12,295	1,514	0	55,124	30,027	19,886	14,034	16,025	46,660	277,129
合計		129,700	65,897	10,949	28,508	3,114	0	114,082	63,689	46,553	29,722	35,969	97,853	626,036

入園者数		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
有料	西入口	50,872	4,550	40,059	24,548	120,029
	西ｻｲｸ入口	21,967	3,198	24,148	18,936	68,249
	海の中道駅入口	19,139	3,835	25,393	16,777	65,144
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	24,030	4,925	27,835	21,507	78,297
	光と風の広場入口	8,468	992	1,014	4,751	15,225
	カモ池入口	235	58	88	252	633
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0
有料　計		124,711	17,558	118,537	86,771	347,577
無料	西入口	24,584	2,475	29,683	16,482	73,224
	西ｻｲｸ入口	20,466	2,965	24,524	20,950	68,905
	海の中道駅入口	7,922	1,617	11,784	9,447	30,770
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	22,197	4,923	31,531	25,847	84,498
	光と風の広場入口	5,356	860	1,291	3,751	11,258
	カモ池入口	214	22	26	111	373
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0
無料　計		80,739	12,862	98,839	76,588	269,028
合計		205,450	30,420	217,376	163,359	616,605

有料内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
大人	西入口	30,144	15,007	1,528	3,994	357	0	18,164	9,966	7,639	3,954	6,120	12,342	109,215
	西ｻｲｸ入口	11,593	7,037	1,398	2,720	287	0	11,452	7,787	2,560	3,593	3,958	9,808	62,193
	海の中道駅入口	10,003	7,207	927	3,453	310	0	10,898	5,194	7,794	2,352	4,061	9,741	61,940
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	13,078	8,287	1,654	4,336	459	0	10,845	8,057	7,650	4,746	4,742	11,160	75,014
	光と風の広場入口	4,165	3,291	590	837	106	0	906	0	0	0	0	4,438	14,333
	カモ池入口	80	59	28	25	3	0	48	0	0	0	0	225	468
	海の家	195	0	74	253	0	0	296	286	160	0	0	50	1,314
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー	西入口	3,150	922	121	179	20	0	2,966	963	361	399	494	1,239	10,814
	西ｻｲｸ入口	1,419	417	103	166	25	0	1,510	640	199	360	309	908	6,056
	海の中道駅入口	740	224	38	69	3	0	1,031	363	113	89	100	434	3,204
	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口	684	280	47	112	18	0	691	402	190	195	160	504	3,283
	光と風の広場入口	243	147	32	43	6	0	108	0	0	0	0	313	892
	カモ池入口	41	16	11	24	6	0	40	0	0	0	0	27	165
	海の家	0	0	2	2	0	0	3	4	1	0	0	4	16
	※1　ﾌﾟｰﾙ管理棟入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■「ﾊﾟｰｸエリア」入園者数のカウント方法

ﾊﾟｰｸｴﾘｱ入園者	西入口入園者数			西ｻｲｸ入口入園者数			海の中道駅入口入園者数			ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ入口入園者数			光と風に広場入口入園者数			カモ池入口入園者数			※1 ﾌﾟｰﾙ管理棟入口入園者数		
重複無	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料
① =A+D+G+J+M+P+S	A=B+C	B	C	D=E+F	E	F	G=H+I	H	I	J=K+L	K	L	M=N+O	N	O	P=Q+R	Q	R	S=T+U	T	U

注　※1　開設期間は、ﾌﾟｰﾙｵｰﾌﾟﾝ時のみ

■「無料エリア」入園者数のカウント方法

無料ｴﾘｱ入園者	ﾘｿﾞｰﾄｴﾘｱ											近隣広場
	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ入館者			ｻﾞ・ﾙｲｶﾞﾝｽﾞ			ﾏﾘｰﾅ			茶室	無料	無料
重複無	重複無			重複有			重複無					
	計	有料	無料	計	宿泊者数	ﾚｽﾄﾗﾝ等	計	ﾏﾘｰﾅ	ﾃﾆｽ			
②=ｱ+ｴ+ｷ+ｺ+ｻ+ｼ	ｱ=ｲ+ｳ	ｲ	ｳ	ｴ=ｵ+ｶ	ｵ	ｶ	ｷ=ｸ+ｹ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ

海の中道海浜公園　利用実態調査アンケート

令和４年　　月　　日　　時間　　：
（場所：海の中道駅口・ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ口・西口・西ｻｲｸﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ口・光と風の広場口）

以降の質問について　　にご記入ください。

あなた自身のことをお教えください

Q１：あなた自身のことをお教えください。

性別	1 男性	2 女性					
年代	1 10 代	2 20 代	3 30 代	4 40 代			
	5 50 代	6 60～64 歳	7 65～69 歳	8 70 歳以上			
お住まい	（　　）	都・道府・県（　　）	市（　　）区	郡（　　）町・村			
最近の来園頻度	1 １年間で６回以上	2 １年間に３～５回	3 １年に１～２回	4 １年に１回未満			
	5 今回がはじめて	*※ここ数年間の利用状況（１年間の平均利用回数）を回答ください*					
同伴者	1 ひとりで	2 知人・友人と	3 カップルで	4 ご夫婦のみで			
	5 ご家族連れで	6 学校等で	7 地域の団体で	8 職場の団体で			
	9 旅行会社のツアーで	10 その他（　　）					
同伴者数	65 歳以上の方[　　]名、　大人[　　]名、　小中学生[　　]名、　未就学児[　　]名 *※ご家族連れの方のみ、ご自身を含む同伴者数をお教えください*						
来訪手段	1 鉄道	2 路線バス	3 貸切バス	4 自家用車	5 レンタカー		
	6 タクシー	7 自転車	8 徒歩のみ	9 ベイサイドからの船	10 シーサイドももちからの船		
	11 その他（具体的に：　　）						
所要時間	1 30 分未満	2 30 分～1 時間未満	3 1 時間～1 時間 30 分未満	4 1 時間 30 分～2 時間未満	5 2 時間以上		

本日の公園の利用についてお教えください

Q２：本日の来園時間と退園時間をお教えください。（24 時間表記でご記入ください）

来園時間	時　　分頃	～	退園時間	時　　分頃

Q３：本日、海の中道海浜公園にいらっしゃった目的をお教えください。（○は３つまで）

1 散歩	2 花を見る	3 のんびりする	4 食事する
5 子供を遊ばせる	6 自然を満喫する	7 運動する	8 催し/イベントに参加する
9 遊園地で遊ぶ	10 動物と触れ合う	11 海の景色を眺める	12 プールで遊ぶ
13 その他（　　）			

Q４-①：本日ご利用された、またはご利用予定のサービスをお教えください。（○はいくつでも）

1 ランニングコース	2 パターゴルフ	3 ディスクゴルフ	4 レンタサイクル
5 園内バス	6 電動キックボード	7 特になし	
8 その他（具体的に：　　）			

Q４-②：本日ご利用された、またはご利用予定の施設について、下の地図中の施設名・番号に○をお付けください。（※施設名がない場合は、概ねの場所と施設名を図中に記載ください。）



Q４-③：Q４-②で回答いただいた本日ご利用された施設は満足されましたか。
（施設番号をご記入ください）

非常に満足した施設	まあまあ満足した施設	やや不満のあった施設	非常に不満のあった施設
（施設番号を記入）	（施設番号を記入）	（施設番号を記入）	（施設番号を記入）

→ ウラ面のご記入もお願いいたします

別紙１６

本日の公園利用の感想をお教えください

Q5：本日、公園には満足されましたか。100 点満点では何点になりますか。(○はひとつ)

1 非常に満足	2 まあまあ満足	3 やや不満	4 非常に不満
点数　　点／100 点			

「まあまあ満足」「やや不満」「非常に不満」に回答された方にお尋ねします

Q6：Q5 で「非常に満足」と回答しなかった具体的な理由をお聞かせください。(自由回答)
(※今後改善する際の参考とするため、具体的なエリア・施設等もお教えください。)

Q7：公園のお花（花修景）は満足されましたか。100 点満点では何点になりますか。(○はひとつ)

1 非常に満足	2 まあまあ満足	3 やや不満	4 非常に不満	5 わからない
点数　　点／100 点				

Q8：その他の公園のサービスについて感想をお教えください。(各項目○はひとつ)

【利用後の感想】		非常に満足	まあまあ満足	やや不満	非常に不満	わからない
公園のサービスについて	自然や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	芝生や樹木の手入れの良さ	1	2	3	4	5
	子どもの遊び場としての安心感、安全性	1	2	3	4	5
	高齢者・障がい者の利用への配慮の良さ	1	2	3	4	5
	公園内の清潔さ、清掃状態の良さ	1	2	3	4	5
	レストラン・売店の内容	1	2	3	4	5
	レストラン・売店の利用しやすさ(数・混雑等)	1	2	3	4	5
	トイレの利用しやすさ（数・混雑等）	1	2	3	4	5
	イベントの楽しさ	1	2	3	4	5
	スタッフの対応・サービスの良さ	1	2	3	4	5
園内の移動について	レンタサイクルのつかいやすさ・安全性（車両）	1	2	3	4	5
	レンタサイクルの利用しやすさ（数・混雑等）	1	2	3	4	5
	園内の案内標識のわかりやすさ	1	2	3	4	5
	園内の移動しやすさ・移動時間	1	2	3	4	5
	おすすめ施設マップの利用しやすさ	1	2	3	4	5
公園までの移動について	公園までの交通の便のよさ	1	2	3	4	5
	駐車場の利用しやすさ	1	2	3	4	5

今後の公園の利用に向けたご意見・ご要望をお教えください

Q9：海浜公園で行ってほしいイベントがありましたらお教えください（○はいくつでも）

1 花火大会	2 コンサートや演劇	3 スポーツ大会・教室
4 各種ゲーム大会	5 自然観察会	6 野鳥観察会
7 環境学習プログラム	8 園芸教室や植木市	9 地域の祭り
10 イルミネーション	11 プロジェクションマッピング	12 VR を使った体験
13 その他　（具体的に：　　）		

Q１０：その他、海浜公園に関するご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記入ください。

公園に関する情報収集の仕方をお教えください

Q１１：海の中道海浜公園に関する情報は何で得られましたか。（○はいくつでも）

1 前から知っていた（特に情報収集していない）	2 友人・知人から聞いて	3 新聞記事
4 テレビ（情報番組）	5 テレビ（ＣＭ）	6 ラジオ
7 じゃらん・九州ウォーカー等の旅行雑誌	8 チラシ（学校配布分）	9 チラシ（新聞折込）
10 チラシ（その他）	11 リビング誌などのフリーペーパー	12 ポスター
13 公園のホームページ	14 公園の Facebook	15 公園のインスタグラム
16 公園の YouTube	17 公園の Twitter	18 公園以外のホームページ・ブログ
19 公園以外の SNS	20 市政だより等の市町村広報紙	21 商業施設等でのＰＲ活動
22 駅等の公共交通機関での案内	23 その他　（具体的に：　　）	

Q１２：本日、公園ガイド（案内マップ）は利用されましたか。（○はひとつ）

1 利用した	2 利用しなかった



光と風の広場の滞在型レクリエーション拠点についてお教えください

Q１３：３月 15 日にオープンした光と風の広場の滞在型レクリエーション拠点についてお聞きします。

① 光と風の広場がリニューアルされたことについて知っていましたか。(○はひとつ)

1 知っていた	2 知らなかった



② 西口・西サイクリングセンター口・ワンダーワールド口・海の中道駅口から入園した方にお聞きします。
光と風の広場には行きましたか。(○はひとつ)

1 行った・行く予定	2 行きたかったが行けなかった	3 行かなかった（行く予定もなかった）

③ 光と風の広場口から入園した方にお聞きします。
公園の西側（くじらぐもふわんポリン・花の丘・動物の森等）には行きましたか。(○はひとつ)

1 行った・行く予定	2 行きたかったが行けなかった	3 行かなかった（行く予定もなかった）

④ 「行った・行く予定」と答えた方にお聞きします。利用された・利用する予定の移動手段を教えてください。(○はひとつ)

1 レンタサイクル	2 電動キックボード	3 園内バス	4 徒歩
5 自家用車	6 その他（　　）		

⑤ 「行きたかったが行けなかった」と答えた方にお聞きします。
行けなかった理由をお聞かせください（自由回答）

～ご協力、誠にありがとうございました～

海の中道海浜公園　大規模花修景に関する満足度調査票

調査日	月　日	平 ・ 休	時間　：	調査地点

問１：本日、公園のお花（大規模花修景）には満足されましたか。(一つに○)
また、百点満点では何点になりますか。

1.	非常に満足	2.	まあまあ満足	3.	やや不満	4.	非常に不満

（　　）点 ／100 点

「まあまあ満足」「やや不満」「非常に不満」と回答された方にお尋ねします

問２：問１で「非常に満足」と回答しなかった具体的な理由をお聞かせください。

問３：本日ご覧になった場所や、これからご覧になる場所をお聞かせください。（各項目にひとつ○）
また、ご覧になった場所の満足度をお聞かせ下さい。

花修景スポット	見た	見る予定	見ない	非常に満足	まあまあ満足	やや不満	非常に不満
① 花の丘	1	2	3	1	2	3	4
② フラワーミュージアム	1	2	3	1	2	3	4
③ バラ園	1	2	3	1	2	3	4
④ 虹の花壇	1	2	3	1	2	3	4
⑤ 彩りの花壇	1	2	3	1	2	3	4
⑥ 花桟敷・シンフォニーガーデン	1	2	3	1	2	3	4

フラワーピクニックのメインスポット



問４：今回のフラワーピクニック 2022 をご覧になって、お気づきの点がありましたらお聞かせ下さい。（いくつでも○）

1.	花が少ない、咲いていない	2.	花の種類、配置、バランスが気になる	3.	花の広がりが少ない
4.	人が多くてみづらい	5.	利用者マナーが気になる	6.	事前情報と異なる(HP 写真等)
7.	花の解説版が少ない（具体的な場所：　　）			8.	案内板が少ない
9.	特になし	10.	その他（具体的に：　　）		

問５：本日は、どのお花を目当てにいらっしゃいましたか。(いくつでも○)

1.	ネモフィラ	2.	チューリップ	3.	アイスランドポピー	4.	ルピナス
5.	バラ	6.	その他（具体的に：　　）				

問６：問５の目当てのお花を含め、お花の開花状況や見ごろの時期はご存知でしたか。(一つに○)

1.	知っていた	2.	知らなかった

問７：「フラワーピクニック 2022」に関する情報は何から得ましたか。（いくつでも○）

1.	公園に来て初めて知った（事前に情報を得ていない）				
2.	毎年来ている	3.	友人・知人から聞いて	4.	新聞記事
5.	テレビ（情報番組）	6.	テレビ（ＣＭ）	7.	ラジオ
8.	じゃらん・九州ウォーカー等の旅行雑誌	9.	チラシ（学校配布分）	10.	チラシ（新聞折込）
11.	チラシ（その他）	12.	リビング誌などのフリーペーパー	13.	ポスター
14.	公園のホームページ	15.	公園の Facebook	16.	公園のインスタグラム
17.	公園の YouTube	18.	公園の Twitter	19.	公園以外のホームページ・ブログ
20.	公園以外の SNS	21.	市政だより等の市町村広報紙	22.	商業施設等でのＰＲ活動
23.	駅等の公共交通機関での案内	24.	その他　（具体的に：　　）		

問８：問７の情報を調べた時期はいつごろですか。（一つに○）

1.	当日	2.	前日	3.	1 週間以内	4.	2 ～ 3 週間前	5.	3 週間以上前

問９：フラワーピクニックにいらっしゃったのは何回目ですか？（一つに○）

1.	はじめて	2.	2 回目	3.	3 回目	4.	4 回目	5.	5 回目以上

問 10：あなたの性別、年齢、居住地についてお聞かせください。

性別	1.	男性	2.	女性				
年代	1.	10 代	2.	20 代	3.	30 代	4.	40 代
	5.	50 代	6.	60～64 歳	7.	65～69 歳	8.	70 歳以上
お住まい	（　　）都・道・府・県　（　　）市・郡　（　　）区・町・村							

問 11：本日の人数構成についてお聞かせください。（一つに○）

1.	ひとり	2.	夫婦・カップル	3.	家族	4.	友人・知人	5.	修学旅行	6.	その他団体

→ *3～6 を選択された方は人数をご記入下さい*（　　）人

ご協力ありがとうございました。

【令和２年度　主催・共催・持込イベント】

別紙１７

行事種別	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	備考	料金
主催	4月1日	5月6日	FP 海の中道フラワーピクニック	一　般 希望者	※4/8～休園のため中止	0	園内全域	無料
主催	4月1日	5月6日	FP うみなかフラワーガーデン・コンテスト　市民参加部門　花壇展示	一　般 希望者	※4/8～休園のため中止	0	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP うみなかフラワーガーデン・コンテスト　プロフェッショナル部門　花壇展示	一　般 希望者	※4/8～休園のため中止	0	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP ふくおかワイワイ花壇	申込み 参加者	※4/8～休園のため中止	0	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP 花時計花壇展示	一　般 希望者	※4/8～休園のため中止	0	彩りの花壇	無料
主催	4月1日	5月6日	FP ハンギングバスケット展示	一　般 希望者	※4/8～休園のため中止	0	花時計広場	無料
主催	4月1日	5月6日	FP 動物ふれあい広場 ※動物の森PG	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	動物の森ふれあい広場	無料
主催	4月1日	5月3日	FP ポニー乗馬体験 ※動物の森PG 【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	動物の森ふれあい広場	有料
主催	4月4日	4月5日	FP 子供と巨大アート	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	西口	無料
主催	4月5日		ディスクゴルフチャレンジ	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	有料
主催	4月11日		FP 挿し芽ポットづくり	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	花時計広場	無料
主催	4月11日	4月12日	FP うみなかPicnic Day	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	子供の広場	無料
主催	4月11日	4月12日	FP あおぞらネイル体験	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	子供の広場	無料
主催	4月11日	4月12日	FP お花畑演奏会	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	子供の広場	無料
主催	4月12日		FP あおぞら絵本おはなし会 【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	子供の広場	有料
持込	4月12日		ウォーキング大会	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	園内各所	無料
主催	4月18日		FP ｸﾙｰｼﾞﾝｸﾞ体験	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	博多湾	有料
主催	4月18日		FP 押し花でiPhoneケースを作ろう	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	ふわんぽりん横シェルター	無料
主催	4月18日	4月19日	動物の森歳時記イベント 飼育の日イベント ※動物の森PG	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	動物の森	無料
主催	4月19日		森の池エリアオープニングイベント	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	森の池エリア周辺	無料
主催	4月19日		クイズ&スタンプラリー ※森の池OPイベント	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	パノラマ広場受付、森の池エリア	無料
主催	4月19日		ディスクゴルフチャレンジin森の池 ※森の池OPイベント	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	パノラマ広場受付、森の池エリア	無料
主催	4月19日		松ぼっくりクラフト ※森の池OPイベント	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	森の池・利活用拠点	有料
主催	4月25日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	4月25日		プチボランティア（4月）	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	未定	無料
主催	4月26日		FP 福岡市消防音楽隊ふれあいコンサート	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	4月26日		FP 博多織ミニがま口キーホルダーづくり	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	花時計広場	有料
主催	4月29日		FP 春の貝殻細工＆紙芝居「金印物語」	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	花時計広場	有料
主催	5月1日		プチボランティア（5月）	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	未定	無料
主催	5月2日		FP うみなかキッズコンサート	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	5月2日	5月3日	FP 癒しのこけ玉体験教室	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場	有料
主催	5月2日		FP 電動ろくろ陶芸体験	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	ふわんぽりん横シェルター	有料
主催	5月2日		FP ラグビー体験	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場	無料
主催	5月4日		FP ボッチャ体験	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場	無料
主催	5月4日	5月6日	FP ヒツジの毛刈りと フェルトボール作り ※動物の森PG	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	動物の森ふれあい広場	無料
主催	5月5日		FP みんなでキャッチボール体験	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場	無料
主催	5月6日		チューリップボランティア～球根の掘り取り作業～ ※ファミボラ活動	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	虹・彩りの池 チューリップ花壇	無料
主催	5月6日		FP うみなかダンスフェスティバル	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場 特設ステージ	無料
主催	5月6日		FP サッカー体験	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場	無料
主催	5月9日	5月31日	うみなかバラまつり	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園・フラワーミュージアム・ 西口カナール	無料
主催	5月9日	5月31日	うみなかバラまつり うみなか恋みくじ	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園	無料
主催	5月9日		うみなかバラまつり バラのフラワーアレンジメント教室	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	子供の広場管理棟	有料
主催	5月9日	5月31日	うみなかバラまつり 香りのバラ選抜総選挙	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園	無料
主催	5月9日	5月31日	うみなかバラまつり ローズヒップティ試飲	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園	無料
主催	5月9日	5月10日	動物の森歳時記イベント 母の日　イベント ※動物の森PG	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	動物の森	無料
主催	5月9日		ハルゼミ・ノルディック・ウォーキング＜新規＞	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	森の池	有料
主催	5月10日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	5月10日		うみなかバラまつり ハーブのバスソルトつくり体験	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園内東屋	有料
主催	5月16日		うみなかバラまつり 香りのローズセミナー	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	森の家レクチャールーム	無料
主催	5月16日		うみなかバラまつり 有島薫氏と巡るバラ園ツアー	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園	無料
持込	5月16日	5月17日	野外コンサートCIRCLE' 20	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	野外劇場	有料
主催	5月23日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	5月30日		うみなかバラまつり オリジナルバッジづくり	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園内東屋	有料

持込	5月30日	5月31日	第12回ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｷｬﾝﾌﾟ in九州2020	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	光と風の広場デイキャンプ場	有料
主催	6月6日	6月7日	動物の森歳時記イベント 虫歯予防の日イベント	一　般 希望者	動物の歯の仕組みやエサの食べ方などについての解説をパネルで紹介するイベントを開催した。	0	動物の森	無料
持込	6月7日		ラグビー練習	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断により中止	0	博多湾パノラマ広場	無料
主催	6月13日	6月14日	オウム・インコDAY	一　般 希望者	動物の森で飼育している希少種のインコやオウムについての解説をパネルで紹介するイベントを開催した。	0	動物の森	無料
主催	6月14日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	雨天の為、中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
持込	6月14日		ラグビー練習	申込み 参加者	雨天の為、中止	0	博多湾パノラマ広場	無料
主催	6月20日	6月21日	動物の森歳時記イベント 父の日　イベント	一　般 希望者	動物お父さんにスポットをあて、親子の様子や子育て方法についての解説をパネルで紹介するイベントを開催した。	0	動物の森	無料
持込	6月21日		ラグビー練習	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断により中止	0	博多湾パノラマ広場	無料
主催	6月27日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	イベント開始後に雨天となり中断。結果、参加者無し。	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
持込	6月28日		ラグビー練習	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断により中止	0	博多湾パノラマ広場	無料
持込	7月4日	7月5日	夏空マルシェ	申込み 参加者	コロナの影響で食材の売り先に困る生産者と求めるお客様とを繋げるマルシェイベントを開催した。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	7月5日		グローイングアップワイルドー般指導者講習会※環境学習PG	申込み 参加者	疑似体験などを通じて自然や野生動物について学ぶ幼児向け環境教育プログラムの一般指導者（エデュケーター）資格取得講習会を行った	15	光と風の広場、環境共生の森	有料
持込	7月8日	8月29日	シネマナイト	申込み 参加者	夏の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	7,181	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	7月12日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	1	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	7月18日	8月2日	動物の森歳時記イベント クワガタ・カブトムシハウス ※動物の森PG	一　般 希望者	カブトムシやクワガタを見て、触って、楽しめるクワガタ・カブトムシハウスを実施した。	3066	動物の森	無料
持込	7月18日	7月19日	野外コンサート Ｎｕｍｂｅｒ　Ｓｈｏｔ2020	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断のより中止		野外劇場	有料
主催	7月23日		プチボランティア（7月）	申込み 参加者	月１～２回、植物管理や、動物管理、園内清掃、イベント補助などを行う単発のボランティア活動を実施します。7月は潮見台周辺の海岸清掃を行った。	23	潮見台周辺 海浜部	無料
主催	7月25日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	6	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	7月25日		サンセットビーチヨガ～海辺でカフェ～	申込み 参加者	玄界灘に沈む夕日の鑑賞をしながらヨガを楽しんでいただくイベントを実施した。	16	潮見台周辺 海浜部	有料
主催	7月8日	8月29日	シネマナイト	一　般 希望者	夏の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	7,181	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	7月18日	8月2日	動物の森歳時記イベント カブトムシ展示※動物の森PG	一　般 希望者	国産のカブトムシを見て、触って、楽しめるカブトムシ展示を実施した。	3,066	動物の森	無料
主催	8月1日	8月31日	いきものコレクションアプリ「Biome」でもふもふ動植物＆海浜植物を探そう！	一　般 希望者	いきものコレクションアプリ「Biome」でコキア・パンパスグラス等のもふもふした動植物や海浜植物を集めるイベントを開催した。	564	園内各所	無料
主催	8月1日	8月31日	夏休み限定！ 森のエ作セットプレゼント	一　般 希望者	森の家の木材を利用した工作セットをプレゼントした。	150	大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月1日	8月31日	木陰Ｌａｂｏ	一　般 希望者	大芝生広場レストハウス周辺にミストシャワー＆誰でも自由に使えるティピーテントとタープを設置し、大芝生売店で提供するひんやりスイーツをテント内で楽しめるイベントを開催した。		大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月1日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 ぽよぽよ水をつくろう	一　般 希望者	わかめやコンブのぬるぬる成分を使って不思議なぽよぽよ水を作った。	67	大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月2日		プチボランティア（8月）	申込み 参加者	森の池エリアが閉鎖中であったため、里の家に場所を変更して実施した。 森の池ボランティアのサポートの元、森の池エリアの樹名板とママコナの名札を作ってもらい、森の池の通行可能な西側園路に一部設置してもらった。	20	森の池利活用拠点、森の池	無料
主催	8月2日	8月31日	動物の森歳時記イベント 夏のプレゼントday ※動物の森PG	一　般 希望者	夏の暑い時期に、動物たちへ氷や果物などをプレゼントする様子を観覧していただくイベント等を実施した。	383	動物の森	無料
主催	8月2日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 風車をつくろう	一　般 希望者	くるくる回るカラフルなオリジナルの風車を作った。	73	大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月8日		カスミサンショウウオ観察会(仮)	申込み 参加者	森の家でカスミサンショウウオの保全についてマリンワールド海の中道の中村館長が紹介した後、保全枠にてカスミサンショウウオを探し観察した。 また、いこいの森の池の水生昆虫などを採集し、室内で分類して観察した。	14	森の家レクチャールーム、いこいの森	有料
主催	8月8日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】すっきり香りのディフューザー作り	一　般 希望者	ハッカ油の香りがするリードディフューザーを作った。	24	大芝生レストハウス近く	有料
主催	8月9日		野外サマースクール	申込み 参加者	小学生を対象とした野外体験プログラムを開催します。自然観察、野外調理、夜プログラムなど様々なプログラムを開催した。	24	環境共生の森、他	有料
主催	8月9日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	11	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	8月9日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 どろ水からきれいな水を作ろう	一　般 希望者	ペットボトルでろ過装置を作って水をきれいにする体験を行った。	29	大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月10日		動物の森1日飼育員体験～小・中学生編～ ※動物の森PG	申込み 参加者	小学生4・5・6年生及び中学生を対象に、動物の森での飼育作業を通じて動物に関する知識や飼育員の仕事を学ぶことができるプログラムを実施した。	18	動物の森	有料
主催	8月15日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 ハンドバイク体験	申込み 参加者	パラリンピックの正式種目でもある「ハンドバイク」を体験するイベントを開催した。	27	大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月16日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 ボッチャ体験	一　般 希望者	パラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」を体験するイベントを開催した。	18	大芝生レストハウス近く	無料
主催	8月19日		プチボランティア（8月）	申込み 参加者	環境共生の森サポート・ボランティアのガイド・作業指導のもと、環境共生の森の植樹エリアの下草刈りを行った	17	環境共生の森	無料
主催	8月22日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	4	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	8月22日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 しゅわしゅわ入浴剤作り	一　般 希望者	好きな色と香りの入浴剤を手作り体験を行った。	21	大芝生レストハウス近く	有料
主催	8月23日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 羊毛フェルトボールクラフト	一　般 希望者	草木染で染めた羊毛を使って、フェルトボールのマグネットをつくりを行った。	23	大芝生レストハウス近く	有料
主催	8月29日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 みんなで飛ばそう！かみひこうき	一　般 希望者	様々な紙飛行機を作って、公園の広場で思いっきり飛ばすイベントを実施した。	24	大芝生レストハウス近く	有料
主催	8月30日		木陰Ｌａｂｏ 【夏の体験イベント】 松ぼっくりクラフト	一　般 希望者	貝殻や松ぼっくりで装飾したコルクボードをつくイベントを実施した。	39	大芝生レストハウス近く	有料
主催	9月2日	9月26日	シネマナイト	申込み 参加者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	2,730	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	9月5日		マツ林ボランティア ※ファミボラ活動	申込み 参加者	市民ボランティアを募集し、玄界灘側海浜部のクロマツ林の松葉かきや清掃等を行うボランティア作業を行った。	28	森の池	無料
主催	9月13日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	イベント中に雨天となった結果、参加者無し	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
持込	9月13日		ラグビー練習	申込み 参加者	筑紫丘ラグビースクールのチーム内の練習を行った。	352	博多湾パノラマ広場	無料
主催	9月19日	11月3日	うみなか＊はなまつり ～もふもふコキア・レッドシーズン～	一　般 希望者	地域・市民との協働により、花に関するイベントや芸術・文化の香る様々な催しを通じ、秋の公園の魅力を発信するイベントを開催した。		園内各所	無料
主催	9月19日	9月22日	動物の森歳時記イベント　　敬老の日　イベント ※動物の森PG	一　般 希望者	動物の森にいる長寿動物を紹介するパネル展示やガイドを実施した。	120	動物の森	無料
主催	9月19日	11月3日	デジタルスタンプラリー	一　般 希望者	ＪＲ九州アプリを活用し、花の丘をはじめとした園内の見頃の花などを楽しく周遊できるスタンプラリーを開催した。	564	園内各所	無料
主催	9月20日		うみなか＊はなまつり　　プリザーブドフラワー教室	申込み 参加者	季節の花を】使ったプリザーブドフラワー教室を行った。	26	森の家レクチャールーム	有料
持込	9月20日		ラグビー練習	申込み 参加者	草ヶ江ヤングラガーズクラブの練習を行った。	261	博多湾パノラマ広場	無料

持込	9月20日		サッカー合宿	申込み参加者	野多目フットボールクラブチーム内の練習を行った。	53	大芝生広場	無料
主催	9月23日		プチボランティア（9月）	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアのガイド・作業指導のもと、環境共生の森の植樹エリアのS19、S18（一部）下草刈りを行った	18	環境共生の森	無料
持込	9月26日	9月27日	ラグビー練習	申込み参加者	ぎんなんリトルラガーズの練習を行った。	579	大芝生広場	無料
主催	9月26日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	10	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
共催	9月27日		東区よかまち・よかとこ歩・歩・歩（さんぽ）海の中道・幻の「森の池」を探して	申込み参加者	ガイドウォーキングを実施した。 ガイドは東区歴史ガイドボランティア連絡会メンバー及び管理センタースタッフにて実施した。	30	海の中道駅口前～カモ池～	無料
主催	9月27日		うみなか＊はなまつり　　電動ロクロ体験	申込み参加者	電動ロクロを使って陶器づくり体験を行った。	42	水辺のレストハウス	有料
主催	9月27日		こども自転車教室	申込み参加者	楽しく自転車の乗り方を練習することができる自転車教室を実施した。	53	光と風の広場	有料
主催	10月2日		団体プログラム受入 星槎国際高等学校 福岡東学習センター 森づくりプログラム	申込み参加者	課外学習で園内を見学後、環境共生の森で下草刈り体験とタイムトンネルの見学を行った。	32	環境共生の森	無料
主催	10月3日	11月3日	うみなか＊はなまつり 動物ふれあい広場 ※動物の森PG	一　般希望者	ヤギ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を実施した。	12541	動物の森	無料
主催	10月3日		クルージング体験教室	申込み参加者	海の魅力を親子で体験できる『クルージング体験』を開催した。	22	海の中道マリーナ	有料
持込	10月3日		秋空マルシェ	申込み参加者	コロナの影響で食材の売り先に困る生産者と求めるお客様とを繋げるマルシェイベントを開催した。	1900	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	10月4日	11月1日	うみなか＊はなまつり ポニー乗馬体験 ※動物の森PG	一　般希望者	テンガロンハットやバンダナを身に付け、ウエスタンカウボーイ気分で乗馬できる、ポニー乗馬体験を実施した。	304	動物の森ふれあい広場	有料
主催	10月4日		みらいの森体験塾～～どんぐりポットづくり＆ジュズ玉のブレスレット作り～ ※環境学習PG	一　般希望者	どんぐりや土に触れ、楽しみながらどんぐりポットづくり体験を行います。また数珠玉を使ってブレスレッド作りを行った。	29	森の池 （森の池フェス内で実施）	有料
主催	10月4日		いけ！いけ！森の池フェスタ	一　般希望者	森の池利活用協議会メンバーによるイベントを行った。	300	森の池	有料
主催	10月4日		森の池ノルディック・ウォーキング＜新規＞ ※森の池フェス内	一　般希望者	ノルディック・ウォーク公認指導員の下、森の池の自然を楽しみながら、ノルディック・ウォーキング体験を行った。	2	森の池	有料
主催	10月4日		葉っぱをみてみようエコバッグ作り＜新規＞ ※森の池フェスタ内	一　般希望者	森の池の葉っぱを観察し、葉っぱをスタンプにしてエコバッグを作るイベントを開催した。	18	森の池利活用拠点	有料
主催	10月4日		森の池ミッションラリー＜新規＞ ※森の池フェスタ内	一　般希望者	森の池を巡る、森の池のマツや動物の足跡を題材にした内容のミッションラリーを実施した。	65	森の池	無料
主催	10月4日		苔玉作り＜新規＞ ※森の池フェスタ内	一　般希望者	森の池利活用協議会に所属している建設環境研究所によるプログラムとして、苔玉づくりを実施した。	22	森の池利活用拠点	有料
主催	10月4日		松ぼっくりクラフト＜新規＞ ※森の池フェスタ内	一　般希望者	森の池のフランスカイガンショウの巨大松ぼっくりを使って、ミニツリーをつくる体験や、クロマツの松ぼっくりや貝殻を使ってコルクボード作りを行った。	26	森の池利活用拠点	有料
主催	10月4日		ダンボール織りでコースターづくり＜新規＞ ※森の池フェスタ内	一　般希望者	プロボノ型ボランティア彩り工房によるプログラムとして、ダンボール織りのｺｰｽﾀｰ作りを実施した。公園の動物の森のヒツジの毛を園内の植物で染めた羊毛をおりこみ、アクセントにしていただいた。	9	森の池利活用拠点	有料
主催	10月4日		ディスクゴルフチャレンジin森の池＜新規＞ ※森の池フェスタ内	申込み参加者	ディスクゴルフボランティアをしてくれている福岡県ディスクゴルフ協会によるプログラムとして、特設コースで初心者向け講習会を実施した。	33	森の池、パノラマ広場、環境共生の森	無料
主催	10月4日		親子アウトドアクッキング ※自主事業	申込み参加者	福岡県キャンプ協会名誉会長を講師に向かえ、デイキャンプ場でレンタルできる器材を使用し、クッキング教室を実施した。	17	ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場	有料
持込	10月7日	10月31日	シネマナイト	申込み参加者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	2826	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	10月11日	10月25日	ラグビー練習	申込み参加者	草ヶ江ヤングラガーズクラブの練習を行った。	635	博多湾パノラマ広場	無料
主催	10月11日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアによる初心者向け講習会で、ディスクの投げ方から、パットの仕方、ルール説明さらに安全にプレーする方法などをレクチャーした。	26	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	10月17日		花とふれあう園芸体験・ものづくり教室 さし芽ポット作り	一　般希望者	園内花壇の草花を用いて、さし芽のポット苗を作りを行った。	60	西口広場	無料
主催	10月17日	11月1日	アジアンフェスティバル トゥクトゥク試乗体験	一　般希望者	西口広場から大芝生広場の花の丘までタイの三輪タクシートゥクトゥクの特別試乗体験を行った。	324	西口広場	無料
主催	10月17日	11月1日	第１回うみなかアジアンフェスティバル2020	一　般希望者	西口広場でアジア人気国の料理が気軽に楽しめるアジアングルメフェスを開催します。会場では、アジア各国の伝統的な遊び体験、参加型のみんなで作る巨大アートなどを同時開催した。		西口広場	無料
主催	10月17日	10月18日	みんなで描く巨大アート	一　般希望者	画家の宮本大輔さんと一緒に絵やメッセージを自由に描いて巨大アート作品を作るイベントを開催した。	272	西口広場	無料
主催	10月17日	10月24日	全国一斉凧揚げ	一　般希望者	新型コロナウイルス終息を願って全国一斉に凧揚げを行うイベントを開催。海の中道海浜公園では、クジラの巨大バルーンカイトを揚げた。	3000	西口広場	無料
主催	10月17日	10月18日	アートパフォーマンス	一　般希望者	「アジア」をテーマにし、音楽に合わせて絵を描くアートパフォーマンスを開催した。	250	西口広場	無料
持込	10月17日		さんま祭り	一　般希望者	地域貢献を目的としたさんま祭りを開催した。	1200	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	10月18日		キャンプハカタサイクルツアー ※自主事業	申込み参加者	米軍キャンプ地だった公園内から西戸崎周辺にて、その跡地を巡るツアーを開催した。	5	公園内～ 西戸崎周辺	有料
主催	10月18日		アジアンフェスティバル アジアの遊び体験	一　般希望者	アジアの様々な地域の遊びを体験するイベントを開催した。	200	西口広場	無料
主催	10月24日	11月3日	うみなか＊はなまつり 香りのバラ選抜総選挙2020秋	一　般希望者	香りが特徴的なバラを選抜し、お客様の好みの香りのバラに投票をしてもらった。	1950	バラ園	無料
主催	10月24日		海浜植物育成ボランティア	申込み参加者	ハマヒルガオと美しい松林を育てるﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｲﾍﾞﾝﾄを実施した。	16	うみなかみらい橋周辺	無料
主催	10月24日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	14	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	10月24日	10月31日	動物の森歳時記イベント 動物ハロウィン	一　般希望者	大かぼちゃのプレゼントや動物と一緒に仮装フォトサービス等を実施した。	60	動物の森	有料
主催	10月24日	11月3日	うみなか＊はなまつり うみなかバラ恋みくじ	一　般希望者	バラ園・フラワーミュージアムに咲くバラの名前の書かれたカードを設置されたボックスから引き、実際に咲くバラを探し出すｾﾙﾌｶﾞｲﾄﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを開催した。	1554	バラ園	無料
主催	10月24日	11月3日	うみなか＊はなまつり ローズヒップティ試飲	一　般希望者	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止		バラ園	無料
主催	10月24日	10月25日	アジアンフェスティバル 凧作り体験・凧揚げ	一　般希望者	福岡凧の会の協力のもと、凧作り体験やじっさいに　作った凧を揚げて楽しんでいただくイベントを開催した。	90	西口広場	有料
主催	10月28日		プチボランティア（10月）	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアのガイド・作業指導のもと、環境共生の森の植樹エリアのS20（全体の2/3程度終了）下草刈りを行った。	7	環境共生の森 S20	無料
主催	9月19日	11月3日	デジタルスタンプラリー	一　般希望者	ＪＲ九州アプリを活用し、花の丘をはじめとした園内の見頃の花などを楽しく周遊できるスタンプラリーを開催した。	564	園内各所	無料
主催	9月19日	11月3日	うみなか＊はなまつり ～もふもふコキア・レッドシーズン～ 動物ふれあい広場	一　般希望者	地域・市民との協働により、花に関するイベントや芸術・文化の香る様々な催しを通じ、秋の公園の魅力を発信するイベントを開催した。			無料
主催	10月17日	11月1日	アジアンフェスティバル トゥクトゥク試乗体験	一　般希望者	タイの三輪タクシートゥクトゥクの特別試乗体験を行った。	324	西口広場	無料
主催	10月4日	11月1日	うみなかアジアンフェスティバル2020	一　般希望者	西口広場でアジア人気国の料理が気軽に楽しめるアジアングルメフェスを開催します。会場では、アジア各国の伝統的な遊び体験、参加型のみんなで作る巨大アートなどを同時開催した。		西口広場	有料
主催	10月24日	11月3日	うみなか＊はなまつり 香りのバラ選抜総選挙2020秋	一　般希望者	バラ園に咲くバラで特に香りの強い品種をピックアップして、来場者の好みの香りのバラに投票してもらうバラの人気投票を開催した。	1950	バラ園	無料
主催	10月24日	11月3日	うみなか＊はなまつり ローズヒップティ試飲 ※森の池フェス内	一　般希望者	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止		バラ園	有料
主催	10月24日	11月30日	セグウェイツアー（11月）	申込み参加者	園内の季節の花のエリアや森の中、海の近くなど、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	116	園内各所	有料
主催	11月1日		こども自転車教室	申込み参加者	楽しく自転車の乗り方を練習することができる自転車教室を実施した。	52	光と風の広場	有料
主催	11月3日		うみなか＊はなまつり 有島薫先生のローズセミナー	申込み参加者	趣味の園芸でも活躍されている、ローライフアドバイザーの有島薫先生を講師に迎えてのローズセミナーを開催した。	30	森の家レクチャールーム	無料
主催	11月3日		うみなか＊はなまつり 有島薫先生と巡るバラ園ツアー	申込み参加者	有島薫先生と一緒にバラ園を巡るガイドツアーを開催した。	30	森の池利活用拠点	無料
主催	11月6日		企業ボランティア JR九州エージェンシー 白砂青松ボランティア	申込み参加者	企業ボランティアによる白砂青松の保全の取り組みとして、海岸清掃とマツ林の管理を行った。	5	玄界灘側マツ林 及び海浜部	無料

主催	11月7日		うみなか＊はなまつり コキアほうきづくり体験	申込み 参加者	公園内のコキアを使ってほうきづくり体験を開催した。	16	森の家レクチャールーム	有料
主催	11月7日	11月29日	電動キックボード「modddy」試乗体験	申込み 参加者	電動キックボード「modddy」の試乗体験会を行った。	1386	海の中道駅口～バラ園・動物の森	有料
持込	11月7日		謎解きウォークラリー	申込み 参加者	福岡銀行従業員組合が社員の交流を図る謎解きウォークラリーを開催した。	187	博多湾パノラマ広場、森の池	有料
主催	11月7日		企業ボランティア プルデンシャル生命保険マツ林ボランティア	申込み 参加者	企業ボランティアによるマツ林の管理活動を行った。	54	森の池	有料
主催	11月8日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	5	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	11月8日		コキアの抜き取りボランティア(ファミボラ活動)	一　般 希望者	市民参加のボランティアによるコキアの抜き取り作業を行います。作業体験を通して、コキアの育て方や特長について学び、公園の花壇管理を体験していただいた。	54	花の丘	無料
主催	11月14日		団体ボランティア 勤マルの日実行委員会 森づくりボランティア	申込み 参加者	勤マルの日実行委員会によるボランティア活動の一環で環境共生の森の植樹エリアの下草刈りを行った。	40	環境共生の森	無料
主催	11月18日		プロボノ型ボランティア 福岡県造園協会 松枯れ防除対策技術研修会	申込み 参加者	松枯れ対策に関する室内講習のあと、森の家周辺のマツ林にて、樹冠注入、土壌灌注、薫蒸処理の実技研修を行った。	39	森の家レクチャールーム他	無料
主催	11月21日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	6	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	11月21日		プチボランティア（11月）	一　般 希望者	月１～２回、植物管理や、動物管理、園内清掃、イベント補助などを行う単発のボランティア活動を実施します。11月は森の池にて松林管理の作業を行った。	31	森の池	無料
主催	11月21日	11月23日	動物の森歳時記イベント 勤労感謝の日イベント　※動物の森PG	一　般 希望者	秋の味覚の野菜や果物を動物にプレゼントするイベント等を実施した。	40	動物の森	無料
共催	11月22日		海の素材でキャンドルづくり	一　般 希望者	海の素材を活用してキャンドルづくり体験を行った。	33	海の中道駅口前広場（無料エリア）	無料
持込	11月28日	11月23日	ラグビー大会	申込み 参加者	九州ラグビーフットボール協会主催のラグビー大会を開催した。	1617	大芝生広場	有料
主催	11月28日	11月29日	ディスクゴルフ競技会九州オープン	一　般 希望者	日本ディスクゴルフ協会が主催する、ディスクゴルフの公式戦を大芝生広場特設コースにおいて実施した。	90	大芝生広場	無料
主催	11月28日		ダンボールひみつ基地実証実験	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大のため中止		森の池利活用拠点	無料
主催	12月1日	12月26日	セグウェイツアー（12月）	一　般 希望者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	29	園内各所	有料
主催	12月6日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	天気はよかったものの、お客様は少なく、参加者はいなかった。	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	12月9日		団体プログラム受入 西戸崎小学校 森づくりプログラム	申込み 参加者	5年生の総合学習の時間で、西戸崎小学校と複数回の森づくりのプログラムを実施。最終回は環境共生の森にて、森の取り組みの紹介、タイムトンネル見学、植樹・草刈体験などを実施した。	76	環境共生の森	無料
主催	12月10日		プチボランティア（12月）	申込み 参加者	森の池エリア県道側フェンス沿いの清掃活動として、ゴミ拾い等を実施。ボランティア参加者には自転車に乗ってもらいながら、フェンス公園側に落ちているゴミを拾っていただいた	6	森の池	無料
主催	12月12日		博多女子高等学校インターアクト部 白砂青松ボランティア	申込み 参加者	今年で3年目となる博多女子高等学校インターアクト部による白砂青松ボランティアを実施した。	17	玄界灘側マツ林 及び海浜部	無料
持込	12月13日		アルティメット大会	一　般 希望者	アルティメットの普及を目的に、オフシーズンに男女混合の楽しい大会を行った。	252	大芝生広場	有料
主催	12月16日		プチボランティア（12月）	一　般 希望者	月１～２回、植物管理や、動物管理、園内清掃、イベント補助などを行う単発のボランティア活動を実施した。	3	環境共生の森	無料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト	一　般 希望者	野外劇場の地形を利用し、一般参加のボランティアの協力によって、10,000本のキャンドルを利用したグラウンドアートを制作する夜間開園イベントを開催した。	16880	ワンダーワールド及び野外劇場	有料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト～キャンドルボランティア ※ファミリーボランティア活動	申込み 参加者	ボランティア参加による1万本のキャンドルアートの作成を行った。	278	ワンダーワールド及び野外劇場	無料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト～メッセージキャンドル	一　般 希望者	家族や恋人…大切な人に向けて「幸せ」への願いを込めて、紙袋にメッセージを記入していただき、参加者の方々にキャンドルを灯していただいた。	191	マリンワールド前	有料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト～みんなでつくるブラックライトアート	一　般 希望者	アート作品にクリスマスにほしいもの願い、大事な人へのメッセージなど自由に描ける参加型のイベントを開催した。	67	ワンダーワールド	無料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト～クリスマスマーケット	一　般 希望者	クリスマスの雰囲気にあった光るグッズの販売を行った。	600	ワンダーワールド	有料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト～ミニプロジェクションマッピング	一　般 希望者	サンタや雪、トナカイなどが映像の中で動きだすミニプロジェクションマッピングを開催した。		マリンワールド前	無料
主催	12月19日	12月20日	うみなかクリスマスキャンドルナイト～巨大ツリーアート	申込み 参加者	地元で活躍中の画家宮本大輔さんを招きブラックライトで光る巨大ツリーを作成します。期間中はフォトスポットとして展示し写真撮影を楽しんでいただいた。		ワンダーワールド	無料
主催	12月19日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	3	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	12月19日		うみなかクリスマスキャンドルナイト～交通安全キャンペーン	一　般 希望者	「年末の交通安全県民運動」の一環としてチラシや光るリストバンドなどの啓発品を無料配布を行った。	30	マリンワールド前	無料
主催	11月3日		うみなかクリスマスキャンドルナイト～ワンダーワールドライトアップ！	申込み 参加者	光るＳＬ機関車やゴーカートなどをキャンドルナイトの期間限定でライトアップして特別営業を行った。		マリンワールド前	無料
主催	12月26日	12月27日	動物の森歳時記イベント 動物クリスマス ※動物の森PG	申込み 参加者	動物たちに餌で作ったケーキをプレゼントするイベント等を実施した。	42	動物の森	有料
主催	1月1日	1月31日	セグウェイツアー（1月）	一　般 希望者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	5	園内各所	有料
主催	1月2日		ＯＭＩＹＡＧＥづくり体験～だるまの絵付け体験～	一　般 希望者	縁起物のだるまに自由に絵付けをしオリジナルのだるまを作り、来園記念にお土産としてお持ち帰りいただくイベントを開催した。	14	子供の広場管理棟	有料
主催	1月9日	1月11日	動物の森歳時記イベント 正月　イベント ※動物の森PG	一　般 希望者	お客様にプレゼントがあたる動物おみくじイベント等を実施した。	132	動物の森	無料
主催	1月9日	2月7日	うみなかアートプロジェクト～風の人～	一　般 希望者	公園の枯コキアを活用し地元で活躍するアーティストと市民ボランティアによる野外インスタレーションを園内で制作し展示した。		花の丘	無料
主催	1月9日		うみなかアートプロジェクト～風の人をテーマに自由に木工作を作ろう！～	一　般 希望者	公園の枯コキアと森の家のクラフト材料を活用し巨大野外彫刻作品（風の人）の周りに木工作を制作し展示した。	4	花の丘	無料
主催	1月10日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	来園者数も少なく、残念ながらイベント参加者はいなかった。	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	1月16日		博多女子高等学校インターアクト部 白砂青松ボランティア	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止（先方よりキャンセル依頼）		玄界灘側マツ林 及び海浜部	無料
主催	1月23日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	2	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	2月1日	2月28日	セグウェイツアー（2月）	一　般 希望者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	11	園内各所	有料
主催	2月6日	2月7日	動物の森歳時記イベント 節分の日　イベント ※動物の森PG	一　般 希望者	動物の森のサル等の動物へエサをプレゼントするイベント等を実施した。	300	動物の森	有料
主催	2月13日	2月14日	動物の森歳時記イベント ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾃﾞｰ　イベント ※動物の森PG	一　般 希望者	動物たちにハート型にくりぬいた果物などをプレゼントするイベント等を実施した。	160	動物の森	有料
主催	2月14日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	3	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	2月14日		プチボランティア	申込み 参加者	月１～２回、植物管理や、動物管理、園内清掃、イベント補助などを行う単発のボランティア活動を実施した。	22	未定	無料
主催	2月20日		博多女子高等学校インターアクト部 白砂青松ボランティア	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止（先方よりキャンセル依頼）		玄界灘側マツ林 及び海浜部	有料
持込	2月20日		パークヨガ	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止（先方よりキャンセル依頼）		西口広場	有料
持込	2月20日		ラグビー練習	申込み 参加者	草ヶ江ヤングラガーズクラブの練習を行った。	48	大芝生広場	無料
主催	2月21日		みらいの森体験塾 ～春じゃがを植えよう～ ※環境学習PG	申込み 参加者	ボランティアのガイドによって、春じゃがの植付けをする農体験プログラムを行った。	26	環境共生の森	有料
主催	2月22日		プチボランティア	申込み 参加者	月１～２回、植物管理や、動物管理、園内清掃、イベント補助などを行う単発のボランティア活動を実施した。	3	未定	無料
主催	2月27日		クロカン日本選手権	申込み 参加者	国内トップアスリートによるクロスカントリーの日本選手権を行った。	1380	大芝生広場及び園内特設コース	有料
主催	2月27日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	3	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料

主催	1月9日	3月14日	うみなかアートプロジェクト～風の人～	一　般 希望者	公園の枯コキアを活用し地元で活躍するアーティストと市民ボランティアによる野外インスタレーションを園内で制作し展示した。		森の家	無料
主催	3月1日	3月31日	セグウェイツアー（3月）	一　般 希望者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	20	園内各所	有料
共催	3月1日	3月14日	海の中道はるかぜマラソン オンラインチャレンジ２０２１	申込み 参加者	3km、ハーフの部門のオンライン形式でのマラソン大会を開催した。	7	園内各所	有料
主催	3月1日		プチボランティア（3月）	申込み 参加者	月１～２回、植物管理や、動物管理、園内清掃、イベント補助などを行う単発のボランティア活動を実施した。		未定	無料
主催	3月1日		松林ボランティア	申込み 参加者	市民ボランティアを募集し、玄界灘側海浜部のクロマツ林の松葉かきや清掃、除草等を行うボランティア作業を行った。		未定	無料
主催	3月6日		博多女子高等学校インターアクト部 白砂青松ボランティア	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止（先方よりキャンセル依頼）		未定	無料
主催	3月13日	3月14日	動物の森歳時記イベント ホワイトﾃﾞｰ　イベント ※動物の森PG	申込み 参加者	動物たちにハート型にくりぬいた果物などをプレゼントするイベント等を実施した。	190	動物の森	有料
主催	3月13日		松の植樹事業・清掃作業	申込み 参加者	玄海灘側海浜部にクロマツの苗木を植え、海岸清掃を行った。	106	海の松原エリア、玄海灘川海浜部	無料
主催	3月13日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	19	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	3月14日		サクラの植樹体験	申込み 参加者	大芝生広場の桜並木に、天狗巣病に強い、ジンダイアケボノの苗木を植える体験を行った。	44	大芝生広場	無料
主催	3月20日	5月23日	FP2021 海の中道フラワーピクニック2021	一　般 希望者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただいた。	27405	園内全域	無料
主催	3月20日	5月23日	FP2021 うみなかフラワーガーデンコンペティション	一　般 希望者	「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである“花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデンコンペティションに応募された企業・団体の創作花壇の展示を行った。		花桟敷横	有料
主催	3月20日	3月31日	FP ハンギングバスケット展示	一　般 希望者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協力により、「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品を展示した。	－	花時計花壇	無料
主催	3月20日	3月31日	FP 花時計花壇展示	一　般 希望者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである"福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか"を表現した花壇を演出した。	－	花時計花壇	無料
主催	3月20日	5月23日	電動キックボード体験63	一　般 希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。	63	海の中道駅口～森の池	有料
主催	3月20日	3月31日	FP 動物ふれあい広場 ※動物の森PG	一　般 希望者	ヤギ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を実施した。		動物の森ふれあい広場	無料
主催	3月20日	5月23日	FP2021 デジタルスタンプラリー	一　般 希望者	スマホアプリを活用し、花の丘をはじめとした園内の見頃の花などを楽しく周遊できるスタンプラリーを開催した。	74	園内全域	無料
主催	3月20日	5月23日	FP2021 アプリ「Green Snap」で公園のお花や植物を楽しもう	一　般 希望者	写真を撮るだけでお花や植物の名前がわかるアプリ「Green Snap」※で公園の魅力を楽しんでいただいた。		園内全域	無料
主催	3月27日		ディスクゴルフチャレンジ	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、ディスクゴルフのルールやマナーを楽しみながら体験できるイベントを開催した。	23	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	3月28日		FP2021 ビーチクリーンボランティア	申込み 参加者	雨天の為中止	0	玄界灘側海岸	無料
						230　109,987		

【令和３年度　主催・共催・持込イベント】

行事種別	開始日	終了日	行事名	対象	内容	参加人数	備考	料金
主催	4月1日	5月23日	FP□海の中道フラワーピクニック2021□	一　般 希望者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催した。□□※5/12～休園のため中止□	195,597	園内全域	無料
主催	4月1日	5月11日	海と森の学びナビ□森の楽校□※環境学習PG	一　般 希望者	園内で発生した剪定枝や葉、木の実などを活用して、木工作品を作る体験を実施した。□4月1,312人、5月620人（5/1～5/11）	1,932	森の家工作室	無料
主催	4月1日	5月23日	FP□アプリ「Green Snap」で公園のお花や植物を楽しもう	一　般 希望者	アプリ「Green Snap」で公園のお花を投稿し、共有することで、公園の魅力を楽しんでいただいた。□□※5/12～休園のため中止□	42	園内各所	無料
主催	4月1日	5月23日	FP□デジタルスタンプラリー	一　般 希望者	ＪＲ九州アプリを活用し、花の丘をはじめとした園内の見頃の花などを楽しく周遊できるスタンプラリーを開催した。□□※5/12～休園のため中止□	141	園内各所、西戸崎、志賀島エリア	無料
主催	4月1日	5月23日	FP□電動キックボード体験	一　般 希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。□□※5/12～休園のため中止□	644	海の中道駅口～森の池	有料
主催	4月1日	5月23日	FP□うみなかフラワーガーデンコンペティション	申込み 参加者	「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである”花いっぱい、うみなか”をテーマとしたフラワーガーデンコンペティションに応募された企業・団体の創作花壇の展示を行った。□□※5/12～休園のため中止□		花桟敷横	無料
主催	4月1日	5月23日	FP□花時計花壇展示	一　般 希望者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである"福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか"を表現した花壇を演出した。□□※5/12～休園のため中止□		花時計花壇	無料
主催	4月1日	4月30日	セグウェイツアー（4月）□※自主事業	申込み 参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	31	園内各所	有料
主催	4月1日	5月23日	FP□ハンギングバスケット展示	一　般 希望者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協会により「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品を展示した。□□※5/12～休園のため中止□□		花時計広場	無料
主催	4月2日		FP□パークフィットネス	申込み 参加者	ネモフィラ畑の前にて、地元福岡のインストラクターによるヨガ教室を開催した。	8	花の丘横	有料
主催	4月3日	5月5日	FP□動物ふれあい広場□※動物の森PG	一　般 希望者	ヤギ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を実施した。	14307	動物の森ふれあい広場	無料
主催	4月3日	4月4日	FP□子供と巨大アート□	一　般 希望者	大きなボードを設置し子供達に花の絵を書いていただき、それを画家の宮本大輔さんがアート作品に仕上げるイベントを開催します。	120	西口広場	無料
主催	4月3日	4月4日	FP□みんなで一緒にミニガーデンをつくろう！□	申込み 参加者	公園を彩るコンテナガーデンやハンギングバスケットを市民協働で制作した。	47	子供の広場管理棟前	無料
主催	4月3日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	7	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
持込	4月3日	4月4日	春空マルシェ	一　般 希望者	コロナの影響で食材の売り先に困る生産者と求めるお客様とを繋げるマルシェイベントを開催した。	2200	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	4月3日	4月29日	ブライダルフェア	一　般 希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	224	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	4月4日	5月2日	FP□ポニー乗馬体験□※動物の森PG□□	一　般 希望者	ポニーへの乗馬体験を実施した。	212	動物の森ふれあい広場	有料
主催	4月4日		海と森の学びナビ□森のファミリー探検隊	申込み 参加者	環境共生の森にて、「昆虫・植物」をテーマとして、五感を使って家族で楽しめる体験プログラム（生き物観察、押し花づくり）を開催した。□なお、環境共生の森サポートボランティアがサポートスタッフとして参加した。□※AM：2組７名、PM：8組26名□	33	環境共生の森～森の池※里の家集合	有料
主催	4月10日	4月11日	FP□お花見お茶会	一　般 希望者	お茶のふるまいとお茶・和菓子（博多ういろう）の販売を行うイベントを開催した。	500	大芝生広場（さくらまつり会場内）	無料
主催	4月10日	4月11日	FP□着物で春の花畑散策	申込み 参加者	気軽に着物を着て、春の花いっぱいの中、散策を楽しめるイベントを開催した。	100	大芝生広場（さくらまつり会場内）	有料
主催	4月10日	4月11日	FP□うみなかさくらまつり	一　般 希望者	ネモフィラとさくらが同時に楽しめるうみなかだけのさくらまつりを開催します。会場では和菓子や日本茶の販売や着付け体験などの各種プログラムも同時開催します。□	14324	大芝生広場	無料
主催	4月10日		FP□挿し芽ポット作り	一　般 希望者	フラワーミュージアムで採取した挿し穂を使った挿し芽ポット作り体験を実施した。□参加者数75名□大人：33名、小人：42名）	75	大芝生広場（さくらまつり会場内）	無料
主催	4月10日		こども自転車教室	申込み 参加者	30分で楽しく自転車の乗り方を練習することができる自転車教室を公園スタッフ5名で実施した。	58	光と風の広場	有料
主催	4月10日	5月8日	花時計花壇ミニガイド	一　般 希望者	花時計花壇の制作に携わった学生さんによる花壇のミニガイドを行い来園者に花壇の感想やご意見をインタビューするイベントを開催した。	74	花時計花壇	無料
主催	4月11日		FP□藍染め体験	申込み 参加者	世界に一つだけのオリジナルハンカチを作れる藍を使った染め物体験教室を実施した。	40	大芝生広場（さくらまつり会場内）	有料
持込	4月11日		佐田整形外科ウォーキングイベント	申込み 参加者	病院職員、患者、家族の親睦を図るウォーキングイベントを開催した。	46	園内各所	有料
主催	4月17日	4月18日	動物の森歳時記イベント□飼育の日イベント□※動物の森PG	一　般 希望者	飼育の日として飼育員のお仕事やエピソードの紹介するイベントを実施した。	50	動物の森	無料
主催	4月17日	4月18日	FP□うみなかPicnic Day□	一　般 希望者	ハンモックでおひるね体験やハンドメイドクラフト体験など、春の公園の一日を家族でのんびりと楽しめるイベントを開催した。	15434	子供の広場	無料
主催	4月17日	4月18日	FP□お花畑演奏会	一　般 希望者	お花畑でのんびりとピクニックをしながら、素敵な音楽を楽しめるミニ演奏会を開催した。	50	子供の広場	無料
主催	4月17日	4月18日	FP□あおぞら蚤の市□	一　般 希望者	うみなかピクニックデイ会場内にて手作り雑貨やアンティーク雑貨など、２２ブースが出展する蚤の市を開催した。		子供の広場	無料
主催	4月17日		みらいの森団体プログラム受入□「海と森のかんさつツアー」□	申込み 参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、障がいのある子供たちを対象に、環境共生の森「防ぎの森」の役割紹介、海浜植物の観察、スナガニ探しなど、砂浜の生きもの観察を実施した。□□子供３３名、付き添い９名	42	みらい橋北側海浜部	無料
主催	4月18日		FP□あおぞら絵本おはなし会□	一　般 希望者	「うみなかPicnic Day」にてピクニックを楽しみながら聞ける絵本の読み聞かせを開催した。	75	子供の広場	無料
主催	4月18日		みらいの森体験塾～小枝のスプーン作り～□※環境学習PG	申込み 参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力の下、「うみなかピクニック・デイ」にて、環境共生の森の枝払い作業で発生した小枝などを活用したスプーン・フォークづくりを実施した。	73	子供の広場□※イベント「うみなかPic	有料
主催	4月20日		企業ボランティア□みらいの森　森づくり　植樹□	申込み 参加者	環境共生の森サポートボランティアのガイドの元、みらいの森の植樹を行った。S21エリアに、約200本の苗木を植樹した。	22	環境共生の森	無料
主催	4月23日		パークフィットネス	申込み 参加者	ネモフィラ畑の前にて、地元福岡のインストラクターによるヨガ教室を開催した。	10	花の丘横	有料
持込	4月24日	4月25日	ラグビー練習	一　般 希望者	ぎんなんヤングラガーズの練習及び交流試合を行った。	345	博多湾パノラマ広場	無料
主催	4月24日		FP□ﾙｰｼﾞﾝｸﾞ体験□【中止】	申込み 参加者	強風の為、中止		海の中道マリーナ前博多湾	有料
主催	4月24日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	2	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	4月24日		団体ボランティア□みらいの森　森づくり　植樹□	申込み 参加者	環境共生の森サポートボランティアのガイドの元、みらいの森の植樹を行った。M21エリアに、約360本の苗木を植樹した。	44	環境共生の森	無料
主催	4月25日		親子アウトドアクッキング	申込み 参加者	福岡県キャンプ協会名誉会長□とBBQ/肉マイスターの2名を□講師に迎え、親子で楽しむ□アウトドアクッキング教室を実施した。□	15	デイキャンプ場	有料
主催	4月25日		みんなで森をつくろう！～苗木の植樹～□※環境学習PG□※ファミボラ活動	申込み 参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、環境共生の森の植樹エリアにて、市民参加による苗木の植樹作業を実施。□□※大人45名、小学生21名、幼児7名	73	環境共生の森	無料
主催	4月28日		プチボランティア（4月）□	申込み 参加者	環境共生の森の植樹エリアにて、市民参加による苗木の植樹作業を実施予定であったが天気が怪しく、参加者が当日来なかったため、急遽予定を変更し、環境共生の森サポート・ボランティアとスタッフにて、予定していた作業を実施。	0	環境共生の森	無料
主催	4月29日		FP□春の貝殻細工＆紙芝居「金印物語」□【中止】	一　般 希望者	※主催者の都合により中止		花時計広場	有料
持込	4月29日	4月30日	シネマナイト	一　般 希望者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	429	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	4月29日		花火の打ち上げ	一　般 希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行った。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	5月1日		FP□福岡市消防音楽隊ふれあいコンサート	一　般 希望者	福岡市消防音楽隊とカラーガード隊によるパレードとコンサートを開催した。	200	大芝生広場□特設ステージ	無料

主催	5月1日	5月5日	FP□第９回□-1cup in Uminaka	一　般 希望者	B級グルメ等の料理が味わえるケータリングカーの九州No.1を決めるグルメイベントを開催した。	10000	大芝生広場	無料
主催	5月1日	5月31日	セグウェイツアー（5月）□※自主事業	申込み 参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。□□※5/12～休園のため中止□	23	園内各所	有料
主催	5月1日	5月9日	動物の森歳時記イベント□母の日　イベント□※動物の森PG	一　般 希望者	動物お母さんにスポットをあて、親子の様子や子育て方法についてのスポットガイドやパネル展示を実施した。	50	動物の森	無料
持込	5月1日	5月31日	ブライダルフェア	一　般 希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	242	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	5月1日	5月5日	シネマナイト	一　般 希望者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	2730	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	5月2日		FP□ボッチャ体験	一　般 希望者	芝生の上で、未経験の小さな子どもから参加できるボッチャ体験を行った。	12	大芝生広場	無料
主催	5月2日		FP□JR九州ウォーキング	一　般 希望者	西戸崎駅をスタートとし志賀島を中心としたウォーキング大会を実施した。	700	西戸崎～志賀島エリア	無料
主催	5月3日		FP□ラグビー体験	一　般 希望者	芝生の上で、未経験の小さな子どもから参加できるラグビー体験を行った。	12	大芝生広場	無料
主催	5月4日		FP□モルック体験	一　般 希望者	芝生の上で、未経験の小さな子どもから参加できるモルック体験を行った。	85	大芝生広場	無料
主催	5月5日		FP□うみなかダンスパレード	一　般 希望者	地元で活動しているダンスチームによるダンスパレードを開催した。	300	西口～大芝生広場	無料
主催	5月5日		FP□チューリップボランティア～球根の掘り取り作業～	申込み 参加者	チューリップの球根掘り取り体験イベントを開催した。□ムスカリの球根も合わせて掘っていただいた。□運営に当たっては、フラワーボランティアもサポートしてくれた。□	48	虹・彩りの池 チューリップ花壇	無料
主催	5月6日		ハルゼミノルディックウォーキング	申込み 参加者	森の池ボランティアの協力のもと、森の池エリアや環境共生の森を巡る、ノルディック・ウォーキング初心者向け講習会を実施した。なお、今回はハルゼミの発生時期に合わせてイベントを開催した	19	森の池	有料
主催	5月7日		企業ボランティア□みらいの森　森づくり草刈り	申込み 参加者	企業ボランティア受入として、みらいの森の植樹エリア（M16）の下草刈り作業を行った。なお、活動の際は、環境共生の森サポートボランティアの協力もとで実施した。	5	環境共生の森	無料
主催	5月8日	5月30日	FP□うみなかバラ恋みくじ/	一　般 希望者	５月１２日から臨時休園となったため、５月８日～５月１１日までの４日間実施した。□□※5/12～休園のため中止□	2235	バラ園	無料
主催	5月9日		FP□バラのフラワーアレンジメント教室	申込み 参加者	バラを使用したフラワーアレンジメント教室を開催した。（事前申込）	26	バラ園	有料
主催	5月9日	6月27日	昔遊びの広場【調整中】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため、協力団体判断により中止	0	子供の広場	無料
主催	5月9日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	16	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	5月10日		FP□バラのポプリづくり	一　般 希望者	バラ園の花がら摘みや摘蕾作業で出た花びらや蕾の活用を考え、ドライフラワーにし、バラの香りを楽しむポプリづくりを行った。□ボランティアや公園スタッフの協力で空き瓶を再利用するなどSDGｓを意識した内容にした。	12	バラ園内　東屋	有料
持込	5月10日	5月31日	花火の打ち上げ	一　般 希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行った。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	5月14日	5月16日	野外コンサートCIRCLE’21□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	野外劇場	有料
主催	5月15日		FP□バラ園ガイドツアー□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園	無料
主催	5月15日		プチボランティア（5月）	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止した。□□登録ボランティアの活動として実施し、蕾をつける前のオオキンケイギクの抜き取りをおこなった。	0	森の池	無料
主催	5月16日		FP□魔女のバスソルトつくり体験□【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園内東屋	有料
主催	5月16日		団体ボランティア□みらいの森　森づくり草刈り	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のためキャンセルとなった。□かわりにプチボランティアとして活動を予定したが臨時休園のため中止した。□登録ボランティアのみで管理作業として実施した（９名）	0	環境共生の森	無料
持込	5月16日		スイーツピクニックイベント□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	5月22日		FP□オリジナルバッジづくり□【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園内東屋	有料
主催	5月22日		ディスクゴルフ無料体験講習会【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	5月22日		こども自転車教室□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	光と風の広場	有料
主催	5月23日		FP□ハンドサイクル体験□【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	大芝生広場	無料
主催	5月29日		みらいの森団体プログラム受入「生きものビンゴ」「森ができるまでガイドツアー」□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	環境共生の森	無料
主催	5月30日		うみなかビーチラン□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		玄界灘海浜部	有料
主催	5月30日		みらいの森体験塾□～木の実でアクセサリーづくり～※環境学習PG□【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	バラ園内東屋	有料
主催	6月1日	6月6日	動物の森歳時記イベント□虫歯予防の日イベント□※動	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		動物の森	無料
主催	6月1日	6月30日	セグウェイツアー（6月）□※自主事業　【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		園内各所	有料
主催	6月5日		プチボランティア□みらいの森　森づくり草刈り□	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のためキャンセルとなったため、プチボランティア活動として予定していたが休園のためプチボランティアも中止。□□代りに環境共生の森サポートボランティアの活動として実施。登録ボランティア11名の他、管理センタースタッフ有志も8名作業に参加した。	19	環境共生の森	無料
持込	6月5日	6月27日	ブライダルフェア	一　般 希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	136	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	6月5日	6月15日	花火の打ち上げ【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	6月6日		夏鳥コアジサシの子育て応援隊	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	光と風の広場レクチャールーム	無料
主催	6月12日	6月20日	オウム・インコDAY□※動物の森PG【中止】□□□	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため実施なし		動物の森	無料
主催	6月12日	6月20日	動物の森歳時記イベント□父の日　イベント□※動物の森PG	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	0	動物の森	無料
主催	6月13日		ディスクゴルフ無料体験講習会【中止】	一　般 希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	6月13日		プチボランティア（6月）□	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。□□代わりに、森の池ボランティアの活動として実施した。森の池ボランティア11名、利活用協議会メンバーのフリースクール玄海から5名、管理センター有志6名参加。□ハリエンジュの伐採をメインに、枯れ枝拾いやツルとりなど松林のお手入れを行った。	0	森の池	無料
主催	6月19日		みらいの森体験塾～春じゃがを収穫しよう～□※環境学習PG	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。□代わりに、環境共生の森サポートボランティアの活動として午前中のみ実施した。１１名参加	0	環境共生の森	有料
主催	6月26日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	12	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
持込	6月27日		福岡トライスロン2021【中止】	申込み 参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断により中止		園内全域	有料
主催	7月1日	10月31日	海と森の学びナビ□森の楽校□※環境学習PG□	一　般 希望者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを開催した。□□7月524人□8月119人□9月0人 ※臨時休園□0月1869人	2512	森の家工作室	無料
主催	7月1日	7月31日	セグウェイツアー（7月）□※自主事業	申込み 参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	10	園内各所	有料
持込	7月3日	7月31日	ブライダルフェア	一　般 希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	184	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	7月4日		スイーツピクニックイベント【中止】□	申込み 参加者			ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料

主催	7月10日		みんなで森をつくろう！～森の草刈り～【中止】□※環境学習PG□※ファミボラ活動□	申込み参加者	雨天の為、中止	0	環境共生の森	無料
主催	7月10日		サンセットビーチヨガ【中止】	申込み参加者	雨天の為、中止		潮見台周辺□海浜部	有料
主催	7月11日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	11	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	7月17日	8月1日	動物の森歳時記イベント□カブトムシ展示□※動物の森PG	一　般希望者	国産のカブトムシを見て、触って、楽しめるカブトムシ展示を実施した。	3548	動物の森	無料
持込	7月17日	7月18日	野外コンサート□Ｎｕｍｂｅｒ　Ｓｈｏｔ２０２１【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断のより中止		野外劇場	有料
持込	7月17日	7月31日	花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行った。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	7月17日	7月31日	シネマナイト	一　般希望者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	1614	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	7月17日		みらいの森団体プログラム受入「生きものビンゴ」「森ができるまでガイドツアー」□	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、子供たちを対象に環境共生の森の取り組み紹介やみらいの森タイムトンネルの見学、生き物観察を目的とした「いきものビンゴ」を実施した。□□□子ども（小1～６年生）１２名、付き添い７名	19	環境共生の森	無料
主催	7月19日		団体ボランティア□全トヨタ労働組合連合会福岡地方協議会□海岸清掃	申込み参加者	団体ボランティア活動として、潮見台付近の海岸清掃を実施した。	206	潮見台周辺□海浜部	無料
主催	7月22日		プチボランティア（7月）□□	申込み参加者	白砂青松や、海浜植物、コアンサンなど公園で取り組んでいることを紹介してから、ゴミ拾いと、海浜植物のハマヒルガオの種取を実施した。おみやげにみのりの畑のジャガイモをプレゼントした。□運営に当たっては公園見守り隊にも協力いただいた。□公園見守り隊3名、一般ボランティア、大人20名、小学生4名、幼児1名	28	潮見台周辺	無料
主催	7月22日	8月29日	電動キックボード体験【中止】	一　般希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。□□※8/6～臨時休園に伴い中止	162	サイクリングコース全域	有料
主催	7月24日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	天気はよかったものの猛暑の影響もあり、イベント会場付近を通過するお客様が少なく、参加者はいなかった。	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	7月24日	8月29日	アプリ「Green Snap」で公園のお花や植物を探そう！【中止】	一　般希望者	アプリ「Green Snap」で公園のお花を投稿し、共有することで、公園の魅力を楽しんでいただくイベントを開催した。□□※8/6～臨時休園に伴い中止		園内各所	無料
主催	7月24日	8月29日	木陰Labo【中止】	一　般希望者	大芝生広場レストハウス周辺にミストシャワー＆誰でも自由に使えるティピーテントとタープを設置し、涼しく休める休憩スポットを設置した。□□8/6～臨時休園に伴い中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月24日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□ボッチャ体験□	一　般希望者	パラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」を体験するイベントを開催した。	12	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月24日	7月31日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□□遊び場□	一　般希望者	ユニバーサルデザインのレクリエーショングッズで遊べるイベントを開催した。	103	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月25日		みらいの森体験塾～水辺の生き物かんさつ会～□※環境学習PG	申込み参加者	環境共生の森サポートボランティア、マリンワールド海の中道の協力のもと、環境共生の森「いのちの池」やビオトープにすむ生き物の採取や観察を実施した。□□4組17名（大人8名小学生6名幼	17	環境共生の森	有料
主催	7月25日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□ハンドサイクル体験□	一　般希望者	パラリンピックの正式種目でもある「ハンドバイク」を体験するイベントを開催した。	19	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月27日	7月28日	みらいの森団体プログラム受入□「小枝のスプーンづくり」□	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、子供たちを対象に、環境共生の森の取り組み紹介や剪定枝などを活用したスプーン作成体験を実施した。□□27日：子ども（小1～６年生）16名、付き添い4名□28日：子ども（小1～６年生）17名、付き添い5名	42	環境共生の森	有料
主催	7月31日		みんなで観察！カスミサンショウウオの世界□※環境学習PG	申込み参加者	マリンワールド海の中道と連携し、生きものに関心のある登録ボランティアにも協力してもらい実施した。カスミサンショウウオの観察と水族館で増やした個体を枠に放す取り組みを子どもたちにしてもらった。またいこいの森の池で水生昆虫を採取し観察した	21	森の家レクチャールーム、いこいの森	有料
主催	7月31日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□超飛ぶ紙飛行機を作ろう□	一　般希望者	木陰Laboに置いてある材料を使って紙飛行機を作って飛ばすイベントを開催した。	72	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月31日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□巨大オセロをやってみよう！□□	一　般希望者	巨大オセロを芝生の上で遊ぶイベントを開催した。	72	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月31日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□プレイパーク～みんなの遊び場～【中止】	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、公園ならではの遊びの空間を造った。7/31のみ実施。□□8/6～臨時休園に伴い中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月31日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□木の実でおままごと	一　般希望者	幼児向けに公園のどんぐりや松ぼっくりでおままごとができるスペースを作った。	72	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月31日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□巨大お絵描きをしよう！□	一　般希望者	子どもたちが筆と絵の具で自由にお絵描きできるスペースを設置した。	72	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	7月31日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□巨大しゃぼん玉で遊ぼう！□	一　般希望者	竹の棒やうちわなどを使い巨大シャボン玉を作る体験イベントを開催した。	72	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月1日		プチボランティア（8月）	一　般希望者	森の池の西側の松林のお手入れを行った。ハリエンジュの切除の２回目とセイタカアワダチソウなどの外来の抜き取りを行った。□運営にあたっては森の池ボランティアと森の池利活用協議会メンバーがサポートしてくれた。	10	森の池□（里の家集合）	無料
主催	8月1日	8月31日	セグウェイツアー（8月）□【中止】□※自主事業	申込み参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。□8/6～臨時休園に伴い中止□	4	園内各所	有料
主催	8月1日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□風鈴絵付け体験□	一　般希望者	夏を涼しく楽しくする風鈴の絵付け体験イベントを開催した。□	30	大芝生レストハウス周辺	有料
持込	8月1日	8月31日	シネマナイト	一　般希望者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	1850	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	8月4日	8月28日	花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	8月7日		野外サマーナイトスクール【中止】□□※環境学習PG	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		環境共生の森、他	有料
主催	8月7日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□毛糸でミサンガを作ろう！【中止】□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月7日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□超飛ぶ紙飛行機を作ろう【中止】□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月7日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□巨大オセロをやってみよう！【中止】□□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月7日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□木の実でおままごと【中止】	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月7日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□巨大お絵描きをしよう！【中止】□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月7日	8月29日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□□遊び場【中止】□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月7日	8月28日	木陰Labo□【夏の体験イベント】□巨大しゃぼん玉で遊ぼう！【中止】□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料
主催	8月8日		ディスクゴルフ無料体験講習会【中止】	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	8月8日		動物の森1日飼育員体験～小・中学生編～□※動物の森PG【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		動物の森	有料
主催	8月9日		みらいの森団体プログラム受入□「森の小枝のスプーンづくり」【中止】□	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		環境共生の森	有料
主催	8月15日		動物の森歳時記イベント□夏のプレゼントday□※動物の森PG	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため、インスタグラムによるライブ配信で動物たちへ氷や果物などをプレゼントする様子を観覧していただくイベントを実施した。	36	動物の森	無料
主催	8月17日		プロジェクトワイルド本編一般指導者講習会□※環境学習PG【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□１１月２７日に延期予定		森の家レクチャールーム	有料
主催	8月21日		ディスクゴルフ無料体験講習会【中止】	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	8月21日		森の池利活用協議会夏休みイベント（はっぱをみてみようエコバッグづくり）【中止】□※環境学習PG	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□１０月３１日に延期予定		森の池利活用拠点	有料
主催	8月22日		森の池利活用協議会夏休みイベント（親子サバイバルブレスレットづくり）【中止】□※環境学習PG	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□１０月３１日に延期予定		森の池利活用拠点	有料
主催	8月28日		団体ボランティア□みらいの森　森づくり　草刈り□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□□登録ボランティアとスタッフで実施		環境共生の森	無料
主催	8月28日		団体ボランティア□みらいの森　森づくり　草刈り□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□□登録ボランティアとスタッフで実施		環境共生の森	無料
主催	8月29日		木陰Labo□【夏の体験イベント】□ミルック体験【中止】□	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生レストハウス周辺	無料

主催	9月1日	9月30日	セグウェイツアー（9月）□※自主事業□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□		園内各所	有料
持込	9月1日	9月29日	シネマナイト	一　般希望者	秋の爽やかな夜風を感じながら、芝生の温もりのある大地に横たわり名画を鑑賞するシネマナイトを開催した。	2728	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	9月1日	9月26日	花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	9月3日	9月28日	ブライダルフェア	一　般希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	148	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	9月5日		みらいの森体験塾～秋のじゃがいもを植えよう&ＢＥＥ団地づくり～　※環境学習PG□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□□登録ボランティアとスタッフで9/12（日）に実施		環境共生の森	有料
主催	9月12日		プチボランティア（9月）	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□□登録ボランティアとスタッフで実施		環境共生の森	無料
主催	9月12日		東区よかまち・よかとこ歩・歩・歩（さんぽ）海の中道・幻の「森の池」を探して□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		海の中道駅口前～カモ池～	無料
主催	9月12日		ディスクゴルフ無料体験講習会□【中止】	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	9月17日		パークフィットネス□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		花の丘横	有料
共催	9月18日	9月19日	福岡トライアスロンフェスタ□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断で中止		サンシャインプール前及び園内特設コース	有料
主催	9月18日	11月7日	うみなか＊はなまつり□２０２１	一　般希望者	地域・市民との協働により、花に関するイベントや芸術・文化の香る様々な催しを通じ、秋の公園の魅力を発信するイベントを開催した。		園内全域	無料
主催	9月18日		ミニガーデンを作ろう！	申込み参加者	個人用コンテナにお花を植え付けるボランティアイベントを開催します。制作されたコンテナははなまつり期間中に展示を行った。□	6	子供の広場管理棟前	無料
主催	9月18日		ビーチクリーン＆ヨガ【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□		潮見台周辺□海浜部	有料
共催	9月19日		ディスカウントドラッグコスモス　クリーンキャンペーン【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため主催者判断で中止		玄界灘海浜部	無料
主催	9月20日		動物の森歳時記イベント□敬老の日　イベント□※動物の森PG	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため、動物の森で飼育している長寿（高齢）動物をお祝いするイベントをライブ配信で実施しま	30	動物の森	無料
主催	9月25日	9月26日	coleman camp in uminaka□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□		青少年海の家	有料
主催	9月25日	9月26日	キャンプハカタサイクルツアー□※自主事業【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□	5	公園内～□西戸崎周辺	有料
主催	9月25日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	9月25日	9月26日	うみなか＊はなまつり　　アウトドアパークinうみなか□【中止】	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□	26	子供の広場	無料
主催	9月25日		みらいの森団体プログラム受入□「小枝のスプーンづくり」□【中止】□	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		環境共生の森	無料
主催	9月25日		団体ボランティア□福岡県留学生会□海岸清掃	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止		潮見台周辺□海浜部	無料
主催	9月26日		うみなか＊はなまつり　こども自転車教室□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□		光と風の広場	有料
主催	9月26日		うみなか☆はなまつり□うみなかダンスパレード□【中止】	一　般希望者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□		西口～子供の広場	無料
主催	9月26日		うみなか＊はなまつり　　パークフィットネス□【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止□		子供の広場	有料
主催	10月1日	10月31日	セグウェイツアー（10月）□※自主事業	申込み参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	5	園内各所	有料
主催	10月1日	11月28日	電動キックボード体験	一　般希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。	1028	サイクリングコース全域	有料
主催	10月2日	10月31日	うみなか＊はなまつり□動物ふれあい広場□※動物の森PG	一　般希望者	ヒツジ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を実施した。	12045	動物の森ふれあい広場	無料
共催	10月2日	10月3日	うみなか＊はなまつり　　ロハスピクニック福岡【中止】	一　般希望者			子供の広場	有料
主催	10月2日		うみなか＊はなまつり□お花畑演奏会□【中止】	一　般希望者	お花畑でのんびりとピクニックをしながら、素敵な音楽を楽しめるミニ演奏会を開催した。	50	子供の広場	無料
持込	10月2日	10月31日	ブライダルフェア	一　般希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	228	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	10月3日	10月31日	うみなか＊はなまつり□ポニー乗馬体験□※動物の森PG	一　般希望者	ポニーの乗馬体験を実施した。	284	動物の森ふれあい広場	有料
共催	10月3日		リレー・フォー・ライフ　福岡□【中止】	申込み参加者			光と風の広場	有料
主催	10月3日		みらいの森体験塾～□～どんぐりポットづくり＆ジュズ玉のブレスレット作り～□※環境学習PG	申込み参加者	環境共生の森の木陰に生えているジュズダマを使ってブレスレット作りを行った。スダジイなどのどんぐりポットづくりを行った	40	大芝生広場	有料
主催	10月3日		親子アウトドアクッキング※自主事業□【中止】	申込み参加者	福岡県キャンプ協会名誉会長を講師に向かえ、デイキャンプ場でレンタルできる器材を使用し、クッキング教室を実施した。	17	ﾃﾞｲｷｬﾝﾌﾟ場	有料
主催	10月3日		うみなか＊はなまつり□吹奏楽演奏会□【中止】	一　般希望者	お花畑でのんびりとピクニックをしながら、素敵な音楽を楽しめるミニ演奏会を開催した。	50	子供の広場	無料
主催	10月3日		うみなか＊はなまつり□R九州ウォーキング□【中止】	一　般希望者	西戸崎駅をスタートとし志賀島を中心としたウォーキング大会を実施した。	700	西戸崎～志賀島エリア	無料
主催	10月9日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。□※10/10（日）より実施日変更	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	10月9日		秋のうみなかたび□クルージング体験教室	申込み参加者	海の魅力を親子で体験できる『クルージング体験』を開催した。	26	海の中道マリーナ	有料
主催	10月9日		プチボランティア（10月）	申込み参加者	森の池ボランティアの協力のもと、森の池の松林のハウエンシュ伐採、外来種(セイタカアワダチソウ、タカサゴユリ、オオブタクサ)駆除、枯れ枝、松ぼっくり拾い、つる植物取りなどを行った	28	森の池	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパーク～みんなの遊び場～	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、公園ならではの遊びの場を設けた。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□木の実でおままごと	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、幼児向けに公園のどんぐりや松ぼっくりでおままごとができるスペースを作った。□	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□D遊び場□	一　般希望者	ユニバーサルデザインのレクリエーショングッズで遊べるイベントを開催した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□巨大お絵描きをしよう！□	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、子どもたちが筆と絵の具で自由にお絵描きできるイベントを開催した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□巨大オセロをやってみよう！□□	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、巨大オセロを芝生の上で遊ぶイベントを開催した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□モルック体験□	一　般希望者	話題のアウトドアスポーツ「モルック」を体験するイベントを開催した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□風車を作ろう！	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと誰でも簡単に作れる風車作り体験を実施した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパークみんなの遊び場～□ツリークライミングを楽しもう！	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、簡単なツリークライミング体験を実施した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月9日	10月16日	プレイパーク～みんなの遊び場～巨大しゃぼん玉で遊ぼう！□	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、竹の棒やうちわなどを使い巨大シャボン玉を作る体験イベントを開催した。	64	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月10日		うみなかダンスパレード□【中止】	一　般希望者	地元で活動しているダンスチームによるダンスパレードを開催した。	300	西口～子供の広場	無料
主催	10月15日		パークフィットネス	申込み参加者	コスモス畑の前にて、地元福岡のインストラクターによるヨガ教室を開催した。	4	花の丘横	有料
共催	10月16日		土木の日ファミリーフェスタ【中止】	一　般希望者			子供の広場	無料
共催	10月16日		うみなか＊はなまつり□造園フェスティバル□【中止】	一　般希望者			大芝生広場□	無料
主催	10月16日	10月17日	アニマルフェスタ□※動物の森PG□	一　般希望者	専門学校と連携し、動物のガイドやふれあい体験を主体としたイベントを開催した。	3000	動物の森	無料
持込	10月16日		花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	10月16日		福岡女子大学体験学習□国際交流体験イベント□fun by Fan	申込み参加者	外国人来園者（訪日・在日ともに）へのおもてなしを目的とした、日本文化体験イベント（和歌をテーマとしたうちわづくり）を実施した。□□※福岡女子大学体験学習の一環として実施。	5	海の中道駅口	有料

主催	10月17日		みらいの森体験塾～秋の収穫祭～□※環境学習PG	申込み参加者	環境共生の森サポートボランティア協力のもと、みのりの里のサトイモ、ラッカセイ、サツマイモの収穫を行った。※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、毎回行っている試食（ラッカセイ塩茹で）は中止した。	48	環境共生の森	有料
主催	10月17日		海辺でお茶会体験□	申込み参加者	博多湾側の海沿いにある松毬庵にて潮風を感じながら海辺でお茶を楽しめるイベントを開催します。	57	松毬庵	有料
主催	10月23日	11月7日	うみなか＊はなまつり□香りのバラ投票2021秋	一　般希望者	香りが特徴的なバラをバラフレンズと10種選び、その中からお客様の好みの香りのバラに投票をしてもらった。□□【令和2年度秋季結果】□第1位：ブルームーン、第2位：トロピカルシャーベット、第3位：スイートアフトン		バラ園	無料
主催	10月23日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力により、参加者にディスクゴルフのルールやマナーの指導を行った。	6	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	10月23日	10月24日	凧揚げフェスティバル	一　般希望者	ーンカイトやその他マンタや様々なバルーンカイトを楽しめるフェ	12000	大芝生広場	無料
主催	10月23日	10月24日	凧揚げフェスティバル□トゥクトゥク試乗体験	一　般希望者	タイの三輪タクシートゥクトゥクの特別試乗体験を行った。	324	大芝生広場	無料
主催	10月23日	10月24日	凧揚げフェスティバル□アジアの凧揚げ・展示	一　般希望者	福岡凧の会の協力のもと、アジアの凧の展示や実際に　作った凧を揚げて楽しんでいただくイベントを開催した。		西口広場	無料
主催	10月23日	10月31日	ハロウィン□フォトスポット	一　般希望者	ハロウィンの雰囲気づくりとフラワーミュージアム～バラ園～動物の森への動線づくりとして、飾り付けとフォトスポットの演出を行った		フラワーミュージアム、バラ園、動物の森	無料
主催	10月24日		海と森の学びナビ□森のﾌｧﾐﾘｰ探検隊□※環境学習PG	申込み参加者	環境共生の森～森の池をフィールドとして、昆虫、哺乳類・鳥類をテーマにした自然観察会を行った。□AM：17名□PM：18名	35	環境共生の森、森の池	有料
主催	10月24日		凧揚げフェスティバル□凧作り体験・凧揚げ	一　般希望者	凧作り体験や実際に作った凧を揚げて楽しんでいただくイベントを開催した。	49	西口広場	有料
主催	10月27日		□水鉄砲で的当てをしよう	一　般希望者	車いす利用者の方に参加していただく水鉄砲を使った的当てイベントを開催した。	5	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	10月29日		ワーケーション受入□ブロックチェーンロック㈱□電動キックボードツアーガイド＆白砂青松体験活動	申込み参加者	ワーケーション対応として、電動キックボードを活用した園内ガイドを行った。また、本公園の白砂青松の取り組みを学んでいただくため、海岸清掃と松のツル取り体験を行った。	14	園内全域	無料
主催	10月29日		ワーケーション受入□ブロックチェーンロック㈱□SDGsセミナーとワークショップ□	申込み参加者	今後のワーケーション促進にむけて、専門講師によるセミナーを行った後、ゲームを通じSDGｓの学習を行った。また、参加者と公園機関等を交え、地域観光促進に関するワークショップを行った。	23	水辺のレストハウス	無料
主催	10月30日	10月31日	動物の森歳時記イベント□動物ハロウィン　□※動物の森PG	一　般希望者	大かぼちゃのプレゼントや動物と一緒に仮装フォトサービス等を実施した。	300	動物の森、バラ園内東屋	無料
主催	10月30日		団体プログラム受入□八王子実践高等学校□森づくりプログラムほか□※コロナのため3月に延期	申込み参加者	※コロナのため3月に延期		環境共生の森、ほか	無料
主催	10月30日		みらいの森体験塾□～木の実でｱｸｾｻﾘｰづくり～□※環境学習PG□	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、ヒラヤマスギやツバキの実などの自然素材を使ったアクセサリーづくり（ブローチ、ネックレス等）を実施した。	41	バラ園内東屋	有料
主催	10月31日		魔女のバスソルトつくり体験	一　般希望者	園内のハーブを用いてバスソルトの作りを行い、様々なハーブに触れてもらうことで草花に対する関心や愛着を持ってもらえるよう心掛けた。指導は、フラワーボランティアにも協力していただいた	57	バラ園内東屋	有料
主催	10月31日		はっぱをみてみようエコバッグづくり□※環境学習PG□	申込み参加者	森の池ボランティアの協力の元、森の池の利活用拠点周りのはっぱを使って、観察とエコバッグ作りを行った。□森の池利活用協議会メンバー（フリースクール玄海）もサポートしてくれた。	25	森の池利活用拠点	有料
主催	10月31日		森の池利活用協議会サバイバルブレスレットづくり□※環境学習PG□※8/22から延期	申込み参加者	森の池利活用協議会メンバー（アウトドアライフ協会）の協力の元、パラコードで作成するサバイバルブレスレット制作体験を行った	35	森の池利活用拠点	有料
主催	11月1日	11月30日	セグウェイツアー（11月）□※自主事業	申込み参加者	園内の季節の花のエリアや森の中、海の近くなど、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	15	園内各所	有料
主催	11月1日		うみなかはなまつり□バラのポプリづくり	一　般希望者	バラフレンズの協力のもと、バラ園管理作業にて発生する花びらや蕾で作成したドライフラワーを活用したポプリづくりを行った	22	バラ園内東屋	有料
持込	11月3日	11月28日	ブライダルフェア	一　般希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	174	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	11月6日	11月7日	森の美術館inうみなか	一　般希望者	プロの方、趣味の方、障害のあるなしに関わらず誰でもアーティストとして参加可能なアート作品の展示、ミニコンサートを開催します。		森の家周辺	無料
主催	11月6日	12月5日	自然とアート展	申込み参加者	地元で活躍する若手アーティストと市民ボランティアによる野外インスタレーションを園内で制作し、展示した		森の家周辺	無料
主催	11月6日		企業ボランティア□ブルデンシャル生命保険□松林のお手入れ	申込み参加者	企業ボランティアの活動で、潮見台西側のクロマツの苗木周りの草刈りを行った。□小さいお子様には松ぼっくり拾いを手伝っていただいた	58	潮見台西側松の苗木植栽地	無料
主催	11月6日	11月7日	どんぐりを並べて道を作ろう！	一　般希望者	森の美術館inうみなか会場内にてどんぐりを並べて来場者用の遊歩道を作るイベントを開催した。	20	森の家周辺	無料
主催	11月6日	11月7日	キャンドルデザイン大募集□お絵描きコーナー	一　般希望者	森の美術館会場内にてキャンドルナイトのデザインを応募できるお絵描きコーナーを設置するイベントを開催した。	10	森の家周辺	無料
主催	11月7日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を行った。□	7	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	11月7日		みんなで森をつくろう！□～森の草刈り～□※環境学習PG□※ファミリーボランティア活動	申込み参加者	環境共生の森サポートボランティアの協力のもと、環境共生の森の植樹エリアにて、市民参加による下草刈り作業を実施。	38	環境共生の森	無料
持込	11月7日	11月27日	花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	11月10日		プロボノ型ボランティア□福岡県造園協会□松枯れ防除	申込み参加者	森の家のレクチャールームにて、松枯れ防除の講習会と雨天であったため、毎年実際の松に行っている樹幹注入は軒下で丸太を用いた実演のみ行われた。	41	森の家レクチャールーム他	無料
共催	11月14日		チャリティ・ラン＆ウォーク in うみのなかみち【中	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大のため中止		光と風の広場	有料
主催	11月14日		みらいの森体験塾～森のリースをつくろう～□※環境学	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力の下、園内で取れたクズや各種木の実を活用したリース作り体験を実施した。□□※参加者数41名（AM：8組24名、PM：5組17名）、計21作品作成（AM：11作品、PM：10作品）	41	森の家レクチャールーム	有料
主催	11月14日		うみなかビーチラン□	申込み参加者	玄界灘海浜部の美しい風景を眺めながら、老若男女問わず気軽に参加できるランニングイベントを開催した。	36	玄界灘海浜部	有料
主催	11月20日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフの初心者講習会を実施。□ルールやディスク持ち方、投げ方などをレクチャーした。周りを確認してから投げる、など安全にプレーするよう、指導も行った。	4	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	11月20日	11月23日	動物の森歳時記イベント□勤労感謝の日イベント　※動	一　般希望者	秋の味覚の野菜や果物を動物にプレゼントするイベント等を実施した。	86	動物の森	無料
主催	11月20日		団体ボランティア□博多女子高等学校インターアクトク	申込み参加者	博多女子高等学校インターアクトクラブによる白砂青松ボランティアとして１１月～３月まで毎月１回活動を予定。初回は、活動の意義を紹介したのち、潮見台周辺のゴミ拾いと、通路両脇の松林の集草およびつる取りを行った。	17	玄界灘側マツ林□及び海浜部	無料
主催	11月20日		プレイパーク～みんなの遊び場～	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、公園ならではの遊びの場を設けた。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		福岡女子大学体験学習□国際交流体験イベント□fun by	一　般希望者	外国人来園者（訪日・在日ともに）へのおもてなしを目的とした、日本文化体験イベント（和歌をテーマとしたうちわづくり）を実施した。□□※福岡女子大学体験学習の一環として実施。	12	海の中道駅口	有料
主催	11月20日		プレイパークみんなの遊び場～□木の実でおままごと	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、幼児向けに公園のどんぐりや松ぼっくりでおままごとができるスペースを作った。□	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		プレイパークみんなの遊び場～□UD遊び場□	一　般希望者	ユニバーサルデザインのレクリエーショングッズで遊べるイベントを開催した。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		プレイパークみんなの遊び場～□巨大お絵描きをしよう	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、子どもたちが筆と絵の具で自由にお絵描きできるイベントを開催した。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		プレイパークみんなの遊び場～□モルック体験□	一　般希望者	話題のアウトドアスポーツ「モルック」を体験するイベントを開催した。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		プレイパークみんなの遊び場～□風車を作ろう！	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと誰でも簡単に作れる風車作り体験を実施した。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		プレイパークみんなの遊び場～□ツリークライミングを	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、簡単なツリークライミング体験を実施した。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月20日		プレイパーク～みんなの遊び場□～巨大しゃぼん玉で遊	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、竹の棒やうちわなどを使い巨大シャボン玉を作る体験イベントを開催した。	44	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	11月21日		みんなで巨大鳥の巣「バイオネスト」を観察しよう！	申込み参加者	里の家を出発し、森の池の野生動物の足跡やフンなどを観察しながら利活用拠点まで移動。鳥の巣型の堆肥マスバイオネストの生きものを観察したのち、落ち葉や刈り草をバイオネストに入れて子どもたちに踏んでもらった。松葉の堆肥のカブトムシの幼虫も観察し、ツルグレン装置を用いて土壌生物の観察も行った。	11	森の池	有料

共催	11月21日		福岡県民さわやかマラソン大会【中止】	申込み参加者	新型コロナウィルス感染拡大のため中止		大芝生広場及び園内特設コース	有料
主催	11月22日		プチボランティア（11月）	申込み参加者	雨天の為、中止	0	潮見台西側松の苗木植栽地	無料
持込	11月23日		ラグビー練習	申込み参加者	大芝生広場にて草ヶ江ヤングラガーズの練習及び交流試合を行いった。	376	大芝生広場	無料
共催	11月27日	11月28日	ディスクゴルフ競技会九州オープン	申込み参加者	日本ディスクゴルフ協会が主催する、ディスクゴルフの公式戦を大芝生広場特設コースにおいて実施した。	97	大芝生広場	有料
主催	11月27日		プロジェクトワイルド本編□一般指導者講習会□※環境	申込み参加者	環境教育プログラム、「プロジェクトワイルド」本編エデュケーター講習会を実施した。□ゲームなどを通じて、野生動物について学ぶプログラムを体験してもらい、参加者にも実践してもらっ	14	森の家レクチャールーム	有料
共催	11月27日		松の間伐作業	申込み参加者	青少年海の家の周辺の松林において、マツの間伐作業を行った。	190	青少年海の家周辺の松林	無料
主催	11月28日		みらいの森体験塾□～冬の収穫祭～□※環境学習PG	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力の下、環境共生の森のみのりの畑で育てた冬野菜（ダイコン、ジャガイモ）の収穫体験とタマネギ苗植え付け・エンドウマメ播種体験を実施した。□□	36	環境共生の森	有料
主催	11月29日		企業ボランティア□日本振興株式会社□みらいの森の草	申込み参加者	企業ボランティア活動として、環境共生の森の植樹エリアの下草刈り作業を実施した。なお、環境共生の森サポート・ボランティアにも作業フォローなどをご協力頂いた。□	11	環境共生の森	無料
主催	12月1日	12月31日	セグウェイツアー（12月）□※自主事業	申込み参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	5	園内各所	有料
主催	12月1日	12月31日	電動キックボード体験	一　般希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。	185	サイクリングコース全域	有料
主催	12月4日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を行った。□	4	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
持込	12月4日	12月17日	花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
持込	12月4日	12月25日	ブライダルフェア	一　般希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	81	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	12月4日		企業ボランティア□大和ハウス工業株式会社福岡支社□	申込み参加者	企業ボランティア活動として、玄界灘側の海岸清掃（潮見台～シオヤ）を実施した。□	66	潮見台周辺□海浜部	無料
持込	12月5日		ラグビー練習	申込み参加者	大芝生広場にてぎんなんリトルラガーズの練習及び交流試合を行った。	375	大芝生広場	無料
持込	12月11日	12月12日	アルティメット大会	申込み参加者	アルティメットの普及を目的に、オフシーズンに男女混合の楽しい大会を行い、九州のプレイヤーの交流を図りました。	265	大芝生広場	有料
主催	12月11日		団体ボランティア□博多女子高等学校インターアクトク	申込み参加者	博多女子高等学校インターアクトクラブによる白砂青松ボランティアとして１１月～３月まで毎月１回活動を予定。第2回は、潮見台通路両脇の松林の整備作業（ツルとり、ロープ柵周りの草	11	玄界灘側マツ林□及び海浜部	無料
主催	12月15日		企業ボランティア□JR九州エージェンシー□白砂青松ボ	申込み参加者	企業ボランティア活動として、玄界灘側の海岸清掃及びサイクリングコース沿いのマツ林の枯れ枝拾い、つる取りなどの作業を実	5	玄界灘側マツ林□及び海浜部	無料
主催	12月16日		プチボランティア（12月）	一　般希望者	雨天の為中止	0	森の池	無料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト	一　般希望者	野外劇場の地形を利用し、一般参加のボランティアの協力によって、10,000本のキャンドルを利用したグラウンドアートを制作する夜間開園イベントを開催した。	19,813	ワンダーワールド及び野外劇場	有料
主催	12月18日	12月26日	うみなかキャンドルナイト～キャンドルボランティア	申込み参加者	市民ボランティア参加による1万本のキャンドルアートの作成・点灯・入替え・片付け作業を行った。□□【各日参加人数】□8日：82名□9日：74名□24日：53名□25日：86名□26日：68名	363	ワンダーワールド及び野外劇場□	無料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト～メッセージキャンドル【	一　般希望者			マリンワールド前	有料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト～ブラックライトアート	一　般希望者	アート作品にクリスマスにほしいもの願い、大事な人へのメッセージなど自由に描ける参加型のイベントを開催した。	150	野外劇場周辺	無料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト～クリスマスマーケット	一　般希望者	クリスマスの雰囲気にあった光るグッズの販売や暖かい飲食の販売を行った。	436	野外劇場周辺	有料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト～キャンドルアート地上絵	一　般希望者	会場内に設置されたモニターで上空からアートの全体を生中継した。		野外劇場周辺	無料
主催	12月18日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を実施した。	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト～ワンダーワールドライト	一　般希望者	ワンダーワールド周辺のイルミネーション、光るＳＬ機関車やゴーカートなどをキャンドルナイトの期間限定でライトアップして特別営業した。		ワンダーワールド前	無料
主催	12月18日	12月25日	うみなかキャンドルナイト～カナールライトアップ～	一　般希望者	西口のスカイシェルター～カナール噴水をライトアップし、本会場までの徒歩ルートを幻想的に演出しイベントの期待度を高めるイベントを実施した。		西口スカイシェルター～カナール	無料
主催	12月25日	12月26日	動物の森歳時記イベント□動物たちのクリスマス□※動	一　般希望者	動物たちに餌で作ったケーキをプレゼントするイベント等を実施した。	36	動物の森	無料
持込	12月29日		親子サッカーイベント	申込み参加者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズの親子サッカーイベントを行った。	89	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	1月1日		プロジェクトワイルド水辺編一般指導者講習会□※環境	申込み参加者			森の家レクチャールーム	有料
主催	1月1日	1月31日	セグウェイツアー（1月）□※自主事業	申込み参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	5	園内各所	有料
主催	1月1日	1月31日	電動キックボード体験	一　般希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。（10月参加者数：564人）	564	サイクリングコース全域	有料
主催	1月2日		ＯＭＩＹＡＧＥづくり体験～だるまの絵付け体験～□	一　般希望者	縁起物のだるまに自由に絵付けをしオリジナルのだるまを作り、来園記念にお土産としてお持ち帰りいただいた。	66	子供の広場管理棟	有料
主催	1月3日	1月4日	新春！プレイパーク～みんなの遊び場～	一　般希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、公園ならではの遊びの場を設けた。	254	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	1月8日	1月10日	動物の森歳時記イベント□正月　イベント□※動物の森	一　般希望者	お客様にプレゼントがあたる動物おみくじイベントを実施した。	150	動物の森	無料
主催	1月9日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を行った。□	19	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	1月9日		みらいの森体験塾□～里のお正月体験～□※環境学習PG	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、里の家やみのりの里にて、どんど焼き、各種お正月遊び体験（書初め、羽子板など）をお楽しみいただいた。また、どんど焼きの熾火を活用して、焼き芋やスモア作りを行った。□	30	環境共生の森	有料
持込	1月14日		ミュージックビデオの撮影	申込み参加者	福岡スクールオブミュージックアンドダンス専門学校の卒業制作ミュージックビデオを撮影します。	63	園内各所	無料
持込	1月16日		ラグビー練習	申込み参加者	大芝生広場にて筑紫丘ヤングラガーズクラブと草ヶ江ヤングラガーズの練習及び交流試合を行いった。	547	大芝生広場	無料
主催	1月19日		プチボランティア（1月）□	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、環境共生の森の植樹エリア（M12）の間伐作業及び間伐材の処理作業を行っ	10	環境共生の森	無料
主催	1月22日		団体ボランティア□博多女子高等学校インターアクトク	申込み参加者	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、学校側の活動自粛により中止	0	玄界灘側マツ林□及び海浜部	無料
持込	1月22日		花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	1月23日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を行った。□	4	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	1月26日		みらいの森団体プログラム受入□「森のガイドツアーと	申込み参加者	まん延防止等重点措置発令に伴う、学校側の活動自粛により３月に延期	0	環境共生の森	有料
主催	2月1日	2月28日	セグウェイツアー（2月）□※自主事業	申込み参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	5	園内各所	有料
主催	2月1日	2月28日	電動キックボード体験	一　般希望者	電動キックボードに乗ってうみなかの風を切り風景を楽しむ体験イベントを開催した。（10月参加者数：564人）	564	サイクリングコース全域	有料
主催	2月5日	2月6日	動物の森歳時記イベント□節分の日　イベント□※動物	一　般希望者	動物の森のサル等の動物へエサをプレゼントするイベント等を実施した。	56	動物の森	無料
主催	2月6日		みらいの森体験塾□～カモの模型づくり＆観察～□※環	申込み参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、野鳥の池及び森の池周辺でのカモ＆冬鳥観察、カモの模型作成体験を実施した。□□※参加者数4組11名（カモ模型7作品）	11	森の家、野鳥の池	有料
持込	2月9日		花火の打ち上げ	一　般希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料

主催	2月11日	3月13日	うみなかたび-早春編-	一　般 希望者	スイセン・ウメ・ロウバイなど早春に咲く花が見ごろとなる、おもちゃ箱花壇エリアにおいて、□和の演出を意識した和傘と赤色の毛せんベンチ設置、休日限定でのカフェ出店、□アイスチューリップによるおもちゃ箱花壇へのアプローチ演出を行い、うみなかたびとして園内周遊を促進するとともに、フラワーピクニックに向けた期待感を醸成した。		おもちゃ箱花壇他	無料
主催	2月11日	3月13日	うみなかたび-早春編-□早春の花 川柳	一　般 希望者	ウメやスイセンにまつわる川柳を WEB 募集するとともに、「うみなかの 春 みっけ 」をテーマにした SNS フォトコンテスト	22	おもちゃ箱花壇	無料
主催	2月11日	3月13日	うみなかたび-早春編-□風車フォトスポット	一　般 希望者	早春に咲くウメやスイセンなどをイメージカラーとした風車でフォトスポットを提供した。		おもちゃ箱花壇	無料
主催	2月12日	2月13日	動物の森歳時記イベント□ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾃﾞｰ　イベント□※動	一　般 希望者	動物たちにハート型にくりぬいた果物などをプレゼントするイベント等を実施した。	60	動物の森	無料
主催	2月12日		環境学習プログラム～生き物探検隊に参加してみよう	申込み 参加者	感染症拡大に伴う講師都合による延期□※4月に延期予定		環境共生の森・森の池	有料
主催	2月13日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、初心者向けの講習会を実施した。	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	2月19日	2月20日	プレイパーク～みんなの遊び場～	一　般 希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、公園ならではの遊びの場を設けた。	17	子供の広場	無料
主催	2月20日		みらいの森体験塾□～春じゃがを植えよう～□※環境学	申込み 参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、みのりの里にて春ジャガイモの植え付けやダイコン抜き取りを実施。また、畑の取組みとして、BEE団地の紹介とミニBEE団地作成を体験していただいた。□□※参加者数5組18名	18	環境共生の森	有料
主催	2月23日		うみなかたび-早春編-□パークフィットネス(ノルディ	申込み 参加者	ノルディック・ウォーク公認指導員による指導の下、公園西エリアのオススメ早春スポット（スイセンやウメ）を巡る初心者向け講習会を実施した。	4	西口周辺	有料
主催	2月24日		プチボランティア（2月）	申込み 参加者	公園見守り隊の協力の下、動物の森北西側の園路及び海岸の清掃活動を実施した。	4	動物の森北西側園路、海岸	無料
共催	2月26日		クロカン日本選手権	申込み 参加者	国内トップアスリートによるクロスカントリーの日本選手権と福岡クロカンを行った。□※一般参加が可能な市民クロカンはコロナウイルス感染症の影響により中止	1,594	大芝生広場及び園内特設コース	有料
主催	2月26日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	クロカン日本選手権開催に伴う大芝生広場の利用規制により中止	0	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	2月26日		ファミリーボランティア□マツ植樹エリアの草刈り□※	申込み 参加者	潮見台西側のクロマツ植樹エリアにて、下草刈り作業を実施した。	37	玄界灘側マツ林	無料
主催	2月26日		団体ボランティア□博多女子高等学校インターアクト	申込み 参加者	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、学校側の活動自粛により中止	0	玄界灘側マツ林□及び海浜部	無料
主催	2月26日		団体ボランティア□maiPLA（学生団体）	申込み 参加者	団体ボランティア活動として、玄界灘側の海岸清掃を実施した。	11	玄界灘海岸	無料
共催	3月1日	3月14日	海の中道はるかぜマラソン オンラインチャレンジ２０	申込み 参加者	昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、5km、ハーフの部門のオンライン形式でのマラソン大会を開催した。また、エントリーして園内を走った方には、ソフトクリームかコーヒーの割引サービスも行った。□※エントリー数：1395名	10	園内各所	有料
主催	3月1日	3月31日	海と森の学びナビ□森の楽校□※環境学習PG□	申込み 参加者	木の実等を使ったクラフト体験を通じて、環境や自然について学ぶことが出来る環境学習プログラムを開催した。	1,802	森の家工作室	無料
主催	3月1日	3月31日	セグウェイツアー（3月）□※自主事業	申込み 参加者	カモ池など冬季ならではの、色々な景色を楽しみながら体験できるセグウェイツアーを実施した。	5	園内各所	有料
持込	3月3日	3月30日	ブライダルフェア	一　般 希望者	ルイガンズ前の博多湾側芝生エリアにて挙式を行い、ブライダルフェアの一環として、挙式セットを婚礼のお客様へ紹介するイベントを実施した。	144	ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	3月5日	3月6日	プレイパーク～みんなの遊び場～	一　般 希望者	プレイカフェのオープンに合わせ、カフェ前にてプレイパークを開催した。	201	大芝生レストハウス周辺	無料
主催	3月9日		動物と園児が一緒に渡る、横断歩道マナーアップイベ	申込み 参加者	幼稚園児が動物と一緒に横断歩道を渡るイベントを通じて、園児への横断歩道の安全な渡り方の指導とドライバーへのマナーアップ向上を図った。	65	動物の森	無料
主催	3月10日		パークフィットネス(ナチュラルランニング教室)	申込み 参加者	大芝生広場でインストラクターによるベアフットランニング教室を開催した。	2	大芝生広場	有料
主催	3月12日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を行った。□	17	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	3月12日	3月13日	動物の森歳時記イベント□ﾎﾜｲﾄﾃﾞｰ　イベント□※動	一　般 希望者	動物たちにハート型にくりぬいた果物などをプレゼントするイベント等を実施した。	70	動物の森	無料
共催	3月13日		障がい者駅伝大会in海の中道海浜公園□	申込み 参加者	※新型コロナのため中止		光と風の広場	有料
共催	3月13日		大学生 ・専門学校生 × ＮＨＫ ビーチ ・ クリーン	申込み 参加者	きれいな海や海岸を取り戻すため、NHKとの共催で海岸清掃活動を実施した。3/21（月）□3：15～、イベントの様子をNHKで放	42	玄界灘側海岸	無料
持込	3月14日	3月27日	花火の打ち上げ	一　般 希望者	博多湾側芝生エリアにてルイガンズのホテルイベント演出の花火の打ち上げを行いました。		ルイガンズ博多湾側芝生エリア	無料
主催	3月19日	5月22日	FP□海の中道フラワーピクニック2022	一　般 希望者	「福岡の春を彩る、花いっぱいうみなか」をテーマに、福岡を代表する春まつりとして、花や緑に関連した様々なイベントを開催し、花いっぱいの公園を楽しんでいただくことができた。	60,662	園内全域	無料
主催	3月19日	5月22日	FP□花時計花壇展示	一　般 希望者	西日本短期大学の協力により、「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである"福岡の春を彩る、花いっぱいうみなかでSDGs"を表現した花壇を演出した。		花時計花壇	無料
主催	3月19日	3月27日	FP□動物ふれあい広場□※動物の森PG	一　般 希望者	ヤギ、リクガメ等の動物たちと自由に触れ合うことができる場所として、ふれあい広場を実施した。	3,880	動物の森ふれあい広場	無料
主催	3月19日		プチボランティア（3月）	申込み 参加者	森の池ボランティアの協力の下、森の池エリアでの松葉かき作業を実施した。	7	森の池	無料
主催	3月19日	5月22日	FP□うみなかフラワーガーデンコンペティション	申込み 参加者	「海の中道フラワーピクニック」のメインテーマである“花いっぱいうみなかでSDGs”をテーマとしたフラワーガーデンコンペティションに応募された企業・団体の創作花壇の展示を行った。		花桟敷横	無料
主催	3月19日	5月22日	FP□ハンギングバスケット展示	申込み 参加者	日本ハンギングバスケット協会福岡県支部の協会により「ハンギングバスケットマスター」が作るハンギングバスケット作品を展		花時計広場	無料
主催	3月19日	5月22日	FP□GPSアートウォークコンテスト□	一　般 希望者	広大な園内散策を楽しみながら、ウォーキングアプリのＧＰＳ軌跡機能を使って、地上絵を描くイベントをコンテスト形式で実施	0	園内全域	無料
主催	3月19日	5月22日	FP□プレイパーク～みんなの遊び場～□	一　般 希望者	一般社団法人 PLAY FUKUOKA協力のもと、公園ならではの常設の遊びの場を期間中を通して設けた。また、土日祝にはスタッフやプレイワーカーを配置して、遊びのメニューを増やした。□	740	プレイカフェ周辺	無料
主催	3月19日	5月22日	トゥクトゥクパークスタッフガイド	一　般 希望者	「電動トゥクトゥク」を公園スタッフが運転しながら、大芝生広場周辺を中心に公園の見どころを紹介した。□□※3/19・3/26は雨	117	花の丘周辺	無料
主催	3月20日		みらいの森体験塾□～小さい春みぃつけた！～□※環境	申込み 参加者	環境共生の森サポート・ボランティアの協力のもと、環境共生の森の草花を活用したクラフト（万華鏡）作成体験を実施した。	19	環境共生の森	有料
主催	3月20日	3月21日	FP□みんなで一緒にミニガーデンをつくろう！□	申込み 参加者	公園を彩るコンテナガーデンやハンギングバスケットを市民協働で制作した。	46	子供の広場管理棟前	無料
主催	3月23日		みらいの森団体プログラム受入□「森のガイドツアーと	申込み 参加者	環境共生の森サポートボランティアの協力の下、柳川市立矢ヶ部小学校５年生の生徒を対象とした団体向けプログラム（森が出来るまでガイドツアー、幸せの黄色いハンカチ染め）を実施した。	21	環境共生の森	有料
主催	3月26日		団体ボランティア□博多女子高等学校インターアクト	申込み 参加者	雨天のため中止	0	玄界灘側マツ林□及び海浜部	無料
主催	3月27日		FP□ビーチクリーンボランティア□※ファミボラ活動□	申込み 参加者	きれいな海や海岸を取り戻すため、一般公募ボランティアならびに企業ボランティアによる海岸清掃活動を実施した。	165	玄界灘側海岸	無料
主催	3月27日		ディスクゴルフ無料体験講習会	一　般 希望者	ディスクゴルフボランティアの協力のもと、ショートコースを使って、ルール、ディスクの持ち方から投げ方などを体験してもらう、初心者向けの講習会を行った。□	38	大芝生広場ディスクゴルフコース	無料
主催	3月27日		サクラの植樹体験□	申込み 参加者	市民協働による桜の園づくりの一環として、大芝生広場の桜並木にて、サクラ（品種：ジンダイアケボノ）の苗木の植樹体験を実	23	大芝生広場	無料
						333	405,197	

別紙１８

開園時間延伸状況

■開園時間の変更状況

【令和２年度】

期間	令和2年 8 月 9 日（日）
内容	野外サマースクール
現行	9:30～17:30
変更	9:30～21:30（光と風の広場エリア）

期間	令和2年 8 月 1 日（土）～8 月 30 日（日）
内容	デイキャンプ
現行	9:30～17:30
変更	9:30～21:00（光と風の広場エリア）

期間	令和2年 7 月 25 日（土）～7 月 26 日（日）
内容	サンセットビーチヨガ
現行	9:30～17:30
変更	9:30～21:00（光と風の広場エリア）

期間	令和2年 12 月 19 日（土）～20 日（日）
内容	うみなかクリスマスキャンドルナイト
現行	9:30～17:00
変更	9:30～22:30（パークエリア）

【令和３年度】

期間	令和3年 12 月 18 日（土）19 日（日）24 日（金）25 日（土）
内容	うみなかクリスマスキャンドルナイト
現行	9:30～17:00
変更	9:30～22:30（パークエリア）

別紙１９

混雑時の状況

●入園者数・駐車台数・貸自転車比較

R3		R4		入園者数(人)		駐車台数(台)		貸自転車(台)	
				R3	R4	R3	R4	R3	R4
4月25日	日	4月25日	月	12,678	2,786	3,407	678	2,409	633
4月26日	月	4月26日	火	2,090	79	1,089	8	440	5
4月27日	火	4月27日	水	1,352	1,741	436	325	215	196
4月28日	水	4月28日	木	766	5,768	194	960	159	698
4月29日	木	4月29日	金	1,717	383	293	181	428	44
4月30日	金	4月30日	土	4,461	14,578	774	2,992	679	2,195
5月1日	土	5月1日	日	5,150	16,432	1,114	3,583	1,291	2,234
5月2日	日	5月2日	月	3,881	7,818	1,267	1,643	970	1,808
5月3日	月	5月3日	火	21,316	23,125	4,660	4,108	2,694	2,316
5月4日	火	5月4日	水	14,727	25,880	3,524	4,262	2,540	2,321
5月5日	水	5月5日	木	5,173	17,850	1,014	3,626	1,529	2,083
5月6日	木	5月6日	金	2,345	5,443	1,094	1,123	505	899
5月7日	金	5月7日	土	1,641	9,121	588	1,915	222	2,033
5月8日	土	5月8日	日	3,598	10,167	745	2,212	1,076	1,994
合計				80,895	141,171	20,199	27,616	15,157	19,459


05/04/2016


2017/5/3


2016/05/05 09:33


05/05/2016









別紙２０

リース物品（リスト）

種別	物件名	単位	数量
車両	ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄﾄﾗｯｸ	台	1
	ﾄﾖﾀ　ﾉｱ	台	1
	ﾄﾖﾀﾚｼﾞｱｽｴｰｽ	台	2
	ﾄﾖﾀﾀｳﾝｴｰｽﾄﾗｯｸ	台	4
	ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄﾀﾞﾝﾌﾟ	台	2
	ﾀﾞｲﾊﾂﾊｲｾﾞｯﾄｶｰｺﾞ	台	1
事務用機器	パソコン	台	42
	プリンター	台	4
	カラープリンター	台	1
	ストレージサーバー	台	1
	モデム	台	5
	衛星携帯電話	台	5
	複写機	台	2
	複写機（FAX機能付）	台	1
	大型印刷機	台	1
	硬貨選別機	台	1
	紙幣選別機	台	3
	硬貨計算機	台	2

別紙２１

支給品一覧（備品以外の残存物品リスト）

【令和４年度】

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
1	いす	個	16	管理センター　ロビー
2	雑音響機器	個	5	コウモリ観察用　環境共生の森
3	収納台車	個	2	環境共生の森
4	収納台車	個	2	環境共生の森
5	望遠鏡	個	5	環境共生の森
6	双眼鏡	個	10	環境共生の森
7	三脚	個	5	環境共生の森
8	書庫	個	1	環境共生の森
9	雑ついたて	個	4	西口１・ワンロ３
10	鋼製保管庫	個	1	管理センター
11	いす	個	1	管理センター
12	いす	個	2	ドッグﾗﾝ
13	いす	個	2	森の家
14	いす	個	10	光風口
15	いす	個	3	動物の森
16	いす	個	2	園内
17	いす	個	12	インフォ・授乳用
18	いす	個	3	インフォ・授乳室
19	いす（肘付回転）	個	3	管理センター
20	いす（肘付回転）	個	7	管理センター
21	いす（肘付回転）	個	4	動物の森
22	雑印字器具(ナンバリング	個	1	企画課
23	血圧計	個	1	
24	雑医療器具	個	1	光風口
25	雑医療器具	個	1	管理センター
26	雑医療器具	個	1	管理センター
27	下駄箱	個	1	管理センター
28	雑医療器具	個	1	光風口
29	雑車	個	10	ワンロ５・光風口４・カモ池口１
30	車椅子	個	8	西口・海中口・ワンロ２・西サロ・子供１
31	煮沸消毒器	個	1	管理センター
32	ラジオカセット	個	1	大芝生広場倉庫
33	テレビ	個	1	森の家
34	ビデオデッキ（DVD・VHS一体型）	個	1	森の家
35	ワイヤレスアンプ	個	1	企画課
36	ワイヤレスアンプ	個	1	企画課
37	ワイヤレスマイク	個	1	企画課・公報
38	ワイヤレスマイク	個	1	企画課・公報
39	ワイヤレスマイク	個	1	大芝生広場倉庫

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
40	ワイヤレスマイク	個	1	企画課
41	ワイヤレスマイク(ﾂｰﾋﾟｰｽ	個	1	大芝生広場倉庫
42	ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ	個	1	企画課
43	ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ	個	1	企画課
44	スピーカースタンド	本	2	大芝生広場倉庫
45	MDﾌﾟﾚｰﾔｰ	個	1	大芝生広場倉庫
46	ジュラルミンケース	個	1	管理センター
47	金庫	個	1	管理センター
48	電子はかり(天秤	個	1	動物の森
49	万力（卓上型）	個	7	森の家
50	万力	個	7	森の家
51	下駄箱	個	1	管理センター
52	下駄箱	個	1	管理センター
53	下駄箱	個	4	ワンダーワールド
54	入札箱	個	1	集計室
55	雑誌架	個	1	シオヤレストハウス
56	サイドワゴン	個	1	管理センター
57	サイドワゴン	個	1	管理センター
58	台車	個	1	光風口
59	コンプレッサー	個	1	インフォメーション
60	寝台	個	1	管理センター
61	レンズ	個	1	管理センター
62	レンズ	個	1	管理センター
63	拡大鏡(ﾙｰﾍﾟ	個	1	
64	デジタルカメラ	個	1	管理センター
65	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	個	4	西口１・海中口１・ワンロ１・西サロ１
66	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ（一眼ﾚﾌ）	個	1	管理センター
67	書庫	個	9	光風口
68	掃除機	個	1	光風口
69	ゴミ収集箱	個	1	園内
70	洗濯機（全自動5kg）	個	1	動物の森
71	PH残留塩素計	個	1	施設課
72	PH残留塩素計	個	1	じゃぶじゃぶ池
73	加湿器	個	2	管理センター
74	ファンヒーター（石油	個	1	管理センター
75	ファンヒーター（石油	個	1	管理センター
76	冷蔵庫	個	1	西口
77	冷蔵庫	個	1	茶室
78	冷蔵庫	個	1	カモ池
79	冷蔵庫	台	1	子供の広場
80	炊飯器	個	1	管理センター
81	湯沸器	個	1	動物の森
82	食器戸棚(ｵﾌｨｰｽｷｯﾁﾝ	個	1	動物の森管理棟
83	机（両袖）	個	1	管理センター
84	机（片袖）	個	3	管理センター
85	机（片袖）	個	1	管理センター
86	机（片袖）	個	2	管理センター
87	片袖机	個	20	管理センター

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
88	机（片袖）	個	4	動物の森
89	机（片袖）	個	1	動物の森
90	机（平）	個	20	森の家
91	机（OA用）（ワープロデスク	個	1	管理センター
92	応接用(ｾﾝﾀｰﾃｰﾌﾞﾙ	個	1	センター長室
93	机（会議用）	個	1	管理センター
94	机（会議用）	個	1	園内
95	机（会議用）	個	23	光風
96	机（会議用）（卓子	個	14	企画課
97	机（わき）	個	1	管理センター
98	机（わき）	個	1	動物の森
99	机（作業用）	個	1	管理センター
100	食卓	個	26	ワンダーワールド
101	食卓	個	18	ワンダーワールド
102	ワゴン	個	20	センター事務室
103	ワゴン(PC	個	12	センター事務室
104	ワゴン(PC	個	14	センター事務室
105	ワゴン（机用）	個	4	動物の森管理棟
106	ワゴン	個	2	動物の森
107	雑ついたて(ﾛｰﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	個	6	センター事務室
108	雑ついたて(ﾛｰﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	個	9	センター事務室
109	雑ついたて	個	2	インフォ・授乳室
110	ついたて	個	2	管理センター
111	タイムレコーダー	個	2	管理センター１・動物の森１
112	ホワイトボード	個	1	管理センター
113	ホワイトボード	個	1	動物の森
114	ホワイトボード	個	1	動物の森
115	統計表示板（ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	個	1	電話交換室奥
116	はしご	個	1	施設課
117	担架	個	1	西口
118	担架	個	1	光風
119	キャビネット	個	1	管理センター
120	キャビネット	個	1	管理センター
121	キャビネット	個	2	光風
122	キャビネット（ファイリング	個	1	管理センター
123	キャビネット	個	1	ドッグラン
124	鋼製保管庫(両開き	個	1	管理センター
125	鋼製保管庫(引違い	個	1	管理センター
126	鋼製保管庫(両開き	個	3	管理センター３・動物の森１
127	鋼製保管庫(両開き	個	8	管理センター
128	鋼製保管庫(ﾋﾞｼﾞﾈｽﾕﾆｯﾄ・引違い	個	12	管理センター（カウンター）
129	鋼製保管庫(ﾋﾞｼﾞﾈｽﾗｰﾙA型・引違い	個	2	管理センター（カウンター）
130	鋼製保管庫(両開き	個	4	管理センター
131	鋼製保管庫（引き違いガラス	個	3	動物の森
132	鋼製保管庫（引違いガラス	個	1	動物の森
133	鋼製保管庫(引違いガラス	個	2	管理センター
134	鋼製保管庫(引違いガラス	個	1	管理センター
135	鋼製保管庫(引違いガラス	個	2	管理センター
136	鋼製保管庫（引違いガラス	個	1	管理センター

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
137	鋼製保管庫（引き違いガラス	個	1	動物の森
138	鋼製保管庫（引違い	個	1	管理センター
139	鋼製保管庫（引き違いガラス	個	1	動物の森
140	鋼製保管庫(オープン型	個	1	動物の森
141	鋼製保管庫(引出式	個	2	管理センター
142	鋼製保管庫(オープン型	個	8	管理センター
143	ロッカー	個	1	園内
144	ロッカー	個	1	管理センター
145	ロッカー	個	1	
146	ロッカー	個	2	園内
147	ロッカー	個	1	管理センター
148	ロッカー	個	1	
149	ロッカー	個	1	光風
150	ロッカー	個	4	男子更衣室２・女子更衣室２
151	ロッカー(6人用	個	2	動物の森
152	ロッカー(4人用	個	1	動物の森
153	ロッカー(9人用	個	1	動物の森
154	データ読み取り機(MOﾄﾞﾗｲﾌﾞUSB)	個	1	動物の森
155	データ読み取り機(ﾎﾟｹｯﾄ)	個	1	動物の森
156	パネル(ヴァンテアン)	個	7	動物の森
157	動物管理用品	個	1	動物の森
158	動物管理用品	個	1	動物の森
159	動物管理用品	個	1	動物の森
160	動物管理用品（うさぎ固定器）	個	1	動物の森
161	動物管理用品	個	1	動物の森
162	動物管理用品	個	1	動物の森
163	公園管理用品	個	4	園内
164	公園管理用品	個	6	園内
165	公園管理用品	個	1	植物管理棟
166	公園管理用品(播種機)	個	2	植物管理棟
167	図書	個	1	動物の森
168	図書	個	1	植物管理棟
169	図書	個	1	植物管理棟
170	図書	個	1	管理センター
171	図書	個	1	管理センター
172	図書	個	1	管理センター
173	ハンドリーダー	台	1	管理センター
174	消毒用自走動噴・噴口	台	1	管理センター
175	動物管理用品	個	1	動物の森
176	動物管理用品	個	1	動物の森
177	動物管理用品	個	1	動物の森
178	拡声器	個	1	森の池利活用拠点施設
179	高圧洗浄機	個	1	森の池利活用拠点施設
180	雑電気機器	個	1	森の池利活用拠点施設
181	リヤカー	個	1	森の池利活用拠点施設
	総務課			

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
1	付箋紙(小)	個	18	
2	付箋紙(中)	個	21	
3	付箋紙(大)	個	25	
4	付箋紙(特大)	個	8	
5	ノート(B5)	冊	7	
6	レベルブック	冊	2	
7	キングファイル(3cm)	冊	2	
8	キングファイル(5cm)	冊	3	
9	キングファイル(6cm)	冊	0	
10	フラットファイル	冊	51	
11	蛍光ペン	本	92	
12	ボールペン	本	54	
13	ボールペン(替え芯)	本	68	
14	マジック(細)	本	50	
15	マジック(太)	本	42	
16	鉛筆	本	20	
17	ホワイトボードマーカー	本	28	
18	ホワイトボードマーカー(詰め替え用)	本	33	
19	消しゴム	個	38	
20	砂消し	個	14	
21	修正テープ	個	2	
22	修正テープ(カートリッジ)	個	12	
23	テプラ	個	136	
24	ガムテープ	巻	5	
25	布テープ	巻	8	
26	セロテープ	巻	9	
27	両面テープ	巻	18	
28	のり	本	24	
29	メンディングテープ	巻	7	
30	インデックス(大)	袋	18	
31	インデックス(中)	袋	16	
32	ホッチキス針	箱	22	
33	乾電池(単1)	本	16	
34	乾電池(単2)	本	19	
35	乾電池(単4)	本	26	
36	コピー用紙(A3)	冊	2	
37	コピー用紙(A4)	冊	25	
38	レターボックス	個	22	
39	ポロシャツ	着	602	
40	ブルゾン	着	177	
41	防寒着	着	193	
42	コミュニケーションボード	枚	6	
43	高齢者疑似体験セット	個	1	
45	ヘルメット	個	105	
	企画課(企画係)			
1	長机	本	26	企画
2	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）	台	35	企画

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
3	折りたたみイス	個	140	企画
4	A型看板（小）	基	12	企画
5	テント用ウェイト(20kg,10kg,5kg)	個	83	企画
6	拡声器	個	3	企画
7	加湿器	個	1	企画
9	ハンマー（大）	個	2	企画
10	ハンマー（小）	個	2	企画
11	折りたたみ式コンテナ	個	14	企画
17	丸椅子	個	140	企画 H28追加購入(30個)
18	コードリール　50m	個	10	企画
19	コードリール　30m	個	5	企画
20	鉄ピン　大（テント等固定）	本	24	企画
21	鉄ピン　小（テント等固定）	本	50	企画
22	パーティション　900ｘ1800	枚	20	企画
23	パーティション　900ｘ900	枚	18	企画
24	パーティション用　足	本	40	企画
25	イーゼル	個	7	企画
26	空気入れ	台	1	企画
28	スピーカーケーブル　20m	本	2	企画
32	ポスターパネル（B1、防水タイプ）	枚	12	展示イベント用
33	パンフレットスタンド	台	1	展示イベント用
34	A型ポスタースタンド（Ｂ１サイズ）	台	8	イベント情報表示用
35	ポスタースタンド用保持パイプ（B1用）	台	8	イベント情報表示用
36	看板用ウエイト（11kg）	個	16	イベント情報表示用
37	ポスト	個	1	広報
38	ＤＶＤプレーヤー（東芝SD310J	基	1	企画（動物ふれあいいのちの輝き展）
39	外付ハードディスク（ＨＤＬＳ1.ＯＴＵ2Ｊ（Ｆ1.0）	個	2	イベントデータ整理
40	デジタルカメラ（ペンタックス、ＯＰＴＩＯWG1ＰＬ（ＰＬ）	個	1	イベントデータ記録
41	デジタルカメラ用メディア（東芝、ＳＤＥ016G4）	個	2	イベントデータ記録
42	デジタルカメラバッテリー（ソニー、ＮＰＦG1（ＳＳＳ））	個	3	イベントデータ記録
43	ブロンズランタン（74410000）	個	17	企画（うみなかクリスマスキャンドルナイト）
44	中国製ホワイトラティス（1800×900mm）	枚	81	企画（ハンギングバスケット展）
45	セーフティーコーン（2.8kg）青	本	450	スポーツイベント等
46	コーン用バー（2m）	本	353	スポーツイベント等
47	ミニコーン（別名：マーカー、橙色）	個	390	スポーツイベント等
48	ラインカー（プラスチック製、黒）	台	1	スポーツイベント等
49	回転灯（12/24V兼用）	個	20	持込イベント用（ガードマン口）
50	車両マグネット（園内作業中）	枚	60	持込イベント用 H26購入（ガードマン口）
51	胴長	着	1	環境イベント用 H26購入、昨年購入した３着のうち、２着は市民交流（里の家）へ
52	クーラーボックス	個	1	スポーツイベント用 H26購入
53	テント横幕（2間）	枚	20	H26購入
54	テント横幕（4間）	枚	20	H26購入
55	折りたたみベンチ	脚	20	ステージイベント用 H26購入
56	自転車	台	10	持込イベント用 H26購入
57	巻尺	個	4	H26購入
58	タープテント（サーカスＴＣ）	個	5	H29購入
59	タープ（aozoraタープ）	個	5	H29購入
60	ヨガマット	個	15	H29購入
61	ガーデンテーブルセット	個	15	H29購入

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
62	ハンモック	個	15	H29購入
63	和傘	個	20	H29購入※Ｈ30追加購入（10本）
64	色が変わる傘（子供用）	個	10	H29購入
	企画課(市民交流係)			
1	書籍「新訂図解植物観察辞典」	冊	1	環境学習プログラム
2	書籍「図説植物用語事典」	冊	1	環境学習プログラム
3	書籍「樹に咲く花-合弁花単子葉・裸子植物」	冊	1	環境学習プログラム
4	書籍「樹に咲く花-離弁花」	冊	1	環境学習プログラム
5	書籍「野に咲く花」	冊	2	環境学習プログラム H30年度1冊追加記載
6	書籍「樹皮ハンドブック」	冊	2	環境学習プログラム H30年度1冊追加記載
7	書籍「紅葉ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
8	書籍「冬芽ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
9	書籍「コウモリ識別ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム H30年度追加記載
10	書籍「昆虫の食草・食樹ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
11	書籍「野鳥の羽ハンドブック」	冊	3	環境学習プログラム H30年度追加記載
12	書籍「野鳥と木の実ハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム H30年度追加記載
13	書籍「種子たちの知恵-身近な植物に発見！」	冊	1	環境学習プログラム
14	書籍「どんぐりハンドブック」	冊	1	環境学習プログラム
15	カラー竹馬（適応身長110cm以下）	個	9	昔遊び広場 H30年度数量6本廃棄
16	カラー竹馬（適応身長120～140cm）	個	9	昔遊び広場 H29年度2本追加購入
17	カラー竹馬（適応身長150cm以上）	個	3	昔遊び広場
18	三本備中鍬	本	7	環境共生の森
19	唐鍬	本	1	環境共生の森 ※H30年度平鍬に訂正6本
20	平鍬	本	6	環境共生の森 ※H30年度唐鍬から訂正6本
21	刈払用カマ	本	3	環境共生の森
22	集草用レーキ	本	3	環境共生の森 H26年度2本追加購入
23	三角ホー鍬	本	5	環境共生の森 H29年度1本追加購入
24	かき板（大）	本	3	環境共生の森 H29年度購入
25	すき鍬（草削り）	本	3	環境共生の森 H29年度購入
26	八角木槌	本	5	環境共生の森 H29年度4本追加購入
27	剣スコ大	本	12	環境共生の森 H30年度追加記載
28	剣スコ小	本	9	環境共生の森 H30年度追加記載
29	太枝きり	本	5	環境共生の森 H29年度購入
30	太枝きり（アルミ）	本	4	環境共生の森 H29年度購入
31	一輪車	台	1	環境共生の森 H30年度追加記載
32	台車	台	2	環境共生の森 H29年度2台購入
33	胴長	本	2	環境共生の森
34	ジョウロ	本	1	環境共生の森
35	7段脚立	基	1	環境共生の森 H30年度追加記載
36	貯水タンク	個	1	環境共生の森 H30年度追加記載
37	金ダライ	個	6	環境共生の森
38	タープテント　3m×3m	基	1	環境共生の森 H30年度購入
39	携帯顕微鏡	個	5	環境共生の森 H29年度1台廃棄
40	紙芝居台	台	1	環境共生の森 H30年度追加記載
41	電子レンジ	台	1	環境共生の森 H29年度購入
42	ワゴンカート	基	1	環境共生の森
43	折りたたみテーブル（軽量タイプ1800×450）木目天板	台	10	環境共生の森 H29年度5台追加購入
44	ホームベンチ	基	13	イベント用 H26年度購入 H28年度6基追加購入

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
45	業務用扇風機（オレンジの羽）	基	2	環境共生の森 H30年度追加記載
46	パンフレットスタンド	基	2	環境共生の森
47	連結棚（スチール製）	台	3	環境共生の森
48	IH段付鍋	個	5	環境共生の森
49	卓上IH調理器	個	4	環境共生の森
50	電気ケトル	個	2	環境共生の森 H29年度1個追加購入
51	アルミ　大型鍋（大１、中１、小３）	個	5	環境共生の森 H30年度（小3）追加記載
52	木蓋　（アルミ　大型鍋用、中1、小3）	個	4	環境共生の森 H30年度（小3）追加記載
53	料理用大鍋（金アルミ）大1、小4	個	1	環境共生の森 H30年度（小4）追加記載
54	羽釜の蓋	個	2	イベント用　　H26年度購入
55	羽釜	個	1	環境共生の森 H30年度追加記載
56	飯ごう	個	20	環境共生の森
57	ダッチオーブン　12インチ	個	2	環境共生の森 H29年度購入
58	もち箱（四角いプラスチック製、クリーム色）	個	4	環境共生の森 H30年度追加記載
59	せいろ2段	個	1	環境共生の森 H28年度購入
60	電動ドリル	個	1	環境共生の森
61	焼印	本	2	環境共生の森
62	検測竿	本	1	環境共生の森 H29年度購入
63	サウンドリーダー（野鳥の声の読み取り用）	個	8	イベント用 H30年度追加記載
64	ボルトレスラック（木製）	基	1	環境共生の森
65	折りたたみコンテナ	個	23	環境共生の森
66	デジタルカメラ（PENTAX　WG-50）黒色	個	1	イベント用 H29年度購入
67	コルクボード（600mm×900mm）	枚	5	環境共生の森
68	ステップ踏み台	基	2	ボランティア活動用 H26年度購入 H29年度1台廃棄
69	テーブル	台	6	西戸崎レストハウス H26年度購入
70	椅子	脚	24	西戸崎レストハウス H26年度購入
71	キャスター付パネル	台	10	西戸崎レストハウス5台、森の家レクチャー5台 H26購入
72	パンフレットスタンド	台	2	国倉庫 H26購入
	企画課（広報係）			
1	パンフレットスタンド	基	1	キャンペーン用(広報室)
6	台車	基	1	（広報室）
7	コルクボード（600mm×900mm）	枚	1	事務所内掲示板
8	花瓶	個	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室）
9	コンパクトメガホン	個	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室）
10	パンフレットスタンド（卓上）	基	2	ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ用（広報室①/西サロ①）
11	デジタルカメラ　ｷｬﾉﾝIXY630　ｼﾙﾊﾞｰ	個	1	記録撮影用　H26購入（センター）
12	SDカード　8G（上記カメラ用）	個	1	記録撮影用　H26購入（センター）
13	イレパネB1サイズ	基	5	海中駅口①港レストハウス①広報室③　H26購入
15	うみなかはなまつり横断幕	基	1	香椎駅設置用　H26購入
16	フラワーピクニック横断幕	基	1	香椎駅設置用　H25購入
18	カメラスタンド	基	1	記録撮影用　H24購入（センター）
	植物管理課			
1	アーチ(バラ2人掛けベンチ囲い)	個	1	ファニチャー　FM用
2	エクセレントフラワーアーチ　1740*490*2020ｍｍｸﾞﾘｰﾝ	基	2	ファニチャーバラ園用
3	オベリスク	個	4	ファニチャー　FM用
4	折込式のこぎり　ＰＭ-21	本	11	作業道具　センター用、温室用
5	剪定鋸 210mm	本	10	作業道具、H25購入

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
6	ノコギリ TL-30	本	1	作業道具 FV用
7	ノコギリ シルキーズバット	本	2	作業道具
8	剪定鋸 ズバット300	本	1	作業道具
9	刈込ばさみ アルミ柄 MS-4	本	1	作業道具FV用
10	剪定ばさみ 岡恒 200mm	本	3	作業道具
11	花切バサミ 165ｍｍ	本	6	作業道具 温室・ゲート用
12	花切バサミ 165ｍｍ	本	3	作業道具 FV用
13	花切ハサミ 180mm	本	3	作業道具
14	花切ハサミ 180mm	本	8	作業道具 FV用
15	花切バサミ チカマサ T-550	本	1	作業道具 直営用
16	花切バサミ 岡恒 200mm	本	2	作業道具 直営用
17	花切バサミ 近正ステン 200mm	本	2	作業道具 直営用
18	花切り鋏 180ｍｍ	本	5	作業道具 花壇、バラ園花殻摘み用、H25購入
19	太丸高枝切りばさみ 1000mm N-153	本	5	作業道具 FV2本、直営3本
20	太丸高枝切りばさみ 2000mm N-155	本	1	作業道具FV用
21	高枝切 3.0-5D	本	1	作業道具 高木枝切り用
22	高枝切 HAYAUCHI4段	本	1	作業道具 高木枝打ち用
23	高枝切ノコギリ シルキーズバット2段	本	1	作業道具
24	高枝切ノコギリ シルキー はやうち 2段	本	1	作業道具 高木枝打ち用 H26購入
25	軽量剪定鋏 K-1000	本	1	作業道具 低木剪定用
26	脚立 3段ステップ	脚	2	作業道具 直営用
27	アルミ園芸三脚 240	本	1	作業道具 剪定用
28	レーキ	本	2	作業道具 FV用
29	三本クワ 1050mmタモ柄付	本	1	作業道具
30	移植ゴテ	本	15	作業道具 FV用
31	浅型一輪車	台	1	作業道具 直営用
32	台車 金象印キャリーラック	台	1	作業道具 ボランティア用
33	工業用扇風機 YKS-A45	台	2	作業道具 温室用（2基は共生の森で使用中）
34	工場用扇風機 HX-450	台	8	作業道具 温室用
35	扇風機 FS-30LW	台	1	作業道具 直営・節電用
36	ポット土詰め器（スピードポッター） Ｌ30Ｐ 標準穴	台	1	作業道具 温室用
37	無地ホワイトボード 横型 600*900	枚	4	作業道具 作業道具 温室用
38	人力噴霧機 MH9D-1	台	3	作業道具 薬剤散布用、H25購入
39	噴霧器 9L	台	1	作業道具 温室薬剤散布用、H25購入
40	乾湿両用集塵機 VC-1100（掃除機）	台	2	作業道具 メリケントキンソウ種子取り用、H25購
41	ライン引きA型 EFA-003	台	1	作業道具 花壇、花畑デザイン用、H25購入
42	生垣バリカン マキタ MUH406	台	1	作業道具 H26購入
43	刈払機 BIGM BC23CSN	台	1	作業道具
44	手押し芝刈り機 トラッドモア―20	台	1	作業道具 ドックラン用 H26購入
45	チェーン目立機 ニシガキ N-820 充電式	個	1	作業道具 チェーンソー刃研ぎ
46	ワンタッチ計量器	個	1	計量機器 薬剤散布用、H25購入
47	照度チェッカー ＳＫ-10ＬＸ	個	1	計量機器 樹林地内の明るさを表示
48	小型農薬保管庫	台	1	収納庫 温室用、H25購入
49	ジョウロ 8L	個	3	灌水機器 センター用
50	ジョウロ 6L	個	1	灌水機器 H26購入
51	キリコ巻取り器リール 巻幅65mm	個	1	灌水機器
52	キリコ巻取り器台座 据置型	個	1	灌水機器
53	スプリンクラー カクダイ 546-010	個	17	灌水機器 FM用
54	スプリンクラー カクダイ 5470-13	個	8	灌水機器

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
55	インパクトスプリンクラー	個	24	灌水機器、H25購入
56	トリプルスプリンクラー	個	12	灌水機器、H25購入
57	バルススプリンクラー	個	3	灌水機器、H25購入
58	ホース 内径15mm×50m	巻	14	灌水機器、H26追加購入
59	ホース 内径15mm×30m	巻	2	灌水機器、H26追加購入
60	消防ホース（散水用） 40A×20m	本	2	灌水機器、H25購入
61	灌水用ホース（網入り、15mm×50m）	巻	10	灌水機器 H26年度購入
62	灌水用ホース（網入り、18mm×50m）	巻	4	灌水機器
63	灌水用ホース（リール付 30m）	個	1	灌水機器 温室用
64	タンク用ホース 20m	本	1	灌水機器 H26購入
65	ホースリール（金象 プロ用 メタルL）	基	2	灌水機器 H26年度購入
66	台車（ハラッス）ホースリール運搬用	基	2	灌水機器 H26年度購入
67	500ℓタンク タマローリーLT-500	個	1	灌水機器 H26購入
68	散水ノズル（噴霧ノズル付） 40A	個	1	灌水機器、H25購入
69	散水ノズル ＢＡ-2 330mm	個	2	灌水機器
70	鉄ピン 長さ1000mm×径12mm	本	800	安全措置用 花畑管理（ロープピング等）
71	プラスチック擬木 φ60*700 12φ*1穴	本	300	安全措置用 花畑周辺囲い用
72	キャスター付草刈飛散ガード（ＨＢＥ-1521Ｋガーネット）	台	1	安全措置用、H26購入
73	カラーコーン	個	20	安全措置用、H25購入
74	カラーコーン(耐劣化タイプ)	個	20	安全措置用
75	矢印板	個	7	安全措置用
76	コーンバー	個	10	安全措置用、H25購入
77	コーンウェイト 2kg	個	40	安全措置用、H25購入
78	大自タイヤストッパー(2個1セット)	セット	1	安全措置用 1tトラック用
79	タイヤストッパー ゴム製	セット	1	安全措置用 軽トラック用
80	KTファイバーマット（W2m 3等分×10m）	巻	8	資材 花畑散策路土留め工資材 H26年度購入
81	デジタルカメラ キャノンIXY220F シルバー	台	1	記録用
82	デジタルカメラ canon IXY630SL	台	1	記録用 H26購入
83	デジタルカメラ ｶｼｵ ＥＸ-ＺＲ1300	台	1	記録用 H27購入
84	書籍（造園安全衛生管理の手引き）	冊	1	センター用
85	ヤマトプラスチック ツリー 黒 12号	個	30	作業道具 温室用
86	デジタルカメラ カシオＥＸ-ＺＳ29（ＳＶ）	台	2	記録用 H29購入
87	書籍（「ハーバルガーデン香りを空間にデザインする」）	冊	1	センター用
88	赤レンガ	個	300	資材 花壇管理用
89	剪定＆鋸ケース ES-37	個	1	作業道具 直営用
90	赤白剪定鋏 200mm	丁	5	作業道具 センター直営用
91	ヌメ皮剪定・折込鋸ケース	個	14	作業道具 センター直営用
92	オーロラゼロ20m（ホース） R220ZEN	本	1	作業道具 ボランティア用
93	SDカード SD2GB	本	2	記録用 H29購入
94	赤白剪定鋏 200mm	丁	5	作業道具 センター直営用
95	アルミスタンド工業扇 YAS-455T	台	5	作業道具 温室用
96	アルミホースリール 553-031	台	7	灌水機器 草花用
97	防藻 エコグリーンホース φ15mm×50m	巻	3	灌水機器 草花用
98	スタンド工業扇 NYS-455T/K	台	1	作業道具 温室用
	施設設備管理課			
1	カラーコーン	個	100	立入規制等安全管理用
2	カラーコーンバー	本	50	立入規制等安全管理用
3	カラーコーン用サインポケット	枚	20	立入規制等安全管理用

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
4	カラーコーンバー（白黄色ゴム輪タイプ2m）	本	20	立入規制等安全管理用
5	カラーコーン用ウエイト　光るコーンリングＧＯＲ-Ｄ4	個	15	立入規制等安全管理用
6	カラーコーン用ウエイト　コーンベース（2ｋｇ）	個	200	立入規制等安全管理用
7	TRコーン	個	50	立入規制等安全管理用
8	ビューティージョイント	個	10	立入規制等安全管理用
9	ビューティーフェンス　　H1180*W1000青	枚	18	立入規制等安全管理用
10	ビューティーベース角型13.5ｋｇ255ｍｍ*225ｍ	個	18	立入規制等安全管理用
11	置き型柵　パネル・デ・スクリーン	基	10	立入規制等安全管理用
12	二方向矢印板（樹脂製　緑白450＊900）	台	4	立入規制等安全管理用
13	置き型柵　ウエイト（溶融亜鉛メッキ）	基	20	立入規制等安全管理用
14	置き型柵　ウエイト（溶融亜鉛メッキ7.5kg/個）	個	20	立入規制等安全管理用
15	二方向矢印板　（緑、矢印無）	枚	6	立入規制等安全管理用
16	矢印板ＳＲ型　ＡＲ-14Ｓ	台	2	立入規制等安全管理用
17	打込み丸カン　12φ×1,000㎜　人止めロープ柵用杭	本	80	立入規制等安全管理用
18	サインスタンド（注水タイプ）小	台	31	園路広場等案内看板用
19	サインスタンド（注水タイプ）大	台	25	園路広場等案内看板用
20	メッセージボード	台	30	園路広場等案内看板用
21	ハーリンテーブル（TB-036　グリーン）	台	20	休憩スペース用（移動式）
22	ハーリンチェアー2　（グリーン）	脚	50	休憩スペース用（移動式）
23	ハーリンチェアー2（ホワイト）	脚	50	ふわんポリン休憩スペース用
24	ハーリンテーブル（ホワイト）	台	10	ふわんポリン休憩スペース用
25	アルミ円形テーブル	台	11	こどもの砦ウッドデッキ用
26	アルミパイプチェア	脚	44	こどもの砦ウッドデッキ用
27	ダブルアームベンチ	脚	1	カナール休憩スペース用
28	シングルアームベンチ	脚	1	カナール休憩スペース用
29	テーブル140*72	台	1	西口スカイシェルター用
30	スクエアテーブル60角	台	1	ふわんポリン休憩スペース用
31	ダブルアームチェア	脚	4	ふわんポリン休憩スペース用
32	3芯LED用Y字延長コード（白コード）	個	2	冬季夜間開園時装飾用
33	3芯LED用コントローラー（黒コード）	個	4	冬季夜間開園時装飾用
34	3芯LED用コントローラー（白コード）	個	5	冬季夜間開園時装飾用
35	ジョイントLED用コントローラー	個	6	冬季夜間開園時装飾用
36	LEDネットライト　180球　1.2m×2.4m	枚	10	冬季夜間開園時装飾用
37	LEDライト　白色　ストレート	個	4	冬季夜間開園時装飾用
38	LEDライト（3芯・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ　10m）	本	20	冬季夜間開園時装飾用
39	LEDライト（3芯・白・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10m）	本	27	冬季夜間開園時装飾用
40	LEDライト（ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10m）	本	40	冬季夜間開園時装飾用
41	LEDライト（桜色・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　11m）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
42	LEDﾗｲﾄ（ｼﾞｮｲﾝﾄﾀｲﾌﾟ・ｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ10m）	本	30	冬季夜間開園時装飾用
43	LEDﾗｲﾄ（ｼﾞｮｲﾝﾄﾀｲﾌﾟ・白・ｽﾄﾚｰﾄ・黒ｺｰﾄﾞ10m）	本	60	冬季夜間開園時装飾用
44	LEDライト（白・ｽﾄﾚｰﾄ・ｸﾘｱｺｰﾄﾞ　10m）	本	10	冬季夜間開園時装飾用
45	ＬＥＤフラワーライト	個	2	冬季夜間開園時装飾用
46	ＬＥＤスノーフレークライト(100球、青白)	個	3	冬季夜間開園時装飾用
47	ＬＥＤストレートライト(5連、青白)	個	1	冬季夜間開園時装飾用
48	イルミネーションホワイト100球　6m	個	3	冬季夜間開園時装飾用
49	イルミネーションホワイト96球　1.2m	個	3	冬季夜間開園時装飾用
50	イルミネーション(200級ストレート・シャンパンゴールド)	本	20	冬季夜間開園時装飾用
51	LEDモチーフ・ビッグスター	個	2	冬季夜間開園時装飾用
52	LEDストリングライト　40球4.3m	本	2	冬季夜間開園時装飾用

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
53	LEDストリングライト　100球	本	8	冬季夜間開園時装飾用
54	LEDストリングライト　50cm	本	8	冬季夜間開園時装飾用
55	水中LED照明	個	12	冬季夜間開園時装飾用
56	LEDネットライト300球	枚	6	冬季夜間開園時装飾用
57	LEDプログラムネットライト　W225*H65	枚	8	冬季夜間開園時装飾用
58	LEDランタン	個	2	冬季夜間開園時装飾用
59	LED投光器　赤	個	4	冬季夜間開園時装飾用
60	トナカイ	個	2	冬季夜間開園時装飾用
61	防雨型LEDチューブライト	本	2	冬季夜間開園時装飾用
62	クリスマスツリー※イルミネーション	本	4	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
63	カンガルー台座※イルミネーション	個	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
64	ウサギ（壁掛けタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
65	ウサギ（LEDタイプ）※イルミネーション	体	1	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
66	青い鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
67	鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
68	白鳥（LEDタイプ）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
69	白鳥（台座つき）※イルミネーション	体	2	冬季夜間開園時装飾用⇒企画係から移行
70	インバーター発電機	個	1	噴水等工作物清掃用
71	胴付長靴（K型）26	足	2	噴水等工作物清掃用
72	3段切替ノズル（消防ホース用40A）	個	1	噴水等工作物清掃用
73	ストレートノズル（40A）	個	1	噴水等工作物清掃用
74	消防ホース　40A×20m	本	2	噴水等工作物清掃用
75	消防ホース（オスメス金具付40A）	本	2	噴水等工作物清掃用
76	耐圧ホース（15×17）	m	70	噴水等工作物清掃用
77	サクションホース	m	50	噴水等工作物清掃用
78	水中ポンプ（工新ボンディＳM-625Ｘ）	台	1	噴水等工作物清掃用
79	水中ポンプ	台	1	噴水等工作物清掃用
80	高圧用スプレーホース	本	1	噴水等工作物清掃用
81	ホースリール 50m巻用	個	2	噴水等工作物清掃用
82	ローポンプスーパープラス	個	1	噴水等工作物清掃用
83	デジタル計り	個	1	噴水等工作物清掃用
84	リョービ掃除機（VC-23）	台	2	カモの糞清掃用
85	集じん機	台	2	カモの糞清掃用
86	手押芝刈機（180ml）	台	1	ドッグラン用
87	モップ絞り器S	個	4	建物清掃用
88	掃除用具入れ（ダスコットⅣ）　W455*D525*H1790	台	2	建物清掃用
89	衛生容器 12L、ペダルボックス	個	10	建物清掃用
90	衛生容器 5L、ペダルボックス	個	10	建物清掃用
91	鎌	本	20	園路広場除草等清掃作業用
92	電動バリカン	本	1	園路広場除草等清掃作業用
93	スクレーパー	本	10	遊具・工作物等清掃作業用
94	山芋堀り	本	1	汚水桝外清掃用
95	玄関マット	枚	2	子供の広場管理棟設置用
96	ジョイントマット　60cm□	枚	180	子供の広場管理棟設置用
97	塩素・PH測定器	個	2	じゃぶじゃぶ池塩素測定用
98	塩素測定用キット	個	2	遊べる噴水塩素測定用
99	のぼり用ポール	本	80	案内誘導用
100	消火器	本	10	消防設備
101	消防ホース(65A×20mアルミカプラ付)	本	2	消防設備

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
102	アキュカーブレーキ　574-ｃｐｔ	本	2	ふわんポリン等遊具管理用
103	バンカーレーキミズノ　573	本	2	ふわんポリン等遊具管理用
104	スマートロードポップサイン　SSW-9G	個	2	ふわんポリン等遊具管理用
105	ソフトスコッチコーン　GSU-70W	本	30	ふわんポリン等遊具管理用
106	フォーサインスタン　ドFSS-45Y	個	4	ふわんポリン等遊具管理用
107	リングバー　34φ×2m	本	30	ふわんポリン等遊具管理用
108	放射温度計	本	1	ふわんポリン等遊具管理用
109	アルミローラー　φ20テーパー	本	10	ローラー滑り台用
110	アルミローラー　φ20ストレート	本	10	ローラー滑り台用
111	アルミローラー　φ203連アルミ	本	10	ローラー滑り台用
112	単管パイプ　1.8厚　1mピン付	本	30	夏季西口ゲート等日除け用
113	日除け用シェード　（2m×3m）	枚	6	夏季西口ゲート等日除け用
114	グラインダ	台	1	電動工具
115	インパクトドライバー	台	1	電動工具
116	丸鋸	台	1	電動工具
117	ミニルーター(EM RT-100)	個	1	電動工具
118	ジグソー	個	1	電動工具
119	ネジザウルス	個	2	工具
120	ハンマードリル	台	1	工具
121	トリマ	台	1	工具
122	ウォータープライヤー	本	2	工具
123	テストハンマー	本	1	工具
124	ニッパー	本	2	工具
125	モンキーレンチ	本	3	工具
126	マルチレンチ8-21	本	2	工具
127	スイブルレンチ	本	2	工具
128	石頭ハンマー	本	1	工具
129	電工用ドライバー	本	3	工具
130	ショートラチェットドライバー（超薄型22mm）	個	2	工具
131	ニッパー（斜150mm）	個	1	工具
132	バール（小）	本	2	工具
133	ベンチ工具（175mm）	個	1	工具
134	ホームツールセット（工具55ピース）	個	1	工具
135	モーターレンチ（280mm）	個	1	工具
136	モンキーレンチ（200mm）	個	1	工具
137	ラジオペンチ（150mm）	個	3	工具
138	ラチェット	個	2	工具
139	タップ・ダイスセット	個	1	工具
140	ヒーターキット	個	1	工具
141	ラチェットドライバー	個	1	工具
142	メガネラチェットスパナ	個	1	工具
143	バーナー(ﾊﾟﾜｰﾄｰﾁRZ-730)	個	1	工具
144	バイスプライヤー(250mm)	個	1	工具
145	小型バイス(60mm)	個	15	工具
146	圧着ペンチ	個	3	工具
147	斜ニッパー	個	2	工具
148	はさみ	個	2	工具
149	ハンディタッカー	個	1	工具
150	アスファルトタンパー5kg	本	1	工具

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
151	ケーブルカッター	本	1	工具
152	パーツケース	個	4	工具箱
153	パーツストッカー	個	3	工具箱
154	ユニットケース	個	5	工具箱
155	コンテナ(ブルー)	個	15	工具箱
156	コンテナ(クリア)	個	5	工具箱
157	工具箱	個	1	工具箱
158	安全帯	個	4	作業安全管理用
159	懐中電灯	本	1	作業安全管理用
160	台車　ＴＲＵＳＣＯピンク色	台	1	作業安全管理用
161	二輪車(ノーパンクタイヤ仕様)	台	1	作業安全管理用
162	アルミ製脚立（MR210S）	台	1	作業安全管理用
163	工業用扇風機	基	4	作業安全管理用
164	家庭用扇風機	基	2	作業安全管理用
165	誘導ライト	個	4	作業安全管理用
166	ラチェット式荷締め機(25*5m 2P)	個	1	作業安全管理用
167	スチール棚（5段　グレー）	個	22	記録文書等保管用
168	メタルラック（5段　60W）	個	8	記録文書等保管用
169	網目コンテナ	個	10	記録文書等保管用
170	ホームラック4段	個	1	記録文書等保管用
171	カラーボックス	個	3	西口資機材収納用
172	動物捕獲用檻Ｈ1,000×Ｗ1,000×Ｌ2,000	基	1	イノシシ捕獲用檻
173	ウオーキングメジャー	個	1	タイヤ回転式作業距離測定用
174	デジタルカメラ　CASIO	台	4	記録業務用
175	外付けハードディスク　BUFFALO	台	1	記録業務用
176	SDカード	枚	4	記録業務用
177	日置デジタルカードテスター	個	1	電気設備保守用
178	クランプテスター	個	1	電気設備保守用
179	電波時計	個	1	管理センター温湿度計兼用
180	サイクロン掃除機	個	1	建物清掃用
181	井戸用仮設水中ポンプ	個	1	散水外緊急時用
	動物管理課			
1	インパクトドライバー	個	2	補修等
2	ドライバービット(10本入り)	個	1	補修等
3	ソケットレンチセット	セット	1	補修等
4	ペンチ	本	4	補修等
5	ラジオペンチ	本	2	補修等
6	ニッパー	本	2	補修等
7	鋸	本	2	補修等
8	金切り鋸	本	1	補修等
9	プラスドライバー	本	2	補修等
10	マイナスドライバー	本	2	補修等
11	金槌	本	3	補修等
12	ヤスリ	本	2	補修等
13	デジタルノギス	個	1	補修等
14	ジグソー	台	2	補修等
15	ジグソー替刃	組	1	補修等
16	携帯用工具	個	5	補修等

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
17	電動丸のこ	台	1	補修等
18	肩掛け式草刈り機	台	2	動物エリア草刈用
19	折りたたみ式リアカー	台	3	動物餌運搬用
20	チェーンソー	台	1	動物エリア用
21	除湿機	台	1	飼料庫用
22	水中ポンプ	台	1	動物エリア排水用
23	ヘッジトリマー	台	1	動物エリア用
24	高圧洗浄機	台	1	消毒マット洗浄用
25	チップソー刃	枚	1	肩掛け式草刈り機替刃
26	高枝切鋏	本	2	樹木剪定用
27	管理作業用自転車	台	8	飼育用
28	角スコップ	本	5	飼育用
29	剣スコップ	本	2	飼育用
30	フォーク4本爪	本	2	飼育用
31	鍬	本	2	飼育用
32	一輪車	台	2	飼育用
33	灯光器	個	2	飼育用
34	懐中電灯	個	4	飼育用
35	胴長靴	個	3	飼育用
36	安全帯	個	2	安全器具
37	ブースターケーブル	本	1	ホイルローダー用
38	カセットコンロ	台	1	イベント用
39	ヒーターマット	個	4	飼育用
40	消毒マット	枚	20	各ゲート用
41	動物用カーボンヒーター	個	10	飼育用
42	動物用コルツヒーター	個	5	飼育用
43	ドライヤー	個	2	飼育用
44	蓋付容器（200ℓ）	個	4	野菜入れ
45	ふれあい舎用エプロン	枚	300	お客様用
46	ボランティア用スタッフジャンバー	着	30	ZOOボランティア用
47	包丁	本	10	調餌用
48	動物ケージ（465㎜×465㎜×650㎜）	個	4	動物運搬用
49	キャリーケース	個	2	動物運搬用
50	蓋つきバケツ	個	5	飼料保管用
51	ミルミキサー	個	1	調餌用
52	捕獲網	本	10	動物捕獲用
53	捕獲用ネット	張	1	動物捕獲用
54	ジョウロ（10ℓ）	個	1	動物捕獲用
55	ワイヤレスアンプ用電池ケース	個	1	イベント用
56	タライ(75ℓ)	個	3	イベント用
57	メタルミニワゴン(900㎜)	台	3	資料整頓用
58	インサイドワゴン	台	1	ファイル保管用
59	靴棚	台	1	作業靴整頓用
60	ミニ食器棚	個	1	ボランティア用
61	デスク(120)	台	1	レストハウス展示用
62	書棚	台	3	レストハウス展示用
63	ラック	台	1	レストハウス展示用
64	タイトルプレーン	台	1	ラベル印刷機
65	バリアポップサイン	台	5	案内看板掲示用

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
66	パイプバリケード	台	25	イベント用
67	カラーコーン	個	30	イベント用
68	コーンバー	本	20	イベント用
69	コーンベース	個	30	イベント用
70	床置き式扇風機	台	2	獣舎乾燥・熱中症対策用
71	壁掛け扇風機	台	2	ふれあい舎お客様用
72	デジタルカメラ	台	5	写真管理用
73	デジタルカメラ（360度）	台	1	写真管理用
74	ビデオカメラ	台	1	写真管理用
75	液晶ディスプレイ	台	1	レストハウス動物映像放映用
76	ＤＶＤプレーヤー	台	1	レストハウス動物映像放映用
77	ラミネーター	台	1	案内看板用
78	仕上げサンダー(布ペーパー対応用)	台	2	補修用
79	コンプレッサー	機	1	補修用
80	ハンディブロアー	台	1	園内清掃用
81	背負い式ブロアー	台	1	園内清掃用
82	小型動力噴霧器	台	1	消毒用
83	自動噴霧器	台	1	消毒用
84	イベント用折りたたみ長机	台	10	イベント用
85	折りたたみ椅子	台	20	イベント用
86	メガホン(拡声器)	台	4	イベント用
87	ハンズフリー拡声器	台	1	イベント用
88	ポータブルナビ	個	1	移動動物園用
89	洗濯機	台	1	動物タオル、軍手用
90	掃除機	台	2	レストハウス清掃用
91	冷蔵庫(小)	台	1	ボランティア休憩用
92	電気ポット	個	1	ボランティア休憩用
93	電子レンジ	台	1	ボランティア休憩用
94	デジタルキッチン秤	個	2	飼料計量用
95	秤(50kg)	個	1	飼料計量用
96	秤(20kg)	個	1	飼料計量用
97	秤(4kg)	個	1	飼料計量用
98	体重計	台	3	動物計測用
99	電波掛時計	個	1	ふれあい舎設置用
100	電気削蹄器	台	1	動物手入れ用
101	ホワイトボード(1800×900)	枚	1	スタッフ情報共有用
102	ホワイトボード(850×500)	枚	3	スタッフ情報共有用
103	ポスターグリップ	枚	3	スタッフ情報共有用
104	イーゼル	台	3	イベント用
105	USB(4GB)	個	3	データ整理用
106	外付けＨＤＤ	台	1	パソコンデータ整理用
107	書籍「新飼育ハンドブック　Ｎｏ.5」	冊	5	飼育用
108	書籍「動物園学」	冊	1	飼育用
109	書籍「逐条解説　家畜伝染病予防法」	冊	1	飼育用
110	書籍「世界動物大図鑑-ANIMAL」	冊	1	飼育用
111	書籍「小学館ネオポケット　動物」	冊	1	レストハウス休憩用
112	書籍「小学館ネオポケット　植物」	冊	1	レストハウス休憩用
113	書籍「小学館ネオポケット　昆虫」	冊	1	レストハウス休憩用
114	書籍「小学館ネオポケット　魚」	冊	1	レストハウス休憩用

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
115	書籍「小学館の図鑑NEO-本物の大きさ絵本原寸大どうぶつ館」	冊	1	レストハウス休憩用
116	書籍「ニューワイド学研の図鑑　一生の図鑑」	冊	1	レストハウス休憩用
117	書籍「ほんとのおおきさ・なかよし動物園」	冊	1	レストハウス休憩用
118	書籍「くらべる図鑑」	冊	1	レストハウス休憩用
119	書籍「もっとくらべる図鑑」	冊	1	レストハウス休憩用
120	書籍「動物園動物管理学」	冊	1	飼育用
121	書籍「ウサギ・フェレット・げっ歯類の内科と外科」	冊	1	飼育用
122	書籍「エキゾチックアニマルのための薬物投与ハンドブック」	冊	1	飼育用
123	書籍「EXOTIC ANIMAL FORMULARY」	冊	1	飼育用
124	書籍「エキゾチック臨床vol.1～15」	冊	15	教科書
125	書籍「小学校国語」	冊	4	教科書
126	書籍「小学校生活科」	冊	2	教科書
127	書籍「小学校社会」	冊	6	教科書
128	書籍「小学校理科」	冊	4	教科書
129	書籍「犬と猫の毒物ガイド」	冊	2	飼育用
130	書籍「小学館の図鑑NEO　動物」	冊	1	レストハウス休憩用
131	書籍「小学館の図鑑NEO　危険生物」	冊	1	レストハウス休憩用
132	書籍「小学館の図鑑NEO　まどあけ図鑑いきもの」	冊	1	レストハウス休憩用
133	書籍「どうぶつの赤ちゃん」	冊	10	レストハウス休憩用
134	書籍「進化のはなし」	冊	1	レストハウス休憩用
135	書籍「どうぶつのことば」	冊	1	レストハウス休憩用
136	書籍「どうぶつ、いちばんはだあれ？」	冊	1	レストハウス休憩用
137	書籍「動物たちは、お医者さん！」	冊	1	レストハウス休憩用
138	書籍「なぜ？どうして？ペットのなぞにせまる」	冊	1	レストハウス休憩用
139	書籍「環境破壊図鑑」	冊	1	レストハウス休憩用
140	書籍「ニューワールドなるほど図鑑　どっちがどっち！？」	冊	1	レストハウス休憩用
141	書籍「ざんねんないきもの事典」	冊	1	レストハウス休憩用
142	書籍「ほんとの大きさ動物園」	冊	1	レストハウス休憩用
143	書籍「もっと！ほんとのおおきさ動物園」	冊	1	レストハウス休憩用
144	書籍「動物の見ている世界」	冊	1	レストハウス休憩用
145	書籍「なぜ？の図鑑　動物」	冊	1	レストハウス休憩用
146	書籍「学研の図鑑LIVE　動物」	冊	1	レストハウス休憩用
147	書籍「学研の図鑑LIVE　鳥」	冊	1	レストハウス休憩用
148	書籍「学研の図鑑LINE　爬虫類・両生類」	冊	1	レストハウス休憩用
149	書籍「動物のクイズ図鑑」	冊	1	レストハウス休憩用
150	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA 動物」	冊	1	レストハウス休憩用
151	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA　鳥」	冊	1	レストハウス休憩用
152	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA　Dセット両生類・爬虫類」	冊	1	レストハウス休憩用
153	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA　大昔の生きもの」	冊	1	レストハウス休憩用
154	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA　Dセット　昆虫」	冊	1	レストハウス休憩用
155	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA　植物」	冊	1	レストハウス休憩用
156	書籍「ポプラディア大図鑑WONDA　魚」	冊	1	レストハウス休憩用
157	書籍「動物の飼育管理」	冊	1	レストハウス休憩用
158	書籍「動物の栄養」	冊	1	レストハウス休憩用
159	書籍「動物の飼料」	冊	1	レストハウス休憩用
160	書籍「動物園を魅力的にする方法」	冊	1	レストハウス休憩用
161	書籍「動物行動の観察入門」	冊	1	レストハウス休憩用
162	書籍「動物行動図説」	冊	1	レストハウス休憩用
163	書籍「野生動物の行動観察法」	冊	1	レストハウス休憩用

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
164	書籍「行動研究入門」	冊	1	レストハウス休憩用
165	書籍「両生類・はちゅう類」	冊	1	レストハウス休憩用
166	書籍「鳥」	冊	1	レストハウス休憩用
167	書籍「小学館の図鑑NEO　最新セット全9巻　飼育と観察	冊	1	レストハウス休憩用
168	書籍「もっとくらべる図鑑　クイズブック」	冊	1	レストハウス休憩用
169	書籍「グレートネイチャー　生きもの不思議　大図鑑」	冊	1	レストハウス休憩用
170	書籍「小動物外科診療ガイド」	冊	1	飼育用
171	書籍「プライマリ・ケアのための診療指針」	冊	1	飼育用
172	ディスポ注射針　18Ｇ×1 1/2	箱	1	医療器材
173	ディスポ注射針　18Ｇ×1	箱	1	医療器材
174	ディスポ注射針　18Ｇ×5/8	箱	3	医療器材
175	ディスポ注射針　19Ｇ×1 1/2	箱	2	医療器材
176	ディスポ注射針　19Ｇ×5/8	箱	2	医療器材
177	ディスポ注射針　20Ｇ×1 1/2	箱	2	医療器材
178	ディスポ注射針　21Ｇ×5/8	箱	4	医療器材
179	ディスポ注射針　22Ｇ×1 1/4	箱	3	医療器材
180	ディスポ注射針　22Ｇ×1	箱	1	医療器材
181	ディスポ注射針　22Ｇ×5/8	箱	3	医療器材
182	ディスポ注射針　23Ｇ×1	箱	3	医療器材
183	ディスポ注射針　23Ｇ×5/8	箱	2	医療器材
184	ディスポ注射針　24Ｇ×1	箱	1	医療器材
185	ディスポ注射針　25Ｇ×5/8	箱	2	医療器材
186	ディスポ注射針　25Ｇ×1	箱	1	医療器材
187	ディスポ注射針　26Ｇ×1/2	箱	2	医療器材
188	翼付針25G	箱	1	医療器材
189	翼付針23G	箱	1	医療器材
190	翼付針21G	箱	1	医療器材
191	ディスポシリンジ　ツベルクリン用	箱	1	医療器材
192	ディスポシリンジ　1ml	箱	0	医療器材
193	ディスポシリンジ　2.5ml	箱	2	医療器材
194	ディスポシリンジ　2.5ml針付き	箱	0	医療器材
195	ディスポシリンジ　5ml	箱	2	医療器材
196	ディスポシリンジ　10ml	箱	1	医療器材
197	ディスポシリンジ　30ml	箱	0	医療器材
198	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　30ml	箱	2	医療器材
199	ディスポシリンジ　50ml	箱	1	医療器材
200	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　50ml	箱	1	医療器材
201	ディスポシリンジ（カテーテルチップ）　100ml	箱	1	医療器材
202	外科用強弯角針　5	袋	9	医療器材
203	外科用強弯角針　4	袋	5	医療器材
204	外科用強弯角針　3	袋	4	医療器材
205	外科用強弯角針　2	袋	2	医療器材
206	外科用強弯角針　1	袋	5	医療器材
207	外科用強弯角針　0	袋	1	医療器材
208	酸素マスクゴム小	個	2	医療器材
209	酸素マスクゴム中	個	2	医療器材
210	酸素マスクゴム大	個	2	医療器材
211	麻酔器蛇管	個	3	医療器材
212	ディスポーザブル麻酔用バッグ	個	2	医療器材

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
213	フェザー替刃メス	箱	2	医療器材
214	フェザー替刃メスハンドル	本	5	医療器材
215	ディスポーザブルstapleリムーバー	個	4	縫合用ステープラー用リムーバー
216	エリザベスカラー	個	3	医療器材
217	ハイレンドール	パック	7	レントゲン現像液
218	ハイレンフィックス	パック	10	レントゲン定着液
219	ディスポ　メス　10	箱	2	医療器材
220	ディスポ　メス　11	箱	2	医療器材
221	ディスポ　メス　15	箱	1	医療器材
222	ディスポ　メス　21	箱	3	医療器材
223	ディスポ　メス　23	箱	2	医療器材
224	酸素ボンベ7m3	本	1	医療器材
225	酸素ボンベ1.5m3	本	3	医療器材
226	酸素ボンベ0.5m3	本	2	医療器材
227	マイクロチップ	個	10	医療器材
228	スライドガラス	箱	1	医療器材
229	カバーガラス（18mm×18mm）	箱	1	医療器材
230	カバーガラス（22mm×22mm）	箱	3	医療器材
231	カバーガラス（18mm×24mm）	箱	5	医療器材
232	動物用体温計	本	2	医療器材
233	バリカン	個	2	医療器材
234	ネックガード	枚	2	Ｘ線防護用
235	耳鏡	個	1	医療器材
236	マイクロエンジン	台	1	医療器材
237	ポリエチレンサージカルテープ（25mm×9m）	箱	2	医療器材
238	ポリエチレンサージカルテープ（50mm×9m）	箱	2	医療器材
239	不織布サージカルテープ（12.5mm×9m）	箱	1	医療器材
240	スズランサージカルテープ（50mm×9m）	箱	1	医療器材
241	フィクソルムストレッチ（5cm×10m）	箱	1	医療器材
242	ハイドロコロイドテープ（2.5cm×2m）	箱	1	医療器材
243	伸縮包帯（7.5cm×9m）	巻	6	医療器材
244	ベトラップ（5cm×4.5m）	箱	1	自着性包帯
245	ベトラップ（7.5cm×4.6m）	巻	9	自着性包帯
246	セラオビ（25mm×5m）	巻	3	自着性包帯
247	スパンテックス（2.5cm×5m）	巻	1	粘着性包帯
248	スパンテックス（3.75cm×5m）	巻	5	粘着性包帯
249	スパンテックス（7.5cm×5m）	箱	2	粘着性包帯
250	エラテックス（2.5cm×5m）	箱	5	粘着性包帯
251	ベトフィックス	箱	1	粘着性包帯
252	クリーンネット（0.8cm×25m）	巻	1	チューブ包帯
253	クリーンネット（2cm×25m）	巻	1	チューブ包帯
254	クリーンネット（2.5cm×25m）	巻	1	チューブ包帯
255	ストッキネット（2.8cm×18m）	巻	1	チューブ包帯
256	ストッキネット（5.1cm×23m）	巻	1	チューブ包帯
257	プレスネット（7.5cm×20m）	巻	1	チューブ包帯
258	スコッチキャストTM3J（7.6cm×3.6m）	箱	1	キャスト材（ギプス）
259	スコッチキャストTMプラス-J（5.0cm×3.6m）	箱（巻）	1（4）	キャスト材（ギプス）
260	キャストパッド（7.5cm×3.6m）	袋	2	ギプス用下巻き材
261	キャストパッドプラス（5.0cm×3.6m）	袋	1	ギプス用下巻き材

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
262	オルテックス	箱	1	ギプス用下巻き材
263	コーバン（25㎜×4.5m）	箱	1	自着性包帯
264	サムスプリント	巻	1	副木材
265	エムソーブ	箱	1	合成吸収糸
266	テラマイシンＬＡ注射液	箱	1	抗生物質
267	バクテロン散5%	箱	4	抗生物質
268	カナマイシン注NZ	箱	1	抗生物質
269	スペルゾン静注用0.5g	管	7	抗生物質
270	ケフレックスシロップ用細粒	本	1	抗生物質
271	ホスミシンドライシロップ	本	3	抗生物質
272	ネオテラミックス	袋	2	抗生物質
273	子宮内膜炎用ホーミングマイシン	本	4	抗生物質
274	バイトリル2.5%HV液	本	1	抗生物質
275	バイトリル10%注射液	本	1	抗生物質
276	バイトリル15mg錠	箱	0	抗生物質
277	バイトリル50mg錠	箱	3	抗生物質
278	バイトリル150mg錠	箱	2	抗生物質
279	マイシリンゾル	本	1	抗生物質
280	ビブラマイシン錠50ｍｇ	箱	1	抗生物質
281	バチリオン錠100	錠	20	抗生物質
282	モダケミン静注	箱	1	抗生物質
283	モダシン	箱	1	抗生物質
284	アミカマイシン	箱（管）	1（7）	抗生物質
285	ラセナゾリン注射用1g	管	9	抗生物質
286	ロセフィン静注用	箱	1	抗生物質
287	セファクリア錠75	箱	1	抗生物質
288	セファクリア錠300	箱	1	抗生物質
289	セファクリア錠600	本	1	抗生物質
290	レボフロキサシン	箱	1	抗生物質
291	インダスト点滴・静注用	箱	2	抗生物質
292	ハリゾン錠	箱	1	抗生物質
293	クロロマイセチン錠	箱	2	抗生物質
294	ビクシリン	箱	1	抗生物質
295	アプシードシロップ	本	1	合成抗菌薬
296	ダイメトンB注20%	本	9	合成抗菌薬
297	ダイメトン粒状	本	1	合成抗菌薬
298	シノラール散	袋	1	合成抗菌薬
299	グリセチンＶ錠	箱	3	抗真菌薬
300	ナイスタチン錠	錠	30	抗真菌薬
301	フルコナゾール	錠	20	抗真菌薬
302	イトコラゾール錠100「MEEK」	錠	15	抗真菌薬
303	リマダイル100	本	0	抗炎症薬
304	フルニキシン10%	本	1	抗炎症薬
305	メタカム0.5%注射液	箱	0	抗炎症薬
306	メタカムチュアブル錠1.0mg	箱	1	抗炎症薬
307	水性デキサメサゾン注A	本	5	抗炎症薬
308	プレドニゾロン	箱	2	抗炎症薬
309	プレドニゾロン錠	袋	2	抗炎症薬
310	ダーマキット	箱	1	真菌培養

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
311	エスプラインインフルエンザA&B-N	セット	1	ウイルス検査キット
312	ディフクイック	セット	1	染色液
313	ヘマカラー	セット	1	染色液
314	ギムザ液	セット	1	染色液
315	グラム染色液	セット	1	染色液
316	エンテランニュー	本	1	封入剤
317	エマージョンオイル	本	1	顕微鏡用油浸オイル
318	バイコックス	箱	1	駆虫薬
319	イベルメック散	袋	1	駆虫薬
320	アイボメックトピカル	本	1	駆虫薬
321	エプリネックトピカル	本	1	駆虫薬
322	フラジール錠	箱	1	駆虫薬
323	フルモキサール散	箱	1	駆虫薬
324	ドロンタールプラス	箱	3	駆虫薬
325	フライガードスプレー	本	5	駆虫薬
326	レボリューション0.5ｍｌ	箱	0	駆虫薬
327	レボリューション1.0ｍｌ	箱	1	駆虫薬
328	ピカシンポアオン	箱	1	駆虫薬
329	フロントラインスプレー	本	5	駆虫薬
330	フロントライン	箱	1	駆虫薬
331	ミヤリサン	箱	2	消化器剤
332	プロテアーゼ「アマノ」	箱	1	消化器剤
333	エリーテン注	箱	1	消化器剤
334	プラミール錠	箱	1	消化器剤
335	グリセリン浣腸「オヲダ」120	箱	3	消化器剤
336	スパスメントラル	本	1	消化器剤
337	モーサン	箱	1	消化器剤
338	加香ひまし油	本	9	消化器剤
339	ガスモチン	箱	1	消化器剤
340	硫酸マグネシウム	箱	8	消化器剤
341	炭酸水素ナトリウム	箱	1	消化器剤
342	フェロベリンＡ	箱	1	消化器剤
343	ブスコパン錠	錠	80	消化器剤
344	ベルパリン	本	3	消化器剤
345	シンラック	本	6	消化器剤
346	コンスーベン内用液	箱	2	消化器剤
347	人工カルス塩「ヤマゼン」	箱	4	消化器剤
348	アチパメ	本	1	麻酔薬
349	ハルシオン0.25mg	錠	70	麻酔薬
350	ハルシオン0.125mg	錠	70	麻酔薬
351	アネトカインゼリー	本	0	麻酔薬
352	キシロカインゼリー	本	4	麻酔薬
353	ビタメジン静注	管	19	ビタミン剤
354	メイロング	箱	3	ビタミン剤
355	パンカルＧ酸	袋	10	ビタミン剤
356	アスコルビン酸	本	1	ビタミン剤
357	レバチオ液	箱	1	ビタミン剤
358	デュファフラルフォルテ	本	2	ビタミン剤
359	アニビタン100注射液	箱	2	ビタミン剤

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
360	カルチコール注射液	管	34	カルシウム
361	トンキー	本	3	鉄剤
362	フェロステック	箱	1	鉄剤
363	ソルラクトD	箱	2	補液
364	5%ブドウ糖　500ml	本	18	補液
365	5%ブドウ糖　250ml	本	6	補液
366	50%ブドウ糖　20ml	本	40	補液
367	ソリタ　T-1	本	10	補液
368	生理食塩水	箱	1	補液
369	デキストラン	本	9	補液
370	酢酸鉛	本	1	劇薬
371	テルペラン	箱	1	劇薬
372	エクイバランゴールド	本	3	劇薬
373	エクイマックス	本	1	劇薬
374	キモチーム	箱	2	劇薬
375	ヨードチンキ	本	6	劇薬
376	硝酸銀	本	2	劇薬
377	抱水クロラール	本	1	劇薬
378	フェノバルビタール	本	1	劇薬
379	ボログルコン酸カルシウム	本	2	劇薬
380	強力OSM	管	2	劇薬
381	ボスミン注	箱	2	劇薬
382	ブスコパン注	箱	1	劇薬
383	ドルペネ	本	2	劇薬
384	セラクタール2%	本	2	劇薬
385	牛用セラクタール	本	1	劇薬
386	馬用セラクタール	本	7	劇薬
387	ケタラール500ｍｇ	本	3	劇薬
388	動物用ケタラール50	本	1	劇薬
389	塩酸ケタミン原末	ｇ	37.5	劇薬
390	塩酸ケタミン5%溶液	本	1	劇薬
391	アトロピン「フソー」	箱	1	劇薬
392	イソフル	本	2	劇薬
393	キシロカイン0.5%	本	1	劇薬
394	キシロカイン1%	本	1	劇薬
395	キシロカインスプレー	本	2	劇薬
396	テラプチク	箱	1	劇薬
397	ペリアクチン散1%	本	1	劇薬
398	硫酸ｹﾞﾝﾀﾏｲｼﾝ点眼液	箱	1	劇薬
399	3種混合ワクチン	本	3	劇薬
400	馬インフルエンザワクチン	本	14	劇薬
401	ND・OEワクチン	本	1	劇薬
402	ツベルクリン	本	1	劇薬
403	ホルマリン	本	21	劇薬・劇物
404	苛性ソーダ	本	4	劇物
405	メタノール	本	1	劇物
406	キシレン	本	1	劇物
407	アンモニア水	本	2	劇物
408	水酸化カリウム	本	1	劇物
409	硝酸ストリキニーネ	本	1	劇物
410	エンドックス	缶	1	毒物
411	コロソブロック	箱	1	殺鼠剤
412	ホリゾン	箱	1	向精神薬
413	ドルミカム	箱	1	向精神薬
414	セルシン100倍散	缶	1	向精神薬
415	ソムノペンチル	本	1	向精神薬

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
416	ベノキシール	箱	1	点眼薬
417	D.E.X	本	10	点眼薬
418	ファルキサシン点眼液	箱	1	点眼薬
419	オフロキサシン眼軟膏	箱	1	点眼薬
420	フルオロメトロン点眼液	箱	1	点眼薬
421	アズレン点眼液	本	4	点眼薬
422	復方ヨードグリセリン	本	1	消毒薬
423	ラポテック液	本	2	消毒薬
424	ステリクロン液	本	5	消毒薬
425	クリアキル　1ｌ	本	1	消毒薬
426	クリアキル200	缶	1	消毒薬
427	消毒用イソプロパノール50%	箱	4	消毒薬
428	消毒用イソプロパノール70%	箱	1	消毒薬
429	スクラビイン4%液	本	1	消毒薬
430	希ヨードチンキ	本	1	消毒薬
431	クリンナップA	本	9	消毒薬
432	クレンテ	箱	4	消毒薬
433	フェノール水	本	1	消毒薬
434	オキシドール	本	12	消毒薬
435	アクリノール	本	6	消毒薬
436	クレゾール	本	1	消毒薬
437	ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	本	6	消毒薬
438	PVPﾖｰﾄﾞ液10%	本	1	消毒薬
439	ペースサン	箱	1	消毒薬
440	パルバスター液	缶	2	消毒薬
441	ソルコセリル軟膏	本	9	外用薬
442	ブロメライン軟膏	本	4	外用薬
443	ドルバロン	本	7	外用薬
444	フロリードD液	本	18	外用薬
445	フロリードDクリーム	本	9	外用薬
446	パナログ軟膏	本	5	外用薬
447	オキナゾールクリーム	本	4	外用薬
448	エンシェントクリーム	本	5	外用薬
449	アラントロックス軟膏	本	1	外用薬
450	アンドレス軟膏	個	1	外用薬
451	クラーゲン	個	2	外用薬
452	ハイセチンP軟膏	本	3	外用薬
453	オイラックス	本	3	外用薬
454	オキシテトラサイクリン乳房炎用液	箱	1	外用薬
455	ピルスー	本	1	外用薬
456	キャビロン非ｱﾙｺｰﾙ性皮膜スプレー	本	1	外用薬
457	フランセチンＴ パウダー	本	0	外用薬
458	外科用アロンアルファ	箱	1	外用薬
459	ボスミン外用液	本	1	外用薬
460	テラ・コートリルスプレー	本	1	外用薬
461	ダーマボンド	箱	1	外用薬
462	ダーマバリア	本	5	外用薬
463	エアーサロンパス	本	1	外用薬
464	MS冷シップ	袋	34	外用薬
465	キチパックＰ	箱	1	外用薬
466	グラニュゲル	本	5	外用薬
467	イントラサイトジェル	箱	1	外用薬
468	オキシセル　4つ折り	本	1	外用薬
469	オキシセル　8つ折り	本	1	外用薬
470	スポンゼル	箱	2	外用薬
471	ベテキチン　10cm×10cm	箱	2	外用薬
472	ハイドロサイトADプラス	枚	3	外用薬
473	ハイドロサイトプラス	箱	2	外用薬
474	オリーブ油	本	3	外用薬
475	ノルバックレンズ	本	2	外用薬
476	クロルヘキシジンシャンプー	本	0	外用薬
477	セボゾールシャンプー	本	2	外用薬

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
478	ノルバサンシャンプー	本	3	外用薬
479	ゲンタシン軟膏	本	5	外用薬
480	ゲーベンクリーム	個	4	外用薬
481	タウリン	箱	4	強肝剤
482	ネオヘキサメチオニン	箱	1	強肝剤
483	ニチファーゲン注	箱	1	強肝剤
484	キョウミノチン	箱	1	強肝剤
485	グリチロン配合錠	箱	1	強肝剤
486	デトキソール	箱	1	解毒剤
487	ブライアン点滴静注	箱	1	解毒剤
488	ムコフィリン	箱	2	去痰薬
489	ネオフィリン（注射）	箱	1	気管支拡張薬
490	ネオフィリン（経口）	箱	1	気管支拡張薬
491	ラシックス	箱	1	利尿薬
492	フルバミド	箱	1	利尿薬
493	トランサミン注	箱	1	抗プラスミン剤
494	トランサミン錠250ml	箱	1	抗プラスミン剤
495	アドナ	箱	0	止血剤
496	ヘパリンNa	箱	1	血液凝固抑制薬
497	アトニン-O	箱	1	オキシトシン製剤
498	ウロストン	包	11	尿路結石排泄促進剤
499	パム静注500mg	箱	1	有機リン剤中毒解毒剤
500	ブロサポ	包	8	産道粘滑薬
501	尿素	本	1	試薬
502	ヤバシライム	箱	1	試薬
503	塩化ナトリウム	本	1	試薬
504	グリセリン	本	3	試薬
505	流動パラフィン	本	2	試薬
506	プロピレングリコール	本	1	試薬
507	四ホウ酸ナトリウム	本	1	試薬
508	アセトカルミン溶液	本	1	試薬
509	無水エタノール	本	1	試薬
510	ジメチルスルホキシド	本	1	試薬
511	ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	本	1	試薬
512	リン酸一ナトリウム	本	1	試薬
513	リン酸二ナトリウム	本	1	試薬
514	ホウ酸	本	1	試薬
515	塩化マグネシウム	本	2	試薬
516	ゲンタシン軟膏	本	3	外用薬
517	ゲーベンクリーム	個	4	外用薬
518	タウリン	箱	2	強肝剤
519	ネオヘキサメチオニン	箱	1	強肝剤
520	タチオン	管	28	強肝剤
521	強力ネオミノファーゲンシー	箱	2	強肝剤
522	ネオファーゲンC配合錠	箱	1	強肝剤
523	ランデールチオンS	錠	90	解毒剤
524	デトキソール	箱	1	解毒剤
525	ブライアン点滴静注	箱	1	解毒剤
526	ネオアスシロップ	本	1	鎮咳薬
527	ムコフィリン	箱	2	去痰薬
528	ネオフィリン（注射）	箱	1	気管支拡張薬
529	ネオフィリン（経口）	箱	1	気管支拡張薬
530	フェニラミン注	管	48	抗ヒスタミン薬
531	ラドン	箱	3	抗ヒスタミン薬
532	ラシックス	箱	1	利尿薬
533	フルバミド	箱	1	利尿薬
534	ダイアモックス錠	錠	70	利尿薬
535	ラドンナ注	箱	1	利尿薬
536	ビタカンファー	箱	1	中枢神経興奮薬
537	ソルコセリル注	箱	1	組織呼吸賦活剤
538	トランサミン注	管	1	抗プラスミン剤
539	トランサミン錠250ml	箱	1	抗プラスミン剤

番号	物品名	単位	数量（園内各所）	備考
540	アドナ	箱	1	止血剤
541	ボスミン	箱	2	血管収縮薬
542	ヘパリンNa	箱	1	血液凝固抑制薬
543	ＡＴＰ　注	箱	1	アデノシン三リン酸Na製剤
544	ジースインプラント2本入り	箱	1	発情抑制剤
545	ジースインプラント5本入り	箱	1	発情抑制剤
546	アトニン-O	箱	2	オキシトシン製剤
547	ウロストン	包	14	尿路結石排泄促進剤
548	パム静注500mg	箱	1	有機リン剤中毒解毒剤
549	ブロサポ	包	8	産道粘滑薬
550	尿素	本	1	試薬
551	ヤバシライム	箱	1	試薬
552	塩化ナトリウム	本	1	試薬
553	グリセリン	本	3	試薬
554	流動パラフィン	本	2	試薬
555	プロピレングリコール	本	1	試薬
556	四ホウ酸ナトリウム	本	1	試薬
557	アセトカルミン溶液	本	1	試薬
558	無水エタノール	本	1	試薬
559	ジメチルスルホキシド	本	1	試薬
560	ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	本	1	試薬
561	リン酸一ナトリウム	本	1	試薬
562	リン酸二ナトリウム	本	1	試薬
563	ホウ酸	本	1	試薬
564	塩化マグネシウム	本	2	試薬
1	台車	個	2	環境共生の森
2	望遠鏡	個	5	環境共生の森
3	三脚	個	5	環境共生の森
4	サイドワゴン	個	1	管理センター
5	台車	個	1	光風口
6	コンプレッサー	個	1	インフォメーション
7	レンズ	個	1	管理センター
8	デジタルカメラ	個	1	管理センター
9	掃除機	個	1	光風口
10	洗濯機（全自動5kg）	個	1	動物の森
11	加湿器	個	2	管理センター
12	冷蔵庫	個	1	西口
13	机（両袖）	個	1	管理センター
14	ワゴン	個	20	センター事務室
15	ホワイトボード	個	1	管理センター
16	パネル(ｳﾞｧﾝﾃｱﾝ)	個	7	動物の森
17	拡声器	個	1	森の池利活用拠点施設
18	高圧洗浄機	個	1	森の池利活用拠点施設

別紙２２

貸与車両の使用状況・維持管理状況

【令和２年度】

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　1月分　（自　1日）

（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	77	9	2.30			25,171
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	2	1.00			1,254

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　1月分　（自　1日）

（至 31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	423	34	2.30			22,156
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	29	2	2.00	9,570	バッテリー交換	20,251
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	62	5	4.00	6,930	テール球交換 ストップランプ調整	22,992
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	4	0	0.20			23,357
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	0	0	0.00			25,667
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	538	43	9.40			63,236
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	287	22	18.00			54,798
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	415	33	2.00			60,194
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	0	0	0.00			70,804
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	32	2	2.00			20,246

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　2月分　（自　1日）
（至　29日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック		作　業　用						
（ユニック付）	３３−７６		49	1	1.30			25,220
散　水　車	イスズ	作　業　用						
	１７−１８		0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用						
			−	1	0.00			1,254

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　2月分　（自　1日）
（至　29日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付	スズキ	連　絡　用					フロントタイヤ交換	
自　転　車	４０２		472	38	5.30	20,207	ヘットライト交換	22,628
原動機付	ホンダ	連　絡　用						
自　転　車	４４７５		37	3	2.30			20,288
原動機付	ホンダ	連　絡　用						
自　転　車	４４７６		130	10	8.10			23,122
原動機付	スズキ	連　絡　用						
自　転　車	３６２		7	1	0.30			23,364
原動機付	スズキ	連　絡　用						
自　転　車	３６４		0	0	0.00			25,667
原動機付	スズキ	パトロール用						
自　転　車	４０１		520	41	8.30	3,080	ヘットライト交換	63,756
原動機付	ホンダ	パトロール用					レバー修理	
自　転　車	４４７３		294	23	18.30	16,417	ダクト清掃	55,092
原動機付	ホンダ	パトロール用						
自　転　車	４４７４		358	28	22.30	8,800	リヤタイヤ交換	60,552
原動機付	スズキ	パトロール用						
自　転　車	４１０		0	0	0.00			70,804
原動機付	スズキ	業　務　用						
自　転　車	３６７		29	2	2.00			20,275

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	22	3	0.40			25,242
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	1	5.00			1,259

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	375	29	23.30			23,003
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	21	2	1.30			20,309
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	92	7	5.50			23,214
原動機付自　転　車	スズキ ３６２	連　絡　用	10	1	0.40			3月廃車 23,374
原動機付自　転　車	スズキ ３６４	連　絡　用	0	0	0.00			3月廃車 25,667
原動機付自　転　車	スズキ ４０１	パトロール用	383	31	0.00			3月廃車 64,139
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	407	33	1.30			55,499
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	284	22	17.50	14,476	リム交換	60,836
原動機付自　転　車	スズキ ４１０	パトロール用	0	0	0.00			3月廃車 70,804
原動機付自　転　車	スズキ ３６７	業　務　用	10	1	0.40			3月廃車 20,285

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	1	0	0.10	4,070	フロントバスケット取り付け	3月納車 1
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	18	1	1.10	4,070	フロントバスケット取り付け	3月納車 18
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	85	7	5.30	4,070	フロントバスケット取り付け	3月納車 85
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	128	10	8.00	4,070	フロントバスケット取り付け	3月納車 128
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	189	15	12.00	4,070	フロントバスケット取り付け	3月納車 189

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　4月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	73	6	2.20			25,315
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	6	21.00			1,280

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　4月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	3	0	0.20			23,006
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	0	0	0.00			20,309
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	76	6	4.50			23,290
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	58	5	3.40			59
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	29	2	2.00			47
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	372	29	23.20			55,871
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	355	28	22.20			61,191
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	524	42	8.50			609
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	87	7	5.30	3,300	ミラー修繕	215
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	134	10	8.30			323

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　5月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	29	2	1.00			25,344
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	2	1.00			1,281

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　5月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	18	1	1.10			23,024
原動機付自転車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	0	0	0.00			20,309
原動機付自転車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	136	11	8.30			23,426
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	42	3	2.40			101
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	21	2	1.30			68
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	505	40	7.40			56,376
原動機付自転車	ホンダ ４４７４	パトロール用	339	26	21.20			61,530
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	318	25	20.00			927
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	285	22	18.00			500
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	223	17	14.00			546

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　6月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	27	5	0.50			25,371
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	3	0.00			1,281

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　6月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	16	1	1.00			23,040
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	6	0	0.30			20,315
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	190	15	12.00			23,616
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	177	14	11.10			278
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	63	5	4.00			131
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	334	26	21.00			56,710
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	465	37	5.10			61,995
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	424	34	2.30			1,351
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	515	41	8.20			1,015
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	576	46	12.00			1,122

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　7月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	150	6	4.40			25,521
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	2	2.00			1,283

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　7月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	54	4	3.30			23,094
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	0	0	0.00			20,315
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	129	10	8.10			23,745
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	127	10	8.00			405
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	46	4	3.00			177
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	348	27	21.50			57,058
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	328	26	20.30			62,323
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	492	39	6.50	1,300	オイル交換	1,843
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	497	40	7.10	1,300	オイル交換	1,512
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	658	52	17.10	1,300	オイル交換	1,780

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　8月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	23	1	0.40			25,544
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	2	1.00			1,284

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　8月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	18	1	1.10			23,112
原動機付自転車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	9	1	0.40			20,324
原動機付自転車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	159	12	10.00			23,904
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	498	40	7.10			903
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	64	5	4.00			241
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	252	20	15.50			57,310
原動機付自転車	ホンダ ４４７４	パトロール用	604	48	13.50			62,927
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	731	58	21.50			2,574
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	610	49	14.10			2,122
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	735	58	22.00			2,515

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　9月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	201	11	6.20			25,745
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	2	3.00			1,287

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　9月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	266	21	16.40			23,378
原動機付自転車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	0	0	0.00			20,324
原動機付自転車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	111	9	7.00			24,015
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	511	41	8.00			1,414
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	43	3	2.50			284
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	286	22	18.00			57,596
原動機付自転車	ホンダ ４４７４	パトロール用	481	38	6.10	5,610	オイル交換・修繕	63,408
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	584	46	12.30			3,158
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	540	43	9.50			2,662
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	960	77	12.00			3,475

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　10月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	219	14	6.50			25,964
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	1	0.00			1,287

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　10月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	188	15	11.50			23,566
原動機付自転車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	28	2	1.50			20,352
原動機付自転車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	119	9	7.30			24,134
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	9	1	0.40			1,423
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	63	5	4.00			347
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	249	19	15.40			57,845
原動機付自転車	ホンダ ４４７４	パトロール用	679	54	18.30			64,087
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	654	52	17.00			3,812
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	681	54	18.40			3,343
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	615	49	14.30			4,090

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　11月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	132	6	4.05			26,096
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	3	8.00			1,295

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　11月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ４０２	連　絡　用	46	4	3.00			23,612
原動機付自転車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	36	3	2.20			20,388
原動機付自転車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	79	6	5.00			24,213
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	135	11	8.30	3,900	ミラー交換	1,558
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	54	4	3.30			401
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	201	16	12.40	35,500	タイヤ交換	58,046
原動機付自転車	ホンダ ４４７４	パトロール用	446	36	4.00			64,533
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	601	48	13.40			4,413
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	655	52	17.00			3,998
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	391	31	0.30			4,481

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　12月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	175	11	5.30	13,596	パンク修理	26,271
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	5	6.00			1,301

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

2年　12月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	32	2	2.00			23,644
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	21	2	1.30			20,409
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	129	10	8.10			24,342
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	108	8	6.50			1,666
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	61	5	4.00			462
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	250	19	15.40			58,296
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	449	36	4.10			64,982
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	666	53	17.40			5,079
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	346	27	21.40			4,344
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	571	45	11.50			5,052

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

【令和３年度】

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　1月分　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	86	3	2.40			26,537
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	3	6.00			1,307

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　1月分　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	0	0	0.00			23,644
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	0	0	0.00			20,409
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	34	3	2.10			24,376
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	19	1	1.20			1,685
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	38	3	2.30			500
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	426	34	2.40			58,722
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	215	17	13.30			65,197
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	507	40	7.50			5,586
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	116	9	7.20			4,460
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	395	32	0.50			5,447

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　2月分　（自　1日）
（至　28日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝﾄラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	176	5	5.30			26,533
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			13,245
ホイルローダー		作　業　用	−	4	11.00			1,318

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　2月分　（自　1日）
（至　28日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ４０２	連　絡　用	1	1	0.10			2月廃車 23,645
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７５	連　絡　用	4	1	0.20			2月廃車 20,413
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７６	連　絡　用	4	1	0.20			2月廃車 24,380
原動機付自　転　車	スズキ ７１４０	連　絡　用	24	2	1.30			1,709
原動機付自　転　車	スズキ ７１４１	連　絡　用	32	2	2.00			532
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７３	パトロール用	295	23	18.30			59,017
原動機付自　転　車	ホンダ ４４７４	パトロール用	23	2	1.30			2月廃車 65,220
原動機付自　転　車	スズキ ７１３９	パトロール用	654	52	17.00			6,240
原動機付自　転　車	スズキ ７１４２	パトロール用	235	18	14.50			4,695
原動機付自　転　車	スズキ ７１４３	パトロール用	527	42	9.00			5,974

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　2月分　（自　1日）
（至　28日）

（共用区域）　　借　受　人　　印
現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自　転　車	スズキ ８７１５	パトロール用	205	16	13.00			2月納車 205
原動機付自　転　車	スズキ ８７１６	連　絡　用	15	1	1.00			2月納車 15
原動機付自　転　車	スズキ ８７１７	連　絡　用	51	4	3.20			2月納車 51
原動機付自　転　車	スズキ ８７１８	連　絡　用	85	7	5.30			2月納車 85

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	185	12	5.50			26,718
散　水　車	イスズ １７−１８	作　業　用	0	0	0.00			3月廃車 13,245
トラック	１１−１３	作　業　用	14	2	0.30			3月納車 38
ホイルローダー		作　業　用	−	2	2.00			1,320

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人　　印

現場監督の認印　　印　　作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	58	5	3.40			73
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	70	5	4.30			121
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	111	9	7.00			196
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	635	50	15.50			2,344
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	56	4	3.30			588
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	384	31	0.00			59,401
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	443	36	3.50			648
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	621	49	15.00			6,861
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	632	50	15.30			5,327
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	545	43	10.10			6,519

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　4月分　　（自　1日）

（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	69	7	2.10			26,787
トラック	１１−１３	作　業　用	232	16	14.30			270
ホイルローダー		作　業　用	−	6	10.00			1,330

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　4月分　　（自　1日）

（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	119	9	7.30			192
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	123	10	7.50			244
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	227	18	14.20			423
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	712	56	20.30			3,056
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	81	6	5.10			669
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	264	21	16.30			59,665
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	590	47	13.00			1,238
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	713	57	20.40			7,574
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	707	56	20.20	2,750	パンク修理	6,034
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	561	45	11.10			7,080

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　5月分　　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	40	7	1.10			26,827
トラック	１１−１３	作　業　用	375	15	11.40			645
ホイルローダー		作　業　用	−	3	2.00			1,332

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　5月分　　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	87	7	5.30			279
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	115	9	7.20			359
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	71	6	4.30			494
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	202	16	12.40			3,258
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	34	3	2.10			703
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	463	37	5.00			60,128
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	431	35	3.00			1,669
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	488	39	6.30			8,062
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	277	22	17.30			6,311
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	11	1	0.50			7,091

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　6月分　　（自　1日）

（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	62	2	2.00			26,889
トラック	１１−１３	作　業　用	311	15	9.40			956
ホイルローダー		作　業　用	−	3	6.00	188,650	エッジ交換	1,338

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　6月分　　（自　1日）

（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	141	11	9.00			420
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	84	7	5.20			443
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	20	2	1.20			514
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	348	27	21.50			3,606
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	55	4	3.30			758
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	248	19	15.30			60,376
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	497	40	7.10			2,166
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	540	43	9.50			8,602
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	239	19	15.00			6,550
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	26	2	1.40			7,117

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　7月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	108	5	3.20			26,997
トラック	１１−１３	作　業　用	488	20	15.10			1,444
ホイルローダー		作　業　用	−	2	1.00			1,339

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　7月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	107	8	6.50			527
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	166	13	10.30			609
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	169	13	10.40			683
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	649	52	16.40	2,750	ヘッドライト交換	4,255
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	53	4	3.30			811
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	255	20	16.00			60,631
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	551	44	10.30			2,717
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	853	68	5.30	3,300	ヘッドライト交換	9,455
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	746	59	22.40			7,296
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	19	1	1.20			7,136

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　8月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	15	3	0.30			27,012
トラック	１１−１３	作　業　用	413	15	13.00			1,857
ホイルローダー		作　業　用	−	2	1.00			1,340

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　8月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	28	2	1.50			555
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	29	2	2.00			638
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	60	5	3.50			743
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	124	10	7.50			4,379
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	152	12	9.30			963
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	440	35	3.30			61,071
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	448	36	4.00			3,165
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	359	28	22.30			9,814
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	146	11	9.10			7,442
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	27	2	1.50			7,163

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　9月分　　（自　1日）

（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	46	2	1.30			27,058
トラック	１１−１３	作　業　用	350	15	11.00			2,207
ホイルローダー		作　業　用	−	3	3.00			1,343

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　9月分　　（自　1日）

（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	28	2	1.50			583
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	41	3	2.40			679
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	35	3	2.20			778
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	6	1	0.30			4,385
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	75	6	4.50			1,038
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	473	38	5.40			61,544
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	206	16	13.00			3,371
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	505	40	7.40			10,319
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	2	1	0.10			7,444
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	25	2	1.40			7,188

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　10月分　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	123	7	3.50			27,181
トラック	１１−１３	作　業　用	601	25	18.50			2,808
ホイルローダー		作　業　用	−	4	2.00			1,345

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　10月分　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	166	13	10.30			749
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	117	9	7.30			796
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	221	17	14.00			999
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	749	59	23.00			5,134
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	124	10	7.50			1,162
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	209	16	13.10			61,753
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	742	59	22.30			4,113
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	678	54	18.30			10,997
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	857	69	5.40	3,300	ヘッドライト交換	8,301
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	92	7	5.50			7,280

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　11月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	167	8	5.10			27,348
トラック	１１−１３	作　業　用	529	21	16.30			3,337
ホイルローダー		作　業　用	−	1	1.00			1,346

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　11月分　（自　1日）
（至　30日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	166	13	10.30			865
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	110	9	7.00			906
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	120	9	7.30			1,119
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	630	50	15.30			5,764
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	98	8	6.10			1,260
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	193	15	12.10	2,860	ブレーキ調整	61,946
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	377	29	23.40			4,490
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	847	68	5.00			11,844
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	818	66	3.10			9,119
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	64	5	4.00			7,344

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　12月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	292	17	9.05			27,640
トラック	１１−１３	作　業　用	490	19	15.20			3,827
ホイルローダー		作　業　用	−	5	4.00			1,350

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

3年　12月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	63	5	4.00			928
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	107	8	6.50			1,013
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	63	5	4.00			1,182
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	561	45	11.10			6,325
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	70	5	4.30			1,330
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	201	16	12.40			62,147
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	479	38	6.00			4,969
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	626	50	15.10	9,130	リヤタイヤ・オイル交換	12,470
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	634	50	15.40	9,130	リヤタイヤ・オイル交換	9,753
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	118	9	7.30			7,462

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

【令和４年度】

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

4年　1月分　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	91	5	2.50			27,731
トラック	１１−１３	作　業　用	364	18	11.20			4,191
ホイルローダー		作　業　用	−	1	1.00			1,351

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

4年　1月分　（自　1日）

（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	33	3	2.10			961
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	69	5	4.30			1,082
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	85	7	5.30			1,267
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	610	49	14.10			6,935
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	16	1	1.00			1,346
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	271	21	17.00			62,418
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	386	31	0.10			5,355
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	631	50	15.30			13,101
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	732	58	21.50	7,700	フロントタイヤ交換	10,485
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	4	1	0.20			7,466

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

4年　2月分　（自　1日）

（至　28日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	176	7	5.30			27,907
トラック	１１−１３	作　業　用	198	9	6.10			4,389
ホイルローダー		作　業　用	−	5	5.00			1,356

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

4年　2月分　（自　1日）

（至　28日）

（共用区域）　　借　受　人

現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	14	1	1.00			975
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	73	6	4.40			1,155
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	64	5	4.00			1,331
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	486	39	6.30			7,421
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	46	4	3.00			1,392
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	266	21	16.40			62,684
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	426	34	2.40			5,781
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	424	34	2.30	7,700	フロントタイヤ交換	13,525
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	676	54	18.20			11,161
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	41	3	2.40			7,507

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

4年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
2ﾄﾝトラック（ユニック付）	３３−７６	作　業　用	120	10	3.40			28,027
トラック	１１−１３	作　業　用	451	19	14.05			4,840
ホイルローダー		作　業　用	−	6	4.00			1,360

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

4年　3月分　（自　1日）
（至　31日）

（共用区域）　　借　受　人
現場監督の認印　　印　　作成者氏名

提供物件名	提供物件番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量（走行キロ数）	稼働状況 運転日数（日）	稼働状況 運転日数（時間）	維持修理費（円）	おもな修理箇所及び取替部品名	摘　要
原動機付自転車	スズキ ８７１６	連　絡　用	82	6	5.10			1,057
原動機付自転車	スズキ ８７１７	連　絡　用	62	5	4.00			1,217
原動機付自転車	スズキ ８７１８	連　絡　用	62	5	4.00			1,393
原動機付自転車	スズキ 631	連　絡　用	1	1	0.10			1
原動機付自転車	スズキ ７１４０	連　絡　用	556	44	10.50			7,977
原動機付自転車	スズキ ７１４１	連　絡　用	32	2	2.00			1,424
原動機付自転車	ホンダ ４４７３	パトロール用	225	18	14.10			62,909
原動機付自転車	スズキ ８７１５	パトロール用	533	43	9.30			6,314
原動機付自転車	スズキ ７１３９	パトロール用	628	50	15.20			14,153
原動機付自転車	スズキ ７１４２	パトロール用	452	36	4.20			11,613
原動機付自転車	スズキ ７１４３	パトロール用	130	10	8.10			7,637

※稼働状況の運転日数の時間の小数点以下は分を表示

別紙２３

危機管理対応実績・報告①＜事故対応編＞

【R2年度】

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月	6	0	0	0	0	1	7
5月	15	0	0	0	0	0	15
6月	18	0	1	0	0	1	20
7月	8	0	0	1	0	0	9
8月	16	0	7	0	0	0	23
9月	37	0	0	0	0	0	37
10月	45	0	1	1	0	0	47
11月	31	0	0	0	0	1	32
12月	6	0	1	0	0	0	7
1月	7	0	0	0	0	0	7
2月	16	0	1	0	0	1	18
3月	15	0	1	0	0	2	18
計	220	0	12	2	0	6	240

【R3年度】

	事故	事件	病気（急性症状）	病気（既往症悪化）	車両事故	その他	計
4月	45	0	0	0	0	2	47
5月	22	1	2	0	0	2	27
6月	2	0	0	0	0	0	2
7月	11	0	3	0	0	0	14
8月	0	0	1	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	37	0	5	0	0	0	42
11月	14	0	1	0	0	0	15
12月	6	0	0	0	0	0	6
1月	5	0	1	0	0	0	6
2月	8	0	0	0	0	0	8
3月	28	0	0	0	0	2	30
計	178	1	13	0	0	6	198

危機管理対応実績（事故対応）

【令和2年度】

場所	原因	病状	件数
大芝生広場、スカイドルフィン	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	9
子供の広場（アスレチックも含む）	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	85
サイクリングコース	不注意による転倒 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	60
動物の森	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	8
森の家	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	3
駐車場			0
ワンダーワールド周辺	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	28
デイキャンプ			0
ドックラン			0
園路、マリンワールド	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	15
西口・西サイク・ワンロ・海中口	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	5
ふわんぽりん	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	22
その他			5
合　計			240

救急車依頼件数　10件　連絡車により病院に搬送した件数　0件

その他、既往症、物損事故、盗難など　2件

【令和3年度】

場所	原因	病状	件数
大芝生広場、スカイドルフィン	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	10
子供の広場（アスレチックも含む）	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	54
サイクリングコース	不注意による転倒 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	43
動物の森	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	10
森の家			0
駐車場	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	1
ワンダーワールド周辺	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	23
デイキャンプ			0
ドックラン			0
園路、マリンワールド	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	11
西口・西サイク・ワンロ・海中口	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	5
ふわんぽりん	不注意による怪我 等	切創、擦過傷、打撲、捻挫、裂傷、体調不良　等	24
その他			17
合　計			198

救急車依頼件数　11件　連絡車により病院に搬送した件数　0件

その他、既往症、物損事故、盗難など　0件

●令和2年　事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2020/4/2	事故	負傷	ふわんぽりんを飛んでいる際に大きい子が横で飛んだ衝撃で転倒し負傷　腫脹著明のため病院受診となる　利用サービスが西サロまで送迎となる	右足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	7	男			
2020/4/4	事故	負傷	自転車にて障害物（石？枝？）に乗り上げ、転倒し負傷。	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2020/4/4	事故	負傷	石畳の上に額をぶつけた。腫脹著明。激しく泣き、その後変わった様子がないため、様子見ますとのこと。異常時は病院受診するようすすめた。	額部	打撲	子供の広場	お客様	1	女			
2020/4/4	事故	負傷	自転車で下り坂走行中に転倒し負傷　顔面（額・左顔面・鼻周辺）擦過傷は消毒軟膏塗布のみ　特変あれば病院受信勧める	顔面	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2020/4/4	事故	負傷	自転車でUターンしようとしたところ縁石にのりあげ転倒し負傷　裂傷深く縫合が必要と考えられるため和白病院に受診となる	下顎部	裂傷	サイクリングコース	お客様	4	男			
2020/4/5	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて負傷　脱臼疑いだったが可動問題なし　特変あれば病院受診勧める	左前腕部	打撲	ふわんポリン	お客様	4	男			
2020/5/20	事故	負傷	転倒し負傷	両膝	擦過傷	園路	お客様	5	女			
2020/5/20	事故	負傷	転倒し負傷	左膝	擦過傷	動物の森	お客様	3	女			
2020/5/23	事故	負傷	転倒し負傷　腫脹あり　疼痛軽減しないようだったら病院受診勧める	右手第１指	打撲	西口	お客様	13	女			
2020/5/23	事故	負傷	ゴーカートがエンジン停止し後続車がぶつかったはずみで唇を噛んで負傷。止血済み傷口も深くなく様子をみるように伝える。なお、西パブが対応し返金、保険の話などをしています。	唇	切創	ゴーカート	お客様	3	女			
2020/5/23	事故	負傷	遊具から落下　意識障害等なし　特変あれば病院受診勧める　利用ザービスが駐車場まで送迎する	後頭部	打撲	子供の広場	お客様	6	男			
2020/5/24	事故	負傷	転倒し負傷	左膝	擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2020/5/24	事故	負傷	森のトリムの遊具で後頭部より落下し負傷　特変あれば病院受診勧める	後頭部	打撲　擦過傷	子供の広場	お客様	8	男			
2020/5/27	事故	負傷	自分の自転車で走行中迷子になり慌てた為に転倒　ボーっとするとのこと　傷は軽傷　右頬腫脹あり　保護者がいつもこんな感じだから大丈夫なのでまだ遊ぶとのこと	右頬	打撲　擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2020/5/30	事故	負傷	自転車で転倒し負傷　左膝の創傷が酷い為特変あれば病院受診を勧める。利用サービスが送迎する	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2020/5/30	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	男			
2020/5/30	事故	負傷	ベンチに座っていた時に後ろにひっくり返って打撲。腫脹経度、創傷なし　特変あれば病院受診勧める　利用サービスが駐車場まで送る	後頭部	打撲	動物の森	お客様	2	女			
2020/5/30	事故	負傷	マウンテンパークで裸足で遊んでいて負傷	左足第一指	皮膚剥離	子供の広場	お客様	2	男			
2020/5/31	事故	負傷	タンデムでスピードを出し過ぎて制御できずに負傷	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	13	男			
2020/5/31	事故	負傷	タンデムでスピードを出し過ぎて制御できずに負傷　右手掌に異物刺入のため除去、右肘洗浄	右肘　右手掌	擦過傷　異物除去	サイクリングコース	お客様	13	男			
2020/5/31	事故	負傷	ふわんぽりんを着地した際に痛がって歩けない　医務室到着時には立位・歩行可　疼痛もほとんどなく保護者の判断で経過観察となる	右膝	捻挫	ふわんポリン	お客様	3	男			
2020/6/6	事故	負傷	遊んでいたら毛虫に刺された	右前腕	虫ささされ	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	12	女			
2020/6/6	事故	負傷	転倒し負傷　特変あれば病院受診勧める	額部	打撲	園路	お客様	1	男			
2020/6/6	事故	負傷	ロープの遊具で遊んでいて負傷	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	14	男			
2020/6/7	事故	負傷	飛び石を渡ってる際に滑って負傷	右下腿	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	5	男			
2020/6/7	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2020/6/7	事故	負傷	裸足で遊んでいて異物が入った□	右足底部	異物刺入	子供の広場	お客様	5	男			
2020/6/7	事故	負傷	うんていで遊んでいて負傷	右手掌	皮膚剥離	子供の広場	お客様	9	女			
2020/6/7	事故	負傷	裸足で遊んでいて転倒し負傷	右足母指	爪剥離	子供の広場	お客様	2	女			
2020/6/20	事故	負傷	自転車で転倒し負傷。創部深い為病院受診となる	右膝	挫創	サイクリングコース	お客様	9	男			
2020/6/20	事故	負傷	水辺のトリムのターザンロープの紐を持った状態で滑り落ち負傷。創傷は軽度だが発赤、腫脹、熱感あり。特変あるようなら病院受診勧める	左手第3指	皮膚剥離　発赤　腫脹	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	11	女			
2020/6/21	事故	負傷	イカダ渡りのロープに指を挟まれ負傷　発赤・腫脹あり　病院受診予定	左手第４指	指挫滅創	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	7	男			
2020/6/21	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2020/6/21	事故	負傷	子どもを追いかけて転倒し負傷	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	37	男			
2020/6/21	事故	負傷	水辺のトリムのイカダ渡りで指を挟んで負傷疼痛強く病院受診を予定　腫脹あり　発赤経度	右手第1指	指挫滅創	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	6	男			
2020/6/21	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2020/6/21	事故	負傷	自転車で停止する際に転倒し負傷。右手指の傷が深い為病院受診となる。利用サービスが駐車場まで送迎	右手第4指	挫傷　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2020/6/22	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2020/6/28	事故	負傷	転倒し負傷	右肘	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	女			
2020/7/4	事故	負傷	ふわんぽりんで転倒し手をついたところ負傷腫脹ないも疼痛強い為特変あれば病院受診勧める	左手首	捻挫	ふわんポリン	お客様	5	男			
2020/7/5	事故	負傷	遊んでいていつのまにかトゲが刺さっていた。	右第2指	異物刺入	子供の広場	お客様	4	男			
2020/7/11	事故	負傷	ローラー滑り台に乗ろうとした時に、バランスをくずして負傷。腫脹経度あり、約2cmの切傷あり。処置後、利用サービスにて西口駐車場まで移送してもらう。	額部	切傷	ワンダーワールド（たこのあし）	お客様	3	女			
2020/7/18	事故	負傷	自転車で操作を誤り負傷	左膝　左肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	14	男			
2020/7/18	事故	負傷	チクチクしたので夫に見てもらったら毛虫が付いていたとのこと　腫脹・発赤あり　特変あれば病院受診勧める	右耳	虫ささされ	子供の広場	お客様	30	女			
2020/7/19	事故	負傷	木の下を歩いていたら毛虫に刺された　腫脹・発赤　軽度	左肩	虫ささされ	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	7	男			
2020/7/20	事故	負傷	転倒し負傷　創傷部開口しており縫合が必要と考えられるため病院受診となる　止血済み利用サービスが駐車場まで送迎する	下顎部	切創	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	3	女			
2020/7/24	事故	負傷	サンダル、裸足にて自転車に乗車中、負傷。出血ほとんどなし。洗浄後処置する。自宅にてまたよく洗浄するよう説明し、発赤・腫脹・膿の出現時は病院受診するようにお話しする。	左足第一趾	削ぎ傷	サイクリングコース	お客様	16	男			
2020/8/1	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の中で転倒し負傷　出血少量頬部の皮下出血あり　特変あれば病院受診勧める	左眼瞼	擦過傷　打撲	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	2	男			
2020/8/1	事故	負傷	遊べる噴水にて他児童がぶつかってきて転倒白目反転、意識消失が一瞬あり　看護師到着時は意識清明も母親がいつもと様子が違うと思うとのことで宗像のハチスガ病院に自家用車で受診となる。利用サービスが駐車場まで送迎する	後頭部	打撲	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2020/8/1	事故	負傷	転倒し負傷	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2020/8/2	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の中で転倒し負傷　縫合が必要な傷と考えられるため病院受診となる	下顎部	切創	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	4	男			
2020/8/6	事故	負傷	元々深爪だった部位を転倒仕掛けた際に負傷した	右足第１指	挫創	ワンダーワールド	お客様	11	男			
2020/8/8	事故	負傷	自転車の操作を誤り転倒。左膝やや傷深め、それ以外は経度。	右肘 左手の平	擦過傷	サイクリングコース	お客様	4	女			
2020/8/9	事故	負傷	うんていにぶら下がって遊んでいて、自然に皮が剥けた。出血なし。	左手掌	皮膚剥離	子供の広場	お客様	9	女			
2020/8/10	事故	負傷	森の家の工作の際に材料を探していたらムカデがいて刺された　発赤・腫脹経度　特変あれば病院受診勧める　利用サービスが駐車場まで送迎	左手指第5指	虫ささされ	森の家	お客様	6	女			
2020/8/12	事故	負傷	持ち込み自転車で転倒し負傷	右肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2020/8/13	事故	負傷	転倒し負傷	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2020/8/14	事故	負傷	2時間ほど前から何となく首の後ろが痛痒かった。気が付いたら腫れていて痛みが増強。虫刺され？蕁麻疹？アレルギーはなし。軟膏塗布しクーリングする。処置後症状軽減したとのこと。症状が悪化した場合は病院受診するようにお話しした。	後頸部	膨隆疹	ワンダーワールド	お客様	8	男			

2020/8/15	事故	負傷	保護者が気が付いたら負傷していたとのこと。消毒は保護者の希望で実施せず。	左足部	皮膚剥離	子供の広場	お客様	1	女			
2020/8/17	事故	負傷	タンデムの前を運転している際にタイヤでぶつけて負傷　創傷なし　発赤経度　腫脹なし（受傷直後は腫脹あったとのこと）　特変あれば病院受診勧める	右足底部	打撲	サイクリングコース	お客様	16	女			
2020/8/18	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中、他の自転車をよけようとして植木の茂みに転倒した。」両部位とも出血あり。止血後、処置施行。左肘腫脹あり、可動ＯＫ。	左肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	73	女			
2020/8/23	事故	負傷	遊んでいたらちくっとしたとのこと　腫脹軽度　発赤なし　特変あれば病院受診勧める	頸部	虫ささされ	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	6	男			
2020/8/29	事故	負傷	自転車にてスピードを出し過ぎて転倒し負傷。	左肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2020/9/8	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に友達の自転車と接触し負傷。	左膝	左膝～擦過傷□左肘～打撲	サイクリングコース	お客様	11	女			
2020/9/8	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に友達の自転車と接触し負傷。	右足首	打撲	サイクリングコース	お客様	11	女			
2020/9/13	事故	負傷	歩いていて転倒し負傷	両膝	擦過傷	園路	お客様	6	男			
2020/9/13	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	額部・鼻	擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2020/9/15	事故	負傷	ひつじ舎の前のﾍﾞﾝﾁに座っていて、ｽｽﾞﾒﾊﾞﾁに刺された。刺入部発赤、腫脹あり。刺されて３０分程経過、気分不良なし。過去刺された経験なし。帰宅促し、皮膚科受診すすめる。	腰部	蜂ささされ	動物の森	お客様	67	男			
2020/9/20	事故	負傷	転倒し負傷　意識清明　特変あれば病院受診勧める	額部	打撲	園路	お客様	2	男			
2020/9/20	事故	負傷	停めている自転車の前かごより転落　転落時目撃しておらず状況不明　　看護師到着時保護者が創傷部の処置済み　全身確認も特変無し　クーリングで経過観察し、特変あれば病院受診勧める	額部	擦過傷　打撲	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2020/9/20	事故	負傷	手すりを触った際に異物刺入	左手掌	異物刺入	潮見台	お客様	8	男			
2020/9/20	事故	負傷	森のトリムの岩場にて転倒　縫合が必要と考えられるため病院受診となる　利用サービスが西サロまで送迎する	下顎部	切創	子供の広場	お客様	7	男			
2020/9/20	事故	負傷	午前中に自転車の前かごから転倒して処置した方　出血が止まらないとのこと　傷を確認すると1ｃｍ未満の傷だが深さがあり止血未病院受診となる	額部	挫傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2020/9/20	事故	負傷	迷路で転倒し負傷　アトピーが酷くテープが使用できない為ネットにて固定	左肘	擦過傷	迷路	お客様	8	男			
2020/9/20	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右前腕	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2020/9/20	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2020/9/21	事故	負傷	自転車に乗っている際に子供の自転車とぶつかり負傷　皮膚科受診勧める。光風利用サービスが送迎する	右足第１指	爪剥離	サイクリングコース	お客様	39	女			
2020/9/21	事故	負傷	転倒し後頭部をコンクリートで打撲　腫脹軽度　創傷軽度　止血済み　特変あれば病院受診すすめる	後頭部	切創　打撲	動物の森	お客様	2	男			
2020/9/21	事故	負傷	血尿がでたとのこと　残尿感・陰部疼痛・腹痛が若干あるとのこと　病院受診希望の為、医療情報センターを紹介する		膀胱炎疑い	子供の広場	お客様	35	女			
2020/9/21	事故	負傷	ゴーカートを降りる際に別のゴーカートにぶつかり負傷　創傷部洗浄し処置　内出血部湿布貼用　西パブの方とお話し帰宅となる	右下腿	擦過傷　打撲	ゴーカート	お客様	7	女			
2020/9/21	事故	負傷	遊んでいて気が付いたら異物刺入していたとのこと	左手掌	異物刺入	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	6	女			
2020/9/21	事故	負傷	滑り台で滑る際に回転し負傷	右足部	擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2020/9/21	事故	負傷	砂場で遊んでいてトゲが刺さった	左手第1指	異物刺入	子供の広場	お客様	7	女			
2020/9/21	事故	負傷	森のトリム周辺にて蜂（何蜂かは不明）に刺されたとのこと　ポイズンリムーバー使用し、洗浄後ステロイド塗布し包帯の上よりクーリング施行　腫脹無し　発赤が右手広範囲に広がっているため病院受診することとなり、利用サービスが駐車場まで送迎する	右前腕	虫ささされ	子供の広場	お客様	8	女			
2020/9/22	事故	負傷	飛んでいてﾊﾞﾗﾝｽを崩し捻った様子。腫脹経度、動かすと疼痛軽度あり。症状続くようなら整形外科受診するよう話す。	左足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	5	女			
2020/9/22	事故	負傷	歩いていて転倒し負傷。出血少量。	左手掌	擦過傷	子供の広場	お客様	5	女			
2020/9/22	事故	負傷	きねわたり付近で遊んでいて負傷、詳細は不明。出血あり。	左足底部	皮膚剥離	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	4	男			
2020/9/22	事故	負傷	裸足で遊具で遊んでいて、いつのまにかトゲが刺さっていた。トゲ抜きを本人が拒否した為、お母様より、「家で抜きます」との事で、上記処置のみ施行す。□	左足底部	異物刺入	子供の広場	お客様	6	男			
2020/9/22	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に兄の自転車とぶつかりﾍﾟﾀﾞﾙで負傷。傷やや深め、出血あり。	右足部	擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2020/9/26	事故	負傷	遊んでいて転倒し負傷	左膝	擦過傷	子供の広場	お客様	4	女			
2020/9/26	事故	負傷	自転車に裸足で乗っていて転倒し負傷	右足母指	皮膚剥離	サイクリングコース	お客様	9	男			
2020/9/27	事故	負傷	自転車同士の接触ありと連絡あり。自転車乗車中にお客様同士で接触した。左膝に力が入らないが外傷・腫脹なく、立位・膝曲げ可能。徐々に改善されてきたため様子観察とする。他のお客様に負傷なく、自転車の不具合もなし。	左膝	打撲	サイクリングコース	お客様	8	男			
2020/9/27	事故	負傷	子どもの砦にて友達4人で遊んでいた際に、石壁で左側頭部を打った。約2cmの切傷があり、出血多量。頭部圧迫し止血確認。意識レベル問題なし。その後子どもの広場救護室へ搬送し、両親の到着を待つ。両親到着後、処置が必要と思われるため病院受診するよう説明し、駐車場まで移送する。	頭	出血　切傷	子供の広場	お客様	12	男			
2020/9/27	事故	負傷	裸足で歩いていたら、トゲが刺さっていることに気が付いた。	右足底部	異物刺入	子供の広場	お客様	6	男			
2020/9/27	事故	負傷	ふわんポリンにて着地時に、親指から着地し負傷。疼痛あり。腫脹あり。痛くて歩けそうにないとのこと。病院受診すすめる。	右足第1趾	打撲	ふわんポリン	お客様	11	男			
2020/9/27	事故	負傷	昨日負傷した所が、痛くなった。	左足第1趾	擦過傷	子供の広場	お客様	7	女			
2020/9/27	事故	負傷	何かいると思ったら、刺された。蜂かヤブかはわからない。その後自分で洗ったとのこと。大きな蜂に刺されたのは初めて。アレルギー既往なし。腫脹軽度あり。	右第指	虫ささされ　腫脹	ワンダーワールド	お客様	37	男			
2020/9/27	事故	負傷	水辺のトリムのイカダ渡りのロープを持っていたところ、他の子供の強さに負けて滑車に巻き込まれた。動かしにくさがあるが、腫脹・発赤なし。	左第2指	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	7	女			
2020/9/28	事故	負傷	自転車の前かごに乗っており保護者が自転車から離れた際に転落。乳歯より出血あり。歯の脱臼もあり病院受診となる	右乳中切歯	打撲	西サイクロ	お客様	1	女			
2020/9/28	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて着地時に負傷	右足母指	捻挫	ふわんポリン	お客様	8	男			
2020/10/3	事故	負傷	歩いていて転倒。左手をついて負傷した。	左手掌	擦過傷	園路	お客様	4	男			
2020/10/3	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて、擦れた様子。出血ほぼなし。発赤あり。	右足背	擦過傷	ふわんポリン	お客様	4	男			
2020/10/3	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて、爪の一部が剥離した。出血極少量。	右足趾	爪剥離	ふわんポリン	お客様	5	女			
2020/10/3	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて転倒し負傷。出血少量あり。	左膝	擦過傷	ふわんポリン	お客様	7	男			
2020/10/3	事故	負傷	裸足で遊んでいていつの間にかﾄｹﾞが刺さっていた。	左足底部	異物刺入	ワンダーワールド（たこのあし）	お客様	7	女			
2020/10/3	事故	負傷	自転車乗車中に、左踵部を巻き込んで負傷。2cm程の切傷と踵部の腫脹あり。出血ほとんどなし。軽く水で流しリバテープする。このまま病院受診することになり、駐車場まで護送する。和白病院の予定。	左踵部	切傷　打撲	サイクリングコース	お客様	10	女			
2020/10/4	事故	負傷	虫に三か所刺された。何かはわからないとのこと　腫脹・発赤軽度	左前腕	虫ささされ	子供の広場	お客様	4	女			
2020/10/4	事故	負傷	ストライダーで転倒し負傷	左前腕	擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2020/10/4	事故	負傷	自転車のペダルがあたって負傷	左下腿	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2020/10/4	事故	負傷	砂利で滑って転倒し負傷　創傷約1ｃｍ　深さ数ｍｍ程度　創傷部開放のためステリーテープで固定　翌日病院受診となる	右膝	切創	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	9	女			
2020/10/4	事故	負傷	自転車で転倒し左肘が動かないとのことだったが、様々な動作を試しているうちに可動可となる。可動域問題なし　湿布を貼用するとよくなってきたとのこと。特変あれば病院受診勧める	左肘	打撲	サイクリングコース	お客様	7	男			
2020/10/4	事故	負傷	自分の自転車の操作ミスでしげみに突っ込み転倒し負傷　利用サービスが西サロまで送迎する	左膝	擦過傷	西サイクロ	お客様	7	女			
2020/10/4	事故	負傷	転倒し負傷	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			

2020/10/4	事故	負傷	看板を触ってトゲが刺入　本人が泣いて拒否するため自宅にて家族が対応するとのこと	右手第2指	異物刺入	園路	お客様	3	女			
2020/10/4	事故	負傷	転倒し負傷	右肘・右額	擦過傷	園路	お客様	4	男			
2020/10/11	事故	負傷	自転車で転倒して負傷	右前腕□	擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	女			
2020/10/11	事故	負傷	自転車の運転を誤り転倒し負傷。左眉外側～傷深め、ほぼ止血しているも出血多かったとの事。左眼下～腫脹あり、視力ＯＫ。念のため、外科受診を勧める。	左眉外側	切傷□打撲	サイクリングコース	お客様	8	男			
2020/10/11	事故	負傷	腕が伸びないとのことだったが、途中で動くようになり可動も問題なし　　疼痛が続くようなら病院受診勧める	右肘	捻挫	ふわんポリン	お客様	9	男			
2020/10/11	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右膝　左肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2020/10/11	事故	負傷	花時計の台座の上に座っていて転落し負傷。出血ほぼなし、腫脹経度。気分不良なし。	額部	擦過傷 打撲	子供の広場	お客様	2	男			
2020/10/11	事故	負傷	自転車の運転を誤り転倒し負傷。傷広範囲も出血ほぼなし。疼痛あるも歩行ＯＫ。	左膝	擦過傷	光と風の広場	お客様	5	男			
2020/10/11	事故	負傷	森のトリムの遊具から足を踏み外し打撲　腫脹著名15×１０×3CM　創傷部のみ消毒　歩行困難のため車椅子で移送　骨折疑いにて病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	左下肢	打撲　皮下出血　腫脹	子供の広場	お客様	47	女			
2020/10/15	事故	負傷	転倒し負傷	下顎部	擦過傷	子供の広場	お客様	1	女			
2020/10/17	事故	負傷	自宅でハサミで切った所が再度出血	左手第4指	切創	子供の広場	お客様	4	男			
2020/10/17	事故	負傷	もともと傷があったところを、ふわんポリンにて擦って悪化した。出血少量。□	右肘	擦過傷	ふわんポリン	お客様	12	男			
2020/10/18	事故	負傷	子供の砦で膝をついたときに異物刺入	右膝	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	8	男			
2020/10/18	事故	負傷	ふわんぽりんで転倒し負傷	右膝	擦過傷	ふわんポリン	お客様	6	女			
2020/10/18	事故	負傷	転倒し負傷	右膝	擦過傷	園路	お客様	8	男			
2020/10/18	事故	負傷	自転車で段差で転倒し負傷	左手掌	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2020/10/18	事故	負傷	園路を走っていて転倒し負傷。	右手掌	擦過傷	園路	お客様	4	男			
2020/10/18	事故	負傷	自転車で段差で転倒し負傷	左手掌	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2020/10/18	事故	負傷	園路を走っていて転倒し負傷。	右手掌	擦過傷	園路	お客様	4	男			
2020/10/18	事故	負傷	森のトリムの遊具から転落しているのを、お客様が発見。左手2・3指以外は外傷見当たらず。迷子にて泣いているため、鼻水と共に出血少量あり。	左第2・3指	擦過傷	子供の広場	お客様	2	男			
2020/10/18	事故	負傷	ボルケーノスライダーで走っていたら、お友達とぶつかった。左額部発赤軽度あり、腫脹なし。クーリングする。	額部	打撲	子供の広場	お客様	4	男			
2020/10/18	事故	負傷	階段で踏み外して負傷　出血、創部ともに軽度	額部	擦過傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	1	男			
2020/10/24	事故	負傷	遊具で滑って転倒し鎖に巻き込まれ挫傷。指が半分切断されている状態。ＫＴ36.3　救急車にて和白病院搬送。	右手第４指	挫創　動揺	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	6	男			
2020/10/24	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右膝		サイクリングコース	お客様	9	女			
2020/10/25	事故	負傷	ヤシの木を触って異物刺入	右手第3,4指	異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	男			
2020/10/25	事故	負傷	ふわんぽりんで転んで負傷	左踝部	擦過傷	ふわんポリン	お客様	4	女			
2020/10/25	事故	負傷	走っていて転倒し負傷。	右手掌	擦過傷	園路	お客様	2	男			
2020/10/25	事故	負傷	滑り台で遊んでいて異物刺入	右手掌	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	3	男			
2020/10/25	事故	負傷	滑り台で滑った時に負傷	右肘	擦過傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	9	男			
2020/10/25	事故	負傷	子どもと遊具で遊んでいたら、トゲが刺さった。	右手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	34	男			
2020/10/25	事故	負傷	石畳につまずいて転倒し負傷。	左手掌	擦過傷	園路	お客様	62	女			
2020/10/28	事故	負傷	父親の自転車にぶつかって転倒　傷約2ｃｍ出血経度。縫合が必要と考えられるため病院受診となる。利用サービスが駐車場まで送迎	下顎部	切創	サイクリングコース	お客様	5	女			
2020/10/31	事故	負傷	電車の遊具に触った際に異物刺入	右手第3,4指	異物刺入	子供の広場	お客様	8	女			
2020/10/31	事故	負傷	子供の自転車が足に当たり負傷。出血少量。	右足首	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	36	女			
2020/11/1	事故	負傷	水辺のﾄﾘﾑの丸太の遊具から転落し負傷。出血少量。本人号泣していて処置できず。母持参のマキロンで消毒するとの事で、ｶﾞｰｾﾞお渡しする。	鼻下	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	6	男			
2020/11/1	事故	負傷	遊んでいて足が擦れて負傷。出血少量。	左足背	擦過傷	ふわんポリン	お客様	6	女			
2020/11/1	事故	負傷	自転車の運転を誤り転倒し負傷。出血少量。	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2020/11/1	事故	負傷	マウンテンパークにて、うつ伏せにて滑り落ちる際に擦った。	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	7	男			
2020/11/1	事故	負傷	ブランコに乗った際に持ち手にて負傷。	右第４指	皮膚剥離	子供の広場	お客様	6	男			
2020/11/1	事故	負傷	ベビーカーから立ち上がった時に転倒し後頭部を打った。大泣きし口唇色不良になったため、利用サービスにて救護室まで移送。到着時は入眠中、顔色・口唇色良好。後頭部に外傷・瘤なし。クーリングにて様子みる。異常時には病院受診するように説明し、利用サービスにてワンダー口まで移送してもらう。	後頭部		動物の森	お客様	3	男			
2020/11/1	事故	負傷	遊具（シーソー？）にてトゲがささった。	左第1指	異物刺入	子供の広場	お客様	6	女			
2020/11/3	事故	負傷	ふあんぽりんで遊んでいて負傷　腫脹あり病院受診勧める	右踝部	捻挫	ふわんポリン	お客様	8	男			
2020/11/3	事故	負傷	子供のせ自転車が乗っているときに倒れて負傷　腫脹なし　特変あれば病院受診勧める	額部	打撲	サイクリングコース	お客様	1	女			
2020/11/3	事故	負傷	自転車練習中に倒れて負傷	両膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2020/11/3	事故	負傷	さるわたりにぶら下がって遊んでいて表皮剥離した。出血なし。	右手掌	表皮剥離	子供の広場	お客様	7	男			
2020/11/3	事故	負傷	レストランの椅子から転落　歯を強打し前歯４本の動揺あり　歯科受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	前歯	動揺	ワンダーシャトル	お客様	7	男			
2020/11/7	事故	負傷	歩き疲れて足があがらずに前のめりに転倒し負傷　糖尿病、高血圧の既往あり　ＢＰ162/88　Ｐ99　和白病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	額部	打撲	園路	お客様	94	女			
2020/11/8	事故	負傷	マウンテンパークより滑り降りる際に擦った。	右手首	擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2020/11/13	事故	負傷	ルイガンスに宿泊中に額を打撲するもその場で腫れてはきておらず、子供の広場で遊んでいる最中に急に腫れてきたとのこと。腫脹あり。虫刺され様の傷があるも、内出血もしており判断できず。クーリング施行し特変あれば病院受診勧める	額部	打撲？虫刺され	不明	お客様	1	男			
2020/11/14	事故	負傷	ザイルクライムから転落し負傷（１ｍ程の高さ）　座位、歩行問題なし　特変あれば病院受診勧める	腰部	打撲	子供の広場	お客様	6	女			
2020/11/15	事故	負傷	自転車に乗ろうとして足を踏み外して転倒右膝の創傷深く病院受診となる　利用サービスが駐車場まで送迎となる	右膝	挫創	サイクリングコース	お客様	12	男			
2020/11/15	事故	負傷	裸足で遊んでいたら異物刺入	両足底部	異物刺入	シオヤ	お客様	3	男			
2020/11/15	事故	負傷	うんていから落ちて負傷	右膝	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	13	女			
2020/11/15	事故	負傷	転倒し負傷	右膝	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2020/11/15	事故	負傷	転倒し負傷	左膝	擦過傷	子供の広場	お客様	4	男			
2020/11/15	事故	負傷	遊具の「きね渡り」を他の子が揺らしてて頭にあたり負傷　腫脹ないも勢いよくぶつかったとのことで医務室にて10分程休養となる特変あれば病院受診勧める	頭	打撲	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	7	男			
2020/11/22	事故	負傷	自転車で転倒し負傷　右手４指１箇所、右手５指２カ所　負傷	右手第4,5指	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2020/11/22	事故	負傷	タンデム運転していた際、前を走る孫にぶつかりそうになって転倒　動けないとのことで現地にて処置　歩行問題なく、まだ遊ぶとのことで海ノ中道駅口まで送迎となる	左膝	打撲　擦過傷	サイクリングコース	お客様	64	男			
2020/11/23	事故	負傷	滑り台を滑っている時に捻った様子。詳細不明。主張なし。歩行可能も痛がる様子あり。症状続くようなら病院受診を勧める。	左足首	捻挫	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	1	女			
2020/11/23	事故	負傷	坂道を下っていて転倒し負傷。腫脹経度。機嫌よい。特変あれば病院受診するよう話す。	額	打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2020/11/23	事故	負傷	飛んで遊んでいる時に他児とぶつかり転倒し負傷。腫脹あり、疼痛強い。歩行可能。症状続くようなら病院受診するよう話す。	右足背	捻挫	ふわんポリン	お客様	10	女			
2020/11/23	事故	負傷	遊具の上から飛び降りた時の衝撃で負傷。自転車でﾜﾝﾛまで移動するも痛み強くなったとの事。腫脹なし。症状続く時は病院受診するよう話す。	右足底～足背	打撲	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	9	男			
2020/11/23	事故	負傷	ｽﾗｲﾀﾞｰで遊んでいて転倒し負傷。額腫脹経度、上口唇～人中出血少量、腫脹あり。軟膏は保護者持参のｹﾞﾝﾀｼﾝ塗布・	額	額～打撲　上口唇、人中	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2020/11/29	事故	負傷	遊んでいて気が付いたら異物刺入していた	左手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	5	男			
2020/11/29	事故	負傷	ロープを握っている際にすれて負傷	右手第2～3指間	皮膚剥離	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	23	女			
2020/12/6	事故	負傷	遊んでいて気が付いたら異物刺入していた	左手第２指	異物刺入	子供の広場	お客様	4	男			
2020/12/6	事故	負傷	他のこの頭がぶつかり負傷　ベッドにて１０分程度臥床し鼻出血止まり帰宅	鼻	打撲　鼻出血	ふわんポリン	お客様	5	男			

2020/12/6	事故	負傷	自転車で転倒し２～３分ほどその場で寝ていたところを発見、意識清明、額は打撲したとのことだが発赤・腫脹なし。左腕の疼痛の訴えあるも肩・肘関節稼働に問題なし。看護師到着時には家族希望で救急車を要請済み。救急車にて搬送となる	額部	打撲	サイクリングコース	お客様	10	男			
2020/12/12	事故	負傷	マウンテンパークにて、大人が上から引っ張りぶら下がっていたところ、右肘の関節が抜けて動かせなくなった。右肘亜脱臼は2回目。近医病院受診のため利用サービスにて駐車場まで移送。	右肘	肘内障疑い	子供の広場	お客様	5	男			
2020/12/20	事故	負傷	遊具で遊んでいた際に太陽の光とロープが重なりロープが見えずにロープに顔をひっかけて負傷	左眼瞼～左こめかみ	擦過傷	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	13	男			
2020/12/26	事故	負傷	類部の腫脹あり和白病院受診となる	右類部	擦過傷　打撲	サイクリングコース	お客様	45	男			
2021/1/3	事故	負傷	一人で自転車に乗っていて転倒,地面で右側頭部、ｻﾄﾞﾙで腹部を打った。右側頭部腫脹ほぼなし発赤軽度あり。意識明瞭.腹部腫脹発赤なし。泣いていて痛み程度不明。病院受診すすめ、保護者にて、かかりつけ受診する事となり帰宅。口	頭　腹部	打撲	サイクリングコース	お客様	4	女			
2021/1/5	事故	負傷	砂場上の家の遊具で遊んでいてトゲが刺さった。	左第1指	異物刺入	子供の広場	お客様	8	男			
2021/1/11	事故	負傷	歩いていて転んで負傷	左膝	擦過傷	動物の森	お客様	7	男			
2021/1/30	事故	負傷	遊具で遊んでいたら気が付いたら異物刺入	右手掌	異物刺入	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	9	女			
2021/1/31	事故	負傷	ポニーをみていた際にカートで立ち上がり、カートから転落して負傷　腫脹（＋）、嘔吐（－）、入眠中だが刺激を与えれば覚醒あり特変あれば病院受診勧める	額部	打撲　擦過傷	動物の森	お客様	0	男			
2021/1/31	事故	負傷	自転車の前かごから転落　ヘルメットなし腫脹（＋）　意識清明　特変あれば病院受診勧める	額部	打撲	サイクリングコース	お客様	5	女			
2021/1/31	事故	負傷	森のトリムの丸太を渡ってる際にバランスを崩し落下。落下する際に支柱に頭部と背中、腰をぶつけたとのこと。打撲時、目の前が真っ白になりふらつきあり。捻挫部　腫脹（＋）、内出血あり。支えがないと歩行困難利用サービスが駐車場まで送迎する	右足首・腰	捻挫・打撲	子供の広場	お客様	37	女			
2021/2/6	事故	負傷	複合遊具で遊んでる際に異物刺入した	左手第４指	異物刺入	子供の広場	お客様	6	男			
2021/2/7	事故	負傷	自転車の操縦ミスで転倒し負傷　腫脹なし歩行がきついとのことで利用サービスが海中口まで送迎となる	左膝	擦過傷・打撲	サイクリングコース	お客様	36	女			
2021/2/7	事故	負傷	滑り台を裸足で滑って負傷	右足踝部	擦過傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	5	女			
2021/2/7	事故	負傷	自転車で転倒したところを弟が自転車で止まれずに乗り上げてしまったとのこと　鼻出血・口腔出血多量にて父親が救急車要請し、和白病院に搬送となる	頭	打撲　鼻血　口腔内切傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2021/2/7	事故	負傷	自転車で転倒した際に打撲　擦過傷あるも軽度　動作も問題ないが姉が救急車にて搬送される際に父親が心配なので一緒に診察してもらうと救急車に同乗となる	左肋骨部	打撲	サイクリングコース	お客様	6	男			
2021/2/11	事故	負傷	転倒し負傷	右手第1指	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2021/2/11	事故	負傷	ウッドデッキで転倒し異物刺入	右膝	異物刺入	海中口	お客様	5	女			
2021/2/11	事故	負傷	兄に腕を引っ張られ脱臼したとのことだったが関節稼働問題なく、腕を捻った際に強い痛みが出現するため病院受信となる。利用サービスがﾜﾝﾛまで送迎する	右上腕	捻挫	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	3	男			
2021/2/15	事故	負傷	段差につまずいて転倒し負傷。	右膝	擦過傷	園路	お客様	45	女			
2021/2/20	事故	負傷	持ち込み自転車で転倒し負傷	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2021/2/20	事故	負傷	マウンテンパークの山を裸足で滑って負傷	右踝	擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2021/2/21	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に運転を誤り転倒し負傷。出血少量あり。	右手背	擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2021/2/21	事故	負傷	水辺のﾄﾘﾑのターザンﾛｰﾌﾟの近くの砂利で滑り、木の根元に引っかかって転倒。左手を地面に付いた時にポキッと音がして激痛あり。ﾜﾝﾛまで自力で来たが、本人希望で救急搬送となる。左腕少しでも動かすと激痛あり。待機中、段ボールで固定。	左前腕	骨折疑い	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	46	女			
2021/2/21	事故	負傷	ローラー滑り台の奥のロープの所で遊んでいてトゲが刺さった。	左第4指	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	5	女			
2021/2/21	事故	負傷	友達と来園。転倒時にドルフィンの一部で後頭部を打撲。しばらく意識消失。意識回復し倒れていた所をスタッフに発見され、救護室へ。自力歩行可、吐気なし。出血、腫脹なし、疼痛あり。保護者へ連絡し希望もあり、救急搬送となる。	後頭部	打撲	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	12	男			
2021/2/24	事故	負傷	尻もちをついた際にバランスを崩して後頭部打撲　止血済　特変あれば病院受診勧める	後頭部	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	1	男			
2021/3/6	事故	負傷	管理棟の角を曲がった際に、避雷針のBOXに気づかずにぶつかり負傷　出血少量も継続。深さもあり、縫合が必要か判断のため病院受診勧める	左眼瞼	切創	子供の広場	お客様	5	男			
2021/3/7	事故	負傷	自転車で下り道を下っていた際にハンドル操作を誤り後頭部から転倒　通りかかった清掃の職員が車で搬送　腫脹あり　飯塚病院受診となる	後頭部	擦過傷　打撲	サイクリングコース	お客様	7	男			
2021/3/13	事故	負傷	走っていて転倒し負傷	左膝	擦過傷	園路	お客様	6	男			
2021/3/14	事故	負傷	ふわんぽりんで小学生くらいの子供とぶつかって負傷　特変あれば病院受診勧める	頭	打撲	ふわんポリン	お客様	3	女			
2021/3/14	事故	負傷	折り畳み椅子が後ろに倒れて、後ろにあったベンチでぶつけた際に負傷　出血少量だが持続　傷口深く病院受診となる	後頭部	切創	ワンダーワールド	お客様	4	男			
2021/3/14	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	女			
2021/3/15	事故	負傷	ストライダーに乗っている際に転倒し負傷	左足部	擦過傷	園路	お客様	3	男			
2021/3/15	事故	負傷	遊んでいて気が付いたら負傷	左大腿	擦過傷	子供の広場	お客様	5	男			
2021/3/15	事故	負傷	遊んでいて気が付いたら異物刺入していた	左手第２指	異物刺入	子供の広場	お客様	3	女			
2021/3/17	事故	負傷	遊んでいた際に異物刺入	左手第2指	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	7	男			
2021/3/17	事故	負傷	遊んでいて手をついた際に負傷	右手第５指	捻挫	ふわんポリン	お客様	7	女			
2021/3/18	事故	負傷	椅子から後ろに落下し負傷　腫脹あり　特変あれば病院受診勧める　利用サービスが駐車場まで送迎する	後頭部	打撲	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2021/3/25	事故	負傷	あんぱんまんの遊具をみようと走っていった際に躓いて遊具にぶつかった	額部	打撲	ワンダーワールド	お客様	3	女			
2021/3/26	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて着地の際に負傷	右足背	捻挫	ふわんポリン	お客様	8	女			
2021/3/26	事故	負傷	電動キックボード実験中に子供を避けようとして転倒　看護師到着時に顔面蒼白、気分不快あるため仰臥位になり下肢挙上　BP90/66　創傷部の縫合も必要と考えられるため救急車にて和白病院に搬送となる	下顎部	挫創	サイクリングコース	お客様	19	女			

●令和2年　事件

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別

●令和2年　急性症状

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2020/6/28	急性症状	発症	自転車に乗っていて気分不快の症状があり、利用サービスが現場へ迎えに行く。KT36.6　体熱感無し　気分不快軽減　クーリング施行し帰宅となり利用サービスが駐車場まで送迎となる		熱中症	サイクリングコース	お客様	4	女			
2020/8/13	急性症状	発症	熱中症疑い　KT35.9　P120　1時間半ほどクーリングしながら入眠し帰宅となる		熱中症	動物の森	お客様	12	男			
2020/8/14	急性症状	発症	ホワンﾎﾞﾘﾝ中、腹痛・嘔気出現し口唇色不良となった。インフォで少し休んだら口唇色もどり、飲食できそうとのこと。体温36℃　脈108回　本日は無理をしないで過ごすようにお話しする。		熱中症疑い	ワンダーワールド	お客様	8	女			
2020/8/15	急性症状	発症	自転車で森の家到着後にポカリスエットを250ｍｌほど一気飲みして嘔吐　救護室到着時はKT36.6　P110　顔色良好　体熱感無し　両親が帰宅するとの要望で駐車場まで利用サービスが送迎する		熱中症	森の家	お客様	8	男			
2020/8/15	急性症状	発症	森の家まで自転車で行き嘔吐　熱中症の疑い　意識清明　KT36.8　P118　30分ほど休憩し母親と自宅となる		熱中症	森の家	お客様	10	女			

2020/8/21	急性症状	発症	昼食後ホワンポリンをしていたら気分不良、嘔吐あり。子どもの広場まで護送してもらう。体温36.7℃脈108　少しずつ水分摂取でき、安静にて良くなってきたとのこと。本日は無理をしないで過ごすように説明し、駐車場まで護送してもらう。		熱中症疑い	ワンダーワールド	お客様	11	女			
2020/8/25	急性症状	発症	来園後３時間ほど炎天下の中、遊んでいた。遊具で遊んでいる時に、気分不良出現。インフォの前で嘔吐あり。体温３６．９℃、顔色不良あり、受け答えＯＫ。安静臥床、クーリング、水分補給施行。しばらくして症状改善し帰宅する。		熱中症 嘔吐	ワンダーワールド	お客様	8	男			
2020/8/30	急性症状	発症	自転車をこいでいて気分不快により嘔吐1回　ＫＴ36.6　Ｐ92　医務室にて10分ほど休養し帰宅となる　利用サービスが駐車場まで送迎する		熱中症	サイクリングコース	お客様	4	女			
2020/10/25	急性症状	発症	車に乗車中より気分不良あり。何とか西口広場まで歩いたが、倒れ込み動けなくなった。嘔吐あり。BP133-84　P74(整)		気分不良・眩暈・嘔吐	西口広場	お客様	69	男			
2020/12/29	急性症状	発症	歩行中に左腹痛出現。嘔吐・下痢あり。インフォにて休憩するが時々激痛あり。現在妊娠8週のため、かかりつけのもりした産婦人科受診のため帰宅。	腹部	腹痛	ワンダーワールド	お客様	34	女			
2021/2/13	急性症状	発症	障害児施設めばえひまわりの遠足で来園。ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に発作あり、本人が気づき自転車を停め、薬内服したとの事。救護室来室後は発作なし。先生の付き添いのもと、集合時間まで1時間程、安静臥床す。		てんかん発作	サイクリングコース	お客様	12	男			
2021/3/6	急性症状	発症	公園で遊んでいる際に、排尿に何度もいくとのこと　腹部症状なし　自転車に長時間乗ったとのことなので刺激も考えられるが念のため病院受診勧める	腹部	膀胱炎？頻尿	ワンダーワールド	お客様	6	女			

●令和2年　既往症悪化

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2020/7/5	既往症悪化	発症	２週間位前から体調不良で、PCR検査１回受けて陰性との事。本日、公園に来てから悪寒、倦怠感あり。本人、ご家族に帰宅を促し、帰られる。		悪寒　倦怠感	ワンダーワールド	お客様	30	女			
2020/10/25	既往症悪化	発症	頭痛が普段からある。ふわんぽりん後に頭痛と嘔吐（大量2回）嘔吐後動けず。車椅子にて迎えに行き医務室にてベッド上安静　病院受診勧める　ＫＴ35.7℃	頭	頭痛／発熱	ふわんポリン	お客様	11	男			

●令和2年　車両事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別

●令和2年　その他

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2020/4/7	その他	負傷	外でサンドイッチを食べていたら、とんびが飛んできて取られそうになり、くちばしで負傷。傷極小さく、出血極少量。	右第１指	切傷	子供の広場	お客様	9	男			
2020/6/15	その他	負傷	焼きおにぎりを食べていたらカラスに襲われた	右眼瞼	切創	大芝生広場	お客様	12	男			
2020/11/3	その他	負傷	サンドイッチを食べていて、とんびに奪われる際に引っかかれた。出血ほぼなし。症状ひどくなるようなら皮膚科受診するよう勧める。	右頬	擦過傷	大芝生広場	お客様	6	女			
2021/2/6	その他	負傷	食べ物の空き袋を持っていたらトンビに引っ掻かれた	右手第1指	擦過傷	子供の広場	お客様	26	男			
2021/3/19	その他	負傷	座ってﾊﾟﾝ食べていた際に、とんびが襲ってきて爪で引掻かれた。出血少量、傷１cm程。本人、破傷風のﾜｸﾁﾝした事あるとの事。特変あれば、病院受診するよう話す。	右第２指	擦過傷	大芝生広場	お客様	29	男			
2021/3/24	その他	負傷	食べ物を持って歩いている時にトンビに襲われ負傷　特変あれば病院受診勧める	左手第１指	切創	大芝生広場	お客様	66	男			

●令和3年　事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2021/4/2	事故	負傷	気が付いたらトゲが刺さっていた。怖さがありじっとしていられず除去不可のため様子みることとなる。自宅にてお風呂あがりなどに除去するが病院へかかることをすすめる。	左手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	3	男			
2021/4/2	事故	負傷	走っていて転倒し負傷。額部腫脹軽度。左ひじ出血少量。	額部	打撲　擦過傷	ワンダーワールド	お客様	2	男			
2021/4/2	事故	負傷	水辺のトリム　ゆらゆらロープ渡りのロープで擦って負傷。消毒もぬり薬もいらないとのこと。流水で洗浄後リバテープ貼用。	右第４指	皮膚剥離	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	13	男			
2021/4/2	事故	負傷	自転車にて他の自転車に接触した際にハンドルにて負傷。傷は浅いが念のため病院受診をすすめる。	陰茎	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2021/4/2	事故	負傷	自転車で転倒し負傷。	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	12	男			
2021/4/3	事故	負傷	遊んでいて膝を擦った。出血少量あり。	右膝	擦過傷	ふわんポリン	お客様	7	男			
2021/4/3	事故	負傷	遊んでいて転倒し負傷	右膝	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	7	女			
2021/4/3	事故	負傷	遊んでいて足を捻った。腫脹なし。疼痛あり。触診では痛がる様子なし。症状続けば病院受信するよう話す。	右足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	6	女			
2021/4/3	事故	負傷	砂場付近を裸足で遊んでいてﾄｹﾞが刺さった。	左足底部	異物刺入	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2021/4/3	事故	負傷	気が付いたら異物が刺入していた。いつはいったのかわからないとのこと	左手第２指	異物刺入	不明	お客様	8	男			
2021/4/3	事故	負傷	転倒し負傷	右膝	擦過傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	10	男			
2021/4/3	事故	負傷	遊んでいたら異物刺入した	右足底	異物刺入	ワンダーワールド	お客様	7	女			
2021/4/3	事故	負傷	歩いていて転倒し負傷			園路	お客様	3	女			
2021/4/5	事故	負傷	自転車でよろめいて壁にあたったとのこと額に発赤・腫脹なし、創傷度軽度擦過傷	左手第２指	擦過傷　打撲	サイクリングコース	お客様	6	男			
2021/4/6	事故	負傷	ブランコから落ちて負傷。出血少量あり。	右膝	擦過傷	子供の広場	お客様	10	男			
2021/4/6	事故	負傷	滑り台下の砂場で遊んでいてトゲが刺さった。	左手掌	異物刺入	ワンダーワールド	お客様	5	女			
2021/4/7	事故	負傷	自転車に乗っている際に母親の自転車に接触し転倒	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	6	男			
2021/4/10	事故	負傷	気が付いたら異物刺入していた	右手掌	異物刺入	不明	お客様	8	女			
2021/4/10	事故	負傷	爪と皮膚の間に切創？剥離？様の傷あり	左足第1指	爪剥離	ふわんポリン	お客様	4	女			
2021/4/10	事故	負傷	砂場で遊んでいて負傷	左手第２指	切創	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2021/4/10	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の遊具より転落し負傷　病院受診となる	額部	打撲　擦過傷	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	4	男			
2021/4/11	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて負傷　車いすにて引き続き園内を散策するとのこと	右足部	捻挫	ふわんポリン	お客様	8	男			
2021/4/11	事故	負傷	遊んでいて負傷	左足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	11	女			
2021/4/11	事故	負傷	自転車で転倒　一人で来園していたため保護者に連絡し保護者が迎えにきて一緒に帰宅となる	左手掌	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	男			
2021/4/11	事故	負傷	自転車を漕いでいる際にペダルを踏み外してペダルと接触し負傷	左踝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2021/4/18	事故	負傷	ウッドデッキでﾄｹﾞが刺さった。	右足底部	異物刺入	ワンダーワールド（たこのあし前木道	お客様	8	女			
2021/4/18	事故	負傷	飛んでいて足を捻った。疼痛あり、腫脹なし。歩行可能。	左足背	捻挫	ふわんポリン	お客様	7	女			
2021/4/18	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に運転を誤り転倒し負傷。出血少量あり。	下顎部	擦過傷	サイクリングコース	お客様	5	女			
2021/4/18	事故	負傷	歩いていて段差で転倒し負傷。疼痛あり。腫脹なし。	左前腕	捻挫	ワンダーワールド	お客様	12	女			
2021/4/18	事故	負傷	子供を追いかけていて、滑り台で額を打った。出血多めだったとの事も、来室時は止血済。和白病院受診するとの事なのでｶﾞｰｾﾞ保護のみ行う。意識明瞭、歩行可能。	額部	切傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	31	男			
2021/4/21	事故	負傷	祖父の運転する自転車が走行中に運転を誤り転倒。前かごに乗っていたためそのまま自転車と一緒に倒れ負傷。ヘルメット無し。創傷状態から縫合が必要と考えられるため和白病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	額部	切創	サイクリングコース	お客様	3	女			
2021/4/21	事故	負傷	自転車が転倒するのを見た際に慌ててしまい転倒（額損傷の娘さんの母親）	右肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	32	女			
2021/4/23	事故	負傷	福岡女学院の遠足中。友達と追いかけっこをしていてぶつかり負傷。鼻出血多量との事も、来室時は止血済。腫脹軽度あり、内出血あり。念の為、病院受診をすすめる。	鼻	打撲　鼻出血	大芝生広場	お客様	10	女			
2021/4/23	事故	負傷	滑り台と丸太の遊具で遊戯中に背面から転落1m50cm。後頭部腫脹強め。出血なし。意識明瞭も、直後は息ができない様子だったとの事。母と話し、救急搬送となる。	後頭部～背部	打撲	子供の広場	お客様	5	男			
2021/4/24	事故	負傷	自転車操作を誤り転倒し負傷	右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	女			
2021/4/24	事故	負傷	遊んでいて自然に鼻出血あり。気分不良なし。数分で止血。	鼻	鼻出血	子供の広場	お客様	5	女			
2021/4/24	事故	負傷	ｻﾞｲﾙｸﾗｲﾑで裸足で遊んでいて負傷。出血少量。	左足底	皮膚剥離	子供の広場	お客様	5	男			
2021/4/24	事故	負傷	自転車のペダルにあたり負傷	右足首		サイクリングコース	お客様	5	男			
2021/4/24	事故	負傷	自転車の前乗せに一人で座っていて、自転車が倒れ横の自転車の本体部で右耳辺りを打った。擦過傷は極軽度も耳の後方部の腫脹、発赤あり。母と話し、帰りに病院受診する事となる。	右耳～後方	打撲　擦過傷	駐輪場	お客様	2	女			
2021/4/24	事故	負傷	自転車の前乗せに一人で座っていて、自転車が倒れアスファルトで前頭部を打った。額部の出血多かったとの事も、来室時は止血済。腫脹強め。両親と話し、帰りに病院受診する事となる。	額部	打撲　切傷	西ｻｲｸﾘﾝｸﾞﾛ	お客様	5	男			
2021/4/25	事故	負傷	うんていにて豆がつぶれて負傷　まだ遊ぶとのことで包帯保護	両手掌	皮膚剥離	子供の広場	お客様	7	男			
2021/4/25	事故	負傷	フワンポリンで飛んでいて負傷	左足部	捻挫	ふわんポリン	お客様	8	男			
2021/4/25	事故	負傷	自転車練習場の坂道を降りる際に転倒し負傷前歯が少しぐらついているような気がするとのことで歯科受診となる	顎、右鼻下、	擦過傷	サイクリングコース	お客様	3	男			
2021/4/25	事故	負傷	走っていて転倒し負傷	左手掌	擦過傷	園路	お客様	11	女			
2021/4/29	事故	負傷	気が付いたら異物刺入していた	右手第４指	異物刺入	ワンダーワールド	お客様	36	女			
2021/5/1	事故	負傷	持ち込み自転車にて転倒し負傷。	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2021/5/1	事故	負傷	階段にて転倒し負傷。	左膝	擦過傷	園路	お客様	2	男			
2021/5/1	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	10	女			
2021/5/3	事故	負傷	遊んでいて負傷	左足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	11	女			
2021/5/3	事故	負傷	自転車でぬかるみにはまり転倒し負傷	左肘・左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2021/5/3	事故	負傷	野球をしていた際に負傷	右足首	捻挫	大芝生広場	お客様	33	男			
2021/5/3	事故	負傷	持参したﾎﾞｰﾙで遊んでいて負傷。	右第３指	突き指	子供の広場	お客様	9	女			
2021/5/3	事故	負傷	動物の森で歩いていて自然に鼻出血あり。しばらく圧迫するも止まらなかったとの事。来室後は５分ほどの圧迫で止血す。気分不良なし。	鼻	鼻出血	動物の森	お客様	9	女			
2021/5/4	事故	負傷	柵を飛び越えようとして引っ掛かり転倒し負傷	左足首	捻挫	名車館	お客様	28	男			
2021/5/4	事故	負傷	ふわんぽりんで他の子の頭がぶつかり鼻血	鼻	出血	ふわんポリン	お客様	9	男			
2021/5/4	事故	負傷	スカイドルフィンの滑り台で下に滑り降りた際に負傷。	左膝	擦過傷	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	24	女			
2021/5/4	事故	負傷	スカイドルフィンの鉄の棒で遊んでいた際に陰部を強く打った。排尿スムーズにでき血尿もなし。異常があれば病院受診することをすすめた。	陰嚢	擦過傷	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	11	男			
2021/5/4	事故	負傷	ブランコで止まる際に膝をすった。	両膝	擦過傷	子供の広場	お客様	6	女			
2021/5/4	事故	負傷	スカイドルフィンの滑り台より降りる際に顔から下りて負傷。鼻頭より出血少量。額部・左頬はクーリング。	鼻	擦過傷・打撲	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	2	男			
2021/5/4	事故	負傷	自転車を靴下で乗っていて足を地面についた際に異物刺入	右足第1指	異物刺入	サイクリングコース	お客様	8	男			
2021/5/4	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞコースにて前乗せ自転車にて止まる際に左側に転倒。額部ガーゼ保護・クーリング。左膝・左手背はリバテープ貼付。子供はヘルメット着用にて怪我なし。もともと和白病院脳外科受診中のため和白病院へ受診するとのこと。利用サービスにて海中口まで移送。	左額部	擦過傷　打撲	サイクリングコース	お客様	38	女			
2021/5/5	事故	負傷	噴水で遊んでいて負傷。詳細不明。出血少量あり。	左足底	切傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2021/5/8	事故	負傷	走っていて転倒し負傷。	左手背	擦過傷	バラ園	お客様	2	男			

2021/5/8	事故	負傷	マウンテンパークで遊んでいて、気が付いたら負傷していた。	左足第１趾	擦過傷	子供の広場	お客様	6	男			
2021/5/8	事故	負傷	アスファルトを走っていて転倒し負傷。	両膝	擦過傷	園路	お客様	3	女			
2021/5/8	事故	負傷	ウッドデッキを触ってたら気が付いたら刺さっていたとのこと	右手掌	異物刺入	潮見台	お客様	6	男			
2021/5/10	事故	負傷	バラのトゲで切ったとのこと	左手第２指	切創	バラ園	お客様	3	男			
2021/6/24	事故	負傷	バラのトゲが刺さった	右手第２指	異物刺入	バラ園	お客様	73	男			
2021/6/26	事故	負傷	プールサイドで負傷	右足底部	異物刺入	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	3	男			
2021/7/1	事故	負傷	ボランティアをしていたところ蜂2匹に４か所刺される。右手背１か所、左手背２か所、左頚部１か所□ 発赤・腫脹あり。ポイズンリムーバー使用　発赤広がり体の掻痒感出現のため皮膚科受診となる	右手背、左手背、頚部	虫ささされ	花桟敷	お客様	73	男			
2021/7/11	事故	負傷	滑り台を立って降りていた際に滑って後頭部より転倒し打撲（目撃者談）本人記憶の部分欠落有、歩行もふらつき有るため救急車要請し和白病院に搬送となる	後頭部	打撲	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	10	男			
2021/7/20	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に父の自転車とぶつかり転倒し負傷。やや広範囲も出血は少量。初めて自転車に乗ったとの事。	両膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	11	女			
2021/7/22	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	両膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	7	男			
2021/7/23	事故	負傷	自転車に乗ろうとして転倒し負傷。アスファルトで切った。止血しているも傷やや深め。流水で洗浄し処置。	右膝	切傷	サイクリングコース	お客様	11	男			
2021/7/23	事故	負傷	とりでの階段７～８段転落し負傷。両親見ていなかったとの事で、頭部以外の負傷箇所不明。頭部腫脹あり、出血少量。直後は意識あり。救護室では眠たいのか意識朦朧としているのか、声かけに対する反応薄い。両親と話し救急搬送となる。	左側頭部	打撲	子どものとりで	お客様	4	男			
2021/7/23	事故	負傷	管理棟前ベンチでムカデに刺された。疼痛強い。お湯洗浄し、処置。皮膚科受診を勧める。	左第３指	虫ささされ	子供の広場	お客様	52	男			
2021/7/25	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池で遊んでいる際にカエルの置物に腕をぶつけて脱臼。糸島市の病院受診となる。利用サービスが駐車場まで送迎する	左肘	脱臼	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	4	女			
2021/7/27	事故	負傷	両踵部に靴擦れにて表皮剥離あり。	両踵部	皮膚剥離	子供の広場	お客様	6	男			
2021/7/31	事故	負傷	じゃぶじゃぶ池の真ん中の水がでている場所で滑って転倒し負傷。創傷深く縫合が必要と考えられるため、和白病院受診となる。利用サービスが駐車場まで送迎する	額部	切傷	子供の広場（じゃぶじゃぶ池）	お客様	2	男			
2021/7/31	事故	負傷	遊べる噴水にて裸足で遊んでいた際に負傷	左足第2指	切傷	ワンダーワールド	お客様	6	女			
2021/10/2	事故	負傷	滑り台を滑った際に疼痛があり　発赤（＋）熱傷様の皮膚の状態のため、水泡ができたり疼痛が増した際は病院受診を勧める	右大腿	熱傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	5	女			
2021/10/3	事故	負傷	シャトルレストランの椅子より転落し負傷腫脹（＋）　特変あれば病院受診勧める	額部	擦過傷	シャトルレストラン	お客様	1	男			
2021/10/3	事故	負傷	転倒し負傷　額部の創傷がやや深く、明日病院受診となる	額部	擦過傷	園路	お客様	1	男			
2021/10/3	事故	負傷	ふわんぽりんで他人とぶつかり負傷	鼻	鼻血	ふわんポリン	お客様	6	男			
2021/10/3	事故	負傷	段差で転倒し負傷　腫脹（＋）	額部	打撲	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2021/10/3	事故	負傷	サイクリング中に自然に鼻出血	鼻	鼻血	サイクリングコース	お客様	8	女			
2021/10/3	事故	負傷	歩いていて転倒し負傷	両膝	擦過傷	園路	お客様	3	男			
2021/10/4	事故	負傷	電動車椅子でカーブを曲がる際に車椅子ごと転倒し負傷　可動に問題はないものの特変あれば病院受診勧める	左肘	擦過傷	花桟敷	お客様	86	男			
2021/10/7	事故	負傷	持ち込み自転車で走行中に、持ち物の紐？が車輪に絡まり転倒し負傷	右肘・右膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	14	男			
2021/10/9	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に運転を誤り負傷.額～左頬、腫脹軽度、発赤あり。症状悪化する時は病院受診するよう勧める。	顔面	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2021/10/9	事故	負傷	すべり台近くの木の柵にてトゲがささる。		異物刺入	子供の広場	お客様	7	女			
2021/10/9	事故	負傷	ベンチより立ち上がる時にトゲが刺さり、保護者が抜去。痛みあるため消毒希望される。	右膝	異物刺入	子供の広場	お客様	10	男			
2021/10/9	事故	負傷	自転車で走行中転倒しハンドルで腹部打撲。うずくまり嘔吐したとのこと。腹痛持続するため和白病院受診となった。	腹部	打撲	サイクリングコース	お客様	10	男			
2021/10/9	事故	負傷	立ち上がり時に左膝にとげが刺さり保護者にて抜去。痛みあるため消毒希望される。	左膝□	異物刺入	子供の広場	お客様	10	男			
2021/10/9	事故	負傷	滑り台近くの木のさくでとげが刺さり除去。	右第2指	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	7	女			
2021/10/9	事故	負傷	サイクリング中に運転を誤り負傷。出血少量。	顔面	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	女			
2021/10/9	事故	負傷	フワンポリンの柵で左眼の上を負傷。救護室に来た時には止血すみ。悪化するようだったら受診をするように伝えた。	額部	切傷	子供の広場	お客様	4	男			
2021/10/10	事故	負傷	走っていて転倒し負傷	右膝	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	10	男			
2021/10/10	事故	負傷	光風のｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽの下り坂道で勢いあまって転倒し負傷。右頬～腫脹軽度、紫斑あり。下唇腫脹、擦過傷あり。念のため、外科受診を勧める。	右頬～下唇	打撲　擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2021/10/10	事故	負傷	噴水で遊んでいて転倒し負傷	左足第１指	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2021/10/10	事故	負傷	遊んでいるときに虫に刺された　疼痛（＋）発赤軽度　腫脹（－）　特変あれば病院受診勧める	右前腕	虫ささされ	ふわんポリン	お客様	10	男			
2021/10/11	事故	負傷	遊べる噴水でスズメバチに刺された。ポイズンリムーバー使用後に流水で絞り出し、消毒クーリングを行う。全身状態は良好。患部痛、発赤、腫脹あり。病院受診を勧めた。	右第2指	蜂刺され□	遊べる噴水	お客様	7	男			
2021/10/12	事故	負傷	動物の森にて歩いていて転倒し負傷。縫合が必要と思われるため病院受診となる。　動物の森の飼育員が駅まで送迎する	下顎部	切傷	動物の森	お客様	8	男			
2021/10/17	事故	負傷	マウンテンパークの黄色の山を裸足で遊んでいて負傷　爪の剥離部分を母親が切除し、消毒、テープ保護	右足第3指	爪剥離	子供の広場	お客様	7	男			
2021/10/23	事故	負傷	気が付いたら異物刺入していたとのこと	右手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	3	女			
2021/10/24	事故	負傷	ホッピングをしていて転倒し負傷	両肘	擦過傷	園路	お客様	9	女			
2021/10/24	事故	負傷	水に転落した際に負傷	両膝	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	6	男			
2021/10/24	事故	負傷	園路を歩いていた際に転倒し負傷。目が近いため特変あれば病院受診勧める	左頬	擦過傷	園路	お客様	4	女			
2021/10/28	事故	負傷	歩いていたら靴擦れした	右踵	靴擦れ	子供の広場	お客様	4	女			
2021/10/29	事故	負傷	サイクリング中に転倒して負傷。擦過傷、打撲あるが手持ちのリバテープ貼付済。移動困難あったため車で移送する。	左下肢	擦過傷　打撲	サイクリングコース	お客様	13	男			
2021/10/30	事故	負傷	自転車でスピードをだしすぎて転倒し負傷頭部は創傷も腫脹もなし、特変あれば病院受診勧める	右膝、右肘	擦過傷	サイクリングコース	お客様	9	男			
2021/10/31	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて負傷	左足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	11	男			
2021/10/31	事故	負傷	電動キックボード二台で重なりあって転倒し負傷	左足首	捻挫	サイクリングコース	お客様	13	男			
2021/10/31	事故	負傷	遊んでいて気づいたらトゲが刺さっていた。	右手掌	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	2	女			
2021/10/31	事故	負傷	芝生で側転をしていたらトゲが刺さった。	右手掌	異物刺入	大芝生広場	お客様	5	女			
2021/10/31	事故	負傷	ふわんぽりんで他の子の頭がぶつかり鼻血	鼻	出血	ふわんポリン	お客様	6	男			
2021/10/31	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に友達とぶつかりそうになり転倒し負傷。出血少量。	両手掌	擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2021/11/1	事故	負傷	ツボ押し遊具で走っている際に転倒し負傷腫脹あるため病院受診勧める　遠足のため学校のバスにて帰宅となる	額部	打撲	ワンダーワールド	お客様	7	男			
2021/11/7	事故	負傷	自転車で転倒し負傷　利用サービスが現地まで向かい救護室まで搬送	左肘		サイクリングコース	お客様	9	男			
2021/11/7	事故	負傷	芝生の上を歩いていた際に凹みに足を取られて転倒し負傷　腫脹あり　病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	左足背部	捻挫	ワンダーワールド	お客様	65	女			
2021/11/7	事故	負傷	車から降りたところ、すぐに別の子が乗車し、ひかれて負傷とのこと　歩行問題なし	右足踝	擦過傷	F1カー	お客様	6	男			
2021/11/11	事故	負傷	歩いているときに負傷	右足背	捻挫	園路	お客様	24	女			
2021/11/13	事故	負傷	ベビーカーが転倒し顔面、側頭部打撲。内出血軽度あり。意識はっきりしており、受け答えも可。笑顔あり。冷罨法で様子見ることとなる。容態悪化の場合は受診するように勧めた。	右頬部	打撲	園路	お客様	2	男			
2021/11/14	事故	負傷	遊んでいて転倒し負傷　クーリングのち冷えピタ貼用	額部	打撲	子供の広場	お客様	1	男			
2021/11/14	事故	負傷	遊んでいて気が付いたら異物刺入していた	右手第３指	異物刺入	子供の広場	お客様	3	男			

2021/11/27	事故	負傷	すべり台で滑っている際に後ろから滑っていた母親が「勢いよくぶつかり、足を捻った状態で滑り続けたとのこと。ずっと啼泣しているため立位や関節可動の判断困難なため、落ち着いてからの状態で異常があれば病院受診勧める	右下腿	捻挫	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	2	女			
2021/11/27	事故	負傷	転倒し負傷	右手掌	擦過傷	海中口	お客様	6	女			
2021/11/28	事故	負傷	自転車で孫を避けようとして転倒しアスファルトで打撲。後頭部腫脹、内出血半、疼痛ありにてクーリング、腰部発赤等ないも疼痛あるため湿布貼用。高齢でもあり不安とのことで家族希望にて救急車を呼び和白病院に搬送となる	後頭部	打撲	サイクリングコース	お客様	69	女			
2021/11/28	事故	負傷	ふわんぽりんを飛んでいて着地の際に負傷。腫脹強く、内出血もあり骨折の疑いにて病院受診となる。利用サービスが駐車場まで送迎する	右足第１指	出血　骨折疑い	ふわんポリン	お客様	11	男			
2021/11/28	事故	負傷	自転車で転倒し負傷	右踝部	擦過傷	サイクリングコース	お客様	8	男			
2021/11/28	事故	負傷	雲梯から落下して負傷。歯のぐらつきもなく圧迫止血にて止血済。心配なら病院受診勧める	口唇	切傷	子供の広場	お客様	5	女			
2021/12/4	事故	負傷	フラミンゴを見ていた際に首に痛みがあり手で触った際に虫がいて、手も刺された？噛まれたとのこと。腫脹なし。特変あれば病院受診勧める	右頚部	虫ざされ	動物の森	お客様	8	女			
2021/12/5	事故	負傷	木を触ったら刺さっていた。3か所	右手掌	異物刺入	ルイガンス付近	お客様	2	男			
2021/12/5	事故	負傷	木を触ったら刺さった。１か所	右手掌	異物刺入	ルイガンス付近	お客様	8	男			
2021/12/12	事故	負傷	ベンチより転落して負傷　腫脹（＋）特変あれば病院受診勧める。利用サービスが駐車場まで送迎する	額部	打撲	子供の広場	お客様	2	女			
2021/12/25	事故	負傷	歩いていて転倒し負傷	左膝	擦過傷	園路	お客様	4	女			
2021/12/30	事故	負傷	子どもを抱っこしている状態で転倒し負傷痛み強く病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	両指手背口	擦過傷　捻挫	動物の森	お客様	27	男			
2022/1/3	事故	負傷	スカイドルフィンのネットで擦って負傷。眉間、鼻に擦過傷あり。時間が経っているため止血済。希望で消毒、軟膏塗布。	顔面	擦過傷	大芝生広場（スカイドルフィン）	お客様	12	女			
2022/1/4	事故	負傷	滑り台で着地時に転倒し負傷	右鼻翼	擦過傷	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	2	男			
2022/1/8	事故	負傷	自転車の前かごに乗っている際に自転車が倒れ顔面打撲。腫脹、疼痛あるため病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	鼻	打撲	サイクリングコース	お客様	4	女			
2022/1/9	事故	負傷	自転車の子ども乗せに一人で乗車中に転倒し頭部打撲。額に擦過傷,皮下腫脹あり。擦過傷からの出血は無し。意識清明、受け答えも可。保護者希望で患部消毒、クーリング実施。頭部打撲しているため2，3日様子を見るように伝えた。		打撲	サイクリングコース	お客様	3	男			
2022/1/22	事故	負傷	自転車で転びそうになって柵をつかんだ時に異物刺入	右手掌	異物刺入　3か所	潮見台	お客様	8	女			
2022/2/9	事故	負傷	動物の森の子どもが入れる檻のようなものに入ろうとして、額がぶつかった後に後ろに転倒　額部軽度発赤、後頭部腫脹あり。特変あれば病院受診勧める。利用サービスがゲートまで送迎する	額部	打撲	動物の森	お客様	4	男			
2022/2/12	事故	負傷	気が付いたら右第４指にトゲが刺さっていたとのこと。希望にて異物抜去しマキロンで消毒、リバテープ貼付する。		異物刺入	不明	お客様	2	女			
2022/2/12	事故	負傷	遊んでいてトゲが刺さったとのこと。希望にて、異物除去消毒しリバテープ貼付。	左第1指	異物刺入	子供の広場	お客様	10	男			
2022/2/12	事故	負傷	遊んでいてトゲが刺さったとのこと。希望にて異物除去、消毒リバテープ貼付。	右手掌	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	4	男			
2022/2/12	事故	負傷	遊んでいてトゲが刺さったとのこと。希望にて異物除去、消毒リバテープ貼付。	左手掌	異物刺入	動物の森近く	お客様	5	女			
2022/2/12	事故	負傷	サイクリング中に転倒し頭部、顔面打撲。顔面の擦過傷は止血済。頭部は皮下腫脹見られず。気分不良、ふらつきなど無し。病院受診されるとのことで、利用サービスにて駐車場まで送迎。	顔面	擦過傷　頭部打撲	サイクリングコース	お客様	7	男			
2022/2/27	事故	負傷	手すりを触った際に刺入（３か所）	左手第５指	異物刺入	シオヤ	お客様	4	男			
2022/2/27	事故	負傷	滑り台を滑っていたら気が付いたら異物刺入していたとのこと	右手第３指	異物刺入	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	9	女			
2022/3/5	事故	負傷	歩いていて転倒し負傷。出血少量。	右第5指	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	3	男			
2022/3/5	事故	負傷	転倒し負傷　腫脹あり　特変あれば病院受診勧める	額部	打撲	西口	お客様	2	女			
2022/3/6	事故	負傷	ふわんポリンで遊んでいて負傷。左足首腫脹あり。希望にて湿布貼用、保護者希望にて包帯固定。	左足首	捻挫	ふわんポリン	お客様	12	男			
2022/3/6	事故	負傷	遊んでいてﾄｹﾞが刺さったとのこと。保護者にて異物除去	右第四指	異物刺入	ワンダーワールド	お客様	12	女			
2022/3/6	事故	負傷	遊んでいて気が付いたらﾄｹﾞが刺さっていたとのこと。希望にて異物抜去。	左手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	7	男			
2022/3/7	事故	負傷	タンデムの前に乗っている際に後ろの人がバランスを崩し転倒し負傷。歯牙破折部の疼痛強く神経露出疑いあり（浮動無し）。また転倒時顎に衝撃を受け「目の前が真っ暗になってフラフラした」と述べ頭痛も継続しており付き添いの友人（同居人）希望にて救急車で輝栄会病院に搬送となる	左中切歯	歯牙破折・擦過傷・打撲	サイクリングコース	お客様	20	女			
2022/3/12	事故	負傷	自転車走行中に人と接触しそうになり、顔面から地面に落下した。眉間、鼻下に擦過傷あり。出血少量あり。口唇腫脹あり。歯のぐらつきはないが、歯根部が内出血している。口傷洗浄しマキロン消毒する。念のため病院受診勧める。	顔面	擦過傷	サイクリングコース	お客様	4	男			
2022/3/13	事故	負傷	11歳の兄が運転する後ろ乗せ自転車の後部座席に乗っていた際にバランスを崩し転倒し負傷。直後より眠気あり病院受診勧めるも家族希望で安静となる。安静中に嘔吐2回あり救急車にて和白病院に搬送となる	額部	打撲	サイクリングコース	お客様	5	女			
2022/3/13	事故	負傷	森のﾄﾘﾑの崖の所で遊んでいて転倒し岩で額部を打つ。腫脹あり。出血なし、気分不良なし。救護室にてしばらく冷やし、冷えピタ貼付し退出される。	額部	打撲	子供の広場	お客様	7	女			
2022/3/13	事故	負傷	歩いていて転倒した時にトゲが刺さった。	左手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	3	女			
2022/3/13	事故	負傷	ゴーカートの扉を閉める際に指を挟んで負傷。関節稼働異常なし。特変あれば病院受診勧める	右手第４指	切創	ワンダーワールド	お客様	10	男			
2022/3/13	事故	負傷	ふわんぽりんで遊んでいて、足を捻って負傷。	左踝部	捻挫	ふわんポリン	お客様	6	女			
2022/3/16	事故	負傷	自転車から降りる際に転倒し負傷	左膝	擦過傷	サイクリングコース	お客様	26	女			
2022/3/21	事故	負傷	飛んでいて他の子の頭が鼻にぶつかり鼻出血。圧迫し止血。気分不良なし。	鼻	鼻出血	ふわんポリン	お客様	6	女			
2022/3/21	事故	負傷	階段で転倒し両膝、顔面、右手のひらを負傷。擦過傷あり。両膝のみ出血あり。両膝、右手のひらは消毒、軟膏塗布、リバテープ貼付。顔面は流水で洗浄する。	両膝　顔面	擦過傷	ワンダーワールドロ	お客様	7	女			
2022/3/22	事故	負傷	走っていて転倒した際にベンチの端で強打。腫脹、右目充血あり。病院受診となり利用サービスが駐車場まで送迎する	右目・右頬部	打撲・擦過傷	子供の広場	お客様	3	男			
2022/3/22	事故	負傷	ネットを渡る際に足が下に抜けて地面と接触し負傷	右足首	捻挫	子供の広場（ローラー滑り台）	お客様	5	女			
2022/3/24	事故	負傷	元々あったかさぶたがとれて出血	左膝	出血	その他	お客様	7	男			
2022/3/24	事故	負傷	片足で飛んでいた際に転倒し捻挫	左膝	捻挫	ふわんポリン	お客様	12	男			
2022/3/25	事故	負傷	ｻｲｸﾘﾝｸﾞ中に運転を誤り転倒し負傷。出血極少量。左手首疼痛あり、腫脹なし、湿布貼付し様子みる。	右肘　右膝口	擦過傷　打撲	サイクリングコース	お客様	10	男			
2022/3/27	事故	負傷	転倒し負傷	右肘	擦過傷	ワンダーワールド	お客様	4	女			
2022/3/28	事故	負傷	木を触った際にトゲが刺さった	右手第2指	異物刺入	カモ池	お客様	15	女			
2022/3/28	事故	負傷	ベンチを触ったら異物刺入した	右手掌	異物刺入	子供の広場	お客様	42	男			
2022/3/28	事故	負傷	ふわんぽりんを飛んでいて着地の際に負傷疼痛強く歩行の際も足を地面につけれず。友達同士できていたため保護者がいないが本人が連絡は絶対にしたくないとの事。友人と一緒に電車で帰宅となり利用サービスが駐車場まで送迎する（帰宅後に保護者に話し病院に行く事となる）	右足踝	捻挫	ふわんポリン	お客様	12	男			
2022/3/29	事故	負傷	着地した時に捻って負傷。腫脹あり。疼痛強い。保護者と話し、帰宅時に病院受診する事となる。	右足底部	捻挫	ふわんポリン	お客様	9	男			
2022/3/29	事故	負傷	着地時に捻って負傷。腫脹軽度あり。症状強くなれば病院受診するよう話す。	左足底部	捻挫	ふわんポリン	お客様	12	男			

2022/3/29	事故	負傷	遊んでいて手をついた時に捻って負傷。腫脹軽度あり。疼痛あり。可動OK。症状強くなるなら病院受診するよう話す。	右肘	捻挫	ふわんポリン	お客様	7	男			
2022/3/30	事故	負傷	キネ渡りをしている際に足を滑らせて負傷	右大腿	擦過傷	子供の広場（水辺のトリム）	お客様	5	男			

●令和3年　事件

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2021/5/8	事件	負傷	ネモフィラ畑にて他のお客さんの犬に噛まれた。約2×1センチの表皮剥離・出血あり。流水洗浄後処置する。犬の狂犬病接種は不明。実家が東区とのことで病院受診することをすすめた。	左手掌	皮膚剥離	大芝生広場	お客様	37	男			

●令和3年　急性症状

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2021/5/1	急性症状	発症	歩いているときに気分不快あり　ベッドにて安静にしてもらい利用サービスが駅まで送迎とする		吐き気	大芝生広場	お客様	20	女			
2021/5/3	急性症状	発症	ふわんぽりんで走っていた際に発作、喘鳴（＋）、チアノーゼ（-）、四肢抹消血色良好、呼吸22回/分、脈拍126回/分、呼吸困難継続するようなら救急病院受診勧める		喘息発作	ふわんポリン	お客様	8	女			
2021/7/18	急性症状	発症	セグウェイツアー中に急にめまい、嘔気、ふらつきあり利用サービスが医務室に搬送。KT37.7　BP112/70　P93　水分補給不可　ふらつき強く救急車にて和白病院受診となる		熱中症	動物の森	お客様	34	女			
2021/7/24	急性症状	発症	サイクリングコースを自転車で走行中に気分不良あり。利用サービスが救護室まで搬送。KT36.7　吐き気、ふらつきあり30分程寝て、利用サービスが駐車場まで送迎する		熱中症	サイクリングコース	お客様	7	女			
2021/7/25	急性症状	発症	動物の森から自転車で出発しようとした際に嘔吐４回、救護室にてKT37.1　クーリングしてベッド上安静にて経過観察。１時間ほど休養し軽快したため園内に戻る。KT36.7		熱中症	動物の森	お客様	7	女			
2021/8/1	急性症状	発症	動物の森を見ている際に胃部不快感、脱力感があり利用サービスが救護室まで搬送。到着時KT35.7、気分不快軽減、クーリングを行い15分ほど休養し、利用サービスが西サロまで送迎する		熱中症	動物の森	お客様	39	女			
2021/10/17	急性症状	発症	父親より元気がないと言われ体温測定すると39.5度。受け答えは少しできるもののボーッとしている。病院受診を勧める		発熱	子供の広場	お客様	3	女			
2021/10/17	急性症状	発症	食後ふわんぽりんで遊んだ後に吐き気KT36.8　気分不快継続のため利用サービスが駐車場まで送迎となる		気分不快	ふわんポリン	お客様	11	男			
2021/10/23	急性症状	発症	腹痛の訴えあり　腸蠕動音亢進　腹満（－）朝泥状便でたとのこと　安静にし腹痛おさまったため帰宅となる	腹部	腹痛	子供の広場	お客様	7	男			
2021/10/24	急性症状	発症	サイクリング中に腹痛あり。管理棟内で安静中に嘔吐あり。症状軽減したが、希望あり車で駐車場まで移送、帰宅される。		腹痛 嘔吐	子供の広場	お客様	10	女			
2021/10/25	急性症状	発症	動物の森にて上記症状により立ち上がれず搬送　到着時ふらつきあり車椅子を使用BP131/93、P61不整無し、R14回　KT36.3℃。２時間程ベッドにて安静にし、症状軽減。利用サービスが駐車場まで送迎し帰宅となる		めまい、悪心、震え	動物の森	お客様					
2021/11/3	急性症状	発症	昼食後より吐き気あり。トイレで1回嘔吐、医務室にて1回嘔吐　利用サービスが駐車場まで送迎し病院受診となる		吐き気、嘔吐	園内	お客様	36	女			
2022/1/6	急性症状	発症	サイクリング中に嘔吐あり、救護室に移送される。来園時の車中より車酔いあったとのこと。救護室でも数回嘔吐あり。体温35.8度。脈拍108。しばらくベッドで休み、やや気分不良軽減したため保護者と帰宅となった。		嘔吐	サイクリングコース	お客様	11	男			

●令和3年　既往症悪化

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別

●令和3年　車両事故

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度	発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別

●令和3年　その他

発生日時	事故の大分類	事故の種類	件名・被害の程度			発生場所	負傷者の分類	負傷者年齢	負傷者の性別	相手方の分類	相手方の年齢	相手方の性別
2021/4/17	その他	負傷	ベンチでハンバーガーを食べていたところ、トンビにとられて負傷。	上唇	擦過傷	子供の広場	お客様	55	女			
2021/4/18	その他	負傷	食事を食べていたらトンビに襲われた	左手第３指	切創	子供の広場	お客様	31	女			
2021/5/1	その他	負傷	トンビに襲われて負傷　特変あれば病院受診勧める	左頬	擦過傷	大芝生広場	お客様	2	女			
2021/5/4	その他	負傷	芝生で食べていたらトンビに取られて負傷。	右第２指	切傷	西口広場	お客様	20	女			
2022/3/3	その他	負傷	ベビーカーで寝ている際にトンビが襲ってきて負傷（靴下をはいていたが靴下を取ろうとしたのでは？とのこと）特変あれば病院受診勧める	右足足背	切創	子供の広場	お客様	0	女			
2022/3/21	その他	負傷	ｹﾞｰﾄ付近で食べていたお菓子をﾄﾝﾋﾞに取られた時に足先が当たり負傷。出血ほぼなし。症状悪くなれば病院受診するよう話す。	右手掌	切傷	ワンダーワールド	お客様	9	女			

別紙２４

危機管理対応実績（自然災害、火災）

【令和２年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
園路	大雨警報（6/27）	一部冠水	3
彩の池	大雨警報（7/6～8）	増水	1
虹の池	大雨警報（7/6～8）	増水	1
サイクリング道路	大雨警報（7/6～8）	一部冠水	3
カモ池デッキ	大雨警報（7/6～8）	一部冠水	2
森の池エリア	大雨警報（7/6～8）	冠水	1
園路	大雨警報（7/14）	一部冠水	8
サイクリング道路	大雨警報（7/14）	一部冠水	5
動物の森	台風接近（9/3）	倒木	4
動物の森	台風接近（9/3）	電気柵損傷	1
バラ園	台風接近（9/3）	ラティス倒壊	1
園路全般	台風接近（9/3）	枝等の散乱	1
園路	台風接近（9/7）	倒木	4
リゾートエリア	台風接近（9/7）	護岸損傷	1
合　計			36

消防車要請件数　0件、その他　0件

【令和３年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
園路	大雨警報（8/12）	一部冠水	3
カモ池デッキ	大雨警報（8/12）	一部冠水	2
森の池エリア	大雨警報（8/12）	冠水	1
サイクリング道路	大雨警報（9/3）	一部冠水	4
合　計			10

消防車要請件数　0件、その他　0件

別紙２５

危機管理対応実績（野生動物）

【令和2年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
園内全域	カラス・トンビ	利用者への注意喚起サインの設置	1
園内全域	セアカゴケグモ	点検および駆除の実施　11/9～10	1
合計			2

救急車要請件数　0件、その他　0件

【令和3年度】

場所	原因	災害、火災状況	件数
園内全域	カラス・トンビ	利用者への注意喚起サインの設置	1
園内全域	セアカゴケグモ	点検および駆除の実施　11/17～18	1
合　計			2

救急車要請件数　0件、その他　0件

【令和4年度】7月末まで

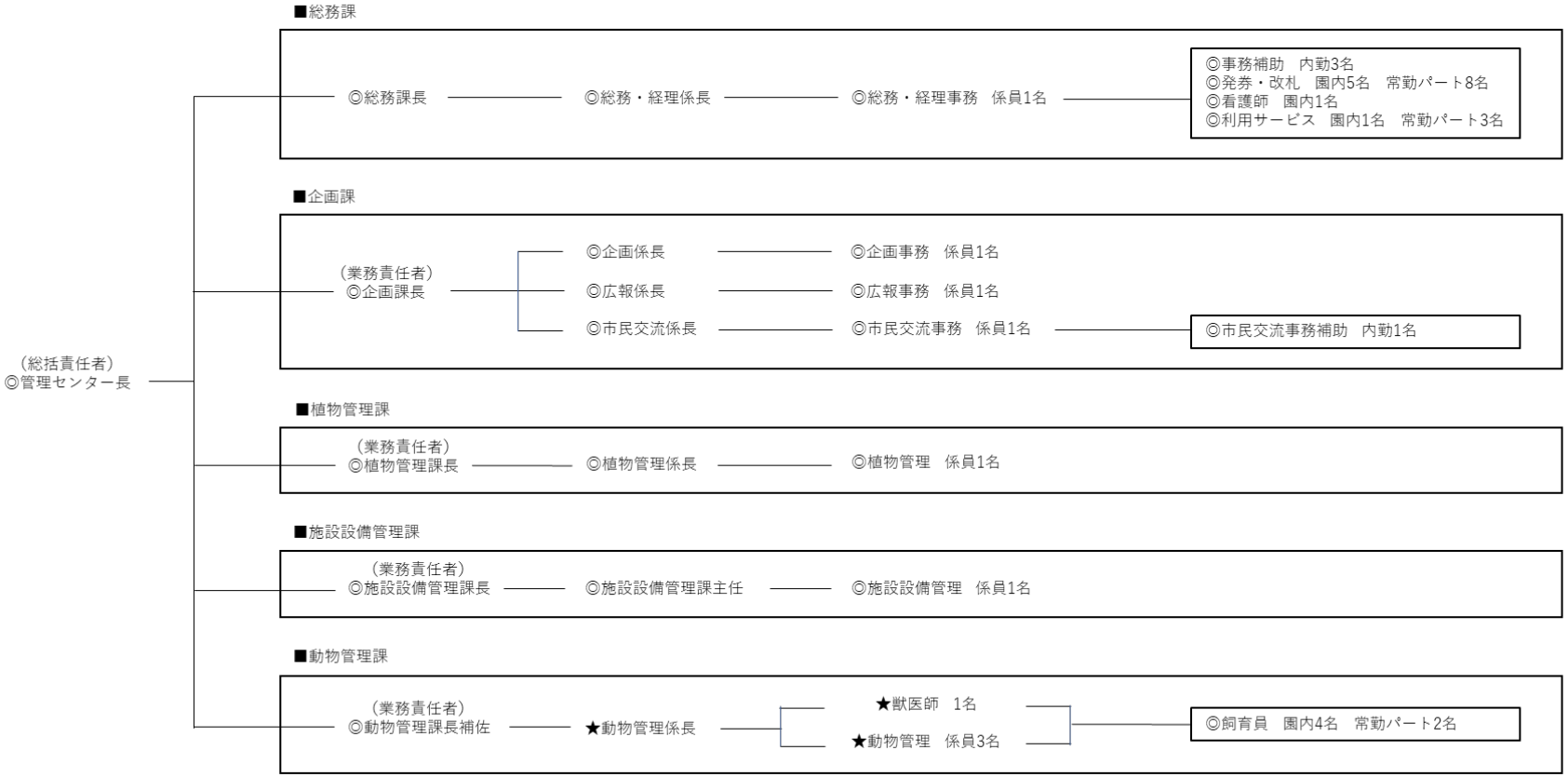
場所	原因	災害、火災状況	件数
園内全域	カラス・トンビ	利用者への注意喚起サインの設置	1
園内北側サイクリングコース	イノシシ	注意喚起サインの設置および忌避剤の散布　6/1・3	1
合　計			2

救急車要請件数　0件、その他　0件

職員・臨時職員・常勤パート等の配置（令和２年度）

運営管理職員	動物管理職員	臨職（内勤）	臨職（園内）	常勤パート
18	5	4	11	13

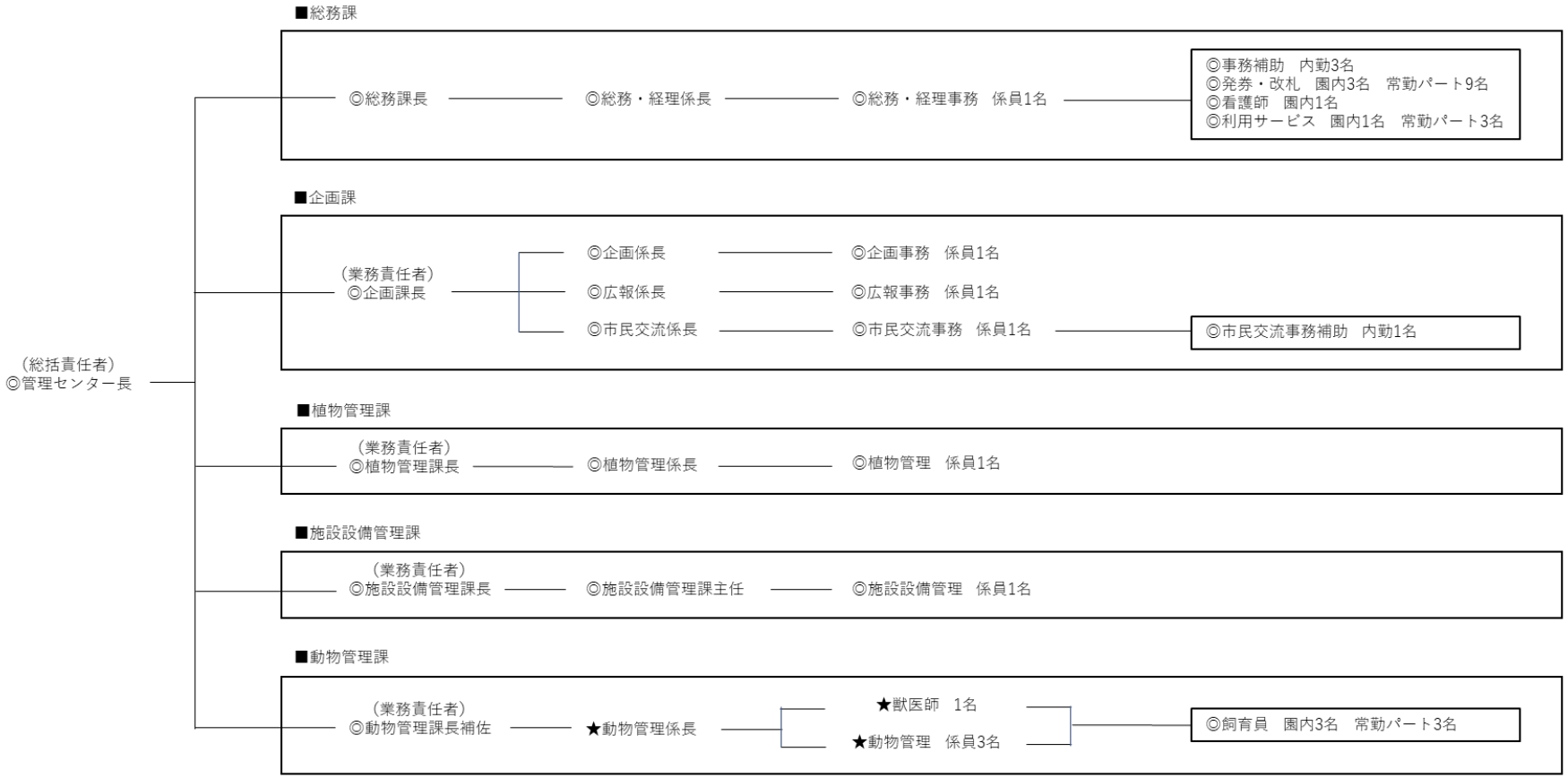
※臨職（内勤）とは管理センター従事者であり、それ以外を園内として整理
※これ以外に期間パート（アルバイト）が存在



職員・臨時職員・常勤パート等の配置（令和３年度）

運営管理職員	動物管理職員	臨職（内勤）	臨職（園内）	常勤パート
18	5	4	8	15

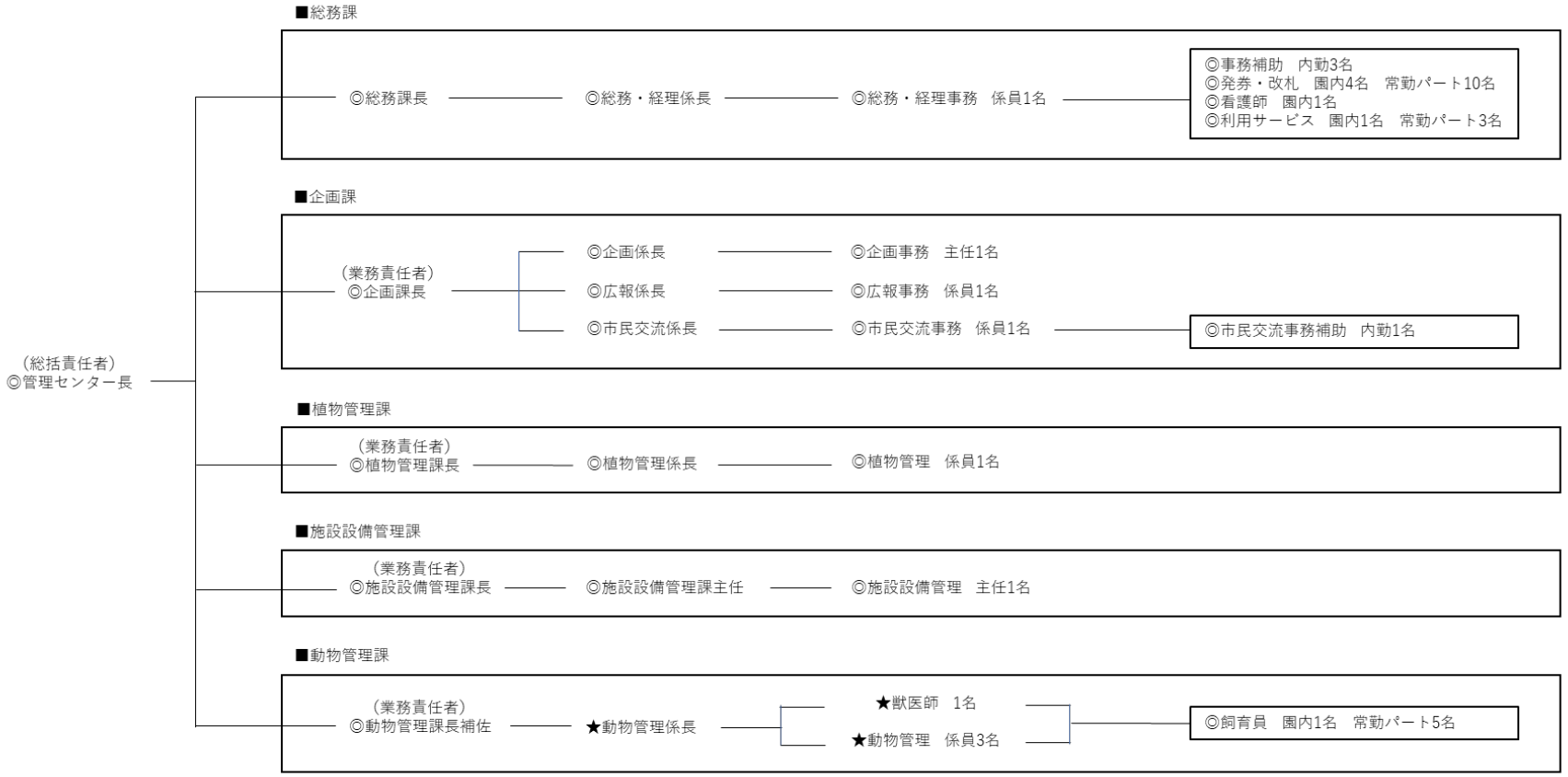
※臨職（内勤）とは管理センター従事者であり、それ以外を園内として整理
※これ以外に期間パート（アルバイト）が存在



職員・臨時職員・常勤パート等の配置（令和４年度）

運営管理職員	動物管理職員	臨職（内勤）	臨職（園内）	常勤パート
18	5	4	7	18

※臨職（内勤）とは管理センター従事者であり、それ以外を園内として整理
※これ以外に期間パート（アルバイト）が存在



別紙２７

総括責任者による外部会議への出席

【令和 2 年度】

センター長の挨拶の実績

	令和 2 年度
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10 月	
11 月	6 日　白砂青松企業ボランティア（開会挨拶） 20 日　リレーマラソン国営海の中道海浜公園大会（開会挨拶）　※コロナのため中止
12 月	
1月	
2月	
3月	19 日　はるかぜマラソン大会（開会挨拶）　※コロナのため中止
合計回数	**3 回**

センター長が参加する会合等

会合名	主催者	
管理運営委員会	国営海の中道海浜公園事務所	1 回/月
魅力度向上委員会	国営海の中道海浜公園事務所	2 回/年
日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック園館長会議	同左	2 回/年
日本動物園水族館協会総会	同左	1 回/年
福岡県観光連盟総会	同左	1 回/年
福岡国際クロスカントリー実行委員会	同左	1 回/年
東福岡沿岸警備協力会総会	同左（福岡県東警察署）	1 回/年

【令和 3 年度】

センター長の挨拶の実績

	令和 3 年度
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10 月	
11 月	未定 リレーマラソン国営海の中道海浜公園大会(開会挨拶) ※コロナのため中止
12 月	
1月	
2月	
3月	18 日 はるかぜマラソン大会(開会挨拶) ※コロナのため中止
合計回数	**2 回**

センター長が参加する会合等

会合名	主催者	
管理運営委員会	国営海の中道海浜公園事務所	1 回/月
魅力度向上委員会	国営海の中道海浜公園事務所	2 回/年
日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック園館長会議	同左	2 回/年
日本動物園水族館協会総会	同左	1 回/年
福岡県観光連盟総会	同左	1 回/年
福岡国際クロスカントリー実行委員会	同左	1 回/年
東福岡沿岸警備協力会総会	同左（福岡県東警察署）	1 回/年

別紙２８

問い合わせメール及びご意見箱　処理件数

【苦情、要望等集計（平成28年度）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	2		2	2	5	3	6	2	2	0	1	3	28
お気づきの点	1	6	2	1	9	12	18	9	2	0	3	11	74
合計	3	6	4	3	14	15	24	11	4	0	4	14	102

【よい点、お気づきの点の内訳】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	公園全般	2		1		2	1	1	1	2		1		11
	行事・広報 指導関係							2						2
	施設関係				1	2	1	2						6
	植物管理関係													0
	特定公園施設 収益関係							1	1				1	3
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係			1	1	1	1						2	6
	計	2	0	2	2	5	3	6	2	2	0	1	3	28
お気づきの点	公園全般					1	1	3	2				2	9
	行事・広報 指導関係					1								1
	施設関係	1	2			3	4	1					1	12
	植物管理関係							6					1	7
	特定公園施設 収益関係					3	1		4	2			4	14
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係		4	2	1	1	6	8	3			3	3	31
	計	1	6	2	1	9	12	18	9	2	0	3	11	74

【投書場所内訳】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西口		2			1	2	7					3	15
西サイクロ		1						2	1		1	1	6
港サイク													0
海中口						1						1	2
ワンダーワールドロ						2		4					6
子供の広場						1	1	1					3
動物の森	1		1		4	1	2		2				11
インフォメーションセンター	1				1							3	5
森の家				2	3	4	10						19
プール（夏期のみ）													0
大芝生売店	1		1		4	1	4	3	1		1	4	20
光と風の広場		1	1			1		1			2	2	8
カモ池口													0
シオヤ													0
ドッグラン		2	1		1	2							6
アニマルショップ				1									1
管理センター													0
計	3	6	4	3	14	15	24	11	4	0	4	14	102

問い合わせメール及びご意見箱　処理件数

【苦情、要望等集計（平成29年度）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	4	4		2			4				2	9	25
お気づきの点	5	2	1	5	1		11	7	2		2	7	43
合計	9	6	1	7	1	0	15	7	2	0	4	16	68

【よい点、お気づきの点の内訳】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
良い点	公園全般	1	3		1								5	10
	行事・広報 指導関係													0
	施設関係	1	1					2				1	1	6
	植物管理関係											1		1
	特定公園施設 収益関係	1						1						2
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	1			1			1					3	6
	計	4	4	0	2	0	0	4	0	0	0	2	9	25
お気づきの点	公園全般				1			1	1					3
	行事・広報 指導関係				1									1
	施設関係				2			3	2				3	10
	植物管理関係													0
	特定公園施設 収益関係	3	1		1			2	3	1		1	1	13
	利用者ｻｰﾋﾞｽ ﾍﾟｯﾄ・ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ関係	2	1	1		1		5	1	1		1	3	16
	計	5	2	1	5	1	0	11	7	2	0	2	7	43

【投書場所内訳】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西口	2			3				1	1		2	4	13
西サイクロ		1		1			3				1		6
港サイク													0
海中口								2					2
ワンダーワールドロ	2						1						3
子供の広場	1						2				1	1	5
動物の森				2			3	2	1				8
インフォメーションセンター		1						1				1	3
森の家	2	1					5					7	15
プール（夏期のみ）													0
大芝生売店	1	3		1			1	1					7
光と風の広場	1				1							3	5
カモ池口			1										1
シオヤ													0
ドッグラン													0
不明													0
管理センター													0
計	9	6	1	7	1	0	15	7	2	0	4	16	68

別紙２９

【行催事開催時の広報（紙媒体）実績】

※R4年は7月まで　（単位：枚）

イベント名	形態区分	H31		R2		R3		R4		備考/配布先
G.W.利用促進チラシ	チラシ	B4縦	230,000	—		A4縦	370,000	A4縦	375,000	小学校・幼稚園・媒体社等配布 ※R2：休園のため制作なし
バラまつり	ポスター	B2縦	200	B2縦	150	—		—		自治体・公共機関・媒体社等配布
	チラシ	B4縦	110,000	B4縦	110,000					
アーリーサマーフェスタ	チラシ	A4縦	15,000	—		—		—		媒体社・ホテル等周辺施設配布
夏チラシ	チラシ	B4縦	570,000	A3横二つ折	450,000	B4横二つ折	430,000	B4横二つ折	570,000	小学校・幼稚園・公共機関・媒体社等配布 ※R2～R3：福岡県内配布
うみなか*はなまつり	ポスター	B2縦	500	B2縦	500	B2縦	500			小学校・幼稚園・公共機関・媒体社等配布 ※R3：「秋のうみなかたび」として制作・福岡県内配布
	チラシ	B3四つ折	600,000	B3四つ折	610,000	A2観音折	450,000			
うみなかキャンドルナイト	ポスター	B2縦	200	B2縦	200	B2縦	150			小学校・幼稚園・公共機関・媒体社等配布 ※R3：「冬のうみなかたび」として制作・福岡県内配布
	チラシ	B4縦	230,000	A4縦	245,000	A3横二つ折	407,000			
フラワーピクニック	ポスター	B2縦	500	B2縦	450	B2縦	430			小学校・幼稚園・公共機関・媒体社等配布 ※R2：福岡県内配布
	チラシ	B3四つ折	600,000	B3四つ折	425,000	A2観音折	585,000			

別紙30

プレスリリース実績

【平成31年度】

NO.	日付	内容
1	H31.4.5	ネモフィラの広大な青のパノラマが広がります
2	H31.4.18	博多織文様花壇、見頃です
3	H31.4.22	暑い時期をむかえる前に、衣替え！？ GW特別イベント　ヒツジの毛刈り体験
4	H31.4.22	九州と四国の美味しいものが集結 九州VS四国フードファイト開催！
5	R1.5.8	今週末より「うみなかバラまつり」スタート！ 220品種1,800株のバラ、まもなく見頃です
6	R1.5.8	大人のための１日飼育員体験、参加者募集！
7	R1.5.22	広い園内をセグウェイでゆったり巡る　セグウェイガイドツアー、開催中！
8	R1.6.4	オウム・インコデー開催！
9	R1.6.4	動物の森ベビーラッシュ！
10	R1.6.11	雨の公園と初夏の花を楽しむ「アーリーサマーフェスタ2019」6/15より開催
11	R1.7.3	海の中道サンシャインプール　7/13、オープニングセレモニー開催！
12	R1.7.8	“みる”と“さわる”は大違い！ クワガタ・カブトムシハウス、今週末よりOPEN！
13	R1.7.8	夏休みは“うみなか”で遊ぼう！イベント盛りだくさん！！
14	R1.7.29	子どもたちが飼育員のお仕事体験！
15	R1.8.20	まんまるコキア、すくすく成長！
16	R1.8.20	気軽にアウトドア体験 Outdoor Park in UMINAKA
17	R1.9.3	うみなか＊はなまつり開催！
18	R1.9.3	ボリビアリスザル、ベビーラッシュ！
19	R1.9.10	さわってみよう！動物ふれあいDAY開催
20	R1.9.10	秋の気配、パンパスグラスの穂、たなびく
21	R1.9.25	色鮮やかな秋色のケイトウ、見頃！
22	R1.10.2	１万本のキャンドルアート、デザイン大募集！
23	R1.10.7	コキアが色づき始めました
24	R1.10.17	秋の定番！！100万本のコスモス、見頃です
25	R1.10.17	大人のための１日飼育員体験、参加者募集！
26	R1.10.23	秋のバラが見頃をむかえました
27	R1.10.29	子どもたちが球技に挑戦！うみなかボールフェスタ2019開催
28	R1.11.6	うみなかクリスマスキャンドルナイト開催 日本最大級！１万本のキャンドルアートが彩ります
29	R1.11.6	うみなかで健康づくり！“スロージョギング教室”開催
30	R1.11.22	みんなでつくる1万本のキャンドルアート キャンドルナイトボランティア大募集！
31	R1.11.27	うみなかクリスマスキャンドルナイト2019 １万本のキャンドルアートのデザイン決定！
32	R1.12.2	チューリップ花壇をみんなでつくろう！
33	R1.12.11	うみなかクリスマスキャンドルナイト間もなく開催 高所作業車からの取材用撮影の予約開始！
34	R1.12.11	１月２日より開園いたします　海の中道海浜公園のお正月
35	R1.12.16	海の中道海浜公園で、庭づくり挑戦してみませんか！ 第９回うみなかフラワーガーデンコンテスト参加者募集！
36	R1.12.23	冬咲きチューリップの展示が始まりました

別紙30

プレスリリース実績

【令和2年度】

NO.	日付	内容
1	R2.5.25	220品種1,800株のバラ、見頃です！
2	R2.6.9	動物の森ベビーラッシュ！
3	R2.6.15	アジサイまもなく見頃です
4	R2.6.23	水辺を彩るスイレン見頃です
5	R2.7.3	かわいいベイビーがたくさん！
6	R2.7.14	“見る”と“さわる”は大違い！？ 『カブトムシハウス』開催します！
7	R2.7.15	海の日！玄界灘の海岸清掃
8	R2.7.28	『もふもふコキアグリーンシーズン』開催！
9	R2.8.17	もふもふコキア、すくすく成長！
10	R2.8.17	「幻の池」出現しました
11	R2.9.8	秋の気配、パンパスグラスの穂、たなびく
12	R2.9.8	うみなか＊はなまつり開催！
13	R2.9.14	続々と秋の気配、ヒガンバナ＆ケイトウ見頃！
14	R2.10.5	1万本のキャンドルアート、デザイン大募集！
15	R2.10.5	初開催！「うみなかアジアンフェスティバル」
16	R2.10.9	風に揺らぐコスモス、見頃です
17	R2.10.12	10月18日は「秋の無料入園日」です
18	R2.10.12	さわってみよう！「動物ふれあい広場」開催中
19	R2.10.12	新型コロナウイルスの終息を願って開催！！ 全国一斉凧揚げイベント「大空高くみんなの願いを！2020」
20	R2.10.26	“秋バラ”まもなく見頃を迎えます
21	R2.11.4	国営海の中道海浜公園×mobby ride 一般来園者向け「電動キックボード実証実験」の開催
22	R2.11.18	うみなかキャンドルナイト2020 1万本のキャンドルアートのデザイン決定！
23	R2.11.25	～取材関係者限定！『うみなかキャンドルナイト』～ 高所作業車からの撮影予約開始！
24	R2.11.25	うみなかキャンドルナイト開催！ 1万本のキャンドルアートがうみなかの夜を彩ります
25	R2.12.14	動物の森クリスマススペシャルイベント初開催！
26	R2.12.22	1月2日より開園いたします 海の中道海浜公園のお正月
27	R3.1.6	コキアを活かした野外芸術作品『風の人』を展示
28	R3.2.10	動物の森バレンタインスペシャルイベント開催！
29	R3.2.17	スイセン・ウメが見頃です
30	R3.3.1	動物の森3年ぶりのヒツジの赤ちゃん！
31	R3.3.8	ネモフィラとサクラが織りなすブルーとピンクの絶景！
32	R3.3.8	動物の森ホワイトデースペシャルイベント開催！
33	R3.3.16	エリア拡大！電動キックボード実証実験
34	R3.3.29	色とりどりのチューリップ見頃！

別紙30

プレスリリース実績

【令和3年度】

NO.	日付	内容
1	R3.4.8	120万本のネモフィラ　まもなく見頃
2	R3.4.8	西日本短期大学の学生による花時計花壇ミニガイド
3	R3.4.14	ネモフィラの広大な青の花畑
4	R3.4.14	初開催！動物の森『飼育の日』イベント
5	R3.4.27	220品種1,800株のバラ、見頃です！
6	R3.6.24	動物の森ベビーラッシュ！
7	R3.7.12	夏の思い出はうみなかで！
8	R3.7.15	エリア拡大！電動キックボード実証実験第３弾
9	R3.7.15	見て触って嗅いで！『カブトムシハウス』OPEN！
10	R3.8.31	開園40周年特別企画！「思い出エピソード」&「SNSフォトコンテスト」
11	R3.10.4	見頃の秋の花、続々と！
12	R3.10.11	コキアとコスモス　今が見頃！
13	R3.10.21	『凧揚げフェスティバル』開催！
14	R3.10.25	うみなかハロウィンイベント開催
15	R3.10.28	１万本のキャンドルアート、デザイン大募集！
16	R3.11.1	うみなかアートプロジェクト開幕 『森の美術館inうみなか』&『自然とアート展』
17	R3.11.1	香る秋バラ　見頃です
18	R3.11.24	うみなかキャンドルナイト2021 １万本のキャンドルアートのデザイン決定！
19	R3.12.1	うみなかキャンドルナイト2021 取材関係者限定！「高所作業車からの撮影予約」開始！
20	R3.12.21	動物の森クリスマススペシャルイベント開催！
21	R3.12.21	１月２日より開園いたします 海の中道海浜公園のお正月
22	R3.12.24	牛乳消費拡大の一助に！ ワンダーシャトルレストランでホットミルクを特別価格で販売します！
23	R4.1.25	冬を代表する花　ニホンスイセン・ロウバイ見頃
24	R4.2.4	一足早い春の訪れを満喫しませんか？早春イベント初開催！
25	R4.2.14	早春のうみなかを感じてみませんか？ アイスチューリップ見頃
26	R4.2.18	スイセン・ウメ見頃です
27	R4.2.27	「大芝生広場レストハウスPlay Café」 ３月１日（火）リニューアルオープン！
28	R4.3.11	福岡に春を告げる花の祭典 『海の中道フラワーピクニック2022』開催！
29	R4.3.17	『海の中道フラワーピクニック2022』いよいよ開幕 ～三連休のお楽しみ紹介～

別紙30

プレスリリース実績

【R4年度】

※R4年は7月まで

NO.	日付	内容
1	R4.4.1	園内のサクラが満開です
2	R4.4.11	広大な青のパノラマ　120万本のネモフィラ見頃
3	R4.4.18	うみなかで初開催！コーヒーで春の公園を巡ろう！
4	R4.4.20	藤の花を逆さにしたような花姿　ルピナス見頃
5	R4.4.25	ゴールデンウィークを食べつくそう！遊びつくそう♪第10回C-1CUP in Uminaka開催！
6	R4.5.9	香り豊かに広がる　220品種1,800株のバラ見頃
7	R4.5.20	道下美里選手のトークショー開催！ブラインドマラソン体験！
8	R4.5.23	動物の森ベビーラッシュ到来！
9	R4.6.7	3年ぶりにオープン！事前予約制によるWEBチケット販売で安心！ 海の中道サンシャインプール
10	R4.6.16	アジサイまもなく見頃です
11	R4.7.4	夏の思い出はうみなかで！
12	R4.7.4	海の中道サンシャインプール　7/9（土）、オープニングセレモニー開催！
13	R4.7.6	FUKUOKA OPEN TOP BUS×うみなかたび 「うみなか＆志賀島　まるっと満喫ツアー」を実施します！～360度のオーシャンビューと志賀島の歴史をまるっと楽しめます～
14	R4.7.13	見て触って嗅いで！『カブトムシハウス』OPEN！
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		

別紙３１

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

【令和２年度】

●西口

（単位：台）

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		1	2	5	1	0	7	40	15	1	0	5	11
電動カート		1	1	0	0	0	1	3	2	0	0	0	1
ベビーカー		6	43	73	21	14	70	114	58	17	13	38	49
計		8	46	78	22	14	78	157	75	18	13	43	61
一日平均	車椅子	0.03	0.06	0.17	0.03	0	0.23	1.29	0.5	0.03	0	0.17	0.35
	電動カート	0.03	0.03	0	0	0	0.03	0.1	0.07	0	0	0	0.03
	ベビーカー	0.2	1.39	2.43	0.68	0.45	2.33	3.68	1.93	0.55	0.42	1.31	1.58
一日最大	車椅子	1	1	3	1	0	2	7	4	1	0	2	3
	電動カート	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	ベビーカー	2	8	39	4	3	14	18	9	4	3	8	4

●西サイクロ

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	1	２月	３月
車椅子		9	16	7	1	1	17	62	26	8	3	23	33
電動カート		3	16	5	5	1	6	22	8	4	1	8	21
ベビーカー		4	9	10	4	8	27	32	12	1	4	14	15
計		16	41	22	10	10	50	116	46	13	8	45	69
一日平均	車椅子	0.3	0.52	0.23	0.03	0.03	0.57	2	0.87	0.26	0.1	0.79	1.06
	電動カート	0.1	0.52	0.17	0.16	0.03	0.2	0.71	0.27	0.13	0.03	0.28	0.68
	ベビーカー	0.13	0.29	0.33	0.13	0.26	0.9	1.03	0.4	0.03	0.13	0.48	0.48
一日最大	車椅子	3	6	1	1	1	4	7	3	2	2	5	6
	電動カート	1	3	2	3	1	2	4	2	1	1	3	3
	ベビーカー	1	2	4	1	2	5	8	3	1	2	3	3

●海中口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		0	0	2	0	0	1	5	1	0	0	0	4
電動カート		2	2	3	0	0	0	5	0	0	0	0	2
ベビーカー		1	3	2	5	1	10	22	6	6	0	1	6
計		3	5	7	5	1	11	32	7	6	0	1	12
一日平均	車椅子	0	0	0.07	0	0	0.03	0.16	0.03	0	0	0	0.13
	電動カート	0.07	0.06	0.1	0	0	0	0.16	0	0	0	0	0.06
	ベビーカー	0.03	0.1	0.07	0.16	0.03	0.33	0.71	0.2	0.19	0	0.03	0.19
一日最大	車椅子	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1
	電動カート	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ベビーカー	1	1	1	1	1	4	6	2	2	0	1	2

●ワンダーワールド口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		2	2	1	2	0	11	11	1	1	0	7	6
電動カート		0	0	1	2	0	0	6	1	1	0	1	1
ベビーカー		1	17	11	8	5	41	48	29	13	9	33	38
計		3	19	13	12	5	52	65	31	15	9	41	45
一日平均	車椅子	0.07	0.06	0.03	0.06	0	0.37	0.35	0.03	0.03	0	0.24	0.19
	電動カート	0	0	0.03	0.06	0	0	0.19	0.03	0.03	0	0.03	0.03
	ベビーカー	0.03	0.55	0.37	0.26	0.16	1.37	1.55	0.97	0.42	0.29	1.14	1.23
一日最大	車椅子	1	1	1	1	0	4	2	1	1	0	3	2
	電動カート	0	0	1	2	0	0	2	1	1	0	1	1
	ベビーカー	1	6	3	2	2	10	11	5	2	4	6	4

●光と風の広場口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		0	1	0	0	10	1	4	2	0	0	1	1
電動カート		1	0	0	0	10	0	2	0	0	0	0	2
ベビーカー		0	0	0	1	11	2	1	1	0	0	1	1
計		1	1	0	1	31	3	7	3	0	0	2	4
一日平均	車椅子	0	0.03	0	0	0.32	0.03	0.13	0.07	0	0	0.03	0.03
	電動カート	0.03	0	0	0	0.32	0	0.06	0	0	0	0	0.06
	ベビーカー	0	0	0	0.03	0.35	0.07	0.03	0.03	0	0	0.03	0.03
一日最大	車椅子	0	1	0	0	10	1	2	1	0	0	1	1
	電動カート	1	0	0	0	10	0	1	0	0	0	0	1
	ベビーカー	0	0	0	1	10	1	1	1	0	0	1	1

●カモ池口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電動カート													
ベビーカー		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
一日平均	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0	0	0.03
一日最大	車椅子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電動カート												
	ベビーカー	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

公園利用者に無償で貸与している物品一覧

【令和３年度】

●西口

（単位：台）

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		38	10	1	2	0	0	33	13	2	3	2	10
電動カート		7	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	5
ベビーカー		101	38	4	12	0	0	64	46	11	30	20	64
計		146	49	5	14	0	0	98	61	13	34	22	79
一日平均	車椅子	1.27	0.32	0.03	0.06	0	0	1.06	0.43	0.06	0.1	0.07	0.32
	電動カート	0.23	0.03	0	0	0	0	0.03	0.07	0	0.03	0	0.16
	ベビーカー	3.37	1.23	0.13	0.39	0	0	2.06	1.53	0.35	0.97	0.69	2.06
一日最大	車椅子	5	4	1	1	0	0	4	2	1	1	1	2
	電動カート	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
	ベビーカー	12	10	2	3	0	0	11	13	2	6	5	5

●西サイクロ

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		66	12	0	4	0	0	68	6	7	0	8	37
電動カート		32	9	3	1	0	0	26	15	3	3	2	13
ベビーカー		14	19	5	3	1	0	21	16	5	6	8	14
計		112	40	8	8	1	0	115	37	15	9	18	64
一日平均	車椅子	2.2	0.39	0	0.13	0	0	2.19	0.2	0.23	0	0.28	1.19
	電動カート	1.07	0.29	0.1	0.03	0	0	0.84	0.5	0.1	0.1	0.07	0.42
	ベビーカー	0.47	0.61	0.17	0.1	0.03	0	0.68	0.53	0.16	0.19	0.28	0.45
一日最大	車椅子	5	3	0	1	0	0	5	1	2	0	3	9
	電動カート	4	4	1	1	0	0	4	4	1	1	1	4
	ベビーカー	2	8	4	1	1	0	3	4	2	1	2	3

●海中口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		4	1	1	2	0	0	5	4	2	0	0	4
電動カート		4	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1
ベビーカー		4	3	0	2	0	0	16	8	6	2	0	11
計		12	5	1	4	0	0	25	12	8	2	0	16
一日平均	車椅子	0.13	0.03	0.03	0.06	0	0	0.16	0.13	0.06	0	0	0.13
	電動カート	0.13	0.03	0	0	0	0	0.13	0	0	0	0	0.03
	ベビーカー	0.13	0.1	0	0.06	0	0	0.52	0.27	0.19	0.06	0	0.35
一日最大	車椅子	1	1	1	1	0	0	1	1	2	0	0	2
	電動カート	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ベビーカー	2	2	0	1	0	0	5	2	2	1	0	2

●ワンダーワールド口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		10	6	1	1	0	0	18	8	4	0	0	4
電動カート		2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
ベビーカー		34	24	5	13	4	0	37	34	15	10	7	41
計		46	30	6	14	4	0	55	43	19	11	8	46
一日平均	車椅子	0.33	0.19	0.03	0.03	0	0	0.58	0.27	0.13	0	0	0.13
	電動カート	0.07	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0.03	0.03	0.03
	ベビーカー	1.13	0.77	0.17	0.42	0.13	0	1.19	1.13	0.48	0.32	0.24	1.32
一日最大	車椅子	2	2	1	1	0	0	4	2	1	0	0	1
	電動カート	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1
	ベビーカー	5	9	2	3	4	0	5	7	3	3	2	7

●光と風の広場口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
電動カート		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ベビーカー		2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
計		5	2	1	3	0	0	1	0	0	0	0	4
一日平均	車椅子	0.1	0.03	0	0.03	0	0	0.03	0	0	0	0	0.1
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.03
	ベビーカー	0.07	0.03	0.03	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0
一日最大	車椅子	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベビーカー	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

●カモ池口

貸与品		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
車椅子		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
電動カート													
ベビーカー		1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
計		2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
一日平均	車椅子	0.03	0	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0
	電動カート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベビーカー	0.03	0.06	0	0	0	0	0.03	0	0	0	0	0
一日最大	車椅子	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	電動カート												
	ベビーカー	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

別紙３２

建物・工作物に係る修繕等履歴

※令和4年度は7月末まで

＜建　物＞

単位:円(税抜)

規模	令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大規模(50万円以上)	1	720,500	0	0	0	0	1	360,250
中規模(10～50万円未満)	14	2,874,500	17	3,557,172	4	800,160	16	3,215,836
小規模(10万円未満)	32	1,287,240	55	2,187,280	5	223,800	44	1,737,260
計	47	4,882,240	72	5,744,452	9	1,023,960	60	5,313,346

※平均はR2・R3年の平均

＜工作物＞

単位:円(税抜)

規模	令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大規模(50万円以上)	5	3,564,520	8	5,068,200	2	1,186,000	7	4,316,360
中規模(10～50万円未満)	52	10,918,760	50	11,398,507	14	2,727,400	51	11,158,634
小規模(10万円未満)	59	2,722,483	75	3,253,112	19	927,600	67	2,987,798
計	116	17,205,763	133	19,719,819	35	4,841,000	125	18,462,791

※平均はR2・R3年の平均

＜建物及び工作物の合計＞

単位:円(税抜)

規模	令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大規模(50万円以上)	6	4,285,020	8	5,068,200	2	1,186,000	7	4,676,610
中規模(10～50万円未満)	66	13,793,260	67	14,955,679	18	3,527,560	67	14,374,470
小規模(10万円未満)	91	4,009,723	130	5,440,392	24	1,151,400	111	4,725,058
計	163	22,088,003	205	25,464,271	44	5,864,960	184	23,776,137

※平均はR2・R3年の平均

【令和２年度　建物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額:円(税抜)	規模
1	1	2020/8/4	2	建物維持修繕	管理棟修繕	西口シャワー室前 シロアリ腐食床張替補修	63,000	3
2	2	2020/8/2	2	建物維持修繕	管理棟修繕	自動ドアNo.21不具合修繕	18,000	3
3	3	2020/10/3	2	建物維持修繕	管理棟修繕	動物の森 管理棟・調理室ドア修繕	25,000	3
4	4	2020/10/2	2	建物維持修繕	管理棟修繕	コインロッカー修繕	125,000	2
5	5	2020/4/9	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	大芝生広場東屋等軒部塗装等修繕	62,500	3
6	6	2020/4/28	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	海の中道駅休憩所明り取り硝子取替え工事	720,500	1
7	7	2020/9/8	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	スカイドルフィン 東屋・ベンチ塗装修繕	248,800	2
8	8	2020/10/1	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	ドッグラン 東屋・ベンチ塗装修繕	116,360	2
9	9	2020/11/19	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	大芝生広場レストハウス 出入口落とし棒取付修繕	32,000	3
10	10	2021/2/25	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	動物の森レストハウス 浄水器フィルター交換	22,000	3
11	11	2021/3/2	2	建物維持修繕	休憩所等修繕	里の家 排煙窓修繕	450,340	2
12	12	2020/4/1	2	建物維持修繕	便所修繕	動物の森管理棟女子便所便器ロータンク漏水修繕	21,000	3
13	13	2020/4/3	2	建物維持修繕	便所修繕	ワンダーワールド口駐車場女子便所洗面器排水漏水修繕	16,000	3
14	14	2020/5/1	2	建物維持修繕	便所修繕	バラ園　トイレ内天井塗装作業	196,900	2
15	15	2020/7/5	2	建物維持修繕	便所修繕	ドッグラン横トイレ男子小便器修繕	13,600	3
16	16	2020/9/8	2	建物維持修繕	便所修繕	光と風の広場管理棟 トイレ大便器修繕	24,000	3
17	17	2020/9/4	2	建物維持修繕	便所修繕	スカイドルフィン横丸トイレ 洗面器配水管修繕	21,000	3
18	18	2020/8/10	2	建物維持修繕	便所修繕	みらい橋男子トイレ 手洗い修繕	31,000	3
19	19	2020/10/1	2	建物維持修繕	便所修繕	光と風の広場 ドッグラン横トイレ外壁塗装	96,400	3
20	20	2021/1/26	2	建物維持修繕	便所修繕	西ｻｲｸﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ口 身障者駐車場トイレ 非常呼出修繕	32,000	3
21	21	2020/4/2	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森　クジャク舎　とまり木補修修繕	45,600	3
22	22	2020/4/23	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	環境共生の森展望デッキ腐食部修繕	125,500	2
23	23	2020/5/24	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（3号機）修理	24,000	3
24	24	2020/5/15	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森ふれあい舎ガードフェンス下部胴縁外取替修繕	63,000	3
25	25	2020/6/14	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森調理室 硝子補修	13,000	3
26	26	2020/7/1	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	子供の広場管理棟多目的ﾙｰﾑ・授乳室目隠し格子取付作業	140,000	2
27	27	2020/7/1	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森展望台階段部修繕	68,000	3
28	28	2020/7/15	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（13号機）修理	24,000	3
29	29	2020/7/30	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（12号機）修理	69,000	3
30	30	2020/9/2	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（11号機）修理	69,000	3
31	31	2020/9/12	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（11号機、12号機）修理	44,800	3
32	32	2020/9/17	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（7号機、13号機）修理	56,000	3
33	33	2020/9/23	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（1～4、6、9、11号機）修理	42,940	3
34	34	2020/11/18	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機（9号機）修理	24,000	3
35	35	2020/12/1	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	【キャンドルナイト】自動券売機設定変更	129,000	2
36	36	2020/11/8	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森インコ舎ネット下地木材取付修繕	153,000	2
37	37	2020/11/8	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森ツル舎屋根シート張替取付修繕	258,000	2
38	38	2020/11/4	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森洗濯機入替修繕	350,400	2
39	39	2021/2/25	2	建物維持修繕	建物維持その他修繕	ガードマン詰所カギ作成	1,400	3
40	40	2020/7/6	2	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	子供の広場空調室室内機熱交換ﾌｨﾝ洗浄作業	80,000	3
41	41	2020/10/2	2	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	管理センター1階男子更衣室 空調機修繕	20,000	3
42	42	2020/10/2	2	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	子供の広場管理棟 空調機4号機修繕	45,000	3
43	43	2020/10/2	2	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	子供の広場管理棟 空調機1号機修繕	80,000	3
44	44	2021/1/18	2	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	大芝生広場レストハウス 空調機修繕	270,000	2
45	45	2020/7/12	2	建物設備維持修繕	消防設備維持修繕	光と風の広場ロゲート棟 火災報知器取替修繕	160,000	2
46	46	2020/11/17	2	建物設備維持修繕	消防設備維持修繕	子供の広場電気室 火災感知器外取替修繕	40,000	3
47	47	2021/3/1	2	建物設備維持修繕	消防設備維持修繕	園内屋外消火栓設備点検	151,200	2
							4,882,240	

【令和２年度　工作物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額:円(税抜)	規模
1	1	2020/4/20	2	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーピクニック誘導看板撤去作業	90,000	3
2	2	2020/4/9	2	工作物管理工	園路広場修繕	潮見台木製デッキ手摺塗装等修繕	103,100	2
3	3	2020/8/3	2	工作物管理工	園路広場修繕	うみなかはなまつり誘導看板等設置・撤去業務	228,000	2
4	4	2020/8/17	2	工作物管理工	園路広場修繕	西口門扉修繕	56,150	3
5	5	2020/10/1	2	工作物管理工	園路広場修繕	森の池 自転車置場サイン設置業務	223,000	2
6	6	2020/12/2	2	工作物管理工	園路広場修繕	ワンダーワールド口ほか自立型サイン修繕	100,000	2
7	7	2021/1/4	2	工作物管理工	園路広場修繕	シーサイドヒルシオヤ ウッドデッキ修繕	20,000	3
8	8	2021/2/10	2	工作物管理工	園路広場修繕	大芝生広場園路舗装修繕	860,000	1
9	9	2021/2/5	2	工作物管理工	園路広場修繕	サイクルポケット サイン製作	68,000	3
10	10	2021/1/20	2	工作物管理工	園路広場修繕	西口ゲート横 業務用門扉修繕	459,300	2
11	11	2021/2/15	2	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーピクニック誘導看板等制作設置業務	397,000	2
12	12	2020/4/10	2	工作物管理工	遊具維持修繕	水辺のトリム遊具横柱錆止め塗装修繕	58,200	3
13	13	2020/4/1	2	工作物管理工	遊具維持修繕	子供の広場　ハウス遊具木部取替修繕	315,000	2
14	14	2020/5/18	2	工作物管理工	遊具維持修繕	ハウス遊具内L型テーブル・床面取替えほかケレン塗装作業	244,000	2
15	15	2020/6/1	2	工作物管理工	遊具維持修繕	スカイドルフィン　ネット連結パーツ取替修繕（1）	33,000	3
16	16	2020/7/2	2	工作物管理工	遊具維持修繕	スカイドルフィン　ネット連結パーツ取替修繕（2）	29,000	3
17	17	2020/8/20	2	工作物管理工	遊具維持修繕	ザイルクライム砂場耕耘等作業	60,400	3
18	18	2020/9/20	2	工作物管理工	遊具維持修繕	森のトリム タイヤロープ修繕	27,000	3
19	19	2020/9/10	2	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ローラー滑り台修繕業務	63,000	3
20	20	2020/10/3	2	工作物管理工	遊具維持修繕	森のトリム クモの巣渡り修繕	12,500	3
21	21	2020/11/1	2	工作物管理工	遊具維持修繕	スカイドルフィン ネットフロア修繕	33,000	3
22	22	2020/11/20	2	工作物管理工	遊具維持修繕	ふわんポリン(5山)設備点検	395,600	2
23	23	2021/1/14	2	工作物管理工	遊具維持修繕	ちびっこ広場 汽車修繕	73,000	3
24	24	2021/1/20	2	工作物管理工	遊具維持修繕	ちびっこ広場 シーソー修繕	3,500	3
25	25	2021/1/27	2	工作物管理工	遊具維持修繕	水辺のトリム きね渡り修繕	111,000	2
26	26	2021/2/5	2	工作物管理工	遊具維持修繕	スカイドルフィン ネットフロア修繕（2）	80,000	3
27	27	2021/3/10	2	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで オオタコ滑り台修繕業務	25,000	3
28	28	2020/4/1	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	施設設備現場技術補助業務（4月）	202,500	2
29	29	2020/4/29	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	施設設備現場技術補助業務（5月）	135,000	2
30	30	2020/5/28	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	施設設備現場技術補助業務（6月）	202,500	2
31	31	2020/4/20	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	B・D地区・リゾートエリアほか工作物点検（1）	70,200	3
32	32	2020/10/3	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	B・D地区・リゾートエリアほか工作物点検（2）	70,200	3
33	33	2020/11/1	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	B・D地区・リゾートエリアほか工作物点検（3）	70,200	3
34	34	2020/4/3	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森 ふれあい舎 前ベンチ 補修	135,000	2
35	35	2020/4/14	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	じゃぶじゃぶ池塗装等修繕作業	896,000	1
36	36	2020/5/3	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	じゃぶじゃぶ池外周等不陸修繕	90,900	3
37	37	2020/4/23	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森内　西門横ベンチほか修繕	173,400	2
38	38	2020/5/18	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森　東門門扉オートヒンジ取替補修	113,500	2
39	39	2020/5/27	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森 リスザル土留め板 設置作業	228,420	2
40	40	2020/7/1	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	リスザル・クジャク舎前ベンチ板取替補修	96,450	3
41	41	2020/8/1	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	西口 入口前ベンチケレン塗装補修	34,300	3
42	42	2020/8/17	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	子供のとりで コンクリートベンチ補修	18,000	3
43	43	2020/8/4	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	フサオマキザル周りベンチ板取替修繕	144,800	2
44	44	2020/7/2	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	海の中道駅口駐車場内 既設井戸用蓋取替え補修	189,000	2
45	45	2020/9/2	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	パラソル型テントカバー作成	157,500	2
46	46	2020/9/1	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森 内撮影台更新修繕	119,400	2
47	47	2020/9/6	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	ルイガンズ階段護岸石回収作業	123,500	2
48	48	2020/10/1	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	アジサイの小径ほかベンチ座板補修	270,100	2
49	49	2020/10/8	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	大芝生広場レストハウス東屋ほかベンチ座板取替補修	103,300	2
50	50	2020/11/11	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	西口 旗掲揚ポール重り交換修繕	33,000	3
51	51	2021/1/4	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森 プレーリードッグエリア基礎改修	280,000	2

52	52	2020/7/13	2	工作物管理工	工作物維持その他修繕	0.1ユンボ レンタル	27,500	3
53	53	2020/9/13	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	ルイガンズ駐車場 街路灯修繕	113,000	2
54	54	2020/10/2	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	管理センター駐車場 街路灯漏電調査及び修理	13,000	3
55	55	2020/10/3	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	マリーナ周辺 園路街路灯灯具取替修繕	267,000	2
56	56	2020/10/20	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	光と風の広場 コンセントボックス取替	20,000	3
57	57	2020/10/28	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	マリーナ周辺 園路街路灯修理	51,300	3
58	58	2020/11/2	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	海の家周辺 園路街路灯LED電球交換修繕	187,500	2
59	59	2020/11/11	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	海の家周辺 園路街路灯LED電球交換修繕2	154,000	2
60	60	2020/11/26	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	海の家周辺 園路街路灯LED電球交換修繕3	154,000	2
61	61	2020/11/1	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	花時計横WHMボックス交換修繕	177,000	2
62	62	2020/11/3	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	子供の広場受電所 照明分電盤漏電遮断機取替	24,000	3
63	63	2020/11/24	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	ワンダーワールドロ 水銀灯修繕	57,000	3
64	64	2020/11/26	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	動物の森 アカカンガルー舎配電盤間配線改修	50,000	3
65	65	2020/12/2	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト用投光機レンタル	148,700	2
66	66	2020/12/1	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト用投光機用燃料（11台分）	12,569	3
67	67	2020/12/10	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト用LEDライトレンタル	110,000	2
68	68	2020/12/10	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト 仮設電源設置作業	115,000	2
69	69	2020/11/18	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト イルミネーション設置業務	548,520	1
70	70	2020/11/25	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト イルミネーション撤去業務	306,840	2
71	71	2021/1/4	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	海の中道駅前桜並木 水銀灯外調査及び修繕	117,000	2
72	72	2021/1/17	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	光と風の広場 街路灯修繕	186,000	2
73	73	2021/1/25	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	大芝生広場レストハウス 動力配線修繕	15,000	3
74	74	2021/2/10	2	設備維持修繕	電気設備維持修繕	シオヤレストハウス 外 トイレ照明器具改修	168,000	2
75	75	2020/7/1	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	立水栓出水不良修繕	8,000	3
76	76	2020/7/1	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	海中駅口 ガス給湯器取替修繕	26,364	3
77	77	2020/7/3	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	大芝生広場レストハウス横 グリーンミスト設置作業	400,000	2
78	78	2020/7/1	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	子供のとりで下日陰 水道圧ミスト設置作業	407,800	2
79	79	2020/7/4	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	動物の森カンガルー舎埋設給水漏水修繕	42,000	3
80	80	2020/9/16	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	子供のとりで下ミスト タイマー設置作業	42,000	3
81	81	2020/8/19	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	西戸崎レストハウス北側 上水漏水・止水弁修繕	174,500	2
82	82	2021/1/10	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	動物の森給仕室前 埋設上水管漏水修繕	76,000	3
83	83	2021/1/15	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	動物の森アカカンガルー舎 埋設上水管漏水修繕	70,000	3
84	84	2021/3/1	2	設備維持修繕	水道設備維持修繕	ふわんポリン横足洗場 給水栓取付	17,950	3
85	85	2020/4/12	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場井戸、ワクワク池井戸水 水質分析業務	20,000	3
86	86	2020/4/12	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務（開始前）	68,000	3
87	87	2020/6/3	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	冒険の池横 井戸ポンプ修繕	152,000	2
88	88	2020/7/1	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	水辺のトリム井水配管放水口改修	49,000	3
89	89	2020/8/23	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場井戸ポンプ 圧力タンク調整業務	8,500	3
90	90	2020/8/1	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池ﾌﾟｰﾙ水及び遊べる噴水水質分析業務（8月分）	24,000	3
91	91	2020/8/27	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池ﾌﾟｰﾙ水及び遊べる噴水水質分析業務（9月分）	24,000	3
92	92	2020/9/2	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池 ろ過ポンプ点検整備	18,000	3
93	93	2020/9/17	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	西口ゲート内噴水 電磁弁等交換修繕	85,000	3
94	94	2020/11/4	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	光と風の広場 井戸ポンプ修繕	93,000	3
95	95	2020/11/5	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	遊べる噴水 吐出口修繕	22,500	3
96	96	2020/11/15	2	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	ワクワク池井戸ポンプ交換修繕	82,000	3
97	97	2020/5/25	2	設備維持修繕	放送設備維持修繕	光と風の広場　不良スピーカー調査業務	58,000	3
98	98	2020/12/1	2	設備維持修繕	放送設備維持修繕	園内放送設備点検	430,000	2
99	99	2020/5/10	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-6自動スクリーン修繕	85,000	3
100	100	2020/6/1	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	水鳥の池 排水ポンプ分解調査点検	143,000	2
101	101	2020/6/3	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	水鳥の池 排水ポンプ交換取付作業	560,000	1
102	102	2020/7/9	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	水鳥の池 排水ポンプ代替機入替え作業	332,000	2
103	103	2020/7/9	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	動物の森内埋設排水管詰り修繕	152,000	2
104	104	2020/7/16	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	動物の森馬厩舎横 排水管漏水修繕	85,000	3

105	105	2020/8/29	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	マリンワールド駐車場トイレ前 汚水管詰まり修繕	130,000	2
106	106	2020/9/13	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	マリンワールド駐車場トイレ前 汚水枡等修繕	199,900	2
107	107	2020/9/20	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	水辺のトリム 排水枡ゴムチップ蓋設置業務	30,000	3
108	108	2020/9/25	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	水辺のトリム 排水管詰り修繕	65,000	3
109	109	2020/9/18	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	管理センター駐車場 排水枡グレーチング交換修繕	13,000	3
110	110	2020/8/26	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	あじさいの小径 排水枡改修業務	402,000	2
111	111	2020/10/3	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	マリンワールド駐車場トイレ前 汚水管詰り調査作業	50,000	3
112	112	2020/10/6	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	マリンワールド駐車場トイレ前 汚水管尿石除去	100,000	2
113	113	2021/1/18	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	P1-5汚水ポンプ圧送管漏水調査	74,800	3
114	114	2021/1/24	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	P1-5汚水ポンプ圧送管取替修繕	265,000	2
115	115	2021/1/7	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	環境共生の森 雨水枡修繕	272,600	2
116	116	2021/1/25	2	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプP1-6自動スクリーン修繕②	700,000	1
							17,205,763	

【令和３年度　建物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額:円(税抜)	規模
1	48	2021/11/24	3	建物維持修繕	管理棟修繕	管理センターGIS室 ドアカギ設置	23,000	3
2	49	2022/3/1	3	建物維持修繕	管理棟修繕	大芝生レストハウス自動扉修繕	380,000	2
3	50	2022/3/2	3	建物維持修繕	管理棟修繕	シオヤ電気室 シリンダー錠修繕	25,000	3
4	51	2022/1/29	3	建物維持修繕	管理棟修繕	海の中道駅口管理棟 ゲート看板撤去業務	214,000	2
5	52	2022/2/18	3	建物維持修繕	管理棟修繕	海の中道駅口管理棟 ゲート用入口看板設置業務	55,000	3
6	53	2021/4/2	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	子どもの広場 冒険の池北側四阿塗装修繕	85,560	3
7	54	2021/4/21	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	インフォメーション 授乳室アコーディオンカーテン設置工事	165,700	2
8	55	2021/4/21	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	子どもの広場 藤棚修繕	422,000	2
9	56	2021/6/3	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	里の家 両開き扉カギ等修繕	87,000	3
10	57	2021/9/4	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	茶室 内装修繕	119,772	2
11	58	2021/9/4	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	子どもの広場 パーゴラ修繕	100,000	2
12	59	2021/10/2	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	子どもの広場 藤棚修繕(2)	30,000	3
13	60	2021/11/12	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	子供の広場管理棟倉庫 シリンダー錠修繕	21,000	3
14	61	2021/11/3	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	港レストハウス休憩室 窓レバーハンドル修繕	16,000	3
15	62	2022/1/13	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	森の家 受付ほか壁掛け時計修繕	42,500	3
16	63	2022/2/13	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	動物の森レストハウス 浄水器フィルター交換	22,000	3
17	64	2022/1/4	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	里の家 電気温水器修繕	192,000	2
18	65	2022/1/27	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	水辺のレストハウス ロールスクリーン修繕	41,000	3
19	66	2022/1/30	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	森の家 業務用掃除機オーバーホール	53,550	3
20	67	2022/3/2	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	子供の広場管理棟 男子更衣室カーテン設置工事	88,944	3
21	68	2022/2/28	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	大芝生広場レストハウス 電気温水器修繕	17,000	3
22	69	2022/2/10	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	大芝生レストハウス藤棚塗装作業	270,000	2
23	70	2022/3/4	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	ﾜﾝﾀﾞｰﾜｰﾙﾄﾞ既設休憩所鉄骨部日除け天幕取替設置作業	168,300	2
24	71	2022/3/4	3	建物維持修繕	休憩所等修繕	ドッグラン休憩所日除け鉄部・ベンチ塗装作業	66,000	3
25	72	2021/4/18	3	建物維持修繕	車庫・倉庫等修繕	森の家倉庫扉 補助カギ取付け	17,000	3
26	73	2021/6/16	3	建物維持修繕	車庫・倉庫等修繕	清掃作業員作業詰所 シャッター点検及びスイッチ増設	115,000	2
27	74	2021/8/4	3	建物維持修繕	車庫・倉庫等修繕	清掃作業員作業詰所 天井照明器具取替作業	215,000	2
28	75	2021/11/1	3	建物維持修繕	車庫・倉庫等修繕	D地区焼却場 シャッタースイッチ増設作業	35,000	3
29	76	2021/4/12	3	建物維持修繕	便所修繕	カモ池口管理棟 多目的トイレ洗面水栓取替修繕	33,400	3
30	77	2021/4/19	3	建物維持修繕	便所修繕	西口トイレ棟 内清掃用流し水栓取替修繕	12,000	3
31	78	2021/4/21	3	建物維持修繕	便所修繕	光と風の広場口管理棟男女小トイレカギ修繕	30,000	3
32	79	2021/6/10	3	建物維持修繕	便所修繕	光と風の広場排水機場多目的トイレ 表示灯修繕	74,000	3
33	80	2021/7/1	3	建物維持修繕	便所修繕	多目的トイレ表示変更業務	40,000	3
34	81	2021/7/11	3	建物維持修繕	便所修繕	バラ園多目的トイレ修繕	33,000	3
35	82	2021/9/10	3	建物維持修繕	便所修繕	森の家 多目的トイレ手洗い水栓交換修繕	59,100	3
36	83	2021/7/15	3	建物維持修繕	便所修繕	西戸崎レストハウス 多目的トイレ 表示灯修繕	25,500	3
37	84	2021/10/3	3	建物維持修繕	便所修繕	管理センター 女子トイレ シャワートイレ修繕	78,500	3
38	85	2021/10/5	3	建物維持修繕	便所修繕	管理センター 男子トイレ手洗い水栓修繕	23,500	3
39	86	2021/10/15	3	建物維持修繕	便所修繕	バラ園女子トイレ 便座リモコン取替修繕	23,000	3
40	87	2021/10/20	3	建物維持修繕	便所修繕	バラ園女子トイレ 便器出水不良修繕	17,500	3
41	88	2021/11/5	3	建物維持修繕	便所修繕	マリン売店前男子トイレ 小便器出水不良修繕	34,160	3
42	89	2022/2/1	3	建物維持修繕	便所修繕	バラ園女子トイレ SK室ドアクローザー修繕	18,000	3
43	90	2022/2/2	3	建物維持修繕	便所修繕	スカイドルフィン西側丸トイレ 男子洗面台鏡修繕	17,000	3
44	91	2022/2/8	3	建物維持修繕	便所修繕	港レストハウス女子トイレ 大便器修繕	20,000	3
45	92	2022/2/11	3	建物維持修繕	便所修繕	カナール男子トイレ 小便器修繕	10,800	3
46	93	2022/2/14	3	建物維持修繕	便所修繕	環境共生の森 いのちの池横トイレ大便器修繕	36,000	3
47	94	2022/2/15	3	建物維持修繕	便所修繕	光と風の広場ゲート棟外側男子トイレ 漏水修繕	27,000	3
48	95	2022/3/2	3	建物維持修繕	便所修繕	光と風の広場デイキャンプ場女子トイレ 便器修繕	130,000	2
49	96	2021/4/2	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(11号機)修理	25,600	3
50	97	2021/5/9	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(2号機)修理	24,000	3
51	98	2021/6/21	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(11号機)修理	59,000	3
52	99	2021/6/22	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(1号機)修理	24,000	3

53	100	2021/6/23	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(11号機)修理	24,000	3
54	101	2021/6/24	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(3号機)修理	24,000	3
55	102	2021/7/12	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(7号機、12号機)修理	74,000	3
56	103	2021/7/20	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(11号機)修理	41,000	3
57	104	2021/7/28	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(9号機)修理	24,000	3
58	105	2021/8/4	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	ポリカ中空板購入	33,006	3
59	106	2021/10/1	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機 巡回点検	80,400	3
60	107	2021/10/5	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(7号機、9号機、13号機)修理	79,000	3
61	108	2021/12/18	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(6号機)修理	24,000	3
62	109	2021/12/8	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森ラマ舎 獣舎扉修繕	44,000	3
63	110	2022/1/2	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(6号機)修理(2)	69,000	3
64	111	2022/2/6	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(5号機)修理	24,000	3
65	112	2022/3/9	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(13号機)修理	46,500	3
66	113	2022/2/10	3	建物維持修繕	建物維持その他修繕	動物の森管理棟 洗濯機設置作業	175,200	2
67	114	2021/6/16	3	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	光と風の広場口管理棟事務室 空調機修繕	93,760	3
68	115	2021/7/5	3	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	ワンダーワールドロ事務所 空調室外機部品交換修繕	330,000	2
69	116	2021/7/10	3	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	光と風の広場口管理棟事務室 空調室内機ドレンパン清掃	109,000	2
70	117	2021/7/5	3	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	光と風の広場口管理棟事務室 空調室内機(4号機)修繕	36,000	3
71	118	2021/9/7	3	建物設備維持修繕	空調設備維持修繕	大芝生広場レストハウス空調室 内機部品交換作業	300,000	2
72	119	2022/3/1	3	建物設備維持修繕	消防設備維持修繕	園内屋外消火栓設備点検	151,200	2
							5,744,452	

【令和３年度　工作物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額:円(税抜)	規模
1	117	2021/4/1	3	工作物管理工	園路広場修繕	くじら山裾野 立入禁止柵設置作業	165,000	2
2	118	2021/4/2	3	工作物管理工	園路広場修繕	動物の森 リスザル池手すり修繕	15,000	3
3	119	2021/5/6	3	工作物管理工	園路広場修繕	動物の森誘導用 路面シート作成	67,000	3
4	120	2021/5/10	3	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーピクニック誘導看板等撤去業務	51,000	3
5	121	2021/6/9	3	工作物管理工	園路広場修繕	カラス注意看板製作	68,000	3
6	122	2021/7/27	3	工作物管理工	園路広場修繕	ワンダーワールドロ 門扉修繕	27,000	3
7	123	2021/9/10	3	工作物管理工	園路広場修繕	うみなかはなまつり誘導看板等制作設置業務	215,500	2
8	124	2021/11/10	3	工作物管理工	園路広場修繕	マリーナ駐車場付近 平板縁石修繕	56,400	3
9	125	2021/12/14	3	工作物管理工	園路広場修繕	シオヤ 展望デッキ手摺塗装修繕	44,000	3
10	126	2022/1/22	3	工作物管理工	園路広場修繕	バラ園 木杭交換修繕	65,550	3
11	127	2022/1/24	3	工作物管理工	園路広場修繕	スカイドルフィン付近駐輪場(No.4) 木杭交換修繕	82,750	3
12	128	2022/2/3	3	工作物管理工	園路広場修繕	くじら山 丸杭設置作業	183,600	2
13	129	2022/1/26	3	工作物管理工	園路広場修繕	光と風の広場 入口看板フレーム塗装修繕	46,000	3
14	130	2022/2/1	3	工作物管理工	園路広場修繕	バラ園設置用 大型アーチ塗装修繕	46,000	3
15	131	2022/2/10	3	工作物管理工	園路広場修繕	歩道部縁レンガ花壇補修作業	28,100	3
16	132	2022/2/16	3	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーミュージアム内ベンチほか木製部塗装修繕	112,220	2
17	133	2022/1/26	3	工作物管理工	園路広場修繕	ワンダーワールド電気室前 自立型サイン修繕	100,400	2
18	134	2022/2/2	3	工作物管理工	園路広場修繕	白置き柵製作	278,177	2
19	135	2022/2/16	3	工作物管理工	園路広場修繕	立入禁止等看板製作	140,000	2
20	136	2022/2/22	3	工作物管理工	園路広場修繕	光と風の広場 入口看板設置業務	73,840	3
21	137	2022/3/6	3	工作物管理工	園路広場修繕	冒険の池園路 舗装修繕	600,000	1
22	138	2022/3/3	3	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーピクニック誘導看板等制作設置業務	293,500	2
23	139	2021/4/1	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ちびっこ広場 コンビネーション修繕	28,000	3
24	140	2021/4/20	3	工作物管理工	遊具維持修繕	健康遊具 座板部等交換修繕	20,000	3
25	141	2021/4/12	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ローラー滑り台修繕	196,000	2
26	142	2021/5/1	3	工作物管理工	遊具維持修繕	森のトリム くもの巣渡り修繕	8,500	3
27	143	2021/4/23	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ネット＆リングトンネル修繕	35,000	3
28	144	2021/6/9	3	工作物管理工	遊具維持修繕	水辺のトリム 水路井水配管固定作業	39,000	3
29	145	2021/7/11	3	工作物管理工	遊具維持修繕	水辺のトリム イカダ橋修繕	207,000	2
30	146	2021/8/3	3	工作物管理工	遊具維持修繕	スカイドルフィンほかクッションカバー設置	60,000	3
31	147	2021/9/4	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ローラー滑り台修繕(2)	101,000	2
32	148	2021/10/2	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ちびっこ広場 ブランコ修繕	146,000	2
33	149	2021/10/15	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供の広場 ブランコ 塗装修繕	37,760	3
34	150	2021/10/2	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ローラー滑り台 塗装修繕	226,680	2
35	151	2021/11/3	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ふわんポリン(5山)設備定期点検	388,000	2
36	152	2021/11/8	3	工作物管理工	遊具維持修繕	健康遊具 バランス円盤修繕	8,000	3
37	153	2021/12/2	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ふわんポリン(5山)外周柵クッションカバー設置	18,000	3
38	154	2022/1/3	3	工作物管理工	遊具維持修繕	水辺のトリム イカダ渡り修繕	60,000	3
39	155	2022/1/5	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ちびっこ広場 わんぱくクジラと大波パラダイス ゴムチップ設置	33,000	3
40	156	2022/1/4	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ちびっこ広場 ブランコ修繕(2)	260,000	2
41	157	2022/1/5	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ネット＆リングトンネル修繕(2)	10,500	3
42	158	2022/1/12	3	工作物管理工	遊具維持修繕	ふわんポリン(5山)内圧設定器交換修繕	458,000	2
43	159	2022/3/2	3	工作物管理工	遊具維持修繕	子供のとりで ローラー滑り台修繕(3)	98,000	3
44	160	2021/7/5	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	B地区・D地区・リゾートエリアほか工作物点検(1)	70,200	3
45	161	2021/11/2	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	B地区・D地区・リゾートエリアほか工作物点検(2)	70,200	3
46	162	2022/2/25	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	B地区・D地区・リゾートエリアほか工作物点検(3)	70,200	3
47	163	2021/4/7	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	木製ピクニックテーブル制作作業	560,000	1
48	164	2021/6/10	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	パラソル型テント2基修繕作業	113,000	2
49	165	2021/7/23	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	海中駅口日除け取付作業	60,000	3
50	166	2021/7/1	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	仮設単管休憩所日除け天幕補修作業	167,250	2
51	167	2021/8/3	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	森の家 ジグソー修理	10,565	3
52	168	2021/8/28	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	動物の森 アーチ外塗装修繕	94,500	3

53	169	2021/8/30	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	バラ園 ベンチ外塗装修繕	180,380	2
54	170	2021/10/1	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	バラ園 楕円形ベンチ座面 取替修繕	106,400	2
55	171	2022/1/20	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	大判プリンター iPF8000S修理	12,325	3
56	172	2022/3/7	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	デイキャンプ場仮設ゴミ箱 撤去作業	50,000	3
57	173	2022/2/20	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	フラワーミュージアム内腐食木部取替修繕	238,900	2
58	174	2022/3/2	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	D地区倉庫整理作業	52,728	3
59	175	2022/2/23	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	大芝生広場レストハウス ベンチ修繕	266,000	2
60	176	2022/2/23	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	ドッグラン利用料金看板制作	161,500	2
61	177	2022/3/12	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	ドッグラン誘導案内看板制作	223,600	2
62	178	2022/3/1	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	木製ピクニックテーブル制作作業②	264,000	2
63	179	2021/4/7	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	ラミネートフィルム購入（1）	8,000	3
64	180	2021/5/13	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	園内焼却場内 木製階段修繕	139,000	2
65	181	2022/3/8	3	工作物管理工	工作物維持その他修繕	西口管理棟 卓上マイク用アクリル板加工取付	28,000	3
66	182	2021/4/14	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	光と風の広場管理棟 大屋根下柱照明修繕	21,000	3
67	183	2021/4/1	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	海の中道駅口ゲート内広場 仮設電源設置業務	93,000	3
68	184	2021/4/1	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	港レストハウス横丸トイレ 漏電調査	26,000	3
69	185	2021/4/5	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	港レストハウス横丸トイレ コンセント改修修繕	31,000	3
70	186	2021/4/18	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	港レストハウス 漏電調査	29,000	3
71	187	2021/4/10	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	里の家倉庫 照明工事	32,000	3
72	188	2021/5/6	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	光と風の広場入口道路 外灯修繕	48,000	3
73	189	2021/12/10	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト仮設電源 設置撤去業務	219,600	2
74	190	2021/12/8	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト用投光機レンタル	271,800	2
75	191	2021/12/1	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト投光機用燃料	21,367	3
76	192	2021/12/1	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト イルミネーション 設置業務	668,200	1
77	193	2021/12/17	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	【キャンドルナイト】キャンドルナイト イルミネーション 撤去業務	416,000	2
78	194	2021/11/3	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	動物の森レストハウス前 カメ用仮設電源設置作業	26,700	3
79	195	2022/1/6	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	動物の森インコ舎 コンセント外増設作業	137,000	2
80	196	2022/1/24	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	西口広場 足元灯漏電調査	26,000	3
81	197	2022/2/18	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	冒険の池ボート小屋横 ポール型時計修繕	115,200	2
82	198	2022/3/1	3	設備維持修繕	電気設備維持修繕	動物の森リスザル舎内 電気設備修繕	135,000	2
83	199	2021/4/1	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	西サイクリングセンター前 回転地上式消火栓取替修繕	386,400	2
84	200	2021/4/26	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	じゃぶじゃyぶ池内足洗場 給水配管作業	55,000	3
85	201	2021/6/24	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	大芝生広場 動物の森前 埋設上水管 漏水修繕	59,000	3
86	202	2021/6/4	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	ふわんポリン横シェルター ドライミスト修繕撤去	76,000	3
87	203	2021/7/2	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	ワンダーワールドロ ガス給湯器取替修繕	28,427	3
88	204	2021/8/1	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	動物の森 正門前散水栓配管設置作業	130,000	2
89	205	2021/10/4	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	ふわんポリン横足洗水栓調整作業	15,000	3
90	206	2022/2/5	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	ワンダーシャトル量水器取替ほか受水槽取出金具取付作業	100,000	2
91	207	2022/1/4	3	設備維持修繕	水道設備維持修繕	港レストハウス北側 上水配管等漏水修繕	58,000	3
92	208	2021/4/1	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	遊べる噴水オープン前設備点検・運転調整業務	54,000	3
93	209	2021/4/7	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池オープン前設備点検・運転調整業務	60,000	3
94	210	2021/4/2	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池塗装等修繕	454,500	2
95	211	2021/4/4	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務（開始前）	68,000	3
96	212	2021/6/19	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務（6月分）	24,000	3
97	213	2021/6/8	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	フラワーミュージアム 井水配管漏水修繕	36,000	3
98	214	2021/5/2	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池 循環ポンプNo.1修繕	600,000	1
99	215	2021/6/1	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	水鳥の池 循環ポンプ絶縁不良原因調査復旧	540,000	1
100	216	2021/7/2	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	遊べる噴水 水景ポンプ修繕	700,000	1
101	217	2021/7/4	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務（7月分）	24,000	3
102	218	2021/8/1	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務（8月分）	24,000	3
103	219	2021/9/2	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場中水井戸 加圧タンク圧力スイッチ取替ほか修繕	40,000	3
104	220	2021/9/7	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場中水井戸 加圧タンクエアー抜弁・圧力計取替修繕	68,000	3
105	221	2021/9/9	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場井戸ポンプ室 換気扇等設置	416,000	2
106	222	2021/8/25	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	花の丘 埋設散水栓 設置配管作業	700,000	1

107	223	2021/10/1	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	遊べる噴水水質分析業務(10月分)	18,000	3
108	224	2021/10/1	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場中水井戸 ポンプ動力盤修繕	156,400	2
109	225	2021/11/15	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生広場井戸水及び温室井戸水 水質分析業務	32,000	3
110	226	2021/11/1	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	大芝生レストハウス横 埋設散水栓 漏水修繕	47,000	3
111	227	2022/2/23	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	ワンダーシャトル横井戸サクションフート弁取替作業	100,000	2
112	228	2022/3/10	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	ワンダーシャトル横井戸加圧給水ポンプ分解整備作業	130,000	2
113	229	2022/2/4	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	フラワーミュージアム 水路漏水修繕	85,000	3
114	230	2022/1/12	3	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	動物の森厩舎横 中水配管漏水修繕	62,000	3
115	231	2021/8/11	3	設備維持修繕	放送設備維持修繕	動物の森レストハウス 天井スピーカー等修繕	145,000	2
116	232	2021/9/4	3	設備維持修繕	放送設備維持修繕	西口管理棟 中央放送設備ほか不具合調整	49,500	3
117	233	2021/12/1	3	設備維持修繕	放送設備維持修繕	園内放送設備点検	430,000	2
118	234	2022/1/8	3	設備維持修繕	放送設備維持修繕	西口管理棟 中央放送設備修繕	75,000	3
119	235	2021/12/10	3	設備維持修繕	電話設備維持修繕	光と風の広場エリア 非常用電話設定変更	24,000	3
120	236	2021/4/1	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	大芝生レストハウス多目的トイレ 埋設汚水管詰り修繕	35,000	3
121	237	2021/4/8	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ(P1-2,P1-6) 脱臭装置活性炭入替え業務	458,000	2
122	238	2021/4/18	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ(P1-5) 脱臭装置活性炭入替え業務	291,000	2
123	239	2021/6/3	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-5) ドア修繕	378,000	2
124	240	2021/7/19	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-1) 配管等修繕	130,000	2
125	241	2021/7/21	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-4ほか) フロートスイッチ交換修繕	380,000	2
126	242	2021/8/1	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	ふれあい動物舎マンホールポンプ 汚水ポンプ等修繕	272,500	2
127	243	2021/8/16	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ(P1-3) 脱臭装置活性炭入替え業務	285,000	2
128	244	2021/8/16	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ(P1-8) 制御盤排気ファン取替修繕	7,000	3
129	245	2021/12/5	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-6)前 マンホール修繕	79,000	3
130	246	2021/12/2	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-6) 自動スクリーン修繕	700,000	1
131	247	2021/11/9	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-6)ドア調整	32,000	3
132	248	2022/1/10	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室(P1-6) 脱臭装置配管破損修繕	130,000	2
133	249	2022/1/12	3	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	水辺のレストハウス南側 雨水枡修繕	11,000	3
							19,719,819	

【令和４年度　建物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額:円(税抜)	規模
1	120	2022/4/5	4	建物維持修繕	管理棟等修繕	子供広場管理棟　排煙窓オペレーター補修工事	270,160	2
2	121	2022/4/29	4	建物維持修繕	車庫・倉庫等修繕	管理センター倉庫　LED照明取付工事	120,000	2
3	122	2022/4/4	4	建物維持修繕	便所修繕	園内トイレ非常呼出装置修理調査業務	53,800	3
4	123	2022/5/9	4	建物維持修繕	便所修繕	園内トイレ 非常呼出装置修繕作業	250,000	2
5	124	2022/5/20	4	建物維持修繕	便所修繕	園内トイレ 非常呼出装置修繕作業(2)	81,000	3
6	125	2022/6/28	4	建物維持修繕	便所修繕	港レストハウス　女子トイレ窓ガラス取替修繕	61,000	3
7	126	2022/4/2	4	建物維持修繕	建物維持その他修繕	みらい橋建物鍵製作	4,000	3
8	127	2022/7/22	4	建物維持修繕	建物維持その他修繕	自動券売機(6号機)修理	24,000	3
9	128	2022/7/11	4	建物設備維持修繕	消防設備維持修繕	光と風の広場ロゲート棟 火災感知器　取替修繕	160,000	2
							1,023,960	

【令和４年度　工作物管理】

番号	連番	契約日	年度	工種	細別	件名	金額:円(税抜)	規模
1	250	2022/4/8	4	工作物管理工	園路広場修繕	じゃぶじゃぶ池横ふじ棚東屋内テーブルベンチほか木部修繕	164,600	2
2	251	2022/4/11	4	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーミュージアム内ベンチほか砂場デッキ木部取替修繕	229,300	2
3	252	2022/4/15	4	工作物管理工	園路広場修繕	彩の池等外周ロープ柵修繕設置作業	45,250	3
4	253	2022/4/22	4	工作物管理工	園路広場修繕	動物の森　雨水排水管清掃調査作業	200,000	2
5	254	2022/5/19	4	工作物管理工	園路広場修繕	フラワーピクニック誘導看板等撤去業務	90,000	3
6	255	2022/7/15	4	工作物管理工	園路広場修繕	海の中道駅口 デッキ材取替修繕	11,600	3
7	256	2022/7/25	4	工作物管理工	園路広場修繕	シードラグーン前芝生内　湾曲ベンチ撤去作業	49,000	3
8	257	2022/4/1	4	工作物管理工	遊具維持修繕	子供広場　シーソー(青)ゴムチップ打設作業	58,000	3
9	258	2022/4/1	4	工作物管理工	遊具維持修繕	子供広場　シーソー(緑)ゴムマット設置作業	66,000	3
10	259	2022/4/1	4	工作物管理工	遊具維持修繕	森のトリム　くもの巣渡り修繕作業	11,000	3
11	260	2022/4/5	4	工作物管理工	遊具維持修繕	子供広場　シーソー(緑)ゴムチップ打設作業	58,000	3
12	261	2022/5/25	4	工作物管理工	遊具維持修繕	子供砦安全対策他作業	211,000	2
13	262	2022/6/2	4	工作物管理工	遊具維持修繕	FRP製モニュメント遊具　塗装作業業務	85,000	3
14	263	2022/6/10	4	工作物管理工	遊具維持修繕	ふわんポリン(大)用　砂積込運搬作業	32,000	3
15	264	2022/4/11	4	工作物管理工	工作物維持その他修繕	西口ワクワク池側崖ロープ柵取替設置作業	45,250	3
16	265	2022/6/1	4	工作物管理工	工作物維持その他修繕	森の家時計装置修理	87,500	3
17	266	2022/5/27	4	設備維持修繕	電気設備維持修繕	インフォメーション棟救護室　天井照明取付工事	74,000	3
18	267	2022/6/15	4	設備維持修繕	電気設備維持修繕	光と風の広場管理棟　電力モニター取付作業	150,000	2
19	268	2022/4/19	4	設備維持修繕	水道設備維持修繕	子供の広場　海賊船遊具横　中水管漏水修繕	40,000	3
20	269	2022/5/6	4	設備維持修繕	水道設備維持修繕	ふわふわドーム横　自動手洗い機給水管接続部取替修繕	35,000	3
21	270	2022/4/1	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	遊べる噴水・じゃぶじゃぶ池オープン前設備点検・運転調整業務	114,000	2
22	271	2022/4/4	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池塗装等修繕工事	454,500	2
23	272	2022/4/6	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務(開始前)	68,000	3
24	273	2022/4/23	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池ろ過配管修繕作業	110,000	2
25	274	2022/5/15	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池ろ過ポンプ取替作業	590,000	1
26	275	2022/5/18	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務(5月分)	24,000	3
27	276	2022/6/15	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務(6月分)	24,000	3
28	277	2022/7/15	4	設備維持修繕	水循環設備維持修繕	じゃぶじゃぶ池プール水及び遊べる噴水水質分析業務(7月分)	24,000	3
29	278	2022/7/13	4	設備維持修繕	電話設備維持修繕	非常電話着信先設定変更ほか作業	156,000	2
30	279	2022/5/11	4	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	動物の森　汚水管排水不良管調査・清掃作業	310,000	2
31	280	2022/5/23	4	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室P1-3自動スクリーン修繕	141,500	2
32	281	2022/5/26	4	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	渡船場排水ポンプ取替	110,000	2
33	282	2022/6/8	4	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ室P1-2自動スクリーン修繕	141,500	2
34	283	2022/6/15	4	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	プール前トイレ汚水排水ポンプ用フロートスイッチ等交換修繕	235,000	2
35	284	2022/7/10	4	設備維持修繕	汚水処理設備維持修繕	汚水ポンプ(P1-2、P1-5、P1-6)脱臭装置活性炭入替え作業	596,000	1
							4,841,000	

別紙３３

廃棄棄物の取扱

対象物	種別	単位	令和２年度	令和３年度	予定数量
事業系一般廃棄物	可燃ゴミ	kg	19,723	23,322	
	不燃ゴミ	kg	—	—	
	混合ゴミ	kg	23,400	18,720	
	金属くず類	kg	220	2,600	
	空きビン ガラスくず類	kg	880	—	
	段ボール 古紙	kg	— —	— —	
	ペットボトル	kg	447	2,792	
	空き缶	kg	1,060	700	
合　　計		kg	45,730	48,134	

別紙３４

農薬、肥料、土壌改良剤リスト

【R2年度】

〈主な薬剤〉

品名	年間使用量	単位
アファーム乳剤	750	ml
オルトラン粒剤	18	kg
カリグリーン水和剤	5,000	g
グリーンガードネオ	184,500	ml
サプロール乳剤	1,500	ml
スプラサイド乳剤	2,500	ml
スミチオン乳剤	4,000	ml
スラゴ粒剤	6	kg
石灰硫黄合剤	162	L
ダコニール水和剤	1,500	ml
ダントツ水溶剤	250	ml
トレボン乳剤	3,250	ml
プレバソン水和剤	6,500	ml
マッチ乳剤	2,250	ml

〈主な肥料〉

品名	年間使用量	単位
メネデール	500	ml
リキダス	1,800	ml

〈主な土壌改良剤〉

品名	年間使用量	単位
BSパール	500	L
BSライト	660	L
赤玉土	5,600	L
苦土石灰	20	kg
バーミキュライト	660	L
培養土	9,950	L
ピートモス	1,500	L
腐葉土	6,000	L
満作	900	L
リサイクル堆肥	695.5	㎥

【R3年度】

〈主な薬剤〉

品名	年間使用量	単位
アファーム乳剤	2,000	ml
オルトラン粒剤	3	kg
カリグリーン水和剤	3,500	g
サブロール乳剤	3,500	ml
スミチオン乳剤	9,500	ml
石灰硫黄合剤	162	L
ダコニール水和剤	7,500	ml
トレボン乳剤	5,500	ml
プレバソン水和剤	6,500	ml
マッチ乳剤	4,000	ml
ユニフォーム粒剤	6	kg

〈主な肥料〉

品名	年間使用量	単位
バーディラージ	220	kg
油粕	60	kg
まるやま3号	100	kg
化成肥料(8-8-8)	40	kg

〈主な土壌改良剤〉

品名	年間使用量	単位
BSパール	1,000	L
BSライト	5,280	L
赤玉土	4200	L
苦土石灰	240	kg
バーミキュライト	1,320	L
培養土	18,000	L
ピートモス	1,500	L
腐葉土	6,000	L
ボラ土	54	L
満作	1,350	L
リサイクル堆肥	771	m^3

【R4年度】

〈主な薬剤〉

品名	年間使用量	単位
オルトラン粒剤	6	kg
カリグリーン水和剤	4,000	g
サンヨール乳剤	1,500	ml
スミチオン乳剤	1,000	ml
ダコニール水和剤	2,000	ml
トレボン乳剤	4,000	ml
ナブ乳剤	1,500	ml
プレバソン水和剤	2,000	ml

〈主な肥料〉

品名	年間使用量	単位
バーディラージ	200	kg
油粕	1,000	kg
まるやま3号	20	kg
重焼リン	340	kg
硫酸カリ	160	kg
溶性リンピ	160	kg
VSあかきん	150	kg
VSあかきん34	150	kg
化成肥料(8-8-8)	100	kg

〈主な土壌改良剤〉

品名	年間使用量	単位
BSパール	300	L
BSライト	330	L
赤玉土	1,400	L
苦土石灰	60	kg
バーミキュライト	330	L
培養土	4,600	L
ピートモス	750	L
満作	225	L
リサイクル堆肥	168	m^3

※R4年度は、7月末までの実績

別紙３５

農 薬 散 布

【R2年度】

区分	場所	樹木名	使用薬剤	使用量	単位	備考
低木	リゾート	カンツバキ・サザンカ	トレボン乳剤	1,000	ml	チャドクガ
	西駐車場周辺・西口	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
	西駐車場周辺・西口	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
バラ	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	スミチオン乳剤	500	ml	アブラムシ、灰色カビ病・黒点病等
			サプロール乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	トレボン乳剤	500	ml	うどん粉病・黒点病・ホソオビアシブトクチバ等
			ダコニール水和剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	スミチオン乳剤	500	ml	うどん粉病・灰色カビ病・オオタバコガ等
			カリグリーン水和剤	1,000	g	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	トレボン乳剤	500	ml	うどん粉病・黒点病・オオタバコガ等
			カリグリーン水和剤	1,000	g	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	サプロール乳剤	500	ml	チュウレンジハバチ・黒点病・オオタバコガ等
			ダコニール水和剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	マッチ乳剤	500	ml	黒点病・オオタバコガ等
			サプロール乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	スミチオン乳剤	500	ml	黒点病・オオタバコガ等
			カリグリーン水和剤	1,000	g	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	マッチ乳剤	500	ml	黒点病・ヨトウガ・オオタバコガ等
			カリグリーン水和剤	1,000	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	アファーム乳剤	500	ml	黒点病・ヨトウガ・オオタバコガ等
			ダコニール水和剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	石灰硫黄合剤	162	l	殺菌殺虫処理
高木	動物の森・チャレンジ・子供の広場・西駐車場周辺	シンジュ・アメリカフウ・プラタナス・ウバメガシ・サワグルミ	トレボン乳剤	1,500	ml	ヒロヘリアオイラガ・モンクロシャチホコ・トサカフトメイガ
	子供の広場	アメリカフウ	スミチオン乳剤	240	ml	ヒロヘリアオイラガ
花壇	花桟敷	ケイトウ	スミチオン乳剤	500	ml	シロオビノメイガ
	花桟敷	ケイトウ	スミチオン乳剤	1,000	ml	シロオビノメイガ・うどん粉病
			プレバソン水和剤	1,000	ml	
	花桟敷	ケイトウ	ダコニール水和剤	500	ml	シロオビノメイガ・うどん粉病
			スミチオン乳剤	1,000	ml	
花畑	花の丘	コキア	プレバソン水和剤	1,000	ml	オオタバコガ
	花の丘	コスモス	プレバソン水和剤	2,000	ml	ヨトウガ・オオタバコガ・
			スミチオン乳剤	1,500	ml	
	花の丘	コスモス	プレバソン水和剤	2,000	ml	オオタバコガ
特殊	温室		カリグリーン水和剤	3,500	ml	うどん粉病
	温室		ダントツ水溶剤	250	ml	
	温室		スプラサイド乳剤	2,500	ml	害虫全般（カイガラムシ等）
	温室		マッチ乳剤	1,000	ml	害虫全般
	温室		オルトラン粒剤	12	kg	アブラムシ等

農 薬 散 布

【R3年度】

区分	場所	樹木名	使用薬剤	使用量	単位	備考
低木	西駐車場周辺・西口	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
	西駐車場周辺・西口	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
	西駐車場周辺・西口	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
	西駐車場周辺・西口	ボックスウッド	トレボン乳剤	1,000	ml	ツゲノメイガ
バラ	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	トレボン乳剤	500	ml	アブラムシ
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	トレボン乳剤	500	ml	灰色カビ病・黒点病・オオタバコガ等
			サプロール乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	スミチオン乳剤	500	ml	灰色カビ病・黒点病・オオタバコガ等
			ダコニール水和剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	ダコニール水和剤	500	ml	灰色カビ病・黒点病・オオタバコガ等
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	スミチオン乳剤	500	ml	チュウレンジハバチ・黒点病・オオタバコガ等
			ダコニール水和剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	トレボン乳剤	500	ml	灰色カビ病・黒点病・オオタバコガ等
			サプロール乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	カリグリーン水和剤	1,000	ml	チュウレンジハバチ・うどん粉病・オオタバコガ等
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	アファーム乳剤	500	ml	ハスモンヨトウ・黒点病・オオタバコガ等
			サプロール乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	ダコニール水和剤	500	ml	ハスモンヨトウ・黒点病・オオタバコガ等
			マッチ乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	石灰硫黄合剤	162	l	殺菌殺虫
高木	動物の森・西駐車場周辺・大芝生・子供の森	シンジュ・プラタナス・ウバメガシ・サワグル	トレボン乳剤	1,000	ml	ヒロヘリアオイラガ・モンクロシャチホコ・トサカフトメイガ
花壇	補助幹線	コキア	プレバソン水和剤	2,000	ml	シロオビノメイガ
	虹・彩りの花壇・補助幹線	コキア	プレバソン水和剤	1,000	ml	シロオビノメイガ
	補助幹線	コキア	スミチオン乳剤	1,000	ml	シロオビノメイガ
	花桟敷・虹・彩りの花壇	コキア	プレバソン水和剤	1,000	ml	シロオビノメイガ
			スミチオン乳剤	1,500	ml	
	補助幹線	コキア	プレバソン水和剤	1,000	ml	シロオビノメイガ
			スミチオン乳剤	1,000	ml	
	虹・彩りの花壇	コキア	アファーム乳剤	500	ml	シロオビノメイガ
			プレバソン水和剤	500	ml	
	補助幹線	コキア	スミチオン乳剤	1,000	ml	シロオビノメイガ
	虹・彩りの花壇	コキア	アファーム乳剤	500	ml	シロオビノメイガ
			プレバソン水和剤	500	ml	
花畑	花の丘	コスモス	アファーム乳剤	1,000	ml	オオタバコガ・シロオビノメイガ
			プレバソン水和剤	1,000	ml	
	花の丘	コスモス	アファーム乳剤	1,000	ml	オオタバコガ・シロオビノメイガ
			プレバソン水和剤	1,000	ml	
	花の丘	コスモス	マッチ乳剤	500	ml	オオタバコガ・シロオビノメイガ・うどん粉病
			ダコニール水和剤	500	ml	
特殊	温室		オルトラン粒剤			アブラムシ
	温室		スミチオン乳剤			害虫全般
	温室		サプロール乳剤			うどん粉病

農 薬 散 布

【R4年度　7月末まで】

区分	場所	樹木名	使用薬剤	使用量	単位	備考
低木	リゾート	カンツバキ・サザンカ	トレボン乳剤	500	ml	チャドクガ
	西駐車場周辺・西口(西)	ボックスウッド	トレボン乳剤	2,500	ml	ツゲノメイガ
バラ	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	トレボン乳剤	500	ml	アブラムシ・ゾウムシ・バラクキバチ
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	カリグリーン水和剤	1,000	g	灰色カビ病・アブラムシ・コガネムシ
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	カリグリーン水和剤	1,000	g	黒点病・うどん粉病・オオタバコガ等
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	ダコニール水和剤	500	ml	黒点病・うどん粉病・オオタバコガ等
			スミチオン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	カリグリーン水和剤	1,000	g	オオタバコガ・チュウレンジハバチ・黒点病等
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	ダコニール水和剤	1,000	ml	黒点病・オオタバコガ・うどんこ病等
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	ダコニール水和剤	1,000	ml	黒点病・オオタバコガ・うどんこ病等
			トレボン乳剤	500	ml	
	バラ園・フラワーミュージアム	バラ	カリグリーン水和剤	1,000	ml	黒点病・オオタバコガ・うどんこ病等
			トレボン乳剤	500	ml	
花畑	虹・彩りの花壇	虹・彩の花壇	プレバソン水和剤	1,000	ml	シロオビノメイガ

※R4年度は、7月末までの実績

別紙３６

樹 幹 注 入

【R2年度】

■樹幹注入実績　　使用薬剤：グリーンガードNEO（90ml）

〈実績本数、回数〉

場所	薬剤量/施工本数	回/年
光と風	41本-90ml/ 14本	1回/年

【R3年度】

■樹幹注入実績　　使用薬剤：グリーンガードNEO（90ml）

〈実績本数、回数〉

場所	薬剤量/施工本数	回/年
施工実績なし		

別紙３７

植物性廃棄物の取り扱い

年度	月	草本(㎥)					木本(㎥)				
		発生量	処分量	完成量	利用量	備考	発生量	処分量	完成量	利用量	備考
R2	4	483.00					184.50	668	2,154		
	5	332.00					248.50				
	6	240.50					135.50			261	花の丘:マルチング
	7	256.00					169.50	860			
	8	515.50					37.50				
	9	458.00					309.50	1,301			
	10	684.00					90.50				
	11	384.75					147.75		860	402	花の丘:マルチング 彩花壇:土壌改良
	12	78.25					79.00			18.5	海中口花壇:マルチング 彩花壇:土壌改良
	1	41.25					69.00				
	2	105.25					87.00			12.0	バラ園:土壌改良
	3	138.00					108.00			2	大芝生:土壌改良
		3,716.50					1,666.25	2,829	3,014	695.5	
R3	4	347.25					93.75	1,050	1,301	36	環境共生の森:土壌改良
	5	291.50					320.50	541.00		18	補助幹線花畑:マルチン
	6	340.00					382.50			246	補助幹線花畑、花の丘:マルチング
	7	562.00					22.50		1,050	90	花の丘:マルチング
	8	379.50					40.50				
	9	631.50					81.00	679.00			
	10	652.50					103.00				
	11	335.50					420.75	1,077.00		69	花の丘:マルチング
	12	46.00					61.75			84	花の丘、花桟敷:マルチング
	1	29.25					122.00				
	2	63.50					58.50			132	バラ園、西口:土壌改良
	3	180.00					84.00		1,220	96	環境共生の森:植栽土造成他
		3,858.50					1,790.75	3,347	3,571	771.0	
R4	4	394.75					141.00	540.00			
	5	270.50					282.00				
	6	215.75					335.50	857.00	1,077	168.00	花の丘:土壌改良 虹・彩花壇:土壌改良、マルチング
	7	674.25					12.50				
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	1										
	2										
	3										
		1,555.25					771.00	1,397	1,077	168	

※R4年度は、7月末までの実績
※処理量とは、破砕(チップ化)した量
※完成量(堆肥)は、草・木混合

作業手順

堆肥化作業

材料	園内の植物発生材 刈芝・剪定枝・松枯損木等
↓	
破砕	材料を破砕。材料の破砕機への投入はバックホウで行う。
↓	
畝（台形）形成	破砕後の材料をホイールローダー等で、高さ2m程度の台形に積み上げる。
↓	
切り返し・灌水	バックホウを使用し、台形の層の内側と外側を撹拌、切り返しし発酵を均等化させる。
↓	
熟成・水分調整	材料を屋根のある場所、もしくはシート等で雨を避け、堆肥を熟成させ同時に水分を調整する。
↓	
ふるい分け	約20㎜メッシュのふるい分け機でふるい分ける。
↓	
堆肥	景観木や樹林地、花畑や花壇などの土壌改良材、園内の植物栽培用堆肥として活用。

別紙３８

収益施設利用者数、売上等

■収益施設利用者数

【令和 2 年度】

＜飲食・物販施設利用客数＞　　（単位：人）

	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	アニマルショップ	月計
4月	118	267	385
5月	1048	1238	2286
6月	2560	1289	3849
7月	3137	830	3967
8月	3225	1224	4449
9月	2333	2129	4462
10月	2018	2619	4637
11月	1694	1869	3563
12月	610	216	826
1月	299	248	547
2月	947	981	1928
3月	2108	2374	4482
合計	20097	15284	35381

【令和 3 年度】

＜飲食・物販施設利用客数＞　　（単位：人）

	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	アニマルショップ	月計
4月	1746	3232	4978
5月	966	1329	2295
6月	976	323	1299
7月	3566	1111	4677
8月	481	124	605
9月	0	0	0
10月	2531	2817	5348
11月	1801	1719	3520
12月	1032	544	1576
1月	1036	823	1859
2月	569	907	1476
3月	2417	2777	5194
合計	17121	15706	32827

【令和 4 年度】

＜飲食・物販施設利用客数＞　（単位：人）

	ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ駐車場売店	アニマルショップ	月計
4月	2908	4652	7560
5月	4533	3902	8435
6月	2805	1001	3806
7月	3891	980	4871
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計			

※令和 4 年度は 7 月まで

【令和 2 年度】

＜レンタサイクル施設＞　　（単位:台）

	西サイクル			海の中道駅サイクル			ワンダーワールドロサイクル			貸自転車合計
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	
4 月	1,495	878	2,373	409	146	555	521	419	940	3,868
5 月	4,645	2,303	6,948	748	286	1,034	1,898	1,217	3,115	11,097
6 月	4,620	1,907	6,527	1,036	260	1,296	1,817	955	2,772	10,595
7 月	2,327	1,103	3,430	669	173	842	1,091	538	1,629	5,901
8 月	4,144	2,167	6,311	1,700	515	2,215	2,003	1,086	3,089	11,615
9 月	6,706	3,487	10,193	1,842	571	2,413	2,809	1,651	4,460	17,066
10 月	9,485	3,886	13,371	3,041	648	3,689	3,565	1,634	5,199	22,259
11 月	7,131	3,708	10,839	2,370	678	3,048	2,938	1,872	4,810	18,697
12 月	2,138	1,236	3,374	902	333	1,235	1,177	786	1,963	6,572
1 月	1,914	1,029	2,943	527	209	736	1,070	717	1,787	5,466
2 月	6,584	3,415	9,999	1,478	549	2,027	2,932	1,766	4,698	16,724
3 月	7,608	3,947	11,555	3,212	1,440	4,652	4,019	2,231	6,250	22,457
合計	58,797	29,066	87,863	17,934	5,808	23,742	25,840	14,872	40,712	152,317

【令和 3 年度】

＜レンタサイクル施設＞　　（単位:台）

	西サイクル			海の中道駅サイクル			ワンダーワールドロサイクル			貸自転車合計
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	
4 月	10,392	4,387	14,779	3,508	1,100	4,608	4,577	2,419	6,996	26,383
5 月	4,736	2,207	6,943	1,689	400	2,089	2,167	1,034	3,201	12,233
6 月	1,399	509	1,908	406	100	506	692	282	974	3,388
7 月	3,109	1,394	4,503	1,284	403	1,687	1,666	846	2,512	8,702
8 月	330	188	518	160	80	240	204	145	349	1,107
9 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 月	9,737	4,744	14,481	2,683	707	3,390	4,265	2,519	6,784	24,655
11 月	6,612	3,657	10,269	1,950	623	2,573	2,864	1,716	4,580	17,422
12 月	2,101	1,150	3,251	821	353	1,174	1,122	750	1,872	6,297
1 月	3,282	1,941	5,223	889	444	1,333	1,726	1,172	2,898	9,454
2 月	3,200	1,726	4,926	929	318	1,247	1,465	957	2,422	8,595
3 月	8,731	4,654	13,385	3,227	1,680	4,907	4,167	2,997	7,164	25,456
合計	53,629	26,557	80,186	17,546	6,208	23,754	24,915	14,837	39,752	143,692

【令和 4 年度】

＜レンタサイクル施設＞　　（単位:台）

	西サイクル			海の中道駅サイクル			ワンダーワールドロサイクル			貸自転車合計
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	
4 月	11,669	5,409	17,078	3,822	1,424	5,246	5,419	2,868	8,287	30,611
5 月	11,104	5,176	16,280	3,670	1,106	4,776	5,103	2,613	7,716	28,772
6 月	3,366	1,259	4,625	1,367	267	1,634	1,667	826	2,493	8,752
7 月	2,205	1,103	3,308	1,253	373	1,626	1,439	742	2,181	7,115
8 月										
9 月										
10 月										
11 月										
12 月										
1 月										
2 月										
3 月										
合計										

※令和 4 年度は 7 月まで

＜駐車場＞

【令和 2 年度】

個別満車回数

月	大型車	小型車	二輪車	計	最大日	最大日の駐車台数	最大日における満車になった時間	満車になった回数	西駐	ワン・海中駐
4 月	0	2746	32	2778	4/5(日)	765		0	0	0
5 月	0	8023	37	8060	5/24(日)	1985		0	0	0
6 月	0	8380	38	8418	6/7(日)	1749		0	0	0
7 月	0	6636	9	6645	7/5(日)	1109		0	0	0
8 月	2	6973	31	7006	8/9(日)	649		0	0	0
9 月	1	16874	40	16915	9/21(月祝)	3461	11 : 00 ～ 14:00	4	2	2
10 月	48	24211	111	24370	10/18(日)	3595		4	3	1
11 月	43	14781	42	14866	11/1(日)	1684		0	0	0
12 月	2	7845	41	7888	12/19(土)	2167		0	0	0
1 月	0	3720	12	3732	1/31(日)	1199		0	0	0
2 月	5	13501	30	13536	2/21(日)	2476		2	1	1
3 月	28	16694	66	16788	3/27(土)	1729		0	0	0
年度計	129	130384	489	131002				10	6	4

【令和 3 年度】

個別満車回数

月	大型車	小型車	二輪車	計	最大日	最大日の駐車台数	最大日における満車になった時間	満車になった回数	西駐	ワン・海中駐
4 月	95	31106	185	31386	4/11(日)	3339		5	3	2
5 月	1	14822	77	14900	5/3(月祝)	4253		3	2	1
6 月	0	3073	7	3080	6/27(日)	1245		0	0	0
7 月	26	9258	15	9299	8/23(金祝)	999		0	0	0
8 月	2	938	2	942	8/1(日)	302		0	0	0
9 月	0	0	0	0	閉園	0		0	0	0
10 月	61	27344	130	27535	10/24(日)	3236	13:00～ 15:00	7	3	4
11 月	34	15197	39	15270	11/3(水)	2422		1	0	1
12 月	11	9355	25	9391	12/25(土)	2056		1	0	1
1 月	1	6697	14	6712	1/9(月)	1030		0	0	0
2 月	9	7230	20	7259	2/27(日)	1732		0	0	0
3 月	17	17844	66	17927	3/27(日)	2452		1	1	0
年度計	257	142864	580	143701				18	9	9

【令和 4 年度】

個別満車回数

月	大型車	小型車	二輪車	計	最大日	最大日の駐車台数	最大日における満車になった時間	満車になった回数	西駐	ワン・海中駐
4 月	127	40121	127	40478	4/17(日)	4476		11	8	3
5 月	33	37079	211	37323	5/4(水祝)	4262		10	5	5
6 月	3	8762	17	8782	6/12(日)	1800		0	0	0
7 月	2	18308	57	18367	7/17(日)	3034		2	1	1
8 月										
9 月							12:00～15:00			
10 月							12:00～15:00			
11 月										
12 月										
1 月										
2 月										
3 月	127	40121	127	40478	4/17(日)	4476		11	8	3
年度計										

※令和 4 年度は 7 月まで

＜サンシャインプール＞

【平成 30 年度】

月　日	曜日	大人	シルバー	小人	幼児	無料	計
7 月 7 日	土	126	0	135	12	18	291
7 月 8 日	日	709	0	528	98	115	1,450
7 月 14 日	土	1,368	11	771	277	4,569	6,996
7 月 15 日	日	4,340	54	2,818	913	102	8,227
7 月 16 日	月	3,052	26	2,517	548	265	6,408
7 月 21 日	土	1,152	5	759	243	117	2,276
7 月 22 日	日	2,297	17	1,585	411	342	4,652
7 月 23 日	月	877	19	1,078	165	413	2,552
7 月 24 日	火	818	19	786	144	319	2,086
7 月 25 日	水	1,108	17	1,033	220	115	2,493
7 月 26 日	木	989	30	1,010	193	108	2,330
7 月 27 日	金	1,049	36	1,062	211	179	2,537
7 月 28 日	土	2,016	24	1,369	325	16	3,750
7 月 29 日	日	1,110	9	725	185	18	2,047
7 月 30 日	月	1,172	19	1,192	218	54	2,655
7 月 31 日	火	1,063	31	1,021	186	171	2,472
7月計		23,246	317	18,389	4,349	6,921	53,222
8 月 1 日	水	1,343	33	1,472	239	146	3,233
8 月 2 日	木	1,328	32	1,236	248	326	3,170
8 月 3 日	金	1,293	30	999	189	172	2,683
8 月 4 日	土	1,937	26	1,283	361	244	3,851
8 月 5 日	日	3,592	27	2,814	639	1,205	8,277
8 月 6 日	月	1,922	44	1,772	284	163	4,185
8 月 7 日	火	1,569	51	1,470	239	422	3,751
8 月 8 日	水	1,585	36	1,326	339	803	4,089
8 月 9 日	木	1,820	37	1,473	256	20	3,606
8 月 10 日	金	1,993	30	1,912	271	971	5,177
8 月 11 日	土	3,560	28	2,506	637	175	6,906
8 月 12 日	日	4,586	50	3,155	688	1,229	9,708

8 月 13 日	月	3,962	57	2,733	460	228	7,440
8 月 14 日	火	4,492	58	3,062	683	441	8,736
8 月 15 日	水	1,416	18	874	189	29	2,526
8 月 16 日	木	1,733	37	1,423	224	213	3,630
8 月 17 日	金	2,538	54	1,801	399	306	5,098
8 月 18 日	土	2,725	34	1,633	434	230	5,056
8 月 19 日	日	5,004	60	2,938	932	950	9,884
8 月 20 日	月	2,819	38	2,188	429	78	5,552
8 月 21 日	火	1,952	38	1,452	303	409	4,154
8 月 22 日	水	1,546	19	1,246	205	127	3,143
8 月 23 日	木	1,639	15	1,277	274	285	3,490
8 月 24 日	金	1,358	18	964	229	244	2,813
8 月 25 日	土	1,992	19	1,245	337	239	3,832
8 月 26 日	日	5,180	34	3,260	908	1,576	10,958
8 月 27 日	月	1,815	28	971	286	395	3,495
8 月 28 日	火	1,291	11	560	169	10	2,041
8 月 29 日	水	1,248	12	534	241	214	2,249
8 月 30 日	木	787	11	438	114	168	1,518
8 月 31 日	金	731	13	367	112	4	1,227
8 月計		70,756	998	50,384	11,318	12,022	145,478
9 月 1 日	土	198	0	81	25	20	324
9 月 2 日	日	3,161	18	1,895	536	441	6,051
9 月 8 日	土	277	0	61	23	6	367
9 月 9 日	日	323	0	85	20	22	450
9月計		3,959	18	2,122	604	489	7,192
総計		97,961	1,333	70,895	16,271	19,432	205,892

【令和元年度】

月　日	曜日	大人	シルバー	小人	幼児	無料	計
7 月 6 日	土	1,010		638	283	41	1,972
7 月 7 日	日	1,783		1,222	478	158	3,641
7 月 13 日	土	66	0	28	6	802	902
7 月 14 日	日	471	0	287	68	9	835
7 月 15 日	月	1,906	22	1,421	394	733	4,476
7 月 20 日	土	140	6	65	22	2	235
7 月 21 日	日	179	7	133	30	3	352
7 月 22 日	月	353	7	475	78	48	961
7 月 23 日	火	708	20	733	125	67	1,653
7 月 24 日	水	906	25	964	199	174	2,268
7 月 25 日	木	859	20	929	168	264	2,240
7 月 26 日	金	998	29	1,037	198	11	2,273
7 月 27 日	土	1,623	24	1,224	279	180	3,330
7 月 28 日	日	3,274	38	2,876	668	974	7,830
7 月 29 日	月	1,343	31	1,518	261	273	3,426
7 月 30 日	火	1,286	55	1,198	229	199	2,967
7 月 31 日	水	1,520	55	1,885	286	210	3,956
7 月計		18,425	339	16,633	3,772	4,148	43,317
8 月 1 日	木	1,363	26	1,744	235	120	3,488
8 月 2 日	金	1,266	27	1,147	204	181	2,825
8 月 3 日	土	2,156	17	1,308	392	235	4,108
8 月 4 日	日	3,930	44	2,922	754	1,418	9,068
8 月 5 日	月	1,973	52	2,071	295	410	4,801
8 月 6 日	火	0	0	0	0	0	0
8 月 7 日	水	1,795	48	1,743	278	254	4,118
8 月 8 日	木	1,916	48	1,797	279	83	4,123
8 月 9 日	金	1,818	45	1,645	295	398	4,201
8 月 10 日	土	2,654	41	1,792	426	171	5,084
8 月 11 日	日	5,812	45	3,875	1,126	910	11,768

8 月 12 日	月	5,541	70	3,938	896	2,118	12,563
8 月 13 日	火	4,543	60	3,228	642	8	8,481
8 月 14 日	水	2,940	49	2,010	409	240	5,648
8 月 15 日	木	0	0	0	0	0	0
8 月 16 日	金	2,942	63	2,114	471	636	6,226
8 月 17 日	土	3,875	43	2,208	569	604	7,299
8 月 18 日	日	5,284	43	3,336	936	893	10,492
8 月 19 日	月	1,460	30	1,126	183	95	2,894
8 月 20 日	火	712	12	544	96	71	1,435
8 月 21 日	水	2,013	36	1,738	304	228	4,319
8 月 22 日	木	1,975	34	1,727	304	831	4,871
8 月 23 日	金	1,229	23	958	168	111	2,489
8 月 24 日	土	1,860	34	1,133	274	435	3,736
8 月 25 日	日	1,851	18	1,138	258	50	3,315
8 月 26 日	月	577	8	436	43	12	1,076
8 月 27 日	火	107	0	38	15	3	163
8 月 28 日	水	0	0	0	0	0	0
8 月 29 日	木	152	3	40	8	11	214
8 月 30 日	金	365	3	150	41	39	598
8 月 31 日	土	1,683	10	979	336	109	3,117
8 月計		63,792	932	46,885	10,237	10,674	132,520
9 月 1 日	日	306	2	155	36	79	578
9 月 7 日	土	777		269	133	141	1,320
9 月 8 日	日	2,921		1,469	775	639	5,804
9月計		4,004	2	1,893	944	859	7,702
総計		86,221	1,273	65,411	14,953	15,681	183,539

【令和 4 年度】

月　日	曜日	大人	シルバー	小人	幼児	無料	計
7 月 9 日	土	1,071	9	3,159	508	68	4,815
7 月 10 日	日	2,314	22	1,527	907	247	5,017
7 月 16 日	土	1,200	21	680	349	131	2,381
7 月 17 日	日	3,634	35	2,236	1,158	323	7,386
7 月 18 日	月	823	6	612	178	62	1,681
7 月 22 日	金	618	9	664	230	63	1,584
7 月 23 日	土	1,169	14	735	399	103	2,420
7 月 24 日	日	1,797	23	1,232	556	175	3,783
7 月 25 日	月	664	17	678	230	46	1,635
7 月 26 日	火	747	10	649	205	66	1,677
7 月 27 日	水	928	25	912	265	96	2,226
7 月 28 日	木	699	35	734	246	67	1,781
7 月 29 日	金	896	26	847	267	106	2,142
7 月 30 日	土	1,384	11	886	397	136	2,814
7 月 31 日	日	2,193	29	1,453	672	205	4,552
7 月計		20,137	292	17,004	6,567	1,894	45,894

※令和 4 年度は 7 月まで

＜園内交通施設利用者＞　※令和 4 年度は 7 月まで

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
4 月	15	462	1,865
5 月	0	617	4,549
6 月	0		
7 月			
8 月			
9 月	1,223	0	
10 月	1,039	1,166	
11 月	229		
12 月			
1 月			
2 月			
3 月	69	446	
合計	2,575	2,691	6,414

■国営海の中道海浜公園施設修繕履歴（R2-3）

○飲食・物販施設

期間	項目	回数／年	年間金額（円）	主な修繕	備考
令和 2 年度	修繕	4	113,250	製氷機修繕　他	
	清掃	2	9,000	定期ワックス清掃分	
令和 3 年度	修繕	5	116,300	ガス給湯器修繕　他	
	清掃	2	9,100	定期ワックス清掃分	

○サイクリング施設

期間	項目	回数／年	年間金額（円）	主な修繕	備考
令和 2 年度	修繕	年間管理	1,094,340	自転車修繕　他	
令和 3 年度	修繕	年間管理	637,082	自転車修繕　他	

○駐車場

期間	項目	回数／年	年間金額（円）	主な修繕	備考
令和 2 年度	修繕	5	194,400	精算機修繕　等	
	除草	年間管理	4,636,900		
	清掃		1,267,299		
	巡視		2,697,950		
令和 3 年度	修繕	2	45,000	精算機修繕　等	
	除草	年間管理	4,618,482		
	清掃		1,435,276		
	巡視		4,341,155		

○サンシャインプール

期間	項目	回数／年	年間金額（円）	主な修繕	備考
令和 2 年度	修繕	3	2,995,000	台風復旧工事　他	
令和 3 年度	修繕	23	11,851,894	目地部補修工事　他	

○園内交通施設

期間	項目	回数／年	年間金額（円）	主な修繕	備考
令和 2 年度	修繕	0			
令和 3 年度	修繕	0			

■国営海の中道海浜公園施設資産一覧(1/N)

施設名	区分	詳細	数量等	所有者	公募記載
	建物	木造(ログハウス)	一式	テナント	
		自動販売機防犯設備(園内 27 カ所)	一式	テナント	
		大型テント下売店	一式	テナント	
		B 売店横催事売店	一式	テナント	
		プールロッカー棟増設	一式	テナント	
		名車歴史館建物	一式	テナント	
	建物付属設備	売店厨房設備	一式	テナント	
		金属ｼｬｯﾀｰ(動物の森売店)	一式	テナント	
		電気設備(自販機)	一式	テナント	
		電気設備	一式	テナント	
		給排水設備	一式	テナント	
		換気設備	一式	テナント	
		動力配管設備	一式	テナント	
		プレハブ売店設備	一式	テナント	
		売店電気設備工事	一式	テナント	
		電気配線工事	一式	テナント	
		売店庇テント設備	一式	テナント	
		外柵設備	一式	テナント	
		電気増設工事	一式	テナント	
		給水工事	一式	テナント	
		プールガーデン設備	一式	テナント	
		催事販売 BOX 工事	一式	テナント	
		SL 電気設備	一式	テナント	
		歴史館電気設備	一式	テナント	
		歴史館空調換気工事	一式	テナント	
		動力配管設備	一式	テナント	

		器具備品	冷凍庫	一式	テナント	
			製氷機	一式	テナント	
			電子レンジ	一式	テナント	
			冷凍冷蔵庫	一式	テナント	
			厨房機器	一式	テナント	
			ｴｱｺﾝ	一式	テナント	
			監視カメラシステム	一式	テナント	
			木製ｶｳﾝﾀｰ・ｺｰﾅｰｶｳﾝﾀｰ・ﾚｼﾞ台	一式	テナント	
			エスプレッソマシーン	一式	テナント	
			AED	一式	テナント	
			POS システム	一式	テナント	
			ソフトクリームサーバー	一式	テナント	
			コンテナ冷凍庫	一式	テナント	
			硬貨選別収納機	一式	テナント	
			硬貨包装機	一式	テナント	
			大判プリンター	一式	テナント	
			ゆで麺機	一式	テナント	
			プール看板	一式	テナント	
			管理棟空調機	一式	テナント	
			コインロッカー	一式	テナント	
			ガス自動炊飯器	一式	テナント	
			プールクリーナー	一式	テナント	
			メニュー看板	一式	テナント	
			カート看板	一式	テナント	
			手動油圧プレス機	一式	テナント	
			オンロードゴーカート	一式	テナント	
			オフロードゴーカート	一式	テナント	
			歴史館カーリフト	一式	テナント	
			遊戯機関車看板	一式	テナント	
			歴史館サイン工事	一式	テナント	
		構築物	丸太ガード	一式	テナント	
			フェンス	一式	テナント	
			コンクリートガード	一式	テナント	
			SL 舗装	一式	テナント	
			SL ピット	一式	テナント	
			オンオフゴーカート舗装	一式	テナント	
			歴史館外構工事	一式	テナント	

		車輌	冷凍車	2台	テナント	
			キャリアカー	1台	テナント	
			移動式クレーン車	1台	テナント	
			乗用車	5台	テナント	
			大型バス	11台	テナント	

■収益施設売上額

1. 固定的収益施設

施設区分		売上額(千円)	備考
施設区分	施設名／内訳	(R2,3 平均)	
売店	①マリン駐車場売店	10,994	
	②動物の森アニマルショップ売店	10,007	
駐車場	① 西駐車場	44,260	
	② 海中口ﾜﾝ口駐車場	28,064	
サイクリング施設	① 西サイクロ	41,250	
	② 海中口	11,871	
	③ ワンダーワールドロ	18,653	
自動販売機	① 自動販売機	35,733	
サンシャインプール	① サンシャインプール	0	
園内交通施設	① 園内交通施設	592	

■国営海の中道海浜公園施設事故等報告件数(R2-3)

項目	事故等件数	
	令和 2 年度	令和 3 年度
売店	0 件	0 件
駐車場	0 件	0 件
自転車	3 件	3 件
自販機	0 件	0 件
サンシャインプール	0 件	0 件
園内交通施設	0 件	0 件
合計	3 件	3 件

収益施設従業員数一覧

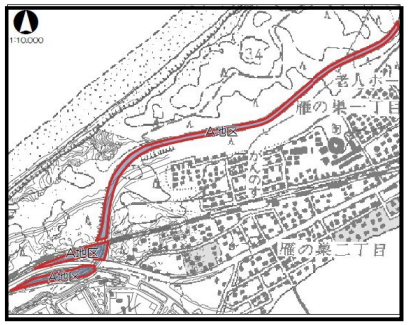
【令和 2 年度】

施設区分		面積	従業員数(人)			備考				
施設区分	施設名/内訳	(m²)	通常期	繁忙期	閑散期					
飲食・物販施設	マリン駐車場売店	38	1 人	2 人	1 人	面積:設置管理許可面積				
	ｱﾆﾏﾙﾐｭｰｼﾞｱﾑｼｮｯﾌﾟ	11	1 人	2 人	1 人	面積:設置管理許可面積				
駐車場						普通車	大型車	二輪	障碍者用	計
	西駐車場	75,986	1 人	1～2 人	1 人	1589 台	31 台	30 台	12 台	1662 台
	ワンロ・海中駐車場	40,699	1 人	1～2 人	1 人	1060 台	5 台		12 台	1077 台
サイクリング施設										
	西サイクリング	785	2 人	3～6 人	2 人					
	海中駅口サイクル	142	1 人	2～3 人	1 人					
	ワンロサイクル	184	1 人	2～3 人	1 人					
園内交通施設		車庫 177		2 人						
サンシャインプール		敷地 92,243		143～156 人						

【令和 3 年度】

施設区分		面積	従業員数(人)			備考				
施設区分	施設名/内訳	(m²)	通常期	繁忙期	閑散期					
飲食・物販施設	マリン駐車場売店	38	1 人	2 人	1 人	面積:設置管理許可面積				
	ｱﾆﾏﾙﾐｭｰｼﾞｱﾑｼｮｯﾌﾟ	11	1 人	2 人	1 人	面積:設置管理許可面積				
駐車場						普通車	大型車	二輪	障碍者用	計
	西駐車場	75,986	1 人	1～2 人	1 人	1589 台	31 台	30 台	12 台	1662 台
	ワンロ・海中駐車場	40,699	1 人	1～2 人	1 人	1060 台	5 台		12 台	1077 台
サイクリング施設										
	西サイクリング	785	2 人	3～6 人	2 人					
	海中駅口サイクル	142	1 人	2～3 人	1 人					
	ワンロサイクル	184	1 人	2～3 人	1 人					
園内交通施設		車庫 177		2 人						
サンシャインプール		敷地 92,243		143～156 人						

海の中道海浜公園　供用区域図



地区名	総面積(ha)
A地区	2.7
B地区	97.8
C地区	190.9
D地区	58.2

供用順	供用開始日
1	昭和56年10月20日
2	昭和58年4月1日
3	昭和58年6月24日
4	昭和59年4月21日
5	昭和59年6月29日
6	昭和60年4月13日
7	昭和61年4月12日
8	昭和61年7月11日
9	昭和62年4月25日
10	昭和62年10月26日
11	昭和63年10月26日
12	平成元年3月17日
13	平成元年7月29日
14	平成2年3月24日
15	平成3年8月1日
16	平成4年12月18日
17	平成5年10月8日
18	平成6年4月22日
19	平成6年7月20日
20	平成7年4月15日
21	平成7年7月21日
22	平成9年4月1日
23	平成11年4月12日
24	平成14年3月21日
25	平成17年3月19日
26	平成22年3月20日
27	平成23年3月19日
28	平成25年4月1日
29	平成29年3月25日
30	令和2年2月1日
31	令和2年4月19日

供用順	供用開始日	面積(ha)	地区	A地区	B地区	C地区	D地区
1	昭和56年10月20日	58.7	C	0	0	58.7	0
2	昭和58年4月1日	8.4	C	0	0	8.4	0
3	昭和58年6月24日	6	C	0	0	6	0
4	昭和59年4月21日	5.3	C	0	0	5.3	0
5	昭和59年6月29日	6	C	0	0	6	0
6	昭和60年4月13日	6	C	0	0	6	0
7	昭和61年4月12日	6	C	0	0	6	0
8	昭和61年7月11日	5.6	C	0	0	5.6	0
9	昭和62年4月25日	13.8	C	0	0	13.8	0
10	昭和62年10月26日	7.4	C	0	0	7.4	0
11	昭和63年10月26日	4.3	C	0	0	4.3	0
12	平成元年3月17日	11.5	A、C	2.7	0	8.8	0
13	平成元年7月29日	3.9	C、D	0	0	1.2	2.7
14	平成2年3月24日	13.4	C、D	0	0	7.7	5.7
15	平成3年8月1日	6.1	C、D	0	0	4.3	1.8
16	平成4年12月18日	8.3	C	0	0	8.3	0
17	平成5年10月8日	11.8	C	0	0	11.8	0
18	平成6年4月22日	3.7	C、D	0	2.2	0	1.5
19	平成6年7月20日	1.5	C	0	0	1.5	0
20	平成7年4月15日	1.4	C	0	0	1.4	0
21	平成7年7月21日	1	C	0	0	1	0
22	平成9年4月1日	9	C	0	0	9	0
23	平成11年4月12日	6.4	C	0	0	6.4	0
24	平成14年3月21日	24.7	B、C	0	24.3	0.4	0
25	平成17年3月19日	18.2	D	0	0	0	0
26	平成22年3月20日	15.3	B	0	15.3	0	0
27	平成23年3月19日	27.3	D	0	0	0	19.2
28	平成25年4月1日	1.4	C	0	0	1.4	0
29	平成29年3月25日	4.2	B	0	4.2	0	27.3
30	令和2年2月1日	0.2	C	0	0	0.2	0
31	令和2年4月19日	51.8	B	0	51.8	0	0

別紙３９

別紙４０

空調設備点検機器

	施設名	品名・型番	台数
1	管理センター	ダイキン　SZYC224CAWH	4
		日立　　PC-ARFV1	15
		ダイキン　FHCP 型	3
2	西口管理棟	ダイキン空冷ヒートポンプエアコン　SRYP8HA	1
3	動物の森レストハウス	ダイキン空冷ヒートポンプエアコン　SRY20HA	1
4	大芝生レストハウス	ダイキン空冷ヒートポンプエアコン　SRY15HA	1
5	子供の広場管理棟	三菱　パッケージエアコンユニット　MPF-RP280BA3	4

別紙４１

汚水ポンプ設備点検内容

１． 汚水ポンプ（当公園内の汚水（下水）を福岡市の下水本管に流すための汚水ポンプ）数

① 汚水ポンプ室内　　：10 箇所（各：ポンプ 2 台・操作盤 1 面）
② マンホールポンプ所 ：12 箇所（各：ポンプ 2 台・操作盤 1 面）

２． 点検時期（年 2 回）

① 夏季
② 冬季

３． 点検内容

① ポンプ絶縁抵抗
② モーター抵抗
③ 運転時電流
④ 運転時電圧
⑤ 運転時振動
⑥ 異常音
⑦ 盤内各端子の増締
⑧ 各表示灯の点灯確認
⑨ 各スイッチ類の作動確認
⑩ サーマル設定確認
⑪ 補助リレー外観点検
⑫ フロートスイッチ作動確認
⑬ 盤内絶縁抵抗

別紙４２

放送設備点検内容

１．点検箇所

① 西口管理棟
② 子供の広場管理棟
③ インフォメーションセンター
④ 動物の森管理棟
⑤ 渡船場管理棟
⑥ シオヤ展望管理棟
⑦ 光と風の広場管理棟の放送設備
⑧ 環境共生の森拠点施設
⑨ いこいの森
⑩ 海の松原
⑪ 森の池
⑫ 屋外スピーカー

２．点検内容

① 機器清掃（放送装置架）
② 外観点検（放送装置架、スピーカー）
③ 動作確認（放送装置架、各スピーカーユニットの音声確認）
※ 音声確認はＢＧＭを使用し、各スピーカー１個について現地で点検確認を行うものとする。

３．点検機器（放送装置架）

① モニターパネル
② 電力増幅器
③ アンプ前置増幅パネル
④ マイク放送選択パネル
⑤ アンプ用チャンネルセレクターパネル
⑥ リモート制御パネル
⑦ 出力制御パネル
⑧ 入力端子パネル
⑨ 電源パネル及び増設電源パネル
⑩ バッテリー
⑪ ハンドマイク
⑫ チューナー
⑬ カセットデッキ
⑭ ＣＤデッキ

４．点検機器（屋外用スピーカー）

トーンゾイレスピーカー（ポール取付型・ポールH= 3～10m、建物取付型）

５．その他の放送装置

① 避雷回路盤
② 卓上マイクユニット

別紙４３

動 物 管 理 実 績

令和２年度

動　物　名	頭 数	餌　の　種　類	日当たり標準餌量（kg）	年間餌量（kg）
ヒツジ	7	乾草、ペレット	8～9	3,000～3,500
トカラヤギ	10	乾草、ペレット	5～6	1,900～2,000
ラマ	7	乾草、ペレット	14～16	5,200～6,000
クロクモザル	9	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	8～9	2,900～3,300
フサオマキザル	20	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	10～11	3,700～4,000
リスザル	126	ニンジン、イモ、バナナ、ミカン、zooソーセージ、サルペレット、ピーナッツ、ウズラ卵	18～19	6.500～ 7,000
ウサギ	36	乾草、ウサギペレット	3～4	1.800～2,200
フレミッシュジャイアン	1	乾草、ウサギペレット	1～1.5	370～550
カピバラ	5	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	10～12	3700～4.400
マーラ	17	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	14～16	5,100～5,900
モルモット	69	乾草、ウサギペレット	8	3,000
プレーリードッグ	14	乾草、ウサギペレット、ニンジン青菜	1	370
カンガルー	16	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	27～30	10000～11,000
ミニブタ・イノシシ	3	ブタ用ペレット	2.5～3	900～1,100
シェットランドポニー	5	乾草、ペレット	12～14	4,400～5,100
ミゼットポニー	1	乾草、ペレット	2.5～3	900～1,100
ウエルッシュポニー	1	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
ロバ	3	乾草、ペレット	6～7	2,200～2600
水鳥	37	水禽用ペレット	8	3,000
フラミンゴ	80	フラミンゴペレット	16～17	5,800～6,200
インドクジャク	10	青菜、成鶏用ツブエ	3.5～4	1,300～1,500
ホロホロチョウ	9	成鶏用ツブエ	1	370
コンゴウインコ	10	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	2	730
タイハクオウム	1	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	0.5	190
ﾖｳﾑ・ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ・ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	1	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	0.15	55
マナヅル	4	ツル用ペレット	1	370
ﾑﾂｱｼｶﾞﾒ・ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ・ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	5	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、	1～2	400～700
ハコガメ	5	カメの餌	0.08	30

動 物 管 理 実 績

令和３年度

動　物　名	頭 数	餌　の　種　類	日当たり標準餌量（kg）	年間餌量（kg）
ヒツジ	8	乾草、ペレット	10～11	3,700～4,000
トカラヤギ	8	乾草、ペレット	4～5	1,500～2,000
ラマ	7	乾草、ペレット	14～16	5,200～6,000
クロクモザル	9	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	8～9	2,900～3,300
フサオマキザル	23	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	12～13	4,400～4,800
リスザル	120	ニンジン、イモ、バナナ、ミカン、zooソーセージ、サルペレット、ピーナッツ、ウズラ卵	17～19	6.200～ 7,000
ウサギ	27	乾草、ウサギペレット	3～4	1.100～1,500
フレミッシュジャイアン	2	乾草、ウサギペレット	1～1.5	370～550
カピバラ	9	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	17～19	6,200～7,000
マーラ	15	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	13～14	4,800～5,200
モルモット	60	乾草、ウサギペレット	8	3,000
プレーリードッグ	14	乾草、ウサギペレット、ニンジン青菜	1	370
カンガルー	16	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	27～30	10000～11,000
ミニブタ・イノシシ	3	ブタ用ペレット	2.5～3	900～1,100
シェットランドポニー	6	乾草、ペレット	13～15	4,800～5,500
ミゼットポニー	1	乾草、ペレット	2.5～3	900～1,100
ウエルッシュポニー	1	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
ロバ	3	乾草、ペレット	6～7	2,200～2600
水鳥	34	水禽用ペレット	8	3,000
フラミンゴ	78	フラミンゴペレット	15～17	5,500～6,200
インドクジャク	10	青菜、成鶏用ツブエ	3.5～4	1,300～1,500
ホロホロチョウ	5	成鶏用ツブエ	0.5	190
コンゴウインコ	16	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	3	1,100
タイハクオウム	2	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	0.3	110
ﾖｳﾑ・ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ・ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	1	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	0.15	55
マナヅル	4	ツル用ペレット	1	370
ﾑﾂｱｼｶﾞﾒ・ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ・ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、	1～2	400～700
ハコガメ	3	カメの餌	0.08	30

動 物 管 理 実 績

令和4年度（4月～7月）

動　物　名	頭 数	餌　の　種　類	日当たり標準餌量（kg）	年間餌量（kg）
ヒツジ	8	乾草、ペレット	10～11	3,700～4,000
トカラヤギ	8	乾草、ペレット	4～5	1,500～2,000
ラマ	7	乾草、ペレット	14～16	5,200～6,000
クロクモザル	9	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	8～9	2,900～3,300
フサオマキザル	23	ニンジン、イモ、青菜、バナナ、ミカン、卵、ソーセージ、サルペレット、ピーナッツ	12～13	4,400～4,800
リスザル	118	ニンジン、イモ、バナナ、ミカン、zooソーセージ、サルペレット、ピーナッツ、ウズラ卵	17～19	6.200～ 7,000
ウサギ	25	乾草、ウサギペレット	3～4	1.100～1,500
フレミッシュジャイアン	10	乾草、ウサギペレット	5.5～6	2,000～2,200
カピバラ	9	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	17～19	6,200～7,000
マーラ	15	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	13～14	4,800～5,200
モルモット	56	乾草、ウサギペレット	8	3,000
プレーリードッグ	14	乾草、ウサギペレット、ニンジン青菜	1	370
カンガルー	16	乾草、ペレット、ニンジン、イモ、青菜	27～30	10000～11,000
ミニブタ・イノシシ	3	ブタ用ペレット	2.5～3	900～1,100
シェットランドポニー	6	乾草、ペレット	13～15	4,800～5,500
ミゼットポニー	1	乾草、ペレット	2.5～3	900～1,100
ウエルッシュポニー	1	乾草、ペレット	3～4	1,100～1,500
ロバ	3	乾草、ペレット	6～7	2,200～2600
水鳥	33	水禽用ペレット	8	3,000
フラミンゴ	78	フラミンゴペレット	15～17	5,500～6,200
インドクジャク	10	青菜、成鶏用ツブエ	3.5～4	1,300～1,500
ホロホロチョウ	4	成鶏用ツブエ	0.5	190
コンゴウインコ	15	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	3	1,100
タイハクオウム	2	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	0.3	110
ﾖｳﾑ・ｱｵﾎﾞｳｼｲﾝｺ・ｷｴﾘﾎﾞｳｼｲﾝｺ	1	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、ヒマワリ、ピーナッツ	0.15	55
マナヅル	4	ツル用ペレット	1	370
ﾑﾂｱｼｶﾞﾒ・ｹﾂﾞﾒﾘｸｶﾞﾒ・ﾋｮｳﾓﾝﾘｸｶﾞﾒ	4	ニンジン、青菜、バナナ、ミカン、ソーセージ、	1～2	400～700
ハコガメ	3	カメの餌	0.08	30

令和２年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
●抗生剤					
テラマイシンＬＡ注射液	２箱	8本	カンガルー病、スナッフルな	カンガルー、げっ歯類	
ホスミシンドライシロップ	0	4本	使用実績なし		
バイトリル2.5%HV液	１本	1本	肺炎、腸炎など	水禽類	
バイトリル2.5%注射液	１本	1本	肺炎、腸炎など	げっ歯類	
バイトリル10%注射液	２本	2本	外傷、肺炎、泌尿生殖器感染	ヤギ、ヒツジ、ポニー、げっ歯類など	
バイトリルワンショット	２本	2本	外傷、肺炎、泌尿生殖器感染	ヤギ、ヒツジ、ポニー、げっ歯類など	
バイトリル50mg錠	１箱	0箱	使用実績なし		
バイトリル150mg錠	２箱	1箱	外傷など	マーラ、カピバラなど	
ビクタス注	１本	3箱	外傷、肺炎など	げっ歯類	
ビクタスSS錠	１箱	1本	外傷、肺炎など	げっ歯類	
レボフロキサシン錠250mg	２箱	1箱	外傷、肺炎、腸炎など	カピバラ	
ノルフロキサシン錠100mg	0	2箱	使用実績なし		
マイシリンゾル	0	9本	外傷など		
カナマイシン	なし	1箱	使用実績なし		
ビブラマイシン錠50ｍｇ	なし	1箱	使用実績なし		
クロロマイセチン錠50	なし	2箱	使用実績なし		
ビクシリン	２V	1箱	外傷、肺炎	ヤギ、ヒツジ	
ダラシン75mg	なし	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠75	なし	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠300	１箱	1箱	外傷	クモザル	
セファクリア錠600	なし	2本	使用実績なし		
ゲンタシン注	１箱	1箱	スナッフル	ウサギ	
セフタジジム	なし	1本	使用実績なし		
トリオプリン注射液	なし	1/2本	使用実績なし		
シノラール散	なし	1袋	使用実績なし		
エクセネル注	１V	4V	外傷	カンガルー	
セファゾリン注	なし	1箱	使用実績なし		
●抗真菌薬					
ナイスタチン錠	0	0	使用実績なし		
フルコナゾール	0	6T	使用実績なし		
イトコラゾール錠50	５箱	20T	アスペルギルス症	フラミンゴ	
アンホテリシン	0	80T	使用実績なし		
●抗炎症薬					
メタカム0.2%注射液	１/２本	1本	鎮痛		
メタカム懸濁液	0	1本	使用実績なし		
プレドニゾロン注	３本	7本	ショック緩和		
プレドニゾロン錠　５mg	１袋	7袋	ショック緩和、制吐		
プレドニゾロンコハク酸エステルNa注	0	1箱	使用実績なし		
フルニキシン注10%	２本	3本	疝痛		
メロキシカム錠5mg	0	1箱	使用実績なし		
メロキシカム錠10mg	0	1箱	使用実績なし		
メタカムチュアブル錠1.0mg	0	1箱	使用実績なし		
水性デキサメサゾン注A	0	1箱	使用実績なし		
●駆虫薬					
バイコックス	１/２本	1+1/2本	コクシジウム症	ヒツジ、カピバラ	
イベルメック散	0	1袋	使用実績なし		
イベルメック	１本	1本	腰麻痺予防	ヤギ、ヒツジ	
アイボメック	少量	1本	フラミンゴ、ガン	ハジラミ駆虫	
アイボメックトピカル	１/４本	1＋1/2箱			
エプリネックトピカル	0	1本	使用実績なし		
デクトマックス	1/2本	1/2本	腰麻痺予防	ヤギ、ヒツジ	
フラジール	１箱	1箱	駆虫	カピバラ	
フルモキサール散	１箱	1＋1/2箱	駆虫	ホロホロチョウ、クジャク	
レボリューション12%2.0ml	１箱	1＋1/2箱	駆虫	モルモット	
ドロンタールプラス	0	3箱	使用実績なし		
フライガードスプレー	２本	5本	ハエ除け	ポニー、ロバ	
●消化器薬					

令和２年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ミヤリサン	2箱	3箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
エリーテン注	１箱	2箱	嘔吐、食欲不振		
プラミール錠	0	1箱	使用実績なし		
プラミールシロップ	0	1本	使用実績なし		
グリセリン「ヤマゼン」500ml	１本	5本	浣腸	ポニー	
硫酸マグネシウム	0	8箱	使用実績なし		
ペリアクチン散1%	0	1/2箱	使用実績なし		
ディアバスター錠	３箱	1箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
ビオスリー	２箱	2箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
獣医散Z	１/２箱	1/2箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
プロナミド	0	0箱	使用実績なし		
タガメット注	0	1箱	使用実績なし		
タガメット錠	0	1箱	使用実績なし		
オメプラゾール錠	0	1箱	使用実績なし		
流動パラフィン	0	5本	使用実績なし		
シンラック液	0	2本	使用実績なし		
ラクツロース末・P	0	1/2箱	使用実績なし		
●麻酔薬					
セラクタール2%	１本	1本	鎮静麻酔	ポニー、ヒツジ	
牛用セラクタール	0	0	使用実績なし		
ケタラール500mg	１本	2本	鎮静麻酔	ポニー、カピバラ、ウサギ、モルモット、カンガルーなど	
塩酸ケタミン原末	0	37.5g	使用実績なし		
塩酸ケタミン5%溶液	0	1本	使用実績なし		
ドルペネ	２本	3本	鎮静麻酔	マーラ、カピバラ、カンガルー	
アチパメ	２本	2本	覚醒	マーラ、カピバラ、カンガルー	
イソフル	１本	3＋1/2本	鎮静麻酔	ウサギ、モルモット、鳥類	
ベトルファノール	１/２本	1/2本	鎮痛	ポニー	
キシロカイン1%	0	5V	使用実績なし		
キシロカイン2%	0	1/2箱	使用実績なし		
キシロカインスプレー	0	2箱	使用実績なし		
キシロカインゼリー	0	1本	使用実績なし		
●ビタミン剤					
アニビタン100注射液	１箱	2箱	点滴		
メイロング	４箱	10箱	白筋症予防		
パンカルG酸	２箱	1箱	肝機能障害など		
アスコルビン酸	４個	2個	ビタミン補給		
アスコルビン酸注射液	３箱	15箱	点滴		
パンビタン	２袋	2袋	ビタミン補給		
エーフィード	0	1袋	使用実績なし		
レバチオ液	0	2箱	使用実績なし		
レバギニン	３本	7本	ビタミン補給		
トンキー200	0	1本	使用実績なし		
フェロステック錠	２箱	0箱	貧血		
●補液					
ソルラクトD	0	1袋	使用実績なし		
ソルラクト250ml	１箱	2箱	点滴	マーラ、カピバラ、カンガルーなど	
ソルラクト500ml	２箱	3袋	点滴	ポニーなど	
50%ブドウ糖注射液	１０巻	40管	投薬	げっ歯類	
生理食塩水500ml	３箱	2箱	点滴、創傷洗浄	マーラ、ウサギ、ポニーなど	
生理食塩水100ml	１箱	1箱	眼洗浄、ネブライザーなど	ウサギ	
●劇薬					
酢酸鉛	0	1本	使用実績なし		
エクイバランゴールド	0	2本	使用実績なし		
エクイマックス	0	0本	使用実績なし		
キモチーム	0	2箱	使用実績なし		
ヨードチンキ	0	6本	使用実績なし		
硝酸銀	0	本	使用実績なし		
抱水クロラール	0	1本	使用実績なし		

令和２年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ボログルコン酸カルシウム	0	2本	使用実績なし		
ボスミン注	１箱	1箱	ネブライザー	ウサギ	
アトロピン「フソー」	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク静注用	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク皮下・筋注用	0	1箱	使用実績なし		
動物用日脳TCワクチン	１本	0本	ワクチン	ポニー、ロバ	
馬インフルエンザワクチン	１２本	2本	ワクチン	ポニー、ロバ	
馬3種混合ワクチン	１２本	3本	ワクチン	ポニー、ロバ	
ホルマリン	0	21本	使用実績なし		
苛性ソーダ	１本	4本	消毒増強	獣舎消毒など	
メタノール		1本	使用実績なし		
キシレン	１本	1本	試薬	検査試薬	
アンモニア水	0	2本	使用実績なし		
水酸化カリウム	0	1本	使用実績なし		
エンドックス	0	1缶	使用実績なし		
●向精神薬					
ホリゾン	0	1箱	使用実績なし		
ドルミカム	0	3箱	使用実績なし		
セルシン100倍散	0	1缶	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	1本	使用実績なし		
ブプレノルフィン	0	1箱	使用実績なし		
●点眼薬					
ベノキシール	0	6本	使用実績なし		
ファルキサシン点眼液	0	2本	使用実績なし		
ヒアルロン酸	0	4本	使用実績なし		
オフロキサシン眼軟膏	１箱	5本	結膜炎、角膜炎	げっ歯類など	
エコリシン眼軟膏	５本	1箱+8本	結膜炎、角膜炎	げっ歯類など	
フルオロメトロン点眼液	0	8本	使用実績なし		
ゲンタマイシン点眼液	0	9本	使用実績なし		
●消毒薬					
クリアキル200　181	5缶	3缶	感染症対策	獣舎消毒など	
消毒用イソプロパノール50%（16１）	10箱	4箱	感染症対策	コロナ対策	
消毒用イソプロピルアルコール70%	1箱	3缶	感染症対策	治療室用	
消毒用エタノールα5L	0	1本	使用実績なし		
クレンテ	1箱	4箱	感染症対策	踏み込み槽	
ゼクトン	2缶	2缶	土壌散布	マーラ、カピバラ、カンガルー	
フェノール水	0	1本	使用実績なし		
パルバスター液	0	2缶	使用実績なし		
ペースサントップT	1箱	1箱	感染症対策	踏み込み槽	
オキシドール	3本	6本	試薬	骨格標本など	
動物用イソジン液	3本	5本	術部消毒、創傷消毒	ポニー、マーラ、カピバラ、齧歯、ヤギ、ヒツジなど	
消毒用エタプロパコール500ml	0	3本	使用実績なし		
ヒビテン	2本	1本	術部消毒、器具消毒	人、鳥類	
スクラビンS４%	3本	3本	術部消毒、器具消毒	人、ポニー、ヤギ、ヒツジなど	
復方ヨードグリセリン	0	1本	使用実績なし		
５%グルコン酸クロルヘキシジン液	1本	2本	術部消毒、器具消毒	人	
アクリノール	0	6本	使用実績なし		
クレゾール	0	1本	使用実績なし		
ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	0	3本	使用実績なし		
PVPﾖｰﾄﾞ液10%	0	1本	使用実績なし		
希ヨードチンキ	0	1本	使用実績なし		
●外用薬					
ブロメライン軟膏	0	2本	使用実績なし		
フロリードDクリーム	0	9本	使用実績なし		
オキナゾールクリーム	0	1本	使用実績なし		
クラーゲン	0	1個	使用実績なし		
ハイセチンP軟膏	0	8本	使用実績なし		
ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	0	1箱	使用実績なし		

令和２年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ピルスー	0	2本	使用実績なし		
フランセチンＴ パウダー	1箱	2箱	創傷治療	モルモット、マーラなど	
グラニュゲル	0	3本	使用実績なし		
イントラサイトジェル	0	1箱	使用実績なし		
ベテキチン　10cm×10cm	1箱	1箱	創傷治療	モルモットなど	
ハイドロサイトADプラス	1枚	3枚	創傷治療	モルモットなど	
ハイドロサイトプラス	0	2箱	使用実績なし		
ノルバサンシャンプー	5本	3本	シャンプー	モルモット	
セボゾールシャンプー	2本	1本	シャンプー	モルモット	
ゲンタシン軟膏	2箱	1箱	創傷治療	ポニー、マーラ、カピバラ、齧歯、ヤギなど	
ゲーベンクリーム	1個	3個	創傷治療	マーラなど	
クイックストップ	2個	1個	止血剤	げっ歯類、鳥類	
ボスミン外用液	0	1本	使用実績なし		
●吸入薬					
ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
クロロマイセチン局所用5%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
メプチン吸入液0.01%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
●その他					
ネオヘキサメチオニン	0	1本	使用実績なし		
ニチファーゲン注5ml	0	7箱	使用実績なし		
キョウミノチン20ml	0	1箱	使用実績なし		
ニチファーゲン配合錠	0	6袋	使用実績なし		
ウルソ50mg錠	0	1箱	使用実績なし		
ウルソ100mg錠	0	1箱	使用実績なし		
ムコダイン錠	0	1箱	使用実績なし		
ネオフィリン（注射薬）	0	0	使用実績なし		
ネオフィリン（経口薬）	0	1箱	使用実績なし		
ラシックス注100ｍｇ	0	1箱	使用実績なし		
フロセミド注射液20ｍｇ	0	1箱	使用実績なし		
ラドンナ注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン錠250mg	0	1袋	使用実績なし		
アドナ錠30mg	0	1箱	使用実績なし		
ヘパリンNa	1本	2箱	抗凝固剤	ポニー、カンガルーなど採血時	
アトニン-0	0	1箱	使用実績なし		
単シロップ	0	1本	使用実績なし		
ウロストン	0	10包	使用実績なし		
デトキソール	0	1箱	使用実績なし		
ブライアン点滴静注	0	1箱	使用実績なし		
ブロサポ	0	8包	使用実績なし		
●試薬					
尿素	0	1本	使用実績なし		
ヤバシライム	2箱	1箱	試薬	吸入麻酔器	
塩化ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
プロピレングリコール	0	1本	使用実績なし		
四ホウ酸ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
アセトカルミン溶液	0	1本	使用実績なし		
無水エタノール	0	1本	使用実績なし		
ジメチルスルホキシド	0	1本	使用実績なし		
ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	0	1本	使用実績なし		
リン酸一ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
リン酸二ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
ホウ酸	0	1本	使用実績なし		

令和３年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
●抗生剤					
テラマイシンＬＡ注射液	２箱	2箱	カンガルー病、スナッフルな	カンガルー、げっ歯類	
ホスミシンドライシロップ	1本	3本	エルシニア症	リスザル	
バイトリル2.5%HV液	１本	1本	肺炎、腸炎など	水禽類	
バイトリル2.5%注射液	１本	1本	肺炎、腸炎など	げっ歯類	
バイトリル10%注射液	1本	1本	外傷、肺炎、泌尿生殖器感染	ヤギ、ヒツジ、ポニー、げっ歯類など	
バイトリルワンショット	1本	2本	外傷、肺炎、泌尿生殖器感染	ヤギ、ヒツジ、ポニー、げっ歯類など	
バイトリル50mg錠	１箱	2箱	外傷など	マーラなど	
バイトリル150mg錠	1箱	1箱	外傷、腸炎など	マーラ、カピバラなど	
ビクタス注	１本	0	外傷、肺炎など	げっ歯類	
ビクタスSS錠	１箱	3箱	外傷、肺炎など	げっ歯類	
レボフロキサシン錠250mg	２箱	2箱	外傷、肺炎、腸炎など	カピバラ	
ノルフロキサシン錠100mg	0	1箱	外傷、肺炎、腸炎など	マーラ、カピバラ	
マイシリンゾル	0	9本	外傷など		
カナマイシン	なし	1箱	使用実績なし		
ビブラマイシン錠50ｍｇ	なし	1箱	使用実績なし		
クロロマイセチン錠50	なし	2箱	使用実績なし		
ビクシリン	５V	1箱	外傷、肺炎	ヤギ、ヒツジ	
ダラシン75mg	なし	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠75	0	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠300	0	1箱	外傷	クモザル	
セファクリア錠600	0	2本	使用実績なし		
ゲンタシン注	1箱	1箱	スナッフル	ウサギ	
セフタジジム	0	1本	使用実績なし		
トリオプリン注射液	0	1/2本	使用実績なし		
シノラール散	0	1袋	使用実績なし		
エクセネル注	１V	1箱	外傷	カンガルー	
セファゾリン注	0	1箱	使用実績なし		
●抗真菌薬					
フルコナゾール	４T	６T	糸状菌症	モルモット	
イトコラゾール錠50	３０T	２０T	糸状菌症	モルモット、ウサギ	
アンホテリシン	0	５箱	使用実績なし		
テルビナフィン125mg	80T	２０T	糸状菌症	モルモット、ウサギ	
●抗炎症薬					
メタカム0.2%注射液	１/２本	1本	鎮痛	げっ歯類	
メタカム懸濁液	0	1本	使用実績なし		
プレドニゾロン注	３本	1箱	ショック緩和	ウサギ、モルモット、マーラなど	
プレドニゾロン錠　５mg	0	7袋	使用実績なし		
プレドニゾロンコハク酸エステルNa注	0	1箱	使用実績なし		
フルニキシン注10%	２本	3本	疝痛	ポニー、ロバ	
メロキシカム錠5mg	0	1箱	使用実績なし		
メロキシカム錠10mg	0	1箱	使用実績なし		
メタカムチュアブル錠1.0mg	0	1箱	使用実績なし		
水性デキサメサゾン注A	4本	6本	ショック緩和、抗アレルギー	ポニー、ロバ	
●駆虫薬					
バイコックス	１/２本	1+1/2本	コクシジウム症	ヒツジ、カピバラ	
イベルメック散	0	1袋	使用実績なし		
イベルメック	１本	1本	腰麻痺予防	ヤギ、ヒツジ	
アイボメック	0	1本	使用実績なし		
アイボメックトピカル	１/2本	1＋1/2箱	ハジラミ駆虫	ガン、コンゴウインコ、クジャク	
エプリネックトピカル	0	1本	使用実績なし		
デクトマックス	1/2本	1/2本	腰麻痺予防	ヤギ、ヒツジ	
フラジール	１箱	1箱	駆虫	カピバラ	
フルモキサール散	１箱	1＋1/2箱	駆虫	ホロホロチョウ、クジャク	
レボリューション12%2.0ml	１箱	1＋1/2箱	駆虫	モルモット	
ドロンタールプラス	0	3箱	使用実績なし		
フライガードスプレー	0	5本	使用実績なし		
●消化器薬					

令和３年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ミヤリサン	1+1/2箱	3箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
エリーテン注	0	2箱	使用実績なし		
プラミール錠	0	1箱	使用実績なし		
プラミールシロップ	0	1本	使用実績なし		
グリセリン「ヤマゼン」500ml	0	5本	使用実績なし		
硫酸マグネシウム	0	8箱	使用実績なし		
ペリアクチン散1%	0	1/2箱	使用実績なし		
ディアバスター錠	１箱	2箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
ビオスリー	1箱	2箱	下痢症	カピバラ、ポニー	
獣医散Z	１/２袋	1/2袋	下痢症	カピバラ、ポニー	
タガメット注	0	2箱	制吐剤、食欲不振	ヒツジ	
タガメット錠	0	1箱	使用実績なし		
オメプラゾール錠	0	1箱	使用実績なし		
流動パラフィン	2本	5本	胃腸炎	ポニー、ロバ	
シンラック液	0	2本	胃腸炎	ロバ	
ラクツロース末・P	1/2箱	1/2箱	肝性脳症	ロバ	
ファモチジン錠20mg	1/2箱	1/2箱	胃腸炎	ロバ	
レバミピド５mg	0	1箱	使用実績なし		
●麻酔薬					
セラクタール2%	0	1本	鎮静麻酔	ポニー、ヒツジ	
ケタラール500mg	1本	1本	鎮痛麻酔	カピバラ、マーラ、カンガルー、モルモット、ウサギなど	
塩酸ケタミン原末	１本	37.5g	鎮静麻酔	ポニー、カピバラ、ウサギ、モルモット、カンガルーなど	
塩酸ケタミン5%溶液	0	1本	使用実績なし		
ドルペネ	2本	3本	使用実績なし		
アチパメ	2本	2本	鎮静麻酔	マーラ、カピバラ、カンガルー	
イソフル	1本	2+1/2本	覚醒	マーラ、カピバラ、カンガルー	
ベトルファノール	0	1+1/2本	使用実績なし		
リドカイン注射液1%	１V	４V	局所麻酔	ヤギ	
キシロカイン2%	1本	1本	局所麻酔	ヤギ、モルモット、ウサギなど	
キシロカインスプレー	0	2箱	使用実績なし		
キシロカインゼリー	0	1本	使用実績なし		
●ビタミン剤					
アニビタン100注射液	0	2箱	点滴		
メイロング	5箱	10箱	白筋症予防	カンガルー	
パンカルG酸	5袋	1箱	肝機能障害など	ロバ、ラマなど	
アスコルビン酸	5個	2個	ビタミン補給	モルモット	
アスコルビン酸注射液	1箱	15箱	点滴	モルモット、リスザル	
パンビタン	1袋	2袋	ビタミン補給	カピバラ、ミニブタ	
エーフィード	0	1袋	使用実績なし		
レバチオ液	5本	0	ビタミン補給	ロバ	
レバギニン	３本	7本	ビタミン補給	ロバなど	
トンキー200	0	1本	使用実績なし		
クエン酸第一鉄	２箱	0箱	貧血	ヒツジなど	
カルチコール	1箱	1箱	カルシウム剤	ヤギ、ヒツジ	
●補液					
ソルラクト250ml	1箱	1箱	点滴	マーラ、カピバラ、カンガルーなど	
ソルラクト500ml	１箱	2袋	点滴	ポニー、ロバなど	
ソルアセト500ml	1箱	1箱	点滴	ポニー、ロバなど	
50%ブドウ糖注射液	20缶	1箱	投薬用	げっ歯類	
20%ブドウ糖液	３箱	1箱	投薬用	げっ歯類	
KCｌ15%	0	1箱	使用実績なし		
生理食塩水500ml	1箱	0	点滴、創傷洗浄	マーラ、ウサギ、ポニーなど	
生理食塩水100ml	1箱	2箱	眼洗浄、ネブライザーなど	ウサギ	
●劇薬					
酢酸鉛	0	1本		使用実績なし	
エクイバランゴールド	2本	2本	駆虫	ポニー、ロバ	
エクイマックス	0	0本	使用実績なし		
キモチーム	0	2箱	使用実績なし		

令和３年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ヨードチンキ	0	6本	使用実績なし		
硝酸銀	0	6本	使用実績なし		
抱水クロラール	0	本	使用実績なし		
ボログルコン酸カルシウム	0	1本	使用実績なし		
ボスミン注	１箱	2本	ネブライザー	ウサギ	
アトロピン「フソー」	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク静注用	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク皮下・筋注用	0	1箱	使用実績なし		
動物用日脳TCワクチン	１本	0本	ワクチン	ポニー、ロバ	
馬インフルエンザワクチン	１１本	2本	ワクチン	ポニー、ロバ	
馬3種混合ワクチン	１１本	0	ワクチン	ポニー、ロバ	
ホルマリン	0	21本	使用実績なし		
苛性ソーダ	１本	4本	消毒増強	獣舎	
メタノール		1本	使用実績なし		
キシレン	１本	1本	試薬	血液検査	
アンモニア水	0	2本	使用実績なし		
水酸化カリウム	0	1本	使用実績なし		
エンドックス	0	1缶	使用実績なし		
●向精神薬					
ホリゾン	0	1箱	使用実績なし		
ドルミカム	0	3箱	使用実績なし		
セルシン100倍散	0	1缶	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	1本	使用実績なし		
ブプレノルフィン	0	1箱	使用実績なし		
●点眼薬					
ベノキシール	0	6本	使用実績なし		
ファルキサシン点眼液	0	2本	使用実績なし		
ヒアルロン酸	0	4本	使用実績なし		
	3本	2本	角膜潰瘍	げっ歯類など	
オフロキサシン眼軟膏	５本	5本	結膜炎、角膜炎	げっ歯類など	
エコリシン眼軟膏	0	1箱+8本	使用実績なし		
フルオロメトロン点眼液	0	8本	使用実績なし		
ゲンタマイシン点眼液		9本	使用実績なし		
●消毒薬					
クリアキル200　181	5缶	4缶	感染症対策	獣舎消毒など	
消毒用イソプロパノール50%（16ｌ）	10箱	6箱	感染症対策	コロナ対策	
消毒用イソプロピルアルコール70%	0	3缶	感染症対策	治療室用	
消毒用エタノールα5L	0	1本	使用実績なし		
クレンテ	2箱	1+1/2箱	感染症対策	踏み込み槽	
ゼクトン	1缶	1缶	土壌散布	マーラ、カピバラ、カンガルー	
フェノール水	0	1本	使用実績なし		
パルバスター液	0	2缶	使用実績なし		
ペースサントップT	1箱	1箱	感染症対策	踏み込み槽	
オキシドール	3本	6本	試薬	骨格標本など	
動物用イソジン液500ｍｌ	2本	3本	術部消毒、創傷消毒	ポニー、マーラ、カピバラ、齧歯、ヤギ、ヒツジなど	
動物用10%イソジン液５L	0	1缶	使用実績なし		
消毒用エタプロパコール500ml	0	3本	使用実績なし		
ヒビテン	2本	3本	術部消毒、器具消毒	人、鳥類	
スクラビンS４%	2本	1本	術部消毒、器具消毒	人、ポニー、ヤギ、ヒツジなど	
復方ヨードグリセリン	0	3本	使用実績なし		
５%グルコン酸クロルヘキシジン液	1本	1本	術部消毒、器具消毒	人	
アクリノール	0	6本	使用実績なし		
クレゾール	0	1本	使用実績なし		
ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	0	3本	使用実績なし		
PVPﾖｰﾄﾞ液10%	0	1本	使用実績なし		
希ヨードチンキ	0	1本	使用実績なし		
●外用薬					
ブロメライン軟膏	0	2本	使用実績なし		

令和３年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
フロリードDクリーム	0	9本	使用実績なし		
オキナゾールクリーム	0	1本	使用実績なし		
クラーゲン	0	1個	使用実績なし		
ハイセチンP軟膏	0	8本	使用実績なし		
ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	0	1箱	使用実績なし		
ピルスー	0	2本	使用実績なし		
フランセチンＴ パウダー	1箱	1箱	創傷治療	モルモット、マーラなど	
グラニュゲル	0	3本	使用実績なし		
イントラサイトジェル	0	1箱	使用実績なし		
ベテキチン　10cm×10cm	1箱	1箱	創傷治療	モルモットなど	
ハイドロサイトADプラス	1枚	3枚	創傷治療	モルモットなど	
ハイドロサイトプラス	0	2箱	使用実績なし		
ノルバサンシャンプー	2本	1本	シャンプー	モルモット	
ゲンタシン軟膏	2箱	1箱	創傷治療	ポニー、マーラ、カピバラ、齧歯、ヤギなど	
ゲーベンクリーム	0	3個	創傷治療	マーラなど	
クイックストップ	3個	2個	止血剤	げっ歯類、鳥類	
ボスミン外用液	1本	2本	吸入薬	ウサギ	
●吸入薬					
ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
クロロマイセチン局所用5%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
メプチン吸入液0.01%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
●その他					
ネオヘキサメチオニン	0	1本	使用実績なし		
ニチファーゲン注5ml	0	7箱	使用実績なし		
キョウミノチン20ml	0	1箱	使用実績なし		
ニチファーゲン配合錠	4袋	6袋	強肝剤	ロバ	
ウルソ50mg錠	1箱	0	利胆剤	ロバ	
ウルソ100mg錠	1箱	1箱	利胆剤	ロバ	
ムコダイン錠	0	1箱	使用実績なし		
ネオフィリン（注射薬）	0	0	使用実績なし		
ネオフィリン（経口薬）	0	1箱	使用実績なし		
ラシックス注100ｍｇ	1箱	1箱	利尿剤	ロバ	
フロセミド注射液40ｍｇ	2箱	1箱	利尿剤	ロバ	
スピロノラクトン25mg	1箱	1箱	利尿剤	ロバ	
ニュートレスリキッド	0	1箱	使用実績なし		
ネオクインコール	0	1箱	使用実績なし		
ラドンナ注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン注	0	1本	使用実績なし		
トランサミン錠250mg	0	1箱	血液凝固剤	モルモット	
アドナ錠30mg	1/2箱	1箱	血液凝固剤	モルモット	
ヘパリンNa	1本	1本	採血	ポニー、ヤギ、ヒツジなど採血	
アトニン-O	0	1箱	使用実績なし		
単シロップ	0	1本	使用実績なし		
ウロストン	0	10包	使用実績なし		
デトキソール	0	1箱	使用実績なし		
ブライアン点滴静注	0	1箱	使用実績なし		
ブロサポ	0	8包	使用実績なし		
ラッセラ	4箱	2箱	肺性心	ヒツジ	
ダイアート錠	0	1箱	使用実績なし		
トリテレン錠	0	1箱	使用実績なし		
●試薬					
尿素	0	1本	使用実績なし		
ヤバシライム	2箱	1箱	試薬		
塩化ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
プロピレングリコール	0	1本	使用実績なし		
四ホウ酸ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
アセトカルミン溶液	0	1本	使用実績なし		
無水エタノール	0	1本	使用実績なし		

令和３年度　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ジメチルスルホキシド	0	1本	使用実績なし		
ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	0	1本	使用実績なし		
リン酸一ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
リン酸二ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
ホウ酸	0	1本	使用実績なし		

令和4年度(4月～７月)　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
●抗生剤					
テラマイシンＬＡ注射液	２箱	2箱	カンガルー病、スナッフルな	カンガルー、げっ歯類	
ホスミシンドライシロップ	0	3本	使用実績なし		
バイトリル2.5%HV液	1/2本	1本	肺炎、腸炎など	水禽類、モルモット	
バイトリル2.5%注射液	1/2本	1/2本	肺炎、腸炎など	げっ歯類	
バイトリル10%注射液	0	1本	使用実績なし		
バイトリルワンショット	1本	2本	外傷、肺炎、泌尿生殖器感染	ヤギ、ヒツジ、ポニー、げっ歯類など	
バイトリル50mg錠	0	2箱	外傷など	マーラなど	
バイトリル150mg錠	0	1箱	外傷、腸炎など	マーラ、カピバラなど	
ビクタス注	1/2本	1/2本	外傷、肺炎など	げっ歯類	
ビクタスSS錠	１箱	２箱	外傷、肺炎など	げっ歯類	
レボフロキサシン錠250mg	１箱	2箱	外傷、肺炎、腸炎など	カピバラ	
ノルフロキサシン錠100mg	0	1箱	使用実績なし		
マイシリンゾル	１本	7本	外傷など	ヤギ、ヒツジ	
カナマイシン	0	1箱	使用実績なし		
ビブラマイシン錠50ｍｇ	0	1箱	使用実績なし		
クロロマイセチン錠50	0	2箱	使用実績なし		
ビクシリン	0	1箱	使用実績なし		
ダラシン75mg	0	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠75	0	1箱	使用実績なし		
セファクリア錠300	1シート	1箱	術後	クモザル	
セファクリア錠600	0	2本	使用実績なし		
ゲンタシン注	1箱	1箱	ネブライザー	ウサギ	
セフタジジム	0	1本	使用実績なし		
トリオプリン注射液	0	1/2本	使用実績なし		
シノラール散	0	1袋	使用実績なし		
エクセネル注	１V	４V	カンガルー病、歯牙疾患	カンガルー	
セファゾリン注	0	1箱	使用実績なし		
●抗真菌薬					
フルコナゾール	0	６T	糸状菌症	モルモット	
イトコラゾール錠50	0	２０T	糸状菌症	モルモット、ウサギ	
アンホテリシン	0	５箱	使用実績なし		
テルビナフィン125mg	１０T	１０T	糸状菌症	モルモット、ウサギ	
●抗炎症薬					
メタカム0.2%注射液	少量	1本	鎮痛	げっ歯類	
メタカム懸濁液	0	1本	使用実績なし		
プレドニゾロン注	1本	1箱	ショック緩和	ウサギ、モルモット、ポニー	
プレドニゾロン錠　５mg	0	7袋	使用実績なし		
プレドニゾロンコハク酸エステルNa注	0	1本	使用実績なし		
フルニキシン注10%	1本	2本	疝痛	ポニー、ロバ	
メロキシカム錠5mg	0	1箱	使用実績なし		
メロキシカム錠10mg	1/2箱	1/2箱	鎮痛消炎剤	げっ歯類	
メタカムチュアブル錠1.0mg	0	1箱	使用実績なし		
水性デキサメサゾン注A	0	6本	使用実績なし		
●駆虫薬					
バイコックス	0	1+1/2本	使用実績なし		
イベルメック散	0	1袋	使用実績なし		
イベルメック	1本	1本	腰麻痺予防	ヤギ、ヒツジ	
アイボメック	0	1本	使用実績なし		
アイボメックトピカル	少量	1＋1/2箱	ハジラミ駆虫	クジャク、ホロホロチョウ、ラマ	
エプリネックトピカル	0	1本	使用実績なし		
デクトマックス	1/2本	1+1/2本	腰麻痺予防	ヤギ、ヒツジ	
フラジール	0	1箱	使用実績なし		
フルモキサール散	0	1＋1/2箱	使用実績なし		
レボリューション12%2.0ml	1/2箱	1/2箱	駆虫	モルモット	
ドロンタールプラス	0	3箱	使用実績なし		
フライガードスプレー	2本	３本	ハエ防除	ミニブタ、ポニー	
●消化器薬					

令和4年度(4月～７月)　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ミヤリサン	0	1+1/2箱	使用実績なし		
エリーテン注	0	2箱	使用実績なし		
プラミール錠	0	1箱	使用実績なし		
プラミールシロップ	0	1本	使用実績なし		
グリセリン「ヤマゼン」500ml	0	5本	使用実績なし		
硫酸マグネシウム	0	5箱	使用実績なし		
ペリアクチン散1%	0	1/2箱	使用実績なし		
ディアバスター錠	0	2箱	使用実績なし		
ビオスリー	0	2箱	使用実績なし		
獣医散Z	0	1/2袋	使用実績なし		
タガメット注	1箱	1箱	制吐剤、食欲不振	ポニー	
タガメット錠	0	1箱	使用実績なし		
オメプラゾール錠	0	1箱	使用実績なし		
流動パラフィン	0	5本	胃腸炎	ポニー、ロバ	
シンラック液	0	2本	使用実績なし		
ラクツロース末・P	0	1/2箱	使用実績なし		
ファモチジン錠20mg	1シート	1箱	胃腸炎	ロバ	
レバミピド５mg	0	1箱	使用実績なし		
スクラルファート細粒	10包	1箱	緩下剤	ポニー、ロバ	
●麻酔薬					
セラクタール2%	0	1+1/2本	使用実績なし	ポニー、ヒツジ	
ケタラール500mg	0	1本	鎮痛麻酔	カピバラ、マーラ、カンガルー、モルモット、ウサギなど	
塩酸ケタミン原末	0	37.5g	鎮静麻酔		
塩酸ケタミン5%溶液	1本	0本	鎮静麻酔	ポニー、カピバラ、ウサギ、モルモット、カンガルーなど	
ドルペネ	1本	2本	使用実績なし		
アチパメ	2本	2本	鎮静麻酔	マーラ、カピバラ、カンガルー	
イソフル	1本	2+1/2本	覚醒	マーラ、カピバラ、カンガルー	
ベトルファノール	0	1+1/2本	使用実績なし		
リドカイン注射液1%	0	４V	使用実績なし		
キシロカイン2%	1本	1本	局所麻酔	ヤギ、モルモット、ウサギなど	
キシロカインスプレー	0	2箱	使用実績なし		
キシロカインゼリー	0	1本	使用実績なし		
●ビタミン剤					
アニビタン100注射液	0	2箱	使用実績なし		
メイロング	3箱	2箱	白筋症予防	カンガルー	
パンカルG酸	3袋	12袋	肝機能障害など	ロバ、ラマなど	
アスコルビン酸	２個	2個	ビタミン補給	モルモット	
アスコルビン酸注射液	0	15箱	使用実績なし		
パンビタン	1袋	2袋	ビタミン補給	カピバラ、ミニブタ	
ノイロビタン	1シート	1箱	ビタミン欠乏症	カピバラ、ラマなど	
エーフィード	0	1袋	使用実績なし		
レバチオ液	0	1箱	使用実績なし	ロバ	
レバギニン	2本	7本	ビタミン補給	ポニー、ラマ	
トンキー200	２箱	1本	使用実績なし		
クエン酸第一鉄	0	2箱	使用実績なし		
カルチコール	0	1箱	カルシウム剤	ヤギ、ヒツジ	
●補液					
ソルラクト250ml	1/2箱	1/2箱	点滴		フラミンゴ、ウサギなど
ソルラクト500ml	1袋	1袋	点滴		ポニー
ソルアセト500ml	0	1箱	点滴		ポニー、ロバなど
50%ブドウ糖注射液	10缶	1箱	投薬用		げっ歯類
20%ブドウ糖液	0	1箱	投薬用		げっ歯類
KCｌ15%	0	1箱	使用実績なし		
生理食塩水500ml	1箱	2箱	点滴、創傷洗浄		マーラ、ウサギ、ポニーな
生理食塩水100ml	1箱	1箱	眼洗浄、ネブライザーなど		ウサギ
ハイカリック1号液	0	1箱	使用実績なし		
●劇薬					
酢酸鉛	0	1本	使用実績なし		

令和4年度(4月～７月)　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
エクイバランゴールド	１本	2本	駆虫	ポニー、ロバ	
エクイマックス	0	0本	使用実績なし		
キモチーム	0	2箱	使用実績なし		
ヨードチンキ	0	6本	使用実績なし		
硝酸銀	0	6本	使用実績なし		
抱水クロラール	0	本	使用実績なし		
ボログルコン酸カルシウム	0	2本	使用実績なし		
ボスミン注	ボスミン注	1箱	使用実績なし		
アトロピン「フソー」	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク静注用	0	1箱	使用実績なし		
テラプチク皮下・筋注用	0	1箱	使用実績なし		
動物用日脳TCワクチン	１本	0本	ワクチン	ポニー、ロバ	
馬インフルエンザワクチン	１１本	2本	ワクチン	ポニー、ロバ	
馬3種混合ワクチン	0	0	使用実績なし		
ホルマリン	0	21本	使用実績なし		
苛性ソーダ	0	4本	使用実績なし		
メタノール	0	1本	使用実績なし		
キシレン	0	1本	使用実績なし		
アンモニア水	0	2本	使用実績なし		
水酸化カリウム	0	1本	使用実績なし		
●向精神薬					
ホリゾン	0	1箱	使用実績なし		
ドルミカム	1箱	１箱	鎮静麻酔	ヤギ、ヒツジ、カンガルーなど	
セルシン100倍散	0	1缶	使用実績なし		
ソムノペンチル	0	1本	使用実績なし		
ブプレノルフィン	0	1箱	使用実績なし		
●点眼薬					
ベノキシール	0	6本	使用実績なし		
ヒアルロン酸	0	4本	使用実績なし		
パピテイン	1本	2本	角膜潰瘍	げっ歯類など	
オフロキサシン眼軟膏	２本	使用実績なし	結膜炎、角膜炎	げっ歯類など	
エコリシン眼軟膏	0	1箱+8本	使用実績なし		
フルオロメトロン点眼液	0	8本	使用実績なし		
ゲンタマイシン点眼液	0	9本	使用実績なし		
●消毒薬					
クリアキル200　181	２缶	２缶	感染症対策	獣舎消毒など	
消毒用イソプロパノール50%（16ｌ）	６箱	２箱	感染症対策	コロナ対策	
消毒用イソプロピルアルコール70%	0	3缶	感染症対策	治療室用	
消毒用エタノールα5L	0	1本	使用実績なし		
クレンテ	1/2箱	1+1/2箱	感染症対策	踏み込み槽	
ゼクトン	２缶	0	土壌散布	マーラ、カピバラ、カンガルー	
フェノール水	0	1本	使用実績なし		
パルバスター液	0	2缶	使用実績なし		
ペースサントップT	1袋	1箱	感染症対策	踏み込み槽	
オキシドール	0	6本	使用実績なし		
動物用イソジン液500ｍｌ	0	3本	使用実績なし		
動物用10%イソジン液５L	0	1缶	使用実績なし		
消毒用エタプロパコール500ml	0	3本	使用実績なし		
ヒビテン	2本	１本	術部消毒、器具消毒、薬浴	人	
スクラビンS４%	1本	3本	術部消毒、器具消毒、薬浴	人、ポニー、ヤギ、ヒツジなど	
復方ヨードグリセリン	0	1本	使用実績なし		
５%グルコン酸クロルヘキシジン液	1本	1本	術部消毒、器具消毒	人	
アクリノール	0	6本	使用実績なし		
クレゾール	0	1本	使用実績なし		
ネオヨジン、PVPﾖｰﾄﾞ液L（ｲｿｼﾞﾝ液）	0	3本	使用実績なし		
PVPﾖｰﾄﾞ液10%	0	1本	使用実績なし		
希ヨードチンキ	0	1本	使用実績なし		
●外用薬					

令和4年度(4月～７月)　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
ブロメライン軟膏	0	2本	使用実績なし		
フロリードDクリーム	0	9本	使用実績なし		
オキナゾールクリーム	0	1本	使用実績なし		
クラーゲン	0	1個	使用実績なし		
ハイセチンP軟膏	0	8本	使用実績なし		
ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ乳房炎用液NZ	0	1箱	使用実績なし		
ピルスー	0	2本	使用実績なし		
フランセチンＴ パウダー	1箱	1箱	創傷治療	モルモット、マーラなど	
グラニュゲル	0	1箱	使用実績なし		
アンドレス軟膏	1個	2個	疼痛時	ポニー、ロバ	
リンデロンVG軟膏	1箱	2箱	痒み止め	ポニー、ロバ	
イントラサイトジェル	0	1箱	使用実績なし		
ベテキチン　10cm×10cm	1枚	2枚	創傷治療	モルモット	
ハイドロサイトADプラス	1枚	2枚	創傷治療	モルモット	
ハイドロサイトプラス	1箱	2箱	創傷治療	ポニー、マーラ、カピバラ、齧歯、ヤギなど	
ノルバサンシャンプー	0	3本	創傷治療	マーラなど	
ゲンタシン軟膏	1箱	1箱	創傷治療	マーラ、モルモット、ウサギなど	
ゲーベンクリーム	0	3個	使用実績なし		
クイックストップ	1個	2個	止血剤	げっ歯類、鳥類	
ボスミン外用液	1/2本	1＋1/2本	吸入薬	ウサギ	
●吸入薬					
ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
クロロマイセチン局所用5%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
メプチン吸入液0.01%	1本	1本	スナッフル	ウサギ	
●その他					
ネオヘキサメチオニン	0	1本	使用実績なし		
ニチファーゲン注20ml	1箱	7箱	強肝剤	ロバ	
グルタチオン200mg	0	1箱	使用実績なし		
ニチファーゲン配合錠	0	6袋	使用実績なし		
ウルソ50mg錠	0	0	使用実績なし		
ウルソ100mg錠	0	1箱	使用実績なし		
ムコダイン錠	0	1箱	使用実績なし		
ネオフィリン（注射薬）	0	0	使用実績なし		
ネオフィリン（経口薬）	0	1箱	使用実績なし		
ラシックス注100ｍｇ	0	1箱	使用実績なし		
フロセミド注射液40ｍｇ	0	1箱	使用実績なし		
スピロノラクトン25mg	0	1箱	使用実績なし		
ニュートレスリキッド	0	1箱	使用実績なし		
ネオクインコール	0	1箱	使用実績なし		
ピモベハート5mg	0	1箱	使用実績なし		
ラドンナ注	0	1本	使用実績なし		
トランサミン注	0	1箱	使用実績なし		
トランサミン錠250mg	0	1袋	血液凝固剤	モルモット	
アドナ錠30mg	1シート	1箱	血液凝固剤	モルモット	
ヘパリンNa	1本	2箱	採血時		
アトニン-O	0	1箱	使用実績なし		
単シロップ	0	1本	使用実績なし		
ウロストン	0	10包	使用実績なし		
デトキソール	0	1箱	使用実績なし		
ブライアン点滴静注	0	1箱	使用実績なし		
ブロサポ	0	8包	使用実績なし		
ラッセラ	0	2箱	使用実績なし		
ダイアート錠	0	1箱	使用実績なし		
トリテレン錠	0	1箱	使用実績なし		
●試薬					
尿素	0	1本	使用実績なし		
ヤバシライム	１箱	1箱	試薬	吸入麻酔薬	
塩化ナトリウム	0	1本	使用実績なし		

令和4年度(4月～７月)　動物管理　使用薬剤実績

薬剤名称	年間使用量	在庫数量	主な使用目的	主な使用動物	備考
プロピレングリコール	0	1本	使用実績なし		
四ホウ酸ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
アセトカルミン溶液	0	1本	使用実績なし		
無水エタノール	0	1本	使用実績なし		
ジメチルスルホキシド	0	1本	使用実績なし		
ジエチルエーテル（ｴﾁﾙｴｰﾃﾙ）	0	1本	使用実績なし		
リン酸一ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
リン酸二ナトリウム	0	1本	使用実績なし		
ホウ酸	0	1本	使用実績なし		

動物ふれあい活動実績（令和２年～令和４年度実績）

●令和２年度

実施内容	実施頻度	備　　考
ふれあい舎	194回	休園日以外毎日
動物ふれあい広場	10回	秋季の週末
乗馬体験	5回	秋季の日曜日
花の丘インコフォトサービス	2回	秋季
一日飼育員体験	1回	小中学生

●令和３年度

実施内容	実施頻度	備　　考
ふれあい舎	269回	休園日以外毎日
動物ふれあい広場	23回	春季及び秋季の週末
乗馬体験	10回	春季及び秋季の日曜日
花の丘インコフォトサービス	4回	春季及び秋季

●令和４年度7月末時点

実施内容	実施頻度	備　　考
ふれあい舎	122回	休園日以外毎日
動物ふれあい広場	13回	春季及び秋季の週末
乗馬体験	5回	春季及び秋季の週末
一日飼育員体験	1回	小中学生
動物の獣医さん	1回	獣医師の体験イベント
花の丘インコフォトサービス	2回	春季及び秋季

別紙４４

○○公園運営維持管理業務　令和○○年度業務評定

【概要】

公園名	○○公園
所在地	
事業者	
履行期間	自;令和○○年○月○日　　至;令和○○年○月○○日
評価対象年度	令和○○年度

【目標達成状況】

目標指数	事業者が設定した目標値	達成状況	備考
① 公園利用者数	年間○○万人		
② 満足度	年間○○%		
③ ○○	○○		

【運営状況】

評価内容	
評価ランク	優　・　良　・　可　・　不可
特記事項 （特に評価すべき事項、改善が望まれる事項、今後の課題等を記載）	
備　考	

（提出様式１－１）

競争参加資格確認申請書

令和　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
九 州 地 方 整 備 局 長
殿

住　　所
商号又は名称
代 表 者 氏 名
印

（担　当　者）
所属部署
氏　　名
電話番号
FAX番号
E-mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　　所　共同体事務所の所在地
商号又は名称R5-9 国営海の中道海浜公園
運営維持管理業務◇◇・○○共同体
代表者氏名　　印

令和５年●月●日付けで入札公告のありました「R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」に係わる競争に参加する資格について、関係書類を添えて申請します。

なお、添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

（提出様式1－2）
○企業の業務実績

担当する分担業務:○○業務

会社名:○○○○(株)

業務名	発注者	受注形態	業務概要	履行期間
○○○○○○○○○業務 内容種別　1)　2)	○○県	・単独 ・共同企業体 (・代表者・代表者以外)	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成○年○月 ～ 平成○年○月
  内容種別　1)　2)				
企業の延べ業務年数				○ヶ月

1級造園施工管理技士保有者数（植物管理業務のみ記入）

令和5年○月○日時点　○名

注1:業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2:面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付する。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3:動物の飼育頭数、施設規模・内容がわかる資料を添付する。図面等で動物管理施設存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注4:実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等の写しを提出する。
注5:複数の業務を記載する場合は行を追加して記入する。
注6:記載する業務件数による評価は行わない。
注7:内容種別欄は実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の1)～2)のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注8:実施要項3．2．の「表7　企業の業務実績等に関する要件」の注意事項に沿って記載する。
注9:参加する法人の会社概要がわかる公表資料(会社紹介パンフレット、HP等)を別途提出する。

（提出様式１－３）

○総括（業務）責任者の業務実績	担当する分担業務：○○業務

ふりがな
氏名

生年月日　　年　　月　　日

会社名・所属・役職

○○会社・○○部・○○部長

保有資格（植物管理業務責任者は、1級造園施工管理技士を必ず記入すること）

・1級造園施工管理技士　（登録番号：　　）　（取得年月日：　年　月　日）

業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1)2)3)4)5)	○○	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1)2)3)4)5)	○○	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成○月 ～ 平成（令和）○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。
注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注3：動物の飼育頭数、施設規模・内容がわかる資料を添付する。図面等で動物管理施設存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。
注4：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。
注5：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。
注6：企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書（任意様式）及び業務経験証明書（様式１－８）を添付する。
注7：内容種別欄は実施要項３．３．「表８　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～4）のいずれか該当するものを選び○を記入する。
注8：実施要項３．３．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。
注9：実施要項３．３．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。

（提出様式１－４）守秘性に関する要件

○守秘義務に関し、下記の処置が講じられているか記載する。

イ．社内規則等（守秘義務に関する規程及びその罰則規が明示されているものに限る）制定について

ロ．守秘義務に関する研修、講習等の定期的な実施について

注1：　守秘義務に関する規程及びその罰則規定を定めた社内の規則等（該当ページのみ）を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

　共同体の場合は、各構成員それぞれの提出様式１－４を作成し、かつ各構成員それぞれの守秘義務に関する規程及びその罰則を定めた社内の規則等（該当ページのみ）を添付することとし、該当部分に下線を引くこと。

（提出様式１－５－１）業務実施体制

［実施要項で定める業務責任者］

実施要項3.3.に定める業務責任者	具体的な業務内容	雇用形態				資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）	１週間の予定勤務時間								備考
		常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		月	火	水	木	金	土	日	計	
総括責任者		○	－	－			8	8	8	8	8	0	0	40	代表企業 ○○会社 九州　太郎
企画運営管理業務責任者															○○会社 ○○　○○
施設・設備維持管理業務責任者															○○会社 ○○　○○
植物管理業務責任者															○○会社 ○○　○○
動物管理業務責任者															○○会社 ○○　○○
収益施設等管理運営業務責任者															○○会社 ○○　○○

※ 組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 総括責任者および業務責任者が資格要件の条件を満たさない場合は欠格とする。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。
※ 実施要項　３．３．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、欠格とする。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。
※ ［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］を配置する場合には、別紙に記入すること。
※ 総括責任者及び総括責任者以外の業務責任者は、原則、実施期間中専任（注）とする。なお、病気・死亡等の事情によりやむを得ず総括責任者又は総括責任者以外の業務責任者を変更する場合は、上記に掲げる基準を満たし、かつ、当初の者と同等以上の者を配置するものとし、予め九州地方整備局の承諾を得るものとする。
（注：専任とは、他の工事及び業務等に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該業務に係る職務にのみ従事していることをいう。ただし、契約の締結後、業務開始するまでの期間（準備期間）は専任を要しない。）

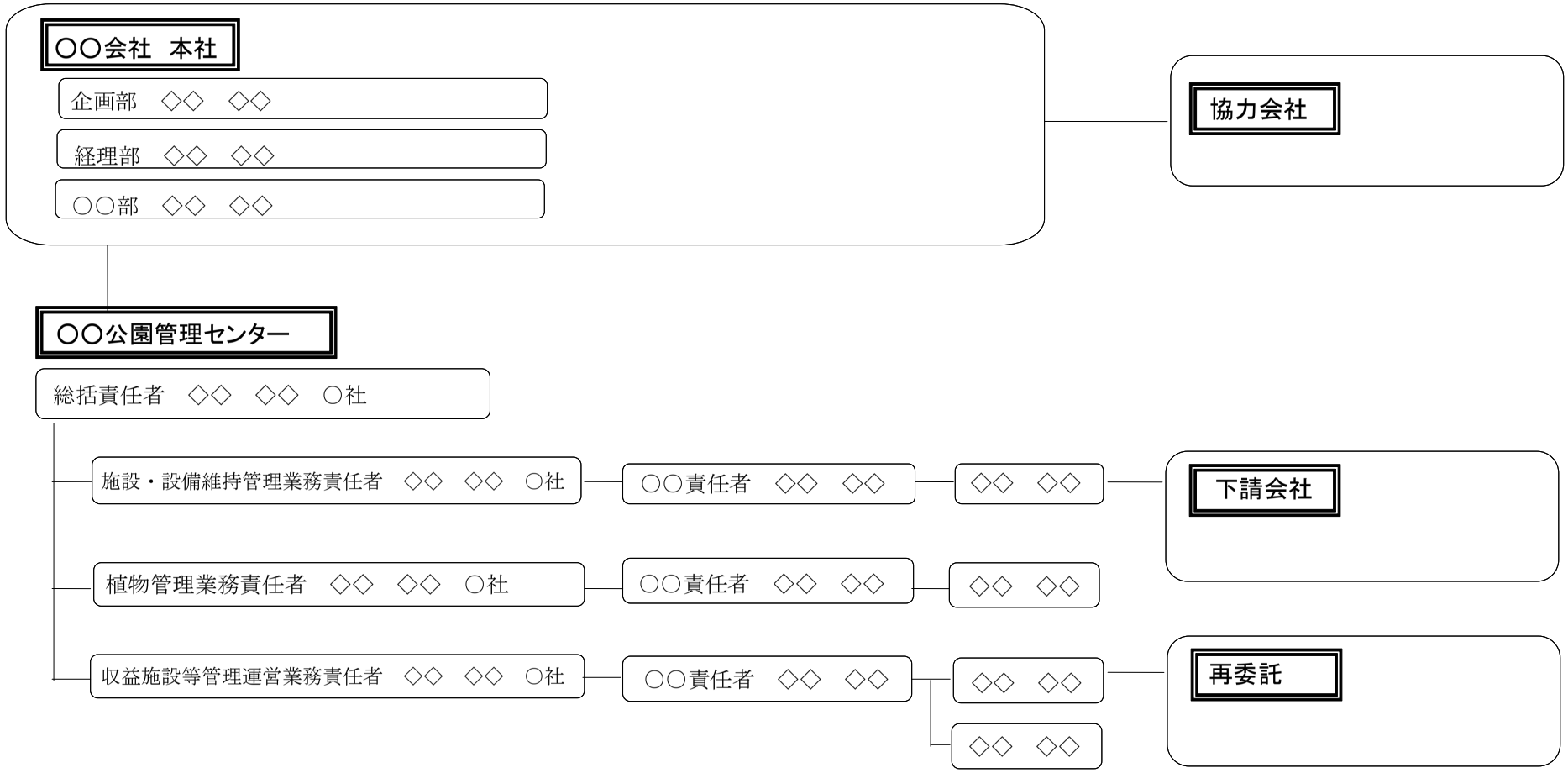
（別紙）

［実施要項以外で提案する業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者］

<table>
<tr><th rowspan="2">業務責任者の下に配置し、責任者を補佐する者</th><th rowspan="2">具体的な業務内容</th><th colspan="4">雇用形態</th><th rowspan="2">資格、能力、実務経験年数等（業務内容に対する適切性について記載）</th><th colspan="9">１週間の予定勤務時間</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>常勤</th><th>非常勤</th><th>委託</th><th>その他（具体的に）</th><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th><th>計</th></tr>
<tr><td>△△業務責任者の下
○○係長</td><td></td><td>○</td><td>－</td><td>－</td><td></td><td></td><td></td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>40</td><td>○○会社
○○　○○</td></tr>
<tr><td>□□業務責任者の下
○○リーダー</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○○会社
○○　○○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○○会社
○○　○○</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○○会社
○○　○○</td></tr>
</table>

※ ［実施要項で定める業務責任者］の下に配置するのか責任区分を明確にすること。
※ ［実施要項で定める業務責任者］と併せた組織図（業務実施のための管理機構）を添付する（任意様式）。
※ 配置予定人員の枠が足りなければ、追加して記入する。
※ 備考欄には、所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。共同体の場合は、各構成員の所属企業名および配置予定者の氏名を記載する。（氏名が未確定の場合は、氏名について、記載しなくてもよい）
※ 業務責任者の下に配置し、業務責任者を補佐する者を変更する場合は、当該業務に精通した者を配置するものとし、予め九州地方整備局の承諾を得るものとする。

業務実施体制　組織図（業務実施のための管理機構）　（作成例）



注１：共同体の場合は、責任者の氏名の後に構成企業名を記載すること。

注２：災害、繁忙期等の緊急時における体制（責任体制、現地体制）についても分かるように記載すること。

（提出様式１－５－２） 業務実施における対応方針

・迅速かつ円滑な意志決定及び臨機の対応等の体制に関し、緊急時等においても混乱なく対応できる水準を超えた優れた提案を記述。

※上記について、組織面、費用面の対応等を具体的に記載すること。

※A4版１枚以内にまとめる(図表含む。)。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※白黒またはカラー片面印刷で提出すること。

（提出様式1－5－3）

○申請した総括責任者以外で同一企業に在籍する総括責任者（代替総括責任者）の業務実績

ふりがな 氏名 生年月日　　年　　月　　日
会社名・所属・役職 ○○会社・○○部・○○部長
保有資格 ・技術士（建設部門：都市及び地方計画） （登録番号：　　）　（取得年月日：　年　月　日）

業務名	発注者	受注形態	業務概要	期間	総括責任者の経験期間	業務責任者の経験期間	業務経験の期間
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2） 3）4）5）	○○	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月
○○○○○○○○○○業務 内容種別 1）2） 3）4）5）	○○	・単独 ・共同企業体 （・代表者・代表者以外）	公園種別、○○施設（園地管理面積約○㎡）、展示面積、業務内容等を記載。	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○年○月 ～ 平成（令和）○年○月	平成（令和）○月 ～ 平成（令和）○年○月
総括責任者の延べ経験年数					○年○ヶ月		
業務責任者の延べ経験年数						○年○ヶ月	
業務経験　の延べ経験年数							○年○ヶ月

注1：業務概要欄には業務の具体的内容が分かるよう記述する。

注2：面積、植栽地の存在が分かる資料（施工図面、空中写真、地形図等）を添付すること。図面等で植栽地の存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。

注3：動物の飼育頭数、施設規模・内容がわかる資料を添付する。図面等で動物管理施設存在が証明できない場合は、図面等と照合できる現地写真を添付する。

注4：実績として記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を提出する。

注5：経験年数が複数件にまたがる場合は行を追加して記入する。

注6：企画書の提出時に雇用関係が無い場合は、業務開始時までに雇用される念書（任意様式）及び業務経験証明書（様式1－8）を添付する。

注7：内容種別欄は実施要項3．3．「表8　配置予定者の業務実績等に関する要件」の1）～4）のいずれか該当するものを選び○を記入する。

注8：実施要項3．3．配置予定者の業務実績等に関する要件の実施体制に沿って記載する。

注9：実施要項3．3．に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できない。配置した場合には、特定しない。ただし、実施要項に定める範囲において兼務は可能とする。

（提出様式１－６）実施方針

※A4版２枚以内にまとめる（図表含む。）。
※文字寸法は10.5ﾎﾟｲﾝﾄ以上。
※別紙年間業務計画を添付する。それ以外の添付資料は認めない。
※白黒またはカラー片面印刷で提出すること。

（別紙）

年間業務計画（作成例）

工　種	種別	実施頻度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
植物管理	芝生管理	●回／年												
	低木管理	●回／年												
	高木管理	●回／年												
	草花管理	●回／年												
●●●●														
●●●●														
●●●●														
●●●●														

(提出様式1－7)再委託又は、下請負の予定(協力企業の名称等)

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

企　業　名		代表者名	
所　在　地			
再委託する理由及び具体的内容 分担業務内容			

注１：再委託又は、下請負（予定含む）がある場合に記入する。

注２：原則として、小規模な業務※を除き、記載された以外の業務を再委託又は下請負する場合には、金額および必要性等について協議が必要となる。
※　小規模な業務とは、基本的に契約金額が100万円未満の業務等

注３：再委託又は、下請負の枠が足りなければ、追加して記入すること。

注４：組織図（業務実施のための管理機構）に記入すること。

念書(例)（申請書類提出時に当該法人と雇用関係が無い場合）

支出負担行為担当官
九州地方整備局長　殿

念書（例）

株式会社○○○○と九州太郎は、現在雇用関係に無いが、下記の場合において雇用契約を締結するものとする。

記

国土交通省九州地方整備局で、令和5年●月●日付けで入札公告のあった「R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」と契約締結した場合。

令和○年○月○日

住所
電話番号
会社名　株式会社○○○○
代表者　代表取締役社長△△　△△　印

住所

氏名　　九州　太郎　印

（提出様式1－8）業務経験証明書

ふりがな 氏名	九州　太郎 （　　年　　月　　日生）
会社名	□□□□株式会社
業務実績	○○業務の○○責任者として従事。
従事期間	年　　月　　日 ～ 年　　月　　日
備考	

上記の通りであることを証明します。

令和○年○月○日

住　所

電話番号
会社名　　□□□□株式会社

代表者　　役職名　　氏名　　印

（提出様式１－９－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営実績書

国土交通省　九州地方整備局　　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記収益施設について、運営実績書を提出します。

記

(記入例)

	国営海の中道海浜公園　収益施設名	収益施設運営実績（※１）		収益施設運営予定（※２）	
		企業としての実績	配置予定者としての実績	申請者（共同体構成員を含む）	申請者以外の者（再委託・下請け等）
1	駐車場				○ ((株)○○)
2	レンタサイクル	◎	◎		
3	飲食・物販施設				○ (未定)
4	プール	◎ ((株)○○)	◎ (○○太郎)	○ ((株)○○)	
5	自動販売機	○ ((株)○○)		○ ((株)○○)	
6	コインロッカー	○ ((株)○○)		○ ((株)○○)	

（提出様式１－９－１）の注意事項

※１　収益施設運営実績について、実施要項３．２．企業の業務実績に関する要件、及び３．３．配置予定者の業務実績に関する要件の「⑤収益施設等運営業務」で申請している収益施設に「◎」を記入し、その他実績を有する収益実績は「○」を記入する（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「◎」、「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「◎（○○太郎）」）

　又、「◎」、「○」を記入した施設の全ての施設について（提出様式１－９－３）に記入すること。

※２　収益施設運営予定について、国営海の中道海浜公園において、申請者または申請者以外の者で行うのかいずれかに「○」を記入する。なお、収益施設運営実績の申請者と収益施設運営予定の申請者が必ずしも同一箇所でなくてもよい。（共同体の場合は、代表企業又は構成員の実績でも可。その場合「○」のあとに実績のある者を具体的に記入する。（例「○（(株)○○）」、「○（○○太郎）」）。申請者以外の者が未定の場合は、「○」のあとに「未定」と記載すること。（例「○（未定）」）

　又、申請者以外の者によって実施し、予定している企業等がある場合は、（提出様式１－７）に記載すること。

※３　「R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」に入札参加しようとする者は、公園施設と連携して収益施設を運営することから、R5-9国営海の中道海浜公園収益施設管理運営規定書の事項を確認の上、収益施設運営実績書を提出しなければならない。

　また、「R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」の受託者（収益施設の施設運営者）は、収益施設について都市公園法第５条の申請を行い、許可を受け所定の使用料を国へ支払わなければならない。

※４　共同体として参加する者が提出する場合は、R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務について、代表企業を申請者とする。

（提出様式１－９－２）

収益施設名：○○

会社の概要

（１）以下について記入するものとする。

①社名	（　　）
②業種（主・副）	（　　・　　）
③設立	（　　年　　月）
④資本金	（　　円）
⑤従業員数	（　　人）
⑥株式	（　上場　・　非上場　）
⑦株主数	（　　人）
⑧営業範囲	（　九州地方・全国　）
⑨年商	（　　円）

（２）下記の最新資料を添付するものとする。

①会社概要書等
②登記簿謄本
③財務諸表（過去3ケ年分）

※　提出様式１－９－１で記載している全ての収益施設の施設等運営者について記載すること。（収益施設運営実績、収益施設運営予定を含む）

※　財務諸表については、決算報告に使用された「貸借対照表」「損益計算書」「営業報告書」「利益の処分又は損失の処理に関する議案」等（過去３ケ年分）を提出するものとする。

※　申請者以外の者については、上記（２）②、③は提出しなくてもよい。ただし、落札者決定された場合は、業務計画書提出時までに提出するものとする。

※　申請者以外の者が未定の場合は、上記（１）①社名に「未定」と記載すること。ただし、落札者決定された場合は、本様式と上記（２）①～③を業務計画書提出時までに提出するものとする。

（提出様式１－９－３）

○○施設運営実績

項　　目	内　　容
・施設名 ・所在地 ・開設年	（記入例） ・○○○○　　○○店 ・福岡県○○市○○１－２－３ ・平成○年○月
・業態 ・取扱品目 ・主な客層	（記入例） ・○○商店 ・軽飲食、お土産類、清涼飲料水等 ・家族連れ、観光客
・構造 ・規模	（記入例） ・構　　造　　木造 ・延床面積　　401.88㎡ ・客席面積　　300㎡ ・席　　数　　100席 ・厨房面積　　50㎡ ・駐 車 場　　平面駐車場　普通車20台
・売上高	（記入例） ・120,000千円／年（過去３カ年の平均）
・従業員数	（記入例） ・社員３人、補員５人

※　提出様式１－９－１の収益施設運営実績の◎及び○と記載した箇所についてをそれぞれ１件以上記載すること。企業及び配置予定者の業務実績が同じ収益施設で異なる施設（別の施設）の場合は、それぞれ記載すること。　又、施設等により物理的条件より記載が難しい場合であっても実施している概要がわかる内容を記載すること。

※　売上高は、過去３ヶ年の平均とし、実績がないものは、過去２年又は１年でもよい。又１年に満たない場合は、予定金額でもよい。

※　実績を証明する登記簿又は契約書等の写しと、自由様式で施設概要がわかる資料又は写真等を２～３枚添付すること。

　なお、自由様式は、Ａ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（提出様式１－１０）

（第１面）

九州地方整備局長
殿

令和　　年　　月　　日
住所
商号又は名称
氏　名　　印
（法人にあっては、代表者氏名）

［法定代理人
氏　名　　印］

誓　約　書

令和５年〇月〇日付けで公告のありました「R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務」の入札に参加するにあたり、下記のとおり誓約します。

記

１．次の各号のいずれかに該当する者でないこと。
１）心身の故障により官民競争入札対象公共サービスを適正かつ確実に実施することができない者として総務省令で定めるもの
２）破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者又は外国の法令上これと同様に取り扱われている者
３）禁錮以上の刑（これに相当する外国の法令による刑を含む。）に処せられ、又はこの法律の規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して五年を経過しない者
４）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第六号に規定する暴力団員（以下この条において「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から五年を経過しない者
５）第二十二条第一項の規定により契約を解除され、その解除の日から起算して五年を経過しない者
６）営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人が前各号又は次号のいずれかに該当するもの
７）法人であって、その役員のうちに前各号のいずれかに該当する者があるもの
８）暴力団員又は暴力団員でなくなった日から五年を経過しない者がその事業活動を支配する者
９）その者の親会社等（その者の経営を実質的に支配することが可能となる関係にあるものとして政令で定める者をいう。次号において同じ。）が前各号のいずれかに該当する者
10）その者又はその者の親会社等が他の業務又は活動を行っている場合において、これらの者が当該他の業務又は活動を行うことによって本業務の公正な実施又は国民の信頼の確保に支障を及ぼすおそれがあるもの
２．予算決算及び会計令 (昭和22年勅令第165号) 第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
３．他の入札参加者又は所属する共同体以外の共同体の構成員との間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
１)資本関係
以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。
① 会社と子会社の関係にある場合
② 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合
２)人的関係
以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし②については、会社の一方が更生会社又は更生手続が存続中の会社である場合は除く。

① 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
② 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

6．国営海の中道海浜公園事務所で令和４年度に実施の「令和４年度海の中道　駅口展示詳細設計外業務」に参加している者及び当該業務の管理技術者・担当技術者の出向・派遣元並びにこれらの者と資本面・人事面で関係がある者でないこと。

7．申請書類の内容については事実と相違ないこと。

上記誓約に相違があった場合は、入札参加の取消し、契約解除等の措置又は処分も甘受し、一切の意義を申し立てないことを併せて誓約します。

以上

（提出様式１－１０）

公共サービスの内容	R4-8国営吉野ヶ里歴史公園運営維持管理業務		
公共サービス実施民間事業者	○○株式会社	住所又は所在地	○○県○○市○○町１丁目○番○号
親会社等（法人）	○△株式会社		
主要株主等（法人）	□□株式会社、△△株式会社		

公共サービス実施民間事業者の「役員」「法定代理人」「主要株主等（個人）」
及び「相談役、顧問等役員と同等以上の支配力を有する者」

上記事業との関係	フリガナ 氏　　名	生年月日	性別	住　　所
例　役員	コウキョウ　タロウ 公共　太郎	昭和38年7月4日	男	福岡県福岡市博多区博多駅東２丁目10番７号
例　主要株主（個人）				
例　親会社の役員				

※１　記載しきれないときは、適宜用紙を追加して下さい。
※２　必要に応じて、住民票の写し等の確認書類の提出を求める場合があります。

記載が必要な事項一覧表

		記載対象（※１）	記載必要事項
落	個	①　落札予定事業者	・氏名、生年月日、性別、住所 ・商号又は屋号
		②　①の法定代理人（※２）	・氏名、生年月日、性別、住所
	法人の場合	③　落札予定事業者	・商号又は屋号 ・主たる事業所の所在地
		④　③の役員	・氏名、生年月日、性別、住所、役職名
		⑤　④の法定代理人	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑥　③の主要株主等（※３）（個人）	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑦　③の主要株主等（法人）	・商号又は屋号
		⑧　相談役、顧問等④と同等以上の支配力を有する	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑨　③の親会社等（※４）（個人）	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑩　⑨の法定代理人	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑪　③の親会社等（法人）	・商号又は屋号
		⑫　⑪の役員	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑬　⑫の法定代理人	・氏名、生年月日、性別、住所
		⑭　相談役、顧問等⑫と同等以上の支配力を有する者	・氏名、生年月日、性別、住所

※１　「記載対象」は、それぞれ該当する者がいる場合に対象とする。

※２　「法定代理人」とは、営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者の場合の当該未成年者の法定代理人をいう。

※３　「主要株主等」とは、発行済株式総数の１００分の５以上の株式を所有する株主及び出資総額の１００分の５以上の額に相当する出資をしている者をいう。

※４　ここでいう「親会社等」は、入札参加事業者と「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律施行令」第３条第１項各号のいずれかに該当する関係（特定支配関係）を有する者のみをいい、同条第２項に規定する者は含まないものとする。

申請書類における留意事項について

１．提出部数は１部とし、通しの頁数を次の例ように頁右下に記載するものとする。（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

２．提出様式１－２「企業の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②単体および共同体の担当する分担業務については、「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」「植物管理業務」、「動物管理業務」、「収益施設等運営業務」とし、さらに細かく業務を分担する場合には「施設・設備維持管理業務のうち、施設管理」などの記載とし、独自に「総合運営管理業務（例）」など独自の名称は作らないこと。
③本業務全体の計画立案及びマネジメント業務の実績については、説明書１．（２）１）で記載しているとおり、必ず「本公園の運営維持管理全般について目標及び業務計画を策定し、多岐にわたる業務について総合的な調整を行い、適切な進捗管理を実施」した会社とし、その内容について契約書で記載されていない場合は、その内容が確認できる業務の仕様書等も添付すること。
④共同体の場合は、本業務全体の企画立案及びマネジメント業務を担当する企業を代表企業とすること。

３．提出様式１－３「総括（業務）責任者等の業務実績」
①記載した業務に係る契約書の写し及び業務計画書等を必ず添付すること。
②「本業務全体の計画立案及びマネジメント業務」、「企画運営管理業務」、「施設・設備維持管理業務」、「植物管理業務」、「動物管理業務」、「収益施設等運営業務」の業務責任者においては、業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数　配置した場合には、欠格とする。
ただし、実施要領に定めた範囲において兼務は可能とする。
③共同体の場合は、本業務全体の企画立案及びマネジメント業務を担当する総括責任者を代表企業の社員（予定を含む）とすること。また、「所属・役職」の欄に会社名を記載すること。

４．提出様式１－４「守秘性に関する要件」
①守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付すること。また、共同体の場合は、構成員毎に様式１－４の提出及び守秘義務に関する規定を定めた社内の規則等(該当ページのみ)を添付すること。該当部分に下線を引くこと。

５．提出様式１－５－１「業務実施体制」
①共同体の場合は、備考欄に所属企業名および職務、配置予定者の氏名を記載すること。
②組織図（業務実施のための体制図）を添付すること。その際に担当する分担業務を記載すること。
③実施要項３．３．表８に定める業務を分割し複数の業務責任者を配置できないものとする。なお、複数配置した場合には、欠格とする。

６．提出様式１－５－２「業務実施における対応方針」
Ａ４版片面１枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。
白黒片面印刷で提出すること。

７．提出様式１－６「実施方針」
Ａ４版片面２枚以内で、文字寸法は１０．５ポイント以上とすること。
図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９

ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。
白黒またはカラー片面印刷で提出すること。

８．提出様式１－１０（第２面等）
落札者は、住民票の写し（外国人の場合は外国人登録原票の写し）について、落札決定日から２週間以内に提出すること。
様式のデータおよび電磁的記録媒体（第８面参照）をCD－Rで提出すること。

（提出様式２－１）

企画書

業務の名称　　R5-9国営海の中道海浜公園運営維持管理業務

履行期限　　令和　　年　　月　　日

標記業務について、企画書を提出します。

令和　　年　　月　　日

支出負担行為担当官
九州地方整備局長　殿

提出者）住　　所
電話番号
会 社 名
代 表 者 役職名　　氏　　名　　印

作成者）担当部署
氏　　名
電 話 番 号
Ｆ Ａ Ｘ
Ｅ－mail

（共同企業体の場合は、以下のように記入すること。）
住　所　：共同体事務所の所在地
電話番号：共同体事務所の電話番号
ＦＡＸ　：共同体事務所のＦＡＸ番号
会社名　：○○○○業務
△△・○○共同体
代表者　：△△㈱　役職名　　氏名　印

注）紙入札方式による場合は代表者印を押印してください。

（提出様式２－２―１）

１）目標とする公園利用者数の確保に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

パークエリアの年間の公園利用者数【数値目標】

（単位：万人）

年目	１年目（２～３月）	２年目	３年目
パークエリアの公園利用者			
	４年目	５年目（４～12月）	

１．企画提案項目：○○○の活用

・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。

・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。

※目標とする数値を各年度設定の上、その利用者数確保に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―２）

２）利用者満足度の確保に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

年間の公園の運営に関する「非常に満足」と「まあまあ満足」の回答比率

【数値目標】　（単位：％）

年目	１年目（２～３月）	２年目	３年目
非常に満足・まあまあ満足の回答比率			
	４年目	５年目（４～12月）	

１．企画提案項目：○○○の活用

・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。

・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。

※目標とする数値を設定の上、その満足度数の向上に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―３）

３）公園特性を生かした植物管理に関する提案

基本的な考え方・方針

○○○を基本的な方針として、○○○

大規模花修景に関する「非常に満足」と「まあまあ満足」の回答比率

【数値目標】　（単位：%）

年目	１年目（２～３月）	２年目	３年目
非常に満足とまあまあ満足の回答比率			
	４年目	５年目（４～12月）	

１．企画提案項目：○○○の活用

・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。

・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。

※目標とする数値を設定の上、その満足度数の向上に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。

※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―４）

４）公園特性及び資源、施設を活かした運営管理に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※企画提案項目に、「動物の森」の施設の特性を生かした、効率的かつ効果的な飼育・展示について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―５）

６）情報受発信の充実に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

記者発表による件数、SNSによる年間情報発信件数
【数値目標】　（単位：件）

年目	１年目（２～３月）	２年目	３年目	４年目	５年目（４～12月）
記者発表の件数					
SNSによる情報発信件数					

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※記者発表による件数、SNSによる情報発信件数の目標を設定の上、それら実施、達成に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―６）

７）地域との連携活動・市民との協働活動に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○と連携
・具体的な企画提案：○○○と連携し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○と連携することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．に、周辺自治体や学校、地域住民等関係機関や関係者との連携体制、協力体制の構築に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目２．～３．に、ボランティアやＮＰＯ団体との連携方策及びボランティア活動の充実・継続に向けて、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―７）

８）公園利用者等の安全を確保する管理手法に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．～２．に、本公園の特性を踏まえた上で、公園利用者の安全・安心を確保する施設管理及び運営管理について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。また、既存地形や本公園の特性を踏まえた上で、ハード面、ソフト面でのユニバーサルデザイン対応について、具体性、実現性があり、本公園として妥当性のある提案を記述する。
※企画提案項目３．に、公園スタッフに関する事故を未然に防ぐ取組について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―８）

９）緊急時及び非常時の対応に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の実施
・具体的な企画提案：○○○について、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○をすることにより、・・・・の防止が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．に、緊急事態を想定し、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目２に、トラブル時や緊急時に円滑に対応し、かつ被害を拡大させないためのハード面・ソフト面での体制、対策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．に、繁忙期において、混乱回避のための対応策について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―９）

１０）自主事業に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の実施
・具体的な企画提案：○○○において、・・・・○○○を実施します。
・期待される効果：○○○を実施することにより、・・が期待されます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※公園の目的・魅力の向上の観点について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※自主事業：事業者の独立採算により行う事業をいう。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１０）

１１）収益施設の運営に関する提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．企画提案項目：○○○の活用
・具体的な企画提案：○○○を活用し、・・・・実施します。
・期待される効果：○○○を活用することにより、・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。
※企画提案項目１．**駐車場**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目２．**レンタサイクル施設**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．**園内交通施設**における利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案によって、設計数量が変更する場合には、必ず提出様式２－２－１１の改善提案も行うこと。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２―１１）

１２）各業務の最低水準（現行基準）として示された仕様書に対する、改善提案

基本的な考え方・方針
　○○○を基本的な方針として、○○○

１．改善提案項目：○○○工
・設計数量：○○ｍ２
・変更数量：○○ｍ２
・変更可能な理由：○○○を導入し、・・○○の質が向上（○○を削減）します。
・期待される効果：○○○を導入することにより、・・・の削減が見込まれます。

２．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

３．改善提案項目：
・設計数量：
・変更数量：
・変更可能な理由：
・期待される効果：

※各改善提案項目には通し番号を付けること。
※改善提案による質の維持向上又は経費の削減（あるいはその両方）に関する提案について、実現性のある改善提案および期待される効果を具体的に記述する。
※設計数量が変更となる場合には、数量総括表に変更数量を記述して提出すること。
※記載にあたっての注意事項等は、本様式の【別添】に示すので必ず確認すること。

（提出様式２－２－１２）

１３）ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する取組について認定状況

１．女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等

○　プラチナえるぼしの認定を取得している。
【　該当　・　該当しない　】

○　えるぼし３段階目の認定を取得しており、かつ、「評価項目３：労働時間等の働き方」の基準を満たしている。
【　該当　・　該当しない　】

○　えるぼし２段階目の認定を取得しており、かつ、「評価項目３：労働時間等の働き方」の基準を満たしている。
【　該当　・　該当しない　】

○　えるぼし１段階目の認定を取得しており、かつ、「評価項目３：労働時間等の働き方」の基準を満たしている。
【　該当　・　該当しない　】

○　一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）を策定・届出をしており、かつ、常時雇用する労働者が 100 人以下である。
【　該当　・　該当しない　】

２．次世代育成支援対策推進法に基づく認定

○プラチナくるみんの認定を取得している。
【　該当　・　該当しない　】

○くるみん認定（令和４年４月１日以降の基準）を取得している。
【　該当　・　該当しない　】

○くるみん認定（平成 29 年４月１日～令和３年３月 31 日までの基準）を取得している。
【　該当　・　該当しない　】

○トライくるみん（新施行規則第４条第１項第３号及び第４号の規定に基づく認定）
【　該当　・　該当しない　】

○くるみん認定（平成 29 年４月１日までの基準）を取得している。
【　該当　・　該当しない　】

３．青少年雇用促進法に基づく認定

○　青少年雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定）を取得している。
【　該当　・　該当しない　】

注１：１～３の全項目について、該当するものに○を付けること。
注２：該当に○をつけた場合は、それぞれ、該当することを証明する書類（認定通知書の写し・一般事業主行動計画策定・変更届（都道府県労働局の受領印付）の写し）をすべて添付すること。
注３：「ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する外国法人の確認事務取扱要綱」第２条に規定する同要綱の対象となる外国法人については、それぞれ、該当することを証明する書類（内閣府男女共同参画局長による認定等相当確認通知書の写し）をすべて添付すること。

【別添】

企画書の提案に関する注意事項等

１．各企画提案および改善提案について、着眼点が他と比較して優れており、具体性、実現性があり、当該公園において適切かつ効果的なものであるか等の妥当性について総合的な観点から評価する。

２．各企画提案および改善提案の頁数は、説明図表を含めＡ４版２頁以内とする。
上記頁数を超えた場合、加点評価対象は２頁目までに記載されている内容とし、３頁目以降に記載した内容は加点評価対象としない。ただし、３頁目以降に記載した内容（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

３.各企画提案の項目数は最大３項目までとし、記載の順に１から３までの通し番号を付けること。
頁数は、上記２．によるものとする。

４．改善提案は、記載の順に１から通し番号を付けること。
通し番号の記載がない改善提案項目については加点評価対象としない。ただし、通し番号の記載がない改善提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。
頁数は、上記２．によるものとする。

５．１つの企画提案項目は１つの着目対象（○○対策、等）に限って設定すること。
複数の着目対象に対する企画提案項目を記載した場合には、当該企画提案項目を加点評価対象としない場合がある。ただし、当該企画提案項目（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

６．１つの企画提案項目に対する具体的な企画提案は、業務の特性及び現場条件等を考慮のうえ、企画提案項目とした着目対象に関して効果を発現させるための実施方法（効果を高めるために付帯して行うものを含む。）を具体的に記載する。
曖昧な表現及び「仕様書に基づき履行」等の簡易な表現はしないこと。

７.以下に示すような企画提案項目は、標準案と同程度であり効果が期待できないものとし、加点評価しない。
①仕様書及び関係法令を遵守した標準的な内容

８．以下に示すような企画提案項目は、実施を認めないもの（履行不可）とする。
①関係法令に違反するもの
②入園料、使用料等の増減を変更させるもの
③開園日時を変更させるもの（主催イベントなど仕様書で明示してあるものは除く）

９．文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとし、判読できない場合は、図表等を評価しない場合がある。

10．白黒またはカラー片面印刷で提出するものとする。

11．企画書の提出部数は１部とし、通しの頁数を以下の例ように頁右下に記載するものとする。（例　1／10，2／10･･･9／10，10／10）。

12．企画書に個別法人および個別グループ等が特定できる記載内容（法人名、個人名など）がある場合は、その記載された頁に該当する実施要項表９標準評価項目及び高得点配分に示す「区分」は加点評価対象としない。ただし、当該区分（履行不可と判断されたものを除く。）についても特定された場合は、履行義務は負うものとする。

（例）　▲▲会社　　→　　当法人
■■財団　　→　　当法人
◇◇共同体　　→　　当法人
□□グループ　　→　　関連グループ　等
※固有の名称は用いないこと。

13．各企画提案および改善提案を作成する上で、同様な内容を記述する場合は、該当箇所に「（再掲）」と記載すること。ただし、加点対象とするが、実施要項表９標準評価項目及び高得点配分に示す「区分」によって評価が異なる場合がある。

（提出様式２－２－１４－１）

【大企業用】

従業員への賃金引上げ計画の表明書

当社は、〇年度（令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日までの当社事業年度）（又は〇年）において、給与等受給者一人あたりの平均受給額を対前年度（又は対前年）増加率〇％以上とすることを

表明いたします。
従業員と合意したことを表明いたします。　｝状況に応じいずれかを選択※

令和　年　　月　　日
株式会社〇〇〇〇
（住所を記載）
代表者氏名　〇〇　〇〇

上記の内容について、我々従業員は、令和〇年〇月〇日に、〇〇〇という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和　年　　月　　日
株式会社〇〇〇〇
従業員代表　　氏名　〇〇　〇〇　　印
給与又は経理担当者　　氏名　〇〇　〇〇　　印

【本表明書については、従業員代表及び給与又は経理担当者が押印した書類の写しの提出とする。】
※本表明書をもって初めて従業員に賃上げを表明する場合は上段を、本表明書以外のところで従業員に賃上げを表明している場合は下段を選択して下さい。

（留意事項）

１．事業年度により賃上げを表明し落札者となった場合には、当該事業年度及びその前年度の「法人事業概況説明書」を当該事業年度終了月の翌々月末までに契約担当官等に提出してください。

ただし、法人税法（昭和 40 年法律第 34 号）第 75 条の２の規定により申告書の提出期限の延長がなされた場合には、契約担当官等への提出期限を同条の規定により延長された期間と同じ期限に延長するものとします。

なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。

２．暦年により賃上げを表明し落札者となった場合には、当該年及びその前年の「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を翌年の１月末までに契約担当官等に提出してください。

３．上記１．又は２の書類については、本契約担当官発注の他の案件において、同一の期間を対象とした同一の表明書を提出し落札した案件がある場合は、当該案件毎の提出ではなく、１書類の提出のみでよいこととします。

４．上記１．又は２による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合若しくは本制度の趣旨を意図的に逸脱していると判断された場合又は上記確認書類を期限までに提出しない場合においては、当該事実判明後の総合評価落札方式による入札に参加する場合、技術点又は加算点を減点するものとします。

５．上記４．による減点措置については、減点措置開始日から１年間に入札公告が行われる調達に参加する場合に行われることとなります。ただし、減点事由の判明の時期により減点措置開始時期が異なることとなるため、減点措置開始時に当該事由を確認した九州地方整備局総務部契約課により適宜の方法で通知するものとします。

６．表明書の従業員代表、給与又は経理担当者（以下、従業員代表等）については特定の立場・役職等により制約するものではなく、提出者の実情に応じて選出していただくことで構いません。なお、従業員代表等の押印がない場合は加点対象となりません。表明書の提出は、押印した書類の写しとします。

（提出様式２－２－１４－２）

【中小企業等用】

従業員への賃金引上げ計画の表明書

当社は、〇年度（令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日までの当社事業年度）（又は〇年）において、給与総額を対前年度（又は対前年）増加率〇%以上とすることを

表明いたします。
従業員と合意したことを表明いたします。

｝状況に応じいずれかを選択※

令和　年　　月　　日
株式会社〇〇〇〇
（住所を記載）
代表者氏名　〇〇　〇〇

上記の内容について、我々従業員は、令和〇年〇月〇日に、〇〇〇という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和　年　　月　　日
株式会社〇〇〇〇
従業員代表　　氏名　〇〇　〇〇　　印
給与又は経理担当者　　氏名　〇〇　〇〇　　印

【本表明書については、従業員代表及び給与又は経理担当者が押印した書類の写しの提出とする。】
【本表明書と併せて直近の事業年度の「法人税申告書別表１」（提出様式２－２－１４－３）を提出すること。なお、「中小企業等」とは、法人税法第 66 条第 2 項又は第 3 項に該当する者のことをいう。ただし、同条第 6 項に該当する者は除く。】
※本表明書をもって初めて従業員に賃上げを表明する場合は上段を、本表明書以外のところで従業員に賃上げを表明している場合は下段を選択して下さい。

（留意事項）

１．事業年度により賃上げを表明し落札者となった場合には、当該事業年度及びその前年度の「法人事業概況説明書」を当該事業年度終了月の翌々月末までに契約担当官等に提出してください。

ただし、法人税法（昭和 40 年法律第 34 号）第 75 条の２の規定により申告書の提出期限の延長がなされた場合には、契約担当官等への提出期限を同条の規定により延長された期間と同じ期限に延長するものとします。

なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。

２．暦年により賃上げを表明し落札者となった場合には、当該年及びその前年の「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を翌年の１月末までに契約担当官等に提出してください。

３．上記１．又は２の書類については、本契約担当官発注の他の案件において、同一の期間を対象とした同一の表明書を提出し落札した案件がある場合は、当該案件毎の提出ではなく、１書類の提出のみでよいこととします。

４．上記１．又は２による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合若しくは本制度の趣旨を意図的に逸脱していると判断された場合又は上記確認書類を期限までに提出しない場合においては、当該事実判明後の総合評価落札方式による入札に参加する場合、技術点又は加算点を減点するものとします。

５．上記４．による減点措置については、減点措置開始日から１年間に入札公告が行われる調達に参加する場合に行われることとなります。ただし、減点事由の判明の時期により減点措置開始時期が異なることとなるため、減点措置開始時に当該事由を確認した九州地方整備局総務部契約課により適宜の方法で通知するものとします。

６．表明書の従業員代表、給与又は経理担当者（以下、従業員代表等）については特定の立場・役職等により制約するものではなく、提出者の実情に応じて選出していただくことで構いません。なお、従業員代表等の押印がない場合は加点対象となりません。表明書の提出は、押印した書類の写しとします。

（提出様式２－２－１４－３）

別表一　各事業年度の所得に係る申告書Ⅰ内国法人の分……平三十一・四・一以後終了事業年度等分

税務署受付印

令和　年　月　日
税務署長殿

納税地	電話（　　）　－
（フリガナ） 法人名	
法人番号	
（フリガナ） 代表者 記名押印	㊞
代表者 住所	

所管		業種目		概況書	要否	別表等
法人区分	普通法人（人格のない社団等を除く。）又は人格のない社団等	一定の協同組合等又は公益法人等（みなし）	医療法人	左記以外の公益法人等、協同組合等又は特定の医療法人		
事業種目						
期末現在の資本金の額又は出資金の額	円	非中小法人				
同上が1億円以下の普通法人のうち中小法人に該当しないもの						
同非区分	特定同族会社	同族会社	非同族会社			
旧納税地及び旧法人名等						
添付書類	貸借対照表、損益計算書、株主（社員）資本等変動計算書又は損益金処分表、勘定科目内訳明細書、事業概況書、組織再編成に係る契約書等の写し、組織再編成に係る移転資産等の明細書					

※税務署処理欄

青色申告	一連番号								
整理番号									
事業年度（至）	年	月	日						
売上金額	兆	十億	百万						
申告年月日	年	月	日						

通信日付印	確認印	庁指定	局指定	指導等	区分
年月日					

申告区分

法人税	中間	期限後	修正	地方法人税	中間	期限後	修正		

平成・令和　年　月　日　事業年度分の法人税　申告書
平成・令和　年　月　日　課税事業年度分の地方法人税　申告書
（中間申告の場合の計算期間　平成・令和　年　月　日）

翌年以降送付要否	要	否	適用額明細書提出の有無	有	無
税理士法第30条の書面提出有	有		税理士法第33条の2の書面提出有	有	

この申告書による法人税額の計算

			十億	百万	千	円
所得金額又は欠損金額（別表四「47の①」）		1				
法人税額（53）＋（54）＋（55）		2				
法人税額の特別控除額（別表六（六）「4」）		3				
差引法人税額（2）－（3）		4				
連結納税の承認を取り消された場合等における既に控除された法人税額の加算額		5				
土地譲渡利益金留保金	課税土地譲渡利益金額（別表三（三）「24」＋別表三（二の二）「25」＋別表三（三）「20」）	6				000
	同上に対する税額（22）＋（23）＋（24）	7				
	課税留保金額（別表三（一）「4」）	8				000
	同上に対する税額（別表三（一）「8」）	9				
法人税額計（4）＋（5）＋（7）＋（9）		10				00
分配時調整外国税相当額及び外国関係会社等に係る控除対象所得税額等相当額の控除額（別表六（五の二）「7」＋別表十七（三の十二）「3」）		11				
仮装経理に基づく過大申告の更正に伴う控除法人税額		12				
控除税額（((10)－(11)－(12))と(19)のうち少ない金額）		13				
差引所得に対する法人税額（10）－（11）－（12）－（13）		14				00
中間申告分の法人税額		15				00
※引確定（中間申告の場合はその法人税額（税額とし、マイナスの(14)－(15)）場合は、(26)へ記入）		16				00

この申告書による地方法人税額の計算

			十億	百万	千	円
課税標準の計算	基準法人税額	所得の金額に対する法人税額（4）＋（5）＋（7）＋（10の外書）	33			
		課税留保金額に対する法人税額（9）	34			
課税標準法人税額（33）＋（34）			35			000
地方法人税額（58）			36			
課税留保金額に係る地方法人税額（59）			37			
所得地方法人税額（36）＋（37）			38			
分配時調整外国税相当額及び外国関係会社等に係る控除対象所得税額等相当額の控除額（(別表六（五の二）「8」＋（別表十七（三の十二）「4」））と（38）のうち少ない金額）			39			
外国税額の控除額（別表六（二）「50」）			40			
仮装経理に基づく過大申告の更正に伴う控除地方法人税額			41			
差引地方法人税額（38）－（39）－（40）－（41）			42			00
中間申告分の地方法人税額			43			00
差引確定（中間申告の場合はその地方法人税額（税額とし、マイナスの(42)－(43)）場合は、(45)へ記入）			44			00

控除税額の計算

			十億	百万	千	円
所得税の額（別表六（一）「6の③」）		17				
外国税額（別表六（二）「20」）		18				
計（17）＋（18）		19				
控除した金額（13）		20				
控除しきれなかった金額（19）－（20）		21				

土地譲渡税額の内訳

土地譲渡税額（別表三（二）「27」）																0	
同上（別表三（二の二）「28」）																0	
同上（別表三（三）「23」）																00	

この申告による還付金額

			十億	百万	千	円
所得税額等の還付金額（21）		25				
中間納付額（15）－（14）		26				
欠損金の繰戻しによる還付請求税額		27	外			
計（25）＋（26）＋（27）		28	外			
この申告前の申告である場合の修正	この申告前の所得金額又は欠損金額（60）	29				
	この申告により納付すべき法人税額又は減少する還付請求税額（65）	30	外			00
欠損金又は災害損失金等の当期控除額（別表七（一）「4の計」＋（別表七（二）「9」若しくは「21」又は別表七（三）「10」））		31				
翌期へ繰り越す欠損金又は災害損失金（別表七（一）「5の合計」）		32				

				十億	百万	千	円
この申告による還付金額（43）－（42）			45	外			
この申告でこの申告がある場合の修正	この申告前の	所得の金額に対する法人税額（68）	46				
		課税留保金額に対する法人税額（69）	47				
		課税標準法人税額（70）	48			000	
	この申告により納付すべき地方法人税額（74）		49			00	
剰余金・利益の配当（剰余金の分配）の金額							

残余財産の最後の分配又は引渡しの日	平成・令和　年　月　日	決算確定の日	平成・令和　年　月　日

還付を受ける金融機関等

銀行 金庫・組合 農協・漁協	本店・支店 出張所 本所・支所	預金	郵便局名等	
口座番号		ゆうちょ銀行の貯金記号番号	－	
※税務署処理欄				

税理士署名押印	㊞

（提出様式２－２－１４－４）

法人事業概況説明書

税務署受付印

ＦＢ１００６

別添「法人事業概況説明書の書き方」を参考に記載し、法人税申告書等に一部添付して提出してください。
なお、記載欄が不足する項目につきましては、お手数ですが、適宜の用紙に別途記載の上、添付願います。

整理番号

この用紙はとじこまないでください

OCR入力用（この用紙は機械で読み取ります。折ったり汚したりしないでください。）

法人名　屋号（　　）　電話（　　）－

法人番号

事業年度　自 平成　年　月　日　至 平成　年　月　日

税務署処理欄

自社ホームページの有無　◯有　◯無　（自社ホームページアドレス）

1 事業内容　（　　）業

2 支店・子会社の状況

(1) 支店　国内 支店・店舗数　／　海外 支店・店舗数

所在地国1　従業員数　／　所在地国2　従業員数

(2) 子会社　国内 国内子会社の数　／　海外 海外子会社の数　うち出資割合が50%以上の海外子会社の数

子会社名称　出資割合%　／　子会社名称　出資割合%

3 海外取引状況

(1) 取引種類　◯輸入　◯輸出　◯無　取引金額（百万円）

輸入　相手国　主な商品

輸出　相手国　主な商品

(2) 輸出入以外の海外取引　◯有　◯無　◯その他（　　）
手数料　ロイヤルティー　役務の提供　証券の売買　金銭の貸借　不動産の売買

4 期末従事員等の状況

(1) 期末従事員の状況（単位：人）

常勤役員	
計	
計のうち代表者家族数	
計のうちアルバイト数	

(2) 賃金の定め方　◯A固定給　◯B歩合給　◯AB併用

(3) 社宅・寮の有無　◯有　◯無

5 PC利用状況

(1) PCの利用　◯有　◯無

(2) PCのOS　◯Windows　◯Mac　◯Linux　◯その他（　　）

(3) PCの利用形態　◯財務管理　◯給与管理　◯在庫・販売管理　◯生産管理

(4) 会計ソフトの利用等　◯有　◯無

(5) 会計ソフト名

(6) メールソフト名

(7) データの保存先　◯クラウド　◯外部記録媒体　◯PCサーバ

6 販売形態

(1) 電子商取引（インターネット取引）　◯有・売上　◯有・仕入　◯有・経費　◯無

(2) 販売チャネル 注1　◯自社HP　◯他社HP

7 株主又は株式所有異動の有無　◯有　◯無

8 経理の状況

(1) 管理者

区分	氏名	代表者との関係
現金		◯親族　◯他人
通帳		◯親族　◯他人

(2) 試算表の作成状況　◯毎月　◯おおむね月ごと　◯決算時のみ

(3) 源泉徴収対象所得　◯給与　◯報酬・料金　◯利子等　◯配当　◯非居住者　◯退職

(4) 消費税　当期課税売上高（単位：千円）

経理方式　◯税抜経理方式　◯税込経理方式

(5) 社内監査　実施の有無　◯有　◯無　（　　）

9 役員又は役員報酬額の異動の有無　◯有　◯無

10 主要科目（単位・千円）　※各科目の単位：千円

売上（収入）高		特別損失	
上記のうち兼業売上（収入）高		税引前当期損益	
売上（収入）原価		資産の部合計（負債の部合計＋純資産の部合計）	
売上原価のうち 期首棚卸高		資産のうち 現金預金	
売上原価のうち 原材料費（仕入高）注2		資産のうち 受取手形 ※貸倒引当金控除前	
売上原価のうち 労務費 ※福利厚生費等を除いてください		資産のうち 売掛金 ※貸倒引当金控除前、注3	
売上原価のうち 外注費		資産のうち 棚卸資産（未成工事支出金）	
売上原価のうち 期末棚卸高		資産のうち 貸付金	
売上原価のうち 減価償却費		資産のうち 建物 ※減価償却累計額控除後	
売上原価のうち 地代家賃		資産のうち 機械装置 ※減価償却累計額控除後	
売上（収入）総利益		資産のうち 車両・船舶 ※減価償却累計額控除後	
販管費のうち 役員報酬		資産のうち 土地	
販管費のうち 従業員給料		負債の部合計（資産の部合計－純資産の部合計）	
販管費のうち 交際費		負債のうち 支払手形	
販管費のうち 減価償却費		負債のうち 買掛金 注3	
販管費のうち 地代家賃		負債のうち 個人借入金	
営業損益		負債のうち その他借入金	
特別利益		純資産の部合計（資産の部合計－負債の部合計）	

「10主要科目」・「11代表者に対する報酬等の金額」の各欄は、千円単位で記載してください。

注4　※各科目の単位：千円

11代表者に対する報酬等の金額

報酬		貸付金		仮払金	
賃借料		支払利息		借入金		仮受金	

注1　(1)の有・売上欄に該当がある場合
注2　運送業においては燃料費、金融業・保険代理業においては、支払利息割引料を記載してください。
注3　金融業、保険代理業においては、売掛金欄には未収利息、買掛金欄には未払利息を記載してください。
注4　「11代表者に対する報酬等の金額」の各欄は貴社（貴法人）が同族会社の場合に記載してください。

12 事業形態

(1) 兼業の状況　（兼業種目）　（兼業割合）　%

(2) 事業内容の特異性

(3) 売上区分　現金売上　%　掛売上　%

13 主な設備等の状況

14 決済日等の状況

売上	締切日		決済日	
仕入	締切日		決済日	
外注費	締切日		決済日	
給料	締切日		支給日	

15 帳簿類の備付状況

帳簿書類の名称	

16 税理士の関与状況

(1) 氏名	
(2) 事務所所在地	
(3) 電話番号	
(4) 関与状況	◯申告書の作成　◯調査立会　◯税務相談 ◯決算書の作成　◯伝票の整理　◯補助簿の記帳 ◯総勘定元帳の記帳　◯源泉徴収関係事務

17 加入組合等の状況

（役職名）	
（役職名）	
営業時間	開店　時　閉店　時
定休日	毎週　（毎月）　曜日（　日）

18 月別の売上高等の状況

「18月別の売上高等の状況」欄の単位にご注意願います。

月別	売上（収入）金額		仕入金額		外注費	人件費	源泉徴収税額		従事員数
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	千円	人
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
計									
前期の実績									

19 成績の概要 当期の営業

（提出様式２－２－１４－５）

ＦＥ０１０４

令和 □□ 年分 給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表

（所得税法施行規則別表第５（８）、５（２４）、５（２５）、５（２６）、６（１）及び６（２）関係）

提出用

【平成28年1月1日以後提出用】

署番号 □□□□□

税務署受付印　令和　年　月　日提出　税務署長　殿

事業種目　整理番号 □□□□□□□□

提出者
- 住所又は所在地　電話（　－　－　）
- （フリガナ）
- 氏名又は名称
- 個人番号又は法人番号(注)　↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄にし、ここから記載してください。
- （フリガナ）
- 代表者氏名

調書の提出区分　新規=1 追加=2 訂正=3 無効=4　□

提出媒体　1 給与 □□　2 退職 □□　3 報酬 □□　4 使用 □□　5 譲受 □□　6 斡旋 □□

（フリガナ）

作成担当者

本店等一括提出　有 ○　否 ○

翌年以降送付

作成税理士署名　電話（　－　－　）

税理士番号 □□□□□□

(注) 平成27年分以前の合計表を作成する場合には、「個人番号又は法人番号」欄に何も記載しないでください。

○ 提出媒体欄には、法定調書の種類別にコードを記載してください。（電子＝14　FD＝15　MO＝16　CD＝17　DVD＝18　書面＝30　その他＝99）

1 給与所得の源泉徴収票合計表（375）

区分	人員	左のうち、源泉徴収税額のない者	支払金額	源泉徴収税額
Ⓐ俸給、給与、賞与等の総額	□□□人	人	□□□,□□□,□□□円	□□□,□□□,□□□円
Ⓐのうち、丙欄適用の日雇労務者の賃金			円	円
Ⓑ源泉徴収票を提出するもの	□□□人		円	円
災害減免法により徴収猶予したもの	人員 □□□人	猶予税額 □□□,□□□円	（摘要）	

2 退職所得の源泉徴収票合計表（316）

区分	人員	支払金額	源泉徴収税額
Ⓐ退職手当等の総額	□□□人	□□□,□□□,□□□円	□□□,□□□,□□□円
Ⓑ Ⓐのうち、源泉徴収票を提出するもの	□□□人	円	円

（摘要）

3 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書合計表（309）

所得税法第204条に規定する報酬又は料金等 区分	人員 個人	人員 個人以外	支払金額	源泉徴収税額
原稿料、講演等の報酬又は料金（１号該当）	□□□人	人	円	円
弁護士、税理士等の報酬又は料金（２号該当）	□□□人	人	円	円
診療報酬（３号該当）	□□□人	人	円	円
職業野球選手、騎手、外交員等の報酬又は料金（４号該当）	□□□人	人	円	円
芸能等に係る出演、演出等の報酬又は料金（５号該当）	□□□人	人	円	円
ホステス等の報酬又は料金（６号該当）	□□□人	人	円	円
契約金（７号該当）	□□□人	人	円	円
賞金（８号該当）	□□□人	人	円	円
Ⓐ計	実□□□人	実□□□人	□□□,□□□,□□□円	□□□,□□□,□□□円
Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの	□□□人	□□□人	円	円

区分	件数	支払金額	源泉徴収税額
Ⓐのうち、所得税法第174条第10号に規定する内国法人に対する賞金	□□□件	円	円
災害減免法により徴収猶予したもの	人員 □□□人	猶予税額 □□□,□□□円	

（摘要）

4 不動産の使用料等の支払調書合計表（313）

区分	人員	支払金額
Ⓐ使用料等の総額	□□□人	円
Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの	□□□人	円

（摘要）

5 不動産等の譲受けの対価の支払調書合計表（376）

区分	人員	支払金額
Ⓐ譲受けの対価の総額	□□□人	円
Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの	□□□人	円

（摘要）

6 不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書合計表（314）

区分	人員	支払金額
Ⓐあっせん手数料の総額	□□□人	円
Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの	□□□人	円

（摘要）

税務署整理欄

通信日付印	確認	提出年月日	身元確認
		年 □□ 月 □□ 日 □□	□

区分　A □　B □　C □　D □　E □　F □　G □　H □

FE0104

令和 □□ 年分 給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表

（所得税法施行規則別表第５（８）、５（２４）、５（２５）、５（２６）、６（１）及び６（２）関係）

署番号 □□□□□

税務署受付印　令和　年　月　日提出　税務署長　殿

事業種目　整理番号 □□□□□□□□

提出者
- 住所又は所在地　電話（　－　－　）
- （フリガナ）
- 氏名又は名称
- 個人番号又は法人番号(注)　※個人番号又は法人番号は複写されません
- （フリガナ）
- 代表者氏名

調書の提出区分　新規=1 追加=2 訂正=3 無効=4 □　提出媒体　1 給与 □□　2 退職 □□　3 報酬 □□　4 使用 □□　5 譲受 □□　6 斡旋 □□

（フリガナ）
作成担当者

本店等一括提出　有 ○　否 ○

翌年以降送付

作成税理士署名　電話（　－　－　）

税理士番号 □□□□□□

【平成28年1月1日以後提出用】

(注) 平成27年分以前の合計表を作成する場合には、「個人番号又は法人番号」欄に何も記載しないでください。

控用

○提出媒体欄には、法定調書の種類別にコードを記載してください。（電子＝14　FD＝15　MO＝16　CD＝17　DVD＝18　書面＝30　その他＝99）

1 給与所得の源泉徴収票合計表（375）

区分	人員	左のうち、源泉徴収税額のない者	支払金額	源泉徴収税額
Ⓐ俸給、給与、賞与等の総額	人	人	円	円
Ⓐのうち、丙欄適用の日雇労務者の賞金			円	円
Ⓑ源泉徴収票を提出するもの	人		円	円
災害減免法により徴収猶予したもの	人	猶予税額 円	（摘要）	

2 退職所得の源泉徴収票合計表（316）

区分	人員	支払金額	源泉徴収税額	
Ⓐ退職手当等の総額	人	円	円	（摘要）
Ⓑのうち、源泉徴収票を提出するもの	人	円	円	

3 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書合計表（309）

区分	人員 個人	人員 個人以外	支払金額	源泉徴収税額
所得税法第204条に規定する報酬又は料金等 原稿料、講演料等の報酬又は料金（１号該当）	人	人	円	円
弁護士、税理士等の報酬又は料金（２号該当）	人	人	円	円
診療報酬（３号該当）	人	人	円	円
職業野球選手、騎手、外交員等の報酬又は料金（４号該当）	人	人	円	円
芸能等に係る出演、演出等の報酬又は料金（５号該当）	人	人	円	円
ホステス等の報酬又は料金（６号該当）	人	人	円	円
契約金（７号該当）	人	人	円	円
賞金（８号該当）	人	人	円	円
Ⓐ計	実 人	実 人	円	円
Ⓑのうち、支払調書を提出するもの	人	人	円	円

区分	件数	支払金額	源泉徴収税額	
Ⓐのうち、所得税法第174条第10号に規定する内国法人に対する賞金	件	円	円	（摘要）
災害減免法により徴収猶予したもの	人員 人	猶予税額 円		

4 不動産の使用料等の支払調書合計表（313）

区分	人員	支払金額
Ⓐ使用料等の総額	人	円
Ⓑのうち、支払調書を提出するもの	人	円

（摘要）

5 不動産等の譲受けの対価の支払調書合計表（376）

区分	人員	支払金額
Ⓐ譲受けの対価の総額	人	円
Ⓑのうち、支払調書を提出するもの	人	円

（摘要）

6 不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書合計表（314）

区分	人員	支払金額
Ⓐあっせん手数料の総額	人	円
Ⓑのうち、支払調書を提出するもの	人	円

（摘要）

【給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表】

記載要領

1　この合計表は、ＯＣＲ用紙で提出する場合に使用する。

2　給与所得の源泉徴収票合計表

(1)　**「Ⓐ俸給、給与、賞与等の総額」欄**には、給与所得の源泉徴収票の提出省略限度額以下のため給与所得の源泉徴収票の提出を省略するものを含めたすべての給与等について記載する。

　なお、年の中途で就職した者が就職前に他の支払者から支払を受けた給与等の金額及び徴収された源泉所得税額並びに災害により被害を受けたため、給与所得に対する源泉所得税の徴収を猶予された税額は、「支払金額」又は「源泉徴収税額」に含めないで記載する。

(2)　**「左のうち、源泉徴収税額のない者」欄**には、給与所得の源泉徴収票の「源泉徴収税額」欄の金額がゼロとなる者の数を記載する。

(3)　**「Ⓐのうち、丙欄適用の日雇労務者の賃金」欄**には、給与所得の源泉徴収税額表（日額表）の丙欄を適用した給与等の状況を記載する。

(4)　**「Ⓑ源泉徴収票を提出するもの」欄**には、この合計表とともに給与所得の源泉徴収票を提出するものについて、その合計を記載する。

　なお、年の中途で就職した者が就職前に他の支払者から支払を受けた給与等の金額及び徴収された源泉所得税額は、「支払金額」又は「源泉徴収税額」に含めて記載することに留意する。

(5)　**「災害減免法により徴収猶予したもの」欄**には、災害被害者に対する租税の減免、徴収猶予等に関する法律の規定により給与所得に対する源泉所得税の徴収を猶予されたものについて、その人員と猶予税額（給与所得の源泉徴収票の「摘要」欄に記載された所得税額）を記載する。

3　退職所得の源泉徴収票合計表

(1)　**「Ⓐ退職手当等の総額」欄**には、退職所得の源泉徴収票の提出を省略するものを含めたすべての退職手当等について記載する。

(2)　**「Ⓑ Ⓐのうち、源泉徴収票を提出するもの」欄**には、この合計表とともに退職所得の源泉徴収票を提出するものについて、その合計を記載する。

4　報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書合計表

(1)　**「人員」欄**には、個人に係るものと個人以外の者に係るものとに区分して記載する。

(2)　**「支払金額」欄**には、個人及び個人以外の者に対して支払う報酬、料金、契約金及び賞金の支払金額の合計額を記載する。

(3)　**「源泉徴収税額」欄**には、災害被害者に対する租税の減免、徴収猶予等に関する法律の規定により報酬、料金、契約金及び賞金に対する源泉所得税の徴収を猶予された税額は含まれないことに留意する。

(4)　**「所得税法第 204 条に規定する報酬又は料金等」欄**には、支払調書の提出省略限度額以下のため支払調書の提出を省略するものを含めたすべての報酬、料金等について記載する。

　また、**「Ⓐ計」欄**の**「人員」欄**の**「実」**には、**「所得税法第 204 条に規定する報酬又は料金等」欄**の各欄を通じた実人員を記載する。

(5)　**「Ⓐのうち、支払調書を提出するもの」欄**には、この合計表とともに報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書を提出するものについて、その合計を記載する。

(6)　**「Ⓐのうち、所得税法第 174 条第 10 号に規定する内国法人に対する賞金」欄**には、内国法人に対して支払った所得税法第 174 条第 10 号に規定する馬主が受ける競馬の賞金（金銭で支払われるものに限る。）の支払金額等を記載する。

(7)　**「災害減免法により徴収猶予したもの」欄**には、災害被害者に対する租税の減免、徴収猶予等に関する法律の規定により報酬、料金、契約金及び賞金に対する源泉所得税の徴収を猶予されたものについて、その人員と猶予税額を記載する。

5 不動産の使用料等の支払調書合計表

(1) **「Ⓐ使用料等の総額」欄**には、その年中に支払の確定した不動産の使用料等（支払調書の提出を要しないものを含む。）の支払先の人員と支払金額の合計額を記載する。

(2) **「Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの」欄**には、この合計表とともに不動産の使用料等の支払調書を提出するものについて、その合計を記載する。

(3) 次に掲げる場合には、**「摘要」欄**に、それぞれ次に掲げる事項を記載する。

イ 支店が支払った不動産の使用料等に係る不動産の使用料等の支払調書（以下、この項において「支払調書」という。）を本店が取りまとめて本店の所在地を所轄する税務署長に提出する場合

(ｲ) 本店が提出するこの合計表の**「(摘要)」欄**には、当該支払調書を本店が取りまとめて提出する旨並びにその支店の所在地、名称及びその賃借している不動産の種類

(ﾛ) 支店が提出するこの合計表の**「(摘要)」欄**には、当該支払調書を本店が提出する旨及び本店の所在地

ロ 法人又は不動産業者である個人が不動産の使用料等の支払がないため不動産の使用料等の支払調書の提出を要しない場合 その旨

6 不動産等の譲受けの対価の支払調書合計表

(1) **「Ⓐ譲受けの対価の総額」欄**には、その年中に支払の確定した不動産等の譲受けの対価及び資産の移転に伴い生じた各種の損失の補償金の合計額（支払調書の提出を要しないものを含む。）を記載する。

(2) **「Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの」欄**には、この合計表とともに不動産等の譲受けの対価の支払調書を提出するものについて、その合計を記載する。

(3) 次に掲げる場合には、**「摘要」欄**に、それぞれ次に掲げる事項を記載する。

イ 支店が支払った不動産等の譲受けに係る不動産等の譲受けの対価の支払調書（以下、この項において「支払調書」という。）を本店が取りまとめて本店の所在地を所轄する税務署長に提出する場合

(ｲ) 本店が提出するこの合計表の**「(摘要)」欄**には、当該支払調書を本店が取りまとめて提出する旨並びにその支店の所在地、名称及びその譲受けた不動産等の種類

(ﾛ) 支店が提出するこの合計表の**「(摘要)」欄**には、当該支払調書を本店が提出する旨及び本店の所在地

ロ 租税特別措置法第 33 条（収用等に伴い代替資産を取得した場合の課税の特例）に規定する特定土地区画整理事業等の事業施行者、租税特別措置法第 33 条の 2（交換処分等に伴い資産を取得した場合の課税の特例）に規定する特定住宅地造成事業等のための買取りをする者及び租税特別措置法第 33 条の 4(収用交換等の場合の譲渡所得等の特別控除）に規定する公共事業施行者が、法律の規定に基づいて買取り等の対価を支払う場合 その「事業名又は工事名」及び「買取り等の申出年月日」

ハ 法人又は不動産業者である個人が不動産等への譲受けの支払がないため不動産等の譲受けの対価の支払調書の提出を要しない場合 その旨

7 不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書合計表

(1) **「Ⓐあっせん手数料の総額」欄**には、その年中に支払の確定した不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の合計額（支払調書の提出を要しないものを含む。）を記載する。

(2) **「Ⓑ Ⓐのうち、支払調書を提出するもの」欄**には、この合計表とともに不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書を提出するものについて、その合計を記載する。

なお、この支払調書に記載すべき事項を、「不動産の使用料等の支払調書」又は「不動産の譲受けの対価の支払調書」に記載して提出することによって、この支払調書の作成、提出を省略したものについては、その支払を受けた者の人員及び当該支払金額をそれぞれ**「(摘要)」欄**に記載する。

(3) 次に掲げる場合には、**「摘要」欄**に、それぞれ次に掲げる事項を記載する。

イ 支店が支払った不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料に係る不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書（以下、この項において「支払調書」という。）を本店が取りまとめて本店の所在地を所轄する税務署長に提出する場合

(ｲ) 本店が提出するこの合計表の**「(摘要)」欄**には、当該支払調書を本店が取りまとめて提出する旨並びにその支店の所在地、名称及びその売買又は貸付けのあっせんをした不動産等の種類

(ﾛ) 支店が提出するこの合計表の**「(摘要)」欄**には、当該支払調書を本店が提出する旨及び本店の所在地

ロ 法人又は不動産業者である個人が不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払がないため不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書の提出を要しない場合 その旨

8 税務署整理欄は、提出義務者において記載を要しない。

（提出様式２－２－１４－６）

賃金引上げ計画の達成について

私は、○○株式会社が、令和○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの○○株式会社の事業年度）（又は○年）において、令和○年○月○日付け「従業員への賃金引上げ計画の表明書」と同等の賃上げを実施したことを別添書類によって確認いたしました。

（同等の賃上げ実績と認めた評価の内容）

（記載例１）　評価対象事業年度においては、○人の従業員が退職する一方、○人の新卒採用者を雇用することになり、給与支給総額が○%増加にとどまったものの、継続雇用している○人の給与支給総額は○%増加していたため、表明書と同等の賃上げを実行したものと認めました。

（記載例２）　評価対象の前事業年度は災害時の応急対策に従事することなどによる超過勤務手当が多く発生した（対前年度○%増加）が、評価対象年度においてはその対応がなかったため、超過勤務手当は○%減と大きく減少した。これらの要因により、給与支給総額は○%の増加にとどまったものの、基本給総額は○%増加していたため、表明書と同等の賃上げを実行したものと認めました。

令和　　年　　月　　日

（住所を記載）

（税理士又は公認会計士等を記載）　氏名　○○　○○

（添付書類）

・○○○

・○○○

１．確認書類の提出方法

○賃上げ実績の確認時、税理士又は公認会計士等の第三者により、「入札説明書に示されている基準と同等の賃上げ実績を確認できる書類であると認められる」ことが明記された書面（提出様式2-2-14-6）を、賃上げを行ったことを示す書類と共に提出。

※内容について、必要に応じて受注者側に確認を行う場合がある。

※仮に制度の主旨を意図的に逸脱していることが判明した場合には、事後であってもその後に減点措置を行う。

※なお、賃上げ促進税制の優遇措置を受けるために必要な税務申告書類をもって賃上げ実績を証明することも可能である。

２．「同等の賃上げ実績」と認めることができる場合の考え方

○中小企業等においては、実情に応じて「給与総額」又は「一人当たりの平均受給額」いずれを採用することも可能。

○各企業の実情を踏まえ、継続雇用している従業員のみの基本給や所定内賃金などにより評価することも可能。

○入札説明書等に示した賃上げ実績の確認方法で従業員の給与を適切に考慮できない場合、適切に控除や補完を行って評価することも可能。

※なお、本制度において、企業の賃上げ表明を行う様式には従業員代表及び給与又は経理担当者の記名捺印を求めており、企業の真摯な対応を期待するものである。

※例えば、役員報酬を上げるのみとなっているなど、実態として従業員の賃上げが伴っていないにも関わらず、実績確認を満足するために恣意的に評価方法を採用することや賃上げを表明した期間の開始前の一定期間において賃金を意図的に下げる等により賃上げ表明期間の賃上げ率の嵩上げを図ること等は、本制度の趣旨を意図的に逸脱している行為と見なされる。

※ボーナス等の賞与及び諸手当を含めて判断するかは、企業の実情を踏まえて判断することも可能とする。

（具体的な場合の例）

（○各企業の実情を踏まえ、継続雇用している従業員のみの基本給や所定内賃金などにより評価することも可能）

- ベテラン従業員等が退職し、新卒採用等で雇用を確保することで給与総額が減少する場合等は、継続雇用している給与等受給者への支給額で給与総額等を評価する。
- 定年退職者の再雇用などで給与水準が変わる者を除いて給与総額等を評価する。
- ワーク ‐ ライフバランス改善の取組を考慮するため、育児休暇や介護休暇の取得者など給与水準が変わる従業員等を除いて給与総額等を評価する。
- 働き方改革を進める中で、時間外労働規制の令和６年４月からの適用に対応するため、計画的に超過勤務を減らしている場合については、超過勤務手当等を除いて給与総額等を評価する。
- 災害時には昼夜を問わず、一時的に人員も増強してその対応に従事することが求め

られ、その対価として超過勤務手当等が従業員等に支給される。災害対応は、自ら制御できない年変動があり、このような場合、超過勤務や一時雇用を除いて給与総額等を評価する。
- 業績に応じて支給する一時金や賞与等を除いて給与総額等を評価する。

（○入札説明書等に示した賃上げ実績の確認方法で従業員の給与を適切に考慮できない場合、適切に控除や補完が行われたもので評価する）
- 実績確認に用いるとされた主要科目に一部の従業員の給与が含まれない場合、別途これを考慮して評価する。
- 実績確認に用いるとされた主要科目に外注や派遣社員の一時的な雇い入れによる労務費が含まれてしまう場合、これを除いて評価する。
- 実績確認に用いるとされた主要科目に退職給付引当金繰入額といった実際に従業員に支払われた給与でないものが含まれてしまう場合は、これを除いて評価する。
- 役員報酬が含まれること等により従業員の賃金実態を適切に反映できない場合は、これを除いて評価する。
- 令和４年４月以降の最初の事業年度開始時よりも前の令和４年度中に賃上げを実施した場合は、その賃上げを実施したときから１年間の賃上げ実績を評価する。
- 事業年度開始月より後の賃上げについて、次のいずれにも該当する場合には、事業年度開始月よりも後の賃上げ開始月から１年間の賃上げ実績を評価することができる。

①契約締結日の属する国の会計年度内に賃上げが行われていること。

※暦年中の賃上げを表明している場合にあっては、当該暦年内に賃上げが行われていること。

②例年の賃上げ実施月に賃上げを実施していること。（意図的に賃上げ実施月を遅らせていないこと。）

※この場合の賃上げ実績の確認時期は、事業年度終了後を基準とするのではなく、当該評価期間の終了時を基準とするため、確認書類の提出期限は、当該評価期間の終了月の翌々月末までとなる。

３．上記は例示であり、ここに記載されている例に限定されるものではない。

（様式３）

Ｒ５－９国営海の中道海浜公園

収益施設運営計画書

提　　出　　様　　式

国土交通省　九州地方整備局

【企画書提出時に提出すること】
（様式３－１）

平成　　年　　月　　日

収益施設運営計画書

国土交通省　九州地方整備局　　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記施設について、R5-9 国営海の中道海浜公園収益施設運営計画書を提出します。

記

（1）所 在 地　福岡県福岡市東区西戸崎
（2）対象施設
駐　　車　　場：西駐車場Ａ・Ｂ・Ｃ、海の中道駅口駐車場、ワンダーワールド口駐車場光
レンタサイクル：西サイクリングセンター、駅口サイクリングセンター、
ワンダーワールド口サイクリングセンター、
港サイクリングセンター（整備場）
飲食・物販施設：マリンワールド駐車場横売店、アニマルミュージアムショップ、プール内売店Ａ・Ｂ・Ｃ
サンシャインプール：サンシャインプール、コインロッカー
自 動 販 売 機：清涼飲料水等　建物内 13 台・屋外 57 台、動物の餌　屋外 14 台
園内交通施設：園内交通車両、車庫、停留所 13 カ所

※共同体として参加する者が提出する場合は、R5-9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務について、業務全体の計画立案及びマネージメント業務をする者とする。

（様式３－２）

収益施設運営計画

（1）運営施設全体の運営計画
・基本的な考え方
・取組方策
・繁忙期、閑散期に対応した運営方針

※運営施設全体の運営計画について、基本的な考え方及び取組方策を具体的に記述すること。

また、混雑期、閑散期に対応方針も具体的に記述すること。

※図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（2）収益施設の運営に関する提案

１．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：〇〇〇を設定し・・・・・・・・実施します。
・期待される効果：〇〇〇を設定することにより、・・・・・・・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

３．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

４．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

５．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

６．企画提案項目：〇〇〇の設定
・具体的な企画提案：
・期待される効果：

※企画提案１から８まで通し番号を付けること。
※企画提案項目１．は、**駐車場**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目２．は、**レンタサイクル**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目３．は、**飲食・物販施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目４．は、**サンシャインプール**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目５．は、**自動販売機**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※企画提案項目６．は、**園内交通施設**における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案及び期待される効果を具体的に記述する。
※文字サイズは、１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとする。白黒またはカラー片面印刷で提出するものする。
※本様式に記述した企画提案については、企画書提出様式２－２－１１と同様な内容とする。

（３－１）駐車場の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間、料金を超える提案は不可とする。

（様式３－４－２）

（３－２）レンタサイクルの運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間、料金を超える提案は不可とする。

（様式３－４－３）

（３－３）飲食・物販施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（様式３－４－４）

（３－４）サンシャインプールの運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（様式３－４－５）

（３－５）自動販売機の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（様式３－４－６）

（３－６）園内交通施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス等
運営期間、運営時間
料金設定
車両の仕様及び台数
運行ルート
主なサービス

※収益施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス等を具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書及び規定書に示す運営期間、運営時間を超える提案は不可とする。

（様式３－５）

令和　　年　　月　　日

自主事業施設運営計画書

国土交通省　九州地方整備局　殿

（申込者）社　名

代表者　　印

所在地

TEL(FAX)

下記施設について、R5-9 国営海の中道海浜公園自主事業施設運営計画書を提出します。

記

（1）所 在 地　福岡県福岡市東区西戸崎
（2）対象施設

※共同体として参加する者が提出する場合は、R5-9 国営海の中道海浜公園運営維持管理業務について、業務全体の計画立案及びマネージメント業務をする者とする。

（様式３－６－１）

自主事業施設運営計画

（1）自主事業施設運営施設全体の運営計画
・基本的な考え方
・取組方策
・繁忙期、閑散期に対応した運営方針

※自主事業施設全体の運営計画について、基本的な考え方及び取組方策を具体的に記述すること。
また、混雑期、閑散期に対応方針も具体的に記述すること。
※図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

（2）自主事業施設の運営に関する提案

１．企画提案項目：〇〇〇の設定

・具体的な企画提案：〇〇〇を設定し・・・・・・・・実施します。

・期待される効果：〇〇〇を設定することにより、・・・・・・・・・・が見込まれます。

２．企画提案項目：〇〇〇の設定

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

３．企画提案項目：〇〇〇の設定

・具体的な企画提案：

・期待される効果：

※各企画提案項目には１から３までの通し番号を付けること。

※企画提案項目１．～２．自主事業施設における公園利用者サービスの向上に向けた運営について、実現性のある企画提案および期待される効果を具体的に記述する。

※収益の一部の本公園の利用促進及び利便性向上等への活用方法を具体的に記述する。

※文字寸法は１０．５ポイント以上とする。図表等を入れる場合は、コピー等により判読不可能とならない文字の大きさ９ポイント程度までとする。白黒またはカラー片面印刷で提出するものとする。

※本様式に記述した企画提案については、企画書提出様式２－２－９と同様な内容とする。

（3）自主事業施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービス
運営期間、運営時間
料金設定
主なサービス

※自主事業施設の運営期間、運営時間、料金設定、主なサービスを具体的に記述すること。

※様式は、図表を含みＡ４版２枚までとし、文字サイズは１０．５ポイント以上とする。

※仕様書に示す期間・時間、料金を超える提案は不可とする。

収入及び支出の見込み

○自主事業の実施における収入及び支出の見込みについて、具体的に記載すること。

※１　需要予測及びそれに基づく収入想定について、その概要を明示し、さらに下表の書式を用いて記載すること。

※２　提案する事業実施方針を踏まえた支出想定とすること。

※３　収支計画を上回る収益となった場合の収益の活用方策について記載すること。

※４　本事業に付随するその他の収益活動を提案する場合には、その内容・金額等について記載すること。

【収入記載書式】　単位：千円

収入項目	金額/4 年※1	根拠等
収益施設運営収入		
その他収入※2		
合計		

※1「その他収入」は必要に応じ欄を追加して記載すること。

【支出記載書式】　単位：千円

支出項目		金額/4 年※1	根拠等
設備投資費	建設費		
	内装費		
	その他		
	小計		
人件費			
光熱水費	電気		
	ガス		
	水道		
	その他		
	小計		
保険料			
土地・施設使用料			
その他支出※2			
合計			

※1 「その他支出」は必要に応じ欄を追加して記載すること。

自主事業施設の設置場所

○自主事業施設の設置場所について図示すること。

